# 基礎資料 (薬学教育評価用)

(2021年5月1日現在)

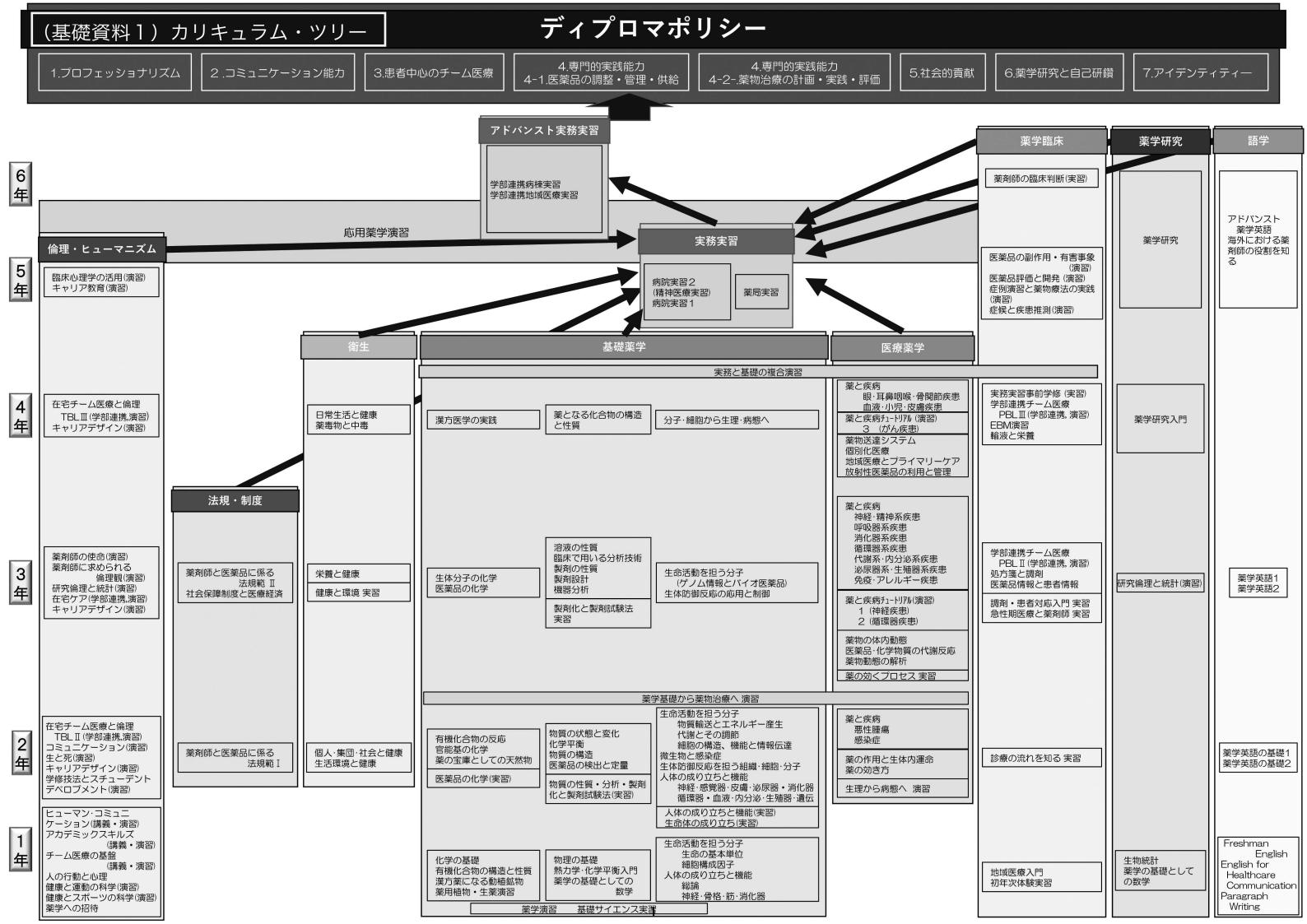
昭和大学 薬学部

## 薬学教育評価 基礎資料

## (目次)

	資料概要	項目	ページ
基礎資料 1	カリキュラム・ツリー	3	1
基礎資料2	平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsを実施 する科目	3	10
基礎資料3	学生の修学状況 3-1 評価実施年度における学年別在籍状況 3-2 評価実施年度の直近5年間における6年制学科の学年別学籍異動状況 3-3 評価実施年度の直近5年間における学士課程修了(卒業)状況の実態 3-4 直近6年間の定員充足状況と編入学者の動向	3	45
基礎資料4	学生受入れ状況 (入学試験種類別)	4	49
基礎資料5	教員・職員の数	5	50
基礎資料 6	専任教員の年齢構成・男女構成	5	51
基礎資料7	教員の教育担当状況(担当する授業科目と担当時間)	5	52
基礎資料8	卒業研究の学生配属状況と研究室の広さ	7	75
基礎資料9	専任教員の教育および研究活動の業績	5	76
基礎資料10	学生の健康管理	6	229
基礎資料11	薬学科の教育に使用する施設の状況 11-1 薬学科の教育に使用する施設の状況 11-2 卒業研究などに使用する施設	7	230
基礎資料12	学生閲覧室等の規模	7	232
基礎資料13	図書、資料の所蔵数および受け入れ状況	7	233

[注] ページ番号は、資料の枚数に応じて変更してください。



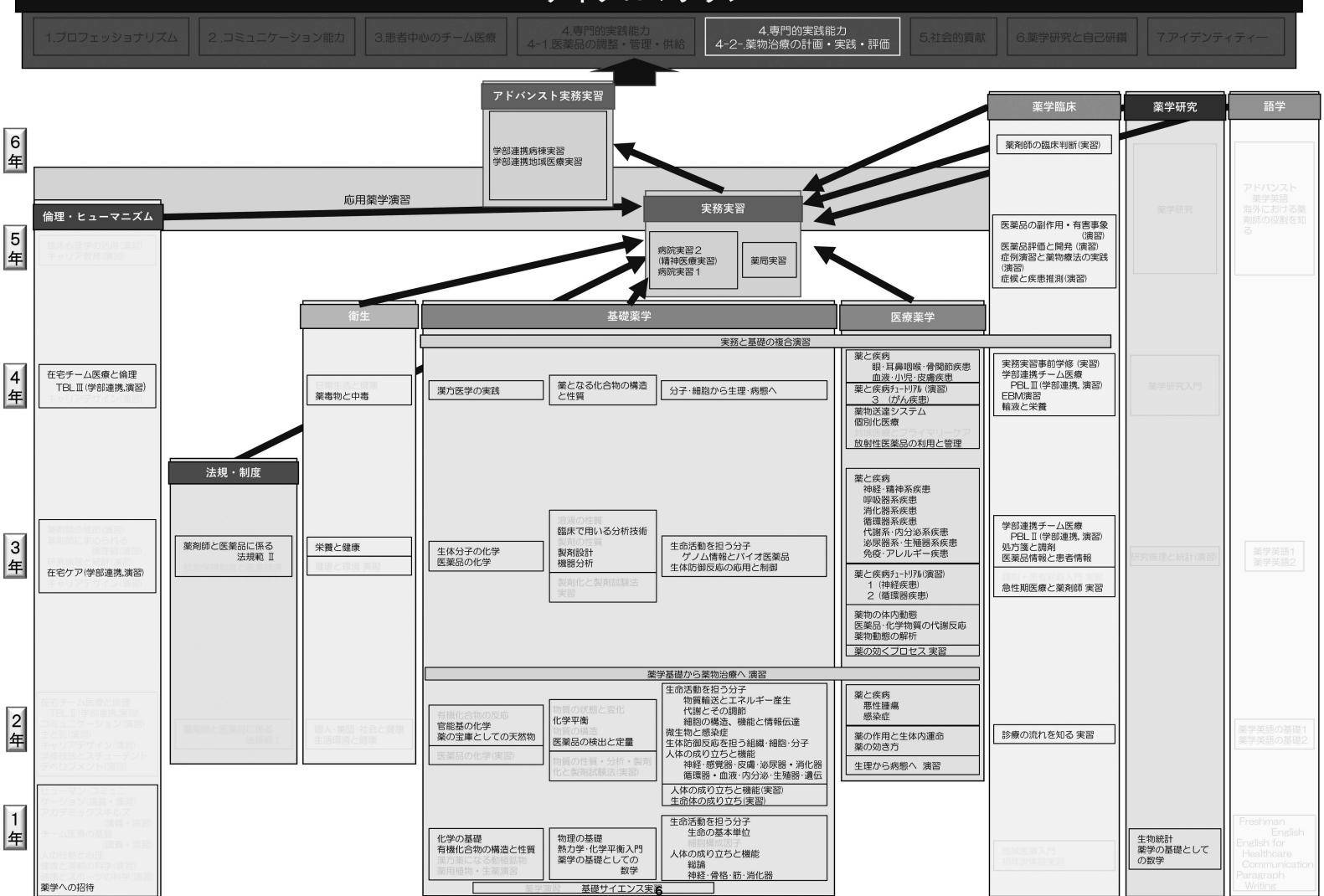
#### ディプロマポリシー 1.プロフェッショナリズム アドバンスト実務実習 語学 薬学臨床 薬学研究 6 年 薬剤師の臨床判断(実習) 学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 実務実習 薬学研究 倫理・ヒューマニズム 医薬品の副作用・有害事象 5 臨床心理学の活用(演習) 医薬品評価と開発 (演習) 年 キャリア教育(演習) 症例演習と薬物療法の実践 (精神医療実習) 薬局実習 病院実習1 症候と疾患推測(演習) 医療薬学 基礎薬学 実務実習事前学修 (実習) **4** 年 在宅チーム医療と倫理 学部連携チーム医療 PBLⅢ(学部連携,演習) TBLⅢ(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル (演習) 薬学研究入門 EBM演習 キャリアデザイン(演習) 3 (がん疾患) 個別化医療 地域医療とプライマリーケア 法規・制度 学部連携チーム医療 薬剤師の使命(演習) PBL II (学部連携, 演習) 3 年 薬剤師に求められる 薬剤師と医薬品に係る 処方箋と調剤 倫理観(演習) 法規範 Ⅱ 研究倫理と統計(演習) 医薬品情報と患者情報 研究倫理と統計(演習) 社会保障制度と医療経済 在宅ケア(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル(演習) 調剤・患者対応入門 実習 キャリアデザイン(演習) 1 (神経疾患) 急性期医療と薬剤師 実習 2 (循環器疾患) 在宅チーム医療と倫理 TBL II (学部連携,演習) コミュニケーション(演習) 薬剤師と医薬品に係る 個人·集団·社会と健康 生と死(演習) 診療の流れを知る 実習 法規範I キャリアデザイン(演習) 学修技法とスチューデント デベロプメント(演習) 人体の成り立ちと機能(実習) ヒューマン・コミュニ ケーション(講義・演習) アカデミックスキルズ (講義・演習) 年 ーム医療の基盤 (講義・演習) 地域医療入門 人の行動と心理 初年次体験実習 健康とスポーツの科学(演習) 薬学への招待

#### ディプロマポリシー 2.コミュニケーション能力 アドバンスト実務実習 薬学臨床 薬学研究 語学 6 年 薬剤師の臨床判断(実習) 学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 アドバンスト 薬学英語 実務実習 海外における薬 薬学研究 倫理・ヒューマニズム 剤師の役割を知 5 臨床心理学の活用(演習) 医薬品評価と開発 (演習) 年 キャリア教育(演習) (精神医療実習) 薬局実習 病院実習1 症候と疾患推測(演習) 基礎薬学 医療薬学 実務実習事前学修 (実習) **4** 年 在宅チーム医療と倫理 学部連携チーム医療 PBLⅢ(学部連携,演習) TBLⅢ(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル (演習) 薬学研究入門 EBM演習 キャリアデザイン(演習) 3 (がん疾患) 法規・制度 学部連携チーム医療 PBL II (学部連携, 演習) 3 年 薬学英語1 医薬品情報と患者情報 薬学英語2 在宅ケア(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル(演習) 調剤・患者対応入門 実習 キャリアデザイン(演習) 1 (神経疾患) 急性期医療と薬剤師 実習 2 (循環器疾患) 在宅チーム医療と倫理 TBLⅡ(学部連携,演習) 2 年 コミュニケーション(演習) 薬学英語の基礎1 診療の流れを知る 実習 薬学英語の基礎2 キャリアデザイン(演習) 学修技法とスチューデント デベロプメント(演習) ヒューマン・コミュニ ケーション(講義・演習) アカデミックスキルズ (講義・演習) Freshman **English** 年 ーム医療の基盤 English for (講義・演習) 地域医療入門 Healthcare 人の行動と心理 初年次体験実習 Communication 健康と運動の科学(演習) 健康とスポーツの科学(演習) Paragraph Writing 薬学への招待

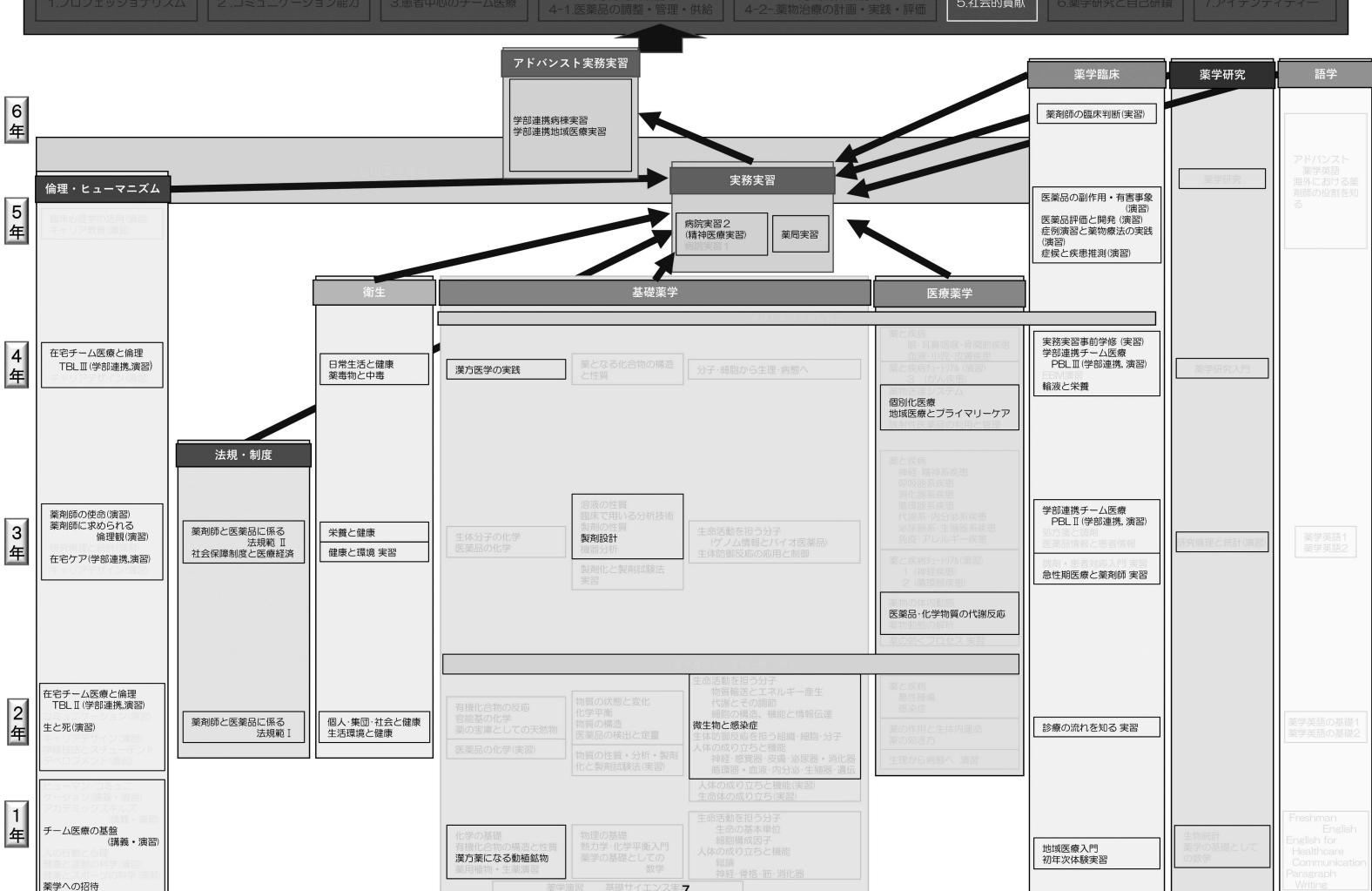
## ディプロマポリシー 3.患者中心のチーム医療 アドバンスト実務実習 薬学臨床 語学 薬学研究 6 年 薬剤師の臨床判断(実習) 学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 実務実習 倫理・ヒューマニズム 医薬品の副作用・有害事象 5 年 臨床心理学の活用(演習) 薬局実習 (精神医療実習) 病院実習1 症候と疾患推測(演習) 基礎薬学 医療薬学 実務実習事前学修 (実習) 4 年 在宅チーム医療と倫理 学部連携チーム医療 PBLⅢ(学部連携,演習) TBLⅢ(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル (演習) EBM演習 3 (がん疾患) 個別化医療 地域医療とプライマリーケア 放射性医薬品の利用と管理 法規・制度 学部連携チーム医療 薬剤師の使命(演習) PBL II (学部連携, 演習) 3 年 薬剤師に求められる 薬剤師と医薬品に係る 倫理観(演習) 法規範 Ⅱ 医薬品情報と患者情報 社会保障制度と医療経済 在宅ケア(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル(演習) 調剤・患者対応入門 実習 1 (神経疾患) 急性期医療と薬剤師 実習 2 (循環器疾患) 在宅チーム医療と倫理 TBL II (学部連携,演習) 2 年 コミュニケーション(演習) 薬剤師と医薬品に係る 診療の流れを知る 実習 法規範I ヒューマン・コミュニ ケーション(講義・演習) アカデミックスキルズ (講義・演習) 年 ーム医療の基盤 (講義・演習) 地域医療入門 初年次体験実習 薬学への招待

#### ディプロマポリシー 4.専門的実践能力 4-1.医薬品の調整・管理・供給 アドバンスト実務実習 語学 薬学臨床 薬学研究 6 年 薬剤師の臨床判断(実習) 学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 応用薬学演習 実務実習 倫理・ヒューマニズム 5 年 症例演習と薬物療法の実践 薬局実習 (精神医療実習) (演習) 病院実習1 基礎薬学 医療薬学 実務と基礎の複合演習 実務実習事前学修 (実習) **4**年 薬となる化合物の構造 日常生活と健康 薬毒物と中毒 と性質 輸液と栄養 薬物送達システム 個別化医療 放射性医薬品の利用と管理 法規・制度 溶液の性質 臨床で用いる分析技術 3 年 製剤の性質 薬剤師と医薬品に係る 生命活動を担う分子 処方箋と調剤 生体分子の化学 製剤設計 法規範 Ⅱ ゲノム情報とバイオ医薬品 医薬品の化学 機器分析 生体防御反応の応用と制御 調剤・患者対応入門 実習 製剤化と製剤試験法 実習 薬物の体内動態 薬物動態の解析 薬の効くプロセス 実習 薬学基礎から薬物治療へ 演習 生命活動を担う分子 物質輸送とエネルギー産生 物質の状態と変化 2 年 代謝とその調節 有機化合物の反応 化学平衡 細胞の構造、機能と情報伝達 官能基の化学 薬剤師と医薬品に係る 物質の構造 診療の流れを知る 実習 薬の作用と生体内運命 法規範I 医薬品の検出と定量 生体防御反応を担う組織・細胞・分子 薬の効き方 人体の成り立ちと機能 医薬品の化学(実習) 物質の性質・分析・製剤 神経·感覚器·皮膚·泌尿器·消化器 生理から病態へ 演習 化と製剤試験法(実習) 循環器·血液·内分泌·生殖器·遺伝 人体の成り立ちと機能(実習) 生命体の成り立ち(実習) 生命活動を担う分子 生命の基本単位 年 化学の基礎 物理の基礎 細胞構成因子 熱力学·化学平衡入門 薬学の基礎として 有機化合物の構造と性質 人体の成り立ちと機能 漢方薬になる動植鉱物 薬学の基礎としての の数学 薬用植物・生薬演習 薬学への招待 基礎サイエンス実置

# ディプロマポリシー



## ディプロマポリシー 5.社会的貢献 アドバンスト実務実習 語学 薬学臨床 薬学研究 6 年 薬剤師の臨床判断(実習) 学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習



## ディプロマポリシー 6.薬学研究と自己研鑽 アドバンスト実務実習 語学 薬学臨床 薬学研究 6 年 薬剤師の臨床判断(実習) 学部連携病棟実習 アドバンスト 薬学英語 実務実習 薬学研究 海外における薬 倫理・ヒューマニズム 剤師の役割を知 5 臨床心理学の活用(演習) 年 キャリア教育(演習) 薬局実習 (精神医療実習) 病院実習1 基礎薬学 医療薬学 **4** 年 在宅チーム医療と倫理 学部連携チーム医療 PBLⅢ(学部連携,演習) TBLⅢ(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル (演習) 薬学研究入門 EBM演習 キャリアデザイン(演習) 3 (がん疾患) 法規・制度 学部連携チーム医療 PBL II (学部連携, 演習) 3 年 薬学英語1 研究倫理と統計(演習) 研究倫理と統計(演習) 薬学英語2 健康と環境 実習 在宅ケア(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル(演習) キャリアデザイン(演習) 1 (神経疾患) 2 (循環器疾患) 在宅チーム医療と倫理 2 年 TBL II (学部連携,演習) 個人·集団·社会と健康 生と死(演習) キャリアデザイン(演習) 学修技法とスチューデント 医薬品の化学(実習) 物質の性質・分析・製剤 デベロプメント(演習) 生理から病態へ 演習 化と製剤試験法(実習) 人体の成り立ちと機能(実習) 生命体の成り立ち(実習) 年 生物統計 薬学への招待 基礎サイエンス実置

## ディプロマポリシー 7.アイデンティティー アドバンスト実務実習 語学 薬学臨床 薬学研究 6 年 学部連携病棟実習 学部連携地域医療実習 実務実習 倫理・ヒューマニズム 5 臨床心理学の活用(演習) 年 キャリア教育(演習) 薬局実習 (精神医療実習) 病院実習1 基礎薬学 医療薬学 実務実習事前学修 (実習) **4** 年 在宅チーム医療と倫理 学部連携チーム医療 TBLⅢ(学部連携,演習) PBLⅢ(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル (演習) キャリアデザイン(演習) 3 (がん疾患) 法規・制度 学部連携チーム医療 薬剤師の使命(演習) PBL II (学部連携, 演習) 3 年 薬剤師に求められる 倫理観(演習) 在宅ケア(学部連携,演習) 薬と疾病チュートリアル(演習) キャリアデザイン(演習) 1 (神経疾患) 2 (循環器疾患) 在宅チーム医療と倫理 TBL II (学部連携,演習) 生と死(演習) キャリアデザイン(演習) 学修技法とスチューデント デベロプメント(演習) アカデミックスキルズ (講義・演習) 年 ーム医療の基盤 (講義・演習) 地域医療入門 初年次体験実習 薬学への招待

(基礎資料 2 ) 平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsを実施する科目

[注] 1 平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する内容の必修科目名を(シラバスの名称、選択科目の場合(選)をつける)実施学年の欄に記入してください。

<b>東京なた東京教師、普集を東京学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>						
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	<b>科目</b> 4年	5年	6年
A 基本事項						
(1)薬剤師の使命						
[①医療人として]		T	T		T	T
1) 常に患者・生活者の視点に立ち、医療の担い手としてふさわしい態度で行動する。(態度)	薬学への招待、ヒューマンコミュ ニケーション、地域医療入門	診療の流れを知る	薬剤師の使命	実務実習事前学修	病院実習1、病院実習2、薬局実 習、臨床心理学の活用、学部連携 病棟実習、学部連携地域医療実習	
2) 患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。(態度)	薬学への招待、ヒューマンコミュ ニケーション	診療の流れを知る	薬剤師の使命	地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	病院実習1、病院実習2、薬局実 習、臨床心理学の活用、学部連携 病棟実習、学部連携地域医療実習	
3) チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。 (態度)	初年次体験実習、チーム医療の基 盤、地域医療入門	診療の流れを知る	薬剤師の使命	地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	病院実習1、病院実習2、薬局実 習、学部連携病棟実習、学部連携 地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
4) 患者・患者家族・生活者が求める医療人について、自らの考えを述べる。 (知識・態度)	薬学への招待、ヒューマンコミュ ニケーション	生と死	薬剤師の使命	地域医療とプライマリ・ケア	臨床心理学の活用、学部連携病棟 実習、学部連携地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
5) 生と死を通して、生きる意味や役割について、自らの考えを述べる。 (知識・態度)	ヒューマンコミュニケーション	生と死	薬剤師に求められる倫理観		学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
6) 一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。 (知識・態度)	ヒューマンコミュニケーション	生と死	薬剤師に求められる倫理観			
7)様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性について、自らの言葉で説明する。 (知識・態度)	死生観(選)	生と死	薬剤師に求められる倫理観		学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
[②薬剤師が果たすべき役割]		1				1
1) 患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。(態度)	薬学への招待		薬剤師の使命	実務実習事前学修	症候と疾患推測、病院実習1、病院実習2、薬局実習、学部連携病 棟実習、学部連携地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
2)薬剤師の活動分野(医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等)と社会における役割について 説明できる。	薬学への招待		薬剤師の使命	実務実習事前学修	病院実習1、病院実習2、薬局実習	
3) 医薬品の適正使用における薬剤師の役割とファーマシューティカルケアについて説明できる。	薬学への招待、地域医療入門		薬剤師の使命	実務実習事前学修	症候と疾患推測、病院実習1、病院実習2、薬局実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
4) 医薬品の効果が確率論的であることを説明できる。	薬学への招待					
5) 医薬品の創製(研究開発、生産等)における薬剤師の役割について説明できる。	薬学への招待		薬剤師の使命			
	薬学への招待	個人・集団・社会と健康	薬剤師の使命		症候と疾患推測、薬局実習	
	薬学への招待		薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ		薬局実習	
8) 現代社会が抱える課題 (少子・超高齢社会等) に対して、薬剤師が果たすべき役割を提案する。 (知識・態度)	薬学への招待	個人・集団・社会と健康	薬剤師の使命		薬局実習	
[③患者安全と薬害の防止]						
1) 医薬品のリスクを認識し、患者を守る責任と義務を自覚する。 (態度)			薬剤師の使命 薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ		医薬品の副作用・有害事象	
2) WHOによる患者安全の考え方について概説できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
3) 医療に関するリスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を説明できる。	地域医療入門		薬剤師の使命 薬剤師と医薬品に係る法規範 II		病院実習1、病院実習2、薬局実習	
4) 医薬品が関わる代表的な医療過誤やインシデントの事例を列挙し、その原因と防止策を説明できる。		生と死				
5) 重篤な副作用の例について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度)				薬毒物と中毒	医薬品の副作用・有害事象	
6) 代表的な薬害の例(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジン等)について、その原因と社会的 背景及びその後の対応を説明できる。	地域医療入門	生と死	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ		医薬品の副作用・有害事象	
7) 代表的な薬害について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するための手段を討議する。 (知識・態度)	地域医療入門	生と死				
[④薬学の歴史と未来]						
1)薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割について説明できる。	薬学への招待				1	
2) 薬物療法の歴史と、人類に与えてきた影響について説明できる。	薬学への招待				1	
3) 薬剤師の誕生から現在までの役割の変遷の歴史 (医薬分業を含む) について説明できる。	薬学への招待					
4) 将来の薬剤師と薬学が果たす役割について討議する。(知識・態度)	薬学への招待					
(2) 薬剤師に求められる倫理観 [①生命倫理]						
1) 生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。(知識・態度)	チーム医療の基盤ヒューマンコ	人体の成り立ちと機能(実習)	薬剤師に求められる倫理観			
	ミュニケーション	生と死		1	1	1

	T		**************************************	科目		
平成25年度改訂版・菓学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3) 生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを述べる。 (知識・態度)	チーム医療の基盤、ヒューマンコ ミュニケーション	生と死	薬剤師に求められる倫理観			
4) 科学技術の進歩、社会情勢の変化に伴う生命観の変遷について概説できる。	文学A(選)	生と死	薬剤師に求められる倫理観	ļ	Ļ	
【②医療倫理】  1) 医療倫理に関する規範(ジュネーブ宣言等)について概説できる。	チーム医療の基盤	1	薬剤師に求められる倫理観	1		
	) 立区派の至出			学部連携チーム医療PBL III・TBL		
2) 薬剤師が遵守すべき倫理規範(薬剤師綱領、薬剤師倫理規定等)について説明できる。			薬剤師に求められる倫理観	III		
3) 医療の進步に伴う倫理的問題について説明できる。	<ul><li>ヒューマンコミュニケーション、</li><li>文学A(選)、地域医療入門(TBL I)</li></ul>	生と死	薬剤師に求められる倫理観 研究倫理と統計、学部連携チーム 医療PBL II ・在宅ケア	学部連携チーム医療PBL III・TBL III		
【③患者の権利】		•	•	•		
1) 患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。 (態度)	ヒューマンコミュニケーション、 地域医療入門	在宅チーム医療と倫理 TBL II	薬剤師に求められる倫理観、学部 連携チーム医療PBL II ・在宅ケ ア	学部連携チーム医療PBL III・TBL III	病院実習1、病院実習2、薬局実 習、学部連携病棟実習、学部連携 地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
2) 患者の基本的権利の内容(リスポン宣言等)について説明できる。	チーム医療の基盤	在宅チーム医療と倫理 TBL II	薬剤師に求められる倫理観、学部 連携チーム医療PBL II ・在宅ケ ア			
3) 患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。	チーム医療の基盤	在宅チーム医療と倫理 TBL II	薬剤師に求められる倫理観、学部 連携チーム医療PBL II ・在宅ケ ア	学部連携チーム医療PBL III・TBL III		
<ul><li>4)知り得た情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。</li><li>(知識・技能・態度)</li></ul>	初年次体験実習、アカデミックス キルズ		薬剤師に求められる倫理観、学部 連携チーム医療PBL II ・在宅ケ ア		病院実習1、病院実習2、薬局実 習、学部連携病棟実習、学部連携 地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
【④研究倫理】			•		•	
1) 臨床研究における倫理規範(ヘルシンキ宣言等)について説明できる。	チーム医療の基盤		薬剤師に求められる倫理観 薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
2) 「ヒトを対象とする研究において遵守すべき倫理指針」について概説できる。	チーム医療の基盤		薬剤師に求められる倫理観 薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
3) 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。(態度)	法学 (選)		研究倫理と統計			
(3) 信頼関係の構築 【①コミュニケーション】	-					
1) 意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。	ヒューマンコミュニケーション、 人の行動と心理	コミュニケーション		キャリアデザイン	キャリア教育	
2) 言語的及び非言語的コミュニケーションについて説明できる。	ヒューマンコミュニケーション、人の行動と心理	コミュニケーション			臨床心理学の活用	
3) 相手の立場、文化、習慣等によって、コミュニケーションの在り方が異なることを例を挙げて説明できる。	ヒューマンコミュニケーション、人の行動と心理	コミュニケーション		キャリアデザイン	キャリア教育、臨床心理学の活用	1
4) 対人関係に影響を及ぼす心理的要因について概説できる。	ヒューマンコミュニケーション、 人の行動と心理	コミュニケーション	薬剤師の使命		臨床心理学の活用	
5) 相手の心理状態とその変化に配慮し、対応する。 (態度)	ヒューマンコミュニケーション、 人の行動と心理	コミュニケーション	調剤・患者対応入門	実務実習事前学修	病院実習1、病院実習2、薬局実 習、臨床心理学の活用、学部連携 病棟実習、学部連携地域医療実習	
6) 自分の心理状態を意識して、他者と接することができる。 (態度)	ヒューマンコミュニケーション、 人の行動と心理	コミュニケーション			病院実習1、病院実習2、薬局実 習、学部連携病棟実習、学部連携 地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
7) 適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解するように努める。(技能・態度)	アカデミックスキルズ、ヒューマ ンコミュニケーション	コミュニケーション	調剤・患者対応入門、学部連携 チーム医療PBLII・在宅ケア	キャリアデザイン 実務実習事前学修	臨床心理学の活用、キャリア教育、病院実習1、病院実習2、薬局 実習、臨床心理学の活用、学部連 携病棟実習、学部連携地域医療実 習	字部連携病棟美省、字部連携地域 医療宝器
8) 適切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。 (技能・態度)	ヒューマンコミュニケーション	コミュニケーション	学部連携チーム医療PBLII・在宅 ケア	キャリアデザイン 実務実習事前学修	臨床心理学の活用、キャリア教育、病院実習1、病院実習2、薬局 実習、臨床心理学の活用、学部連 携病棟実習、学部連携地域医療実 習	字部連携病棟美省、字部連携地域 医療宝器
9) 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。 (知識・技能・態度)	ヒューマンコミュニケーション	コミュニケーヨン、在宅チーム医療と倫理 TBL II	学部連携チーム医療PBLII・在宅 ケア	学部連携チーム医療PBLIII ・在 宅チーム医療と倫理TBLII	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
【②患者・生活者と薬剤師】						
1) 患者や家族、周囲の人々の心身に及ぼす病気やケアの影響について説明できる。	ヒューマンコミュニケーション	在宅チーム医療と倫理 TBL II	薬剤師の使命、薬剤師の使命、学 部連携チーム医療PBLII・在宅ケ ア		臨床心理学の活用	
	1	I	1.	I	1	1

平成が年度改訂版・繁学教育エデル・コアカリキュラル(SBOs)						
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2) 患者・家族・生活者の心身の状態や多様な価値観に配慮して行動する。 (態度)	地域医療入門	在宅チーム医療と倫理 TBL II	薬剤師の使命、学部連携チーム医療PBLII・在宅ケア	学部連携チーム医療PBLIII ・在 宅チーム医療と倫理TBLII	臨床心理学の活用、薬局実習、病 院実習2、学部連携病棟実習、学 部連携地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
(4) 多職種連携協働とチーム医療						
1) 保健、医療、福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。	アカデミックスキルズ、ヒューマ ンコミュニケーション、地域医療 入門	キャリアデザイン、在宅チーム医療と倫理 TBL II	キャリアデザイン、学部連携チー ム医療PBLII・在宅ケア	キャリアデザイン、学部連携チーム医療PBLIII ・在宅チーム医療 と倫理TBLII	キャリア教育、学部連携病棟実 習、学部連携地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
2) 多職種連携協働に関わる薬剤師、各職種及び行政の役割について説明できる。	アカデミックスキルズ、地域医療 入門	キャリアデザイン、在宅チーム医療と倫理 TBL II	薬剤師の使命 キャリアデザイン、急性期医療と 薬剤師、学部連携チーム医療 PBLII・在宅ケア	キャリアデザイン、学部連携チーム医療PBLIII ・在宅チーム医療と倫理TBLIII	キャリア教育、学部連携病棟実 習、学部連携地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
3) チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる。	アカデミックスキルズ、地域医療 入門	キャリアデザイン、在宅チーム医療と倫理 TBL II	急性期医療と薬剤師、学部連携 チーム医療PBLII・在宅ケア	学部連携チーム医療PBLIII ・在 宅チーム医療と倫理TBLIII	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
4)自己の能力の限界を認識し、状況に応じて他者に協力・支援を求める。(態度)		コミュニケーション キャリアデザイン	キャリアデザイン	キャリアデザイン	キャリア教育、学部連携病棟実 習、学部連携地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
5) チームワークと情報共有の重要性を理解し、チームの一員としての役割を積極的に果たすように努める。 (知識・態度)	アカデミックスキルズ、初年次体 験実習、ヒューマンコミュニケー ション、地域医療入門		学部連携チーム医療PBLII・在宅 ケア	学部連携チーム医療PBLIII ・在 宅チーム医療と倫理TBLIII	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習
(5)自己研鑚と次世代を担う人材の育成						
【①学習の在り方】						
1) 医療・福祉・医薬品に関わる問題、社会的動向、科学の進歩に常に目を向け、自ら課題を見出し、解決に向けて努力する。(態度)	薬学への招待	学修技法とスチューデントデベロ プメント				
<ul><li>2) 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(技能)</li><li>3) 必要な情報を的確に収集し、信憑性について判断できる。(知識・技能)</li></ul>	アカデミックスキルズ アカデミックスキルズ					
4)得られた情報を論理的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。(技能)	アカデミックスキルズ	人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、皮膚、消化器、泌尿器)	薬と疾病(呼吸器)薬と疾病(免 疫アレルギー)			
5) インターネット上の情報が持つ意味・特徴を知り、情報倫理、情報セキュリティに配慮して活用できる。 (知識・態度)	アカデミックスキルズ					
[②薬学教育の概要]					•	
1) 「薬剤師として求められる基本的な資質」について、具体例を挙げて説明できる。	薬学への招待	学修技法とスチューデントデベロ プメント				
2) 薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。(知識・態度)	薬学への招待					
【③生涯学習】						
1) 生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義について説明できる。		学修技法とスチューデントデベロ プメント	薬剤師の使命	キャリアデザイン	キャリア教育	
2) 生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。 (技能)	アカデミックスキルズ	学修技法とスチューデントデベロ プメント	薬剤師の使命			
【④次世代を担う人材の育成】						
1) 薬剤師の使命に後輩等の育成が含まれることを認識し、ロールモデルとなるように努める。 (態度)		学修技法とスチューデントデベロ プメント				
2)後輩等への適切な指導を実践する。(技能・態度)		学修技法とスチューデントデベロ プメント				
B 薬学と社会						
(1)人と社会に関わる薬剤師						
1)人の行動がどのような要因によって決定されるのかについて説明できる。	人の行動と心理	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅰ	and the state and	地域医療とプライマリ・ケア		
2) 人・社会が医薬品に対して抱く考え方や思いの多様性について討議する。 (態度)		薬剤師と医薬品に係る法規範 I 薬剤師と医薬品に係る法規範 I	調剤・患者対応入門	地域医療とプライマリ・ケア		
3) 人・社会の視点から薬剤師を取り巻く様々な仕組みと規制について討議する。 (態度) 4) 薬剤師が倫理規範や法令を守ることの重要性について討議する。 (態度)	-	楽剤師と医薬品に係る法規範 I				
4) 米州師が11世級戦や法令を守ることの主要性について的機する。(態度) 5) 倫理規範や法令に則した行動を取る。(態度)		来刑師と   四、京の   二、京の   二	薬剤師と医薬品に係る法規範 II	実務実習事前学修 病院実習 1	病院実習2、薬局実習、学部連携 病棟実習、学部連携地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域
(2)薬剤師と医薬品等に係る法規範				//:mx.大日 !	// 1/15大日、丁卯建乃地保险旅天自	2.小大日
【①薬剤師の社会的位置づけと責任に係る法規範】						
1)薬剤師に関わる法令とその構成について説明できる。		薬剤師と医薬品に係る法規範I				
2) 薬剤師免許に関する薬剤師法の規定について説明できる。		薬剤師と医薬品に係る法規範I				
3) 薬剤師の任務や業務に関する薬剤師法の規定とその意義について説明できる。		個人・集団・社会と健康 薬剤師と医薬品に係る法規範 I				
4) 薬剤師以外の医療職種の任務に関する法令の規定について概説できる。		薬剤師と医薬品に係る法規範I				
5) 医療の理念と医療の担い手の責務に関する医療法の規定とその意義について説明できる。	法学 (選)	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅰ				
6) 医療提供体制に関する医療法の規定とその意義について説明できる。	法学(選)	薬剤師と医薬品に係る法規範I				
7) 個人情報の取扱いについて概説できる。	初年次体験実習、アカデミックス キルズ、地域医療入門		薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ		病院実習1、病院実習2、薬局実 習、学部連携病棟実習、学部連携 地域医療実習	学部連携病棟実習、学部連携地域 医療実習

平成25年度改訂版・菓学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)		1		科目	1	
②医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保に係る法規範】	1年	2年	3年	4年	5年	6年
8) 薬剤師の刑事責任、民事責任(製造物責任を含む)について概説できる。		薬剤師と医薬品に係る法規範I	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	l		
<ul><li>1) 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の目的及び医薬品等(医薬品(薬)</li></ul>		未州師と区未明に床る仏苑彰1	未判師と位未聞に示る仏成彰エ			
「)「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び女主性の腫体等に関する法律」の目的及び医薬品等(医薬品(来 医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品)、医薬部外品、化粧品、医療機器、再生医療等 製品)の定義について		薬剤師と医薬品に係る法規範 I	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
企業的、安田寺位業的、 阪市位業的/、位業的/F的、10位的、位源版語、共工位派寺 表面/ の定義について 明できる。		米州即と区未加に床る仏苑配1	未州即と区未加に示る仏が記ュ			
2) 医薬品の開発から承認までのプロセスと法規範について概説できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ		医薬品評価と開発	
2) 医染品の開発から承認までのプロセスと法規制について概説できる。 3) 治験の意義と仕組みについて概説できる。			楽剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ		医薬品評価と開発	
					医柴品評価と開発	
4) 医薬品等の製造販売及び製造に係る法規範について説明できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
5)製造販売後調査制度及び製造販売後安全対策について説明できる。		***************************************	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
6)薬局、医薬品販売業及び医療機器販売業に係る法規範について説明できる。		薬剤師と医薬品に係る法規範I	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
7) 医薬品等の取扱いに関する「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の規定		薬剤師と医薬品に係る法規範 I	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
こついて説明できる。						
8) 日本薬局方の意義と構成について説明できる。		薬剤師と医薬品に係る法規範 I 医薬品の検出と定量				
9) 生物由来製品の取扱いと血液供給体制に係る法規範について説明できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
10) 健康被害教済制度について説明できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
11) レギュラトリーサイエンスの必要性と意義について説明できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
[③特別な管理を要する薬物等に係る法規範]						
1) 麻薬、向精神薬、覚醒剤原料等の取扱いに係る規定について説明できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
2) 覚醒剤、大麻、あへん、指定薬物等の乱用防止規制について概説できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
3) 毒物劇物の取扱いに係る規定について概説できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
(3) 社会保障制度と医療経済			-			
【①医療、福祉、介護の制度】						
1) 日本の社会保障制度の枠組みと特徴について説明できる。	地域医療入門		社会保障制度と医療経済			
2) 医療保険制度について説明できる。			社会保障制度と医療経済			
3)療養担当規則について説明できる。			社会保障制度と医療経済			
4) 公費負担医療制度について概説できる。			社会保障制度と医療経済			
5) 介護保険制度について概説できる。			社会保障制度と医療経済			
6)薬価基準制度について概説できる。			社会保障制度と医療経済			
7) 調剤報酬、診療報酬及び介護報酬の仕組みについて概説できる。			社会保障制度と医療経済			
7) 副刑報師、診察報酬及び川設報酬のは私のについて佩託できる。 【②医薬品と医療の経済性】			社会体障制度と医療程度	ļ		
		T	A.人口除制力 1 医库存性	T		
1) 医薬品の市場の特徴と流通の仕組みについて概説できる。			社会保障制度と医療経済			
2) 国民医療費の動向について概説できる。			社会保障制度と医療経済			
3)後発医薬品とその役割について説明できる。			社会保障制度と医療経済			
4)薬物療法の経済評価手法について概説できる。			社会保障制度と医療経済		l	
(4)地域における薬局と薬剤師						
<b>【①地域における薬局の役割】</b>						
1) 地域における薬局の機能と業務について説明できる。	地域医療入門		社会保障制度と医療経済	地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	症候と疾患推測、学部連携地域医 療実習、薬局実習	学部連携地域医療実習
2) 医薬分業の意義と動向を説明できる。			社会保障制度と医療経済		薬局実習	
3) かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義について説明できる。			社会保障制度と医療経済	地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	薬局実習	
4) セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。			社会保障制度と医療経済	地域医療とプライマリ・ケア	症候と疾患推測、薬局実習	
				実務実習事前学修		
5) 災害時の薬局の役割について説明できる。				地域医療とプライマリ・ケア	薬局実習	
6) 医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる。			社会保障制度と医療経済		薬局実習	
【②地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師】						
1) 地域包括ケアの理念について説明できる。	地域医療入門	在宅チーム医療と倫理 TBL II	社会保障制度と医療経済、学部連携チーム医療PBLII・在宅ケア	地域医療とプライマリ・ケア、学 部連携チーム医療PBLIII ・在宅チーム医療と倫理TBLIII	学部連携地域医療実習、薬局実習	学部連携地域医療実習
2) 在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。	地域医療入門	在宅チーム医療と倫理 TBL II	社会保障制度と医療経済、学部連携チーム医療PBLII・在宅ケア		学部連携地域医療実習、薬局実習	学部連携地域医療実習
3) 学校薬剤師の役割について説明できる。		生活環境と健康	社会保障制度と医療経済	地域医療とプライマリ・ケア	薬局実習	
4) 地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。	地域医療入門		社会保障制度と医療経済	地域医療とプライマリ・ケア	学部連携地域医療実習、薬局実習	学部連携地域医療実習
5) 地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について討議する。(知識・態度)			社会保障制度と医療経済	地域医療とプライマリ・ケア	学部連携地域医療実習、薬局実習	
・ 東半基礎		1	The second of th		,	
1 物質の物理的性質						
(1) 物質の構造						
(1) 物質必需量 [①化学結合]						
Mintales	生命活動を担う分子(生命の基本			1		
1) 化学結合の様式について説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位),基礎サイエンス実習,化学 の基礎	物質の構造				

		<b>数当料目</b>							
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
2) 分子軌道の基本概念および軌道の混成について説明できる。	化学の基礎	物質の構造				01			
	有機化合物の構造と性質, 化学の								
3) 共役や共鳴の概念を説明できる。	基礎	物質の構造							
②分子間相互作用】									
1) ファンデルワールス力について説明できる。	薬となる化合物の構造と性質,化	物質の構造			応用薬学演習				
., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., .	学の基礎	1335 1132							
2) 静電相互作用について例を挙げて説明できる。	薬となる化合物の構造と性質、化	物質の構造			応用薬学演習				
	学の基礎, 物理の基礎 薬となる化合物の構造と性質, 化			+					
3) 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。	業となる化合物の構造と性負, 化 学の基礎	物質の構造			応用薬学演習				
	薬となる化合物の構造と性質、化								
4) 分散力について例を挙げて説明できる。	学の基礎	物質の構造			応用薬学演習				
こ) 水本なんについて向す券はて翌四でも2	薬となる化合物の構造と性質,基	<b>地所の様</b> 生			<b>广田茶墨凉</b> 丽				
5) 水素結合について例を挙げて説明できる。	礎サイエンス実習, 化学の基礎	物質の構造			応用薬学演習				
6) 電荷移動相互作用について例を挙げて説明できる。	薬となる化合物の構造と性質、化	物質の構造			応用薬学演習				
o, while white to the transfer of	学の基礎	1/19C ** 117/2		<u> </u>	70/11/4 7 //4 1				
7) 疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。	薬となる化合物の構造と性質,化	物質の構造			応用薬学演習				
	学の基礎			<u> </u>					
③原子・分子の拳動】	化学の基礎、基礎サイエンス実			1					
1) 電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。	化学の基礎、基礎サイエンス美 習、物理の基礎	物質の構造			応用薬学演習				
	化学の基礎、基礎サイエンス実習、								
2) 分子の振動、回転、電子遷移について説明できる。	物理の基礎	物質の構造			応用薬学演習				
3) 電子や核のスピンとその磁気共鳴について説明できる。	化学の基礎, 物理の基礎				応用薬学演習				
4) 光の屈折、偏光、および旋光性について説明できる。		物質の構造							
5) 光の散乱および干渉について説明できる。	基礎サイエンス実習, 物理の基礎	物質の構造							
6) 結晶構造と回折現象について概説できる。		物質の構造							
④放射線と放射能】			•	•	•	•			
1) 原子の構造と放射壊変について説明できる。	化学の基礎	物質の構造		放射性医薬品の利用と管理					
2) 電離放射線の種類を列挙し、それらの性質および物質との相互作用について説明できる。	化学の基礎	物質の構造、生活環境と健康		放射性医薬品の利用と管理					
3) 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。		物質の構造		放射性医薬品の利用と管理					
4)核反応および放射平衡について説明できる。		物質の構造		放射性医薬品の利用と管理					
5) 放射線測定の原理と利用について概説できる。		物質の構造		放射性医薬品の利用と管理					
(2)物質のエネルギーと平衡									
【①気体の微視的状態と巨視的状態】									
1) ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。		物質の状態と変化			応用薬学演習				
2) 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
3) エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
②エネルギー】									
1) 熱力学における系、外界、境界について説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
2) 熱力学第一法則を説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
3) 状態関数と経路関数の違いを説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
4) 定圧過程、定容過程、等温過程、断熱過程を説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
5) 定容熱容量および定圧熱容量について説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
6) エンタルピーについて説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
7) 化学変化に伴うエンタルピー変化について説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
③自発的な変化】									
1) エントロピーについて説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
2) 熱力学第二法則について説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
3) 熱力学第三法則について説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
- 7 ////	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化			応用薬学演習				
4) ギブズエネルギーについて説明できる。			1	1	応用薬学演習				
<ul><li>4) ギブズエネルギーについて説明できる。</li><li>5) 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。</li></ul>	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化							
<ul><li>4) ギブズェネルギーについて説明できる。</li><li>5) 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。</li><li>④化学平衡の原理】</li></ul>	熱力学・化学平衡概論								
<ul> <li>4) ギブズェネルギーについて説明できる。</li> <li>5) 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。</li> <li>(④化学平衡の原理)</li> <li>1) ギブズェネルギーと化学ポテンシャルの関係を説明できる。</li> </ul>	熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化	溶液の性質		応用薬学演習				
<ul> <li>4) ギブズエネルギーについて説明できる。</li> <li>5) 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。</li> <li>(④化学平衡の原理)</li> <li>1) ギブズエネルギーと化学ボテンシャルの関係を説明できる。</li> <li>2) ギブズエネルギーと平衡定数の関係を説明できる。</li> </ul>	熟力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化 物質の状態と変化	溶液の性質		応用薬学演習				
<ul> <li>4) ギブズエネルギーについて説明できる。</li> <li>5) 熱力学開数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。</li> <li>②化学平衡の原理)</li> <li>1) ギブズエネルギーと化学ボテンシャルの関係を説明できる。</li> <li>2) ギブズエネルギーと平衡定数の関係を説明できる。</li> <li>3) 平衡定数に及ぼす圧力および温度の影響について説明できる。</li> </ul>	熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化 物質の状態と変化 物質の状態と変化	溶液の性質		応用薬学演習 応用薬学演習				
4) ギブズエネルギーについて説明できる。 5) 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。 (②化学平衡の原理) 1) ギブズエネルギーと化学ポテンシャルの関係を説明できる。 2) ギブズエネルギーと平衡定数の関係を説明できる。 3) 平衡定数に及ぼす圧力および温度の影響について説明できる。 4) 共役反応の原理について説明できる。	熟力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化 物質の状態と変化	溶液の性質		応用薬学演習				
4) ギブズエネルギーについて説明できる。 5) 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。  ④化学平衡の原理 1) ギブズエネルギーと化学ボテンシャルの関係を説明できる。 2) ギブズエネルギーと平衡定数の関係を説明できる。 3) 平衡定数に及ぼす圧力および温度の影響について説明できる。 4) 共役反応の原理について説明できる。 (⑤相平衡)	熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化 物質の状態と変化 物質の状態と変化			応用薬学演習 応用薬学演習 応用薬学演習				
<ul> <li>4) ギブズエネルギーについて説明できる。</li> <li>5) 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。</li> <li>(④化学平衡の原理)</li> <li>1) ギブズエネルギーと化学ボテンシャルの関係を説明できる。</li> <li>2) ギブズエネルギーと平衡定数の関係を説明できる。</li> <li>3) 平衡定数に及ぼす圧力および温度の影響について説明できる。</li> <li>4) 共役反応の原理について説明できる。</li> <li>(6) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4</li></ul>	熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化 物質の状態と変化 物質の状態と変化	溶液の性質		応用薬学演習 応用薬学演習 応用薬学演習 応用薬学演習				
4) ギブズエネルギーについて説明できる。 5) 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。 (④化学平衡の原理】 1) ギブズエネルギーと化学ボテンシャルの関係を説明できる。 2) ギブズエネルギーと平衡定数の関係を説明できる。 3) 平衡定数に及ぼす圧力および温度の影響について説明できる。 4) 共役反応の原理について説明できる。 (⑤相平衡)	熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論 熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化 物質の状態と変化 物質の状態と変化			応用薬学演習 応用薬学演習 応用薬学演習				

				~ -		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	<b>科目</b> 4年	5年	6年
1) 希薄溶液の束一的性質について説明できる。	熱力学・化学平衡概論		溶液の性質	·	応用薬学演習	·
2) 活量と活量係数について説明できる。	熱力学・化学平衡概論		溶液の性質		応用薬学演習	
3) 電解質溶液の電気伝導率およびモル伝導率の濃度による変化を説明できる。	熱力学・化学平衡概論		溶液の性質		応用薬学演習	
4) イオン強度について説明できる。	熱力学・化学平衡概論		溶液の性質		応用薬学演習	
【⑦電気化学】		•		!		+
1) 起電力とギブズエネルギーの関係について説明できる。			溶液の性質	l	応用薬学演習	
2) 電極電位 (酸化還元電位) について説明できる。		化学平衡	溶液の性質		応用薬学演習	
(3) 物質の変化		100	THE TOTAL SECTION ASSESSMENT OF THE PROPERTY O		TO THE TANK I	
[①反応速度]						
		物質の状態と変化、有機化合物の	)			
1) 反応次数と速度定数について説明できる。		反応			応用薬学演習	
2) 微分型速度式を積分型速度式に変換できる。(知識・技能)		物質の状態と変化			応用薬学演習	
3) 代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。		物質の状態と変化、有機化合物の反応			応用薬学演習	
4) 代表的な(擬) 一次反応の反応速度を測定し、速度定数を求めることができる。(技能)		初貝の住員・方析・製剤化と製剤 試験法 実習			応用薬学演習	
5) 代表的な複合反応(可逆反応、平行反応、連続反応など)の特徴について説明できる。		物質の状態と変化			応用薬学演習	
6) 反応速度と温度との関係を説明できる。	熱力学・化学平衡概論	物質の状態と変化、物質の性質・			応用薬学演習	
0/	※ 刀子・1C子干! 関係譜	分析・製剤化と製剤試験法 実習			心用架子演首	
7) 代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応、酵素反応など)について説明できる。		物質の状態と変化			応用薬学演習	
C2 化学物質の分析						
(1)分析の基礎						
【①分析の基本】						
1) 分析に用いる器具を正しく使用できる。 (知識・技能)	基礎サイエンス実習	物質の性質・分析・製剤化と製剤 試験法 実習				
2) 測定値を適切に取り扱うことができる。 (知識・技能)	基礎サイエンス実習	物質の性質・分析・製剤化と製剤				
	生成ノーンハス日	試験法 実習				
3) 分析法のバリデーションについて説明できる。		医薬品の検出と定量	臨床で用いる分析技術			
(2)溶液中の化学平衡						
【①酸·塩基平衡】						
1)酸・塩基平衡の概念について説明できる。	熱力学・化学平衡概論, 基礎サイ エンス実習	化学平衡、薬学基礎から薬物治療 へ 演習	!		応用薬学演習	
	熱力学・化学平衡概論, 基礎サイ					
2) pH および解離定数について説明できる。 (知識・技能)	エンス実習	化学平衡			応用薬学演習	
	熱力学・化学平衡概論, 基礎サイ	物質の性質・分析・製剤化と製剤				
3)溶液の pH を測定できる。(技能)	エンス実習	試験法 実習	'		応用薬学演習	
	熱力学・化学平衡概論, 基礎サイ					
4) 緩衝作用や緩衝液について説明できる。	エンス実習	化学平衡			応用薬学演習	
【②各種の化学平衡】						
1) 錯体・キレート生成平衡について説明できる。	基礎サイエンス実習	化学平衡		I	応用薬学演習	
2) 沈殿平衡について説明できる。	基礎サイエンス実習	化学平衡			応用薬学演習	
3)酸化還元平衡について説明できる。	基礎サイエンス実習	化学平衡			応用薬学演習	
4) 分配平衡について説明できる。		化学平衡			応用薬学演習	
(3) 化学物質の定性分析・定量分析		•	•			
【①定性分析】						
1) 代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。	基礎サイエンス実習	医薬品の検出と定量			応用薬学演習	
2) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。		医薬品の検出と定量			応用薬学演習	
【②定量分析(容量分析·重量分析)】				•		
		物質の性質・分析・製剤化と製剤	ı	l		
1) 中和滴定(非水滴定を含む)の原理、操作法および応用例を説明できる。		試験法 実習 、医薬品の検出と定			応用薬学演習	
		量				
2) キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		医薬品の検出と定量		İ	応用薬学演習	
3) 沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		医薬品の検出と定量		1	応用薬学演習	
4)酸化還元滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。	基礎サイエンス実習	医薬品の検出と定量		1	応用薬学演習	
		物質の性質・分析・製剤化と製剤				
5) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の容量分析を実施できる。(知識・技能)		試験法 実習 、医薬品の検出と定			応用薬学演習	
The second secon		量			1	
6) 日本薬局方収載の代表的な純度試験を列挙し、その内容を説明できる。		医薬品の検出と定量			応用薬学演習	
7) 日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。		医薬品の検出と定量			応用薬学演習	
(4)機器を用いる分析法			·	1	1.0710010 2 720 100	
【①分光分析法】						
1)紫外可視吸光度測定法の原理および応用例を説明できる。	基礎サイエンス実習		臨床で用いる分析技術	1		
. / No. / Sound or Sunday Managed on Contribute moved of Co.	生化ノーンハスロ	L	CONTRACTOR OF STREET	1	1	_1

			<b>6</b> 4 W	- M - B		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	i <b>科 目</b> 4年	5年	6年
2) 蛍光光度法の原理および応用例を説明できる。		2.7	臨床で用いる分析技術	7.7	0.7	07
3) 赤外吸収(IR) スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。	物理の基礎,基礎サイエンス実習		機器分析			
4) 原子吸光光度法、誘導結合プラズマ (ICP) 発光分光分析法および ICP 質量分析法の原理および応用例を	·					
明できる。			臨床で用いる分析技術			
5) 旋光度測定法(旋光分散)の原理および応用例を説明できる。			機器分析			
6) 分光分析法を用いて、日本薬局方収載の代表的な医薬品の分析を実施できる。(技能)			臨床で用いる分析技術			
【②核磁気共鳴(NMR)スペクトル測定法】			•		·	•
1)核磁気共鳴(NMR)スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。	化学の基礎, 物理の基礎		機器分析		応用薬学演習	
[③質量分析法]						
1) 質量分析法の原理および応用例を説明できる。			機器分析			
【④×輸分析法】						
1) X線結晶解析の原理および応用例を概説できる。			機器分析			
2) 粉末 X 線回折測定法の原理と利用法について概説できる。		物質の構造				
[⑤熱分析]			T			
1) 熱重量測定法の原理を説明できる。			機器分析			
2) 示差熱分析法および示差走査熱量測定法について説明できる。		<u> </u>	機器分析			
(5) 分離分析法	4					
【①クロマトグラフィー】	甘味はノテンフ中間		吹巾 マロハフハビサル	1		
1) クロマトグラフィーの分離機構を説明できる。	基礎サイエンス実習		臨床で用いる分析技術	<del> </del>		
<ul><li>2)薄層クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。</li><li>3)液体クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。</li></ul>	基礎サイエンス実習	-	臨床で用いる分析技術 臨床で用いる分析技術	薬毒物と中毒	+	
3) 液体クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。 4) ガスクロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。	+		臨床で用いる分析技術 臨床で用いる分析技術	楽毒物と中毒		
4) カスケロマトグラフィーの特徴とれ扱的な検団法を説明できる。 5) クロマトグラフィーを用いて試料を定性・定量できる。(知識・技能)	+	-	臨床で用いる分析技術	栄毒物と中毒	+	
5) クロマトグラフィーを用いて試料を定性・定量できる。 (知識・技能) 【②電気泳動法】			臨床で用いる方析技術			
1)電気泳動法の原理および応用例を説明できる。			臨床で用いる分析技術	T		
(6) <b>臨床現場で用いる分析技術</b>		<u>.</u>	臨床で用いる方が技術			
【①分析の準備】	4					
1) 分析目的に即した試料の前処理法を説明できる。			臨床で用いる分析技術	薬毒物と中毒	1	T
2) 臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。	-		臨床で用いる分析技術	米母物と干母		
[②分析技術]		•	Maprice Transfer Williams			
1) 臨床分析で用いられる代表的な分析法を列挙できる。	1		臨床で用いる分析技術			
2) 免疫化学的測定法の原理を説明できる。	+		臨床で用いる分析技術			
3) 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明できる。	1		臨床で用いる分析技術			
4) 代表的なドライケミストリーについて概説できる。	1		臨床で用いる分析技術			
5) 代表的な画像診断技術 (X線検査、MRI、超音波、内視鏡検査、核医学検査など) について概説できる。		人体の成り立ちと機能(実習)	臨床で用いる分析技術			
C3 化学物質の性質と反応				•		
(1) 化学物質の基本的性質						
[①基本事項]						
1)代表的な化合物を IUPAC 規則に基づいて命名することができる。	有機化合物の構造と性質, 化学の 基礎	官能基の化学 有機化合物の反応			応用薬学演習	
	有機化合物の構造と性質。	官能基の化学				
2) 薬学領域で用いられる代表的な化合物を慣用名で記述できる。	化学の基礎,基礎サイエンス実習				応用薬学演習	
	有機化合物の構造と性質。	F 18 10 11 1900 X 10				
3)基本的な化合物を、ルイス構造式で書くことができる。	化学の基礎				応用薬学演習	
4) 有機化合物の性質と共鳴の関係について説明できる。	有機化合物の構造と性質。	有機化合物の反応			応用薬学演習	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	化学の基礎			1	7071A 1 MB	
5) ルイス酸・塩基、ブレンステッド酸・塩基を定義することができる。	有機化合物の構造と性質,基礎サ				応用薬学演習	
	イエンス実習		_			
6) 基本的な有機反応(置換、付加、脱離)の特徴を理解し、分類できる。	有機化合物の構造と性質,基礎サ イエンス実習	有機化合物の反応			応用薬学演習	
7)炭素原子を含む反応中間体(カルボカチオン、カルボアニオン、ラジカル)の構造と性質を	有機化合物の構造と性質					
説明できる。	化学の基礎	有機化合物の反応	1	1	応用薬学演習	
8) 反応の過程を、エネルギー図を用いて説明できる。	有機化合物の構造と性質	有機化合物の反応	i		応用薬学演習	
9) 基本的な有機反応機構を、電子の動きを示す矢印を用いて表すことができる。(技能)	有機化合物の構造と性質	有機化合物の反応			応用薬学演習	
【②有機化合物の立体構造】						
1)様本界が仕し立仕界が仕の含いについて説明できて	生命活動を担う分子(生命の基本	ち掛ル合物のFゥ			応用薬学演習	
1) 構造異性体と立体異性体の違いについて説明できる。	単位), 化学の基礎, 薬学演習	有機化合物の反応		<u> </u>	心用架子淚首	
2)キラリティーと光学活性の関係を概説できる。	有機化合物の構造と性質				応用薬学演習	
3) エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。	有機化合物の構造と性質		医薬品の化学		応用薬学演習	
4) ラセミ体とメソ体について説明できる。	有機化合物の構造と性質		医薬品の化学		応用薬学演習	
5) 絶対配置の表示法を説明し、キラル化合物の構造を書くことができる。(知識、技能)	有機化合物の構造と性質、薬学演	有機化合物の反応			応用薬学演習	
マルルのお店屋やな小角を助りし、イフルに自物が特定で言くことがくても。(ABB)	習	15 DK 10 D 1970/JX 10			70/ 用未丁次目	

<del> </del>	数当科目								
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
6) 炭素—炭素二重結合の立体異性 (cis, trans ならびに E,Z 異性) について説明できる。	有機化合物の構造と性質、薬学演習	有機化合物の反応			応用薬学演習	·			
7) フィッシャー投影式とニューマン投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。(技能)	有機化合物の構造と性質		医薬品の化学						
8) エタン、ブタンの立体配座とその安定性について説明できる。	有機化合物の構造と性質,薬学演習								
(2) 有機化合物の基本骨格の構造と反応 【①アルカン】					•				
1) アルカンの基本的な性質について説明できる。	化学の基礎				応用薬学演習				
2) アルカンの構造異性体を図示することができる。(技能)	化学の基礎				応用薬学演習				
3)シクロアルカンの環のひずみを決定する要因について説明できる。	化学の基礎				応用薬学演習				
4)シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向(アキシアル、エクアトリアル)を図示できる。(技能)	化学の基礎、薬学演習				応用薬学演習				
5) 置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。	化学の基礎				応用薬学演習				
[②アルケン・アルキン]		T			I				
1) アルケンへの代表的な付加反応を列挙し、その特徴を説明できる。		有機化合物の反応			応用薬学演習				
2) アルケンの代表的な酸化、還元反応を列挙し、その特徴を説明できる。		有機化合物の反応			応用薬学演習				
3) アルキンの代表的な反応を列挙し、その特徴を説明できる。		有機化合物の反応			応用薬学演習				
【③芳香族化合物】 1) (4)まかた美天体岩ルマホル合物の状態に反応性を説明できる	化学の基礎	京北甘のル学			応用薬学演習				
1) 代表的な芳香族炭化水素化合物の性質と反応性を説明できる。     2) 芳香族性の概念を説明できる。	化学の基礎	官能基の化学 官能基の化学	+	+	応用薬学演習 応用薬学演習	+			
2) 方音族性の概念を説明できる。 3) 芳香族炭化水素化合物の求電子置換反応の反応性、配向性、置換基の効果について説明できる。	ルチの基礎	官能基の化学			応用薬学演習	<del>                                     </del>			
3) 方音族成化が系化自物の水電子直接及応の及応性、能向性、直接基の効果について説明できる。 4) 代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。		官能基の化学	生体分子の化学		応用薬学演習				
5) 代表的な芳香族複素環の求電子置換反応の反応性、配向性、置換基の効果について説明できる。		官能基の化学	生体分子の化学		応用薬学演習				
(3) 官能基の性質と反応		日配金の化子	工体力10元子	!	心用未于灰目				
【①仮説】									
1) 代表的な官能基を列挙し、性質を説明できる。	基礎サイエンス実習	官能基の化学			応用薬学演習				
2) 官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。(技能)	2.00	医薬品の化学(実習)			応用薬学演習				
【②有機ハロゲン化合物】		- Jean - 10 1 (34 E)	•	•	TOTAL TOTAL	•			
1) 有機ハロゲン化合物の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		有機化合物の反応			応用薬学演習				
2) 求核置換反応の特徴について説明できる。	基礎サイエンス実習	有機化合物の反応 薬学基礎から薬物治療へ 演習			応用薬学演習				
3) 脱離反応の特徴について説明できる。		有機化合物の反応			応用薬学演習				
<b>【③アルコール・フェノール・エーテル】</b>									
1) アルコール、フェノール類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		官能基の化学			応用薬学演習				
2) エーテル類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		官能基の化学			応用薬学演習				
<b>【④アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体】</b>									
1)アルデヒド類およびケトン類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		官能基の化学	生体分子の化学		応用薬学演習				
2)カルボン酸の基本的性質と反応を列挙し、説明できる。			生体分子の化学		応用薬学演習				
<ol> <li>カルボン酸誘導体(酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド)の基本的性質と反応を 列挙し、説明できる。</li> </ol>		薬学基礎から薬物治療へ 演習	生体分子の化学		応用薬学演習				
【⑤アミン】									
1) アミン類の基本的性質と反応を列挙し、説明できる。			生体分子の化学		応用薬学演習				
【⑥電子効果】									
1) 官能基が及ぼす電子効果について概説できる。		官能基の化学	生体分子の化学						
【⑦酸性度・塩基性度】		T			T				
1) アルコール、フェノール、カルボン酸、炭素酸などの酸性度を比較して説明できる。		官能基の化学	生体分子の化学		応用薬学演習				
2) 含窒素化合物の塩基性度を比較して説明できる。			生体分子の化学		応用薬学演習				
(4) 化学物質の構造決定 F(3)(4)(2)(4)(4)(4)(4)(4)(5)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)									
【①核磁気共鳴(NIR)】	小类の	I	₩ 叩 八 七		<b>大口茶类</b> 物面				
1) <sup>1</sup> H および <sup>13</sup> C NMR スペクトルより得られる情報を概説できる。	化学の基礎, 物理の基礎		機器分析	1	応用薬学演習	1			
2) 有機化合物中の代表的プロトンについて、おおよその化学シフト値を示すことができる。	di ym o de ree		機器分析	+	応用薬学演習				
3) H NMR の積分値の意味を説明できる。	物理の基礎		機器分析		応用薬学演習				
4) H MMR シグナルが近接プロトンにより分裂(カップリング)する基本的な分裂様式を説明できる。			機器分析	1	応用薬学演習				
5) 代表的な化合物の部分構造を <sup>1</sup> H NMR から決定できる。(技能)			機器分析		応用薬学演習				
【②赤外吸収(IR)】	**************************************	1	1# 00 / \ Jr						
1) IR スペクトルより得られる情報を概説できる。	基礎サイエンス実習、物理の基礎		機器分析	+	+				
2) IR スペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。 (知識・技能)	基礎サイエンス実習,物理の基礎		機器分析						
【③賞量分析】			14% 00 // Jr						
1)マススペクトルより得られる情報を概説できる。			機器分析	+	+				
2) 測定化合物に適したイオン化法を選択できる。(技能)			機器分析	+	+				
3) ピークの種類(基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク) を説明できる。			機器分析	+	+				
4) 代表的な化合物のマススペクトルを解析できる。(技能)		1	機器分析			L			

	鉄当科目							
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
【④総合演習】								
1) 代表的な機器分析法を用いて、代表的な化合物の構造決定ができる。(技能)			機器分析					
(5) 無機化合物・儲体の構造と性質					•	·		
<b>〖①無機化合物・錯体〗</b>								
1) 代表的な典型元素と遷移元素を列挙できる。	化学の基礎,基礎サイエンス実習		生体分子の化学					
2) 代表的な無機酸化物、オキソ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。			生体分子の化学					
3) 活性酸素と窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。			生体分子の化学					
4) 代表的な錯体の名称、構造、基本的な性質を説明できる。	化学の基礎,基礎サイエンス実習		生体分子の化学					
5) 医薬品として用いられる代表的な無機化合物、および錯体を列挙できる。			生体分子の化学					
C4 生体分子・医薬品の化学による理解								
(1) 医薬品の標的となる生体分子の構造と化学的な性質								
【①医薬品の標的となる生体高分子の化学構造】		T		T	T	T		
<ol> <li>代表的な生体高分子を構成する小分子(アミノ酸、糖、脂質、ヌクレオチドなど)の構造に基づく化学的性質を説明できる。</li> </ol>	化学の基礎, 基礎サイエンス実習		医薬品の化学					
2) 医薬品の標的となる生体高分子(タンパク質、核酸など)の立体構造とそれを規定する化学 結合、相互作用について説明できる。	薬学演習	薬の作用と生体内運命	医薬品の化学					
【②生体内で機能する小分子】		•	-	*				
1) 細胞膜受容体および細胞内(核内) 受容体の代表的な内因性リガンドの構造と性質について 概説できる。		薬の作用と生体内運命	医薬品の化学					
2) 代表的な補酵素が酵素反応で果たす役割について、有機反応機構の観点から説明できる。			医薬品の化学					
3) 活性酸素、一酸化窒素の構造に基づく生体内反応を化学的に説明できる。		薬の作用と生体内運命	医薬品の化学					
4) 生体内に存在する代表的な金属イオンおよび錯体の機能を化学的に説明できる。		来の下がで工作が定事	医薬品の化学					
(2) 生体反応の化学による理解			STACHES IO 1		•	•		
【①生体内で機能するリン、硫黄化合物】								
1) リン化合物(リン酸誘導体など)および硫黄化合物(チオール、ジスルフィド、チオエステル								
など)の構造と化学的性質を説明できる。			医薬品の化学					
2 )リン化合物(リン酸誘導体など)および硫黄化合物(チオール、ジスルフィド、チオエステル			E#0.5##					
など)の生体内での機能を化学的性質に基づき説明できる。			医薬品の化学					
[②酵素阻害剤と作用様式]								
1) 不可逆的酵素阻害薬の作用を酵素の反応機構に基づいて説明できる。				薬となる化合物の構造と性質				
2) 基質アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明できる。				薬となる化合物の構造と性質				
3) 遷移状態アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明できる。				薬となる化合物の構造と性質				
<b>【③受容体のアゴニストおよびアンタゴニスト】</b>								
1) 代表的な受容体のアゴニスト(作用薬、作動薬、刺激薬)とアンタゴニスト(拮抗薬、遮断薬)		薬の作用と生体内運命		薬となる化合物の構造と性質				
との相違点について、内因性リガンドの構造と比較して説明できる。								
2) 低分子内因性リガンド誘導体が医薬品として用いられている理由を説明できる。		薬の作用と生体内運命		薬となる化合物の構造と性質				
【④生体内で起こる有機反応】					•			
1) 代表的な生体分子(脂肪酸、コレステロールなど)の代謝反応を有機化学の観点から説明できる。				薬となる化合物の構造と性質				
2) 異物代謝の反応 (発がん性物質の代謝的活性化など) を有機化学の観点から説明できる。				薬となる化合物の構造と性質	l			
(3) 医薬品の化学構造と性質、作用								
【①医薬品と生体分子の相互作用】		T		T	T			
1) 医薬品と生体分子との相互作用を化学的な観点(結合親和性と自由エネルギー変化、電子効果、				薬となる化合物の構造と性質				
立体効果など)から説明できる。 【②医薬品の化学構造に基づく性質】						1		
1) 医薬品の構造からその物理化学的性質(酸性、塩基性、疎水性、親水性など)を説明できる。				薬となる化合物の構造と性質	1	1		
1) 医楽品の構造からての物理化学的性質(酸性、塩基性、味が性、親が性など)を説明できる。 2) プロドラッグなどの薬物動態を考慮した医薬品の化学構造について説明できる。			医薬品・化学物質の代謝反応	楽となる化合物の構造と性質				
2) プロトプックなどの架物動態を考慮した医楽品の心子構造に Jいて説明できる。 【③医薬品のコンポーネント】			区采品 化子彻貝切代别及心	来となる化日初の構造と任真				
1) 代表的な医薬品のファーマコフォアについて概説できる。				薬となる化合物の構造と性質				
1) 代表的な医染品のファーマコフォアについて、概念できる。 2) パイオアイソスター(生物学的等価体)について、代表的な例を挙げて概説できる。		<del> </del>	+	楽となる化合物の構造と性質		1		
3) 医薬品に含まれる代表的な複素環を構造に基づいて分類し、医薬品コンポーネントとしての性質			<u> </u>			+		
を説明できる。				薬となる化合物の構造と性質				
であってこの。 【 <b>②酵素に作用する医薬品の構造と性質</b> 】								
1) ヌクレオシドおよび核酸塩基アナログを有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質に					I	1		
ついて説明できる。				薬となる化合物の構造と性質				
2) フェニル酢酸、フェニルプロピオン酸構造などをもつ代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく				薬となる化合物の構造と性質				
性質について説明できる。		<del>                                     </del>				+		
3) スルホンアミド構造をもつ代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		<del>                                     </del>		薬となる化合物の構造と性質		+		
4) キノロン骨格をもつ代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		<del>                                     </del>		薬となる化合物の構造と性質		+		
5) β-ラクタム構造をもつ代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		<del>                                     </del>		薬となる化合物の構造と性質		+		
6) ペプチドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 『企業のたけ、作用する医薬品の過去とは表す				薬となる化合物の構造と性質				
【⑤受容体に作用する医薬品の構造と性質】 1)カニューリマミンの機体を方式を使事め原薬日本列業」、ル学様本に甘づく地質について説明できる		薬の効き方		<b>並したてル合編の様としは</b> が	I	T		
1) カテコールアミン骨格を有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		木切刈さ刀		薬となる化合物の構造と性質	1	_1		

	Ī		<b>数</b> 业	科目		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2) アセチルコリンアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	·	薬の効き方	·	薬となる化合物の構造と性質	·	·
3) ステロイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。				薬となる化合物の構造と性質		
4) ベンゾジアゼピン骨格およびバルビタール骨格を有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。				薬となる化合物の構造と性質		
5) オピオイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。				薬となる化合物の構造と性質		
【⑥DNA に作用する医薬品の構造と性質】					•	
1) DNAと結合する医薬品(アルキル化剤、シスプラチン類)を列挙し、それらの化学構造と反応機構を 説明できる。				薬となる化合物の構造と性質		
2) DNAにインターカレートする医薬品を列挙し、それらの構造上の特徴を説明できる。				薬となる化合物の構造と性質		
3) DNA鎖を切断する医薬品を列挙し、それらの構造上の特徴を説明できる。				薬となる化合物の構造と性質		
【 <b>⑦イオンチャネルに作用する医薬品の構造と性質】</b> 1) イオンチャネルに作用する医薬品の代表的な基本構造 (ジヒドロピリジンなど) の特徴を説明できる。			薬と疾病(循環器系疾患)	薬となる化合物の構造と性質		
1) 11/ファヤイルに作用する医染血の代表的な基本情返(シミトロミリシンなど)の特徴を試明できる。 C 薬学基礎			梁 C 疾病(循環番系疾患)	楽となる化合物の構造と性具		
C5 自然が生み出す薬物						
(1) 薬になる動植鉱物						
【①薬用植物】						
1) 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを挙げることができる。	漢方薬になる動植鉱物					
2) 代表的な薬用植物を外部形態から説明し、区別できる。 (知識、技能)	漢方薬になる動植鉱物 薬用植物・生薬演習					
3) 植物の主な内部形態について説明できる。	薬用植物・生薬演習					
4) 法律によって取り扱いが規制されている植物(ケシ、アサ)の特徴を説明できる。		薬の宝庫としての天然物		漢方医学の実践		
[②生薬の基原]				1	1	
<ol> <li>日本薬局方収載の代表的な生薬(植物、動物、藻類、菌類由来)を列挙し、その基原、薬用部位を 説明できる。</li> </ol>	漢方薬になる動植鉱物				応用薬学演習	
[③生薬の用途]						
1) 日本薬局方収載の代表的な生薬(植物、動物、藻類、菌類、鉱物由来)の薬効、成分、用途などを 説明できる。	漢方薬になる動植鉱物				応用薬学演習	
2) 副作用や使用上の注意が必要な代表的な生薬を列挙し、説明できる。				漢方医学の実践	応用薬学演習	
[④生薬の同定と品質評価]						
1) 生薬の同定と品質評価法について概説できる。	漢方薬になる動植鉱物 薬用植物・生薬演習				応用薬学演習	
2) 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。	漢方薬になる動植鉱物 薬用植物・生薬演習				応用薬学演習	
3) 代表的な生薬を鑑別できる。(技能)	漢方薬になる動植鉱物 薬用植物・生薬演習				応用薬学演習	
4) 代表的な生薬の確認試験を説明できる。	漢方薬になる動植鉱物 薬用植物・生薬演習	薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
5) 代表的な生薬の純度試験を説明できる。	漢方薬になる動植鉱物 薬用植物・生薬演習				応用薬学演習	
(2)薬の宝庫としての天然物						
[①生薬由来の生物活性物質の構造と作用]						
1) 生薬由来の代表的な生物活性物質を化学構造に基づいて分類し、それらの生合成経路を概説できる。		薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
2) 脂質や糖質に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。		薬の宝庫としての天然物 薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
3) 芳香族化合物に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。 4) テルペノイド、ステロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を	+		+	+	応用薬学演習	+
4) アルベノイト、ステロイトに方知される主楽由未の代表的な主物活性物員を列挙し、その作用を 説明できる。		薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
5) アルカロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。		薬の宝庫としての天然物		<u> </u>	応用薬学演習	
【②微生物由来の生物活性物質の構造と作用】				_		
1) 微生物由来の生物活性物質を化学構造に基づいて分類できる。		薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
2)微生物由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。		薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
【③天然生物活性物質の取扱い】  1) 工作生物等の企事的な特別は、公験特別はも振りし、中性でもよ (知等 は他)		薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
1) 天然生物活性物質の代表的な抽出法、分離精製法を概説し、実施できる。(知識、技能) 【④天然生物活性物質の利用】		米の主座としての天然初		<u> </u>	心用来于供自	
1) 医薬品として使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明できる。		薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
		薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
3) 農薬や香粧品などとして使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明できる。		薬の宝庫としての天然物			応用薬学演習	
(6) 生命現象の基礎 (1) 細胞の構造と機能						
11:金曜の日本と書記						

			**	当科目		
平成25年度改訂版・菓学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1) 細胞膜を構成する代表的な生体成分を列挙し、その機能を分子レベルで説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)、基礎サイエンス実習	薬の作用と生体内運命、生命活動 を担う分子(物質輸送とエネル ギー産生)	b .		応用薬学演習	
2) エンドサイトーシスとエキソサイトーシスについて説明できる。	生命活動を担う分子 (生命の基本 単位)	薬の作用と生体内運命、生命活動 を担う分子(物質輸送とエネル ギー産生)	b		応用薬学演習	
[②細胞小器官]					<u> </u>	T
<ol> <li>細胞小器官(核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ベルオキシソームなど)や リボソームの構造と機能を説明できる。</li> </ol>	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)、基礎サイエンス実習	生命活動を担う分子(物質輸送と エネルギー産生)			応用薬学演習	
[③細胞骨格]	1 100 7 100 7 1 - 2 1 2 1 1	171 1 //				
1) 細胞骨格の構造と機能を説明できる。		生命活動を担う分子(細胞の構造・機能と情報伝達)			応用薬学演習	
(2)生命現象を担う分子		垣・饿肥と情報伝達/				
[①脂質]						
1) 代表的な脂質の種類、構造、性質、役割を説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)、生命活動を担う分子(細 胞構成因子)		医薬品の化学	分子・細胞から生理・病態へ		
[②輸責]	#AT#### 17.07 /#An##				T	
1) 代表的な単糖、二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)		医薬品の化学			
2) 代表的な多糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位),生命活動を担う分子(細胞 構成因子)、薬学演習		医薬品の化学			
[③アミノ酸]					<u> </u>	
1) アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)、基礎サイエンス実習、生 命活動を担う分子(細胞構成因 子)		医薬品の化学			
[④タンパク質]	17					
1)タンパク質の構造(一次、二次、三次、四次構造)と性質を説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因	1	医薬品の化学			
【⑤ヌクレオチドと核酸】	子),薬学演習					
1)ヌクレオチドと核酸(DNA、RNA)の種類、構造、性質を説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)、生命活動を担う分子(細 胞構成因子)		医薬品の化学			
[⑥ピタミン]			T		T	T
1) 代表的なビタミンの種類、構造、性質、役割を説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)				
【⑦微量元素】						
1) 代表的な必須微量元素の種類、役割を説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)	1				
【⑧生体分子の定性、定量】	17					
1) 脂質、糖質、アミノ酸、タンパク質、もしくは核酸の定性または定量試験を実施できる。(技能)		生命体の成り立ち実習				
(3) 生命活動を担うタンパク質 【①タンパク質の構造と機能】						
<ol> <li>多彩な機能をもつタンパク質(酵素、受容体、シグナル分子、膜輸送体、運搬・輸送タンパク質、 貯蔵タンパク質、構造タンパク質、接着タンパク質、防御タンパク質、調節タンパク質)を列挙し</li> </ol>	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)、生命活動を担う分子(細	造・機能と情報伝達)、薬の作用	1		応用薬学演習	
概説できる。 【 <b>②タンパク質の成熟と分解</b> 】	胞構成因子)	と生体内運命				
1) タンパク質の翻訳後の成熟過程(細胞小器官間の輸送や翻訳後修飾)について説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)	生命活動を担う分子(物質輸送と エネルギー産生)			応用薬学演習	
2) タンパク質の細胞内での分解について説明できる。		生命活動を担う分子(物質輸送と エネルギー産生)	:		応用薬学演習	
[③辭未]						
1) 酵素反応の特性と反応速度論を説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)	生命体の成り立ち 実習				
2) 酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因子)	生命体の成り立ち 実習				
3) 代表的な酵素活性調節機構を説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)	生命体の成り立ち 実習				
4) 酵素反応速度を測定し、解析できる。(技能)	T/	生命体の成り立ち 実習				
[④酵素以外のタンパク質]						

			***	科目		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)膜輸送体の種類、構造、機能を説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)	薬の作用と生体内運命、生命活動を担う分子(物質輸送とエネルギー産生)、薬の作用と生体内運命				
2) 血漿リポタンパク質の種類、構造、機能を説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)		分子・細胞から生理・病態へ		
(4) 生命情報を担う遺伝子						
[①概論]				ı		ı
1) 遺伝情報の保存と発現の流れを説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本単位)、生命活動を担う分子(細胞構成因子)				応用薬学演習	
2) DNA、適伝子、染色体、ゲノムとは何かを説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因子)、生命活動を担う分子(細胞構成因子)				応用薬学演習	
【②遺伝情報を担う分子】						
1) 染色体の構造(ヌクレオソーム、クロマチン、セントロメア、テロメアなど)を説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因子)、生命活動を担う分子(細胞構成因子)				応用薬学演習	
2) 遺伝子の構造 (プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど) を説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)				応用薬学演習	
3) RNA の種類(hnRNA、mRNA、rRNA、tRNA など)と機能について説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因子)、生命活動を担う分子(細胞構成因子)				応用薬学演習	
【③遺伝子の複製】		1		1		1
1)DNA の複製の過程について説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)					
【④転写・翻訳の過程と調節】						
1) DNA から RNA への転写の過程について説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)					
2) エビジェネティックな転写制御について説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)					
3) 転写因子による転写制御について説明できる。	生命活動を担う分子 (細胞構成因子)					
4) RNA のプロセシング(キャップ構造、スプライシング、snRNP、ポリA鎖など)について説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因子)					
5) RNA からタンパク質への翻訳の過程について説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)					
【⑤遺伝子の変異・修復】	17					
1) DNA の変異と修復について説明できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)					
【⑥組換え DNA】			T	ı		ı
<ol> <li>遺伝子工学技術(遺伝子クローニング、cDNA クローニング、PCR、組換えタンパク質発現法など)を概説できる。</li> </ol>			生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)		応用薬学演習	
2) 遺伝子改変生物 (遺伝子導入・欠損動物、クローン動物、遺伝子組換え植物) について概説できる。 (5) 生体エネルギーと生命活動を支える代謝系			生命活動を担う分子 (ゲノム情報 とバイオ医薬品)		応用薬学演習	
(6) 生体エイルキーと生命活動を支える代謝系 【① 振論】						
1)エネルギー代謝の概要を説明できる。		生命活動を担う分子(物質輸送と エネルギー産生)、生命活動を担 う分子(代謝とその調節)		分子・細胞から生理・病態へ		
【②ATP の産生と糖質代謝】				1		1
1) 解糖系及び乳酸の生成について説明できる。	単位)	生命活動を担う分子(物質輸送と エネルギー産生)	医薬品の化学			
2) クエン酸回路(TCA サイクル)について説明できる。	単位)	生命活動を担う分子 (物質輸送と エネルギー産生)	医薬品の化学			
3) 電子伝達系(酸化的リン酸化) と ATP 合成酵素について説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)	エネルヤー産王)	医薬品の化学			
4) グリコーゲンの代謝について説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)、薬学基礎から薬物治療へ 演習		分子・細胞から生理・病態へ		

元-07を元-12年度 - 英単松-マーマー		族 当 科 目							
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
5) 糖新生について説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)、薬学基礎から薬物治療へ		分子・細胞から生理・病態へ					
【③脂質代謝】		演習							
I WAR I VALUE		生命活動を担う分子(代謝とその		I					
1) 脂肪酸の生合成と $\beta$ 酸化について説明できる。		調節)、薬学基礎から薬物治療へ 演習							
2) コレステロールの生合成と代謝について説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)、薬学基礎から薬物治療へ		分子・細胞から生理・病態へ					
		演習							
[④飢餓状態と飽食状態]		To a section 5 to 5	T						
1) 飢餓状態のエネルギー代謝(ケトン体の利用など)について説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)							
2) 余剰のエネルギーを蓄えるしくみを説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)							
【⑤その他の代謝系】		BE S PRO S			•				
1) アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝 (尿素回路など) について説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)							
2) ヌクレオチドの生合成と分解について説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)							
3) ベントースリン酸回路について説明できる。		生命活動を担う分子(代謝とその 調節)							
(6) 額胎間コミュニケーションと細胞内情報伝達 【① 探論】		1817 MIT MIT M	!	<b>,</b>	<b>,</b>				
LU WEI		薬の作用と生体内運命、生命活動	ı	I					
1) 細胞間コミュニケーションにおける情報伝達様式を説明できる。		を担う分子(細胞の構造、機能と情報伝達)			応用薬学演習				
【②細胞内情報伝達】					•				
		生命活動を担う分子(細胞の構							
1) 細胞膜チャネル内蔵型受容体を介する細胞内情報伝達について説明できる。		造、機能と情報伝達)、薬の作用 と生体内運命	医薬品の化学		応用薬学演習				
2) 細胞膜受容体から G タンパク系を介する細胞内情報伝達について説明できる。		生命活動を担う分子(細胞の構造、機能と情報伝達)、薬の作用	医薬品の化学		応用薬学演習				
		と生体内運命							
		生命活動を担う分子(細胞の構							
3) 細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。		造、機能と情報伝達)、薬の作用	医薬品の化学		応用薬学演習				
	+	と生体内運命 生命活動を担う分子(細胞の構							
4) 細胞内情報伝達におけるセカンドメッセンジャーについて説明できる。		造、機能と情報伝達)、薬の作用	医薬品の化学		応用薬学演習				
		と生体内運命							
		生命活動を担う分子(細胞の構							
5)細胞内(核内)受容体を介する細胞内情報伝達について説明できる。		造、機能と情報伝達)、薬の作用 と生体内運命	医薬品の化学		応用薬学演習				
【③頼胞間コミュニケーション】		C工作7注即							
1) 細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。		生命活動を担う分子							
1) 細胞间の接着構造、主な細胞接着ガナの性類と特徴を説明できる。		(細胞の構造、機能と情報伝達)							
2) 主な細胞外マトリックス分子の種類と特徴を説明できる。		生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)							
(7) 細胞の分裂と死									
【①賴胞分裂】									
1) 細胞周期とその制御機構について説明できる。	生命活動を担う分子 (細胞構成 子)、基礎サイエンス実習	因 生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)							
2) 体細胞と生殖細胞の細胞分裂について説明できる。	人体の成り立ちと機能(総論)、 基礎サイエンス実習	<ul><li>生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)</li></ul>							
[②細胞死]		(神田元の)神理、1成形と1月報1公達)							
		生理から病態へ、生命活動を担う							
1)細胞死(アポトーシスとネクローシス)について説明できる。	人体の成り立ちと機能(総論)	分子(細胞の構造、機能と情報伝達)	:						
[③がん細胞]		AE/							
1) 正常細胞とがん細胞の違いについて説明できる。		生命活動を担う分子							
・/ 上の神色にいいの神色のなどのないにといっていめい。		(細胞の構造、機能と情報伝達)							

			* *	科目		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2) がん遺伝子とがん抑制遺伝子について概説できる。		生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)		分子・細胞から生理・病態へ		
C7 人体の成り立ちと生体機能の調節					•	
(1)人体の成り立ち						
1) 遺伝子と遺伝のしくみについて概説できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)、生命活動を担う分子(細 胞構成因子)	人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝)	生命活動を担う分子(ゲノム情報 とバイオ医薬品)			
2) 遺伝子多型について概説できる。		人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝)	生命活動を担う分子(ゲノム情報 とバイオ医薬品)、医薬品・化学 物質の代謝反応			
3) 代表的な遺伝疾患を概説できる。		人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝)	医薬品・化学物質の代謝反応			
[②発生]						
1) 個体発生について概説できる。	人体の成り立ちと機能(総論)	人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝)				
2) 細胞の分化における幹細胞、前駆細胞の役割について概説できる。	生命活動を担う分子(細胞構成因 子)	人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝)				
[③器官系統論]				·		
1)人体を構成する器官、器官系の名称、形態、体内での位置および機能を説明できる。	人人体の成り立ちと機能(神経・ 骨格・筋・消化器)、基礎サイエ ンス実習、人体の成り立ちと機能 (総論)	人体の成り立ちと機能(実習)			応用薬学演習	
2) 組織、器官を構成する代表的な細胞の種類(上皮、内皮、間葉系など)を列挙し、形態的および 機能的特徴を説明できる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器)	人体の成り立ちと機能 (実習)			応用薬学演習	
3) 実験動物・人体模型・シミュレーターなどを用いて各種臓器の名称と位置を確認できる。(技能)	基礎サイエンス実習	人体の成り立ちと機能 (実習)				
4) 代表的な器官の組織や細胞を顕微鏡で観察できる。 (技能) 【 <b>④神経系</b> 】	基礎サイエンス実習	人体の成り立ちと機能 (実習)	Į			
1 ( ) 中枢神経系について概説できる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器・呼吸器)		薬と疾病(神経・精神系)		応用薬学演習	
2) 末梢(体性・自律)神経系について概説できる。		人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、消化器、泌尿器)、薬の効 き方			応用薬学演習	
【⑤骨格系·筋肉系】						
1) 骨、筋肉について概説できる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器・呼吸器)、人体の成り立ちと機能(総論)	人体の成り立ちと機能(実習)				
2) 代表的な骨格筋および関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器・呼吸器)、人体の成り立ちと機能(総論)					
【⑥皮膚】		Hartist   1800   1400   1500			1	l
1) 皮膚について概説できる。		人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、消化器、泌尿器) (実習)				
【①情课器系】				1		I
1) 心臓について概説できる。	人体の成り立ちと機能(総論)人 体の成り立ちと機能(神経・骨 格・筋・消化器)基礎サイエンス 実習、人体の成り立ちと機能(総 論)				応用薬学演習	
2) 血管系について概説できる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器)基礎サイエンス 実習				応用薬学演習	
3) リンパ管系について概説できる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器)	人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝) (実習)			応用薬学演習	
【⑧呼吸器系】						
1) 肺、気管支について概説できる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器・呼吸器)、基礎サイエンス実習、人体の成り立ちと機能(総論)	人体の成り立ちと機能(実習)			応用薬学演習	
[⑤消化器系]					•	•

			<b>************************************</b>	科目		
平成25年度改訂版・菓学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1) 胃、小腸、大腸などの消化管について概説できる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器・呼吸器)、基礎 サイエンス実習	人体の成り立ちと機能 (実習)			応用薬学演習	
2) 肝臓、膵臓、胆囊について概説できる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器・呼吸器)、基礎 サイエンス実習	人体の成り立ちと機能(実習)			応用薬学演習	
[⑪泌尿器系]		I	1			I
1) 泌尿器系について概説できる。	基礎サイエンス実習	人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、消化器、泌尿器)(実習)			応用薬学演習	
【⑪生殖器系】						
1) 生殖器系について概説できる。	基礎サイエンス実習	人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝) (実習)			応用薬学演習	
[⑪内分泌系]		I	1	<u> </u>	1	T
1) 内分泌系について概説できる。		人体の成り立ちと機能(循環器、 内分泌、生殖器、血液、遺伝) (実習)、生命活動を担う分子 (代謝とその調節)			応用薬学演習	
[①感覚器系]						
1) 感覚器系について概説できる。		人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、消化器、泌尿器)			応用薬学演習	
【⑭血液·造血器系】	甘醂サイエンフ字型 トはのはり	人体の成り立ちと機能(循環器・	1	1		T
1) 血液・造血器系について概説できる。	立ちと機能(総論)	血液・内分泌・生殖器・遺伝)			応用薬学演習	
(2) 生体機能の関節	_					
【①神経による関節機構】		人体の成り立ちと機能(神経、感	ı			1
1) 神経細胞の興奮と伝導、シナブス伝達の調節機構について説明できる。		覚器、消化器、泌尿器) 薬の効き方			応用薬学演習	
2) 代表的な神経伝達物質を挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。		人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、消化器、泌尿器) 薬の効き方			応用薬学演習	
3) 神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。		人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、消化器、泌尿器)			応用薬学演習	
4) 神経による筋収縮の調節機構について説明できる。	人体の成り立ちと機能(神経・骨格・筋・消化器・呼吸器)	人体の成り立ちと機能(循環器、 内分泌、生殖器、血液、遺伝)			応用薬学演習	
【②ホルモン・内分泌系による関節機構】		1	1			1
1) 代表的なホルモンを挙げ、その産生器官、生理活性および作用機構について概説できる。	人体の成り立ちと機能(総論)	人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝)生 理から病態へ、生命活動を担う分 子(代謝とその調節)		分子・細胞から生理・病態へ	応用薬学演習	
【③オータコイドによる関節機構】						1
1) 代表的なオータコイドを挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。		生理から病態へ、人体の成り立ち と機能(循環器・血液・内分泌・ 生殖器・遺伝)、生命活動を担う 分子(代謝とその調節)	生体時御長広の広田と制御	分子・細胞から生理・病態へ	応用薬学演習	
【④サイトカイン・増殖因子による調節機構】		T	T	1	1	T
1) 代表的なサイトカイン、増殖因子を挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。		生理から病態へ、人体の成り立ち と機能(循環器・血液・内分泌・ 生殖器・遺伝)、生命活動を担う 分子(代謝とその調節)	生体防御反応の応用と制御		応用薬学演習	
【⑤血圧の調節機構】						
1)血圧の調節機構について概説できる。	基礎サイエンス実習	人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝)、 生理から病態へ、生命活動を担う 分子(細胞の構造、機能と情報伝達)			応用薬学演習	
【⑥血糖の調節機構】						I
1) 血糖の調節機構について概説できる。		生理から病態へ、生命活動を担う 分子(細胞の構造、機能と情報伝達)	薬と疾病(代謝系·内分泌系疾 患)	分子・細胞から生理・病態へ	応用薬学演習	
【⑦体液の関節】						

			<b>a.</b> a)	# B		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	<b>科 目</b> 4年	5年	6年
1) 体液の調節機構について概説できる。	人体の成り立ちと機能(総論)	人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、皮膚、消化器、泌尿器)生 理から病態へ			応用薬学演習	
2) 尿の生成機構、尿量の調節機構について概説できる。	人体の成り立ちと機能 (総論)	人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、皮膚、消化器、泌尿器)			応用薬学演習	
[⑧体温の調節]						
1) 体温の調節機構について概説できる。	基礎サイエンス実習	人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、皮膚、消化器、泌尿器)	:		応用薬学演習	
[⑨血液凝固・輸溶系]						
1) 血液凝固・線溶系の機構について概説できる。		人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝)、 生理から病態へ			応用薬学演習	
【⑪性周期の調節】		*				
1) 性周期の調節機構について概説できる。		人体の成り立ちと機能(循環器・ 血液・内分泌・生殖器・遺伝)、 (実習)			応用薬学演習	
C8 生体防御と微生物						
(1) 身体をまもる 【① 生体防御反応】						
		生体防御反応を担う組織、細胞、			T	
1) 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアー、および補体の役割について説明できる。	感染症とバイオセーフティ(選)	分子 生体防御反応を担う組織、細胞、			応用薬学演習	
2) 免疫反応の特徴(自己と非自己の識別、特異性、多様性、クローン性、記憶、寛容)を説明できる。	感染症とバイオセーフティ (選)	生体防御及応を担う組織、細胞、 分子 生体防御反応を担う組織、細胞、			応用薬学演習	
3) 自然免疫と獲得免疫、および両者の関係を説明できる。	感染症とバイオセーフティ (選)	分子			応用薬学演習	
4) 体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。	感染症とバイオセーフティ (選)	生体防御反応を担う組織、細胞、 分子			応用薬学演習	
【②免疫を担当する組織・細胞】		4.4m+4m=++10.24m44 4mmh	T		1	
1)免疫に関与する組織を列挙し、その役割を説明できる。	感染症都バイオセーフティ (選)	生体防御反応を担う組織、細胞、 分子			応用薬学演習	
2) 免疫担当細胞の種類と役割を説明できる。	感染症とバイオセーフティ(選)	生体防御反応を担う組織、細胞、 分子			応用薬学演習	
3) 免疫反応における主な細胞間ネットワークについて説明できる。		生体防御反応を担う組織、細胞、 分子			応用薬学演習	
<b>【③分子レベルで見た免疫のしくみ】</b>				•	1	•
1) 自然免疫および獲得免疫における異物の認識を比較して説明できる。	感染症とバイオセーフティ(選)	生体防御反応を担う組織、細胞、 分子			応用薬学演習	
2) MHC 抗原の構造と機能および抗原提示での役割について説明できる。		生体防御反応を担う組織、細胞、 分子			応用薬学演習	
3) $I$ 細胞と $B$ 細胞による抗原認識の多様性(遺伝子再構成)と活性化について説明できる。		生体防御反応を担う組織、細胞、 分子			応用薬学演習	
4)抗体分子の基本構造、種類、役割を説明できる。	感染症とバイオセーフティ(選)	生体防御反応を担う組織、細胞、 分子			応用薬学演習	
5) 免疫系に関わる主なサイトカインを挙げ、その作用を概説できる。		生命活動を担う分子 (代謝とその 調節)	生体防御反応の応用と制御		応用薬学演習	
(2)免疫系の制御とその破綻・免疫系の応用						
【① 免疫応答の制御と破綻】  1) 炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。		生理から病態へ	生体防御反応の応用と制御	分子・細胞から生理・病態へ	応用薬学演習	1
<ol> <li>アレルギーを分類し、担当細胞および反応機構について説明できる。</li> </ol>			生体防御反応の応用と制御 薬と疾病(免疫・アレルギー)	分子・細胞から生理・病態へ	応用薬学演習	
3) 自己免疫疾患と免疫不全症候群について概説できる。			生体防御反応の応用と制御薬と疾病(免疫・アレルギー)		応用薬学演習	
4) 臓器移植と免疫反応の関わり(拒絶反応、免疫抑制剤など)について説明できる。			生体防御反応の応用と制御薬と疾病(免疫・アレルギー)		応用薬学演習	
5) 感染症と免疫応答との関わりについて説明できる。	感染症とバイオセーフティ(選)	生理から病態へ	生体防御反応の応用と制御		応用薬学演習	
6) 腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。			生体防御反応の応用と制御		応用薬学演習	
【② 免疫反応の利用】		T			1	
<ol> <li>ワクチンの原理と種類(生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチンなど)について 説明できる。</li> </ol>	感染症とバイオセーフティ(選)	個人・集団・社会と健康	生体防御反応の応用と制御	日常生活と健康	応用薬学演習	
2) モノクローナル抗体とポリクローナル抗体について説明できる。		1	生体防御反応の応用と制御		応用薬学演習	<del> </del>
3) 血清療法と抗体医薬について概説できる。 4) 抗原抗体反応を利用した検査方法(ELISA 法、ウエスタンブロット法など)を実施できる。(技能)		+	生体防御反応の応用と制御 生体防御反応の応用と制御		応用薬学演習 応用薬学演習	
4)がはかが予以心を利用しに快宜力法(ELIOR 法、ソエスタンプロット法など)を美胞でさる。(技能)	L	1	エ评防御区心の心用と制御	1	心用架子澳百	L

<del>-</del>	1		<b>静态 3</b> 处	科 目		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(3) 微生物の基本						
(① 総論)						<u> </u>
1) 原核生物、真核生物およびウイルスの特徴を説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本	微生物と感染症			応用薬学演習	
[② 細菌]	単位)					
1) 細菌の分類や性質(系統学的分類、グラム陽性菌と陰性菌、好気性菌と嫌気性菌など)を説明できる。	基礎サイエンス実習	微生物と感染症			応用薬学演習	
2) 細菌の構造と増殖機構について説明できる。	基礎サイエンス実習	微生物と感染症			応用薬学演習	
3) 細菌の異化作用(呼吸と発酵) および同化作用について説明できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
4) 細菌の遺伝子伝達(接合、形質導入、形質転換) について説明できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
5)薬剤耐性菌および薬剤耐性化機構について概説できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
6) 代表的な細菌毒素について説明できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
[③ ウイルス]					1	
1) ウイルスの構造、分類、および増殖機構について説明できる。	生命活動を担う分子(生命の基本 単位)、感染症とバイオセーフ ティ(選)	微生物と感染症			応用薬学演習	
[④ 真菌·原虫·蠕虫]			•			
1) 真菌の性状を概説できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
2)原虫および蠕虫の性状を概説できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
【⑤ 消毒と滅菌】						
1)滅菌、消毒および殺菌、静菌の概念を説明できる。	基礎サイエンス実習	微生物と感染症		日常生活と健康	応用薬学演習	
2) 主な滅菌法および消毒法について説明できる。	基礎サイエンス実習	微生物と感染症	<u> </u>	<u> </u>	応用薬学演習	
[⑥ 検出方法]		4. A. 4. A. 4. 1. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.				
1) グラム染色を実施できる。 (技能) 2) 無菌操作を実施できる。 (技能)		生命体の成り立ち実習 生命体の成り立ち実習				
2) 無困慄作を美施できる。(技能) 3) 代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。(技能)		生命体の成り立ち実習				
3/10次的な胸図または兵圏の力能相接、純相接を失肥できる。 (技能) (4) 病原体としての微生物		工叩体の成り立ち天白				
【①感染の成立と共生】						
1) 感染の成立 (感染源、感染経路、侵入門戸など) と共生 (腸内細菌など) について説明できる。	感染症とバイオセーフティ(選)	微生物と感染症		日常生活と健康	応用薬学演習	
2) 日和見感染と院内感染について説明できる。	感染症とバイオセーフティ(選)			日常生活と健康	応用薬学演習	
【②代表的な病原体】						•
<ol> <li>DNA ウイルス (ヒトヘルペスウイルス、アデノウイルス、パピローマウイルス、B型肝炎ウイルスなど)について概説できる。</li> </ol>		微生物と感染症	薬と疾病(消化器)		応用薬学演習	
2) RNA ウイルス (ノロウイルス、ロタウイルス、ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコーウイルス、ライノウイルス、A型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、Cブロルエンザウイルス、麻疹ウイルス、風疹ウイルス、日本脳炎ウイルス、狂犬病ウイルス、ムンブスウイルス、HIV、HTLV など) について概談できる。	感染症とバイオセーフティ (選)	微生物と感染症	薬と疾病(消化器、呼吸器)		応用薬学演習	
3)グラム陽性球菌(ブドウ球菌、レンサ球菌など)およびグラム陽性桿菌(破傷風菌、ガス壊疽菌、ボッリヌス菌、ジフテリア菌、炭疽菌、セレウス菌、ディフィシル菌など)について概説できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
4) グラム陰性球菌(淋菌、髄膜炎菌など)およびグラム陰性桿菌(大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属菌、 チフス菌、エルシニア属菌、クレブシエラ属菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ、緑膿菌、 レジオネラ、インフルエンザ菌など)について概説できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
5) グラム陰性らせん菌(ヘリコバクター・ピロリ、カンピロバクター・ジェジュニ/コリなど)およびスピロ マータについて概説できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
6) 抗酸菌 (結核菌、らい菌など) について概説できる。	感染症とバイオセーフティ(選)	微生物と感染症			応用薬学演習	
7) マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアについて概説できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
8) 真菌 (アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル、白癬菌など) について概説できる。		微生物と感染症			応用薬学演習	
<ul><li>9)原虫(マラリア原虫、トキソプラズマ、膣トリコモナス、クリプトスポリジウム、赤痢アメーバなど)、蠕虫(回虫、鞭虫、アニサキス、エキノコックスなど)について概説できる。</li></ul>		微生物と感染症			応用薬学演習	
医療薬学						
(1) 業の作用と体の変化						
(1)薬の作用 [①薬の作用]						
1)薬の用量と作用の関係を説明できる。		薬の作用と生体内運命				応用薬学演習
2) アゴニスト(作用薬、作動薬、刺激薬)とアンタゴニスト(拮抗薬、遮断薬)について説明できる。		薬の作用と生体内運命		薬となる化合物の構造と性質		応用薬学演習
3) 薬物が作用するしくみについて、受容体、酵素、イオンチャネルおよびトランスポーターを例に 挙げて説明できる。		薬の作用と生体内運命		薬となる化合物の構造と性質		応用薬学演習
4) 代表的な受容体を列挙し、刺激あるいは遮断された場合の生理反応を説明できる。		薬の作用と生体内運命		薬となる化合物の構造と性質		応用薬学演習
7) (変数の)を大き中とガービ、ボルのののの (地面に かいて (地面に かいて ) (地面に かいて ) (地面に ) (		薬の作用と生体内運命		NO COURT INVITACILA		応用薬学演習
6) 薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。 (E4(1) 【②吸収】、【③分布】、【④代謝】、【⑤排泄】参照)		薬の作用と生体内運命	医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習

可亦作在本外的。 女弟长女子 二十 - 一 - 十 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	<b>放当科目</b>								
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
7) 薬物の選択 (禁忌を含む)、用法、用量の変更が必要となる要因 (年齢、疾病、妊娠等) について 具体例を挙げて説明できる。		薬の作用と生体内運命	医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習			
8) 薬理作用に由来する代表的な薬物相互作用を列挙し、その機序を説明できる。 (E4 (1) 【②吸収】5.【④代謝】5.【⑤抹泄】5.参照)		薬の作用と生体内運命				応用薬学演習			
9) 薬物依存性、耐性について具体例を挙げて説明できる。		薬の作用と生体内運命	薬と疾病(神経・精神系疾患)	薬毒物と中毒		応用薬学演習			
②動物実験】						•			
1) 動物実験における倫理について配慮できる。(態度)	基礎サイエンス実習		薬の効くプロセス 研究倫理と統計						
2) 実験動物を適正に取り扱うことができる。 (技能)			薬の効くプロセス						
3) 実験動物での代表的な投与方法が実施できる。(技能)			薬の効くプロセス						
③日本薬局方] 1)日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。			1	T	I	<u> </u>			
1) 口本楽向力収載の生物子的定量法の特徴を説明できる。 (2) 身体の病的変化を知る				ļ.		_			
①在候】									
1)以下の症候・病態について、生じる原因とそれらを伴う代表的疾患を挙げ、患者情報をもとに疾患を									
推測できる。 ショック、高血圧、低血圧、発熱、けいれん、意識障害・失神、チアノーゼ、脱水、全身倦怠感、 肥満・やせ、黄疸、発疹、貧血、出血傾向、リンバ節腫脹、浮腫、心悸亢進・動悸、胸水、胸痛、 呼吸困難、咳・痰、 血痰・喀血、めまい、頭痛、運動麻痺・不随意運動・筋力低下、腹痛、 悪心・嘔吐、嚥下困難・障害、食欲不振、 下痢・便秘、吐血・下血、腹部膨満(腹水を含む)、 タンパク 尿、血尿、尿量・排尿の異常、月軽異常、関節腫脹、腰背部痛、記憶障害、 知覚異常(しびれを含む)・神経痛、視力障害、聴力障害		生理から病態へ	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患) 薬と疾病(消化器系疾患) 薬と疾病(呼吸器疾患) 薬と疾病(呼吸器疾患) 薬と疾病(神経・精神系疾患)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)	症候と疾患推測	応用薬学演習			
②病態・臨床検査】			*						
1) 尿検査および糞便検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)						
			薬と疾病(消化器系疾患)						
2) 血液検査、血液凝固機能検査および脳脊髄液検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病(神経・精神系疾患)						
3) 血液生化学検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患) 薬と疾病(消化器系疾患) 薬と疾病(呼吸器系疾患)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)					
4) 免疫学的検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病(免疫・アレルギー性疾 患)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)					
5)動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病 (呼吸器疾患)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)					
6) 代表的な生理機能検査(心機能、腎機能、肝機能、呼吸機能等)、病理組織検査および画像検査の		生理から病態へ	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)					
検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。 7) 代表的な微生物検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。		薬と疾病 (感染症)	薬と疾病(消化器系疾患)						
8) 代表的なフィジカルアセスメントの検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病(消化器系疾患) 薬と疾病(呼吸器系疾患) 急性期医療と薬剤師						
(3) 薬物治療の位置づけ			TO IT WHEN C YOU THE						
<ol> <li>代表的な疾患における薬物治療、食事療法、その他の非薬物治療(外科手術など)の位置づけを 説明できる。</li> </ol>				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)	症例演習と薬物療法の実践				
2) 代表的な疾患における薬物治療の役割について、病態、薬効薬理、薬物動態に基づいて討議する。 (知識・技能)				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)					
4) 医薬品の安全性									
1) 薬物の主作用と副作用、毒性との関連について説明できる。		薬の作用と生体内運命	医薬品・化学物質の代謝反応		医薬品の副作用・有害事象				
2) 薬物の副作用と有害事象の違いについて説明できる。			医薬品・化学物質の代謝反応		医薬品の副作用・有害事象				
3) 以下の障害を呈する代表的な副作用疾患について、推定される原因医薬品、身体所見、検査所見 および対処方法を説明できる。 血液障害・電解質異常、肝障害、腎障害、消化器障害、循環器障害、精神障害、皮膚障害、 呼吸器障害、薬物アレルギー(ショックを含む)、代謝障害、筋障害			薬と疾病(消化器系疾患)	薬毒物と中毒	医薬品の副作用・有害事象				
4) 代表的薬害、薬物乱用について、健康リスクの観点から討議する。(態度)			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	薬毒物と中毒					
2. 薬理・病態・薬物治療									
1) 神経系の疾患と薬									
[①自律神経系に作用する薬]									
<ol> <li>交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な 副作用を説明できる。</li> </ol>		薬の効き方				応用薬学演習			
2) 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 主な副作用を説明できる。		薬の効き方				応用薬学演習			
3) 神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。		薬の効き方				応用薬学演習			
4) 自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)	1	薬の効き方	i i	1	1	応用薬学演習			

			<b>AL</b> 40	* -		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	<b>料目</b> 4年	5年	6年
1) 知覚神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を 説明できる。		薬の効き方	<u> </u>		5,	応用薬学演習
2) 運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。		薬の効き方				応用薬学演習
3) 知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)		薬の効き方				応用薬学演習
4) 以下の疾患について説明できる。 進行性筋ジストロフィー、Guillain-Barre´(ギラン・パレー) 症候群、重症筋無力症(重複)			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
[③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療]				-		
1) 全身麻酔薬、催眠薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
2) 麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用) および臨床適用 (WHO 三段階除痛ラダーを含む) を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
3) 中枢興奮薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
4) 統合失調症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
5) うつ病、躁うつ病 (双極性障害) について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用) 、 および病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
6) 不安神経症 (パニック障害と全般性不安障害)、心身症、不眠症について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の 選択等)を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
7) てんかんについて、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、 症状等)・薬物治療 (医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
8) 脳血管疾患(脳内出血、脳梗塞(脳血栓、脳塞栓、一過性脳虚血)、くも膜下出血)について、 治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の 選択等)を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
9) Parkinson (パーキンソン) 病について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用) 、 および病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
10) 認知症 (Alzheimer (アルツハイマー) 型認知症、脳血管性認知症等) について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の選択 等)を説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
11) 片頭痛について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状 等)・薬物治療(医薬品の選択等)について説明できる。			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
12) 中枢神経系に作用する薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)			薬の効くプロセス			
13) 中枢神経系疾患の社会生活への影響および薬物治療の重要性について討議する。 (態度)			薬と疾病(神経・精神系疾患), 薬と疾病チュートリアル1(神経 疾患)			
14) 以下の疾患について説明できる。 脳炎・髄膜炎(重複)、多発性硬化症(重複)、筋萎縮性側索硬化症、Narcolepsy (ナルコレブシー)、薬物依存症、アルコール依存症			薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
(分ルコレンシー)、果物は行症、アルコール以行症 【 <b>④化学構造と薬効</b> 】						
1)神経系の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)の関連を概説できる。		1	薬と疾病(神経·精神系疾患)	1		
(2) 免疫・火症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬 【①抗炎症薬】			X C N A CITY THE THE TRANSPORT			
1) 抗炎症薬 (ステロイド性および非ステロイド性) および解熱性鎮痛薬の薬理 (薬理作用、機序、 主な副作用) および臨床適用を説明できる。		薬学基礎から薬物治療へ 演習	薬と疾病(免疫アレルギー)、 薬と疾病(神経・精神系疾患)	分子・細胞から生理・病態へ		応用薬学演習
2) 抗炎症薬の作用機序に基づいて炎症について説明できる。		生理から病態へ、薬学基礎から薬 物治療へ 演習	Ref	分子・細胞から生理・病態へ		応用薬学演習
3) 創傷治癒の過程について説明できる。		生理から病態へ				
【②免疫・炎症・アレルギー疾患の薬、病態、治療】		•				
1) アレルギー治療薬(抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬等)の薬理(薬理作用、機序、主な副作用) および臨床適用を説明できる。		薬の効き方	薬と疾病 (免疫アレルギー)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
2) 免疫抑制薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。		薬の効き方	薬と疾病 (免疫アレルギー)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
3) 以下のアレルギー疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 アトビー性皮膚炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症、 消化管アレルギー、気管支端息(重複)			薬と疾病(免疫アレルギー) 薬と疾病(呼吸器)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
4) 以下の薬物アレルギーについて、原因薬物、病態(病態生理、症状等)および対処法を説明 できる。 Stevens-Johnson (スティーブンス-ジョンソン) 症候群、中毒性表皮壊死症(重複)、薬剤性 過敏症症候群、薬疹			薬と疾病(免疫アレルギー)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患) 薬毒物と中毒		応用薬学演習
5) アナフィラキシーショックについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病(免疫アレルギー)			応用薬学演習
6)以下の疾患について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 尋常性乾癬、水疱症、光線過敏症、ベーチェット病			薬と疾病(免疫アレルギー)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習

<u> </u>						
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	<b>科 目</b> 4年	5年	6年
7) 以下の臓器特異的自己免疫疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 パセドウ病(重複)、橋本病(重複)、悪性貧血(重複)、アジソン病、1型糖尿病(重複)、 重症筋無力症、多発性硬化症、特免性血小板減少性紫斑病、自己免疫性溶血性貧血(重複)、 シェーグレン症候群			薬と疾病(免疫アレルギー)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
8) 以下の全身性自己免疫疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 全身性エリテマトーデス、強皮症、多発筋炎/皮膚筋炎、関節リウマチ(重複)			薬と疾病(免疫アレルギー)			応用薬学演習
9) 臓器移植 (腎臓、肝臓、骨髄、臍帯血、輸血) について、拒絶反応および移植片対宿主病 (GVHD) の病態 (病態生理、症状等) - 薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。			薬と疾病(免疫アレルギー)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
【③骨・関節・カルシウム代謝疾患の薬、病態、治療】				# L + + (00 T + 0 mm) B 99 W		
1)関節リウマチについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(免疫アレルギー)	薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)		応用薬学演習
2) 骨粗鬆症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		生理から病態へ		薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)		応用薬学演習
3)変形性関節症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)		応用薬学演習
4) カルシウム代謝の異常を伴う疾患(副甲状腺機能亢進(低下)症、骨軟化症(くる病を含む)、 悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)		応用薬学演習
のよび 対象 (対応工程、近代等)、未物内域(位未用の歴代等)と此の C C る。 【 <b>②化学構造と薬効</b> 】				<u>.                                    </u>		
1) 免疫・炎症・アレルギー疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効 (薬理・薬物動態) の関連を概説できる。			薬と疾病(免疫アレルギー)	分子・細胞から生理・病態へ		応用薬学演習
(3) 信環器系・血液系・造血器系・泌尿器系・生殖器系の疾患と薬						
【①循環器系疾患の薬、病態、治療】						
1) 以下の不整派および関連疾患について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態 (病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の選択等)を説明できる。 不整脈の例示:上室性期外収縮(PAC)、心室性期外収縮(PVC)、心房細動(Af)、発作性上室 頻拍(PSVT)、WPM症候群、心室頻拍(VT)、心室細動(VT)、房室ブロック、0T延長症候群			薬と疾病(循環器系疾患)、薬と 疾病チュートリアル(循環器系疾 患)			応用薬学演習
2) 急性および慢性心不全について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用) 、および病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病 (循環器系疾患)			応用薬学演習
3) 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞) について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病チュートリアル (循環器 系疾患)	7		応用薬学演習
4) 以下の高血圧症について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用) 、および病態 (病態 生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の選択等)を説明できる。 本態性高血圧症、二次性高血圧症 (腎性高血圧症、腎血管性高血圧症を含む)			薬と疾病(循環器系疾患)			応用薬学演習
5) 以下の疾患について概説できる。 閉塞性動脈硬化症(ASO)、心原性ショック、弁膜症、先天性心疾患			薬と疾病(循環器系疾患)			応用薬学演習
6) 循環器系に作用する薬物の効果を動物実験で測定できる。 (技能) 【②血液・造血器系疾患の薬、病態、治療】			薬の効くプロセス			
1) 止血薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。		薬の効き方	T	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
2) 抗血栓薬、抗凝固薬および血栓溶解薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用 を説明できる。		薬の効き方		薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
3) 以下の貧血について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血(悪性貧血等)、再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血(AIHA)、 腎性貧血、鉄芽球性貧血		生理から病態へ		薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
4) 播種性血管内凝固症候群 (DIC) について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
5) 以下の疾患について治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 血友病、血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)、白血球減少症、血栓塞栓症、白血病(重複)、 悪性リンパ腫(重複) (E2 (7) 【⑧悪性腫瘍の薬、病態、治療】参照)				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習
【③泌尿器系、生殖器系疾患の薬、病態、薬物治療】						
1) 利尿薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。		薬の効き方	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習
2) 急性および慢性腎不全について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		生理から病態へ	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習

<u></u>						
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)		1	<b>)                                     </b>			
3) ネフローゼ症候群について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態	1 年	2年	3年 薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)	4年	5年	6年 応用薬学演習
生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。  4)過活動膀胱および低活動膀胱について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および			薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習
病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。  5)以下の泌尿器系疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 慢性腎臓病(KD)、糸球体腎炎(重複)、糖尿病性腎症(重複)、薬剤性腎症(重複)、腎盂腎炎(重複)、膀胱炎(重複)、尿路感染症(重複)、尿路結石			薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習
6) 以下の生殖器系疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 前立腺肥大症、子宮内膜症、子宮筋腫			薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習
7)妊娠・分娩・避妊に関連して用いられる薬物について、薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習
8) 以下の生殖器系疾患について説明できる。 異常妊娠、異常分娩、不妊症			薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習
[④化学構造と薬効]						
1) 循環系・泌尿器系・生殖器系疾患の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効 (薬理・薬物動態) の関連を概説できる。			薬と疾病(代謝系疾患) 薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			
(4) 呼吸器系・消化器系の疾患と薬						
【①呼吸器系疾患の薬、病態、治療】					T	
<ol> <li>気管支喘息について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。</li> </ol>			薬と疾病(呼吸器系疾患)		症例演習と薬物療法の実践	応用薬学演習
2) 慢性閉塞性肺疾患および喫煙に関連する疾患 (ニコチン依存症を含む) について、治療薬の 薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品 の選択等)を説明できる。			薬と疾病(呼吸器系疾患)			応用薬学演習
3) 間質性肺炎について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(呼吸器系疾患)			応用薬学演習
<ul><li>4) 鎮咳薬、去痰薬、呼吸興奮薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明 できる。</li></ul>			薬と疾病(呼吸器系疾患)			応用薬学演習
[②消化器系疾患の薬、病態、治療]					1	
1) 以下の上部消化器疾患について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用) 、および 病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。 胃食道巡流症 (逆流性食道炎を含む) 、消化性潰瘍、胃炎			薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
2) 炎症性腸疾患 (潰瘍性大腸炎、クローン病等) について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、 主な副作用) 、および病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。			薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
3) 肝疾患(肝炎、肝硬変(ウイルス性を含む)、薬剤性肝障害)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
4) 膵炎について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
5) 胆道疾患(胆石症、胆道炎)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
6)機能性消化管障害(過敏性腸症候群を含む)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な 副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
7) 便秘・下痢について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
8)悪心・嘔吐について、治療薬および関連薬物(催吐薬)の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
<ul><li>9) 寿について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・ 薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。</li></ul>			薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
【③化学構造と薬効】						
<ol> <li>1)呼吸器系・消化器系の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)の関連を概説できる。</li> </ol>			薬と疾病(消化器系疾患) 薬と疾病 (呼吸器)			
(5)代謝系・内分泌系の疾患と薬						
【①代謝系疾息の薬、病態、治療】 1) 糖尿病とその合併症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および		薬学基礎から薬物治療へ 演習	薬と疾病(代謝系・内分泌系疾		症例演習と薬物療法の実践	応用薬学演習
病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。  2) 脂質異常症について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用) 、および病態 (病態		薬学基礎から薬物治療へ 演習	悪)			応用薬学演習
生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。  3) 高尿酸血症・痛風について、治療薬の薬理(薬理作用、機体、主な副作用)、および病態			悪) 薬と疾病 (代謝系・内分泌系疾			応用薬学演習
(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 【②内分泌系疾患の薬、病態、治療】			忠)			

市会社を表現を記し、首集集本・デュー・デーリン・ランフ	飲 当 科 目						
平成25年度改訂版・菓学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
1) 性ホルモン関連薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。		薬の効き方	薬と疾病 (代謝系・内分泌系疾 患)			応用薬学演習	
2) Basedow (パセドウ) 病について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。			薬と疾病(代謝系・内分泌系疾 患)			応用薬学演習	
3) 甲状腺炎(慢性(橋本病)、亜急性)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(代謝系・内分泌系疾 患)			応用薬学演習	
4) 尿前症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬と疾病(代謝系・内分泌系疾 患)			応用薬学演習	
5)以下の疾患について説明できる。 先端巨大症、高プロラクチン血症、下垂体機能低下症、ADH不適合分泌症候群(SIADH)、副 甲状腺機能亢進症・低下症、Cushing(クッシング)症候群、アルドステロン症、褐色細胞腫、 副腎不全(急性、慢性)、子宮内膜症(重複)、アジソン病(重複)		生理から病態へ	薬と疾病 (代謝系・内分泌系疾 患)			応用薬学演習	
<b>②ル学構造と薬効</b> ] ○ 代謝系・内分布系の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)の			薬と疾病(代謝系・内分泌系疾患)			応用薬学演習	
関連を概説できる。 <b>3) 感覚器・皮膚の疾患と薬</b>							
D眼疾患の薬、病態、治療】							
1) 緑内障について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		人体の成り立ちと機能(神経、感 覚器、皮膚、消化器、泌尿器)	Ž.	薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)			
2) 白内障について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)			
3) 加齢性黄斑変性について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。				薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)			
1) 以下の疾患について概説できる。 結膜炎(重複)、網膜症、ぶどう膜炎、網膜色素変性症				薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)			
2耳鼻咽喉疾患の薬、病態、治療】							
1) めまい (動揺病、Meniere (メニエール) 病等) について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、 主な副作用) 、および病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。				薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)			
2) 以下の疾患について概説できる。 アレルギー性鼻炎(重複)、花粉症(重複)、副鼻腔炎(重複)、中耳炎(重複)、口内炎・ 咽頭炎・扁桃腺炎(重複)、喉頭蓋炎			薬と疾病(免疫・アレルギー)	薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)			
③皮膚疾患の薬、病態、治療】							
1) アトビー性皮膚炎について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (E2 (2) 【②免疫・炎症・アレルギーの薬、病態、治療】参照)				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)			
2) 皮膚真菌症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (E2 (7) 【⑤真菌感染症の薬、病態、治療】参照)				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)			
3) 褥瘡について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用) 、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)			
1) 以下の疾患について概説できる。 蕁麻疹(重複)、薬疹(重複)、水疱症(重複)、乾癬(重複)、接触性皮膚炎(重複)、光線 過敏症(重複)				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)			
D化学構造と薬効】							
) 感覚器・皮膚の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効 (薬理・薬物動態) の関連を 概説できる。							
) 病原微生物 (感染症) ・悪性新生物 (がん) と薬 (抗菌薬]							
以下の抗菌薬の薬理(薬理作用、機序、抗菌スペクトル、主な副作用、相互作用、組織移行性) および臨床適用を説明できる。 β-ラクタム系、テトラサイクリン系、マクロライド系、アミノ配糖体(アミノグリコシド)系、		薬と疾病(感染症)			症例演習と薬物療法の実践	応用薬学演習	
キノロン系、グリコペプチド系、抗結核薬、サルファ剤(ST合剤を含む)、その他の抗菌薬 2)細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤(ワクチン等)を挙げ、その作用機序を説明							
2. 相関的宏楽症に関係する代表的な生物学的製剤(ワクナン等)を挙げ、その作用機序を説明 できる。 2. 公共事業の <b>副性</b> ]		薬と疾病 (感染症)				応用薬学演習	
		薬と疾病 (感染症)	1	l	1	応用薬学演習	
1) 主要な抗困業の耐性獲得機構あよい耐性困出現への対応を説明できる。 3.細菌感染症の薬、病態、治療】		米C   大内   (窓米延)	1			心用来于典首	

	1					
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	<b>科目</b> 4年	5年	6年
1) 以下の呼吸器感染症について、病態 (病態生理、症状等)、感染経路と予防方法および薬物 治療 (医薬品の選択等)を説明できる。 上気道炎 (かぜ症候群 (大部分がウイルス感染症)を含む)、気管支炎、扁桃炎、細菌性肺炎、 肺結核、レジオネラ感染症、百日咳、マイコプラズマ肺炎		<u>-</u>	薬と疾病 (呼吸器)			応用薬学演習
2)以下の消化器感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等) を説明できる。 急性虫垂炎、胆囊炎、胆管炎、病原性大腸菌感染症、食中毒、ヘリコパクター・ピロリ感染症、 赤痢、コレラ、腸チフス、パラチフス、偽膜性大腸炎		薬と疾病(感染症)	薬と疾病(消化器系疾患)			応用薬学演習
3)以下の感覚器感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 副鼻腔炎、中耳炎、結膜炎		薬と疾病(感染症)		薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節 疾患)		応用薬学演習
4)以下の尿路感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎		薬と疾病 (感染症)	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習
5)以下の性感染症について、病態(病態生理、症状等)、予防方法および薬物治療(医薬品の 選択等)を説明できる。 梅毒、淋病、クラミジア症等		薬と疾病 (感染症)	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習
6) 脳炎、髄膜炎について、病態 (病態生理、症状等) および薬物治療 (医薬品の選択等) を 説明できる。		薬と疾病(感染症)	薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習
7) 以下の皮膚細菌感染症について、病態 (病態生理、症状等) および薬物治療 (医薬品の選択 等) を説明できる。 伝染性膿痂疹、丹毒、癰、毛囊炎、ハンセン病		薬と疾病 (感染症)				応用薬学演習
8) 感染性心内膜炎、胸膜炎について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の 選択等) を説明できる。		薬と疾病 (感染症)				応用薬学演習
9)以下の薬剤耐性菌による院内感染について、感染経路と予防方法、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 MRSA、VRE、セラチア、緑膿菌等		薬と疾病(感染症)				応用薬学演習
10) 以下の全身性細菌感染症について、病態 (病態生理、症状等) 、感染経路と予防方法および 薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。 ジフテリア、劇症型料料 β 溶血性連鎖球菌感染症、新生児B群連鎖球菌感染症、破傷風、敗血症		薬と疾病(感染症)				応用薬学演習
<b>【④ウイルス感染症およびプリオン病の薬、病態、治療】</b>		•	•	•		
1) ヘルペスウイルス感染症(単純ヘルペス、水症・帯状疱疹)について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、予防方法および病態(病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の選択等)を説明できる。		薬と疾病(感染症)				応用薬学演習
2) サイトメガロウイルス感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		薬と疾病 (感染症)				応用薬学演習
3) インフルエンザについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、感染経路と 予防方法および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	感染症とバイオセーフティ (選)	薬と疾病 (感染症)	薬と疾病 (呼吸器)			応用薬学演習
<ul><li>4) ウイルス性肝炎 (HAV、HBV、HCV) について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、 感染経路と予防方法および病態 (病態生理 (急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝細胞がん)、 症状等)・薬物治療 (医薬品の選択等)を説明できる。(重複)</li></ul>		薬と疾病(感染症)	薬と疾病 (消化器)			応用薬学演習
5) 後天性免疫不全症候群 (AIDS) について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 感染経路と予防方法および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を 説明できる。	感染症とバイオセーフティ(選)	薬と疾病 (感染症)	薬と疾病(免疫アレルギー)			応用薬学演習
6) 以下のウイルス感染症(ブリオン病を含む)について、感染経路と予防方法および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 伝染性紅斑(リンゴ病)、手足口病、伝染性単核球症、突発性発疹、咽頭結膜熱、ウイルス 性下痢症、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、風邪症候群、Creutzfeldt-Jakob (クロイツフェルト- ヤコブ)病		薬と疾病(感染症)				応用薬学演習
【6真菌感染症の薬、病態、治療】 4) た真菌素の英雄(英雄体界)機能・たた剤体界) かしがぬた 第甲七彩甲でも 7		茨し在卓 (成体上)		1		<b>广田茶供</b> 李丽
1) 抗真菌薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用) および臨床適用を説明できる。     2) 以下の真菌感染症について、病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択等) を	+	薬と疾病 (感染症)				応用薬学演習
2) 以下の共国的学班にしたい、病感、病態主理、症状等)・栄物活像(医来面の遺代等)を 説明できる。 皮膚真菌症、カンジダ症、ニューモシスチス肺炎、肺アスペルギルス症、クリプトコックス症		薬と疾病(感染症)				応用薬学演習
【⑥原虫・寄生虫感染症の薬、病態、治療】						
1)以下の原虫感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 マラリア、トキソプラズマ症、トリコモナス症、アメーバ赤病		薬と疾病(感染症)				応用薬学演習
2)以下の寄生虫感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 回虫症、蟯虫症、アニサキス症		薬と疾病(感染症)				応用薬学演習

	<b>放当料目</b>								
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
1) 腫瘍の定義(良性腫瘍と悪性腫瘍の違い)を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)				応用薬学演習			
2) 悪性腫瘍について、以下の項目を概説できる。									
組織型分類および病期分類、悪性腫瘍の検査(細胞診、組織診、画像診断、腫瘍マーカー		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習			
(腫瘍関連の変異遺伝子、遺伝子産物を含む))、悪性腫瘍の疫学(がん罹患の現状および									
がん死亡の現状)、悪性腫瘍のリスクおよび予防要因		** 1 产走( *** 1 **				ch 四苯基 \$ 100			
3)悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけを概説できる。 【⑥悪性腫瘍の薬、病態、治療】		薬と疾病 (悪性腫瘍)		ļ		応用薬学演習			
1)以下の抗悪性腫瘍薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用、相互作用、組織移行性)および 臨床適用を説明できる。									
アルキル化薬、代謝拮抗薬、抗腫瘍抗生物質、微小管阻害薬、トポイソメラーゼ阻害薬、		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病(呼吸器系疾患)	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習			
抗腫瘍ホルモン関連薬、白金製剤、分子標的治療薬、その他の抗悪性腫瘍薬									
2) 抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)		薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習			
0) 杜惠林晓应茶の土土到水田(工作、惠之、顺吐、卢克特法小、中传院史(工口产经理大会九)				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾					
3) 抗悪性腫瘍薬の主な副作用(下痢、悪心・嘔吐、白血球減少、皮膚障害(手足症候群を含む)、血小板減少等)の軽減のための対処法を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病(呼吸器系疾患)	患)、薬と疾病チュートリアル3		応用薬学演習			
				(がん疾患)					
4) 代表的ながん化学療法のレジメン (FOLFOX等) について、構成薬物およびその役割、副作用、				薬と疾病(血液・小児・皮膚疾					
4) N表的なからして派法のレンテン(FOLFON等)について、構成来物のよいての反割、副TF用、 対象疾患を概説できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)		患)、薬と疾病チュートリアル3	症例演習と薬物療法の実践	応用薬学演習			
			ļ	(がん疾患)					
5)以下の白血病について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)		薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習			
急性(慢性)骨髄性白血病、急性(慢性)リンパ性白血病、成人T細胞白血病(ATL) 6)悪性リンパ腫および多発性骨髄腫について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品					1				
の選択等)を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)		薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		応用薬学演習			
				薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節					
7) 骨肉腫について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)		疾患)		応用薬学演習			
8) 以下の消化器系の悪性腫瘍について、病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療 (医薬品の選択									
等)を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病(消化器疾患)			応用薬学演習			
胃癌、食道癌、肝癌、大腸癌、胆囊・胆管癌、膵癌									
9) 肺癌について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病 (呼吸器)	薬と疾病シュートリアル3(がん	症例演習と薬物療法の実践	応用薬学演習			
5/ 师庙(C)0·C、府总(府总工在、正以专/ 宋初/6派(直来明0/运队专/ 2009)(C)0。		来で次内 (心は圧場)	来已从内 (可从证)	疾患)	证	W/IIXTWE			
10) 以下の頭頸部および感覚器の悪性腫瘍について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療									
(医薬品の選択等)を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習			
脳腫瘍、網膜芽細胞腫、喉頭、咽頭、鼻腔・副鼻腔、口腔の悪性腫瘍 11) 以下の生殖器の悪性腫瘍について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)	-	_			-				
11)以下の工程論の芯に推場に プいて、内恋(内恋工生、症代寺)・来初冶療(医来品の医代寺) を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習			
前立腺癌、子宮癌、卵巣癌		X C N P ( No II III PM)	来已从所《龙苏···· 工/E····· 水/达/			70/11/2   7/2			
12) 腎・尿路系の悪性腫瘍 (腎癌、膀胱癌) について、病態 (病態生理、症状等) ・薬物治療			<b>1</b>						
(医薬品の選択等) を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習			
13) 乳癌について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病(泌尿器・生殖器系疾患)			応用薬学演習			
【⑨がん終末期医療と緩和ケア】									
1) がん終末期の病態(病態生理、症状等)と治療を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)				応用薬学演習			
2) がん性疼痛の病態(病態生理、症状等)と薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		薬と疾病 (悪性腫瘍)	薬と疾病(神経・精神系疾患)			応用薬学演習			
( <b>①化学構造と薬効</b> )		*	Т	T					
<ol> <li>病原微生物・悪性新生物が関わる疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・ 薬物動態)の関連を概説できる。</li> </ol>		薬と疾病(感染症)、薬と疾病 (悪性腫瘍)							
(8) バイオ・細胞医薬品とゲノム情報		(芯江旌場/							
【①組換え体医薬品】						_			
TO THE POST OF THE			薬と疾病(免疫アレルギー)、生						
1) 組換え体医薬品の特色と有用性を説明できる。			命活動を担う分子(ゲノム情報と		応用薬学演習				
			バイオ医薬品)						
			薬と疾病(免疫アレルギー)、生						
2) 代表的な組換え体医薬品を列挙できる。			命活動を担う分子(ゲノム情報と		応用薬学演習				
	ļ		バイオ医薬品)	ļ					
3) 組換え体医薬品の安全性について概説できる。			生命活動を担う分子(ゲノム情報		応用薬学演習				
			とバイオ医薬品)						
②遺伝子治療】		1	<b>上会に動き担こハフ / ピ・/ 注却</b>	A .					
1) 遺伝子治療の原理、方法と手順、現状、および倫理的問題点を概説できる。(知識・態度)			生命活動を担う分子 (ゲノム情報 とバイオ医薬品)	1	応用薬学演習				
[③細胞、組織を利用した移植医療]			「八   八   上木田 /						
1)移植医療の原理、方法と手順、現状およびゲノム情報の取り扱いに関する倫理的問題点を概説		1	生命活動を担う分子(ゲノム情報	4					
できる。(知識・態度)			とバイオ医薬品)	1					

			該 当	科目		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2) 摘出および培養組織を用いた移植医療について説明できる。			薬と疾病(免疫アレルギー)、生命活動を担う分子(ゲノム情報と			
3) 臍帯血、末梢血および骨髄に由来する血液幹細胞を用いた移植医療について説明できる。			バイオ医薬品) 薬と疾病(免疫アレルギー)、生 命活動を担う分子(ゲノム情報と バイオ医薬品)			
4) 胚性幹細胞 (ES細胞) 、人工多能性幹細胞 (iPS細胞) を用いた細胞移植医療について概説できる。			生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)	ł		
(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション			とバイオ 医来面/			
1) 地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を			急性期医療と薬剤師	地域医療とプライマリ・ケア	医薬品の副作用・有害事象	
概説できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	実務実習事前学修	症候と疾患推測	
2)要指導医薬品および一般用医薬品(リスクの程度に応じた区分(第一類、第二類、第三類)も 含む)について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	医薬品の副作用・有害事象	
3) 代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。				地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	医薬品の副作用・有害事象 症候と疾患推測	
4) 要指導医薬品・一般用医薬品の選択、受診勧奨の要否を判断するために必要な患者情報を収集 できる。(技能)				地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	症候と疾患推測	
5) 以下の疾患・症候に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に				地域医療とプライマリ・ケア	医薬品の副作用・有害事象	
含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。 発熱、痛み、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病 等				実務実習事前学修	症候と疾患推測	
6) 主な養生法 (運動・食事療法、サブリメント、保健機能食品を含む) とその健康の保持・促進 における意義を説明できる。				地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	症候と疾患推測	
7)要指導医薬品・一般用医薬品と医療用医薬品、サブリメント、保健機能食品等との代表的な 相互作用を説明できる。				地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	医薬品の副作用・有害事象	
8) 要指導医薬品・一般用医薬品等による治療効果と副作用を判定するための情報を収集し評価				地域医療とプライマリ・ケア		
できる。(技能) (10) 医療の中の漢方薬				実務実習事前学修		
【①漢方薬の基礎】						
1) 漢方の特徴について概説できる。	漢方薬になる動植鉱物			漢方医学の実践		
<ol> <li>以下の漢方の基本用語を説明できる。</li> <li>陰陽、虚実、寒熱、表裏、気血水、証</li> </ol>				漢方医学の実践		
3) 配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。				漢方医学の実践		
4) 漢方薬と西洋薬、民間薬、サプリメント、保健機能食品などとの相違について説明できる。				漢方医学の実践		
【②漢方薬の応用】		ı		I.m. 1 W	<u> </u>	
1) 漢方医学における診断法、体質や病態の捉え方、治療法について概説できる。				漢方医学の実践		
2) 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。				漢方医学の実践		
3)現代医療における漢方薬の役割について説明できる。 【③漢方薬の注意点】				漢方医学の実践		
1) 漢方薬の副作用と使用上の注意点を例示して説明できる。				漢方医学の実践		
(11) 薬物治療の最適化		l .		庆万 <u>区于</u> 00天成		
【①総合演習】	_					
1) 代表的な疾患の症例について、患者情報および医薬品情報などの情報に基づいて薬物治療の			薬と疾病(神経・精神系疾患)		学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
最適化を討議する。(知識・態度)  2) 過剰量の医薬品による副作用への対応(解毒薬を含む)を討議する。(知識・態度)				薬毒物と中毒	1	
2) 週利量の医染品による創作用への対応(肝毒染を含む)を討議する。 (知識・態度) 3) 長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について討議する。 (知識・態度)				栄再物と甲毒		
医療業学						
3 薬物治療に役立つ情報						
(1)医薬品情報						
[①情報]						
1) 医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。			医薬品情報と患者情報	実務実習事前学修		
2) 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割について概説できる。			医薬品情報と患者情報	実務実習事前学修		
3) 医薬品(後発医薬品等を含む)の開発過程で行われる試験(非臨床試験、臨床試験、安定性 試験等)と得られる医薬品情報について概説できる。			医薬品情報と患者情報 薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	実務実習事前学修		
4) 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。			医薬品情報と患者情報 薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	実務実習事前学修		
5) 医薬品情報に関係する代表的な法律・制度(「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」、GCP、GVP、GPSP、RMPなど)とレギュラトリーサイエンスについて概説できる。			医薬品情報と患者情報 薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	実務実習事前学修		
似就できる。						
1) 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料の分類について概説できる。		1	医薬品情報と患者情報	実務実習事前学修	<u> </u>	
2) 医薬品情報源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴について説明できる。		1	医薬品情報と患者情報	実務実習事前学修	1	<u> </u>
2) 位未即用取締として10次的な一次具件、二次具件を列手し、て40分の17以について前頭ととなっ						

			<b>**</b> **	科目		
平成25年度改訂版・菓学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4) 医薬品添付文書 (医療用、一般用) の法的位置づけについて説明できる。			医薬品情報と患者情報 薬剤師と医薬品に係る法規範II	実務実習事前学修		
5) 医薬品添付文書(医療用、一般用)の記載項目(警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用 上の注意など)を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。			医薬品情報と患者情報 薬剤師と医薬品に係る法規範II	実務実習事前学修		
6) 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。			医薬品情報と患者情報 調剤・患者対応入門	実務実習事前学修		
[③収集・評価・加工・提供・管理]		-				
<ol> <li>目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。(技能)</li> </ol>			医薬品情報と患者情報	実務実習事前学修	症例演習と薬物療法の実践 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
2) MEDLINEなどの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を 理解し、検索できる。 (知識・技能)			医薬品情報と患者情報 調剤・患者対応入門	EBM演習 実務実習事前学修	症例演習と薬物療法の実践 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
3) 医薬品情報の信頼性、科学的妥当性などを評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。			医薬品情報と患者情報 調剤・患者対応入門	EBM演習 実務実習事前学修		
4) 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。(技能)			医薬品情報と患者情報 調剤・患者対応入門	実務実習事前学修		
5) 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点(知的所有権、守秘 義務など)について説明できる。			医薬品情報と患者情報 調剤・患者対応入門	実務実習事前学修		
[@EBM (Evidence-based Medicine)]		•				
1)EBMの基本概念と実践のプロセスについて説明できる。			医薬品情報と患者情報	EBM演習		
2) 代表的な臨床研究法(ランダム化比較試験、コホート研究、ケースコントロール研究など) の長所と短所を挙げ、それらのエビデンスレベルについて概説できる。		個人・集団・社会と健康	医薬品情報と患者情報	EBM演習		
3) 臨床研究論文の批判的吟味に必要な基本的項目を列挙し、内的妥当性(研究結果の正確度や 再現性)と外的妥当性(研究結果の一般化の可能性)について概説できる。 (E3 (1) 【③収集・評価・加 エ・提供・管理】参照)			医薬品情報と患者情報	EBM演習		
4) メタアナリシスの概念を理解し、結果を説明できる。		個人・集団・社会と健康	医薬品情報と患者情報	EBM演習		
[⑤生物統計]		-				
1) 臨床研究における基本的な統計量(平均値、中央値、標準偏差、標準誤差、信頼区間など) の意味と違いを説明できる。		個人・集団・社会と健康	医薬品情報と患者情報			
2) 帰無仮説の概念および検定と推定の違いを説明できる。			医薬品情報と患者情報			
3) 代表的な分布(正規分布、 $t$ 分布、二項分布、ボアソン分布、 $\chi^2$ 分布、 $F$ 分布)について 概説できる。			医薬品情報と患者情報			
4) 主なパラメトリック検定とノンパラメトリック検定を列挙し、それらの使い分けを説明できる。			医薬品情報と患者情報			
<ol> <li>二群間の差の検定(t検定、χ²検定など)を実施できる。(技能)</li> </ol>			研究倫理と統計			
6) 主な回帰分析(直線回帰、ロジスティック回帰など)と相関係数の検定について概説できる。			研究倫理と統計			
7) 基本的な生存時間解析法(カプラン・マイヤー曲線など)について概説できる。			研究倫理と統計	EBM演習		
【⑥臨床研究デザインと解析】						
1) 臨床研究(治験を含む)の代表的な手法(介入研究、観察研究)を列挙し、それらの特徴を 概説できる。			医薬品情報と患者情報 研究倫理と統計 薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	EBM演習	医薬品評価と開発	
2) 臨床研究におけるパイアス・交絡について概説できる。			医薬品情報と患者情報 研究倫理と統計	EBM演習	医薬品評価と開発	
3) 観察研究での主な疫学研究デザイン(症例報告、症例集積、コホート研究、ケースコントロール 研究、ネステッドケースコントロール研究、ケースコホート研究など)について概説できる。			医薬品情報と患者情報	EBM演習	医薬品評価と開発	
4) 副作用の因果関係を評価するための方法(副作用判定アルゴリズムなど)について概説できる。					医薬品の副作用・有害事象、医薬 品評価と開発	
5)優越性試験と非劣性試験の違いについて説明できる。						
6) 介入研究の計画上の技法(症例数設定、ランダム化、盲検化など)について概説できる。			研究倫理と統計		医薬品評価と開発	
7) 統計解析時の注意点について概説できる。			研究倫理と統計		医薬品評価と開発	
8) 介入研究の効果指標(真のエンドポイントと代用のエンドポイント、主要エンドポイントと 副次的エンドポイント)の違いを、例を挙げて説明できる。			研究倫理と統計	EBM演習	医薬品評価と開発	
9) 臨床研究の結果(有効性、安全性)の主なパラメータ(相対リスク、相対リスク減少、絶対 リスク、絶対リスク減少、治療必要数、オッズ比、発生率、発生割合)を説明し、計算できる。 (知識・技能)			研究倫理と統計	EBM演習	医薬品評価と開発	
【⑦医薬品の比較・評価】			•		•	
1)病院や薬局において医薬品を採用・選択する際に検討すべき項目を列挙し、その意義を説明できる。			医薬品情報と患者情報			薬剤師の臨床判断
2) 医薬品情報にもとづいて、代表的な同種同効薬の有効性や安全性について比較・評価できる。 (技能)			調剤・患者対応入門			薬剤師の臨床判断
3) 医薬品情報にもとづいて、先発医薬品と後発医薬品の品質、安全性、経済性などについて、 比較・評価できる。(技能)			調剤・患者対応入門			薬剤師の臨床判断
(2) 患者情報 [①情報と情報編]						

			<b>杜</b> 出	科目		
平成25年度改訂版・菓学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1)薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。			医薬品情報と患者情報 調剤・患者対応入門	実務実習事前学修		
2) 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。			医薬品情報と患者情報			
[②収集·評価·管理]		•				
1) 問題志向型システム (POS) を説明できる。			医薬品情報と患者情報,薬と疾病 チュートリアル1 (神経疾患)	実務実習事前学修		
2) SOAP形式などの患者情報の記録方法について説明できる。			医薬品情報と患者情報,薬と疾病 チュートリアル1 (神経疾患)	実務実習事前学修		
3) 医薬品の効果や副作用を評価するために必要な患者情報について概説できる。			医薬品情報と患者情報	実務実習事前学修		
4) 患者情報の取扱いにおける守秘義務と管理の重要性を説明できる。 (A(2) 【③患者の権利】参照)			医薬品情報と患者情報	実務実習事前学修		
(3)個別化医療			•			
【①遺伝的素因】						
1) 薬物の主作用および副作用に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。			生命活動を担う分子(ゲノム情報 とバイオ医薬品), 医薬品・化学 物質の代謝反応			
2)薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因(薬物代謝酵素・トランスポーターの遺伝子変異など)について、例を挙げて説明できる。			生命活動を担う分子(ゲノム情報 とバイオ医薬品), 医薬品・化学 物質の代謝反応			
3) 遺伝的素因を考慮した薬物治療について、例を挙げて説明できる。			生命活動を担う分子 (ゲノム情報 とバイオ医薬品), 医薬品・化学 物質の代謝反応			
【②年齡的要因】		•				•
1) 低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児における薬物動態と、薬物治療で注意すべき点を 説明できる。			薬物動態の解析	個別化医療、薬と疾病(血液・小 児・皮膚疾患)		
2) 高齢者における薬物動態と、薬物治療で注意すべき点を説明できる。			薬物動態の解析	個別化医療		
[③職器機能低下]			•			
1) 腎疾患・腎機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。			薬物動態の解析	個別化医療		
2) 肝疾患・肝機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。			薬物動態の解析	個別化医療		
3) 心臓疾患を伴った患者における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。			薬物動態の解析	個別化医療		
【④その他の要因】						
1) 薬物の効果に影響する生理的要因(性差、閉経、日内変動など)を列挙できる。				個別化医療		
2) 妊娠・授乳期における薬物動態と、生殖・妊娠・授乳期の薬物治療で注意すべき点を説明できる。			薬物動態の解析	個別化医療		
3) 栄養状態の異なる患者(肥満、低アルブミン血症、腹水など)における薬物動態と、薬物治療で 注意すべき点を説明できる。				個別化医療		
【⑤個別化医療の計画・立案】						
1) 個別の患者情報(遺伝的素因、年齢的要因、臓器機能など)と医薬品情報をもとに、薬物治療を 計画・立案できる。(技能)				個別化医療		
2) コンパニオン診断にもとづく薬物治療について、例を挙げて説明できる。				個別化医療		
64 薬の生体内運命						
(1)薬物の体内動態						
【①生体膜透過】		1	T			
1) 薬物の生体膜透過における単純拡散、促進拡散および能動輸送の特徴を説明できる。		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態 医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習
<ol> <li>2)薬物の生体膜透過に関わるトランスポーターの例を挙げ、その特徴と薬物動態における役割を 説明できる。</li> </ol>		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態 医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習
[②吸収]						
1) 経口投与された薬物の吸収について説明できる。		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態 医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習
2) 非経口的に投与される薬物の吸収について説明できる。		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態			応用薬学演習
3) 薬物の吸収に影響する因子(薬物の物性、生理学的要因など)を列挙し、説明できる。		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態			応用薬学演習
4) 薬物の吸収過程における相互作用について例を挙げ、説明できる。		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態 医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習
5) 初回通過効果について説明できる。		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態 医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習
[③分布]						
1) 薬物が結合する代表的な血漿タンパク質を挙げ、タンパク結合の強い薬物を列挙できる。		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態 医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習
<ol> <li>薬物の組織移行性(分布容積)と血漿タンパク結合ならびに組織結合との関係を、定量的 に説明できる。</li> </ol>		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態			応用薬学演習
3) 薬物のタンパク結合および結合阻害の測定・解析方法を説明できる。		薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態			応用薬学演習

		<b>散</b> 当	科目		
平成25年度改訂版・菓学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
4) 血液-組織関門の構造・機能と、薬物の脳や胎児等への移行について説明できる。	薬の作用と生体内運命	医薬品・化学物質の代謝反応、薬 物の体内動態			応用薬学演習
5) 薬物のリンパおよび乳汁中への移行について説明できる。	薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態			応用薬学演習
6) 薬物の分布過程における相互作用について例を挙げ、説明できる。	200-11/19-2-11/19-2-19	薬物の体内動態			応用薬学演習
( <b>④代謝</b> )		Sie in vo 11 1 Papier			10/11/5/ / // 1
1) 代表的な薬物代謝酵素を列挙し、その代謝反応が起こる組織ならびに細胞内小器官、反応様式 について説明できる。	薬の作用と生体内運命	医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習
2) 薬物代謝の第 I 相反応 (酸化・還元・加水分解) 、第 II 相反応 (抱合) について、例を挙げて 説明できる。	薬の作用と生体内運命	医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習
3) 代表的な薬物代謝酵素 (分子種) により代謝される薬物を列挙できる。	薬の作用と生体内運命	医薬品・化学物質の代謝反応			応用薬学演習
4) プロドラッグと活性代謝物について、例を挙げて説明できる。	薬の作用と生体内運命	医薬品・化学物質の代謝反応	薬物送達システム、薬となる化合 物の構造と性質		応用薬学演習
5) 薬物代謝酵素の阻害および誘導のメカニズムと、それらに関連して起こる相互作用について、 例を挙げ、説明できる。		医薬品・化学物質の代謝反応	17.50		応用薬学演習
5排泄】		_			
1)薬物の尿中排泄機構について説明できる。	薬の作用と生体内運命	薬物の体内動態			応用薬学演習
2) 腎クリアランスと、糸球体ろ過、分泌、再吸収の関係を定量的に説明できる。	The second secon	薬物の体内動態			応用薬学演習
3) 代表的な腎排泄型薬物を列挙できる。		薬物の体内動態			応用薬学演習
4)薬物の胆汁中排泄と腸肝循環について説明できる。		薬物の体内動態			応用薬学演習
5) 薬物の排泄過程における相互作用について例を挙げ、説明できる。		薬物の体内動態			応用薬学演習
(2) 薬物動態の解析					
①薬物速度論】					
1) 線形コンパートメントモデルと、関連する薬物動態パラメータ (全身クリアランス、分布容積、 消失半減期、生物学的利用能など)の概念を説明できる。		薬物の体内動態、薬物動態の解析 調剤・患者対応入門		応用薬学演習	
		薬物の体内動態、薬物動態の解析 調剤・患者対応入門		応用薬学演習	
(大子)、大地の野が上げ、「大地の「大地の」     (内側を 子げ、非線形モデルに基づいた解析ができる。(知識、技能)     技能)		薬物動態の解析調剤・患者対応入門		応用薬学演習	
4) モーメント解析の意味と、関連するパラメータの計算法について説明できる。		薬物動態の解析		応用薬学演習	
・ アンプリ (新山) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田		薬物動態の解析		応用薬学演習	
を関うて記明できる。 6)薬物動態学-薬力学解析 (PK-PD解析) について概説できる。		薬物動態の解析		応用薬学演習	
②TDM (Therapeutic Drug Monitoring)と投与設計]		未物助感の辨例		心用未于戾目	
Cipm (little about to bind monit colling) C DX-BXH 3		薬物動態の解析		1	
1) 治療薬物モニタリング(TDM)の意義を説明し、TDMが有効な薬物を列挙できる。		調剤・患者対応入門			応用薬学演習
2)TDMを行う際の採血ポイント、試料の取り扱い、測定法について説明できる。		薬物動態の解析 調剤・患者対応入門			応用薬学演習
3) 薬物動態パラメータを用いて患者ごとの薬物投与設計ができる。(知識、技能)		薬物動態の解析 調剤・患者対応入門			応用薬学演習
4) ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。		薬物動態の解析			応用薬学演習
製剤化のサイエンス					
1) 製剤の性質					
①固形材料】		Tarana aran		1	
1)粉体の性質について説明できる。		製剤の性質			応用薬学演習
2)結晶(安定形および準安定形)や非晶質、無水物や水和物の性質について説明できる。		製剤の性質			応用薬学演習
3) 固形材料の溶解現象(溶解度、溶解平衡など)や溶解した物質の拡散と溶解速度について説明できる。		溶液の性質 (溶解速度)			応用薬学演習
(C2 (2) 【①酸・塩基平衡】1.及び【②各種の化学平衡】2.参照)		在11 ***1 *** A44 ****		1	<b>中田茶类与</b> 阿
4) 固形材料の溶解に影響を及ぼす因子 (pHや温度など) について説明できる。		製剤の性質		1	応用薬学演習
5) 固形材料の溶解度や溶解速度を高める代表的な製剤的手法を列挙し、説明できる。		製剤の性質			応用薬学演習
②半園形・液状材料】		如東京			<b>中田本州中</b> 四
1)流動と変形(レオロジー)について説明できる。		製剤の性質		1	応用薬学演習
2) 高分子の構造と高分子溶液の性質(粘度など)について説明できる。		製剤の性質			応用薬学演習
3分散系材料]					
1) 界面の性質(界面張力、分配平衡、吸着など)や代表的な界面活性剤の種類と性質について					<b>中田茶料本期</b>
		製剤の性質			応用薬学演習
説明できる。					
(C2 (2) 【②各種の化学平衡】4.参照)					
(C2 (2) 【②各種の化学平衡】4.参照)		製剤の性質			応用薬学演習
(C2 (2) 【②各種の化学平衡】4.参照) 2) 代表的な分散系(分子集合体、コロイド、乳剤、懸濁剤など)を列挙し、その性質について		製剤の性質 製剤の性質 製剤の性質			応用薬学演習 応用薬学演習 応用薬学演習

	鉄 当 料 目							
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
1) 製剤分野で汎用される高分子の構造を理解し、その物性について説明できる。			製剤の性質			応用薬学演習		
2)薬物の安定性(反応速度、複合反応など)や安定性に影響を及ぼす因子(pH、温度など)								
について説明できる。			製剤の性質			応用薬学演習		
(C1 (3) 【①反応速度】1. ~7. 参照)								
3) 薬物の安定性を高める代表的な製剤的手法を列挙し、説明できる。			製剤の性質	<u> </u>		応用薬学演習		
(2)製剤設計 【①代表的な製剤】								
		物質の性質・分析・製剤化と製剤	制制软件	I	1			
1) 製剤化の概要と意義について説明できる。		試験法 実習	製剤化と製剤試験法 実習			応用薬学演習		
		物質の性質・分析・製剤化と製剤						
2) 経口投与する製剤の種類とその特性について説明できる。		試験法 実習	製剤化と製剤試験法 実習			応用薬学演習		
の) 料時に第四十7組刻 (上明朝 - 60.3 刻かじ) の延察しるの紅州について説明でも7		物質の性質・分析・製剤化と製剤	製剤設計			<b>广田李尚</b> 浡丽		
3) 粘膜に適用する製剤(点眼剤、吸入剤など)の種類とその特性について説明できる。		試験法 実習	製剤化と製剤試験法 実習			応用薬学演習		
4) 注射により投与する製剤の種類とその特性について説明できる。			製剤設計			応用薬学演習、薬剤師の臨床判断		
5) 皮膚に適用する製剤の種類とその特性について説明できる。		物質の性質・分析・製剤化と製剤				応用薬学演習、薬剤師の臨床判断		
		試験法 実習	製剤化と製剤試験法 実習					
6) その他の製剤(生薬関連製剤、透析に用いる製剤など)の種類と特性について説明できる。			製剤設計			応用薬学演習		
[②製剤化と製剤試験法]		施度の研修、八年 知如ルー却を	朱川文川の八の上		1			
1) 代表的な医薬品添加物の種類・用途・性質について説明できる。		物質の性質・分析・製剤化と製剤 試験法 実習	製剤設計 製剤化と製剤試験法 実習			応用薬学演習		
2) 製剤化の単位操作、汎用される製剤機械および代表的な製剤の具体的な製造工程について		物質の性質・分析・製剤化と製剤				<del></del>		
説明できる。		試験法 実習	製剤化と製剤試験法 実習			応用薬学演習		
3) 汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。			製剤設計					
		物質の性質・分析・製剤化と製剤	製剤設計			<b>计四类类字</b> 面		
4) 製剤に関連する試験法を列挙し、説明できる。		試験法 実習	製剤化と製剤試験法 実習			応用薬学演習		
【③生物学的同等性】								
1) 製剤の特性(適用部位、製剤からの薬物の放出性など)を理解した上で、生物学的同等性に			製剤設計					
ついて説明できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	ļ				
(3) DDS (Drug Delivery System: 薬物送達システム)								
[( <b>①DDS の必要性</b> ] 1 \ DDS の概念 L 左甲州について説明できる			1	薬物学法: フニノ		<b>戊田薬学</b> 浡瑚		
1) DDSの概念と有用性について説明できる。         2) 代表的なDDS技術を列挙し、説明できる。			<del> </del>	薬物送達システム		応用薬学演習		
(プロドラッグについては、E4(1)【④代謝】4. も参照)				薬物送達システム		応用薬学演習		
【②コントロールドリリース(放出制御)】								
1) コントロールドリリースの概要と意義について説明できる。				薬物送達システム		応用薬学演習		
2) 投与部位ごとに、代表的なコントロールドリリース技術を列挙し、その特性について説明								
できる。				薬物送達システム		応用薬学演習		
3)コントロールドリリース技術を適用した代表的な医薬品を列挙できる。				薬物送達システム		応用薬学演習		
【③ターゲティング(標的指向化)】					•			
1) ターゲティングの概要と意義について説明できる。				薬物送達システム		応用薬学演習		
2) 投与部位ごとに、代表的なターゲティング技術を列挙し、その特性について説明できる。				薬物送達システム		応用薬学演習		
3) ターゲティング技術を適用した代表的な医薬品を列挙できる。 【 <b>②吸収改善</b> 】				薬物送達システム		応用薬学演習		
1) 吸収改善の概要と意義について説明できる。				薬物送達システム	l	応用薬学演習		
2) 投与部位ごとに、代表的な吸収改善技術を列挙し、その特性について説明できる。				薬物送達システム		応用薬学演習		
3) 吸収改善技術を適用した代表的な医薬品を列挙できる。			1	薬物送達システム		応用薬学演習		
F 薬学庭床						1		
前):病院・薬局での実務実習履修前に修得すべき事項								
(1)薬学臨床の基礎								
【①早期臨床体験】 ※原則として 2年次修了までに学習する事項								
1) 患者・生活者の視点に立って、様々な薬剤師の業務を見聞し、その体験から薬剤師業務の	初年次体験実習	診療の流れを知る						
重要性について討議する。(知識・態度)	ガナクド状天自	砂ないましたと	ļ					
				地域医療とプライマリーケア				
2) 地域の保健・福祉を見聞した具体的体験に基づきその重要性や課題を討議する。 (知識・態度)			1	学部連携チーム医療PBLIII・在宅	地域医療実習	地域医療実習		
0)				チーム医療と倫理TBLIII				
<ol> <li>一次救命処置(心肺蘇生、外傷対応等)を説明し、シミュレータを用いて実施できる。 (知識・技能)</li> </ol>	初年次体験実習		急性期医療と薬剤師			薬剤師の臨床判断		
(内域・技能) 【 <b>②陰床における心構え】</b> [A (1)、(2)参照]			1					
1)前)医療の担い手が守るべき倫理規範や法令について討議する。(態度)		薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅰ	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			薬剤師の臨床判断		
2)前)患者・生活者中心の医療の視点から患者・生活者の個人情報や自己決定権に配慮すべき		ACTION C BEACHTON C APPEN						
			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修		薬剤師の臨床判断		

	飲当料目						
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
3) 前) 患者・生活者の健康の回復と維持、生活の質の向上に薬剤師が積極的に貢献することの 重要性を討議する。 (態度)			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修			
) 医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。 (態度)		診療の流れを知る			臨床心理学の活用、薬局実習、病 院実習1,2		
) 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。 (態度)					臨床心理学の活用、薬局実習、病 院実習1,2		
) 薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。 (態度)					薬局実習、病院実習2		
)職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。 (態度)		診療の流れを知る			臨床心理学の活用、薬局実習、病 院実習1,2		
臨床実習の基礎】							
) 前)病院・薬局における薬剤師業務全体の流れを概説できる。				実務実習事前学修			
) 前) 病院・薬局で薬剤師が実践する薬学的管理の重要性について説明できる。				実務実習事前学修			
)前)病院薬剤部門を構成する各セクションの業務を列挙し、その内容と関連を概説できる。				実務実習事前学修			
)前)病院に所属する医療スタッフの職種名を列挙し、その業務内容を相互に関連づけて説明 できる。			急性期医療と薬剤師	実務実習事前学修			
)前)薬剤師の関わる社会保障制度(医療、福祉、介護)の概略を説明できる。 【B (3)①参照〕				実務実習事前学修			
病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れについて他部門と関連付けて説明できる。				実務実習事前学修	病院実習1、学部連携病棟実習		
) 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。					病院実習1、学部連携病棟実習		
) 入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。 (態度)					病院実習1,2、学部連携病棟実習		
) 急性期医療(教急医療・集中治療・外傷治療等) や周術期医療における適切な薬学的管理に ついて説明できる。			急性期医療と薬剤師		病院実習2		
)周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について説明できる。			急性期医療と薬剤師	個別化医療	病院実習2		
)終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について説明できる。					病院実習2、学部連携病棟実習		
)外来化学療法における適切な薬学的管理について説明できる。					病院実習1、学部連携病棟実習		
)保険評価要件を薬剤師業務と関連付けて概説することができる。					薬局実習、病院実習1,2		
薬局における薬剤師業務の流れを相互に関連付けて説明できる。					薬局実習		
)来局者の調剤に対して、処方せんの受付から薬剤の交付に至るまで継続して関わることができる。(知識・態度)					薬局実習		
)処方せんに基づく開剤							
法令・規則等の理解と遵守】 [B(2)、(3)参照]		<u> </u>				T	
)前)調剤業務に関わる事項(処方せん、調剤録、疑義照会等)の意義や取り扱いを法的根拠 に基づいて説明できる。			処方箋と調剤 調剤・患者対応入門	実務実習事前学修			
) 調剤業務に関わる法的文書(処方せん、調剤録等)の適切な記載と保存・管理ができる。 (知識・技能)					薬局実習、病院実習1		
)法的根拠に基づき、一連の調剤業務を適正に実施する。(技能・態度)					薬局実習、病院実習1		
)保険薬局として必要な条件や設備等を具体的に関連付けて説明できる。					薬局実習		
処方せんと疑義照会】							
)前)代表的な疾患に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、 相互作用を列挙できる。			処方箋と調剤	実務実習事前学修	症例演習と薬物療法の実践		
前)処方オーダリングシステムおよび電子カルテについて概説できる。			処方箋と調剤				
)前)処方せんの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。			処方箋と調剤 調剤・患者対応入門	実務実習事前学修			
) 前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。			処方箋と調剤 調剤・患者対応入門	実務実習事前学修			
) 前) 処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。			処方箋と調剤 調剤・患者対応入門	輸液と栄養 実務実習事前学修			
)前)処方せん等に基づき疑義照会ができる。 (技能・態度)			処方箋と調剤 調剤・患者対応入門	実務実習事前学修			
) 処方せんの記載事項 (医薬品名、分量、用法・用量等) が適切であるか確認できる。 (知識・技能)				実務実習事前学修	薬局実習、病院実習1		
)注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認 できる。(知識・技能)				実務実習事前学修	病院実習1	薬剤師の臨床判断	
) 処方せんの正しい記載方法を例示できる。 (技能)				実務実習事前学修	薬局実習、病院実習1		
)薬歴、診療録、患者の状態から処方が妥当であるか判断できる。 (知識・技能)				実務実習事前学修	薬局実習、病院実習2	薬剤師の臨床判断	
)薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義照会ができる。(技能・態度)				実務実習事前学修	薬局実習、病院実習2	薬剤師の臨床判断	
処方せんに基づく医薬品の調製】							
)前)薬袋、薬札(ラベル)に記載すべき事項を適切に記入できる。(技能)			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修			
)前)主な医薬品の成分(一般名)、商標名、剤形、規格等を列挙できる。			処方箋と調剤 調剤・患者対応入門	実務実習事前学修			
) 前) 処方せんに従って、計数・計量調剤ができる。 (技能)			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修			
)前)後発医薬品選択の手順を説明できる。			処方箋と調剤	実務実習事前学修			

	数当科目							
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
	14	2+	処方箋と調剤	輸液と栄養	34	0#		
5) 前) 代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修				
6)前)無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能)			処方箋と調剤	実務実習事前学修				
7) 前) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的手技を実施できる。								
(技能)				実務実習事前学修				
8) 前) 処方せんに基づき調剤された薬剤の監査ができる。(知識・技能)			処方箋と調剤	実務実習事前学修				
			調剤・患者対応入門	大切大百年前于19				
9) 主な医薬品の一般名・剤形・規格から該当する製品を選択できる。(技能)					薬局実習、病院実習1			
10)適切な手順で後発医薬品を選択できる。(知識・技能)			and the title and		薬局実習、病院実習1			
11) 処方せんに従って計数・計量調剤ができる。(技能)			調剤・患者対応入門		薬局実習、病院実習1			
12) 錠剤の粉砕、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)					薬局実習、病院実習1			
13) 一回量(一包化) 調剤の必要性を判断し、実施できる。(知識・技能) 14) 注射処方せんに従って注射薬調剤ができる。(技能)		+		実務実習事前学修	薬局実習、病院実習1 病院実習1			
15) 注射剤・散剤・水剤等の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。				実務実習事前学修	病院実習1			
16) 注射剤(高カロリー輸液等)の無菌的混合操作を実施できる。(技能)				実務実習事前学修	病院実習1			
17) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の手技を実施できる。								
(知識・技能)				実務実習事前学修	病院実習1			
18) 特別な注意を要する医薬品(劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬・抗悪性腫瘍薬等)の調剤と適切な					***************************************			
取扱いができる。(知識・技能)		1			薬局実習、病院実習1	<u> </u>		
19) 調製された薬剤に対して、監査が実施できる。 (知識・技能)					薬局実習、病院実習1			
【④患者・来局者応対、服薬指導、患者教育】								
1)前)適切な態度で、患者・来局者と応対できる。(態度)			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修				
2) 前) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの応対や服薬指導において、配慮すべき事項を		1	調剤・患者対応入門	実務実習事前学修				
具体的に列挙できる。			D10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	大切大百年前于19				
3) 前) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修				
副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度)			2777 15 27 77 77	24,000				
4)前)患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修				
保管方法等について適切に説明できる。(技能・態度)				en 76 en 117 in 14 Mr				
5)前)代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修				
6)前)患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤(眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等)の取扱い 方法を説明できる。(技能・態度)				実務実習事前学修		薬剤師の臨床判断		
7)前)薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修				
8)前)代表的な疾患の症例についての患者応対の内容を適切に記録できる。(技能)		+	調剤・患者対応入門	実務実習事前学修				
			Bays AN ELYSPONT	人物人自主的工品	薬局実習、病院実習1,2、学部連			
9) 患者・来局者に合わせて適切な応対ができる。(態度)					携病棟実習			
10) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、					薬局実習、病院実習1,2、学部連			
副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度)					携病棟実習	薬剤師の臨床判断		
11) 医红色次素素创土现现11.1.1.2. 电影,鱼等原料原茶的茶片等,使是一种产					薬局実習、病院実習2、学部連携			
11) 医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。 (知識・態度)					病棟実習			
12) 患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修	薬局実習、病院実習2、学部連携			
患者教育ができる。(知識・態度)			刷剂·恶省为心入门	大切大百争前于廖	病棟実習			
13) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な応対					薬局実習、病院実習2、学部連携			
ができる。(知識・態度)					病棟実習			
14) お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書等を使用した服薬指導ができる。 (態度)				実務実習事前学修	薬局実習、病院実習2、学部連携			
					病棟実習			
15) 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。 (知識・技能)				実務実習事前学修	薬局実習、病院実習2 、学部連携 病棟実習			
【⑤医薬品の供給と管理】								
AWMANN YORK - BTL			処方箋と調剤					
1) 前) 医薬品管理の意義と必要性について説明できる。		1	急性期医療と薬剤師					
			処方箋と調剤					
2)前)医薬品管理の流れを概説できる。		1	急性期医療と薬剤師					
のとせと利益・主義・改革・石倉地域が15mmであり、15mmでは、15mmでは、15mmでは、15mmであり、15mmでは、15mmでありでありでありでありでありでありでありでありでありでありでありでありでありで			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ					
3) 前) 劇薬、毒薬、麻薬、向精神薬および覚醒剤原料等の管理と取り扱いについて説明できる。			急性期医療と薬剤師	実務実習事前学修	<u> </u>			
4) 前) 特定生物由来製品の管理と取り扱いについて説明できる。			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ					
5)前)代表的な放射性医薬品の種類と用途、保管管理方法を説明できる。				実務実習事前学修				
6) 前) 院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。				実務実習事前学修				
7) 前)薬局製剤・漢方製剤について概説できる。	薬用植物・生薬演習			漢方医学の実践				
	不川世初 土木灰目			実務実習事前学修				
8)前)医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる。				輸液と栄養、実務実習事前学修				
9) 医薬品の供給・保管・廃棄について適切に実施できる。(知識・技能)					薬局実習、病院実習1			
10) 医薬品の適切な在庫管理を実施する。 (知識・技能)			l .		薬局実習、病院実習1	]		

<del> </del>			Web size	科 目		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBO8)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
11) 医薬品の適正な採用と採用中止の流れについて説明できる。		·	·		薬局実習、病院実習1	·
12) 劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚醒剤原料の適切な管理と取り扱いができる。					薬局実習、病院実習1,2	
(知識・技能)						
13) 特定生物由来製品の適切な管理と取り扱いを体験する。(知識・技能)				<u> </u>	薬局実習、病院実習1	
【 <b>⑥安全管理】</b> 1) 前) 処方から服薬(投薬) までの過程で誤りを生じやすい事例を列挙できる。			処方箋と調剤	実務実習事前学修		
1) 削り処力がら服業(技業)までの適性で誤りを生じたりい事例を列挙できる。     2) 前)特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)						
の特徴と注意点を列挙できる。			処方箋と調剤	実務実習事前学修		
3) 前) 代表的なインシデント(ヒヤリハット)、アクシデント事例を解析し、その原因、リスク			hn	ch 26 ch 30 th 44 kg		
を回避するための具体策と発生後の適切な対処法を討議する。 (知識・態度)			処方箋と調剤	実務実習事前学修		
4)前)感染予防の基本的考え方とその方法が説明できる。	基礎サイエンス実習			輸液と栄養、実務実習事前学修		
5)前)衛生的な手洗い、スタンダードブリコーションを実施できる。(技能)	基礎サイエンス実習			実務実習事前学修		
6) 前) 代表的な消毒薬の用途、使用濃度および調製時の注意点を説明できる。			bo -b- Mr. 1 Sillado	輸液と栄養、実務実習事前学修		
7) 前) 医薬品のリスクマネジメントプランを概説できる。			処方箋と調剤 薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ			
8) 特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の					薬局実習、病院実習1	
安全管理を体験する。(知識・技能・態度)  9) 調剤ミスを防止するために工夫されている事項を具体的に説明できる。					薬局実習、病院実習1	
9) 調刑 ミスを切立するためにエスされている事項を具体的に試明できる。 10) 施設内のインシデント (ヒヤリハット) 、アクシデントの事例をもとに、リスクを回避する						
ための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。(知識・態度)					薬局実習、病院実習1,2	
11) 施設内の安全管理指針を遵守する。 (態度)					薬局実習、病院実習1,2	
12) 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。 (技能)					薬局実習、病院実習1,2	
13) 臨床検体・感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。 (技能・態度)					病院実習2	
14) 院内での感染対策 (予防、蔓延防止など) について具体的な提案ができる。 (知識・態度)				<u> </u>	病院実習2	
(3) 薬物療法の実践 【①患者情報の把握】						
1)前)基本的な医療用語、略語の意味を説明できる。				輸液と栄養,実務実習事前学習		
2) 前) 患者および種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)				一部派と不良, 大切大日子門丁目		
から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・態度)				実務実習事前学修	症候と疾患推測	薬剤師の臨床判断
[E3 (2) ①参照]						
3)前)身体所見の観察・測定(フィジカルアセスメント)の目的と得られた所見の薬学的管理への活用について説明できる。			急性期医療と薬剤師	実務実習事前学修	症候と疾患推測	薬剤師の臨床判断
4)前)基本的な身体所見を観察・測定し、評価できる。(知識・技能)			急性期医療と薬剤師	実務実習事前学修	症候と疾患推測	薬剤師の臨床判断
5) 基本的な医療用語、略語を適切に使用できる。 (知識・態度)					薬局実習,病院実習1,2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
6) 患者・来局者および種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬					薬局実習,病院実習1,2	
等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・態度)					学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
7) 患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。(技能・態度)					薬局実習,病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
【②医薬品情報の収集と活用】 [E3(1)参照]					于即建场网体关目	未用即び臨床刊即
1)前)薬物療法に必要な医薬品情報を収集・整理・加工できる。(知識・技能)			調剤・患者対応入門	実務実習事前学修		薬剤師の臨床判断
2) 施設内において使用できる医薬品の情報源を把握し、利用することができる。 (知識・技能)					薬局実習,病院実習1,2	学部連携病棟実習
					学部連携病棟実習 薬局実習,病院実習2	
3) 薬物療法に対する問い合わせに対し、根拠に基づいた報告書を作成できる。 (知識・技能)					学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
4) 医療スタッフおよび患者のニーズに合った医薬品情報提供を体験する。 (知識・態度)					薬局実習,病院実習1,2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
		+			学市建筑病株美育 薬局実習,病院実習1,2	+
5) 安全で有効な薬物療法に必要な医薬品情報の評価、加工を体験する。 (知識・技能)					学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
6) 緊急安全性情報、安全性速報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱う					薬局実習,病院実習1,2	学部連携病棟実習
ことができる。(知識・態度)			<u> </u>		学部連携病棟実習	,此处已次为不大日
【③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)】					<b>点加速型し茶粉布ナの中</b> 型	
1) 前) 代表的な疾患に対して、疾患の重症度等に応じて科学的根拠に基づいた処方設計ができる。					症例演習と薬物療法の実践 症候と疾患推測	薬剤師の臨床判断
2)前)病態(肝・腎障害など)や生理的特性(妊婦・授乳婦、小児、高齢者など)等を考慮し、 薬剤の選択や用法・用量設定を立案できる。				輸液と栄養		
<ul><li>3)前)患者のアドヒアランスの評価方法、アドヒアランスが良くない原因とその対処法を説明できる。</li></ul>			急性期医療と薬剤師	実務実習事前学修		薬剤師の臨床判断
4)前)皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射・点滴等の基本的な手技を説明できる。			急性期医療と薬剤師	輸液と栄養		薬剤師の臨床判断
5)前)代表的な輸液の種類と適応を説明できる。				輸液と栄養,実務実習事前学修		
6)前)患者の栄養状態や体液量、電解質の過不足などが評価できる。				輸液と栄養,実務実習事前学修		

	T		<b>**</b> **	当科目		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
7) 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。					薬局実習、病院実習1,2 症例演習と薬物療法の実践 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
8) 治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。					薬局実習、病院実習2 症例演習と薬物療法の実践 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
9)患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等) や薬剤の特徴(作用機序や製剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。(知識・態度)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
10) 処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコールやクリニカルパスを活用できる。 (知識・態度)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
11) 入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。 (知識・態度)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
12) アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。 (知識・態度)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
13) 処方提案に際して、医薬品の経済性等を考慮して、適切な後発医薬品を選択できる。					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
14) 処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。(知識・態度)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】				<u> </u>		
<ol> <li>前) 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に関してモニタリングすべき症状と検査 所見等を具体的に説明できる。</li> </ol>				輸液と栄養	症例演習と薬物療法の実践 症候と疾患推測	薬剤師の臨床判断
2)前)代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者情報収集ができる。(知識・技能)				実務実習事前学修	症候と疾患推測	薬剤師の臨床判断
3) 前) 代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の 立案を行い、SOAP形式等で記録できる。 (知識・技能)				実務実習事前学修		薬剤師の臨床判断
4) 医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。 (知識・態度)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
5) 薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定の 提案ができる。(知識・態度)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
6) 薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果および副作用について予測できる。(知識・技能)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
7) 臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
8) 薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。					薬局実習、病院実習2、学部連携 病棟実習、症候と疾患推測	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
9) 副作用の発現について、患者の症状や検査所見などから評価できる。					薬局実習、病院実習2、学部連携 病棟実習、症候と疾患推測	学部連携病棟実習 薬剤師の臨床判断
10) 薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。(知識・態度)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
11) 報告に必要な要素 (5W1H) に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。 (技能)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
12) 患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で 適切に記録する。 (知識・技能)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
13) 医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。 (知識・技能)					薬局実習、病院実習2 学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
(4) チーム医療への参園 [A (4) 参照] 【①医療機関におけるチーム医療】						
1) 前) チーム医療における薬剤師の役割と重要性について説明できる。	アカデミックスキルズ、地域医療 入門		急性期医療と薬剤師			
2) 前) 多様な医療チームの目的と構成、構成員の役割を説明できる。	アカデミックスキルズ、地域医療 入門		急性期医療と薬剤師			
3)前)病院と地域の医療連携の意義と具体的な方法(連携クリニカルパス、退院時共同指導、病院・薬局連携、関連施設との連携等)を説明できる。				地域医療とプライマリ・ケア		
<ul><li>4)薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師および医師・看護師等の医療スタッフ と連携できる。(態度)</li></ul>					病院実習1,2、学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
5) 医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、 治療 開始後の変化 (治療効果、副作用、心理状態、QOL等)の情報を共有する。 (知識・態度)					病院実習1,2、学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
6) 医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針について討議(カンファレンスや患者回診への参加等)する。(知識・態度)					病院実習1,2、学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
7) 医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。 (知識・態度)					病院実習1,2、学部連携病棟実習	学部連携病棟実習
8) 医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。(知識・態度)					病院実習2、学部連携病棟実習	学部連携病棟実習

	1		AL str	* -		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	<b>科目</b> 4年	5年	6年
9) 病院内の多様な医療チーム (ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等) の活動に薬剤師の立場		- 1	- "			
で参加できる。(知識・態度)					病院実習1,2、学部連携病棟実習	字部連携病棟美省
【②地域におけるチーム医療】				1		T
1)前)地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制(地域包括ケア)およびその意義に	地域医療入門			地域医療とプライマリ・ケア		
ついて説明できる。 2) 前) 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議する。(知識・態度)	地域医療入門	診療の流れを知る		地域医療とプライマリ・ケア		
	地域医旅八门	診療の流れを知る		学部連携チーム医療PBLIII・在宅		
3) 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携を体験する。(知識・態度)				チーム医療と倫理TBLIII	薬局実習	
4) 地域医療を担う職種間で地域住民に関する情報共有を体験する。 (技能・態度)				学部連携チーム医療PBLIII・在宅	薬局実習	
				チーム医療と倫理TBLIII	米川夫自	
(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 [B (4) 参照]						
[①在宅(訪問)医療・介護への参画]				地域医療とプライマリ・ケア		
1)前)在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる。	地域医療入門			実務実習事前学修	学部連携地域医療実習	
- \ \ \ - \ - \ - \ - \ \ - \ \ - \ \ - \ \ - \ \ - \ \ \ \ - \ \ \ - \ \ \ \ \ - \ \ \ \ \ \ - \ \ \ \ \ \ \ \ - \	ul later de 2 mg			地域医療とプライマリ・ケア		
2)前)在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる。	地域医療入門			実務実習事前学修	学部連携地域医療実習	
3) 前) 在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。	地域医療入門			地域医療とプライマリ・ケア	学部連携地域医療実習	
	-0-9022/00/21			実務実習事前学修		
4) 在宅医療・介護に関する薬剤師の管理業務(訪問薬剤管理指導業務、居宅療養管理指導業務)				学部連携チーム医療PBL III・TBL	薬局実習、学部連携地域医療実習	
を体験する。(知識・態度) 5)地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりを体験する。(知識・				学部連携チーム医療PBL III・TBL		
態度)		在宅チーム医療と倫理 TBL II		III	薬局実習、学部連携地域医療実習	
6) 在宅患者の病状(症状、疾患と重症度、栄養状態等)とその変化、生活環境等の情報収集と		**** / F. #   A. W. TOL II	学部連携チーム医療PBL II・在宅	学部連携チーム医療PBL III・TBL	***************************************	
報告を体験する。(知識・態度)		在宅チーム医療と倫理 TBL II	ケア	III	薬局実習、学部連携地域医療実習	
<b>【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画</b> 】				ı		ı
1)前)地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動(薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、			薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ	地域医療とプライマリ・ケア		
アンチドーピング活動等)について説明できる。  2) 前) 公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる。			急性期医療と薬剤師	輸液と栄養		
3) 学校薬剤師の業務を体験する。(知識・技能)			心に物色派と未列叩	棚水と不変	薬局実習	
4) 地域住民の衛生管理(消毒、食中毒の予防、日用品に含まれる化学物質の誤嚥誤飲の予防						
等)にお ける薬剤師活動を体験する。(知識・技能)					薬局実習	
【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】〔E2(9)参照〕						
1) 前) 現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議				地域医療とプライマリ・ケア	症候と疾患推測	
する。(態度)				実務実習事前学修		
2)前)代表的な症候(頭痛・腹痛・発熱等)を示す来局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択ができる。(知識・態度)				地域医療とプライマリ・ケア 実務実習事前学修	症候と疾患推測	
3)前)代表的な症候に対する薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品の適切				地域医療とプライマリ・ケア		
な取り扱いと説明ができる。 (技能・態度)				実務実習事前学修		
4)前)代表的な生活習慣の改善に対するアドバイスができる。(知識・態度)				地域医療とプライマリ・ケア		
				実務実習事前学修		
5) 薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療					薬局実習	
機器等をリスクに応じ適切に取り扱い、管理できる。(技能・態度) 6)来局者から収集した情報や身体所見などに基づき、来局者の病状(疾患、重症度等)や体調						
り)木向右から収集した情報で身体所見なとに参りさ、木向右の病仏(疾患、里症及寺)で体調 を推測できる。(知識・態度)					薬局実習、症候と疾患推測	
7) 来局者に対して、病状に合わせた適切な対応(医師への受診勧奨、救急対応、要指導医薬品・					****	
一般用医薬品および検査薬などの推奨、生活指導等)を選択できる。(知識・態度)					薬局実習、症候と疾患推測	
8) 選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、					薬局実習、症候と疾患推測	
医療機器等の使用方法や注意点などを来局者に適切に判りやすく説明できる。(知識・態度)						
9)疾病の予防および健康管理についてのアドバイスを体験する。(知識・態度)					薬局実習、症候と疾患推測	
【④			急性期医療と薬剤師	地域医療とプライマリ・ケア		ı
1) 削)及音時医療について概認できる。 2) 災害時における地域の医薬品供給体制・医療教護体制について説明できる。			急性期医療と薬剤師	心外に派にノノイマソ・グブ	薬局実習	
3) 災害時における病院・薬局と薬剤師の役割について討議する。(態度)			急性期医療と薬剤師		薬局実習	
G 菜学研究					1	
(1) 薬学における研究の位置づけ						
1) 基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。			研究倫理と統計		薬学研究	
2) 研究には自立性と独創性が求められていることを知る。					薬学研究	薬学研究
3) 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。 (知識・技能・態度)				薬学研究入門	薬学研究	薬学研究
4) 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。(態度)				薬学研究入門	薬学研究	薬学研究
(2) 研究に必要な法規範と倫理						
1) 自らが実施する研究に係る法令、指針について概説できる。				薬学研究入門	薬学研究	薬学研究
			+	薬学研究入門	薬学研究	薬学研究

平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	跌 当 科 目							
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
3) 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。 (態度) A-(2)-④-3再掲			研究倫理と統計	薬学研究入門	薬学研究			
(3)研究の実践		•			•			
1) 研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解、評価できる。 (知識・技能)				薬学研究入門	薬学研究	薬学研究		
2) 課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する。 (知識・技能)				薬学研究入門	薬学研究	薬学研究		
3) 研究計画に沿って、意欲的に研究を実施できる。(技能・態度)				薬学研究入門	薬学研究	薬学研究		
4) 研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察する。 (知識・技能・態度)				薬学研究入門	薬学研究	薬学研究		
5)研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる。(知識・技能・態度)				薬学研究入門	薬学研究	薬学研究		
6) 研究成果を報告書や論文としてまとめることができる。(技能)				薬学研究入門	薬学研究	薬学研究		

# (基礎資料3-1) 評価実施年度における学年別在籍状況

学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年
入学年度の入学定	員 <sup>1)</sup>	200	200	200	200	200	200
入学時の学生数 <sup>2)</sup>	入学時の学生数 <sup>2)</sup> A		200	200	215	199	199
在籍学生数 3)	В	213	218	207	173	173	191
\Q (\frac{1}{2} \frac{1}{2} \f	留年による者 C	12	36	47	20	18	28
過年度在籍者数 4)	休学による者 D	1	0	3	2	1	1
編入学などによる在	E籍者数 E	0	0	0	0	0	0
ストレート在籍者数	<sup>5)</sup> F	200	182	157	151	154	162
ストレート在籍率 6)	F/A	1.00	0.91	0.79	0.70	0.77	0.85
過年度在籍率 7)	(C+D)/B	0.06	0.17	0.24	0.13	0.11	0.15

- 1) 各学年が入学した年度の入学者選抜で設定されていた入学定員を記載してください。
- 2) 当該学年が入学した時点での実入学者数を記載してください。
- 3)評価実施年度の5月1日現在における各学年の在籍学生数を記載してください。
- 4) 過年度在籍者数を「留年による者」と「休学による者」に分けて記載してください。休学と留年が重複する学生は留年者に算入してください。
- 5)(在籍学生数)ー{(過年度在籍者数)+(編入学などによる在籍者数)}を記載してください。 ストレート在籍者数 {B-(C+D+E)}
- 6)(ストレート在籍者数)/(入学時の学生数)の値を小数点以下第2位まで記載してください。(%表示でなく、1.00のように記載ください)
- 7) (過年度在籍者数)/(在籍学生数)の値を小数点以下第2位まで記載してください。(%表示でなく、1.00のように記載ください)

(基礎資料3-2) 評価実施年度の直近5年間における6年制学科の学年別学籍異動状況

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	在籍者数 1)	204	223	204	211	213
	休学者数 2)	1	0	0	1	1
1年次	退学者数 2)	6	4	7	5	8
	留年者数 2)	7	4	11	12	5
	進級率 <sup>3)</sup>	0.93	0.96	0.91	0.91	0.93
	在籍者数 1)	205	204	233	222	218
	休学者数 2)	1	1	1	1	3
2年次	退学者数 2)	3	5	5	14	11
	留年者数 2)	13	17	35	24	28
	進級率 <sup>3)</sup>	0.92	0.89	0.82	0.82	0.81
	在籍者数 1)	193	198	190	204	207
	休学者数 2)	0	0	0	3	1
3年次	退学者数 2)	4	2	5	11	10
	留年者数 2)	10	9	12	21	5
	進級率 <sup>3)</sup>	0.93	0.94	0.91	0.83	0.92
	在籍者数 1)	177	180	190	179	173
	休学者数 2)	0	0	1	1	0
4年次	退学者数 2)	1	0	3	3	1
	留年者数 2)	1	3	5	0	6
	進級率 <sup>3)</sup>	0.99	0.98	0.95	0.98	0.96
	在籍者数 1)	222	177	178	181	173
	休学者数 2)	2	0	0	1	0
5年次	退学者数 2)	0	0	1	0	1
	留年者数 2)	0	1	0	0	0
	進級率 3)	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99

- [注] 様式4の印刷体では、このページの注は、印刷範囲にいれないでください。
  - 1) 在籍者数(前年度の"編入生"、"再入学者"、"転入学者"を含む)は、評価対象年度初(4月1日)において1年次から5年次に在籍していた学生数。ただし、年度途中で、編入、再入学、転入学した学生数は、この資料の対象外とします。なお、「年度初の在籍者を確定する基準日」が4月1日でない場合、大学の基準日におけるデータを記入してください。 また、留年者数には、復学したが進級できなかった者の数も含めてください。
  - 2) 休学者数、退学者数(転学者数、除籍者数を含む)、留年者数は、各年度の年度末に、それぞれの学年から次の学年に進級できなかった学生数。
    - また、同一学生に複数の事象が発生した場合は、最後の事象に基づき算入してください。 ただし、前期に休学して後期から復学した学生については、進級できなかった場合は休学として算入し、進級した場合は"休学"には算入しないでください。
  - 3) 進級率は、次式で計算した結果を小数点以下第2位まで(%表示でなく、1.00のように)記入してください。
    - {(在籍者数)-(休学者数+退学者数+留年者数)}/(在籍者数)

(基礎資料3-3) 評価実施年度の直近5年間における学士課程修了(卒業)状況の実態

			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
卒業判定時(年度末	()の在籍学生	数 <sup>1)</sup> A	189	222	183	181	184
学士課程修了(卒業	)者数 1)	В	171	195	167	168	174
卒業率 <sup>2)</sup>		B/A	0.90	0.88	0.91	0.93	0.95
	6年	С	154	187	154	157	156
卒業までに要した 在学期間別の	7年		16	8	13	9	12
内訳 <sup>3)</sup>	8年		0	0	0	1	4
	9年以上		1	0	0	0	2
入学時の学生数(	実入学者数)	<sup>4)</sup> D	187	232	188	198	199
ストレート卒業率5	)	C/D	0.82	0.81	0.82	0.79	0.78

- 1) 当該年度の9月に卒業した学生は、「在籍学生数」(A)にも、「卒業者数」(B)にも含みません。 なお、卒業者数は、**当該年度の卒業判定会議(年度末)における卒業認定者数**記載してください。
- 2) 卒業率=(学士課程修了者数)/(6年次の在籍者数)の値(B/A)を小数点以下第2位まで記載してください。
- 3)「編入学者を除いた卒業者数」の内訳を卒業までに要した期間別に記載してください。
- 4) それぞれの年度の6年次学生(C)が入学した年度の実入学者数(編入学者を除く)を記載してください。
- 5) ストレート卒業率 = (卒業までに要した在学期間が6年間の学生数)/(入学時の学生数)の値(C/D)を、小数点以下第2位まで記載してください。

### (基礎資料3-4) 直近6年間の定員充足状況と編入学者の動向

入学年度	Ŧ	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	平均値 5)
入学定員	Α	180	200	200	200	200	200	
実入学者数 1)	В	199	199	215	200	200	200	202
入学定員充足率	<sup>2)</sup> B/A	110.56%	99.50%	107.5%	100.00%	100.00%	100.00%	102.80%
編入学定員		3	3	3	3	3	3	
編入学者数 3)	C+D+E	1	0	0	0	0	0	0
/= 7 W   1 W	2年次 C	1	0	0	0	0	0	0
編入学した学年 別の内数 <sup>4)</sup>	3年次 D	0	0	0	0	0	0	0
23.42.1.132	4年次 E	0	0	0	0	0	0	0

- 1) 各年度の実入学者数として、当該年の5月1日に在籍していた新入生数を記載してください。
- 2) 各年度の実入学者数をその年度の入学定員で除した数値(小数点以下第2位まで)を記載してください。
- 3) その年度に受け入れた編入学者(転学部、転学科などを含む)の合計数を記載してください。
- 4) 編入(転入)学による入学者の受け入れ学年別の内数を記入してください。
- 5) 6年間の平均値を人数については整数で、充足率については小数点以下第2位まで記入してください。

(基礎資料4) 学生受入れ状況 (入学試験種類別)

	学科名	入試の種類		2017年度入試 (2016年度実施)	2018年度入試 (2017年度実施)	2019年度入試 (2018年度実施)	2020年度入試 (2019年度実施)	2021年度入試 (2020年度実施)	2022年度入試 (2021年度実施)	募集定員数に対す る入学者数の比率 (6年間の平均)
			受験者数	-	-	-	-	_	50	
			合格者数	_	_	_	_	_	20	
		総合型選抜入試	入学者数(A)	_	_	_	_	_	20	
			募集定員数(B)	-	-	-	-	_	20	1
			A/B*100 (%)	_	_	=	_	_	100%	
			受験者数	114	137	148	90	76	53	
		学校推薦型		56	72	56	55	46	37	
		選抜入試	入学者数(A)	56	72	56	55	46	34	
		(2020年度ま で:推薦入試)	募集定員数(B)	55	55	55	55	55	35	
			A/B*100 (%)	101. 82%	130. 91%	101. 82%	100.00%	83. 64%	97%	-
			受験者数						4	-
			合格者数	_	_	_	_	_	4	-
		卒業生推薦入試	入学者数(A)	=	=	=	=	=	4	1
			募集定員数(B)	=	=	=	=	=	10	1
			A/B*100 (%)	_	_	_	_	_	40%	
			受験者数	1, 208	1, 225	997	731	511	668	
			合格者数	282	258	252	261	242	239	
		一般選抜入試	入学者数(A)	134	130	125	130	140	133	
		12.2.200 12.0	募集定員数(B)	135	125	120	120	120	120	
<del>-141-</del>	<del>147</del>		A/B*100(%)	99. 26%	104. 00%	104. 17%	108. 33%	116. 67%	111%	1
薬	薬		受験者数	-		153	87	164	133	1
		医学部一般選抜	合格者数			38	24	39	25	1
学	学	入試(I期)利	入学者数(A)			3	5	3	1	1
	•	用の薬学部併願 入試	募集定員数(B)	_	_	5	5	5	5	1
		7 12-1	A/B*100 (%)			60. 00%	100.00%	60.00%	20%	1
部	科	T 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	受験者数	336	340	348	229	198	255	1
		大学入学共通テ スト利用入試	合格者数	68	43	74	58	69	64	1
		(2021年度ま	入学者数(A)	9	3	5	2	5	8	
		で:大学入試センター試験利用	募集定員数(B)	10	10	10	10	10	10	-
		入試A方式)	A/B*100 (%)	90.00%	30.00%	50.00%	20. 00%	50. 00%	80%	1
			受験者数	=	30	47	25	33	1300	1
		<b>十</b> 尚 1 尚 + 宮 -	合格者数	-	11	13	9	7		
		大学入学共通テ スト利用入試B	入学者数(A)	_	10	11	8	6		
		方式	募集定員数(B)	=	10	10	10	10		
			A/B*100 (%)		100.00%	110.00%	80.00%	60. 00%	\	
			受験者数	1, 658	1, 732	1, 693	1, 162	982	1, 163	
			合格者数	406	384	433	407	403	389	1
		学 科 計	入学者数(A)	199	215	200	200	200	200	101. 17
			募集定員数(B)	200	200	200	200	200	200	1
			A/B*100 (%)	99. 50%	107. 50%	100.00%	100.00%	100.00%	100%	1
			受験者数	-	-	-	-	-	-	
			合格者数	=	=	=	=	=	-	1
		編(転)入試験	入学者数(A)	=	=	=	=	_	_	1
		spendA	募集定員数(B)	=	=	=	=	_	_	1
			A/B*100(%)							1

- [注] 1 入学者数は、実施した入試により**5月1日**(評価対象年度に実施した入試のデータは調書提出時)に新入学者となっている学生数を記入してください。
  - 2 実施している全種類の入試が網羅されるように「入試の種類」の名称を記入し、適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
  - 3 入試の種類ごとに「募集定員数(B)に対する入学者数(A)」の割合 [A/B\*100(%)] を算出してください。
  - 4 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
  - 5 各入学(募集)定員が若干名の場合は「若干名」と記入してください。
  - 6 6年制が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて記入してください。
  - 7 薬科学科との一括入試の場合は、欄外に「(備考)○年次に・・・・・を基に学科を決定する。なお、薬学科の定員は△△△名」と注を記入してください。

### (基礎資料5) 教員・職員の数

表 1. 大学設置基準 (別表第 1) の対象となる薬学科 (6年制) の専任教員

教授	准教授	専任講師	助教	合計	基準数 1)								
19名	24名	27名	112名	182名	34名								
上記における臨床実務経験を有する者の内数													
教授	准教授	専任講師	助教	合計	必要数 <sup>2)</sup>								
5名	13名	10名	64名	92名	6名								

- 1) 大学設置基準第13条別表第1のイ(表1)及び備考4に基づく数/別表2の教員は含まない
- 2) 上記基準数の6分の1 (大学設置基準第13条別表第1のイ備考10) に相当する数

表2. 薬学科(6年制)の教育研究に携わっている表1. 以外の薬学部教員

助手 <sup>1)</sup>	兼担教員 2)
0名	0名

- 1) 学校教育法第92条⑨による教員として大学設置基準第10条2の教育業務及び研究に携わる常勤者
- 2) 4年制学科を併設する薬学部で、薬学科の専門教育を担当する4年制学科の専任教員

表3. 演習、実習、実験などの補助に当たる教員以外の者

TA	SA	その他 <sup>1)</sup>	合計		
11名	84名	0名	95名		

自己点検・評価を実施した年度の実績を記入

1) 実習などの補助を担当する臨時、契約職員など (無給は除く)

表4. 薬学部専任の職員

事務職員 1)	技能職員 2)	その他 <sup>3)</sup>	合計
6名	0名	0名	6名

- 1) 薬学部の業務を専門に行う職員(非常勤を含む。ただし非常勤者数は()に内数で記入。複数学部の兼任は含まないこと。)
  - 2) 薬用植物園や実験動物の管理、電気施設など保守管理に携わる職員
  - 3) 司書、保健・看護職員など

(基礎資料6) 専任教員(基礎資料5の表1)の年齢構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
70代	O名	O名	O名	O名	O名	0%
60代	6名	0名	0名	O名	6名	3.30%
50代	11名	5名	7名	2名	25名	13.70%
40代	2名	18名	16名	11名	47名	25.80%
30代	0名	1名	4名	69名	74名	40.70%
20代	O名	0名	0名	30名	30名	16.50%
合計	19名	24名	27名	112名	182名	100.00%

専任教員の定年年齢: (<u>65</u>歳)※教授 専任教員の定年年齢: (<u>60</u>歳)※教授以外

# (参考資料) 専任教員(基礎資料5の表1)の男女構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
男性	15名	20名	18名	35名	88名	46.40%
女性	4名	4名	9名	77名	94名	53.60%

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料5の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 <sup>1)</sup>	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 <sup>3)</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
薬学科	教授							薬学への招待		1.50	0. 05
								コミュニケーション		6. 00	0. 20
								学修技法とスチューデントデベロプメント		1.00	0. 03
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		15. 00	0. 50
								学部連携病棟実習	0	4. 00	0. 13
								授業担当時間の合計		27. 50	0. 92
薬学科	教授							薬となる化合物の構造と性質		21.00	0. 70
								生体分子の化学		13. 00	0. 43
								医薬品の化学		13. 00	0. 43
								薬と疾病(神経・精神系疾患)		1.00	0. 03
								薬と疾病(消化器系疾患)		1.00	0. 03
								薬と疾病(代謝系・内分泌系疾患)		1.00	0. 03
								薬と疾病(循環器系疾患)		1.00	0. 03
								薬と疾病(泌尿器系・生殖器系疾患)		1.00	0.03
								年と 大柄 (		4. 50	0. 03
										3. 00	0. 13
								応用薬学演習			
								P6集中講義	_	3.00	0. 10
								薬学演習	0	3. 00	0. 10
								医薬品の化学実習	0	30. 00	1. 00
								授業担当時間の合計		95. 50	3. 18
薬学科	教授							P1薬学への招待		1.00	0. 03
								P1薬学演習		1.00	0. 03
								P1熱力学·化学平衡概論		4. 00	0. 13
								P2化学平衡		21.00	0. 70
								P2医薬品の検出と定量		1.00	0. 03
								P2薬学基礎から薬物治療へ 演習		2. 00	0. 07
								P2物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法 実習	0	7. 00	0. 23
								P3臨床で用いる分析技術		21. 00	0. 70
								P3機器分析		2. 00	0. 07
								P4実務と基礎の複合演習		1.50	0. 05
								P5応用薬学演習		3. 00	0. 10
								P6集中講義		3.00	0. 10
								授業担当時間の合計	1	67. 50	2. 25
薬学科	教授								ī		
K 7 17	4717							熱力学・化学平衡概論		6. 00	0. 20
								物質の状態と変化		22. 00	0. 73
								物質の構造		6. 00	0. 20
								溶液の性質		16. 50	0. 55
								薬学演習		1.50	0. 05
								実務と基礎の複合演習		1.00	0. 03
								応用薬学演習		4. 50	0. 15
								集中講義		4. 50	0. 15
								物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法 実習	0	24. 00	0. 80
								生体高分子の構造解析法	院	3. 00	0. 10
	1							授業担当時間の合計		89. 00	2. 97
								生命活動を担う分子(細胞構成因子)		21.00	0. 70
薬学科	教授							生命活動を担う分子(物質輸送とエネルギー産生)		18. 00	0. 60
<b>薬学科</b>	教授							生命活動を担う分子(代謝とその制御)	i i	6. 00	0. 20
<b>薬学科</b>	教授							エルカができっかり(10時ででかりか)			
<b>薬学科</b>	教授							分子・細胞から生理・病態へ		8. 00	0. 27
<b>薬学科</b>	教授							分子・細胞から生理・病態へ			
<b>学科</b>	教授							分子・細胞から生理・病態へ 生命活動を担う分子(細胞の構造、機能と情報伝達)	0	10.00	0. 33
<b>学科</b>	教授							分子・細胞から生理・病態へ 生命活動を担う分子(細胞の構造、機能と情報伝達) 生命体の成り立ち	0	10. 00 21. 00	0. 33 0. 70
学科	教授							分子・細胞から生理・病態へ 生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達) 生命体の成り立ち 応用薬学演習	Ĺ	10. 00 21. 00 4. 50	0. 33 0. 70 0. 15
学科	教授							分子・細胞から生理・病態へ 生命活動を担う分子(細胞の構造、機能と情報伝達) 生命体の成り立ち 応用薬学演習 疾患解明の先端科学	院	10. 00 21. 00 4. 50 3. 00	0. 33 0. 70 0. 15 0. 10
学科	教授							分子・細胞から生理・病態へ 生命活動を担う分子(細胞の構造、機能と情報伝達) 生命体の成り立ち 応用薬学演習 疾患解明の先端科学 高分子の構造解析法	Ĺ	10. 00 21. 00 4. 50 3. 00 1. 50	0. 33 0. 70 0. 15 0. 10 0. 05
								分子・細胞から生理・病態へ 生命活動を担う分子(細胞の構造、機能と情報伝達) 生命体の成り立ち 応用薬学演習 疾患解明の先端科学 高分子の構造解析法 授業担当時間の合計	院	10. 00 21. 00 4. 50 3. 00 1. 50 93. 00	0. 33 0. 70 0. 15 0. 10 0. 05 3. 10
								分子・細胞から生理・病態へ 生命活動を担う分子(細胞の構造、機能と情報伝達) 生命体の成り立ち 応用薬学演習 疾患解明の先端科学 高分子の構造解析法 授業担当時間の合計 生体防御反応の応用と制御	院	10. 00 21. 00 4. 50 3. 00 1. 50 93. 00 21. 00	0. 33 0. 70 0. 15 0. 10 0. 05 3. 10 0. 70
								分子・細胞から生理・病態へ 生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達) 生命体の成り立ち 応用薬学演習 疾患解明の先端科学 高分子の構造解析法 授業担当時間の合計 生体防御反応の応用と制御 分子・細胞から生理・病態へ	院	10. 00 21. 00 4. 50 3. 00 1. 50 93. 00 21. 00 8. 00	0. 33 0. 70 0. 15 0. 10 0. 05 3. 10 0. 70 0. 27
变学科 变学科								分子・細胞から生理・病態へ 生命活動を担う分子(細胞の構造、機能と情報伝達) 生命体の成り立ち 応用薬学演習 疾患解明の先端科学 高分子の構造解析法 授業担当時間の合計 生体防御反応の応用と制御	院	10. 00 21. 00 4. 50 3. 00 1. 50 93. 00 21. 00	0. 33 0. 70

学科 1)	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年 月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>	授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								薬と疾病(免疫・アレルギー疾患)	1. 00	0. 03
								応用薬学演習	4. 50	0. 15
								集中講義	4. 50	0. 15
								アドバンスト薬学英語	10.00	0. 33
								生命体の成り立ち 実習 ©	21.00	0. 70
								腫瘍細胞生物学 (輪講) 院	24. 00	0. 80
								疾患解明の先端科学院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	0. 20
								がん薬物療法 院		0. 05
薬学科	教授							授業担当時間の合計	134. 50	4. 48
来于作	狄汉							初年次体験実習 ⑥	1	0. 43
								人体の成り立ちと機能 薬の作用と生体内運命	1. 00 5. 00	0. 03 0. 17
								薬毒物と中毒	13. 00	0. 17
								日常生活と健康	6.00	0. 20
								医薬品・化学物質の代謝反応	7. 00	0. 23
								応用薬学演習	12. 00	0. 40
								集中講義	4. 50	0. 15
								キャリアデザイン	3. 00	0. 10
								研究倫理と統計	1.00	0. 03
								授業担当時間の合計	65. 50	2. 18
薬学科	教授							薬学への招待	1.00	0. 03
								薬の作用と生体内運命	7. 00	0. 23
								薬の作用と生体内運命(対面型)	3. 00	0. 10
								薬の効き方	9. 00	0. 30
								薬の効き方(対面型)	18. 00	0. 60
								薬の効くプロセス ⑥		0. 50
								楽と疾病(循環器系疾患)	4. 00	0. 13
								薬と疾病(循環器系疾患)(対面型)	3.00	0. 10
								薬と疾病(代謝内分泌系疾患)	5. 00	0. 17
								薬と疾病(代謝内分泌系疾患) (対面型) 応用薬学演習	3. 00 7. 50	0. 10 0. 25
								集中講義	4. 50	0. 25
								東京	-	0. 13
								生理薬理学領域基礎研究の流れ(後期)	1	0. 33
								授業担当時間の合計	100.00	3. 33
薬学科	教授							P1 人体の成り立ちと機能	6. 00	0. 20
								P2 人体の成り立ちと機能(神経等)	18. 00	0. 60
								P2 人体の成り立ちと機能・実習 ©	30.00	1. 00
								P2 生理から病態へ・演習	11.00	0. 37
								P2診療の流れを知る ©	15. 00	0. 50
								P3 薬と疾病 (呼吸器)	19. 00	0. 63
								P3 薬と疾病(消化器)	3. 00	0. 10
								P3薬と疾病(免疫アレルギー)	13.00	0. 43
								P3 救急医療と薬剤師・演習	2. 00	0. 07
								P4EM演習 ⑥	10.00	0. 33
								P4実務実習事前学習(病棟) ⑥		0. 20 0. 07
								P5 応用薬学演習 P6 応用薬学演習	2. 00	0. 07
								P6 応用薬学演習 P6 学部連携病棟実習 ©	1	0. 07
								P6 集中講義	3. 00	0. 20
								がんの薬物治療学 防	1	0. 05
								授業担当時間の合計	147. 50	4. 92
薬学科	教授							薬学への招待	1. 50	0. 05
								薬物送達システム	8. 00	0. 27
								薬剤学(輪講) 院	30.00	1. 00
								授業担当時間の合計	39. 50	1. 32
薬学科	教授							薬物の体内動態 (P3)	6. 00	0. 20
	(実 務)							薬物動態の解析 (P3)	20. 00	0. 67
	7.00.7							診療の流れを知る (P2) ©	15. 00	0. 50
								調剤・患者対応入門 (P3) ©	9. 00	0. 30
								集中講義(薬剤) (P6)	1.50	0. 05

学科 1)	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>	授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								応用薬学演習(薬剤) (P6)	3. 00	0. 10
								応用薬学演習(計算) (P6)	3. 00	0. 10
								個別化製剤概論	9.00	0. 30
								医学生物における統計学 防	6.00	0. 20
								授業担当時間の合計	72. 50	2. 42
薬学科	教授							個人・集団・社会と健康	21.00	0. 70
								生活環境と健康	21.00	0. 70
								研究倫理と統計	1.00	0. 03
								健康と環境 実習 ②	1.50	0. 05
								分子・細胞から生理・病態へ	5. 00	0. 17
								日常生活と健康	15. 00	0. 50
								放射性医薬品の利用と管理	2. 00	0. 07
								生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)	18. 00	0. 60
								応用薬学演習(P5)	3. 00	0. 10
								応用薬学演習(P6)	9. 00	0. 30
								P6集中講義	9. 00	0. 30
								疾患解明の生命科学	-	0. 10
								授業担当時間の合計	108. 50	3. 62
薬学科	教授							リハ・介護・在宅医療	+	0. 20
								薬学への招待	1. 50	0. 05
								コミュニケーション 演習	18. 00	0. 60
								診療の流れを知る 実習 ⑥	-	0. 10
								社会保障と医療経済	21.00	0. 70
								サスト (中で ) と (京 ) は ( ) で ( )	3. 00	0. 10
								ずお連携チーム医療PBLⅢ・在宅ケア演習	12. 00	0. 10
								調剤・患者対応入門 実習 ②	+	0. 40
								調用・忠有対応人口 美自 地域医療とプライマリーケア	19.00	0. 30
								実務実習事前学修 実習	-	0. 63
								アドバンスト薬学英語	15. 00	0. 50
								社会薬学(輪講)	+	1. 45
								英学における量的研究と質的研究	_	0. 50
								授業担当時間の合計	181.00	6. 03
薬学科	教授							薬学への招待	1.00	0.03
* 111	(実							薬と疾病(消化器疾患)	12. 00	0. 40
	務)							薬と疾病(泌尿器・生殖器疾患)	2. 00	0. 40
								薬と疾病(免疫・アレルギー疾患)	9. 00	0. 30
									-	0. 50
								調剤・患者対応入門 学部連携チーム医療PBLII・在宅ケア	16.00	0. 60
								子の建族ゲーム医療「吐血・性モグゲーム医療」は、一般などのでは、	11.00	0. 00
									+	_
								個別化医療	8.00	0. 27
								実務と基礎の複合演習症例演習と薬物療法の実践	3.00	0. 10 0. 13
									4.00	_
								学部連携病棟実習 © 応用薬学演習	6.00	0. 20 0. 03
								ルカスト薬学英語	4. 00	0. 03
								P5アドバンスト薬学英語	4. 00	0. 13
								薬物治療学特論 防	-	0. 13
								案物冶療子付調 薬物治療学 (輪講) 防	_	2. 67
								実物の原子 (神神) P 授業担当時間の合計	197. 00	6. 57
薬学科	教授							漢方薬になる動植鉱物	15. 00	0. 50
	(実							薬用植物・生薬演習	-	1. 50
	務)							初年次体験実習	+	1. 90
								処方箋と調剤	2. 00	0. 07
								統合医学	1.00	0. 03
								調剤・患者対応入門実習	+	0. 50
								漢方医学の実践	21.00	0. 70
								応用薬学演習	1.00	0. 03
								P6集中講義	3. 00	0. 10
								学部連携病棟実習	+	0. 10
								アドバンスト薬学英語	12. 00	0. 40
								天然医薬治療学輪講	+	0. 50

学科 <sup>1)</sup>	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年 月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								授業担当時間の合計		193. 00	6. 43
薬学科	教授							感染症とバイオセーフティー		7. 50	0. 25
								微生物と感染症		20.00	0. 67
								薬と疾病(感染症)		4. 50	0. 15
								診療の流れを知る	0	15. 00	0. 50
								生命体の成り立ち実習	0	30.00	1.00
								輸液と栄養		3. 00	0. 10
								実務と基礎の複合演習		3. 00	0. 10
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								応用薬学演習		4. 50	0. 15
								集中講義		4. 50	0. 15
								感染制御薬学	院	10.50	0. 35
								疾患解明の先端科学	院	6. 00	0. 20
								感染制御薬学(輪講)	院	18. 00	0. 60
								授業担当時間の合計		132. 50	4. 42
薬学科	教授							薬と疾病(悪性腫瘍)		13. 00	0. 43
								医薬品情報と患者情報		1.00	0. 03
								生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)		2. 00	0. 07
								応用薬学演習		1. 50	0. 05
								集中講義		4. 50	0. 15
								調剤・患者対応入門実習	0	9. 00	0. 30
								薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)		15. 00	0. 50
								EBM演習		8. 00	0. 27
								実務と基礎の複合演習	_	3. 00	0. 10
								実務実習事前学修	0	24. 00	0. 80
								症例演習と薬物療法の実践	_	8. 00	0. 27
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								がん薬物療法学	院	3. 00	0. 10
								Research Article English	院	1. 50	0.05
								がんゲノム医療薬学(輪講)	院	11.00	0. 37
薬学科	教授							授業担当時間の合計	-	110. 50	3. 68
来于行	(実							人体の成り立ちと機能(内分泌)		6. 00 3. 00	0. 20 0. 10
	務)							診療の流れを知る 実習	0		
								人体の成り立ちと機能 実習 薬と疾病(内分泌系疾患)	0	9. 00	0. 30 0. 20
								輸液と栄養	_	1. 50	0. 20
								「親内など不受 集中講義(内分泌系、ホルモン薬)	_	1. 50	0. 05
								実生研教 (内ガルボ、ホルモン米) 授業担当時間の合計		27. 00	0. 03
薬学科	准教授							薬学への招待	-	1. 50	0. 05
								学修技法とスチューデントデベロプメント	_	1. 00	0. 03
								サル域医療入門 TBLI	_	6. 00	0. 03
								初年次体験実習	0	6. 00	0. 20
								在宅チーム医療と倫理TBLII	_	12. 00	0. 40
								生と死	_	11.00	0. 37
								薬と疾病(神経・精神系疾患)	_	14. 00	0. 47
								薬と疾病PBLチュートリアル1(神経疾患)	_	19. 00	0. 63
								薬剤師に求められる倫理観	_	11.00	0. 37
								学部連携チーム医療PBL II・在宅ケア		33. 00	1. 10
								学部連携チーム医療PBL III・在宅チーム医療と倫理TBL III		30.00	1. 00
								実務実習事前学修	0	15. 00	0. 50
								臨床心理学の活用		14. 00	0. 47
								応用薬学演習・集中講義		6. 00	0. 20
								学部連携病棟実習P5	0	6. 00	0. 20
								学部連携病棟実習P6	0	6. 00	0. 20
								教育実践学(輪講)	院	15. 00	0. 50
								授業担当時間の合計		206. 50	6. 88
薬学科	准教授							薬と疾病(呼吸器系疾患)		1.00	0. 03
								薬と疾病(免疫・アレルギー疾患)		1.00	0. 03
								薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節疾患)		1.00	0. 03
								薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		1.00	0. 03
								有機化合物の構造と性質		3. 00	0. 10
I	l l							官能基の化学		21. 00	0. 70

学科 1)	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								薬学演習	0	1. 50	0. 05
								応用薬学演習		2. 00	0. 07
								P6集中講義		2. 00	0. 07
								医薬品の化学	0	30.00	1.00
								学部連携チーム医療PBLII・在宅ケア	0	12. 00	0. 40
								実務実習事前学修	0	30.00	1.00
								授業担当時間の合計		105. 50	3. 52
薬学科	准教授							アカデミックスキルズ		12.00	0. 40
								有機化合物の構造と性質		3. 00	0. 10
								薬学演習		3. 00	0. 10
								薬学基礎から薬物治療へ 演習		7. 00	0. 23
								医薬品の化学実習	0	30.00	1.00
								生体分子の化学		6. 00	0. 20
								医薬品の化学		6. 00	0. 20
								実務と基礎の複合演習		1.50	0. 05
								実務実習事前学習		36. 00	1. 20
								応用薬学演習		3. 00	0. 10
								集中講義		3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		110. 50	3. 68
薬字科	准教授							生命活動を担う分子(代謝とその制御)		18. 00	0. 60
								生理から病態へ 演習		3. 00	0. 10
								薬学基礎から薬物治療へ 演習	_	7. 00	0. 23
								実務実習事前学修	0	44. 00	1. 47
								生命体の成り立ち	0	21.00	0. 70
								アカデミックスキルズ	0	12. 00	0. 40
								応用薬学演習		3. 00	0. 10
								P6集中講義	n-	3.00	0. 10
								高分子の構造解析法	院	3.00	0. 10
<b>薬学科</b>	准教授							授業担当時間の合計		114.00	3. 80
来于行	准狄汉							医薬品・化学物質の代謝反応 研究倫理と統計	0	12. 00 2. 00	0. 40 0. 07
								薬と疾病チュートリアル1(神経疾患)	0	13. 00	0. 43
								学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	0	18. 00	0. 43
								薬毒物と中毒	0	1. 00	0. 03
								実務実習事前学修	0	30.00	1. 00
								学部連携病棟実習	0	18. 00	0. 60
								授業担当時間の合計		94. 00	3. 13
薬学科	准教授							初年次体験実習	0	12. 00	0. 40
								人体の成り立ちと機能(神経・感覚器・皮膚・泌尿器・消化器)		1.00	0. 03
								人体の成り立ちと機能 実習	0	1.00	0. 03
								薬の効き方		24. 00	0. 80
								薬学基礎から薬物治療へ 演習		3. 00	0. 10
								薬と疾病(消化器系疾患)		2. 00	0. 07
								薬と疾病(代謝系・内分泌系疾患)		5. 00	0. 17
								薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)		15. 00	0. 50
								薬の効くプロセス 実習	0	18. 00	0. 60
								急性期医療と薬剤師 実習	0	9. 00	0. 30
								薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節疾患)		10.00	0. 33
								EBM演習		9. 00	0. 30
								実務実習事前学修	0	36. 00	1. 20
								症例演習と薬物療法の実践		8. 00	0. 27
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								応用薬学演習		4. 50	0. 15
								集中講義		3. 00	0. 10
								生理・薬理学領域基礎研究の流れ	院	3. 00	0. 10
								生体の機能解析法(薬理学(医科薬理学分野))	院	6.00	0. 20
本当ち	/# ∓# 1±0							授業担当時間の合計	_	175. 50	5. 85
笨子科	准教授							人体の成り立ちと機能(循環器・血液・内分泌・生殖器・遺伝)	6	13.00	0. 43
								人体の成り立ちと機能 実習	0	30.00	1.00
								生理から病態へ演習	6	4. 00	0. 13
								調剤・患者対応入門 実習 薬と疾病(循環器系疾患)	0	3. 00 5. 50	0. 10 0. 18
]	l							木口//////   旧塚前77万志/		3. 00	U. 10

学科 1)	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)		14. 00	0. 47
								薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		7. 00	0. 23
								実務実習事前学習	0	18. 00	0. 60
								応用薬学演習		3. 00	0. 10
								集中講義		1. 50	0. 05
								授業担当時間の合計		99.00	3. 30
薬学科	准教授							物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法実習	0	50.00	1. 67
								製剤化と製剤試験法	0	30.00	1. 00
								製剤の性質		7. 00	0. 23
								製剤設計		8. 00	0. 27
								学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア		18. 00	0. 60
								実務実習事前学習	0	15. 00	0. 50
								薬物送達システム		2. 00	0. 07
								応用薬学演習		4. 00	0. 13
								集中講義		1. 00	0. 03
								個別化製剤概論	院	9. 00	0. 30
								薬剤学(輪講)	院	18. 00	0. 60
								授業担当時間の合計	,,,,	162. 00	5. 40
薬学科	准教授							薬物の体内動態 (P3)		11.00	0. 37
	(実							薬物動態の解析 (P3)		16.00	0. 57
	務)							架物動態の解析 (F3) 処方箋と調剤 (P3))		1, 00	0. 03
								医薬品情報と患者情報 (P3)		2. 00	0. 07
								個別化医療(P4)		1. 00	0. 07
								輸液と栄養 (P4)		7. 00	0. 03
								親(など 木 受 (14) 集中講義 (薬剤) (P6)		3. 00	0. 23
								応用薬学演習(薬剤) (P6)		3. 00	0. 10
								応用薬子演習(計算) (P6)		4, 50	0. 10
								ル州栄子順自(日昇)(FO) 薬と疾病チュートリアル(P3)		6. 00	0. 13
								薬と疾病チュートリアル (P4)		11.00	0. 37
								診療の流れを知る (P2) 調剤・患者対応入門 (P3)	0	12.00	0. 40 0. 30
								事前学習(注射·経管) (P4)	0	9. 00	0. 30
								学部連携病棟実習 (P6, 5)	0	6. 00	0. 07
								子中理技術株実自(F0, 5)   個別化製剤概論		9. 00	0. 20
								回が北級別機論 医学生物における統計学	院院	12. 00	0. 30
								授業担当時間の合計	PJL	133. 50	4, 45
薬学科	准教授							栄養と健康		21. 00	0. 70
21.7								集中講義		2. 00	0. 07
								応用薬学演習		4, 50	0. 15
								プロステナス 日本 学部連携チーム医療PBL II・在宅ケア	0	12. 00	0. 13
								字 の 連携 アーム 医療 r DL II・ 住 モ ク ア 実務実習事前学修	0	36. 00	1. 20
								失務夫百争則子修 健康と環境 実習	0	24. 00	0. 80
								歴成と現場 美音   早期臨床体験実習 I (初年次体験実習)	0	8. 00	0. 80
								授業担当時間の合計	•	107. 50	3. 58
薬学科	准教授							技来担当時間の占計 P3 薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ		14. 00	0. 47
21-3 T-T								P3 急性期医療と薬剤師 実習	0	27. 00	0. 47
								P3 調剤・患者対応入門 実習	0	7. 50	0. 90
								P4 薬と疾病チュートリアル3 (がん疾患)	9	6. 00	0. 20
								P4 学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		18. 00	0. 20
								P4 EBM演習		1.00	0. 00
								P4 医薬品評価と開発		1.00	0.03
									0	58. 00	1. 93
								P4 実務実習事前学修 P5 症候と疾患推測	9	12. 00	0. 40
								P5 症候と疾患推測 P5 アドバンスト薬学英語		3. 00	0. 40
									0		
								P5 学部連携病棟実習 D6 広田薬学深習	9	6.00	0. 20
								P6 応用薬学演習 D6 集中議		6.00	0. 20
								P6 集中講義		3.00	0. 10
								P6 アドバンスト薬学英語	6	3.00	0. 10
								P6 学部連携病棟実習	0	6.00	0. 20
								P6 薬剤師の臨床判断 D1 数分 集 か 治療薬 営		22. 00	0. 73
								D1 救急・集中治療薬学	院	3. 00 196. 50	0. 10
								授業担当時間の合計		190.00	6. 55

学科 1)	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
薬学科	准教授							人体の成り立ちと機能(循環器・血液・内分泌・生殖器・遺伝)		2. 00	0. 07
								薬学基礎から薬物治療へ 演習		4. 00	0. 13
								薬と疾病(泌尿器系・生殖器系疾患)		6. 00	0. 20
								調剤・患者対応入門	0	16.00	0. 53
								学部連携チーム医療PBL II ・在宅ケア		15. 00	0. 50
								薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		3. 00	0. 10
								個別化医療		8. 00	0. 27
								症例演習と薬物療法の実践		4. 00	0. 13
								実務実習事前学修	0	42. 00	1. 40
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		18.00	0. 60
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								応用薬学演習		1.00	0. 03
								P6アドバンスト薬学英語		1. 00	0. 03
								P5アドバンスト薬学英語		1. 00	0. 03
									院	80.00	2. 67
- <del>1,1</del> 224 T.I	V4 +/L 1=0							授業担当時間の合計		207. 00	6. 90
栄子科	准教授 (実							処方箋と調剤		6. 00	0. 20
	務)							医薬品情報と患者情報	_	3.00	0. 10
								EBM演習		2. 00	0. 07
								集中講義		1.00	0. 03
								薬と疾病(神経・精神系疾患)	•	1.00	0. 03
								漢方薬になる動植鉱物	0	20.00	0. 67
								初年次体験実習	0	12.00	0. 40
								調剤・患者対応入門実習	0	10.00	0. 33
								実務実習事前学習	0	18.00	0. 60
								漢方医学の実践 薬用植物・生薬演習	0	1.00	0. 03
									院	2.00	0. 03
									院院	4. 00	0. 07
								生体の機能解析法(薬理学 (医科薬理学分野) ) アドバンスト薬学英語	阭	4. 00	0. 13
									院	2. 00	0. 13
									院	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計	IJL	90.00	3. 00
薬学科	准教授							薬と疾病(感染症)		18. 00	0. 60
	(実							生命体の成り立ち実習	0	30.00	1. 00
	務)							医薬品情報と患者情報		11.00	0. 37
								臨床シナリオ・学部連携PBLチュートリアル	0	18. 00	0. 60
								調剤患者対応入門	0	12. 00	0. 40
								EBM演習		18.00	0. 60
								実務実習事前学修	0	27. 00	0. 90
								症例演習と薬物療法の実践		12. 00	0. 40
								症候学皿		1. 50	0. 05
								応用薬学演習		3. 00	0. 10
								集中講義		1. 50	0. 05
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								感染制御薬学	院	4. 50	0. 15
								授業担当時間の合計		162. 50	5. 42
薬学科	講師								0	30. 00	1. 00
								薬の宝庫としての天然物		15. 00	0. 50
								学修技法とスチューデントデベロプメント	0	1.00	0. 03
								薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)	0	11.00	0. 37
								学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	0	18. 00	0. 60
								実務実習事前学修		36.00	1. 20
								応用薬学演習	0	1.00	0. 03
								学部連携病棟実習		2. 00	0. 07
								薬学への招待	6	1. 50	0. 05
								生と死	0	12. 00	0. 40
薬学科	講師							授業担当時間の合計	_	127. 50	4. 25
未于符	마타마							地域医療入門		12. 00 12. 00	0. 40 0. 40
								在宅チーム医療と倫理TBL耳(学部連携)	-		
								薬剤師の使命	-	10.00	0. 33
								薬と疾病チュートリアル 1 (神経疾患)		10.00	0. 33

学科 1)	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								薬剤師に求められる倫理観		7. 00	0. 23
								学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア		30.00	1. 00
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		30.00	1. 00
								実務と基礎の複合演習		5. 00	0. 17
								実務実習事前学修	0	15. 00	0. 50
								臨床心理学の活用		12.00	0. 40
								学部連携病棟実習		9. 00	0. 30
								授業担当時間の合計		152. 00	5. 07
薬学科	講師							薬学演習		3. 00	0. 10
								有機化合物の反応		21.00	0. 70
								医薬品の化学I	0	30.00	1.00
								学部連携 高齢者コミュニケーション演習		12. 00	0. 40
								実務実習事前学習		36. 00	1. 20
								応用薬学演習		1.00	0. 03
								集中講義		2. 00	0. 07
M	-#-4							授業担当時間の合計	ī	105. 00	3. 50
薬学科	講師							在宅チーム医療と倫理TBLII	0	6.00	0. 20
								医薬品の化学実習	0	27. 00	0. 90
								生体分子の化学	_	2.00	0. 07
								実務実習事前学修	0	30.00	1.00
								医薬品の化学		2.00	0. 07
								地域医療入門	0	12.00	0. 40
								薬学演習	0	3.00	0. 10
薬学科	講師							授業担当時間の合計	1	82. 00	2. 73
****	마하다							医薬品の検出と定量	0	20.00	0. 67 0. 97
								物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法 実習 実務実習事前学習	0	29. 00 19. 50	0. 97
								字/5次百事刊子百 P5応用薬学演習	0	4, 50	0. 05
								P6集中講義		3.00	0. 10
								授業担当時間の合計		76.00	2. 53
薬学科	講師							地域医療入門		12.00	0. 40
								在宅チーム医療と倫理TBL II		12.00	0. 40
								物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法実習	0	27. 00	0. 90
								機器分析		11. 50	0. 38
								学部連携チーム医療PBLIII		18. 00	0. 60
								実務実習事前学修	0	36. 00	1. 20
								症例演習と薬物療法の実践		16.00	0. 53
								薬局実習		11.50	0. 38
								集中講義		0. 50	0. 02
								授業担当時間の合計		144. 50	4. 82
薬学科	講師							P1 地域医療入門		12.00	0. 40
								P2 在宅チーム医療と倫理TBLII(学部連携)		12.00	0. 40
								P2 物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法実習	0	27.00	0. 90
								P3 在宅チーム医療と倫理TBLII(学部連携)	<u> </u>	12.00	
								P3 機器分析	<u> </u>	14.50	
								P4 実務実習事前学修	0	21.00	
								P5 症例演習と薬物療法の実践	<u> </u>	16.00	
								P5 (物理)応用薬学演習	-	1.00	
								P6 集中講義		0.50	
$ldsymbol{ldsymbol{eta}}$								授業担当時間の合計		116.00	
<b>本学</b> 40	禁師							物質の構造		7. 00	0. 23 1. 00
薬学科	講師							振歴の   歴・八七・		20 00	
薬学科	講師							物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法実習 実際と其機の複合流習	0	30.00	
薬学科	講師							実務と基礎の複合演習	0	1.00	0. 03
薬学科	講師							実務と基礎の複合演習 応用薬学演習		1. 00 1. 50	0. 03 0. 05
薬学科	講師							実務と基礎の複合演習 応用薬学演習 生体高分子の構造解析法	院	1. 00 1. 50 3. 00	0. 03 0. 05 0. 10
薬学科	講師							実務と基礎の複合演習 応用薬学演習 生体高分子の構造解析法 溶液の性質	院	1. 00 1. 50 3. 00 4. 50	0. 03 0. 05 0. 10 0. 15
薬学科	講師							実務と基礎の複合演習 応用薬学演習 生体高分子の構造解析法 溶液の性質 初年次体験実習	院	1. 00 1. 50 3. 00 4. 50 10. 00	0. 03 0. 05 0. 10 0. 15 0. 33
薬学科	講師							実務と基礎の複合演習 応用薬学演習 生体高分子の構造解析法 溶液の性質 初年次体験実習 実務実習事前学修	院	1. 00 1. 50 3. 00 4. 50 10. 00 30. 00	0. 03 0. 05 0. 10 0. 15 0. 33 1. 00
薬学科	講師講師							実務と基礎の複合演習 応用薬学演習 生体高分子の構造解析法 溶液の性質 初年次体験実習 実務実習事前学修 授業担当時間の合計	院	1. 00 1. 50 3. 00 4. 50 10. 00 30. 00 87.00	0. 03 0. 05 0. 10 0. 15 0. 33 1. 00 2. 90
								実務と基礎の複合演習 応用薬学演習 生体高分子の構造解析法 溶液の性質 初年次体験実習 実務実習事前学修	院	1. 00 1. 50 3. 00 4. 50 10. 00 30. 00	0. 03 0. 05 0. 10 0. 15 0. 33 1. 00

学科 1)	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								放射性医薬品の利用と管理		5. 00	0. 17
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		18. 00	0. 60
								実務実習事前学修		33.00	1. 10
								アドバンスト薬学英語		10.00	0. 33
								腫瘍細胞生物学(輪講)	院	24. 00	0. 80
								授業担当時間の合計		130.00	4. 33
薬学科	講師							薬学への招待		1.00	0. 03
								薬と疾病チュートリアル 1 (神経疾患)	0	10.00	0. 33
								研究倫理と統計		18. 00	0. 60
								学部連携チーム医療PBLI・在宅ケア	0	18. 00	0. 60
								薬毒物と中毒		5. 00	0. 17
								実務実習事前学修	0	15. 00	0. 50
								症例演習と薬物療法の実践	0	2. 00	0. 07
								学部連携病棟実習(5年)	0	3. 50	0. 12
								学部連携病棟実習(6年)	0	7. 00	0. 23
薬学科	講師							授業担当時間の合計		79. 50	2. 65
****	마하다							薬の作用と生体内運命 薬の効き方		6. 00 18. 00	0. 20 0. 60
								条の刻さ方   人体の成り立ちと機能 実習	0	3. 00	0. 60
								薬と疾病(呼吸器系疾患)	•	1. 00	0. 10
								薬と疾病(循環器系疾患)		6. 00	0. 03
								薬と疾病(免疫・アレルギー疾患)		1. 00	0. 03
								薬と疾病チュートリアル1(神経疾患)		10.00	0. 33
								薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)		11. 00	0. 37
								薬の効くプロセス 実習	0	15. 00	0. 50
								実務実習事前学修	0	12. 00	0. 40
								応用薬学演習		4. 50	0. 15
								集中講義		2. 00	0. 07
								生理薬理学領域基礎研究の流れ	院	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		92. 50	3. 08
薬学科	講師							物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法 実習	0	31.00	1. 03
								製剤の性質		12. 00	0. 40
								薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)		11.00	0. 37
								学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア		12. 00	0. 40
								製剤化と製剤試験法 実習	0	27. 00	0. 90
								実務実習事前学修		15.00	0. 50
								応用薬学演習 P6集中講義		1.00	0. 03
								応用薬学演習		1.00	0. 03
								授業担当時間の合計		111.00	3. 70
薬学科	講師							製剤設計		3. 00	0. 10
								薬物送達システム		8. 00	0. 27
								応用薬学演習		2. 00	0. 07
								集中講義		2. 00	0. 07
								薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)		11.00	0. 37
								在宅チーム医療と倫理TBLI(学部連携)		14. 00	0. 47
								実務実習事前学修	0	36.00	1. 20
								製剤化と製剤試験法	0	27. 00	0. 90
								授業担当時間の合計		103. 00	3. 43
薬学科	講師							学部連携TBL I		12. 00	0. 40
								学部連携TBL II		8. 00	0. 27
								診療の流れを知る		12. 00	0. 40
								製剤化と製剤試験法実習	0	33.00	1. 10
								製剤化と製剤試験法実習制剤を受ける	0	15. 00	0. 50
								製剤設計薬物送達システム		10. 00 3. 00	0. 33 0. 10
								条物达達システム EBM演習		6. 00	0. 10
											J. 2U
											0.20
								薬と疾病チュートリアル		6. 00	0. 20 0. 10
											0. 20 0. 10 0. 50
								薬と疾病チュートリアル 実務と基礎の複合演習		6. 00 3. 00	0. 10

学科 1)	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								応用薬学演習		2. 25	0. 08
								集中講義		2. 25	0. 08
								授業担当時間の合計		140. 50	4. 68
薬学科	講師							薬物の体内動態		7. 00	0. 23
								薬物動態の解析		6. 00	0. 20
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		18. 00	0. 60
								薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)		3. 00	0. 10
								症例演習と薬物療法の実践		3. 00	0. 10
								P6集中講義		1.50	0. 05
								応用薬学演習	巾齿	1.50	0. 05
								医学生物における統計学的解析法 初年次体験実習	院◎	3. 00 12. 00	0. 10
								調剤・患者対応入門 実習	0	3. 00	0. 40
								実務実習事前学修	0	15. 00	0. 50
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								授業担当時間の合計		79. 00	2. 63
薬学科	講師							薬剤師と医薬品に係る法規範I		20. 00	0. 67
	(実 務)							薬と疾病チュートリアル 1 (神経疾患)		2. 00	0. 07
	121/							学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア		18. 00	0. 60
								調剤・患者対応入門 実習	0	9. 00	0. 30
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		12. 00	0. 40
								実務実習事前学修	0	27. 00	0. 90
								学部連携病棟実習	0	3. 00	0. 10
								P6集中講義		3.00	0. 10
								応用薬学演習		7. 50	0. 25
								アドバンスト薬学英語 学部連携病棟実習	0	15. 00 3. 00	0. 50 0. 10
								社会薬学(輪講)	院	39. 00	1. 30
								授業担当時間の合計	ЮL	158. 50	5. 28
薬学科	講師							人体の成り立ちと機能(循環器・血液・内分泌・生殖器・遺伝)		2. 00	0. 07
								人体の成り立ちと機能 実習	0	9. 00	0. 30
								薬と疾病(泌尿器系・生殖器系疾患)		6. 00	0. 20
								薬と疾病チュートリアル 1 (神経疾患)		6. 00	0. 20
								薬と疾病チュートリアル 2 (循環器疾患)		25. 00	0. 83
								学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア		18. 00	0. 60
								調剤・患者対応入門実習	0	9. 00	0. 30
								薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)		2.00	0. 07
								個別化医療 EBM演習		3. 00 8. 00	0. 10 0. 27
										30.00	1.00
								実務実習事前学修 P5アドバンスト薬学英語		1.00	0. 03
								P6アドバンスト薬学英語		1.00	0. 03
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								薬物治療学特論	院	20. 00	0. 67
								薬物治療学(輪講)	院	56. 00	1. 87
								授業担当時間の合計		202. 00	6. 73
薬学科	講師							漢方薬になる動植鉱物		12. 00	0. 40
								薬の宝庫としての天然物		13. 00	0. 43
								漢方医学の実践	_	6. 00	0. 20
								薬用植物・生薬演習	0	45. 00	1. 50
								調剤・患者対応入門実習 学部連集チール医療PRIII・在宅ケア	0	6. 00 6. 00	0. 20 0. 20
								学部連携チーム医療PBLII・在宅ケア 実務実習事前学修	0	42. 00	1. 40
								アドバンスト薬学英語	9	42.00	0. 13
								天然医薬治療学(輪講)	院	6. 00	0. 10
								天然医薬治療学(薬学研究課題)	院	10.00	0. 33
								初年次体験学習	0	12. 00	0. 40
								授業担当時間の合計		162. 00	5. 40
薬学科	講師							薬と疾病(悪性腫瘍)		6. 00	0. 20
	(実 務)							医薬品情報と患者情報		2. 00	0. 07
	7.07							診療の流れを知る	0	12. 00	0. 40
								調剤・患者対応入門 実習	0	5. 00	0. 17

学科 1)	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 <sup>3</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア	0	18.00	0. 60
								急性期医療と薬剤師 実習	0	9. 00	0. 30
								薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)		11.00	0. 37
								EBM演習		7. 00	0. 23
								実務実習事前学修	0	14. 50	0. 48
								海外における薬剤師の役割を知る	0	1.00	0. 03
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								がんゲノム医療薬学(輪講)	院	11.00	0. 37
******	=# AT							授業担当時間の合計		102. 50	3. 42
薬学科	講師(実							薬と疾病チュートリアル(神経疾患)		10.00	0. 33
	務)							輸液と栄養		5. 00	0. 17
								実務実習事前学修 症例演習と薬物療法の実践	0	55. 00 12. 00	1. 83 0. 40
								近門 関 自 C 条 初 僚 広 の 美 成 病 院 実 習 1	0	6. 00	0. 40
								病院実習2	0	22. 00	0. 20
								応用薬学演習	•	2. 00	0. 07
								学部連携病棟実習	0	12. 00	0. 40
								集中講義		1.00	0. 03
								授業担当時間の合計		125. 00	4. 17
薬学科	助教							生と死		8. 00	0. 27
	(実 務)							薬学英語1		10.00	0. 33
	120/							薬学英語2		10.00	0. 33
								薬と疾病チュートリアル		4. 00	0. 13
								薬剤師に求められる倫理観		4. 00	0. 13
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		10.00	0. 33
								実務実習事前学習	0	24. 00	0. 80
								海外における薬剤師の役割を知る 		5. 00	0. 17
								臨床心理学の応用		6. 00	0. 20
								学部連携病棟実習	0	3. 00	0. 10
								学部連携病棟実習 授業担当時間の合計	0	3. 00 87. 00	0. 10 2. 90
薬学科	助教							技术担当時間の日間  薬剤師の使命		6, 00	0. 20
× 1 11	(実							薬剤師に求められる倫理観		3, 00	0. 20
	務)							調剤・患者対応入門実習	0	36.00	1. 20
								学部連携チーム医療PBLII・在宅チーム医療と倫理TBLII	0	12. 00	0. 40
								実務実習事前学修	0	24. 00	0. 80
								臨床心理学の活用		9. 00	0. 30
								薬局実習	0	30.00	1. 00
								学部連携病棟実習	0	3. 00	0. 10
								P6集中講義		1. 50	0. 05
								授業担当時間の合計		124. 50	4. 15
薬学科	助教							物質の性質・分析・製剤化と製剤試験法 実習	0	27. 00	0. 90
								学部連携チーム医療PBLII・在宅ケア 演習		12. 00	0. 40
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ 演習		12. 00	0. 40
								実務実習事前学修	©	15. 00	0. 50
								生体高分子の構造解析法	院	3.00	0. 10
薬学科	助教							授業担当時間の合計 生命活動を担う分子(物質輸送とエネルギー産生)		69.00	2. 30 0. 20
本ナ17	划状							生命活動を担う分子 (物質輸送とエネルキー産生) 生命体の成り立ち	0	21. 00	0. 20
								学部連携チーム医療PBL II・在宅ケア	9	6. 00	0. 70
								実務実習事前学修	0	48. 00	1. 70
								授業担当時間の合計	J	81.00	2. 70
薬学科	助教							生命体の成り立ち	0	21.00	0. 70
								実務実習事前実習	0	15. 00	0. 50
								授業担当時間の合計		36.00	1. 20
薬学科	助教							生体防御反応を担う組織、細胞、分子		6. 00	0. 20
								生命体の成り立ち 実習	0	21.00	0. 70
								生体防御反応の応用と制御		6. 00	0. 20
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ	0	6. 00	0. 20
								薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)	0	12. 00	0. 40
								実務実習事前学修	0	30.00	1. 00
I								アドバンスト薬学英語		10.00	0. 33

学科 1)	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 <sup>3</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								腫瘍細胞生物学(輪講)	院	12. 00	0. 40
								授業担当時間の合計		103.00	3. 43
薬学科	助教							実務実習事前学修	0	27. 00	0. 90
								在宅チーム医療と倫理TBLI(学部連携)		13. 00	0. 43
								薬と疾病チュートリアル1(神経疾患)		10.00	0. 33
								研究倫理と統計		2. 00	0. 07
								学部連携病棟実習(5年生)	0	8. 00	0. 27
								学部連携病棟実習(6年生)	0	8. 00	0. 27
薬学科	助教							授業担当時間の合計		68. 00	2. 27
栄子件	助叙							薬の効き方		18.00	0. 60
								薬と疾病チュートリアル 1 (神経疾患)	0	10. 00 18. 00	0. 33 0. 60
								実務実習事前学修薬の効くプロセス	0	12. 00	0. 40
								実の別くプロセス 生理薬理学領域基礎研究の流れ	院	3. 00	0. 40
								授業担当時間の合計	ルル	61.00	2. 03
薬学科	助教							人体の成り立ちと機能 実習	0	30.00	1. 00
								診療の流れを知る 実習	0	8. 00	0. 27
								調剤・患者対応入門 実習	0	4. 00	0. 27
								急性期医療と薬剤師	_	9. 00	0. 30
								薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)		9. 00	0. 30
								EBM演習		6. 00	0. 20
								学部連携チーム医療PBLⅡ・在宅ケア		18. 00	0. 60
								生理から病態へ 演習		1.00	0. 03
								実務実習事前学修(薬局)		16.00	0. 53
								授業担当時間の合計		101.00	3. 37
薬学科	助教							人体の成り立ちと機能(神経・感覚器・皮膚・泌尿器・消化器)		6. 00	0. 20
								薬と疾病(呼吸器系疾患)		6. 00	0. 20
								人体の成り立ちと機能 実習	0	15. 00	0. 50
								実務実習事前学修(病棟)	0	30.00	1.00
								薬と疾病(免疫・アレルギー疾患)		6. 00	0. 20
								授業担当時間の合計		63.00	2. 10
薬学科	助教							健康と環境 実習	0	24. 00	0. 80
								実務実習事前学修	0	33. 00	1. 10
								学部連携チーム医療PBL II ・在宅ケア	0	30. 00	1. 00
								薬と疾病チュートリアル(循環器系疾患)	0	6. 00	0. 20
								在宅医療を支えるNBMと倫理	0	11.00	0. 37
薬学科	P+ */r							授業担当時間の合計	•	104. 00	3. 47
架子件	助教							健康と環境 実習	0	24. 00	0. 80
								実務実習事前学修	0	24. 00	0. 80
								学部連携チーム医療PBL II ・在宅ケア 地域医療入門	0	30.00	1.00
								地域医療人門 在宅チーム医療と倫理TBL II	0	12. 00 18. 00	0. 40 0. 60
								性モナーム医療と無理IBL II 薬と疾病チュートリアル1 (神経疾患)	0	12. 00	0. 60
								(神経疾患) 授業担当時間の合計	⊌	120.00	4. 00
薬学科	助教							リハ・介護・在宅医療	0	6. 00	0. 20
	(実							在宅医療を支える基本技能(在宅演習)	0	6. 00	0. 20
	務)							コミュニケーション		18. 00	0. 60
								診療の流れを知る	0	8. 00	0. 27
								研究倫理と統計	0	3. 00	0. 10
								学部連携チーム医療PBL II・在宅ケア	0	12. 00	0. 40
								急性期医療と薬剤師	0	12. 00	0. 40
								製剤化と製剤試験法	0	6. 00	0. 20
								調剤・患者対応入門	0	9. 00	0. 30
								地域医療とプライマリーケア		7. 00	0. 23
								輸液と栄養		6. 00	0. 20
								EBM演習	0	3. 00	0. 10
								実務実習事前学修	0	18. 00	0. 60
								症例演習と薬物療法の実践		6. 00	0. 80
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								アドバンスト薬学英語		15. 00	0. 50
								集中講義		2. 00	0. 07
								社会薬学(輪講)	院	43. 50	1. 45

学科 1)	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3</sup>		授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								授業担当時間の合計		186. 50	6. 22
薬学科	助教							P2 生と死		9. 00	0. 30
								P3 薬剤師と医薬品に係る法規範 2		2. 00	0. 07
								P3 急性期医療と薬剤師 実習	0	23. 00	0. 77
								P3 調剤・患者対応入門 実習	0	3. 50	0. 12
								P3 学部連携チーム医療 P B L Ⅱ・在宅ケア	0	6. 00	0. 20
								P4 薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)		6. 00	0. 20
								P4 EBM演習		16.00	0. 53
								P4 実務実習事前学修	0	26. 00	0. 87
								P5 学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								P6 学部連携病棟実習	0	3. 00	0. 10
								P6 薬剤師の臨床判断	0	22. 00	0. 73
								D1 救急・集中治療薬学	院	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		125. 50	4. 18
薬学科	助教							アカデミックスキルズ		12. 00	0. 40
								診療の流れを知る	0	13. 00	0. 43
								薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅱ		7. 00	0. 23
								急性期医療と薬剤師	0	23. 00	1. 40
								調剤・患者対応入門	0	5. 75	0. 19
								薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)		6. 00	0. 20
								EBM演習		16.00	0. 53
								実務実習事前学修	0	20. 00	0. 67
								症候と疾患推測		2. 00	0. 07
								集中講義		2. 00	0. 07
								応用薬学演習		1.00	0. 03
								薬剤師の臨床判断	0	23. 00	0. 77
								救急・集中治療薬学	院	3.00	0. 10
薬学科	助教							授業担当時間の合計	•	133. 75	4. 46
笨子科	(実							人体の成り立ちと機能 実習	0	6.00	0. 20
	務)							処方箋と調剤		4. 00 1. 00	0. 13
								医薬品情報と患者情報 薬と疾病チュートリアル 1 (神経疾患)		6. 00	0. 03 0. 20
								調剤・患者対応入門 実習	0	15. 00	0. 20
								個別化医療	0	2. 00	0. 07
								四が11と版 学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		18. 00	0. 60
								薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)		9. 00	0. 30
								EBM演習		9. 00	0. 30
								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20
								P6集中講義	•	2. 00	0. 07
								P6アドバンスト薬学英語		4. 00	0. 13
								薬物治療学(輪講)	院	80.00	2. 67
								授業担当時間の合計		162. 00	5. 40
薬学科	助教							漢方薬になる動植鉱物		2. 00	0. 07
								薬用植物・生薬演習	0	9. 00	0. 30
								初年次体験実習	0	18. 00	0. 60
								調剤・患者対応入門実習	0	4. 00	0. 13
								漢方医学の実践		4. 00	0. 13
								実務実習事前学習	0	16.00	0. 53
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		12. 00	0. 40
								学部連携病棟実習	0	2. 00	0. 07
								アドバンスト薬学英語		4. 00	0. 13
								天然医薬治療学輪講	院	2. 00	0. 07
								天然医薬治療学研究課題	院	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		76. 00	2. 53
薬学科								薬と疾病チュートリアル2(循環器疾患)		22. 00	0. 73
	(実 務)							調剤・患者対応入門 実習	0	3. 00	0. 10
								学部連携チーム医療PBLⅢ・在宅チーム医療と倫理TBLⅢ		18. 00	0. 60
								薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)		11.00	0. 37
								実務実習事前学修	0	24. 00	0. 80
								薬と疾病(悪性腫瘍)		6. 00	0. 20
								EBM演習		6. 00	0. 20
l								学部連携病棟実習	0	6. 00	0. 20

学科 <sup>1)</sup>	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>	授業時間	年間で平 均した 週当り授 業時間 <sup>5)</sup>
								がんゲノム医療薬学(輪講) 院	11.00	0. 37
								授業担当時間の合計	96. 00	3. 20

#### (基礎資料7) 教員の教育担当状況 (病院薬剤学講座)

#### 表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料5の表1)が担当する授業科目と担当時間

病院実習1は40日間、病院実習2は36週間、精神医療実習は60日間、学部連携病棟実習は15日間(いずれも延べ日数で、実習時間は9:00~17:00)にわたって行われており、以下に示す病院薬剤学講座所属の教育職員は、病棟薬剤師業務と並行して実習指導を行っている。このため、正確な算出が難しい授業時間欄は空欄としている。

学科 1)	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>		授業時間	年間で平均 した 週当り授業 時間 <sup>5)</sup>
薬学科	教授員外							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								処方箋と調剤		1.00	0. 03
								実務と基礎の複合演習		1.00	0. 03
										1.00	0. 03
									院	1. 50	0. 05
								授業担当時間の合計	1	4. 50	0. 15
薬学科	准教授							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								処方箋と調剤		1.00	0. 03
								危機管理入門(医薬部4年)		1. 50	0. 05
								薬学的医療マネジメント学	院	1. 50	0. 05
									院	1. 50	0. 05
								授業担当時間の合計		5. 50	0. 18
薬学科	准教授							病院実習1	0	1	
	(実務)							病院実習2	0		
								診療の流れを知る		1. 50	0. 05
								薬と疾病(呼吸器疾患)		6. 00	0. 20
								医薬品の副作用・有害事象		1. 50	0. 05
								薬学的医療マネジメント学	院	1. 50	0. 05
								病院薬剤学特論	院	1. 50	0. 05
								授業担当時間の合計	170	12. 00	0.40
薬学科	准教授							精神医療実習	0	1	
	(実務)							病院実習2	0		
								診療の流れを知る	0	3. 00	0. 10
								薬と疾病	1	2. 00	0. 07
								医薬品の副作用・有害事象		1. 50	0. 05
								薬物治療学特論	院	2. 00	0.07
								病院薬剤学特論	院	1. 50	0. 05
								授業担当時間の合計	170	10.00	0. 34
薬学科	准教授							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								薬と疾病(眼、耳鼻咽喉、骨関節		1.00	0.03
								実務と基礎の複合演習		1.00	0. 03
								口腔医学とチーム医療Ⅱ		1.00	0.03
								病院薬剤学特論	院	1. 50	0. 05
								授業担当時間の合計	1 170	4. 50	0. 15
薬学科	准教授							病院実習 1	0	1	33
	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								薬と疾病チュートリアル	1	1. 50	0. 05
								薬と疾病		1. 50	0.05
								個別化医療	1	1. 50	0.05
								医薬品の副作用・有害事象	1	1. 50	0.05
								病院薬剤学特論	院	1. 50	0.05
								薬学的医療マネジメント	院	1. 50	0.05
								授業担当時間の合計	טפו	9.00	0.30
薬学科	准教授							病院実習 1	0	3.33	3.30
	(実務)							病院実習 2	0	<u> </u>	
								薬と疾病(代謝系・内分泌系疾患)		3. 00	0. 10
								薬と疾病(免疫・アレルギー疾患)	1	3. 00	0.10

学科 1)	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>	:	授業時間 <sup>4)</sup>	年間で平均 した 週当り授業 時間 <sup>5)</sup>
								医薬品の副作用・有害事象		1.50	0.05
								P6集中講義		3. 00	0.10
								薬物治療学特論	院	1. 50	0. 05
								病院薬剤学特論	院	1.50	0.05
								授業担当時間の合計		13. 50	0. 45
薬学科	准教授							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								臨床実習Ⅲ (多職種実習)	0	20. 00	0. 67
								薬と疾病チュートリアル(がん疾患)	0	2. 00	0. 07
								処方箋と調剤		2. 00	0. 07
								個別化治療(がん領域)		1.00	0. 03
								P6集中講義		3. 00	0. 10
								薬学的がんケア学	院	3. 00	0.10
								薬学的医療マネジメント学	院	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		34. 00	1. 13
薬学科	准教授							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								薬と疾病チュートリアル		1.50	0. 05
								薬と疾病		1.50	0.05
								個別化医療		1.50	0. 05
								医薬品の副作用・有害事象		1.50	0. 05
								病院薬剤学特論	院	1.50	0. 05
								薬学的医療マネジメント	院	1.50	0. 05
								薬物治療学特論	院	1.50	0. 05
								授業担当時間の合計		10. 50	0. 35
薬学科	准教授							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								診療の流れを知る	0	3. 00	0.10
								臨床実習Ⅲ (多職種実習)	0	20.00	0. 67
								実務実習事前学修		4. 00	0.13
								医薬品の副作用・有害事象		1.50	0.05
								P6集中講義		1. 50	0.05
								病院薬剤学特論	院	1. 50	0.05
								病院薬剤師が行う臨床研究 院	院	4. 50	0. 15
								授業担当時間の合計		36.00	1. 20
薬学科	准教授							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								調剤・患者対応入門実習	0	12.00	0. 40
								処方箋と調剤		3. 00	0. 20
								実務実習事前学習		4. 00	0. 13
								P6集中講義		1.50	0. 05
								薬毒物と中毒		1.50	0. 50
								病院薬剤学特論	院	1.50	0. 05
								臨床薬理学:薬理作用		1. 50	0. 19
								授業担当時間の合計		25. 00	0. 83
薬学科	講師							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								実務と基礎の複合演習		3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計			
薬学科	講師							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								診療の流れを知る	0	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計	j	3. 00	0. 10

学科 <sup>1)</sup>	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>		授業時間	年間で平均 した 週当り授業 時間 <sup>5)</sup>
薬学科	講師							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	講師							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								海外における薬剤師の役割を知る	0	5. 00	0. 17
								医薬品の副作用・有害事象		1.50	0. 05
								P6集中講義		1.50	0. 05
								病院薬剤学特論	<i>1</i> 1⇔	1.50	0. 05
									院	1.50	0. 05
								病院薬剤師が行う臨床研究	院		
薬学科	講師							授業担当時間の合計	_	11.00	0. 37
栄子件	神神 (実務)							病院実習1	0		
	(2,43)							病院実習2	0		
								医薬品の副作用と有害事象		1. 50	0. 10
								薬学的がんケア学	院	3. 00	0. 20
								授業担当時間の合計		4. 50	0. 30
薬学科	講師							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								薬と疾病		1.50	0.05
								薬学的がんケア学	院	3. 00	0. 10
								授業担当時間の合計		4. 50	0. 15
薬学科	講師							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								救急・集中治療薬学	院	6. 00	0. 20
								授業担当時間の合計	150	6.00	0. 20
薬学科	助教							病院実習 1	0	0.00	0.20
26.3.11	(実務)							病院実習2	<u> </u>		
								個別化医療	•	1.00	0. 03
									70台		
								薬物治療学特論	院	2.00	0.06
薬学科	助教							授業担当時間の合計		3. 00	0. 10
栄子件	助教 (実務)							病院実習1	0		
	(50,337)							病院実習2	0		
M. T.I	D1 #/							授業担当時間の合計			
薬学科	助教 (実務)							病院実習1	0		
	(20)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教 (実務)							病院実習1	0		
	(天伤)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								診療の流れを知る	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2 (精神医療実習を含む)	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	<u> </u>		
								薬と疾病(循環器系疾患)	<u> </u>	0. 50	0. 02
										0.00	0.02
薬学科	助教							授業担当時間の合計	<u> </u>		
未于件	助叙 (実務)							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
# 124 T-1	DT #/F							授業担当時間の合計			
薬学科	助教 (実務)							病院実習 1	0		
	(大街)							病院実習 2	0		

学科 1)	職名 <sup>2)</sup>	氏	氏 名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 <sup>3)</sup>		授業時間	年間で平均 した 週当り授業 時間 <sup>5)</sup>
								学部連携病棟実習	0		
								急性期医療と薬剤師	0	1.00	0. 03
								救急・集中治療薬学	院	2. 50	0. 08
								授業担当時間の合計		3. 50	0.11
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							実務と基礎の複合演習		3. 00	0. 10
	(実務)							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
								授業担当時間の合計		3. 00	0. 10
薬学科	助教 (実務)							病院実習 1	0		
	(天伤)							病院実習2	0		
								薬学的がんケア学	院	1.50	0. 05
								病院薬剤学(輪講)	院	1. 50	0.05
法とよっ	마							授業担当時間の合計	_	3. 00	0. 10
薬学科	助教 (実務)							病院実習1	0		
	\~\3M/							病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
薬学科	助教							授業担当時間の合計			
架子件	助叙 (実務)							病院実習 1	0		
								病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
薬学科	助教							授業担当時間の合計			
来于付	(実務)							病院実習 1 病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計	0		
薬学科	助教							病院実習 1	0		
X 1 11	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								救急・集中治療薬学	院	2. 00	0. 07
								薬物治療学特論	院	2. 00	0. 07
								授業担当時間の合計		4. 00	0. 14
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							急性期医療と薬剤師		1.50	0. 05
	(実務)							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
								薬物治療学特論	院	2. 00	0. 07
								救急・集中治療薬学	院	3. 00	0.10
								授業担当時間の合計		6. 50	0. 22
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教 (実務)							病院実習1	0		
	(大坊)							病院実習2	0	<u> </u>	
-tr- 214 - 1	יש אין							授業担当時間の合計	_		
薬学科	助教 (実務)							病院実習 1	0		
	\~13)							病院実習 2	0		
法とよい	DT #/⊏							授業担当時間の合計	1 -		
薬学科	助教 (実務)							病院実習 1	0		
	\~137/							病院実習2	0	<u> </u>	
杏프되	D+ #/-							授業担当時間の合計	_	<u> </u>	
薬学科	助教 (実務)							実務実習 1	0	<u> </u>	
								実務実習 2	0	<u> </u>	
								授業担当時間の合計			

学科 1)	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>		授業時間	年間で平均 した 週当り授業 時間 <sup>5)</sup>
薬学科	助教							薬と疾病(神経·精神系疾患)		3.00	0. 10
	(実務)							病院実習 1	0		
								病院実習 2 (精神医療実習を含む)	0		
								病院薬剤学(輪講)	院		
								授業担当時間の合計	,,,,	3.00	0. 10
薬学科	助教							病院実習 1	0	0.00	0.10
	(実務)							病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
									0		
薬学科	助教							授業担当時間の合計	0		
笨子件	助教 (実務)							病院実習 2	0	4 50	0.05
	(34)337							P3薬と疾病		1. 50	0.05
	=1.40							授業担当時間の合計			
薬学科	助教 (実務)							病院実習 1	0		
	(美術)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習2(精神医療実習を含む)	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
21.7	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計	0		
薬学科	助教								•		
笨子件	助教 (実務)							病院実習1	0		
	(34)337							病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教								0		
	(実務)							病棟実習2	0		
								授業担当時間の合計	0		
薬学科	助教							病院実習 1	0		
* J 1-1	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
本은지	D+ #/-							授業担当時間の合計	6		
薬学科	助教 (実務)							病院実習1	0		
	()Ci)//							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								救急・集中治療薬学	院	15. 00	0. 05
								授業担当時間の合計	150	15. 00	0.00
薬学科	助教								6	10.00	
未士符	助教 (実務)							病院実習 1	0		
								病院実習2	0		
<b>++</b> ··· - ·	B1 20							授業担当時間の合計			
薬学科	助教 (実務)							病院実習1	0		
	(天伤)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			

学科 <sup>1)</sup>	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>		授業時間	年間で平均 した 週当り授業 時間 <sup>5)</sup>
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計	•		
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								薬学的がんケア学	院	1.50	0.05
								授業担当時間の合計		1.50	0. 05
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習 2	0		
								薬学的がんケア学	院	1. 50	0. 05
								授業担当時間の合計		1. 50	0. 05
薬学科	助教							病院実習1			
	(実務)							病院実習2			
								授業担当時間の合計	1		
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								薬学的がんケア学	院	1. 50	0. 05
								授業担当時間の合計		1.50	0. 05
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計	1		
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								診療の流れを知る	0		
								授業担当時間の合計	1		
薬学科	助教							病棟実習1	0		
	(実務)							病棟実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
								病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								薬学的がんケア学	院	1.50	0. 05
								授業担当時間の合計	•	1. 50	0. 05
薬学科	助教							病院実習 1			
	(実務)							病院実習 2			
								学部連携病棟実習			
1								授業担当時間の合計	1	l	i

学科 <sup>1)</sup>	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 3)		授業時間	年間で平均 した 週当り授業 時間 <sup>5)</sup>
薬学科	助教							病院実習 1	0		
								病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
<del>1, 22, 1</del> ,	DT +/F							授業担当時間の合計	1 -		
薬学科	助教							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
薬学科	助教							授業担当時間の合計			
* 111	(実務)							病院実習1	0		
								病院実習2 授業担当時間の合計	0		
薬学科	助教							技業担当時间の合計  病院実習 1	0		
~ 1-1 <b>-1</b>	~17							病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								病院薬剤学(輪講)	院		
								授業担当時間の合計	170		
薬学科	助教							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
								授業担当時間の合計	•		
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							実務実習1	0		
								実務実習2	0		
	-1.11							授業担当時間の合計	_		
薬学科	助教							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
薬学科	助教							授業担当時間の合計			
* 111	(実務)							病院実習1	0		
								病院実習2 授業担当時間の合計	0		
薬学科	助教							病院実習1	0		
	-22.22							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0	l l	
								病院実習 2	0	1	
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
								病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(実務)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(薬科)							病院実習 2	0		I

学科 <sup>1)</sup>	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 3)		授業時間	年間で平均 した 週当り授業 時間 <sup>5)</sup>
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(薬科)							病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(薬科)							病院実習2	0		
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(薬科)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計	•		
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(薬科)							病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計	<u> </u>		
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(薬科)							病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計		Ì	
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(薬科)							病院実習2	0	<del> </del>	
								学部連携病棟実習	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
* 1 H	(薬科)							病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計	•		
薬学科	助教							病院実習1	0		
*1-1-1	(薬科)							病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計	•		
薬学科	助教										
来于符	(薬科)							病院実習I	0		
								病院実習Ⅱ	0		
薬学科	助教			+				授業担当時間の合計			
笨子件	- 助教 (薬科)							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
薬学科	助教							授業担当時間の合計			
采子件	明教 (薬科)							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
薬学科	助教			+				授業担当時間の合計			
来于符	(薬科)							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
薬学科	助教							授業担当時間の合計			
未子件	明教 (薬科)							病院実習1	0	<u> </u>	
								病院実習2	0	<u> </u>	<u> </u>
本出り	D+ #/-							授業担当時間の合計	1 =	<u> </u>	
薬学科	助教 (薬科)							病院実習I	0	ļ	
	V-17/							病院実習Ⅱ	0	<u> </u>	
禁みれて	DT #/⊏							授業担当時間の合計	ı		
薬学科	助教 (薬科)							実務実習事前学習		14. 00	0. 47
	( <b>3</b> 514)							病院実習1	0		
								病院実習2	0		
								授業担当時間の合計	T	14. 00	0. 47
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(薬科)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(薬科)							病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(薬科)								-		1

学科 1)	職名 <sup>2)</sup>	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 <sup>3)</sup>	授業時間	年間で平均 した 週当り授業 時間 <sup>5)</sup>	
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習1	0		
	(薬科)							病院実習2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教							病院実習 1	0		
	(薬科)							病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計			
薬学科	助教		<u> </u>					病院実習 1	0		
	(薬科)							病院実習 2	0		
								授業担当時間の合計			

## (基礎資料8) 卒業研究の学生配属状況および研究室の広さ

4年生の在籍学生数 173名

5年生の在籍学生数 173名

6年生の在籍学生数 191 名

カッコ内は連携する他学部の講座部門とそこで研究を行う教員・学生の内数 (研究室の面積には含めていない)

	配属講座など	指導教員数	4 年生	5 年生	6年生	合計	卒業研究を実施する 研究室の面積 (m²)
			配属学生数	配属学生数	配属学生数		切りに主め出版(川)
1	薬学教育学講座教育企画・評価学部門	2	3	0	0	3	
2	薬学教育学講座教育実践学部門 (連携:医学部・顕微解剖学講座)	8 (4)	4 (1)	6 (0)	8 (0)	18 (1)	100. 7
3	基礎薬学講座医薬化学部門	5	13	19	21	53	549. 9
4	基礎薬学講座生体分析化学部門	4	13	11	9	33	576. 0
5	基礎薬学講座生物物理化学部門 (連携:医学部・生化学講座)	8 (5)	7 (1)	3 (0)	5 (1)	15(2)	257. 1
6	基礎薬学講座生物化学部門	4	8	8	12	28	227. 8
7	基礎薬学講座腫瘍細胞生物学部門	3	9	11	7	27	171. 2
8	基礎医療薬学講座毒物学部門	4	11	13	14	38	992.0
9	基礎医療薬学講座薬理学部門	4	6	10	13	29	992.0
10	基礎医療薬学講座生理・病態学部門	4	8	7	10	25	104. 6
11	基礎医療薬学講座薬剤学部門 (連携:歯学師・スペシャルニース゚ロ腔医学講座口腔衛生学部門)	11 (6)	14 (0)	14 (0)	15 (2)	43 (2)	235. 6
12	基礎医療薬学講座薬物動態学部門 (連携:医学部・法医学講座)	7 (4)	10 (1)	6 (0)	9 (1)	25 (2)	130. 5
13	社会健康薬学講座衛生薬学部門	4	12	13	13	38	272. 1
14	社会健康薬学講座社会薬学部門	3	10	9	13	32	108. 2
15	社会健康薬学講座医薬品評価薬学部門	4	9	8	9	26	107. 8
16	臨床薬学講座薬物治療学部門	4	10	13	9	32	180. 2
17	臨床薬学講座天然医薬治療学部門	4	11	13	14	38	241.8
18	臨床薬学講座感染制御薬学部門	2	4	6	8	18	55. 0
19	臨床薬学講座がんゲノム医療薬学部門	3	11	3	2	16	93. 9
20	臨床薬学講座臨床栄養代謝学部門	2	0	0	0	0	59. 7
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
	<u></u> 숨 計	90 (19)	173 (3)	173	191 (4)	537 (7)	

<sup>[</sup>注] 1 卒業研究を実施している学年にあわせ、欄を増減して作成してください。

- 2 指導教員数には担当する教員(助手を含む)の数を記入してください。
- 3 講座制をとっていない大学は、配属講座名を適宜変更して作成してください。
- 4 隣接する複数の講座などで共有して使用する実験室などは、基礎資料11-2に記載してください。

Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)

日本酸化ストレス学会評議員

Antioxidants(MDPI)Editorial Board

医薬品医療機器総合機構 化学薬品委員会専門委員

厚生労働省食品衛生審議会 日本薬局方部会委員

2005年6月~現在

2008年4月~現在

2011年4月~2021年3月 2021年6月~現在

			教育および研究活	動の業績一覧					
学名 昭和大学	部門名	教育企画・評価学	職名 教授	氏名 小林靖奈					
教育活動									
	『実践上の主な	業績	年 月 日		概要				
1 教育内容・方法			21年 4月 1日						
	(授業評)	価等を含む)	21年 7月 7日	薬剤師が教育者である	ことを意識させるレポ-	ート課題を出した			
- 11-21 1 W 11-2	*****	<del>.</del>	475 0000	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
2 作成した教科書	、教材、参考		17年 3月25日	病気と薬物療法 消化器疾患 わかりやすい疾患と処方薬の解説【病態・薬物治療編】					
			20年 2月28日	わかりですい疾患と変	2万采切胜武【炳忠·采1	「グノロ 7京 7冊 』			
3 教育方法・教育	主はに関する	送表 : 講演等	19年 7月27日	第5回日本医薬品安全	性学会学術大会 シンポ	ジウム 2			
о жилд жи	XXIC(X) 7 0 7	1.20、四次寸	21年 8月21日	*** *	会大会・シンポジウム(	• •			
			2. 1 3/12.12		他 17件				
4 その他教育活動	上特記すべき	事項	20年 4月 1日	十日町看護専門学校客	<b>F</b> 員講師				
		(FDを含む)	19年 9月 22日	第7回災害薬事研修会	(新潟大学医学部)				
					他 10件				
研究活動									
・著書・論文等の名	称		単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称			
. 百百 뻬八寸07日	1-3-		共著の別	年月(西暦)	元门州、元权和中心	(它 う数/ 寺の石利			
			••						
	II 研	ŀ究活動に	こついてに	よ別紙にて	[提出				
 学会発表(評価対	•	., ., ., .,		発表年・月					
. 子五九弦 (日岡万)	<u> </u>			元权牛 7	7	- <u>x1</u>			
「 学会および社会に	おける主な活動	動(直近5年間に携わ	ったもの数件)						
D21年 7月	30.7 Q T 0.7H2	日本災害医療薬剤師		実行委員長					
021年 7月		災害薬学研究会2021		711272					
021年 8月		第6回日本薬学教育等		・オーガナイザー					
			教育および研究活						
学名 昭和大学	部門名	医薬化学部門	教育および研究活 職名 教授	動の業績一覧 氏名 福原 潔					
教育活動	•		職名 教授						
〕 教育活動 教育	· 実践上の主な				概要				
教育活動	ま 実践上の主な の工夫	業績	年 月 日	氏名 福原 潔					
教育活動 教育	ま 実践上の主な の工夫		職名 教授						
教育活動 教育 1 教育内容・方法	・ 写実践上の主な の工夫 <i>(授業評</i>	業績	年 月 日	氏名 福原 潔					
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書	下実践上の主な の工夫 <i>(授業評</i> 、教材、参考	業績	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔					
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 詩講義における配布資	「実践上の主な の工夫 <i>(授業評1</i> 、教材、参考1 料	業績価等を含む)	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔					
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 詩講義における配布資フライン有機化学問題	「実践上の主な の工夫 <i>(授業評!</i> 、教材、参考! 料 の解き方(日本	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版)	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔					
教育 1 教育内容・方法	「実践上の主な の工夫 <i>(授業評!</i> 、教材、参考! 料 の解き方(日本	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版)	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔					
<ul><li>教育活動 教育</li><li>教育内容・方法</li><li>2 作成した教科書</li><li>S講義における配布資フライン有機化学問題</li></ul>	「実践上の主な の工夫 <i>(授業評!</i> 、教材、参考! 料 の解き方(日本	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版)	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔					
を 教育活動 教育 教育内容・方法 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 発講義における配布資フライン有機化学問題 3 教育方法・教育	下実践上の主なの工夫 の工夫 (授業評) 、教材、参考。 料 の解き方(日本 実践に関する。	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔					
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 詩講義における配布資 ライン有機化学問題 3 教育方法・教育	下実践上の主なの工夫 の工夫 (授業評) 、教材、参考。 料 の解き方(日本 実践に関する。	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔					
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 5 講義における配布資 フライン有機化学問題 3 教育方法・教育	下実践上の主なの工夫 の工夫 (授業評) 、教材、参考。 料 の解き方(日本 実践に関する。	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔					
を 教育活動 教育 教育内容・方法 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 発講義における配布資フライン有機化学問題 3 教育方法・教育	下実践上の主なの工夫 の工夫 (授業評) 、教材、参考。 料 の解き方(日本 実践に関する。	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔					
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 5講義における配布資 フライン有機化学問題 3 教育方法・教育 4 その他教育活動	下実践上の主なの工夫 (授業評価、教材、参考記料 の解き方(日本 実践に関する多	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等	職名 教授 年 月 日 2017-2021	氏名 福原 潔	Б				
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 5講義における配布資 フライン有機化学問題 3 教育方法・教育 4 その他教育活動	下実践上の主なの工夫 (授業評価、教材、参考記料 の解き方(日本 実践に関する多	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等	職名 教授 年 月 日 2017-2021 2017-2021 2020.3	氏名 福原 潔 授業アンケートを実施		(巻・号数)等の名称			
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 5請義における配布資フライン有機化学問題 3 教育方法・教育	下実践上の主なの工夫 (授業評価、教材、参考記料 の解き方(日本 実践に関する多	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等	職名 教授 年 月 日 2017-2021 2017-2021 2020.3	氏名 福原 潔 授業アンケートを実施 発行または発表の	Б	(巻・号数) 等の名称			
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 5講義における配布資 フライン有機化学問題 3 教育方法・教育 4 その他教育活動	下実践上の主なの工夫 (授業評価、教材、参考記料 の解き方(日本 実践に関する多	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等	職名 教授 年 月 日 2017-2021 2017-2021 2020.3	氏名 福原 潔 授業アンケートを実施 発行または発表の	Б	(巻・号数)等の名称			
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 5講義における配布資 フライン有機化学問題 3 教育方法・教育 4 その他教育活動	下実践上の主なの工夫 (授業評価、教材、参考記料 の解き方(日本 実践に関する多	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等	職名 教授 年 月 日 2017-2021 2017-2021 2020.3	氏名 福原 潔 授業アンケートを実施 発行または発表の	Б	(巻・号数) 等の名称			
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 2 作成した教科書 2 ライン有機化学問題 3 教育方法・教育 4 その他教育活動 研究活動 著書・論文等の名	新実践上の主なの工夫 の工夫 (授業評) 、教材、参考計 料 の解き方(日本 実践に関する多 上特記すべき事	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i>	職名 教授 年 月 日 2017-2021 2017-2021 2020.3 単著・ 共著の別	氏名 福原 潔 授業アンケートを実施 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称			
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 講義における配布資 ライン有機化学問題 3 教育方法・教育 4 その他教育活動 研究活動 著書・論文等の名	実践上の主なの工夫 (授業評析、教材、参考。 料の解き方(日本 実践に関する多	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i>	職名 教授 年 月 日 2017-2021 2017-2021 2020.3 単著・ 共著の別	氏名 福原 潔 授業アンケートを実施 発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称			
教育活動 教育 1 教育内容・方法 2 作成した教科書 2 作成した教科書 2 ライン有機化学問題 3 教育方法・教育 4 その他教育活動 研究活動 著書・論文等の名	実践上の主なの工夫 (授業評析、教材、参考。 料の解き方(日本 実践に関する多	業績 <i>価等を含む)</i> 書 語版) 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i>	職名 教授 年 月 日 2017-2021 2017-2021 2020.3 単著・ 共著の別	氏名 福原 潔 授業アンケートを実施 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称			

大学名 昭和大学     部門名 生体分析化学部門     職名 教授     氏名 加藤 大       I 教育活動     年月日     概 要       1 教育内容・方法の工夫     1 教育内容・方法の工夫
教育実践上の主な業績 年月日 概 要
1 教育中京・古津の工主
1 教育内容・方法の工夫
本での学修内容と臨床を結びつける学修を行った 2021年 化学平衡や電磁波などの基礎的な学修内容が臨床で活用される特別を表現しています。 かんこうに講義を行った
2 作成した教科書、教材、参考書
パートナー分析化学1第4版(2022年出版予定)
パートナー分析化学II第4版 (2022年出版予定)
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等
4 その他教育活動上特記すべき事項
CBT委員長 2021年 CBTの運営
3年生学年担当委員 2021年 教育委員の3年生の担当
Ⅱ 研究活動
1. 著書・論文等の名称 単著・ 発行または発表の 共著の別 年月(西暦) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
亚 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)
2021年6月 生物化学的測定研究会第26回学術集会学術集会長
2020/4/1~ ぶんせき (日本分析化学会学会誌) 編集理事
2021/3/27 2021年FIPフォーラムオーガナイザー
Forcus group Chair on Analytucal Sciences in a SIG of FIP

reveal group enail		Telloes III a Std Of T	•
	教育および研究活	動の業績一覧	
大学名 昭和大学 部門名 生物物理化学部門	職名 教授	氏名 合田 浩明	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日		概  要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	毎年	授業評価の結果を受け	けて、毎年、「講義の中で演習問題を行う」、「講
2 作成した教科書、教材、参考書	2021/9/7	薬学生の物理化学(均	<b>告風館)(分担執筆)</b>
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし	
4 その他教育活動上特記すべき事項	2017年8月5日~	教育者のためのワーク	7ショップ(アドバンスト)に参加
(FDを含む)	2018年8月9日~	教育者のためのワーク	7ショップ(アドバンスト)に参加
Ⅱ 研究活動		•	
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
II 研究活動に	ついてに	は別紙にて	た提出
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	字会名
WALLER ALL LAND AND A STREET	1 1 - 10 10 1		
□ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ		-	
2016年4月~現在 日本薬学会構造活性		<del>1</del>	
2017年4月~2019年3月 日本薬学会物理系薬	字部会・世話人		

			教育およる	び研究活	動の業績一覧	į.		
大学名 昭和大学	部門名	生物化学	職名	教授	氏名	<u>-</u> 板部 洋之	<u> </u>	
I 教育活動	HP1 7 H	<u> </u>	1990 🗀	17.17				
孝	対育実践上の主な	業績	年	月日			概要	
1 教育内容・方	法の工夫		2017年度	₹~現在	演習小テス	ト実施(摂	采点後返却)	
	(授業評価	あ等 <i>を含む)</i>	2019年度	き~現在	学生実習に	PCでのグラ	7作成/ポートフォリオ導入	
2 作成した教科	書、教材、参考書	•	2	2020/7/1	詳解 生化学	堂 (京都廣	川書店)編著	
			2017年度	复~現在	「生命体の	成り立ち」	実習書毎年度更新	
3 教育方法・教	育実践に関する発	表、講演等	2	2019/4/1	修学支援制	度について	て (学内での講演)	
			20	018年9月	第3回日本導	<b>芝学教育学</b>	会大会(ポスター発表)	
4 その他教育活	動上特記すべき事	項	20	019年7月	フロリダ大	学薬学部と	: 学部間交流開始	
		(FDを含む)	20	017年4月	台北医学大	学薬学部と	: 学部間交流開始	
Ⅱ 研究活動					1		T	
   1. 著書・論文等の	名称		単著	-	発行またに		】 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
66 6670	<b>—</b> 17		共著	の別	年月(四	西暦)	プレイナアバマ プレタス不正的心	(5. 9X) 4000W
	11 研	究活動に	つい	てに	计别级	EIニマ	「提出	
0 24		707H <del>3</del> 01-		<b>C</b> 10		-		
2. 学会発表(評価	対家年度のか)				発表年	・月	-	字会名
	1-4117447	/#X = 5-881-#*	1 1 O WL	14.				
	における王な沽動	」(直近5年間に携わっ	たもの数	1午)				
2005年4月~現在		日本薬学会評議員	ODTERES	****				
2014年4月~現在		薬学共用試験センター	-UDI 問題	官理安貝				
2016年8月~2018年7	Л	医道審議会専門委員						
2019年4月~現在		薬剤師国家試験委員						
			*/- <del></del>	e c'empho vet a	£1. <b>0</b> ₩/≢ 5	<b>-</b>		
		Į.	教育およ	ひ研究活	動の業績一覧	Ē		

2019年4月~現在		楽剤師国家試験安貝					
			教育および研究活	動の業	(書 覧)		
124 5 mm to 124	÷7.88 &		1				
大学名 昭和大学	部門名	腫瘍細胞生物学	職名 教授	氏名	柴沼質子		
I 教育活動 教育	実践上の主な	· 娄结	年 月 日	1			
1 教育内容・方法の 1 教育内容・方法の		木根	<u> </u>	なし		194. 安	
1 教育內容・万法の		価等を含む)		なし			
	(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u> </u>					
2 作成した教科書、	教材、参考	書	2020年7月3日	詳解	生化学 執筆者	f	
			2020年8月1日	図解	腫瘍薬学 執筆	者	
3 教育方法・教育3	実践に関する	発表、講演等		なし			
	. 44=-1 . 4	+- <b>-</b>		4- 1			
4 その他教育活動_	ヒ特記すべき			なし			
		(FDを含む)					
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称	<del>/</del>		単著・	発行	fまたは発表の	20 47 EC 20 = 144 =+	(光 日料) 生の石む
1. 有官"酬人等仍有作	<i>/</i> Jv		共著の別	ź	F月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
						•—	_
	[[初	F究活動に	ついてに	士另	紙/にて	′提出	
	•	<b>                                    </b>		- • -			300
2. 学会発表(評価对象	4十段のの)				発表年・月	=	字会名
Ⅲ 学会および社会にお	おける主な活動	 動(直近5年間に携わっ	たもの数件)				
2017年4月~現在		日本癌学会評議員					
2018年4月~2019年3月		薬学評価機構 評価多	€施員				
2019年12月~2020年11)	f	科学研究費委員会専門	門委員				

	教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 毒物学	職名 教授	氏名 沼澤 聡		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授業評価等を含む)</i>	適宜	学生アンケート、自己	己省察による改善	
2 作成した教科書、教材、参考書	2018. 2. 25 2018. 3. 5	臨床中毒学, トキシー 他2件		6版,丸善出版,447-463 8育委員会編,朝倉書店,
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	2017. 4. 1~現在 2017~2020	学内教育委員会副委員 昭和大学教育者のため 他1件	員長 かのワークショップ参加	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
Ⅱ 研究活動に	こついてに	よ別紙にて	提出	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	字	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わ	つったもの数件)	+	*	
2017年4月~現在 日本毒性学会編集領				
2017年9月~現在2 日本法科学技術学会	会理事			
2018年7月~現在 日本法中毒学会理	<b>\$</b>			
2020年11月~現在 日本法科学技術学会				
	教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 薬理学	職名 教授	氏名 野部 浩司		
I 教育活動	40、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10	N-1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫	毎年	護恙田コンテンパた		<u> </u>
・ 教育内容・ガムのエス <i>(授業評価等を含む)</i>	<del>四十</del>	学生アンケートによる		ه لا
(及木計画寺を占む)		講義に口頭試問を加え	–	
2 作成した教科書、教材、参考書	2021 /7 /27		<u>ている。</u> ? (株式会社 じほう	١,
2 TFIX した教件者、教材、参考者	2021/1/21	州来のこれなんで	・ (休氏云社 じは)	<b>)</b> )
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動	I			
1. 著書・論文等の名称	単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	 (巻・号数)等の名称
	共著の別	年月(西暦)	2000	

研究活動については別紙にて提出

字会名

Π

Ⅲ 学会および社会における主な活動 (直近5年間に携わったもの数件)

日本薬理学会学術評議委員

日本薬学会編集委員

2. 学会発表 (評価对象年度のみ)

2001年4月~現在

2016年4月~2018年3月

	į	教育および研究活	動の業績一覧			
大学名 昭和大学 部門名	生理病態学	職名 教授	氏名 巖本三壽			
I 教育活動		_				
教育実践上の主な	業績	年 月 日		概要		
1 教育内容・方法の工夫						
P2P3アクティブラーグでの新たな詞		2021年5月	P2では答えのない課題を学生に与えて、検索、および考察のクォリティを評価して採点する。対面講義では、学生の発表討論、専門家の   脳体楽剤師の育成には入体の圧組みを知ることの里安性が増している。			
PZ人体の成り立ちと機能・美音の効果	未的な他仃の試み	2016年以降~現				
1) 画像診断の講義の組み入れ	<b>⇒</b> 33	在			とする工夫をおこなった。	
各講義後の小テストの施行		2016年4月以降 ~現在	請 <mark>集餐門舗報送ラネヤを見れる事件に解合するもの</mark> 「有機を対して活用できませた。これは、講義の復習、試験対策として活用できまた」となる。 「おおいばれ」の使す、活用することで、長期記憶を作る効果を拠し			
2 作成した教科書、教材、参考書			これまで薬学部で使用	]できる病態と症候学がな	なかったので、昭和大学教	
症候学的病態生理学 編著(京都廣川	書店)	2020年9月	員の分担執筆で作成し	た。各症状の病態、発生	Eメカニズム、トリアー	
			ジ、OTCによるセルフ	メディケーションの構成	で、薬局にける実践に役	
3 教育方法・教育実践に関する発なし	表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事			Pクアクティブラーニ	 ングのアンケート調査を	行い学生が系統講義より	
P2アクティブラーニングにおけるア		2021年5月		ンプリング - 間重で ・理解と知識を得たとの回		
講義中に寝ている学生の成績調査		2016年5月	P2講義にて常に寝て	いる学生をチェックして	、その学生とそうでない ころ、有意に寝ている学	
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称	
	II 研究》	舌動につ	いては別	紙にて提出	<b>t</b>	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月		会名	
Ⅲ 学会および社会における主な活動	 」(直近5年間に携わっ	たもの数件)				
2015年10月~現在			認定再生医療等委員会	審查委員		
2019年5月~現在	日本薬事法務学会再生	医療等委員会 技	核術専門員			
2017年1月~2019年2月	医療法人社団ニューシ	<i>ィティ大崎クリニッ</i>	/ク再生医療等委員会羅	<u>李                                    </u>		
2021年8月~現在	日本人事試験研究セン	/ター 地方公務員	<b>採用試験問題作成委員</b>	į		

	Ę	教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	薬剤学	職名 教授	氏名 中 村 明 引	4	
I 教育活動		•	•		
教育実践上の主な勢	<b>業績</b>	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫		2020. 6. 3~	講義のオンデマンド重	b画配信開始	
(授業評価	<i>所等を含む)</i>	2021. 5. 14~	講義のオンデマンド動	加画配信にアクティブ	
			ラーニングを導入		
2 作成した教科書、教材、参考書					
スタンダード薬学シリーズⅡ	「薬学研究」	2017. 9. 29	領域担当編集委員		
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等				
- 1011101000000000000000000000000000000					
4 その他教育活動上特記すべき事		2017. 4~20. 10	薬学部薬学教育推進室	<b>≅</b> 長	
. (0) 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	(FDを含む)	201711	X 1 47 X 1 1X 11 12 22		
	(102110)				
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	% 4= ic	(米 口粉) 生のなむ
1. 有音:		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
	究活動に	へいてい	十早川幺年1一つ	一担山	
דער נו	九伯劉一	ノいしい	み/川麻(し)	、挺山	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	1 9	三
Ⅲ 学会および社会における主な活動	(直近5年間に携わっ	たもの数件)	•		
2018年10月~現在	一般社団法人日本薬学		Ē		
2017年4月~現在	薬学共用試験センター				
2017年4月~現在	日本私立薬科大学協会				
2017年4月~現在	全国薬科大学長・薬学				
		n:			

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 昭和大学 部門名	薬物動態学	職名 教授	氏名 佐藤 均			
I 教育活動						
教育実践上の主	年 月 日		概要			
1 教育内容・方法の工夫	2019. 4. 1	講義の際の話し方(速)	度、発声など)を改善した。			
(授業	2020. 4. 1	講義資料の記載内容(難易度)を改善した。				
	2021. 4. 1	動画作成ソフトを導入	しし講義動画作成法を改善した			
2 作成した教科書、教材、参	考書	2019-2021	講義プリントを教材と	こして作成し、PDF配布した。		
		2020-2021	教材対応の講義ビデオ	トを作成して学生に提供した。		
3 教育方法・教育実践に関す	る発表、講演等	2019-2021		『会議でのプレゼンテーション		
			を年に数回行なった。			
4 その他教育活動上特記すべ		2019~2021	学内FDに参加し、グル	レープ毎に発表を行なった。		
	(FDを含む)					
T 77.00 江毛						
Ⅱ 研究活動		24 <del>44</del>	70 /- + 1 / 1 70 + n			
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の 年月(西暦) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
		共著の別	年月 (四層)			
				- LD - I -		
	研究活動に	ついてに	よ別紙(こて	<b>一</b>		
	****		発表年・月	字会名		
, 2,02 (II IM/) // TX V/V/			ルダー ハ	TAT		
Ⅲ 学会および社会における主な	 活動(直近5年間に携わっ	<u>た</u> もの数件)				
2017年4月~2022年3月	日本薬学会会員					
2017年4月~2022年3月	日本医療薬学会会員					
2017年4月~2022年3月	日本薬物動態学会会員	ì				

		教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名		報名 教授	到の未積一員    氏名 原 俊太郎		
I 教育活動		概句 教授	以石 原 夜风即		
1 教育活動 教育実践上の主な:	<b>業績</b>	年月日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫	10130		学生からの意見を参考		<del>1</del>
	あ <i>等を含む)</i>	2012	1 = 10 500 1250 1250 1250 1250 1250 1250 12	747301711 7.20171	•
1,221,221,22					
2 作成した教科書、教材、参考書		2018. 2. 25	第6版 衛生薬学 -健	康と環境-	
		2020. 3. 30	コンパス 衛生化学 -	健康と環境-(改訂第3㎞	反)
			他2件		
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等		なし		
		20175 :	# ** +		
4 その他教育活動上特記すべき事		201/年度~現在	薬学部教育委員長		
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	34.7==r 34.±+#=±	(# D#L) # 0.7.Th
1. 有音・調文寺の石林		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
	_			_	
II AH	究活動に	ついてじ	士別紙にて	′提出	
	707H 301-				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	字	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	」(直近5年間に堆わっ	たまの数件)			
2019年3月~現在	日本薬学会 環境・律		<u> </u>		
2021年3月~現在		品衛生審議会 薬			
2020年5月~現在		・学校法人審議会			
2017年度~現在	日本薬学会 幹事・代	: 詳 吕			

	教育および研究活	動の業績一覧					
大学名 昭和大学 部門名 社会薬学	職名 教授	氏名 岸本桂子					
I 教育活動							
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要					
1 教育内容・方法の工夫	2018年9月~	授業内で2回の小テス	トを実施し、理解の促進に努めた				
(授業評価等を含む)	2018年9月~	調剤報酬の算定を実施	色できるよう、事例に基づく計算演習を取り入れた				
2 作成した教科書、教材、参考書	2020年3月	教科書(薬学と社会	薬事関連法・制度)作成				
	2020年9月	初学者であっても医療	ほど゙ック゚データの解析を実践可能な演習教材を作成				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2021年3月	薬局実務実習における	5オンラインによる「学生カンファレンス」の有用				
4 その他教育活動上特記すべき事項	2020年11月29日	質の高い実務実習の為	ものアドバンストWS				
(FDを含む)	2021年9月11・12	令和3年度 第5回認定	実務実習指導薬剤師養成WS				
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称				
II 研究活動については別紙にて提出							
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	字会名				
□ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ	************************************						
2017年7月~現在 薬学共用試験センター							
2017年7月~現在 果子六川武駅とフター 2018年9月~現在 日本薬剤師会 編集委	7 11-2 2 2 2 2 2 2 2						
2020年4月~現在 東京都薬剤師会実務等							
2021年4月~現在 厚生労働省 薬剤師試							
上心上,一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	7/ × F						

2021年4月~現在	厚生牙慟看 渠剤師試	<b>駛</b> 安貝		
		*** キャレッグ TT ウェイン	もの世体 酢	
	·	教育および研究活		
大学名 昭和大学 部門名	薬物治療学	職名 教授	氏名 向後麻里	
I 教育活動		T	Т	
教育実践上の主な	業績	年 月 日		概  要
1 教育内容・方法の工夫				長病(11科目)」に薬学教員・臨床医・臨床薬剤師
		2017年4月		と医療」に症例演習(7症例)を導入した。事前に
	西等を含む)		他6件	
2 作成した教科書、教材、参考書			薬物治療学,第9版,南	
		2020年	臨床薬学テキストシリ	リーズ, 2020
			他4件	
3 教育方法・教育実践に関する多	発表、講演等	2018年9月	昭和大学薬学部 薬物	治療らせん型カリキュラムにおけるルーブリック
		2021年3月	薬局実務実習における	るオンラインによる「学生カンファレンス」の有用
			他10件	
4 その他教育活動上特記すべき	事項	2021年8月	昭和大学薬学部アドバ	バンストWS
		2021年7月	昭和大学薬学部病院実	€習指導者養成WS
	(FDを含む)		他4件	
Ⅱ 研究活動				
   1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	24 C
1. 有音・論文寺の名称 		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
7 7 7 T	一方红毛	~!\T!	上口川をげょーっ	<b>~ +8</b> 山
── II 研	「究活動に <sup>・</sup>	ついくに	よ別 縦に(	、
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	字会名
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
Ⅲ 学会および社会における主な活動	動(直近5年間に携わっ	たもの数件)		
2015年4月~2021年3月	日本薬学会ファルマシ			
2017年4月~現在	薬学共用試験センター			
2017年2月~現在	日本薬学会代議員・関			
2020年4月~現在	日本薬学会長井記念薬		考委員会	

		教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門	引名 天然医薬治療学	教授	氏名 川添和義		
I 教育活動					
教育実践上	の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
身近な植物を利用した演習		2021	薬用植物演習で富士書	5田校舎の近くに自生す	る植物を利用し、身近な
薬用植物園を活用した生薬学関	連講義	2017~	薬用植物園見学を講義	と並行させ, 基原植物	と生薬の知識を同時に獲
2 作成した教科書、教材、					
実践 漢方生薬学(京都廣川書			1年次「漢方薬になる		
図解 簡保処方のトリセツ第2		2021/9/30	4年次「漢方医学の第		
3 教育方法・教育実践に関		0010 /0 /4	<b>₩</b>	/ 3 4 = 顺口带双带港南	
Þ医学に基づく薬学漢方教育の 『薬学教育エデル・コスカルキ				イスクラ奨励賞受賞講演	
<ul><li>『薬学教育モデル・コアカリキ 4 その他教育活動上特記す</li></ul>		2021/0/13	第71回日本東洋医学会	会子 州 総会 じ 光衣	
第12回富士吉田教育部教員者の 第12回富士吉田教育部教員者の		2018/8/9~10	  テーマ「富士吉田教育	5部数音について 1	
021年度昭和大学教育者のため				マ教育のあり方、キリキ	ュラムプランニングにつ
I 研究活動	, <del>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</del>	412021/0//	17 · All C & 10 + 9	( <del>1</del> X H 0 0 0 7 7 ) ,	<u> </u>
		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
II	研究活動に	ついてに	十日川終げって	「堤川	
	*** - *** **	70 · C 10			
2. 学会免表(評価对家年度の	<b>)</b> か)		発表年・月	5	字会名
T # A 10 L 4011 A 1- 1011 7 2	- かても / まて - ケ門 - 性 -	1 1 0 #L/IL)			
I 学会および社会における主 010年10日 -	<u>はお野(但近5年间に携わ</u> 日本東洋医学会代議				
018年10月~ 019年4月~	日本生薬学会代議員	具			
020年9月~	日本腎臓病薬物療法:	学会副冊車 里			
021年4月~	日本薬学会代議員	<b>于</b> 五副柱			
021 <del>+1</del> 7	口个未于五八成员				
		教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門	名 感染制御薬学	職名 教授	氏名 石野 敬子		
[ 教育活動					
教育実践上	の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
COVID-19に関する	講義を実施した	2021年5月			
症例ベースの誤	題を実施した	2021年5月			
2 作成した教科書、教材、					
&学生・薬剤師レジデントのた	めの感染症学・抗菌薬治療	2018年8月		分担執筆	
スタンダード薬学シリーズⅡ		2017年6月		分担執筆	
3 教育方法・教育実践に関	する発表、講演等			なし	
4 スの仏教女江私 しかこづ	・ぐま声荷				
4 その他教育活動上特記す vラバスに関するFD講習会	ハ○事児	2020年12月		受講	
ノフハスに関するFD調査会 ンラバス作成方法に関するFD請	1型ム	2019年12月		文	
ノフハス作成万法に関するFD部 I 研究活動	) H X	2019年12月		文讲	
		単著・	発行または発表の		
著書・論文等の名称		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
		7 C E 0 7 7/1			
TT	皿売年制に	ついてい	十月八名丘1一つ	十日山	
II	研究活動に	しいしん	<b>み/川和八一(</b>	、1疋山	
2. 学会発表(評価对家年度0.	OH)		発表年・月	9	<b>学</b> 会名
Ⅱ 学会および社会における主		ったもの数件)			
998年4月~	日本薬学会会員				
000年4月~	日本化学療法学会会	吕			

日本薬学会会員 日本化学療法学会会員

日本医真菌学会会員

日本感染症学会会員

2000年4月~ 2011年4月~

2018年4月~

		教育おる	よび研	究活	動の業	績一覧						
大学名 昭和大学 部門名	がんゲノム医療薬学	職名	教授		氏名	藤田健一						
I 教育活動												
教育実践上の主な美	<b></b>	年	月	日				7	概 要	į		
1 教育内容・方法の工夫												
低学年講義における症例検討の導入					2年次	の薬と疾病	(悪性腫	腫瘍)(	の講義にお	いて、	将来の臨床	<b>ミ薬剤師のイ</b>
アクティブラーニングの導入					2年次	の薬と疾病	(悪性腫	腫瘍) -	での症例検	討にア	クティブラ	ラーニングを
2 作成した教科書、教材、参考書	:											
なし												
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等											
なし												
4 その他教育活動上特記すべき事	項						-					<del></del>
学部連携PBLワークショップ		2019.	8. 1–2		学部通	連携PBLのフ	ァシリー	テータ	養成コース	を受講	<b>貴した。</b>	
大学院運営委員		2020.	4 <b>~</b>		大学院教育の充実に向けた改善を行っている。							
FDワークショップ		2021. 3. 22		ディプロマポリシーについて分担して議論した。								
2年生担当教育委員		2021.	2021.4~ 2年生担当の教育委員として、学生の学修面生活面のサポー			-トを行って						
アドバンストワークショップ		2021.	8. 7–8		臨床薬	薬学実習・4	研究にお	ける新	プログラ	ムアド	バンスト・	プログラムに
Ⅱ 研究活動												
┃ ┃1.著書・論文等の名称		Ě	単著・		発行	うまたは発表	の	<b>永</b> 仁而	i、発表雑詞	±	(坐,旦粉)	)等の名称
		共	著の別	IJ	年	月 (西暦)		无门门	1、 尤	ıCı	(仓"与奴	) 寺の石物
II 研	究活動に	71	17	-1.	수 민	幺仟 / -	- 7	坦片	H			
	プロ 利!	J (	, - (	- 10	<b>ふ</b> 刀'	1 WY 1 -		ルト	4			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					Ž	発表年・月				字金	会名	
Ⅲ 学会および社会における主な活動			数件)									
2015年以前~現在	日本薬物動態学会評議											
2015年以前~現在	日本臨床薬理学会社員											
2015年以前~現在	日本薬物動態学会ベス											
2021年4月~現在	日本薬学会Biol Pharm		Chem	Phai	rm Bul	、薬学雑詞	志Associ	ate ed	litor			
2021年4月~現在	昭和大学学士会誌副編	集長										

2021年4月~現住   昭和入子子工会認副権	未区				
	*/	<b>4. 0 半 (本                                 </b>			
	教育および研究活				
大学名 昭和大学 部門名 薬学部臨床薬学講座臨	教授	千葉 正博			
I 教育活動					
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要		
1 教育内容・方法の工夫		基礎から応用までに至	る内分泌に関する授業を 	<b></b>	
(授業評価等を含む)	前期終了時	前期終了時 受け持っているが、生徒参加型の授業を一コマ			
		加えるようにしている	) <sub>0</sub>		
2 作成した教科書、教材、参考書					
	2021年4月1日	JSPENテキストブック			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
		なし			
4 その他教育活動上特記すべき事項					
(FDを含む)	2019年12月13日	2019年12月13日 杏林大学看護学部特別講義			
	2020年10月10日	神奈川工科大学健康医療	科学部管理栄養学科特別課	睛義	
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称	単著・	発行または発表の	% /= E	(# 日料) 生のなれ	
1. 有音・端文寺の石が	共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称	
11 四办红料。	ヘハナル	十日川久氏ノーラ	- +日 山		
├── II 研究活動に <sup>、</sup>	<b>つい し</b> に	よ別 瓶 にし	. 佐山		
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	7	宝会名	
		7221	•		
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ	たもの数件)				
1		軍事・教育委員会委員・	総務委員会委員・代議員	<u> </u>	
2019年5月~現在 日本栄養アセスメント				•	
		長員会委員・教育委員会			
2012年7月~現在 日本外科代謝栄養学会 認定医指導委委員会委員・教育委員会委員・保険委委員会委員 2010年7月~現在 日本外科代謝栄養学会 総務規約委員会委員・評議員					
二、一、八、以上	· ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	OON HIMMY			

		教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	教育実践学	職名 教授員外	氏名 田中佐知子		
I 教育活動					
教育実践上の主な	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫			本学数員向けのGoogle	e Classroom使用方法を=	テキスト化し、オンデマン
Google Classroom に関する薬学部	以教員情報共有サイトの	2020年3月-2021	_	ゴイドを作成した(総数1	
構築・運営		年4月	1 1010117301-20 50 07	7 1 1 2 11 190 72 (110 92)	
2 作成した教科書、教材、参考					
薬物治療学第2版 平井みどり・三木智	博編集 化学同人	2019年4月	「神経系疾患と薬物治療	療:2.2.2 - 2.2.4項」分担執	筆
W + 1					
3 教育方法・教育実践に関する		0000 = 0 = 0.1 =	<b>な。ロロナギギル</b> オ	<b>₩</b> ∧ ⊥ ∧	
昭和大学薬学部における「A基本事項			第6回日本薬学教育		
参加型生涯研修プログラムの有用性		2019年8月24日	第4回日本薬学教育	子会大会	
4 その他教育活動上特記すべき	• • • •	0001/50 0 0 0	左左苯类如数号 白	NED WC A 不信告	
薬学部新人教育職員および薬学部教			毎年薬学部教員向けの	)FD-WS正画連呂 )ためのFD-WSにタスクと	して発加
昭和大学教育者のためのWS(アドバン Ⅱ 研究活動	<u>'スト、Lヤノー</u> )	2021年0月	毋午咱们入于叙目有0	フ/この/0/ドレー((3)こう ヘク こ	して参加
11 別元/自刻		単著・	※ 会会はおけるまの		
1. 著書・論文等の名称		半者・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
		共有の別	平月(四周)		
11 7	T refer 147 #41 /		上口山丛丘!——	- 10 · i ·	
── II 石	肝究活動に	ついてに	よ別 秕にて	、提出	
2. 学会完表 (評価対象年度のみ)			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		会名
			7021 77	,	<u> </u>
Ⅲ 学会および社会における主な活		たもの数件)			
2016年6月~現在			まとめ研修認定薬剤師	<i>雨を輩出している</i>	
2010年3月~現在	日本薬理学会評議員				
	i e				
		教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	医薬化学	教育および研究活 職名 准教授	動の業績一覧 氏名 永田 和弘		
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動					
	医薬化学			概要	
I 教育活動教育実践上の主な1 教育内容・方法の工夫	医薬化学 業績	職名 准教授		概要	
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせる	医薬化学 業績 ながら講義を進めている。	職名 准教授 年 月 日 2017-2021		概要	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせた 中間に確認テストを実施し、理解度	医薬化学 業績 はがら講義を進めている。 をテェックしている。	年 月 日		概要	
I 教育活動     教育実践上の主た       1 教育内容・方法の工夫     途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせい       中間に確認テストを実施し、理解度     2 作成した教科書、教材、参考	医薬化学 業績 はがら講義を進めている。 をテェックしている。	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021		概要	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせた 中間に確認テストを実施し、理解度	医薬化学 業績 はがら講義を進めている。 をテェックしている。	職名 准教授 年 月 日 2017-2021		概要	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせい 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料	医薬化学 業績 ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021		概要	
I 教育活動       教育実践上の主た       1 教育内容・方法の工夫       途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせた       中間に確認テストを実施し、理解度       2 作成した教科書、教材、参考       各講義における配布資料       3 教育方法・教育実践に関する	医薬化学 業績 ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021		概要	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせい 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料	医薬化学 業績 ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021		概要	
I 教育活動         教育実践上の主た           1 教育内容・方法の工夫         途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせい中間に確認テストを実施し、理解度           2 作成した教科書、教材、参考各講義における配布資料         3 教育方法・教育実践に関するなし	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021		概要	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせた 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関するなし 4 その他教育活動上特記すべき	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021		概要	
I 教育活動         教育実践上の主た           1 教育内容・方法の工夫         途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせい中間に確認テストを実施し、理解度           2 作成した教科書、教材、参考各講義における配布資料         3 教育方法・教育実践に関するなし	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021		概要	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせに 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関する なし 4 その他教育活動上特記すべき なし	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021		概要	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせた 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関するなし 4 その他教育活動上特記すべき	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021	氏名 永田 和弘	概要	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせに 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関する なし 4 その他教育活動上特記すべき なし	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021	氏名 永田 和弘	概要	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせ 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関するなし 4 その他教育活動上特記すべきなし II 研究活動	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021	氏名 永田 和弘		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせ 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関するなし 4 その他教育活動上特記すべきなし II 研究活動	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021	氏名 永田 和弘		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせ 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関するなし 4 その他教育活動上特記すべきなし II 研究活動	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021	氏名 永田 和弘		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせた 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関するなし 4 その他教育活動上特記すべきなし I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021 単著・ 共著の別	氏名 永田 和弘 発行または発表の 年月(西暦)	<b>発行所、発表雑誌</b>	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせた 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関するなし 4 その他教育活動上特記すべきなし I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021 単著・ 共著の別	氏名 永田 和弘 発行または発表の 年月(西暦)	<b>発行所、発表雑誌</b>	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせ・ 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関する なし 4 その他教育活動上特記すべき なし I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021 単著・ 共著の別	氏名 永田 和弘 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 <b>一提出</b>	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせた 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関するなし 4 その他教育活動上特記すべきなし I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021 単著・ 共著の別	氏名 永田 和弘 発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 <b>一提出</b>	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせ・ 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関する なし 4 その他教育活動上特記すべき なし I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	医薬化学  業績  ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021 単著・ 共著の別	氏名 永田 和弘 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 <b>一提出</b>	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせ・ 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関する なし 4 その他教育活動上特記すべき なし I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	医薬化学 、業績 ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021  単著・ 共著の別	氏名 永田 和弘 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 <b>一提出</b>	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせ・ 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関する なし 4 その他教育活動上特記すべき なし I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	医薬化学 、業績 ながら講義を進めている。 をテェックしている。 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021  単著・ 共著の別	氏名 永田 和弘 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 <b>一提出</b>	
I 教育活動 教育実践上の主た 1 教育内容・方法の工夫 途中に演習問題を取り入れ、理解を深めさせ・ 中間に確認テストを実施し、理解度 2 作成した教科書、教材、参考 各講義における配布資料 3 教育方法・教育実践に関する なし 4 その他教育活動上特記すべき なし I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	医薬化学  業績  はがら講義を進めている。 をテェックしている。 書  発表、講演等 事項 (FDを含む)  「中央活動に、 動(直近5年間に携わっ	職名 准教授 年 月 日 2017-2021 2020-2021 2017-2021  単著・ 共著の別	氏名 永田 和弘 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 <b>一提出</b>	

Ī							
1 24 A 1776 1 40 BB A		教育および研究活					
大学名 昭和大学 部門名	医薬化学	職名 准教授	氏名 太田公規				
I 教育活動	×₩ /±	1	1	4917 775			
教育実践上の主な	- 耒楨	年月日		概 要 -			
1 教育内容・方法の工夫	(TM+ 4 4+1)		授業アンケートを実施				
(授耒評	価等を含む)	2021年8月	授業アンケートを実施	<u>t</u>			
0 /rrl + #N= #++ & #:	<u></u>	2020年2月1日	他6件	7 計 書 井 佐			
2 作成した教科書、教材、参考			2020年3月1日   教科書の章末問題の解説書執筆 2021年4月   授業プリントおよび動画の作成				
		2021年4月		川画の作成			
	7v = == == == == == == == == == == == ==		他15件				
3 教育方法・教育実践に関する	<b>羌衣、</b> 蔣庚寺		なし				
4 その他教育活動上特記すべき	<b>車</b> 石	2020年7日	教育者のためのワーク	7 シュール プ会加			
4 その他教育活動工符記すべる。		  シラバスに関するFD記					
	2020年12月	かんに関する「いる	19 白云 沙川				
Ⅱ 研究活動			1841+				
1		単著・	発行または発表の				
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称		
		共有の別	平月(四層)				
— II 碌	究活動に	ついてに	よ別紙にて	[提出			
2. 学会発表 (評価対象年度のか)	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		· ·	字会	· 27		
2. 子云光衣(計画对象干及0007)			発表年・月		<u>:1</u>		
田 尚合むしが社合にむはて主かば:	動 / 古にこ年間に推ねっ	. + . + . O ** /# \					
Ⅲ 学会および社会における主な活動							
2018年4月~現在	日本薬学会ファルマジ		m + =				
2020年4月~現在	科学技術・学術政策の		<i>到宜貝</i>				
2021年4月~現在	日本薬学会関東支部行						
2021年3月27日、28日	日本薬学会第141年会	·一般シンポジウム	オーガナイザー(2件)				
		教育および研究活					
大学名 昭和大学 部門名	生物化学部門	職名 准教授	氏名 小濵 孝士				
I 教育活動		_					
I 教育活動 教育実践上の主な	業績	年月日		概要			
	業績	年 月 日		概要			
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節		2017年度~現在		面を受け、講義や配布資料 <i>0</i>			
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修	ī)	2017年度~現在					
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考	ī)	2017年度~現在 2017年度~現在	OSCE学習・評価項目を	面を受け、講義や配布資料の E中心に指導しており、OSC	E外部評価を行った経り		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修	ī)	2017年度~現在	OSCE学習・評価項目を	面を受け、講義や配布資料 <i>0</i>	E外部評価を行った経り		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考	ī)	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~	OSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担	面を受け、講義や配布資料の E中心に指導しており、OSC	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考等 詳解生化学(京都廣川書店)	ī)	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~	OSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 日執筆した。2021年度より、	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊	書	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~	OSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 日執筆した。2021年度より、	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件	書	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~	OSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 日執筆した。2021年度より、	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会	書	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~	OSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 日執筆した。2021年度より、	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会	計 書 発表、講演等	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~	OSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 日執筆した。2021年度より、	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし	計 書 発表、講演等	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~	のSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担 実習期間中だけでなく	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 日執筆した。2021年度より、	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき	書 発表、講演等 事項	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2021年度~ 2017年度~現在	のSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担 実習期間中だけでなく オンラインツールを活	面を受け、講義や配布資料の に中心に指導しており、0SC 日執筆した。2021年度より、 、 0SCEの練習でも使用する	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する なし 4 その他教育活動上特記すべき 薬学部FDワークショップ	書 発表、講演等 事項	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2021年度~ 2017年度~現在	のSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担 実習期間中だけでなく オンラインツールを活	面を受け、講義や配布資料の で中心に指導しており、OSC 日執筆した。2021年度より、 、OSCEの練習でも使用する	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する。なし 4 その他教育活動上特記すべき。 薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア	書 発表、講演等 事項	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2021年度~ 2017年度~現在	のSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担 実習期間中だけでなく オンラインツールを活	面を受け、講義や配布資料の に中心に指導しており、0SC 日執筆した。2021年度より、 、 0SCEの練習でも使用する	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき・薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件 I 研究活動	書 発表、講演等 事項	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2021年度~ 2017年度~現在	のSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担 実習期間中だけでなく オンラインツールを活	画を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 目執筆した。2021年度より、 、OSCEの練習でも使用する 時期した講義の運用について ムにおける評価・学生ケア	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 C ~教育改革の始動~		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき 薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件	書 発表、講演等 事項	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2017年度~現在 2021年3月22日 2021年3月22日 2020年8月22, 231	のSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担 実習期間中だけでなく オンラインツールを活 令和2年度カリキュラ	面を受け、講義や配布資料の E中心に指導しており、OSC B執筆した。2021年度より、 、OSCEの練習でも使用する 5用した講義の運用について ムにおける評価・学生ケア	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき・薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件 I 研究活動	書 発表、講演等 事項	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2017年度~現在 2021年3月22日 2020年8月22,231	のSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担 実習期間中だけでなく オンラインツールを活 令和2年度カリキュラ 発行または発表の	画を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 目執筆した。2021年度より、 、OSCEの練習でも使用する 時期した講義の運用について ムにおける評価・学生ケア	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 C ~教育改革の始動~		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき・薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件 I 研究活動	書 発表、講演等 事項	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2017年度~現在 2021年3月22日 2020年8月22,231	のSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担 実習期間中だけでなく オンラインツールを活 令和2年度カリキュラ 発行または発表の	画を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 目執筆した。2021年度より、 、OSCEの練習でも使用する 時期した講義の運用について ムにおける評価・学生ケア	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 C ~教育改革の始動~		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき・薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件 I 研究活動	書 発表、講演等 事項	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2017年度~現在 2021年3月22日 2020年8月22,231	のSCE学習・評価項目を 担当講義の内容を分担 実習期間中だけでなく オンラインツールを活 令和2年度カリキュラ 発行または発表の	画を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、OSC 目執筆した。2021年度より、 、OSCEの練習でも使用する 時期した講義の運用について ムにおける評価・学生ケア	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 C ~教育改革の始動~		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべきは 薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	ま 発表、講演等 事項 ドバンストコース)	2017年度〜現在 2017年度〜現在 2021年度〜 2021年度〜 2017年度〜現在 2021年3月22日 2020年8月22, 231 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の で中心に指導しており、OSC B執筆した。2021年度より、 OSCEの練習でも使用する によいな評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 C ~教育改革の始動~		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべきは 薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	書 発表、講演等 事項	2017年度〜現在 2017年度〜現在 2021年度〜 2021年度〜 2017年度〜現在 2021年3月22日 2020年8月22, 231 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の で中心に指導しており、OSC B執筆した。2021年度より、 OSCEの練習でも使用する によいな評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 C ~教育改革の始動~		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する。なし 4 その他教育活動上特記すべき。 薬学部FDワークショップ(ア他3件 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	ま 発表、講演等 事項 ドバンストコース)	2017年度〜現在 2017年度〜現在 2021年度〜 2021年度〜 2017年度〜現在 2021年3月22日 2020年8月22, 231 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、0SC 配執筆した。2021年度より、 0SCEの練習でも使用する における評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 で ~教育改革の始動~ (巻・号数)等の名称		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき 薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア 他3件 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	ま 発表、講演等 事項 ドバンストコース)	2017年度〜現在 2017年度〜現在 2021年度〜 2021年度〜 2017年度〜現在 2021年3月22日 2020年8月22, 231 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の で中心に指導しており、OSC B執筆した。2021年度より、 OSCEの練習でも使用する によいな評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経動 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 で ~教育改革の始動~ (巻・号数) 等の名称		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する。なし 4 その他教育活動上特記すべき。 薬学部FDワークショップ(ア他3件 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	ま 発表、講演等 事項 ドバンストコース)	2017年度〜現在 2017年度〜現在 2021年度〜 2021年度〜 2017年度〜現在 2021年3月22日 2020年8月22, 231 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、0SC 配執筆した。2021年度より、 0SCEの練習でも使用する における評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経動 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 で ~教育改革の始動~ (巻・号数) 等の名称		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき。 薬学部FDワークショップ(ア・他3件)  研究活動 1. 著書・論文等の名称  2. 学会発表(評価対家年度のみ)	が 素 発表、講演等 事項 ドバンストコース)	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2021年度~ 2017年度~現在 2021年3月22日 2020年8月22,23日 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、0SC 配執筆した。2021年度より、 0SCEの練習でも使用する における評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経動 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 で ~教育改革の始動~ (巻・号数) 等の名称		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき 薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称  II 研究活動 2. 学会発表(評価対象年度のみ)	新 (直近5年間に携わっ	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2021年度~ 2017年度~現在 2021年3月22日 2020年8月22,23日 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、0SC 配執筆した。2021年度より、 0SCEの練習でも使用する における評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 で ~教育改革の始動~ (巻・号数)等の名称		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき・薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称  II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	新 (直近5年間に携わっ 1998年年11月~現在	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2021年度~ 2017年度~現在 2021年3月22日 2020年8月22,23日 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、0SC 配執筆した。2021年度より、 0SCEの練習でも使用する における評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 で ~教育改革の始動~ (巻・号数)等の名称		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき。薬学部FDワークショップ 教育者のためのワークショップ(ア他3件 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称  I 著書・論文等の名称  I 学会および社会における主な活 日本薬学会会員 日本生化学会会員	新 (直近5年間に携わつ 1998年年11月~現在 1998年5月~現在	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2021年度~ 2017年度~現在 2021年3月22日 2020年8月22,23日 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、0SC 配執筆した。2021年度より、 0SCEの練習でも使用する における評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 で ~教育改革の始動~ (巻・号数)等の名称		
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 生命活動を担う分子(代謝とその調節 実務実習事前学修 2 作成した教科書、教材、参考: 詳解生化学(京都廣川書店) 実務実習事前学修 実習書2冊 他1件 3 教育方法・教育実践に関する会なし 4 その他教育活動上特記すべき。 薬学部FDワークショップ(ア・他3件 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称  I 子会および社会における主な活! 日本薬学会会員	新 (直近5年間に携わっ 1998年年11月~現在	2017年度~現在 2017年度~現在 2021年度~ 2021年度~ 2017年度~現在 2021年3月22日 2020年8月22,23日 単著・ 共著の別	のSCE学習・評価項目を担当講義の内容を分担実習期間中だけでなく オンラインツールを活令和2年度カリキュラ発行または発表の年月(西暦)	面を受け、講義や配布資料の 中心に指導しており、0SC 配執筆した。2021年度より、 0SCEの練習でも使用する における評価・学生ケア 発行所、発表雑誌	E外部評価を行った経験 2年次の担当講義や演 3ものを作成した。 で ~教育改革の始動~ (巻・号数)等の名称		

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 昭和大学 部門名 毒物学	職名 准教授	氏名 芦野 隆					
I 教育活動	I 教育活動						
教育実践上の主な業績	年 月 日		概  要				
1 教育内容・方法の工夫	2021.5-6月	アクティブラーニング	ブ:薬と疾病チュートリアル(神経疾患)				
<i>(授業評価等を含む)</i>	2021. 6. 11	学生による授業評価					
2 作成した教科書、教材、参考書		なし					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし					
	1						
4 その他教育活動上特記すべき事項	2017. 7. 8		>学生指導を目指して」 ~講師・助教 の視点で				
(FDを含む)	2017. 7. 26	FD講習会:薬学教育 <i>σ</i>					
	2018. 9. 6		連覇から学ぶことー学生の個性を活かし、最大限				
	2018. 12. 4	FD講習会:シラバス作成方法に関するFD講習会					
	2020. 3. 5	FD講習会:各科目におけるディプロマポリシーの到達度について考えて					
	2020. 12. 15	FD講習会: シラバスに					
	2021. 3. 22	FD講習会:ディプロマ	マポリシーの見直し等 ―オンラインPBLルームを				
Ⅱ 研究活動							
1	単著・	発行または発表の					
1. 著書・論文等の名称	共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称				
	共有の別	平方(四周)					
リリー アルウェング 手上 / 一		上 Dil 46 1— —	- <del>                                     </del>				
├── II 研究活動に	ついてに	よ別 徴にて	. 提出				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)       発表年・月       学会名							
The state of the s		7021 77	) M H				
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ	たもの数件)						
2014年8月~現在 日本毒性学会誌 Fund		€読委員					
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							

大学名 昭和大学 部門名 薬理学部門 職名 准教授 氏名 柴田佳太   日 教育活動 教育実践上の主な業績 年 月 日   概 要							
大学名 昭和大学     部門名 薬理学部門     職名 准教授     氏名 柴田佳太       I 教育活動     教育実践上の主な業績     年月日     概要       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)     毎年     可能な限り図を用いて視覚的に薬理作用を講義している。学生による教員評価アンケートを基に、資料をブラッシュアップしている。 類用薬のこれなんで?(株式会社じほう)リハベーシック薬理学・臨床薬理学       2 作成した教科書、教材、参考書     2021年7月27日 2020年2月10日 リハベーシック薬理学・臨床薬理学       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等     なし       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)     2021年3月22日 2019年8月11,12年 認定実務実習指導薬剤師養成WSタスク(他10件)       I 研究活動     単著・ 共著の別     発行または発表の 年月(西暦)     発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名和 年月(西暦)       I 研究活動(こついては別紙にて提出)       2. 学伝発表 (評価対家年度のか)     発表年・月     学会名					and a sile take trade		
数育天誌							
教育実践上の主な業績       年月日       概要         1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       毎年       可能な限り図を用いて視覚的に薬理作用を講義している。学生による教員評価アンケートを基に、資料をブラッシュアップしている。 類用薬のこれなんで?(株式会社じほう)リハベーシック薬理学・臨床薬理学         2 作成した教科書、教材、参考書       2021年7月27日 2020年2月10日       リハベーシック薬理学・臨床薬理学         3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       なし         4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       2021年3月22日 2019年8月11,12E       ディブロマボリシーの見直し等FD (他9件) 認定実務実習指導薬剤師養成WSタスク(他10件)         I 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西層)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名利 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名利         I 不完活動       単著・ 大著の別       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名利		薬理学部門	職名	准教授	氏名 柴田佳太		
1 教育内容・方法の工夫	W-1111-H-11						
(授業評価等を含む)	教育実践上の主な業	<b>注積</b>	年	月日		,,,, ,,	
2 作成した教科書、教材、参考書       2021年7月27日 2020年2月10日 2020年2月21日 2020年2月21日 2020年2月21日 2	1 教育内容・方法の工夫		毎年		可能な限り図を用いる	て視覚的に薬理作用を講	
2 作成した教科書、教材、参考書       2021年7月27日 2020年2月10日       頻用薬のこれなんで?(株式会社じほう) リハベーシック薬理学・臨床薬理学         3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       なし         4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       2021年3月22日 2019年8月11, 12E 認定実務実習指導薬剤師養成WSタスク(他10件)         I 研究活動       単著・ 共著の別 発行または発表の 年月(西層)       発行または発表の 年月(西層)         1. 著書・論文等の名称       単著・ 共著の別       発行下、発表雑誌 (巻・号数)等の名和 22. 学会発表 (評価対象年度のみ)	(授業評価:	<i>等を含む)</i>			義している。学生に	よる教員評価アンケート	
2020年2月10日					を基に、資料をブラ	<u>ッシュアップしている。</u>	
(医歯薬出版株式会3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし なし 4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) 2021年3月22日 2019年8月11,12日 認定実務実習指導薬剤師養成WSタスク(他10件) 1. 著書・論文等の名称 単著・共著の別 発行または発表の 年月(西暦) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称 1. 著書・論文等の名称 2. 学伝発表 (評価対象年度のか) 発表年・月 字会名	2 作成した教科書、教材、参考書		2021年	F7月27日	頻用薬のこれなんで	? (株式会社じほう)	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       なし         4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       2021年3月22日 2019年8月11,12日 認定実務実習指導薬剤師養成WSタスク(他10件)         I 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西暦)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名利         1. 著書・論文等の名称       単著・ 共著の別       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名利         2. 学伝発表 (評価対象年度のみ)       発表年・月       学会名			2020年	F2月10日	リハベーシック薬理学	学・臨床薬理学	
4 その他教育活動上特記すべき事項							(医歯薬出版株式会社)
(FDを含む)       2019年8月11,12E       認定実務実習指導薬剤師養成WSタスク (他10件)         I 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月 (西暦)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名利         II 研究活動については別紙にて提出         2. 学会発表 (評価対象年度のみ)       発表年・月       学会名	3 教育方法・教育実践に関する発表	表、講演等			なし		
(FDを含む)       2019年8月11,12E 認定実務実習指導薬剤師養成WSタスク (他10件)         I 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月 (西暦)       発行所、発表雑誌       (巻・号数)等の名和         II 研究活動については別紙にて提出       2. 学気完表 (評価対象年度のみ)       発表年・月       学会名							
(FDを含む)       2019年8月11,12E 認定実務実習指導薬剤師養成WSタスク (他10件)         I 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月 (西暦)       発行所、発表雑誌       (巻・号数)等の名和         II 研究活動については別紙にて提出       2. 学気完表 (評価対象年度のみ)       発表年・月       学会名							
I 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西暦)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称         II 研究活動については別紙にて提出       2. 学伝完表 (評価対象年度のみ)       発表年・月       学会名	4 その他教育活動上特記すべき事」		2021年	E3月22日	ディプロマポリシーの	の見直し等FD(他9件)	
I 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西暦)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名和 年月(西暦)         II 研究活動については別紙にて提出         2. 学会発表 (評価対象年度のみ)       発表年・月       学会名		(FDを含む)	2019年	E8月11.12	B 認定実務実習指導薬剤	到師養成WSタスク(他10件	=)
1. 著書・論文等の名称       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西暦)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称         1. <b>研究活動については別紙にて提出</b> 2. 学伝発表 (評価対象年度のみ)       発表年・月       学会名		, - C Z G /		,,		13472030000000000000000000000000000000000	•
1. 者書・論文等の名称 共著の別 共著の別 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間	Ⅱ 研究活動				1		
1. 者書・論文等の名称 共著の別 共著の別 年月(西暦) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称 【II 研究活動については別紙にて提出 2. 学伝発表 (評価対象年度のみ) 発表年・月 字会名	. ++		Ě	<b>道著</b> •	発行または発表の		
II 研究活動については別紙にて提出 2. 学宝発表(評価対象年度のみ) 発表年・月 字会名	1. 者書・論文等の名称			. –		発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
2. 学伝発表 (評価対象年度のみ) 発表年・月 字会名				ц.,,,,			
2. 学伝発表 (評価対象年度のみ) 発表年・月 字会名							
2. 学伝発表 (評価対象年度のみ) 発表年・月 字会名							
2. 学伝発表 (評価対象年度のみ) 発表年・月 字会名					上四月春秋 / 二 一		
2. 学伝発表 (評価対象年度のみ) 発表年・月 字会名		光沽動に`	つし	ハてし	よ別継にて	( 提出	
							44.07
□ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)	2. 子云光衣(計画对象平反0007)				光衣牛・月	7	云石
□ 学会および社会における主な活動(直近 5 年間に携わったもの数件)							
Ⅲ 子云のよい任云にぬける土な活動(直近ち午间に携わつたもの敛忤)	m 当人れしがせるにおはフ <del>ン</del> たても	/古にこ左眼に推上	+ + ^	*F /F /			
2021年3月~現在 日本薬学会 ファルマシア地区通信委員			ンア地区	<b>凶</b> 通信委員			
2021年2月~現在 日本薬学会 代議員							
2020年11月~現在 日本薬理学会 代議員							
2019年7月~現在 東京都薬剤師会 代議員	2019年/月~現在	東京都薬剤師会 代議員	<b></b>				

十学夕 叨和十学   如明夕		教育および研究活 職名 准数塔	期の乗積一覧    氏名 谷岡 利裕		
大学名 昭和大学 部門名	生理・病態学	職名 准教授	口口 台间 利俗		
I 教育活動 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	₩ /±		l	4017 755	
教育実践上の主な	未模	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
授業評価アンケート		2021年9月		E授業評価アンケートにおり	いて担当科目が高い評価を
. <i>L</i> -4: 1 # 41 = # 11 / 4 -	<del>-</del>	1	得ている。		
2 作成した教科書、教材、参考書				. 1. 2. 产由土 1777	- /-* . L
症候学的病態生理学 症候学的に病態	5年埋・トリアージ	2021年8月		から疾患を理解し、セルフ	ノステイケーション
・セルフメディケーションを考える	v == == +=	1	を実践できるように構成し	とされた内容である。	
3 教育方法・教育実践に関する発	E衣、講演寺				
なし					
4 その他教育活動上特記すべき事	<u> </u>	+			
4 ての他教育活動工符記りへごす 病院実習指導者養成ワークショップ	• • •	0001年7日	がもJ-中歩士を停守	習の詳細なカリキュラムを	: COD-75
<b>柄院天自相等有後成り一クフョック</b>	J, 29, 1—3—	2021年7月		自の計画ながりイエノムを	rado C
Ⅱ 研究活動		1	成計 がらられている。		
ᄪᄱᄭᄓᆁ		単著・	※行士たけ発生の		
1. 著書・論文等の名称			発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
		共著の別	十月(四眉)		
			上四山人子。	- 10 · · ·	
— II 研	「究活動に	ついてに	よ別継 にて	. 提出	
			· ·		 至会名
2. 子云光衣(計画对象平及000%)			発表年・月	Ť	云石
	カノ南近ら年間に惟かっ	たもの粉件)			
<u> </u>	関東地区調整機構 指		8		
2016年4月~2020年3月 2017年4月			<u>貝</u> 逐剤師のためのアドバン	.7.D	
2017年4月		8. 足夫伤夫百怕等第	ミ州町のパこめのアプトバン	/スワークショップ	
	L				
<del></del>		数音お上が延売年	動の業績一覧		
大学名 昭和士学 如明々		教育および研究活			
	薬剤学	教育および研究活 職名 准教授	動の業績一覧 氏名 原田努		
I 教育活動	薬剤学	職名 准教授		押 亜	
I 教育活動 教育実践上の主な	薬剤学			概要	
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫	薬剤学	年 月 日	氏名 原田努		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘	業績	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法(	こ第一三共などより	
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約	<b>薬剤学</b> 業績 <b>3</b> 介	年 月 日	氏名 原田努	こ第一三共などより	
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書	<b>薬剤学</b> 業績 <b>3</b> 介	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法/ 製剤設計の講義でビラ	に第一三共などより デオ視聴	
I 教育活動       教育実践上の主な。       1 教育内容・方法の工夫       企業の製剤研究者を実習指導に招聘       高齢者・小児の実際の服薬シーンの約       2 作成した教科書、教材、参考書       デキる薬剤師をつくる現場の教科書	<b>薬剤学</b> 業績 紹介 書	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10	展名 原田努 製剤化と製剤試験法に 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ	-第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導	
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4	薬剤学       業績       紹介       よ	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法/ 製剤設計の講義でビラ	-第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導	
I 教育活動 教育実践上の主な 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発	薬剤学         業績         紹介         計版         老表、講演等	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1	民名 原田努 製剤化と製剤試験法に 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の流	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 気れについて	
I 教育活動 教育実践上の主な 教育実践上の主な 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発第45 回日本小児臨床薬理学会学術集	薬剤学         業績         紹介         計版         老表、講演等	年月日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6	民名 原田努 製剤化と製剤試験法に 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の影 欧米における小児製剤	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 別の開発動向	
I 教育活動 教育実践上の主な 教育実践上の主な 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書デキる薬剤師をつくる現場の教科書基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発第45 回日本小児臨床薬理学会学術集小児アドバイザリーボードの紹介	薬剤学         業績         紹介         計版         老表、講演等         会教育講演	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1	民名 原田努 製剤化と製剤試験法に 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の流	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 別の開発動向	
I 教育活動 教育実践上の主な 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの終 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事	薬剤学         業績         紹介         計版         老表、講演等         会教育講演	年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の認 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 利の開発動向 息児の座談会開催	
I 教育活動 教育実践上の主な	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演	職名     准教授       年月日       2017. 6. 12       2021. 9. 17       2019. 10. 10       2021. 9. 1       2018. 10. 6       2019. 9. 15       2021. 3. 22	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の認 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 別の開発動向 退児の座談会開催	
I 教育活動 教育実践上の主な 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの終 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD-WS 教育者のためのアドバンストワークシ	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演	年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の認 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 別の開発動向 退児の座談会開催	
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集・小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事業学部FD-₩S 教育者のためのアドバンストワークシ Ⅲ 研究活動	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法に製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の診 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの評価・学生ケア〜教育	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 別の開発動向 退児の座談会開催	
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集・小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事業学部FD-₩S 教育者のためのアドバンストワークシ Ⅲ 研究活動	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 別の開発動向 退児の座談会開催	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第 4 3 教育方法・教育実践に関する勇 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD-WS 教育者のためのアドバンストワークシ II 研究活動	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法に製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の診 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの評価・学生ケア〜教育	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 門の開発動向 息児の座談会開催 D見直し 育改革~	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第 4 3 教育方法・教育実践に関する勇 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD-WS 教育者のためのアドバンストワークシ I 研究活動	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 門の開発動向 息児の座談会開催 D見直し 育改革~	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第 4 3 教育方法・教育実践に関する勇 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD-WS 教育者のためのアドバンストワークシ II 研究活動	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育	に第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 門の開発動向 息児の座談会開催 D見直し 育改革~	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する勇 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD─WS 教育者のためのアドバンストワークシ Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演 事項	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)	第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 別の開発動向 思児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する勇 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD─WS 教育者のためのアドバンストワークシ Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演 事項	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)	第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 流れについて 別の開発動向 思児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 子も薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する勇 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD─WS 教育者のためのアドバンストワークシ I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別	既名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でどう 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製育 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)	二第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 たれについて 別の開発動向 息児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する勇 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD-WS 教育者のためのアドバンストワークシ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演 事項	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でビラ 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)	二第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 たれについて 別の開発動向 息児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 子も薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する勇 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD─WS 教育者のためのアドバンストワークシ I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬剤学 業績 紹介 計版 老表、講演等 会 教育講演 事項	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別	既名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でどう 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製育 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)	二第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 たれについて 別の開発動向 息児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第 4 3 教育方法・教育実践に関する発 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集 小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事 薬学部FD-WS 教育者のためのアドバンストワークシ I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	業 業績 紹介 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別	既名 原田努 製剤化と製剤試験法は 製剤設計の講義でどう 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製育 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)	二第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 たれについて 別の開発動向 息児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集・小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事業学部FD-WS 教育者のためのアドバンストワークシ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	業剤学 業績 紹介 ・	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別	既名 原田努 製剤化と製剤試験法に製剤設計の講義でごう 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の設 欧米における小児製料 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)	二第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 たれについて 別の開発動向 息児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集・小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事薬学部FD-₩S 教育者のためのアドバンストワークシ Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称  □ 学会および社会における主な活動 2020年4月~現在	業剤学業績 紹介 ・	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別 ついては	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法に製剤設計の講義でごう 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の  欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)  ま別紙(こて 発表年・月	二第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 たれについて 別の開発動向 息児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集・小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事薬学部FD-WS 教育者のためのアドバンストワークシ I 研究活動 1. 著書・論文等の名称  □ 学会および社会における主な活動 2020年4月~現在 2020年10月~現在	業剤学業績 紹介 ・	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別 ついては	氏名 原田努 製剤化と製剤試験法に製剤設計の講義でごう 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の  欧米における小児製剤 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの 評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)  ま別紙(こて 発表年・月	二第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 たれについて 別の開発動向 息児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主な: 1 教育内容・方法の工夫 企業の製剤研究者を実習指導に招聘 高齢者・小児の実際の服薬シーンの約 2 作成した教科書、教材、参考書 デキる薬剤師をつくる現場の教科書 基礎から学ぶ製剤化のサイエンス第4 3 教育方法・教育実践に関する発 第45 回日本小児臨床薬理学会学術集・小児アドバイザリーボードの紹介 4 その他教育活動上特記すべき事業学部FD-WS 教育者のためのアドバンストワークシ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	業剤学業績 紹介 ・	職名 准教授 年 月 日 2017. 6. 12 2021. 9. 17 2019. 10. 10 2021. 9. 1 2018. 10. 6 2019. 9. 15 2021. 3. 22 2020. 8. 22 単著・ 共著の別 ついては かたもの数件) 製剤フォーカスグル 国際委員会 副委員 見部門 副部門長	既名 原田努 製剤化と製剤試験法に製剤設計の講義でごう 薬の飲みやすさについ 医薬品開発と生産の診 学生・企業研究者と見 ディプロマポリシーの評価・学生ケア〜教育 発行または発表の 年月(西暦)	二第一三共などより デオ視聴 いての服薬指導 たれについて 別の開発動向 息児の座談会開催 り見直し 育改革~ 発行所、発表雑誌	

			71 - JU /+ E-				
T		教育および研究活					
大学名 昭和大学 部門名	薬物動態学	職名 准教授	氏名 杉山 恵理花				
I 教育活動		1	T				
教育実践上の主な	業績	年 月 日		概要			
1 教育内容・方法の工夫							
P3~P4進級試験 改革		2017年9月1日	P3P4進級試験 出題内	容の改善			
コロナ自粛下におけるP6オンラィ	(ン学修構築	2020年3月20日	P6講義・国家試験対策	<b>策オンライン学修構築</b>			
2 作成した教科書、教材、参考書							
P4事前学修・OSCE 無菌操作法の		2018年9月1日	無菌操作法学生学修用	目動画の作成			
3 教育方法・教育実践に関する発	ž表 講演等						
薬物治療ルーブリックの導入と記		2018年9月2日	2018年9月2日 第3回日本薬学教育学会大会				
来物温源ループラブの専八と記	Щ	2010-07121	30000 <del>0</del> 787507	<b>A</b> /A			
4 その他教育活動上特記すべき事	百百						
薬学部教育委員会	7.75	2017年4日1日	│ ~現在 学年担当教育	5 禾 吕			
※デーザー	M WCナンビGAH		~現在 委員	7女只			
※子のカウヤエラム検討委員会 Ⅱ 研究活動	世 #3なと01十	2017年4月1日	一次任 安貝				
1		24 to	m/=+1/120+0				
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称		
		共著の別	年月(西暦)				
II 研	「究活動に <sup>・</sup>	ついてじ	士別紙につ	「提出			
	70/H 3/JI-	- C 10	· • ·				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	字	会名		
Ⅲ 学会および社会における主な活動	動(直近5年間に携わっ	たもの数件)					
2017年4月~2022年3月	日本薬学会会員						
2017年4月~2022年3月	日本医療薬学会会員						
2017年4月~2018年5月	第2回日本老年薬学会等	学術大会 大会実	行委員会委員				
2021年4月~2021年6月	昭和大学リカレントカ						
• • • •		Print.					
		教育および研究活	動の業績一覧				
教育および研究活動の業績一覧							
大学名 昭和大学							
	衛生薬学部門	職名 准教授	氏名 桑田 浩				
I 教育活動		1	氏名 桑田 浩	概 更			
I 教育活動 教育実践上の主な		年月日		概要			
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫	業績	年月日	学生からの授業評価を	を受け、内容を改善した。			
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫		年月日	学生からの授業評価を 通常の講義プリントに				
I         教育活動           教育実践上の主な           1         教育内容・方法の工夫 (授業評価)	業績	年 月 日後期講義終了毎	学生からの授業評価を 通常の講義プリントに て講義を行った。	を受け、内容を改善した。			
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫	業績	年月日後期講義終了毎	学生からの授業評価を 通常の講義プリントに て講義を行った。 オンライン実習動画	を受け、内容を改善した。			
I         教育活動           教育実践上の主な           1         教育内容・方法の工夫 (授業評価)	業績	年月日後期講義終了毎	学生からの授業評価を 通常の講義プリントに て講義を行った。 オンライン実習動画 オンライン講義動画	を受け、内容を改善した。			
I 教育活動     教育実践上の主な       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書	業績 <i>価等を含む)</i>	年月日後期講義終了毎	学生からの授業評価を 通常の講義プリントに て講義を行った。 オンライン実習動画	を受け、内容を改善した。			
I         教育活動           教育実践上の主な           1         教育内容・方法の工夫 (授業評価)	業績 <i>価等を含む)</i>	年月日後期講義終了毎	学生からの授業評価を通常の講義プリントに 通常の講義プリントに て講義を行った。 オンライン実習動画 オンライン講義動画 他1件	を受け、内容を改善した。			
I 教育活動     教育実践上の主な       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書	業績 <i>価等を含む)</i>	年月日後期講義終了毎	学生からの授業評価を 通常の講義プリントに て講義を行った。 オンライン実習動画 オンライン講義動画	を受け、内容を改善した。			
I 教育活動     教育実践上の主な       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月	学生からの授業評価を通常の講義プリントに 通常の講義で行った。 オンライン実習動画 オンライン講義動画 他1件	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のもの値	使用し		
I 教育活動     教育実践上の主な       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ	使用し		
I 教育活動     教育実践上の主な       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月	学生からの授業評価を通常の講義プリントに 通常の講義で行った。 オンライン実習動画 オンライン講義動画 他1件	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ	使用し		
I 教育活動       教育実践上の主な       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発生       4 その他教育活動上特記すべき事	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ	使用し		
I 教育活動     教育実践上の主な       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし  FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ	使用し		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし  FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のもの値 ディブロマポリシーにつ に関するFD)	いて)		
I 教育活動       教育実践上の主な       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発生       4 その他教育活動上特記すべき事	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021. 03. 22 2020. 12. 15	学生からの授業評価を通常の講義プリントに 通常の講義プリントに て講義を行った。 オンライン実習動画 オンライン講義動画 他1件 なし FD ワークショップ( FD講習会(シラバスに 他1件	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ	使用し		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021. 03. 22 2020. 12. 15	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし  FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のもの値 ディブロマポリシーにつ に関するFD)	いて)		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021. 03. 22 2020. 12. 15	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし  FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のもの値 ディブロマポリシーにつ に関するFD)	いて)		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021. 03. 22 2020. 12. 15	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし  FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のもの値 ディブロマポリシーにつ に関するFD)	いて)		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する系 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	業績 <i>価等を含む)</i>	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021. 03. 22 2020. 12. 15 単著・ 共著の別	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件 発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ に関するFD) 発行所、発表雑誌	いて)		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する系 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	業績 <i>価等を含む)</i> 書 き表、講演等	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021. 03. 22 2020. 12. 15 単著・ 共著の別	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件 発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 に加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ に関するFD) 発行所、発表雑誌	いて)		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	業績 <i>価等を含む)</i>	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021. 03. 22 2020. 12. 15 単著・ 共著の別	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 一加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ 一関するFD) 発行所、発表雑誌	いて) (巻・号数) 等の名称		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する系 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	業績 <i>価等を含む)</i>	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021. 03. 22 2020. 12. 15 単著・ 共著の別	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件 発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 一加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ 一関するFD) 発行所、発表雑誌	いて)		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	業績 <i>価等を含む)</i>	年 月 日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021. 03. 22 2020. 12. 15 単著・ 共著の別	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 一加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ 一関するFD) 発行所、発表雑誌	いて) (巻・号数) 等の名称		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	業績 <i>価等を含む)</i>	年月日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021.03.22 2020.12.15	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 一加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ 一関するFD) 発行所、発表雑誌	いて) (巻・号数) 等の名称		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称 Ⅲ 学会および社会における主な活動 Ⅲ 学会および社会における主な活動	業績 <i>価等を含む)</i>	年月日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021.03.22 2020.12.15 単著・ 共著の別	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 一加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ 一関するFD) 発行所、発表雑誌	いて) (巻・号数) 等の名称		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する多 4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称  II 学会および社会における主な活動 2020年6月~現在	業績 <i>画等を含む)</i>	年月日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021.03.22 2020.12.15 単著・ 共著の別	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 一加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ 一関するFD) 発行所、発表雑誌	いて) (巻・号数) 等の名称		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称 Ⅲ 学会および社会における主な活動 Ⅲ 学会および社会における主な活動	業績 <i>価等を含む)</i>	年月日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021.03.22 2020.12.15 単著・ 共著の別	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 一加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ 一関するFD) 発行所、発表雑誌	サ用し いて) (巻・号数)等の名称		
I 教育活動 教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する多 4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称  II 学会および社会における主な活動 2020年6月~現在	業績 <i>画等を含む)</i>	年月日 後期講義終了毎 2020年3月 2020年10月 2021.03.22 2020.12.15 単著・ 共著の別	学生からの授業評価を通常の講義プリントにて講義を行った。オンライン実習動画オンライン講義動画他1件なし FD ワークショップ(FD講習会(シラバスに他1件  発行または発表の年月(西暦)	を受け、内容を改善した。 一加え、穴埋め式のものを ディプロマポリシーにつ 一関するFD) 発行所、発表雑誌	サ用し いて) (巻・号数)等の名称		

	教育および研究:	舌動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 医薬品評価薬学	職名 准教授	氏名 亀井 大	:輔	
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概	要
1 教育内容・方法の工夫 2021年度前期教員評価アンケート(授業評価等を含む) 2020年度前期教員評価アンケート(授業評価等を含む)				果により次年度の改善を実施) 果により次年度の改善を実施)
他3件 2 作成した教科書、教材、参考書 薬学と社会 - 薬事関連法規・制度 - (南江堂) 改訂第2版 薬学と社会 - 薬事関連法規・制度 - (南江堂)				品質、有効性及び安全性の確保等に 品質、有効性及び安全性の確保等に
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 対人援助職としての薬剤師養成を指向した症候学教育の実践 昭和大学薬学部における救急医療教育の実践 ~ シミュレー 他6件			会教育実践奨励賞受 で育学会大会 シンボ	賞講演 ジウム8(シンポジスト兼演者とし
4 その他教育活動上特記すべき事項 病院実習指導者ワークショップ <i>(FDを含む)</i> 昭和大学FDワークショップ 他2件	2021年7月17			
Ⅱ 研究活動		•		
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表 年月(西暦)	の 発行所、発	表雑誌 (巻・号数)等の名称
── II 研究活動に <sup>・</sup>	ついて	十 511 女年 1-	・プ担川	
712 3123 72	<b>J</b> U.C			
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月		字会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ	たもの数件)			
薬学共用試験センター広報委員会 委員 (2017. 4~現在)				
日本薬剤師会が実施する健康サポート薬局研修に係る教材ス	ライド作成及ぶ	<b>教材DVD収録(2021</b>	. 4. 23)	
東京都薬剤師会 2019年度 第1回臨床薬学講座 講演及び実習	冒(2019. 7)			
日本薬学教育学会会員他				

口个来了我日子五五兵	<u> </u>				
		教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名 薬物治療学	職名 准教授	氏名 大林真幸		
I 教育活動	前 1	城石 准扒及	MI ANAT		
	送上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法のエ			2020年4月より「P3調		責任として、3年次の講義
	・ハ <i>(授業評価等を含む)</i>	2020   177			携や「P4実務実習事前学
					修得がスムーズになるよう
2 作成した教科書、教	材、参考書		なし	(101-117720 JAR 16/12)	
			0.0		
3 教育方法·教育実践	に関する発表、講演等	2020年9月	TRY!事例を使った薬学	を倫理教育 -四分割表の	)活用法-(ワークショッ
		2019年7月	高齢者とのコミュニケーション能力向上を目指したSP参加型カリキュラ		
			他2件		
4 その他教育活動上特	記すべき事項		なし		
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
  1. 著書・論文等の名称		単著·	発行または発表の	発行所、発表雑誌 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
1. 有官・神久寺の石が		共著の別	年月(西暦)	光 17 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	(を・方数)寺の石が
II	研究活動に	ついてい	十日川終げしっ	「提出	
		. 20. 01			
2. 学会発表(評価对象年	(度のか)		発表年・月	7	全会名
Ⅲ 学会および社会におけ	る主な活動(直近5年間に携わ・	ったもの数件)			
	なし				

然医薬治療学 責 を含む) 、講演等 を表 7ム	年 月 日 2017年4月 2017年4月 2019年3月28日 2020年9月12日	事前学習から卒後臨床がん治療・がん治療・がん化学系 精神医療実習(病院)		ック評価を構築した 車続的なルーブリック評値
で <i>き含む)</i> 、講演等 を表 フム	2017年4月 2017年4月 2017年4月 2019年3月28日 2020年9月12日	事前学習から卒後臨床がん治療・がん治療・がん化学系 精神医療実習(病院)	での段階的なルーブリッ での段階的かつ選	
で <i>き含む)</i> 、講演等 を表 フム	2017年4月 2017年4月 2017年4月 2019年3月28日 2020年9月12日	事前学習から卒後臨床がん治療・がん治療・がん化学系 精神医療実習(病院)	での段階的なルーブリッ での段階的かつ選	
、講演等 <sup>8表</sup> 7ム	2017年4月 2019年3月28日 2020年9月12日	事前学習から卒後臨床がん治療・がん治療・がん化学系 精神医療実習(病院)	<b>研修までの段階的かつ</b> 類	
、講演等 <sup>8表</sup> 7ム	2017年4月 2019年3月28日 2020年9月12日	事前学習から卒後臨床がん治療・がん治療・がん化学系 精神医療実習(病院)	<b>研修までの段階的かつ</b> 類	
、講演等 <sup>8表</sup> 7ム	2019年3月28日 2020年9月12日	がん治療・がん化学病精神医療実習(病院実		車続的なルーブリック評値
、講演等 <sup>8表</sup> 7ム	2020年9月12日	精神医療実習(病院実	法領域の書籍	
É表 7ム	2020年9月12日	精神医療実習(病院実	法領域の書籍	
É表 7ム	2020年9月12日	精神医療実習(病院実	法領域の書籍	
É表 7ム	2020年9月12日	精神医療実習(病院実	を法領域の書籍	
É表 7ム				
É表 7ム				•
7.4			改字羽  の構筑   蛙地	佐黒黒孝の宝際を学が3
	2010年9月1日	宇教宇型にむけて取る		
		夫務美省における形成   他4件	にい計画 一内保にのける	る薬学的管理に関するル-
		IB-7IT		
(FDを含む)				
	!			
	単著・	発行または発表の	36 /= =r 36 ± 1,4 =+	(# D#\) # * D #\
	共著の別	年月 (西暦)	<b>発</b> 行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
マ活動に・	ついてい	十日川紅ノーフ	"坦山	
し/口 多川〜	76. CI	ナクリかん 1~ く	- 100	
		発表年・月	字	会名
		(中味茶牛、火牛、 光人	======================================	
和兀牛果日本日風/-	<u> </u>	<i>・ホフンティア活動</i> (長	<i>专野県)</i>	
<b>★蒸畳☆☆昌※</b>				
<i>本架子云云貝次</i>				
3	め育お上パ研究活	動の業績一覧		
<b>太师呼来于</b>	45.0 在70.0	×1 151 ×2		
±	年 月 日		概要	
-	, ,, ,,		^	
	2021年4日			
を解説				
症学・抗菌薬治療テ	2018年8月	編集、分担執筆		
		分担執筆		
117.7.7.7.	直近5年間に携わっ 本医療薬学会代議員 本臨床腫瘍薬学会 ! 本臨床腫瘍薬学会 ! 本のアライド・セラ 和元年東日本台風に 本薬学会会員※	大著の別  で活動については  直近5年間に携わったもの数件) 本医療薬学会代議員 本臨床腫瘍薬学会 寒地研修委員会 本路床腫瘍薬学会 臨床研究委員会 本アプライド・セラピューティクス 和元年東日本台風に伴う災害に対する 本薬学会会員※  教育および研究活 染制御薬学 職名 准教授  年 月 日 2021年4月	大著の別 年月 (西暦)  で活動については別紙にて  ・ 発表年・月  直近5年間に携わったもの数件)  本医療薬学会代議員  本臨床腫瘍薬学会 実地研修委員会  本臨床腫瘍薬学会 臨床研究委員会  本アプライド・セラピューティクス (実践薬物治療) 学会 和元年東日本台風に伴う災害に対するボランティア活動 (長本薬学会会員※  教育および研究活動の業績一覧  染制御薬学 職名 准教授 氏名 前田 真之  年 月 日  2021年4月	(大活動については別紙にて提出) 発表年・月 発表年・月 発表年・月 発表年・月 発表年・月 発表年・月 発表年・月 学

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 昭和大学 部門名 感染制御薬学	職名 准教授	氏名 前田 真之				
I 教育活動	1961 1873	1				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要			
1 教育内容・方法の工夫						
感染症の症例を提示し、解析させる	2021年4月					
実際の症例と国家試験過去問との関連性を解説	2021年4月					
2 作成した教科書、教材、参考書						
薬学生・薬剤師レジデントのための感染症学・抗菌薬治	療テ 2018年8月	編集、分担執筆				
臨床薬学テキストシリーズ 血液・造血器/感染症/悪性	<b>重瘍</b> 2021年6月	分担執筆				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項		なし				
(FDを含む)						
Ⅱ 研究活動						
┃ ┃1. 著書・論文等の名称	単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称		
	共著の別	年月(西暦)	プレイナナバイ プレタス不正的心	(包 为数) 特の目前		
├── II 研究活動(	こついて	士別紙157	て提出			
			CIRCILI			
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月		字会名		
Ⅲ 学会および社会における主な活動 (直近5年間に携						
	於抗微生物薬適正使用					
	<b>於抗菌化学療法認定薬</b>					
	<i>全感染制御専門薬剤師。</i>					
2021年~現在 日本病院薬剤師会	2021年~現在 日本病院薬剤師会学術第3小委員会 委員					

大学名 昭和大学 部門名 教育企	面. 部体学	1144 A 244 AT	~ A 1=11 + /+		
	. 画:計価子	職名 講師	氏名 福村 基徳		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫		2017年~毎年度	授業評価結果に基づく	〈講義資料・方法の改善	
(授業評価等を	<i>含む)</i>	2021年6月	アクティブラーニング	ブによる能動的学習の実施	Ī
2 作成した教科書、教材、参考書			なし		
3 教育方法・教育実践に関する発表、	講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項		2020. 12. 15	シラバスに関するFD詞	<b>第</b> 習会	
		2021. 3. 22	ディプロマポリシー 他9件		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
					1
	活動に	ついては	は別紙にて	て提出	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)			発表年・月	字	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直	近5年間に携わった	たもの数件)			
	具保険薬剤師				
	B科学省高等教育局	医学教育課技術参	· ·与		
			-		
	文部科学省医療人養成に関するアドバイザー				

2007及 死亡							
教育および研究活動の業績一覧							
大学名 昭和大学 部門名 教育実践学	職名 講師	氏名 加藤里奈					
I 教育活動							
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要				
1 教育内容・方法の工夫							
オンラインカリキュラムの教員・学生支援	2021年度	Google Classroomを中	□心としたオンラインカ	リキュラムの実施を支援			
薬学部オンラインPBLルーム作成・運用・実施支援	2021年度	薬学部カリキュラムに	おけるオンライングル-	ープ討議の実施を支援する			
2 作成した教科書、教材、参考書							
学部連携PBLⅢ(ファシリテータガイド・学生ガイト	ジン 2021年度6月	学部連携チーム医療P	BL教材(対象医歯薬4年	<ul><li>保健医療3年)</li></ul>			
学部連携TBLⅢ(ファシリテータガイド・学生ガイト	*) 2021年度6月	学部連携チーム医療P	BL教材(対象医歯薬4年	・保健医療3年)			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等							
第6回日本薬学教育学会大会・ポスター発表(オンラ	ライン開 2021年8月22日			に実施するための教員・学			
薬学教育・総説 (5巻, 55-61, 2021)	オンライン公開	参加型演習科目「臨床心理学の活用」の遠隔授業での実施 -オンライ					
X 1 4X P	2021年4月21日	ンを活用した教育システムの構築-					
4 その他教育活動上特記すべき事項							
薬学部FD 薬学部オンラインPBLルーム説明会 主催	2021年4月13日	オンライングループ討議を実施方法を解説し、実施準備、オンライン					
┃ ┃学部連携科目ファシリテータ養成ワークショップ 塡	2021年9月30-	学部連携教育科目のファシリテータ養成のためのワークショップにタス					
子中足が行口ングング ア民ペン ブンコブン と	10月1日	クとして参加し、グループ討議のファシリテートを担当した。					
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称			
II 研究活動	かについてに	よ別紙にて	提出				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月					
1		76X + 71	7				
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間)	 に携わったもの数件)						
2020年度~ 日本薬学教育							
2019年度~ 日本医学教育							
2021年度 日本薬学教育	· 学会論文審査員						

			教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名		職名講師	新の未順 見 氏名 金光卓也		
	部门名	医薬化学部門	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	八石 亚兀早也		
	中吐しのナナ	、	1		4917 275	
	実践上の主な	<b>は</b>	年 月 日		概  要	
1 教育内容・方法の						
	(授業評	価等を含む)				
2 作成した教科書						
クライン有機化学問題の	の解き方(日本	(語版)	2020. 3			
3 教育方法・教育	実践に関する	発表、講演等				
4 その他教育活動.	上特記すべき	事項				
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動			1			
			単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名	尓		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
			六名の別	十八 (日月)		
					_1=	
	[[任	肝究活動に	ついてに	ま別紙にて	[提出	
	•	<b>                                    </b>				
2. 学会発表(評価対	8年長のみ)			発表年・月	子	学会名
Ⅲ 学会および社会に	おける主な活	動(直近5年間に携わっ	たもの数件)			
		•				
			教育および研究活			
大学名 昭和大学	部門名	医薬化学	教育および研究活 職名 講師	動の業績一覧 氏名 水野 美麗		
大学名 昭和大学 I 教育活動	部門名	医薬化学				
I 教育活動	部門名				概要	
I 教育活動	実践上の主な		職名 講師		概要	
I 教育活動 教育	実践上の主 <i>た</i> の工夫		職名 講師	氏名 水野 美麗	概要	
I 教育活動 教育	実践上の主 <i>た</i> の工夫	業績	職名 講師	氏名 水野 美麗	概要	
I 教育活動 教育	実践上の主な の工夫 <i>(授業評</i>	は業績 「価等を含む)	職名 講師	氏名 水野 美麗	概要	
I 教育活動       教育       1 教育内容・方法の	実践上の主な の工夫 <i>(授業評</i>	は業績 「価等を含む)	職名 講師	氏名 水野 美麗なし	概要	
I 教育活動       教育       1 教育内容・方法の	実践上の主な の工夫 <i>(授業評</i>	は業績 「価等を含む)	職名 講師	氏名 水野 美麗なし	概 要	
I 教育活動     教育       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書・	実践上の主た の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	s業績 <i>価等を含む)</i> 書	職名 講師	氏名 水野 美麗なし	概要	
I 教育活動       教育       1 教育内容・方法の	実践上の主た の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	s業績 <i>価等を含む)</i> 書	職名 講師	氏名 水野 美麗なし	概要	
I 教育活動     教育       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書・	実践上の主た の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	s業績 <i>価等を含む)</i> 書	職名 講師	氏名 水野 美麗なし	概要	
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書       3     教育方法・教育	実践上の主だ アエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	は業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	年月日	氏名 水野 美麗なしなし		
I 教育活動     教育       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書・	実践上の主だ アエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	<ul><li>ご業績</li><li>「価等を含む)</li><li>書</li><li>発表、講演等</li><li>事項</li></ul>	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日	氏名 水野 美麗       なし       なし       なし       薬学部FDワークショッ	ップ	
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書       3     教育方法・教育	実践上の主だ アエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	は業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日	氏名 水野 美麗なしなし	ップ S	
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書       3     教育方法・教育       4     その他教育活動	実践上の主だ アエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	<ul><li>ご業績</li><li>「価等を含む)</li><li>書</li><li>発表、講演等</li><li>事項</li></ul>	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日	氏名 水野 美麗       なし       なし       なし       薬学部FDワークショッ	ップ	
<ul><li>Ⅰ 教育活動 教育</li><li>1 教育内容・方法(</li><li>2 作成した教科書</li><li>3 教育方法・教育</li><li>4 その他教育活動</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	実践上の主だ か工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	<ul><li>ご業績</li><li>「価等を含む)</li><li>書</li><li>発表、講演等</li><li>事項</li></ul>	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日	氏名 水野 美麗なしなしなしない なしない 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW	ップ S	
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書       3     教育方法・教育       4     その他教育活動	実践上の主だ か工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	<ul><li>ご業績</li><li>「価等を含む)</li><li>書</li><li>発表、講演等</li><li>事項</li></ul>	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日	氏名 水野 美麗なしなしなしない 薬学部FDワークション基礎系実習の見直しW	ップ S	(巻・号数)等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動 教育</li><li>1 教育内容・方法(</li><li>2 作成した教科書</li><li>3 教育方法・教育</li><li>4 その他教育活動</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	実践上の主だ か工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	<ul><li>ご業績</li><li>「価等を含む)</li><li>書</li><li>発表、講演等</li><li>事項</li></ul>	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日	氏名 水野 美麗なしなしなしない なしない 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW	ップ S 他5件	(巻・号数) 等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動 教育</li><li>1 教育内容・方法(</li><li>2 作成した教科書</li><li>3 教育方法・教育</li><li>4 その他教育活動</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	実践上の主だ か工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	<ul><li>ご業績</li><li>「価等を含む)</li><li>書</li><li>発表、講演等</li><li>事項</li></ul>	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日	氏名 水野 美麗なしなしなしない 薬学部FDワークション基礎系実習の見直しW	ップ S 他5件	(巻・号数) 等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動 教育</li><li>1 教育内容・方法(</li><li>2 作成した教科書</li><li>3 教育方法・教育</li><li>4 その他教育活動</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	実践上の主だ か工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	<ul><li>ご業績</li><li>「価等を含む)</li><li>書</li><li>発表、講演等</li><li>事項</li></ul>	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日	氏名 水野 美麗なしなしなしない 薬学部FDワークション基礎系実習の見直しW	ップ S 他5件	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法( 2 作成した教科書 3 教育方法・教育 4 その他教育活動 1 著書・論文等の名:	実践上の主だ D工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	京業績 (価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日 単著・ 共著の別	氏名 水野 美麗 なし なし なし なし 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW 発行または発表の 年月(西暦)	ップ S 他5件 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法( 2 作成した教科書 3 教育方法・教育 4 その他教育活動 1 著書・論文等の名:	実践上の主だ D工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	京業績 (価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日 単著・ 共著の別	氏名 水野 美麗 なし なし なし なし 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW 発行または発表の 年月(西暦)	ップ S 他5件 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
<ul> <li>I 教育活動 教育</li> <li>1 教育内容・方法・</li> <li>2 作成した教科書・</li> <li>3 教育方法・教育:</li> <li>4 その他教育活動・</li> <li>I 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名が</li> </ul>	実践上の主だの工夫(授業評数材、参考を設に関するというできる。	<ul><li>ご業績</li><li>「価等を含む)</li><li>書</li><li>発表、講演等</li><li>事項</li></ul>	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日 単著・ 共著の別	氏名 水野 美麗 なし なし なし なし 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW 発行または発表の 年月(西暦)	ップ S 他5件 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法( 2 作成した教科書 3 教育方法・教育 4 その他教育活動 1 著書・論文等の名:	実践上の主だの工夫(授業評数材、参考を設に関するというできる。	京業績 (価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日 単著・ 共著の別	氏名 水野 美麗 なし なし なし なし 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW 発行または発表の 年月(西暦)	ップ S 他5件 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
<ul> <li>I 教育活動 教育</li> <li>1 教育内容・方法・</li> <li>2 作成した教科書・</li> <li>3 教育方法・教育:</li> <li>4 その他教育活動・</li> <li>I 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名が</li> </ul>	実践上の主だの工夫(授業評数材、参考を設に関する)と特記すべき	京業績 (価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日 単著・ 共著の別	氏名 水野 美麗 なし なし なし なし 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW 発行または発表の 年月(西暦)	ップ S 他5件 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法( 2 作成した教科書. 3 教育方法・教育: 4 その他教育活動. II 研究活動 1. 著書・論文等の名: 2. 学会発表 (評価対策)	実践上の主たの工夫(授業評数材、参考を践に関するという)	業績 (価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 講師 年 月 日  2021年3月22日 2019年4月12日  単著・ 共著の別	氏名 水野 美麗 なし なし なし なし 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW 発行または発表の 年月(西暦)	ップ S 他5件 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法( 2 作成した教科書. 3 教育方法・教育: 4 その他教育活動. II 研究活動 1. 著書・論文等の名: 2. 学会発表 (評価対: アース・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・	実践上の主たの工夫(授業評数材、参考を践に関するという)	:業績 :価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>中究活動に</b> 動(直近5年間に携わっ	職名 講師 年 月 日  2021年3月22日 2019年4月12日  単著・ 共著の別	氏名 水野 美麗 なし なし なし なし 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW 発行または発表の 年月(西暦)	ップ S 他5件 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法( 2 作成した教科書. 3 教育方法・教育: 4 その他教育活動. II 研究活動 1. 著書・論文等の名: 2. 学会発表 (評価対策)	実践上の主たの工夫(授業評数材、参考を践に関するという)	業績 (価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 講師 年 月 日 2021年3月22日 2019年4月12日 単著・ 共著の別	氏名 水野 美麗 なし なし なし なし 薬学部FDワークション 基礎系実習の見直しW 発行または発表の 年月(西暦)	ップ S 他5件 発行所、発表雑誌	

			教育および研究活 			
大学名 昭和大学 I 教育活動	部門名	薬学部生体分析化学部	職名 講師	氏名 村山周平		
	<b>選上の主な</b>		年 月 日		 概 要	
1 教育内容・方法の.		<b>西等を含む</b> )	, ,,			でな科目であり、演習問題 いており、授業評価でも概
2 作成した教科書、		P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-P-		<b>44好計である。</b>		
3 教育方法・教育実	 銭に関する発	<b>《表、講演等</b>				
4 その他教育活動上	_ 特記すべき事	<sup>I</sup> 項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
T T	ा स्म	究活動に	ついてい	十日川経バニマ	~ 堤ル	
		70/D <b>3</b> /1/C	JU - C 18	· • ·	<del></del>	
2. 学会発表(評価対象	午長のみ)			発表年・月	子	会名
Ⅲ 学会および社会にお	 ける主な活動	が (直近5年間に携わっ	たもの数件)			
2021年9月	<b>7</b>	Sensors and Material	s査読			
		#	教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	-	職名	氏名		
I 教育活動	生体分析化	上学	講師	松林 智子		
	践上の主な	業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の						
物質の性質・分析・製剤・	化と製剤試験	<b>美法実</b> 習	2021年4月		♥対策をした学生実習を行っ ♥暑ハギキ 矢1、 −級競しせ	
質量分析の依頼測定 2 作成した教科書、		<u> </u>		子生から依頼された真	<u>賃量分析を行い、解説した</u>	<u> </u>
物質の性質・分析・製剤				  実習書作成(既存のも	らのの修正)	
講義で使用する全ての講				講義動画、講義資料を		
3 教育方法・教育実施	銭に関する発	表、講演等				
4 その他教育活動上 分子分析センター		項		質量分析計の維持・管		
実務実習委員会 薬局担当	á			薬局担当として、新型コロナウィル	ス感染症対策、担当教員対応を担当した	
<u>OSCE委員会 委員</u> Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
						_
I	IT研	究活動に	ついてに	よ別紙(こて	[提出	
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)			発表年・月	学	 会名
		•				
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な活動			<i>화 / '메 + 디 - 선 - C + 마</i>	1	
2020年6月~現在		昭和大学PCRセンター	ボフンティア活:	<i>剿(逈Ⅰ四、谷3時間</i>	/	
		1				

	教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 生体分析化学	職名 講師	氏名 小田中 友紀		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫	2021年	「分かり難い、まった	:くわからなかった」と感	じる
機器分析講義		学生の人数がより少な	:くなるよう、	
		スライドや資料を改善	<b>∮しています</b> 。	
2 作成した教科書、教材、参考書		スライドや授業動画の	作成	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項	2017年5月17日	FD_「より良い学生指導	尊を目指して」	
·FD参加	2018年2月25日	FD_色覚弱者とのコミ	ュニケーションにおけるタ	主意点
	2019年3月26日	FD_「薬学部生の日本語	語力をめぐる現状について	<b>C</b> ]
· OSCE対策委員		OSCE対策直前練習のサ	ポート	
・分子分析センター職員として大型装置の維持管理教育		2021年度は、5回のNMF	R測定講習会を行った	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
II 研究活動に <sup>*</sup>	ついては	は別紙にて	提出	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学:	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ	たもの数件)		·	·
なしなし	·			

<u>.</u>			
	教育および研究活	動の業績一覧	
大学名 昭和大学 部門名 生物物理化学	職名 講師	氏名 早川 大地	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授業評価等を含む)</i>	毎年	授業評価の結果を受け	けて、講義資料の記載を改変したり、演習問題の難
2 作成した教科書、教材、参考書		なし	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし	
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	2017年8月7日~ 9日	教育者のためのワーク	フショップ (ビギナーズ) に参加
Ⅱ 研究活動	l	1	
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
II 研究活動に <sup>・</sup>	ついては	よ別紙にて	提出
2. 学会発表(評価对象年度のみ)		発表年・月	字会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ)	たもの数件)		
日本薬学会会員			
分子シミュレーション	·学会会員		
セルロース学会会員			
米国化学会会員			

				教育および研究	H-10 : 1111111 20		
大学名		部門名	腫瘍細胞生物学部門	講師	森 一憲		
I 教	育活動			1	1		
		実践上の主な	業績	年 月 日		概要	
	教育内容・方法の	)工夫					ために、事前提示した課題
討論形	対の活用			2021.5~	内容についてグループ	プ討議を行った。講義後ロ	こ学生アンケートを実施
	価の活用			2017. 4~	し、改善希望事項につ	ついては可能な限り改善	している。
2	作成した教科書、	教材、参考書					
3	教育方法・教育実	践に関する発	表、講演等				
4	その他教育活動上	:特記すべき事	項		障害者差別解消法です	<b>状められる大学の取り組</b> る	みについて概観するととも
I	医療系大学における	る聴覚障害学:	生への合理的配慮	2018. 03. 01	に、聴覚障害学生への支援について具体的な場面をあげて対応例を学ん だ。		
Ⅱ 研	F究活動						
1. 灌	書・論文等の名称	7		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
	I	I 研	究活動に	ついて	は別紙にて	て提出	
2. 学		(年度のみ)			発表年・月	7	会名
皿 学	会および社会にお	ける主な活動	」(直近5年間に携わっ	たもの数件)	Ť	•	
2017年	4月 - 2021年3月		日本組織培養学会 情	報企画委員委員	Ę		
2021年	4月 - 現在		日本組織培養学会 理	事			
	•				·		
				教育および研究	活動の業績一覧		
大学名	昭和大学	部門名	毒物学	職名 講師	氏名 光本 明日香		

:	教育および研究活	動の業績一覧				
大学名 昭和大学 部門名 毒物学	職名 講師	氏名 光本 明日香				
I 教育活動	4957日 田子口中	N. 10 70 77 77 11 11				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要			
1 教育内容・方法の工夫	2017年~現在	講義にアクティブラー	-ニングを取り入れる			
(授業評価等を含む)	2017年~現在		一トを基に講義内容を改善			
2 作成した教科書、教材、参考書		なし				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし				
	0001 = 0 = 00 =	<b>→</b>	0 B + 1 #			
4 その他教育活動上特記すべき事項		ディプロマポリシー(				
(FDを含む)	2020年12月15日 他9件	シラバスに関するFD請				
Ⅲ 研究活動	1691+					
	単著・	発行または発表の				
1.著書・論文等の名称	共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌(巻・号数)等の名称			
	7,11,7,7,7					
II 研究活動に	ついてに	十回紅ーフ	<b>- 担</b>			
11 別元/白乳に	しい しに	より 利いし	· 17E山			
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	字会名			
並 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)						
2019年7月~現在 日本法中毒学会評議員						
2019年1月~現在 日本法中毒学会若手研 日本法中毒学会若手研		1 * * * *	A 118			
019年7月~2020年3月 文部科学省高等教育局医学教育課 医療人養成に関するアドバイザー						
018年4月~2019年3月 文部科学省高等教育局医学教育課 技術参与						

			+11 1	71 - W /+ E-		
	1		教育および研究活			
大学名 昭和大学	部門名	薬理学部門	職名 講師	氏名 古林創史		
I 教育活動			1	1		
	践上の主な	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の	工夫		毎年	見やすいスライド作り	Jを心がけている。学生	からの評価を次年度の講義
	(授業評価	<i>面等を含む)</i>		に反映させている。	7 2 0 7 7 7 0 8 7 1	のうの計画との一及の時報
				-		
2 作成した教科書、	<b>教材、参考</b> 書	<u> </u>	2021年7月27日	頻用薬のこれなんで?	(株式会社じほう)	
3 教育方法・教育実施	送に関する 発	<b>養人講演等</b>		なし		
4 その他教育活動上	持記すべき事	■ 事項	2021年3月22日	ディプロマポリシーの	)見直1.等FD (他4件)	
	,	へ (FDを含む)			7020 712 (121)	
		(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
Ⅱ 研究活動						
2 917071233			単著·	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称			共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
			共有の別	平月 (四層)		
T	1 研	「究活動に	ついてに	ま別紙にて	′提出	
		70/11 3431 -		· · ·		
2. 学会完衣(評価对象)	中度のか)			発表年・月	<u> </u>	学会名
Ⅲ 学会および社会にお	する主な活動	カ(直近5年間に携わっ ■	たもの数件)			
			教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬剤学	職名 講師	氏名 村山信浩		
I 教育活動						
教育実	践上の主な	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の	工夫		7月19日	教員評価		
	(授業評价	西等を含む)	2020年10月23日			
				他5件		
2 作成した教科書、	数材. 参考書	<u> </u>	2021年5月26日	製剤化と製剤試験法	2021年度	
	X11. 2.1	•		製剤化と製剤試験法		
			2010-07,100	他2件	2010-12	
3 教育方法・教育実施	建に関する名	8表 謙宙笙		なし		
0 教育力点 教育天	次に対するカ	CX、呼风节		,		
4 その他教育活動上	は記せべき重	三百	2021年2日22日	R2年度 FDワークショ	1 w = 1	
4 ての他教育心動工	付記り、ころき					
		(FDを含む)	2019年12月4日	シラバス作成方法に関	到9 る「以語首芸	
# ####################################				他2件		
Ⅲ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
			共著の別	年月(西暦)		
		-				
ī	1 AII	空活動に	ついてに	士 早川 条仟 / 二 マ	7提出	
I		究活動に	ついては	よ別紙にて	提出	
2. 学会発表(評価对象:		究活動に	ついては	よ別紙にて		子会名
		究活動に	ついては			子会名
		究活動に	ついては			子会名
	中度のみ)					子会名
2. 学会免表(評価对象	中度のみ)					子会名
<ul><li>2. 学会発表 (評価対象:</li><li>Ⅲ 学会および社会にお</li></ul>	中度のみ)	か(直近5年間に携わっ				子会名

				教育および研究活	動の業績一覧		
大学	名 昭和大学	部門名	薬剤学	職名 講師	氏名 藤田 吉明		
I	<b>教育活動</b>						
	教	な育実践上の主な	な業績	年 月 日		概要	
1	教育内容・方法	法の工夫					
		(授業計	呼価等を含む)		なし		
2	作成した教科	書、教材、参考	書		なし		
3	教育方法・教育	育実践に関する	発表、講演等		なし		
4	その他教育活動	動上特記すべき	事項	2021年3月22日	薬学部FDワークショッ	ップ	
			(FDを含む)	2020年12月1日	シラバスに関する講習	曾会	
II ?	研究活動						
1. 3	<b>著書・論文等の</b>	名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
	_						
		II 積	肝究活動に	ついて	よ別紙にて	て提出	
2. 5	 学会発表(評価)	対家年度のみ)			発表年・月		至会名
	学会および社会に	における主な活	動(直近5年間に携わっ	ったもの数件)	•	•	
2021年4月~現在 公益社団法人日本薬剤学会小児製剤				剤学会小児製剤フ	ォーカスグループ 執行	行部 会計	
2018	年9月~2021年3,	月	公益社団法人日本薬	剤学会個別化製剤.	フォーカスグループ <i>頼</i>	<b>执行部 広報</b>	
							<u> </u>
				サレプケ よい しょぐてせいさ	T1 - 10 6+ E6		

<u> </u>							
	教育および研究活	動の業績一覧					
大学名 昭和大学 部門名 薬剤学	職名 講師	氏名 齊藤 清美					
I 教育活動							
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要				
1 教育内容・方法の工夫	2020年度	関連性のある科目の繋	gがりを意識させる講義				
(授業評価等を含む)	2021年度~現在	講義時間内に自己学修	<b>多の時間を設けて能動的学修を取り入れている</b>				
2 作成した教科書、教材、参考書		なし					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし							
4 その他教育活動上特記すべき事項 <i>(FDを含む)</i>		2021/3/22 令和2年度薬学部FD-WS参加 2021/7/17 病院実習指導者養成WS参加 他4件					
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称				
II 研究活動については別紙にて提出							
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	字会名				
m 当会かしが社会にかけてきかば私 /古にこケ眼に惟し	- + + の粉(H)						
<ul><li>Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)</li><li>1997年8月~現在</li><li>日本分子生物学会員</li></ul>							
1997年8月~現在   日本分子生物学会員	₹						
2000年7月 - 現在 日本肥何子云貝							

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 昭和大学 部門名 薬物動態学	職名 講師	氏名 田島正教					
I 教育活動							
教育実践上の主な業績	年 月 日		概  要				
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授業評価等を含む)</i>	2021年5月	月 薬物の体内動態 (講義) : 演習問題を取り入れた繰り返し学習					
2 作成した教科書、教材、参考書	2021年4月	調剤・患者対応入門 実習書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2020年9月	引精神医療実習(病院実務実習)の構築(第5回日本薬学教育学会大会、 共同発表)					
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	2016年8月	月 第8回昭和大学教育者のためのワークショップ参加					
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称				
			-15.11				
■ II 研究活動に	ついては	は別紙にて	. 提出				
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	字会名				
□ <b>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</b>	+ + O#+/+\						
□ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ 2016年4月~現在 日本薬学会会員	にもの剱件)						
2016年4月~現在   日本薬学会会員   2007年4月~現在   日本医療薬学会会員							
2007年4月~現在 日本英物動態学会会員	<del></del>						
ロケボツ刺ぶテム女兵							

	*/- ナントッドTTマンブ	₹1.0 ★/# E				
<u> </u>	教育および研究活					
大学名 昭和大学 部門名 社会薬学部門	職名 講師	氏名 赤川 圭子				
I 教育活動	1	1				
教育実践上の主な業績	年月日		概要			
1 教育内容・方法の工夫	2017年~現在			<b>拿入することで、講義の理</b>		
(授業評価等を含む)	2017年~現在	講義を理解するための	)、補助イラストや関連問	問題・解説を作成して講義		
2 作成した教科書、教材、参考書	2017年~現在	共感的な態度で服薬指	<b>詳導している薬剤師像を学</b>	学生がイメージしやすいよ		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2017年7月	保険薬剤師に対するも	!ルフメディケーション潭	<b>寅習プログラムの実施とそ</b>		
4 その他教育活動上特記すべき事項				行うことで、実際に社会		
(FDを含む)	2018年4月~	地域包括ケアシステム	、において薬物治療に <b>貢</b> 南	ぱできる薬剤師を育成する		
Ⅱ 研究活動						
1.著書・論文等の名称	単著·	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称		
1. He min > 4 0 / 1 / 1 / 1	共著の別	年月 (西暦)	元门州、元权作品	(它 与数/ 寺の石柳		
11 777市汽车11-	-11.	上口山石叶1一一	- +8 : i :			
□□ II 研究活動に	ついては	よ別徴にて	. 旋出			
	ı					
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学	会名		
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ	たもの数件)					
2016年~現在 日本薬学会教育委員会	2016年~現在 日本薬学会教育委員会 第三者確認委員会委員 (2020年~副委員長)					
2010年~現在 薬剤師国家試験問題核	貧計委員「法規・制	川度・倫理部会」、薬学	学教育協議会 薬学と社会	<b>会教科担当教員</b>		
2018年~現在 昭和大学病院 ポリス	アーマシー対策を					

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 昭和大学 部門名 薬物治療学	職名 講師	氏名 神山 紀子						
I 教育活動								
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要					
1 教育内容・方法の工夫	2021年7月12日	「人体の成り立ちと機	能」(生殖器)において、	課題演習を取り入れた。				
(授業評価等を含む)	2021年7月13日	「薬と疾病」(小児) 他2件	において、症例演習を耳	り入れた。事前に症例課				
2 作成した教科書、教材、参考書	2020年8月29日	症候学的病態生理学	症候学的に病態生理・ト	トリアージ・セルフメディ				
	2019年8月1日	2ページで理解する標準	準薬物治療ファイル 改	訂3版,南山堂				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2018年9月	昭和大学薬学部 薬物	治療らせん型カリキュラ	ムにおけるルーブリック				
	2021年9月	科学的・合理的に薬物	別治療を実践するための「	フークショップ『症例解析				
4 その他教育活動上特記すべき事項			リアルファシリテータ養	成ワークショップ				
(FDを含む)	2021年7月17日	3 昭和大学病院実習指導者ワークショップ2021  他4件						
Ⅱ 研究活動	T							
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称				
	II 研究活動については別紙にて提出							
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	字	·会名				
Ⅲ 学会セトバ社会にセける主な活動(直近5年間に推ちっ	たまの粉件)							
□ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件) 2015年10月~現在 □ 本アプライドセラピューティクス学会科学的・合理的に薬物治療を実践するためのワークショップ認定								
2017年10月~現在   日本アプライドセラヒ   2017年9月~現在   日本アプライドセラヒ			1/ロ原で大岐り むためかり	/一ノノコソノ応足相等日				
2017年0月 現在 日本版庆薬理学会社員		A D I DIX 54						
ログー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								

		教育および研究活			
大学名 昭和大学 部門名	天然医薬治療学	職名 講師	氏名 栗本 慎一郎		
I 教育活動					
教育実践上の主な	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫		令和3年5月~ 現在	「薬の宝庫としての天然物」の講義ではパワーポイントを使用した講義を行い、天然物の構造中の重要な骨格や生合成単位を色を変えて示すなどして、視覚的にも理解しやすいようにした。また、講義終了時に、確		
2 作成した教科書、教材、参考書			なし		
3 教育方法・教育実践に関する教	<b>発表、講演等</b>		なし		
4 その他教育活動上特記すべき	事項		なし		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
II 研	肝究活動に	ついて	よ別紙にて	提出	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)			発表年・月	字:	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	動(直近5年間に携わっ	ったもの数件)			
0001 5 4 5 5 5 5	<b>委員</b>				
2021年4月~現任	2007年4月~現在 日本薬学会会員				
2021年4月~現在 2007年4月~現在	日本薬学会会員				
	日本薬学会会員 日本生薬学会会員				

			教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	がんゲノム医療薬学	職名 講師	氏名 半田智子		
I 教育活動				•		
教育実	践上の主な	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法のコ	 [夫		, ,			
薬物治療ルーブリックの関			2016年~現在	症例解析をSOAP形式で	でまとめルーブリック評	価法で自己評価させた
アクティブラーニングを用		·····································	2016年~現在			較をグループで行うプログラ
2 作成した教科書、教			20.01 5012	X O O EXCHITE		*XC/ " / CII / / - / /
なし	(II) V J I	•				
- C						
3 教育方法・教育実践なし	- 影に関する発	表、講演等				
4 その他教育活動上特	- 特記すべき事	項				
FDワークショップ			2021. 3. 22	ディプロマポリシー(	こついて分担して議論し	<i>t</i> = °
病院実習指導者ワークショ	ョップ2021		2021. 7. 17	"症例研究実践の推進	のための指導者育成と	実施体制の構築"を担当した
Ⅱ 研究活動			•			
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
	ΙI	四办纤	41-01	ナル即紙	トナ担山	
	11	<b>聊允泊</b> 男	別し フしゝ	ては別紙	に、使田	
2. 学会発表(評価対象年	き度のみ)			発表年・月	<u> </u>	学会名
Ⅲ 学会および社会におけ	ナる主な活動	か(直近5年間に携わっ	ったもの数件)			
		日本医療薬学会				
		日本薬学会				
		日本医薬品情報学会				
		QOL-PRO研究会				
		•				
			教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	臨床栄養代謝学	職名 講師 (実務	氏名 唐沢浩二		
I 教育活動	1		100 - 1000			
	践上の主な	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法のコ			2017年~現在	病院実習評価用の電子	子ルーブリック・雷子ポ	ートフォリオを作成し、現
(授業評価等を含む)			在も使用中			
2 作成した教科書、教材、参考書				なし		
3 教育方法・教育実践	- 影に関する発	表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特	<b>非記すべき事</b>	事項 <i>(FDを含む)</i>		病院実習指導者ワーク	フショップ 寮学部・富士吉田教育部	数音老のためのワーク
		(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2017/0/0 - 0	ショップ	水 1 时 田工口田秋日即	<b>№</b> В М Г С М М М М М М М М М М М М М М М М М
Ⅱ 研究活動				1		
- 7170/H2/J			出並.	& 仁士 + - I + 巻 <b>ま</b> の		

(授業評価寺を含む)		仕も使用中			
2 作成した教科書、教材、参考書		なし			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし			
4 その他教育活動上特記すべき事項	2021/5/17	病院実習指導者ワーク	<b>'</b> ショップ		
(FDを含む)	2017/8/5~6	医・歯・薬・保健医療	<b>『学部・富士吉田教育部</b>	<b>教育者のためのワーク</b>	
		ショップ			
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称	
II 研究活動に	ついては	は別紙にて	提出		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月		·	
		7221 77			
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わっ	たもの数件)				
2019年4月~2020年3月 文部科学省高等教育局	易医学教育課 技術	参与			
2021年5月~2022年3月31日 学修領域(大項目「0	小委員会(6年制薬学	<i>教育制度調査検討委員会</i>	;)		
2021年4月~ 日本臨床栄養代謝学会	会会員				
2011年~ 日本薬学会会員				,	

			教育および研究活			
大学名 昭和大学	部門名 都	数育実践学部門	職名 助教	氏名 小林 文		
I 教育活動	HEI JEH J	XHXW J HPI J	140%-17 +27.2V	24		
	実践上の主な業	 績	年 月 日		概  要	
1 教育内容・方法の	 )工夫		2020年~現在	英語の授業評価を受け	ナて好評のため、臨床に必要な英会話を取り入れ	
I	(授業評価等	<i>等を含む)</i>				
			2017年~現在	英語の音読シートを作	作成して授業を行った。	
2 作成した教科書、	教材、参考書					
0 ## <del>**</del>	7041-88-4-7-20-3	= =# 'a'/*	0001 = 7 = 0.1 =	Internal Control C	The street of th	
3 教育方法・教育実	《践に関する発表	を、講演等	2021年/月31日	Interprofessional E	ducation at Showa University	
4 その他教育活動上	 - 性記すべき車で	<u> </u>	2021年3月	昭和大学薬学部FDワー	ークショップ	
4 (以此教日/13》)	-1寸配 7 、10 子の	マ <i>(FDを含む)</i>	2020年8月	昭和大学教育者のためのワークショップ		
		(10210)	2018年3月		ける医療人育成の在り方に関する調査研究	
Ⅱ 研究活動				PARTITION	17 What // 17 / 17 / 17 / 17 / 17 / 17 / 17 /	
1. 著書・論文等の名称	ķ		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
			六有の加	午// (日/日/		
_						
J	I 研	究活動に	ついては	は別紙にて	<b>7提出</b>	
		/ U / Int			マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ	
2. 于五元权 (町岡四) 8	(牛皮切())			発表年・月	<b>子</b> 五位	
Ⅲ 学会および社会にお	・ける主な活動	(直近5年間に携わっ	た‡の数件)			
2017年9月 昭和学士会雑誌論文査読						
2018年2月~現在 Global survey of academic opinion 評価委員 [QC (Quacquarelli Symonds) Intelligence Unit]						
2017年~現在					学会会員、東大CBEL研究会会員、全国英語教育学会	
2019年~現在	I	nternational Pharma	ceutical Federat	tion (FIP)会員		
		-	教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名 表	<b>め育宝</b> 践学	職名 助数	氏名 山本仁美		

大学名 昭和大学   部門名 教育実践学   職名 助教   氏名 山本仁美   教育活動   教育実践上の主な業績   年 月 日   概 要   実務実習中にGoogleフォームでアンケートを 収集し、実習内容の把握に努め、学生や教員に フィードバックを行った   2 作成した教科書、教材、参考書   なし   3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等   なし   4 その他教育活動上特記すべき事項
<ul> <li>取りをはします。 教育実践上の主な業績 年月日 概要</li> <li>1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)</li> <li>2 作成した教科書、教材、参考書 なし</li> <li>3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし</li> <li>4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) /li></ul>
教育実践上の主な業績       年月日       概要         1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2017~通年実施 収集し、実習内容の把握に努め、学生や教員にフィードバックを行った         2 作成した教科書、教材、参考書       なし         3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       なし         4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       2021/3/22 2020/12/15 2020/12/15       ディプロマボリシーの見直しシラバスに関するFD講習会他6件のFD講習会に参加         I 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西層)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
1 教育内容・方法の工夫       2017~通年実施 実務実習中にGoogleフォームでアンケートを 収集し、実習内容の把握に努め、学生や教員に フィードバックを行った         2 作成した教科書、教材、参考書       なし         3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       なし         4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       2021/3/22 ディプロマポリシーの見直し シラバスに関するFD講習会 他6件のFD講習会に参加         I 研究活動       単著・ 共著の別         集者の別       発行または発表の 年月 (西暦)         発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(授業評価等を含む)       収集し、実習内容の把握に努め、学生や教員にフィードバックを行った         2 作成した教科書、教材、参考書       なし         3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       なし         4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) (FDを含む
フィードバックを行った         2 作成した教科書、教材、参考書       なし         3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       なし         4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) (FDを含む
2 作成した教科書、教材、参考書       なし         3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       なし         4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) (FDを
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       なし         4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       2021/3/22 2020/12/15       ディプロマポリシーの見直し シラバスに関するFD講習会 他6件のFD講習会に参加         II 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西暦)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       2021/3/22 2020/12/15 シラバスに関するFD講習会 他6件のFD講習会に参加         II 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西暦)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       2021/3/22 2020/12/15       ディプロマポリシーの見直し シラバスに関するFD講習会 他6件のFD講習会に参加         II 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西暦)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       2021/3/22 2020/12/15       ディプロマポリシーの見直し シラバスに関するFD講習会 他6件のFD講習会に参加         II 研究活動       単著・ 共著の別       発行または発表の 年月(西暦)       発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(FDを含む)     2020/12/15     シラバスに関するFD講習会他6件のFD講習会に参加       I 研究活動     単著・ 共著の別     発行または発表の年月(西暦)     発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(FDを含む)     2020/12/15     シラバスに関するFD講習会他6件のFD講習会に参加       I 研究活動     単著・ 共著の別     発行または発表の年月(西暦)     発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(FDを含む)     2020/12/15     シラバスに関するFD講習会他6件のFD講習会に参加       I 研究活動     単著・ 共著の別     発行または発表の年月(西暦)     発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
I 研究活動       1. 著書・論文等の名称     単著・ 共著の別     発行または発表の 年月(西暦)     発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
1. 著書・論文等の名称     単著・ 共著の別     発行または発表の 年月(西暦)     発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
1. 者書・調文等の名称 共著の別 年月(西暦) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
共著の別年月(西暦)
II TTウンチャークレンナートロル
TT TTウンスチルーへいてはPUをエーマー日山
II II ウンス・ナーロータローフィー・ロー
├── II 研究活動については別紙にて提出 ─────
2. 学会発表(評価対象年度のみ)
□ 学会および社会における主な活動(直近 5 年間に携わったもの数件)
2013年11月~現在 日本薬学会会員
2017年5月~現在 日本薬学教育学会会員

	1			よび研究活					
大学名 昭和大学	部門名	生物物理化学部門	職名	助教	氏名	小田(渡邉)	友里江		
I 教育活動									
教育実	こ 武 は よ の 主 な	<b>詳</b> 積	年	月日			相	要 要	
1 教育内容・方法の		価等を含む)	通年			や演習において う、わかりやす			を持って自発的に取り組め けている。
2 作成した教科書、	教材、参考	書			なし				
3 教育方法・教育実	践に関する	発表、講演等			なし				
4 その他教育活動上	持記すべき	事項 <i>(FDを含む)</i>		2020年12月	シラル	バス作成方法に	関するFD講	習会(オンデ <sup>・</sup>	マンド開催)
Ⅱ 研究活動									
1. 著書・論文等の名称				単著・ も著の別		テまたは発表の 手月(西暦)	発行所	、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
2. 学会発表(評価刈茶	•	研究活動に	つ(	いてに	- •-	リ紙に「 <sup>発表年・月</sup>	- て提出 -	=	2 会名
_: , _, _, , , , , , , , , , , , , , , ,	1,2,4,1,7				<u> </u>	7034 71		•	<u> </u>
Ⅲ 学会および社会にお	よる主か汗	動(古近5年間に進わる	2 t= ± 1	<b>ン米ケ/</b> ナン	!				
2017年~現在	リのエタル	日本薬学会会員	J 12 TV.	/ <b>双</b> IT/					
2017年~現在		口个笨于云云貝							
			おない	よび研究活	動の業	· 4± E-			
上兴夕 IDT 红土兴	±π 88 <i>ξ</i> τ	<b>壮州小</b> ☆ ☆ □ □ □			野の乗	·賴一克 牧山	智彦		
大学名 昭和大学	部門名	生物化学部門を担う分子	職名	助教	八石	*************************************	百戶		

	;	教育お上7ば研究	活動の業績一覧			
大学名 昭和大学 部門名	生物化学部門	職名 助教		智彦		
I 教育活動 生命活動を		柳石 均沃	KH	HI2		
教育実践上の主な		年 月 日		概 要		
1 教育内容・方法の工夫	1112		日 各議義終了時には重		!	
(授業評価	2021 ( 1)		台語義称   時には里安頃日の確認アストを美   施し、習熟度の向上を図り、状況を見つつ、			
()274114	.,			来る対面講義を設けた。		
2 作成した教科書、教材、参考書	2021年4月14	2021年4月14日 講義科目のレジメンを作成した。				
			シラバス該当範囲の	講義科目のレンメンを作成した。   シラバス該当範囲のまとめ、練習問題を作成		
			し、習熟度の向上を	図った。		
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等		特にありません	-		
4 その他教育活動上特記すべき事	項		特にありません			
	(FDを含む)					
Ⅱ 研究活動				1		
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称	
		共著の別	年月 (西暦)	元门川、元权作品	(含 为数/ 安切山州	
II AH	空活動に	ついて	は別紙にて	て提出		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	5	字会名	
	/#X = 5-881-#*	T T O #F/IT;				
	1 1 1 1 1 1 1 1		A A =			
2014年12月~現在	日本生化学会会員,日 日本薬理学会会員	14分十生物学3	<b>芸</b> 員			
2018年4月~現在 2021年1月~現在	日本脂質生化学会会員	3				
2021年1月~現在 2021年1月~現在	日本源学会会員	Į.				
2021年1月~現住	口平架子云云貝					

		į	教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	生物化学	職名 助教	氏名 渡邉 雄一		
I 教育活動						
	実践上の主な!	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の	工夫					
		あ <i>等を含む)</i>				
	(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
2 作成した教科書、	教材、参考書					
- 1177010771111						
3 教育方法・教育実	践に関する発	表 講演等				
	201-1217 U).	TOTAL TITLE				
4 その他教育活動上	<b>姓記すべき</b> 重	[ 百				
令和3年度新入教育職員W		· <del>X</del>	2021/5/15	  薬学教育について考え	スFDに参加した	
2021年度ファシリテータ				医療系学部連携教育に	-	
Ⅱ 研究活動	及从间		2021/0/00 10/1	区派水子即是历教日代	- K) 7 01 01 C 2 / 11 O / C	
ш ыгуылдэд			単著・	※行士とけ及主の		
1. 著書・論文等の名称			11	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
			共著の別	平月(四周)		
		究活動に	ついてに	ま別紙(にて	[提出	
		7 U/ H 773		· · ·		~ 2
2. 学会発表(評価対象	平良のの)			発表年・月	子	会名
	11.7	- /末い - 左眼 - # 1-	4 4 の米(ル)			
Ⅲ 学会および社会にお	ける土な活動		たもの敛件)			
2011年4月~現在		日本薬学会会員	2			
2021年4月~現在		日本脂質生化学会会員	!			
2011年4月~現在		日本生化学会会員				
0010510 705						
2016年4月~現在		日本農芸化学会会員				
2016年4月~現在			₩ <b></b>	私の光体 医		
	1.000 6		教育および研究活			
大学名 昭和大学	部門名		教育および研究活   職名 助教	動の業績一覧    氏名 日暮 大渡		
大学名 昭和大学 I 教育活動	•	腫瘍細胞生物学	職名 助教		Jor 31	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育身	   践上の主な	腫瘍細胞生物学			概要	
大学名 昭和大学 I 教育活動	・ 実践上の主な 工夫	腫瘍細胞生物学	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育身	・ 実践上の主な 工夫	腫瘍細胞生物学	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の	実践上の主な。 工夫 <i>(授業評値</i>	腫瘍細胞生物学 業績 <i>番等を含む)</i>	職名 助教		概 要	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育身	実践上の主な。 工夫 <i>(授業評値</i>	腫瘍細胞生物学 業績 <i>番等を含む)</i>	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の	実践上の主な。 工夫 <i>(授業評値</i>	腫瘍細胞生物学 業績 <i>番等を含む)</i>	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育写 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	・ <b>ミ践上の主な</b> : 工夫 <i>(授業評値</i> 教材、参考書	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i>	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の	・ <b>ミ践上の主な</b> : 工夫 <i>(授業評値</i> 教材、参考書	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i>	年 月 日	氏名 日暮 大渡		
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育写 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	・ <b>ミ践上の主な</b> : 工夫 <i>(授業評値</i> 教材、参考書	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i>	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育:	者のためのワークショッ	J
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実	と 民践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発	腫瘍細胞生物学 業績 <i>西等を含む)</i> ま	年 月 日	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育:		ブ
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育写 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	と 民践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i> 表、講演等	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育: 2020年度 ファシリテ	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実	と 民践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発	腫瘍細胞生物学 業績 <i>西等を含む)</i> ・	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育: 2020年度 ファシリテ	者のためのワークショッ	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上	と 民践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i> 表、講演等	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育: 2020年度 ファシリテ	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実	と 民践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i> 表、講演等	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ	
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上	と 民践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i> 表、講演等	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格町	仅得
大学名 昭和大学       I 教育活動       教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育実       4 その他教育活動上       II 研究活動	と 民践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i> 表、講演等	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ	
大学名 昭和大学       I 教育活動       教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育実       4 その他教育活動上       II 研究活動	と 民践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i> 表、講演等	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格町	仅得
大学名 昭和大学       I 教育活動       教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育実       4 その他教育活動上       II 研究活動	と 民践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i> 表、講演等	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格町	仅得
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育写 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	実践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	腫瘍細胞生物学 業績 悪等を含む) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3 単著・ 共著の別	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の 年月(西暦)	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格取 発行所、発表雑誌	仅得
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育写 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	実践上の主な: 工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	腫瘍細胞生物学 業績 悪等を含む) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3 単著・ 共著の別	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の 年月(西暦)	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格取 発行所、発表雑誌	仅得
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育第 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	展践上の主な: 工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	腫瘍細胞生物学 業績 <i>断等を含む)</i> 表、講演等	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3 単著・ 共著の別	既名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の 年月(西暦)	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格取 発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育写 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	展践上の主な: 工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	腫瘍細胞生物学 業績 悪等を含む) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3 単著・ 共著の別	氏名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の 年月(西暦)	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格取 発行所、発表雑誌	仅得
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育第 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	展践上の主な: 工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	腫瘍細胞生物学 業績 悪等を含む) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3 単著・ 共著の別	既名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の 年月(西暦)	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格取 発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育等 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	展践上の主な: 工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	腫瘍細胞生物学 業績 悪毒を含む) 意表、講演等 項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3	既名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の 年月(西暦)	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格取 発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育学 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称  - 工 学会および社会にお	展践上の主な: 工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	腫瘍細胞生物学 業績 悪等を含む) 表、講演等 項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3	既名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の 年月(西暦)	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格取 発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学 I 教育活動 教育等 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	展践上の主な: 工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	腫瘍細胞生物学 業績 悪毒を含む) 意表、講演等 項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 2020. 8. 17-19 2020. 3. 11 2021. 8. 3	既名 日暮 大渡 第11回 昭和大学教育 2020年度 ファシリテ 教急蘇生BLS指導のた。 発行または発表の 年月(西暦)	者のためのワークショッ ータ養成ワークショップ めBLSプロバイダー資格取 発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称

		教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	毒物学部門	職名 助教	氏名 宇佐美 (服部)	夏実	
I 教育活動					
教育実践上の国	とな業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫		毎年度	学生に分かりやすいよ	うに伝え方を工夫する。	
(授業	評価等を含む)		学生の自主性が育つよ	:うに, こちらですぐに <b>記</b>	<b>兑明</b>
			をせずに、学生の言葉	『で考えを伝えてもらう。	
2 作成した教科書、教材、参	考書	なし			
3 教育方法・教育実践に関す	A発表 講演等	なし			
	UJUX IIIX T	1.0			
4 その他教育活動上特記すべ	キ車項	<b>今和?在?日??口</b>	ディプロスポリシー・	ルーブリックの見直し	
中 (0)他教育冶勤工特配 9	(FDを含む)		  シラバスに関するFD講		
	(102 40)	2020/12/13	ノノハスに関するロ語		18件
Ⅱ 研究活動					301+
11 切光沾到		24 <del>14.</del>	70.7=±1.11.70±0		
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
		共著の別	年月 (西暦)		
	研究活動に	ついてじ	十四は紅ノーフ	「坦川	
4.4	ツルルカルー	70.CI	ひつうかび しんく	- <b>IK</b> III	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ	)		発表年・月	字	会名
Ⅲ 学会および社会における主な	活動(直近5年間に携わっ	たもの数件)	•		
2016年10月~現在	日本薬学会会員				
2017年3月~現在	日本法中毒学会会員				
2018年3月~現在	日本毒性学会会員				
2020年7月~現在	日本臨床·分析中毒学	수수昌			
	1 PMRP1: 75 171 1 1-5 3				
		教育お上バ研究活	動の業績一覧		
十学夕 四和十学 如朋夕	<b></b>	教育および研究活			
大学名 昭和大学 部門名	薬理学	教育および研究活 職名 助教	動の業績一覧 氏名 篠内 良介		
I 教育活動		職名助教		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	
I 教育活動 教育実践上の3		_		概要	
I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫	<b>Eな業績</b>	職名助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫		職名助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業	とな業績 * <i>評価等を含む)</i>	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫	とな業績 * <i>評価等を含む)</i>	年 月 日			
I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業	とな業績 * <i>評価等を含む)</i>	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動     教育実践上の記載       1 教育内容・方法の工夫     (授業)       2 作成した教科書、教材、参加	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動     教育実践上の記載       1 教育内容・方法の工夫     (授業)       2 作成した教科書、教材、参加	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動     教育実践上の記載       1 教育内容・方法の工夫     (授業)       2 作成した教科書、教材、参加	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動     教育実践上の記載       1 教育内容・方法の工夫     (授業)       2 作成した教科書、教材、参加	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書 る発表、講演等	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動     教育実践上の記録       1 教育内容・方法の工夫 (授業)       2 作成した教科書、教材、参       3 教育方法・教育実践に関す	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書 る発表、講演等	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動     教育実践上の記録       1 教育内容・方法の工夫 (授業)       2 作成した教科書、教材、参       3 教育方法・教育実践に関す	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書 る発表、講演等 き事項	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動     教育実践上の記録       1 教育内容・方法の工夫 (授業)       2 作成した教科書、教材、参       3 教育方法・教育実践に関す	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書 る発表、講演等 き事項	年 月 日	氏名 篠内 良介		
I 教育活動 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書 る発表、講演等 き事項	年 月 日	氏名 篠内 良介	(株式会社じほう)	(光・早料) 空のを作
I 教育活動       教育実践上の記録       1 教育内容・方法の工夫       (授業)       2 作成した教科書、教材、参       3 教育方法・教育実践に関する       4 その他教育活動上特記すべる	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書 る発表、講演等 き事項	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日	氏名 篠内 良介		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書 る発表、講演等 き事項	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日	氏名 篠内 良介 原介	(株式会社じほう)	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書 る発表、講演等 き事項	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日	氏名 篠内 良介 原介	(株式会社じほう)	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の記 教育実践上の記 1 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	き事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日 単著・ 共著の別	氏名 篠内 良介 類用薬のこれなんで? 発行または発表の 年月(西暦)	・(株式会社じほう) 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の記 教育実践上の記 1 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	たな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書 る発表、講演等 き事項	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日 単著・ 共著の別	氏名 篠内 良介 類用薬のこれなんで? 発行または発表の 年月(西暦)	・(株式会社じほう) 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の記 教育実践上の記 1 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	き事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日 単著・ 共著の別	氏名 篠内 良介 類用薬のこれなんで? 発行または発表の 年月(西暦)	・(株式会社じほう) 発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の記 教育実践上の記 1 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	Eな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書  る発表、講演等  き事項 ( <i>FDを含む</i> ) <b>研究活動に</b>	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日 単著・ 共著の別	氏名 篠内 良介 類用薬のこれなんで? 発行または発表の 年月 (西暦)	・(株式会社じほう) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II	Eな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書  る発表、講演等  き事項 ( <i>FDを含む</i> ) <b>研究活動に</b>	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日 単著・ 共著の別	氏名 篠内 良介 類用薬のこれなんで? 発行または発表の 年月(西暦)	・(株式会社じほう) 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II	Eな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書  る発表、講演等  き事項 ( <i>FDを含む</i> ) <b>研究活動に</b>	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日 単著・ 共著の別	氏名 篠内 良介 類用薬のこれなんで? 発行または発表の 年月 (西暦)	・(株式会社じほう) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II	Eな業績  *評価等を含む)  考書  る発表、講演等  き事項 (FDを含む) <b>研究活動に</b> )	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日 単著・ 共著の別	氏名 篠内 良介 類用薬のこれなんで? 発行または発表の 年月 (西暦)	・(株式会社じほう) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II	Eな業績 <i>評価等を含む)</i> 考書  る発表、講演等  き事項 <i>(FDを含む)</i> <b>研究活動に</b> )	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日 単著・ 共著の別	氏名 篠内 良介 類用薬のこれなんで? 発行または発表の 年月 (西暦)	・(株式会社じほう) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業 2 作成した教科書、教材、参 3 教育方法・教育実践に関す 4 その他教育活動上特記すべ II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II	Eな業績  *評価等を含む)  考書  る発表、講演等  き事項 (FDを含む) <b>研究活動に</b> )	職名 助教 年 月 日 2021年7月27日 単著・ 共著の別 ・ ついて	氏名 篠内 良介 類用薬のこれなんで? 発行または発表の 年月 (西暦)	・(株式会社じほう) 発行所、発表雑誌	

			教育および研究活	5割の耒頼一見		
大学名 昭和大学	部門名	生理·病態学	職名 助教	氏名 前田 耕平		
I 教育活動	•		•	•		
	践上の主な	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の		70.130	T // H		J//	
1 教育內各 7/200.		T#+ A+\)				
	(授耒評加	<i>両等を含む)</i>				
2 作成した教科書、	<b>教材、参</b> 考書	ŧ				
3 教育方法・教育実	<b>美に関する発</b>	表。講演等				
- 201772	J  J. 7 J.	, 200 HI 1770 17				
4 フの小状女でもし	H=7-1- 3-1- 1	·-I				
4 その他教育活動上	付記りへさ手					
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
. ** * * * * * * * * * * * * * * * * *			単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称			共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
			7. 6 7/11			
I		空活動に	ついて	は別紙にて	′坦屮	
	11)] I	プレノロ 男川 〜	. ンい・し	の刀が八一(	- ]疋山	
2. 学会完衣(評価対象)	中度のみ)			発表年・月	5	三会名
m	<b>ユフナル</b> 江系	- /声にこと即に推ね	- + + O *+ /+ \			
Ⅲ 学会および社会にお	7 る土 な 活 男		つたもの剱件)			
2019年8月~現在		日本免疫学会会員				
数さむ L パロウエもの坐	生_ 贮					
教育および研究活動の業	沒一見					
1 H A 177-1 W	±0.00 ←	44 TID .#- 445.334	11th /2 11 127	T D -1 -1		
大学名 昭和大学	部門名	生理·病態学	職名 助教	氏名 高橋 玲		
大学名 昭和大学 I 教育活動	部門名	生理·病態学	職名 助教	氏名 高橋 玲		
	部門名	生理·病態学	職名 助教 年 月 日	氏名 高橋 玲 概 要		
I 教育活動		生理·病態学	<b>,</b>	1		
I 教育活動 教育実践上の主な業績	工夫		年月日	1		
I 教育活動 教育実践上の主な業績	工夫	生理·病態学 <i>西等を含む)</i>	<b>,</b>	1		
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の	工夫 <i>(授業評仏</i>	<b>万等を含む</b> )	年月日	1		
I 教育活動       教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の。       2 作成した教科書、	工夫 <i>(授業評侃</i> 数材、参考書	<i>蜀等を含む)</i> ;	年月日	1		
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の	工夫 <i>(授業評侃</i> 数材、参考書	<i>蜀等を含む)</i> ;	年月日	1		
I 教育活動       教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の。       2 作成した教科書、	工夫 <i>(授業評侃</i> 数材、参考書	<i>蜀等を含む)</i> ;	年月日	1		
I 教育活動       教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の。       2 作成した教科書、	工夫 <i>(授業評値</i> 数材、参考書 著京都廣川書	<i>蜀等を含む)</i>  -  -  -	年月日	1		
I 教育活動       教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       症候学的病態生理学 編	工夫 <i>(授業評値</i> 数材、参考書 著京都廣川書	<i>蜀等を含む)</i>  -  -  -	年月日	1		
I 教育活動       教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       症候学的病態生理学 編	工夫 <i>(授業評値</i> 数材、参考書 著京都廣川書	<i>蜀等を含む)</i>  -  -  -	年月日	1		
I 教育活動       教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の。       2 作成した教科書、       症候学的病態生理学編       3 教育方法・教育実施	工夫 <i>(授業評価</i> 飲材、参考書 蓄京都廣川書 銭に関する角	<i>西等を含む)</i> に は店 ま、講演等	年月日	1		
I 教育活動       教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       症候学的病態生理学 編	工夫 <i>(授業評価</i> 飲材、参考書 蓄京都廣川書 銭に関する角	<i>悪いない。                                   </i>	年月日	1		
I 教育活動       教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の。       2 作成した教科書、       症候学的病態生理学編       3 教育方法・教育実施	工夫 <i>(授業評価</i> 飲材、参考書 蓄京都廣川書 銭に関する角	<i>西等を含む)</i> に は店 ま、講演等	年月日	1		
I     教育活動       教育実践上の主な業績       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       症候学的病態生理学編       3     教育方法・教育実       4     その他教育活動上	工夫 <i>(授業評価</i> 飲材、参考書 蓄京都廣川書 銭に関する角	<i>悪いない。                                   </i>	年月日	1		
I 教育活動       教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の。       2 作成した教科書、       症候学的病態生理学編       3 教育方法・教育実施	工夫 <i>(授業評価</i> 飲材、参考書 蓄京都廣川書 銭に関する角	<i>悪いない。                                   </i>	年月日	1		
<ul> <li>Ⅰ 教育活動 教育実践上の主な業績</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>症候学的病態生理学編</li> <li>3 教育方法・教育実</li> <li>4 その他教育活動上</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> </ul>	工夫 <i>(授業評価</i> 飲材、参考書 蓄京都廣川書 銭に関する角	<i>悪いない。                                   </i>	年月日	1		
I     教育活動       教育実践上の主な業績       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       症候学的病態生理学編       3     教育方法・教育実       4     その他教育活動上	工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 著京都廣川書 浅に関する発	<i>悪いない。                                   </i>	年 月 日 2021年 永田 未希	概要	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動 教育実践上の主な業績</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>症候学的病態生理学編</li> <li>3 教育方法・教育実</li> <li>4 その他教育活動上</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> </ul>	工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 著京都廣川書 浅に関する発	<i>悪いない。                                   </i>	年 月 日 2021年 永田 未希	概 要	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動 教育実践上の主な業績</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>症候学的病態生理学編</li> <li>3 教育方法・教育実</li> <li>4 その他教育活動上</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> </ul>	工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 著京都廣川書 浅に関する発	<i>悪いない。                                   </i>	年 月 日 2021年 永田 未希	概 要	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動 教育実践上の主な業績</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>症候学的病態生理学編</li> <li>3 教育方法・教育実</li> <li>4 その他教育活動上</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> </ul>	工夫 <i>(授業評価</i> 教材、参考書 著京都廣川書 浅に関する発	<i>悪いない。                                   </i>	年 月 日 2021年 永田 未希	概 要	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の. 2 作成した教科書、: 症候学的病態生理学 編: 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上: II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	工夫 <i>(授業評価</i> 数材、参考書書 著京都廣川書 浅に関する発 持記すべき事	研等を含む) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	年 月 日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月(西暦)		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の. 2 作成した教科書、: 症候学的病態生理学 編: 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上: II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	工夫 <i>(授業評価</i> 数材、参考書書 著京都廣川書 浅に関する発 持記すべき事	研等を含む) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	年 月 日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月(西暦)		(巻・号数) 等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動 教育実践上の主な業績</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>症候学的病態生理学編</li> <li>3 教育方法・教育実</li> <li>4 その他教育活動上</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> </ul>	工夫 <i>(授業評価</i> 数材、参考書書 著京都廣川書 浅に関する発 持記すべき事	研等を含む) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	年 月 日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 症候学的病態生理学 編 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	工夫 (授業評価 教材、参考書 著京都廣川書 浅に関する発 特記すべき事	研等を含む) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	年 月 日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月 (西暦)	提出	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の. 2 作成した教科書、: 症候学的病態生理学 編: 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上: II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	工夫 (授業評価 教材、参考書 著京都廣川書 浅に関する発 特記すべき事	研等を含む) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	年 月 日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月(西暦)	提出	
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 症候学的病態生理学 編 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	工夫 (授業評価 教材、参考書 著京都廣川書 浅に関する発 特記すべき事	研等を含む) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	年 月 日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月 (西暦)	提出	
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の。 2 作成した教科書、。 症候学的病態生理学 編。 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上。 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	工夫 (授業評価 教材、参考書 書	研等を含む) 議議 議表、講演等 「項 (FDを含む)	年月日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月 (西暦)	提出	
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 症候学的病態生理学 編 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称  2. 学会発表 (評価対象:	工夫 (授業評価 教材、参考書 書	研等を含む) 議店 表、講演等 項 (FDを含む) <b>究活動に</b>	年月日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月 (西暦)	提出	
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の。 2 作成した教科書、 症候学的病態生理学 編 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上。 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 学会および社会にお 2019年8月~現在	工夫 (授業評価 教材、参考書 講に関する発 講に関する発 持記すべき事	研等を含む)  議議、講演等  「項 (FDを含む)  「 <b>究活動に</b> 」(直近5年間に携わ 日本免疫学会会員	年月日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月 (西暦)	提出	
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 症候学的病態生理学 編 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称  2. 学会発表 (評価対象:	工夫 (授業評価 教材、参考書 講に関する発 講に関する発 持記すべき事	研等を含む) 議店 表、講演等 項 (FDを含む) <b>究活動に</b>	年月日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月 (西暦)	提出	
I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 症候学的病態生理学 編 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称  □ 学会常表(評価対象 □ 学会および社会にお 2019年8月~現在	工夫 (授業評価 教材、参考書 講に関する発 講に関する発 持記すべき事	研等を含む)  議議、講演等  「項 (FDを含む)  「 <b>究活動に</b> 」(直近5年間に携わ 日本免疫学会会員	年月日 2021年 永田 未希 単著・ 共著の別	概 要 発行または発表の 年月 (西暦)	提出	

	教育および研究活動の業績一覧									
大学名 昭和大学 部門名 復	生薬学	職名	助教	氏名	依田	恵美子				
I 教育活動										
教育実践上の主な業績	年	月日				概   要				
1 教育内容・方法の工夫										
(授業評価等	<i>を含む)</i>			なし						
- 11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11										
2 作成した教科書、教材、参考書				4-1						
				なし						
	港油等									
0 秋月万丛 秋月天成に関する元む	、時度寸			なし						
				0.0						
4 その他教育活動上特記すべき事項	į	2021	年3月22日	薬学部	『FDワー	-クショ ・	ップ			
	(FDを含む)	2019	2019年4月12日 基礎系実習ワークショップ							
				他1件						
Ⅱ 研究活動										
1. 著書・論文等の名称			≜著•		iまたは		   発行所、発表雑誌 (巻・号数) <sup>(</sup>	等の名称 しょうしょう		
		共	著の別	年	月(西	暦)	7011771 7050 FE III (E - 1 507)	4,00.114		
11 777	<b>~~</b> ← ← L /		. — 1-	<u>.</u>	1 &rf	,	- 10 · I ·			
├── II 研覧	名活動に1	フし	いてに	<b>玉万</b>	」入	1127	【提出 ──			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				ļ š	<b>É</b> 表年	• 月	字会名			
Ⅲ 学会および社会における主な活動										
	近型コロナウイルス対									
	食品衛生管理者登録者			(3日間	<i>¶)</i>					
	<i>東京オリンピックボラ</i>			- / 55-5	F. // // 1					
	日本薬学会会員、日本	毒性学	会会員、日	本脂質	生化学	学会会員				

(A.7)	K, 122X, 11/13	<u> </u>	TTINIQ TITI TARE		
	教育	育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 衛生	****	战名 助教	氏名 佐々木由香		
I 教育活動	100				
教育実践上の主な業績		年 月 日		概  要	
1 教育内容・方法の工夫		2020年9月	P4事前学修 注射·紹	E管投与においてオンライン	で事前学修を行うため
		2021年5月	P3環境と健康実習にお	3いてオンラインと対面の/	ヽイブリッド実習のた
2 作成した教科書、教材、参考書			P4事前学修 注射・紹		
		2020年9月	P4事前学修 注射・総	全官投与 美省書作成	
3 教育方法・教育実践に関する発表、記	#油等		なし		
0 预用分溢 预用夹践飞展,心况我、自	4.关寸				
4 その他教育活動上特記すべき事項		2021年7月17日	病院実習指導者ワーク	フショップ2021に酸化	
(FD	を含む)	2021年3月22日	令和2年度薬学部FDワ	ークショップに参加	
			他1件		
Ⅱ 研究活動			T		
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
		共著の別	年月(西暦)		
II 研究	兄活動に:	ついて	は別にて	提出	
,,,,			1017551 = 4		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学会	名
□ 学会および社会における主な活動(直i			× 14 / 1 1. モロ ^		
	薬学会 衛生薬学部				
2020年6月~ 新型	コロナウイルス対応[	runセンター	リハート耒務		
日本		生化学会会員	日本脂質生化学会会員	1	
口本	サル アムム貝、日本.	エロナムム只、	日午加具工10丁五五只		

	教育および研究活	動の業績一覧				
学名 昭和大学 部門名 社会薬学	職名 助教	氏名 熊木 良太				
教育活動						
教育実践上の主な業績	年 月 日		概  要			
1 教育内容・方法の工夫	2020/6/30	講義内での演習時間の	り増加			
(授業評価等を含む)	2021/6/30	反転授業の導入				
2 作成した教科書、教材、参考書	2019/8/19	無菌調製手技動画の作	作成			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2021/3/27	薬局実務実習における	るオンラインによる「学生カンファレンス」の有用			
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)		病院実習指導者ワークショップへの参加 認定実務実習指導者のためのアドバンストワークショップへ参加				
研究活動						
.著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
II 研究活動に	こついては	よ別紙にて	<b>二</b> 提出			
. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	字会名			
学会および社会における主な活動(直近5年間に携わ						
	会(旧簡易懸濁法研究	<i>民会)幹事</i>				
019年4月~現在 日本老年薬学会 研	<b>平修企画運営委員</b>					
•						

	#/L-#= ks 1 # 2 TH ## > T	10 ** /= 55		
LWA PROLING THE STATE OF	教育および研究活			
大学名 昭和大学 部門名:医薬品評価薬学	職名:助教	氏名:滝 伊織		
I 教育活動 教育実践上の主な業績				
教育夫成工の主な未模	年 月 日		-	
・ 教育内谷・万法の工大 令和3年度前期授業教員評価アンケート(授業評価等を含む	2021年5月27日	授業に関する満足度で	/ンケート(結果により?	欠年度の改善を実施)
2 作成した教科書、教材、参考書				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項 令和2年度FDワークショップ <i>(FDを含む)</i> 病院実習指導者ワークショップ		全教員対象WS 病院指導薬剤師養成W	Sのタスクフォースとし <sup>-</sup>	て参加
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
II 研究活動に	ついてに			
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	字	学会名
	1 1 0 WL/L			
□ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わ □ 日本薬学会	つにもの剱件)			
ロ本栄子云 日本ジェネリック医		学心		
日本フェイッツン医		-		
日本薬学教育学会	<i></i>	- <u>4</u>		

			教育おる	び研究活	動の業績	<b>上</b>				
大学名 昭和大学	部門名	医薬品評価薬学	職名		氏名	村瀬礼美				
I 教育活動	I HALL THE	<b>产</b> 术品	199.11	9JTX		13/12/12/2				
***************************************	実践上の主な	よ業績	年	月日			相	要 要		
1 教育内容・方法(	の工夫				2020年月	度前期教員評価	エアンケー	<b>F</b>		
	(授業評	(価等を含む)				度前期教員評価				
										他14
2 作成した教科書	、教材、参考	書			なし					
3 教育方法・教育	実践に関する	発表、講演等			なし					
4 その他教育活動.	ト性記すべき	車 佰	201	2年2月1日	第12回	昭和大学PBLフ	マシリテー	- 夕姜朮WC		
4 代の他教育治動。	上1寸記 9 . 、 C	<sub>尹埙</sub> <i>(FDを含む)</i>				昭和大学はこう 昭和大学教育者				
		(102 40)	2010	<del>-</del> -0/120 Ц	WI CEL		307/20707			他34
Ⅲ 研究活動			ı		ı					100
	T.L.		単		発行	または発表の	20.45	7 + // - ·		
1. 著書・論文等の名	<b></b>		共	著の別		月 (西暦)	発行所	、発表雑誌	(巻・号数	女)等の名称
	II	<b>[空活動/</b>	-21	<b>ハア</b> じ	+ 모il	<b>紅1</b> 1一つ	一块上	H		
<u> </u>	•	アス活動に	こつし	いてに	よ別	紙にて	て提出			
<u> </u>	•	研究活動に	こつし	いてに	•	紙にて <sup>表年・月</sup>	提出		字会名	
	•	<b>开究活動</b> に	こつし	いてに	•		提出		字会名	
2.学会発表(評価対	* 家年度のみ)				•		に提出		字会名	
2. 学会我 (評価対	* 家年度のみ)	動(直近5年間に携札			•		提出		字会名	
2. 学会発表 (評価対: □ 学会および社会に,	* 家年度のみ)	動(直近5年間に携 日本薬学会会員	わったもの勢	数件)	•		提出		子芸名	
2. 学会 我 (評価 対 :	* 家年度のみ)	動(直近 5 年間に携札 日本薬学会会員 レギュラトリーサ・	わったもの勢	数件)	•		提出		子芸名	
2. 学会	* 家年度のみ)	動 (直近5年間に携札) 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員	<u>わったもの勢</u> イエンス学:	数件)	•		提出		子芸名	
2. 学会発表 (評価対: □ 学会および社会に: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	* 家年度のみ)	動(直近 5 年間に携札 日本薬学会会員 レギュラトリーサ・	<u>わったもの勢</u> イエンス学:	数件)	•		提出		子会名	
2. 学会発表 (評価対:	* 家年度のみ)	動 (直近5年間に携札) 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員	わったもの <b>が</b> イエンス学: 会員	数件)	発	表年・月	提出		字会名	
2. 学会我表 (評価対策)	* 家年度のみ)	動 (直近5年間に携札) 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員	わったもの <b>が</b> イエンス学: 会員	数件) 会会員 な研究活	発	表年・月	提出		字会名	
2. 学会我表 (評価対策)	家年度のみ) おける主な活	動(直近5年間に携札 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員 日本脂質生化学会	わったもの数 イエンス学: 会員 教育およ	数件) 会会員 な研究活	動の業績	表年・月	提出		子会名	
<ul> <li>② 学会 第 表</li></ul>	家年度のみ) おける主な活	動(直近5年間に携札 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員 日本脂質生化学会: 薬物治療学	わったもの数 イエンス学: 会員 教育およ 職名	数件) 会会員 な研究活	動の業績氏名!	表年・月 表年・月	ħ	T. W.		
2. 学会発表 (評価対策	おける主な活 部門名	動(直近5年間に携札 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員 日本脂質生化学会: 薬物治療学	わったもの イエンス学 会員 教育およ 職名	数件) 会会員 び研究活 助教 月 日	動の業績氏名!	表年・月	ħ	T. W.		た。事前に
2. 学会	おける主な活 部門名	動(直近5年間に携札 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員 日本脂質生化学会: 薬物治療学	わったもの イエンス学 会員 教育およ 職名	数件) 会会員 ごび研究活 助教	動の業績 氏名 !	表年・月 表年・月	様能」にお	既 要 いて、課題演	習を取り入れ	
2. 学会発表 (評価対	おける主な活 部門名	動(直近5年間に携札 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員 日本脂質生化学会: 薬物治療学 業物治療学	わったもの数 イエンス学: 会員 教育およ 職名	数件) 会会員 <び研究活助教 月 日 2021年7月	動の業績氏名!	表年・月 長一覧 里美貴 の成り立ちと	機能」にお出・発表・	双 要 いて、課題演 討議を行っ	3習を取り入れた(7クティプラ-	ニングの導
2. 学会発表 (評価対	家年度のみ) おける主な活 部門名 の工夫	動(直近5年間に携札 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員 日本脂質生化学会: 薬物治療学 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	わったもの数 イエンス学: 会員 教育およ 職名	数件) 会会員 べ研究活 助教 月 日 2021年7月 2020年4月	動の業績氏名!	表年・月 養一覧 里美貴 の成り立ちと様 示し、レポート提	様能」にお 出・発表・ いて、症例	ででである。 でででは、 ででである。 でである。 でである。 できまれる。 できまる。 できる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	習を取り入れ た (アクティブラ- れた。事前!	ニングの導 ニ症例課題を打
2. 学会発表 (評価対策 デ会および社会に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	家年度のかり おける主な活 部門名 の工夫 、教材、参考	動(直近5年間に携札 日本薬学会会員 レギュラトリーサー 日本生化学会会員 日本脂質生化学会: 薬物治療学 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	わったもの数 イエンス学: 会員 教育およ 職名	数件) 会会員 べ研究活 助教 月 日 2021年7月 2020年4月	動の業績氏名!	表年・月 養一覧 里美貴 の成り立ちと様 示し、レポート提	様能」にお 出・発表・ いて、症例	ででである。 でででは、 ででである。 でである。 でである。 できまれる。 できまる。 できる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	習を取り入れ た (アクティブラ- れた。事前!	ニングの導 ニ症例課題を打

4	教育および研究活動の業績一覧						
大学名 昭和大学 部門名 薬物治療学	職名 助教	氏名 里美貴					
I 教育活動							
教育実践上の主な業績	年 月 日	概  要					
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	2021年7月	題を提示し、レポート提	「人体の成り立ちと機能」において、課題演習を取り入れた。事前に課題を提示し、レボート提出・発表・討議を行った(アクティブラーニングの導				
	2020年4月			nた。事前に症例課題を提			
2 作成した教科書、教材、参考書	2021年8月	フィジカルアセスメン	ノトに基づく症例解析と変	藥物治療,京都廣川書店,			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等							
4 その他教育活動上特記すべき事項	2019年8月	第10回昭和大学教育者	音のためのWS(ビギナース	ズ)			
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称			
■ II 研究活動に	ついては	は別紙にて	こ 提出				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	字	会名			
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わった	たもの数件)			•			
2009年3月~現在 日本薬学会	•						
2013年3月~現在 日本医療薬学会							
2016年2月~現在 日本臨床栄養代謝学会	;						
2019年3月~現在 日本集中治療医学会							

		*/	₹4.0 <b>米</b> /す 医		
大学名 昭和大学   部門	3 天然医薬治療学部門	教育および研究活 職名 助教	町の美領一覧    氏名 小池 佑果		
<u> </u>	大	100   100	人名 小心 相未		
1 教育/A動 教育実践上の	主か業績	年 月 日		概要	
	上の木根		P3調剤・串考対応 ス F		療PBLⅢ・在宅チーム医療
	業評価等を含む)	2021年7月1日			おいて、講義動画やオン
()2.2	KI/ M 4 2 11 0 /	2021年7月7日		生が理解しやすい言葉を	
2 作成した教科書、教材、教			なし		
3 教育方法・教育実践に関す	「る発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記する	·き事項		2020年度薬学部FD-WS		
	(FDを含む)		1 124 211 111		見状について"覚える"か
		2017年7月8日	「より良い学生指導を	を目指して」 ~講師・	助教の視点で考える~
I 研究活動		1	ı	ı	
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
		共著の別	年月 (西暦)	2013771C 203CTEMO	(8 390) (147 8 1)
2. 学会発表(評価対象年度の∂	<b>;</b> )		発表年・月	<u> </u>	学会名
 ☑ 学会および社会における主か	 よ活動(直近5年間に携わっ	 ったもの数件)			
021年6月~現在	品川区ワクチン接種に	ボランティア ( 3回	7)		
014年1月~現在	日本薬学会会員				
2013年8月~現在	和漢医薬学会会員				
013年6月~現在	生薬学会会員				
		教育および研究活	動の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	ろ がんゲノム医療薬学		氏名 松本奈都美		
[ 教育活動					
教育実践上の	主な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫 よし					
- 4 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	\ <del></del>				
2 作成した教科書、教材、st よし	<b>彦考書</b>				

			教育および研究活	舌動の業績一覧				
大学名 昭和大学	部門名	がんゲノム医療薬学	職名 助教	氏名 松本奈都美				
I 教育活動								
教	育実践上の主ク	な業績	年 月 日		概要			
1 教育内容・方法	の工夫							
なし								
		-						
2 作成した教科書 なし	· 「、教材、参考	· <b>害</b>						
3 教育方法・教育	アミ こうしょう できゅう こうしょう しょう まんしょう まんしょう まんしょう まんしょう まんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	発表、講演等						
なし								
4 その他教育活動	上特記すべき	事項						
ファシリテーター養成	フークショッ	プ	2021. 3. 11-12	ファシリテーターの役割について議論した。				
Dワークショップ			2021. 3. 22	21.3.22 ディプロマポリシーについて分担して議論した。				
<b>病院指導者ワークショ</b>	ップ		2021, 7, 17	臨床薬剤師養成のためのプログラムの構想を練った。				
Ⅱ 研究活動			•					
1. 著書・論文等の名	<b>*</b>		単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称		
1. 有官 端入寺の石	יניקר ו		共著の別	年月 (西暦)	光17/17、光衣粧祕	(巻・方数)寺の石林		
						_		
	II &	罪空活動に	ついて	は別紙にて	′提出			
	* * P)	/  /U/LI 34/)   ~			- IVE PLI			
2. 学会発表(評価対	象年度のみ)			発表年・月	<u></u>			
				221 77	,			
Ⅲ 学会および社会に	おける主な活	動(直近5年間に携わ	ったもの数件)	•	•			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		日本臨床腫瘍学会会						
		日本臨床薬理学会会	-					
		日本薬学会会員						
		日本乳癌学会						
		日本薬物動態学会						
		日本臨床腫瘍薬学会	- 수 吕					

## (基礎資料9) 専任教員の教育および研究活動の業績 (病院薬剤学講座)

				₩L <del> →</del> ↓\	Larana va	#	/s E5			
		1 -			よび研究活	- 10				
大学名	昭和大学	部門名	病院薬剤学	職名	名 教授員	外 氏	名 渡邊	徹		
I 教i	育活動									
	教育	実践上の	主な業績	:	年 月 日				概	要
1 4	<b>教育内容・方法のコ</b>									
		(授業評	価等を含む)		2021年4月	3日 薬	学部生へ	webでの講	<b>講義、小テスト、</b> 解	詳説を実施。
					2021年6月	3日 講	養、課題	の解説を	動画で作成し、学	生に配信。
2 1	作成した教科書、教	材、参考	書							
			_		2021年4月	3 El	実際	に臨床現	場で行っている事	例をスライドとして配信。
					2021年6月					リジナルの資料を作成配信。
3 ‡	教育方法・教育実践	に関する	<b>坐</b> 夷 謙瀋等		2021-7071	<u> </u>	жлин	100 11 0	C KANC 20 CA	7777000000000000000000000000000000000
Ο,	X1714 X174	(1-1x1 / W	703X 1147X 17			な				
						'δ				
1 -		#記すべき	車 頂							
4	(の他教育治勤工作	1 UL 7 C	<sub>事頃</sub> <i>(FDを含む)</i>			な				
			(FVEBU)			رم.	L			
Ⅱ研3	究活動									
ш 10/13	九伯到				# <b>*</b>		De 4- + + 1			
1. 著	書・論文等の名称				単著・	1	発行またに		発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
					共著の別		年月(i	四階)		
	II	ZΠ	究活動につ	111	r 1+1	山幺	11-	一担	<b>山</b>	
		भूग	九心到一	ノしい	しる	沙羽	<b>XI</b> —	し採	<u>:</u> Щ	
2. 学										学会名
Ⅲ 学:	会および社会におけ	ける主な活	動(直近5年間に携わっ	たもの数件	<b>‡</b> )					
2017年4	4月~現在		日本医療薬学会 代議	 養員						
2019年4	4月~現在		公益社団法人神奈川県	<b>東新院薬剤</b>	師会 理事					
1999年4	4月~現在		一般社団法人東京都和	院薬剤師	会 輸液栄	養領域	薬剤師養	養成小委員	会 委員	
2013年	1月~現在		私立医大薬剤部研究会	: 評議員						
				おない	トイプエロッセンコ	動の業	<b>4</b> ± E⊏			

2013年 1 月 ~ 現任	私业医人染剂部研究会 許護	要 貝			
	教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名 准教授	氏名 田中克巳		
I 教育活動					
教育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授業評値</i>	<i>描等を含む)</i>		なし		
2 作成した教科書、教材、参考書	<u> </u>		なし		
3 教育方法・教育実践に関する外	表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事	耳項 <i>(FDを含む)</i>		なし		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
				_	
研:	究活動につい	ノナル	紅ーナ坦	ш —	
11 19[;	九/白男川〜 フし	, (1944)	一人で		W A E
2. 学到					学会名
	/+v======	No. 11			
□ 学会および社会における主な活動			パロゲニノチロム チロ		
2019年4月~現在 2019年4月~現在	DIA Japan 電子製品情報/添 (公財)日本医療機能評価機構			8	
2018年4月~現在 2018年4月~現在	(公財)日本医療機能評価機構		未的 松口纤细的云 安	貝	
2018年4月~現在	(一般社団) 東京都病院薬剤		支部長		
2010年7月 列任	、 "尽工口/ 不不可的仇不凡	교무스 까지스마.	<b>^н</b> И		

		教育および研究活動	かの業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名 准教授	氏名 柏原 由佳		
I 教育活動					
教育実践上	の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫			なし		
(授業	<b>漢評価等を含む</b> )				
()23	,				
2 作成した教科書、教材、参			なし		
2 作成した教科書、教材、多	为官		/a C		
	7.2% - = = = = = = = = = = = = = = = = = =		4. 1		
3 教育方法・教育実践に関す	る発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべ	.き事項		なし		
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
1 英書 於立笠の名称		単著・	発行または発表の	30.7==r 30.++#.=+	/# D#L\ # 0 5 Th
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
		714.77			
II <b>A</b>	研究活動につ!	ハナけり	糾にて坦	<b>州</b> —	
		0.CIQD			
2. 学到					学会名
Ⅲ 学会および社会における主な	活動(直近5年間に携わったも	もの数件)			
2009年~現在	日本緩和医療薬学会	評議員			
2009年~現在	日本緩和医療薬学会 専門	1.認定制度委員			
2020年6月~2021年3月末日	日本緩和医療薬学会 緩和		度ワーキンググループ		
2004年4月~現在	東京都病院薬剤師会 緩和				
2007年初	大水 即	100.从例《朱州师及	风刊加安员五安员		
		<b>払去むしが町売</b> 活系	1の単体 配		
1 24 to 177 1 24 to 170 to		教育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学講座	職名 准教授	氏名 黒沢 雅広		
I 教育活動 II 本			1		
	の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫			なし		
(授業	<i>禁評価等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参	·考書		なし		
3 教育方法・教育実践に関す	る発表、講演等		なし		
- 1111111111111111111111111111111111111			0.0		
4 その他教育活動上特記すべ			なし		
4 での他教育治動工特記すべ			/a C		
	(FDを含む)				
п ттф :: 54					
Ⅱ 研究活動				1	
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
		共著の別	年月(西暦)	プレイナナバイ プレタス不正的の	(2) 为数/ 中切伯孙
				<b>-</b>	
	研究活動につ	ついては	別紙にてお	₽₩	
	717U/H 2017	100,			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ	.)		発表年・月	يع	
- ・ 」			ルダサ カ	7	A H
		L O *L IIL \			
			7401405		
2005年~現在	精神科臨床薬学研究会世記	<i>钻人(顧問)、</i> 囚 <b>和</b>	7安貝宏安貝長		
2005年~現在	日本医療薬学会会員				
2016年~現在	日本精神薬学会(評議員)				
2020年~現在	日本病院薬剤師会、精神流	<i>私 </i>	研修禾昌仝禾昌		

	教育	<b>育および研究活動</b>	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名 准教授	氏名 阿部 誠治		
I 教育活動		•	•		
教育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
(授業評価	<i>両等を含む)</i>	2020年9月29日	歯学部生へwebでの講	義、小テスト、解説を乳	<b>ミ施</b> 。
1,000				加画で作成し、学生に配	
2 作成した教科書、教材、参考書	<u> </u>	2021-777111	HH-7X C HAZ V/JT DU C S	ME CIFIX OC 1 TICH	ID 0
2 作成のた教育者、教育、多巧音	•	2020年0日20日	宇際に用提で使用され	ıている書類などを提示	
				ect る音頻なこと提示 是示し、課題に取り組む	
		2021年7月14日	オックテルの症例でか	を かし、	0
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等				
			+>1		
			なし		
	T				
4 その他教育活動上特記すべき事					
	(FDを含む)		なし		
Ⅱ 研究活動					
┃ ┃1.著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	3% /= =r 3% ± 1,4 =+	/# D#\\ # 0.2.tr
1. 有音・冊入寺の石林		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
	_				
II 研§	究活動につい	/ ナノナリ	糾にて垾	<b>州</b> —	
		. C 1971			¥ ^ 7
2. 学					学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	<u>」(直近5年間に携わったもの</u>	)数件)			
2013年4月~現在	大学病院の緩和ケアを考える	る会 準世話人			
2016年8月~2021年7月	私立医大薬剤部研究会 評談	議員			
2019年9月~現在	写真付き服薬指導CD-ROM編第	集員会 委員			
	<b>.</b> 教育	<b>育および研究活動</b>	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 准教授	氏名 藤原久登		
I 教育活動	来于即 <i>内队</i> 来刑于 <b>两</b> 庄	城山 准教汉	20日 凉水八豆		
教育実践上の主	か業績	年 月 日		概要	
	. 6 木順	<u> </u>		1M X	
1 教育内容・方法の工夫	T/# + 4 + 1				
( <i>授耒評個</i>	<i>描等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参考書	Ē				
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事	項	2021. 7. 17	病院実習指導者ワーク	<b>フ ショップ</b>	
	(FDを含む)	2021. 8. 7~8. 8	第16回薬学教育者のた	こめのワークショップ	
Ⅱ 研究活動					
		単著·	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
		八百0万万	十八 (口/1)		
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	-	学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	」(直近5年間に携わったもの	)数件)			
2006年4月~2017年6月	神奈川県病院薬剤師会 業績	務検討委員会 委			
2019年7月~2021年6月	神奈川県病院薬剤師会 薬				
2016年7月~現在	日本病院薬剤師会 学術小多				
2017年10月~現在	私立医大病院薬剤部研究会				
2019年4日~現在 2019年4日~現在	日本医療薬学会 代議員	-1800			

教育	「および研究活動の	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 薬学部病院薬剤学講座	職名 准教授	氏名 田中 広紀		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫				
(授業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考書				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2018/3/21	第7回 日本薬剤師レシ 昭和大学病院における 展望	デントフォーラム レジデント教育の現状と	:
4 その他教育活動上特記すべき事項	2021 /7 /17	展里 病院実習ワークショッ	. →	
	, ,		゚゚゚゙゚゙゙゙゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゚	
(FDを含む)	2019/0/20~22	教育者のためのケーク	/ ショック・ピイナース =	1-^
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
一 ・ 11 かかにもについ	- 14 Dil	4f 1 +=	rti 🗀	
<b>──</b> II 研究活動につい	ヽしは別	徴し し 徒	四	
2. 学到		~~.	学	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの	数件)			
2010年6月~ 日本病院薬剤師会感染制御專	門薬剤師認定審査	查委員		
2019年4月~ 日本医療薬学会 代議員				
	·			
	-			<del></del>

		育および研究活動の			
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学講座	職名 准教授	氏名 繩田 修一		
I 教育活動					
教育実践上の	主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
(授業評	<i>価等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参考	書				
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等	2021. 8. 21	学部教育から臨床研	<b>修薬剤師教育まで一貫し</b>	,た臨床薬剤師教育体制確立
4 その他教育活動上特記すべき	事項				
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
   1.著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の	】 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
1. 有官 喘入分の行が		共著の別	年月(西暦)	光1] 別、光衣相祕	(仓・方奴)寺の石柳
II 7π	<b>売江払</b> にへ!	· — / 4 Dil	4f I +=	111	
── II 研	究活動につい	ヽしは別		四	
2. 学1					学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活	動(直近5年間に携わったもの	)数件)			
日本臨床腫瘍薬学会	理事、代議員、実地研修委員	員会委員長			
日本医療薬学会	代議員				
日本癌治療学会	代議員				
日本DMAT	業務調整員				

		教	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 准教授	氏名 須永 登美子		
I 教育活動						
教育	実践上の主	とな業績	年 月 日		概	要
1 教育内容・方法のエ	夫					
	(授業評價	<i>価等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教	材、参考書					
3 教育方法・教育実践	に関するタ	卷表、講演等				
4 その他教育活動上特	記すべき	事項	2021. 7. 17	病院実習ワークショッ	<b>,</b> プ	
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
1 英書、鈴立笙の夕折			単著・	発行または発表の	3% /= =r 3% ±	## (# D#) # 0.2 F
1. 著書・論文等の名称			共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
		<b></b>	. —	1 AZ 1 — 10		
	伽	究活動につい	ハては別	紕にて程	出	
2. 学:						学会名
Ⅲ 学会および社会におけ	る主な活動	動(直近5年間に携わったもの	の数件)	•	•	
2019年3月~2021年3月		日本医療薬学会 代議員				
2021年3月~現在		神奈川循環器薬剤師フォー	ラム実行委員会 :	実行委員		
2021年6月~現在		日本医療薬学会 医療薬学				
				1 2007		
		数	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名		職名 准教授	氏名 百 賢二		
I 教育活動	HIN 1.H	来 1 时 / 1 时 / 1 日	14% 1 /12/12	77 - 7		
	実践上の主	た業績	年 月 日		概	要
1 教育内容・方法のエ			1 // -		.,,-	
. 328176 27720		価等を含む)				
	()XXIII	m 4 2 1 0 /				
2 作成した教科書、教	材 参老事	ŧ				
L IFMORENTIAL TO	(11) ( ) ()	=				
	に関する	¥表 講演等	2021年9月~	病院薬剤師が研究を覚	<b>さぶための論文</b> 抄	読セミナー2021 主催 (24回/年)
O AHMA AHAM	10 2 7	13X、時/X 寸	2021-071		-3·/2·0/0/ mm 入1/2 i	がして / 2021 工催 (24回/ 十/
4 その他教育活動上特	記すべき	<b></b>	2021. 7. 17	病院実習ワークショッ	, プ (オーガナイ <sup>・</sup>	ズ)
す。その他教育和新工作	1007 -0-	Fダ <i>(FDを含む)</i>	2021. 7. 17		)	
		(10280)				
Ⅱ 研究活動			L			
並 明元/日勤			単著・	& 仁士 t- l+ ※ 主 の		
1. 著書・論文等の名称			1	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
			共著の別	平月 (四層)		
		_				-
	<b>TIT</b>	究活動につい	171十回	紙にて坦	出	
	WI.	フレ/ロタリー フリ	· - C (の力)		ш	<u> </u>
2. 学组						学会名
			- M. M.			
	る王な活動	動(直近5年間に携わったもの			154 T E 6	
2019年4月~現在		日本医療薬学会 評議員、			<i>、颗委員会</i>	
2020年1月~現在		日本薬剤学会 評議員、臨				
2021年4月~現在		10太医医空心学心 预学品	广恕禾吕心禾吕			
2020年4月~現在		日本医療安全学会 評議員日本医療機能評価機構 薬				

	—————————————————————————————————————	育および研究活動の	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門:		職名 准教授	氏名 鈴木 信也		
I 教育活動			·		
	Lの主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
(授:	業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、	参考書	2021年3月	薬学臨床推論 臨床で	の考えかた、南江堂	
3 教育方法・教育実践に関	する発表、講演等	2021年6月	大学における理想的が	な医薬品情報学教育とは、	第23回日本医薬品情報学
4 その他教育活動上特記する	べき事項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
2. 学:	研究活動につい	へては別	紙にて提		· 全会名
	な活動(直近5年間に携わったもの		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
00年4月~00年3月	震災復旧ボランティア活動	(00地区 年2回	7、各1週間)		
〇〇年6月~現在	<i>学会常任理事</i>				
	OO学会論文審査員				
	日本薬学会会員※				
					-
		育および研究活動の			
大学名 昭和大学 部門:	名 薬学部病院薬剤学講座	職名 講師	氏名 和田 紀子		
I 教育活動			1		
	上の主な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授</i>	業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、特別	参考書				
3 教育方法・教育実践に関	する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記する	べき事項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称

研究活動については別紙にて提出

東京都病院薬剤師会 緩和医療領域薬剤師養成特別委員会 委員

日本医薬品情報学会 医薬品情報学会学術誌 査読

学会名

Π

Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)

日本緩和医療薬学会 評議員

日本緩和医療学会 代議員

2. 学1

2011年2月~現在

2011年4月~現在

2018年2月~現在

2021年2月

		+/	ナー・ しょぐてかかいて チム	の <b>光</b> 体 監		
1 24 72 BTT = 1 24	±0.00 5		育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名講師	氏名 北原 加奈之		
I 教育活動	******	>- 4- ¥¥ /s=	T . = =	1	1nr ==	
	(育実践上の:	土な耒稹	年月日		概 要	
1 教育内容・方法の		(THAT + A + )				
	(授業評	価等を含む)				
- 11 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12	# 1 1 /s # 1	<del></del>				
2 作成した教科書、	教材、参考:	書				
. ***** ***	7.DE1_88_E 7	24 = = = = = = = = = = = = = = = = =				
3 教育方法・教育実		<b>羌</b> 表、 <b>講</b> 演寺				
4 その他教育活動上	##=7# x #:	<b>東</b> 西				
4 ての他教育活動工	-特配りへる					
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
1			単著・	&仁士+-/+※ <b>ま</b> の		
1. 著書・論文等の名称	7		共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
			共有の別	平方(四周)		
	_				_	
	研研	究活動につい	1ては別	紙にて提	·#! —	
2. 学:	- 171		C 10011			
2. 7.				7527		于云句
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な活	 動(直近5年間に携わったもの	) 数件)			
2014年4月~現在	717 Q X 167H	東京都病院薬剤師会 臨床推				
2011-177 9612		AN APPRINCE AND A MINNE		× <del>× × ×</del>		
		数	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名		育および研究活動	,		
大学名 昭和大学	部門名	教 薬学部病院薬剤学講座	育および研究活動  職名	の業績一覧 氏名 吉川 雅之		
I 教育活動		薬学部病院薬剤学講座	職名	,	概要	
I 教育活動 教	育実践上の	薬学部病院薬剤学講座		,	概要	
I 教育活動	で育実践上の シエ夫	薬学部病院薬剤学講座 主な業績	職名	,	概要	
I 教育活動 教	で育実践上の シエ夫	薬学部病院薬剤学講座	職名	,	概要	
I 教育活動 教	(育実践上の) )工夫 <i>(授業評</i>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名	,	概 要	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の	(育実践上の) )工夫 <i>(授業評</i>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名	,	概 要	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の	(育実践上の) )工夫 <i>(授業評</i>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名	,	概 要	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の	(育実践上の ()工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書	職名	,	概要	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	(育実践上の ()工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書	職名	,	概要	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	(育実践上の ()工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書	職名	,	概 要	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名	,	概要	
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育実	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名	,	概 要	
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育実	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名	,	概要	
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育実	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名	,	概要	
<ul><li>Ⅰ 教育活動 教</li></ul>	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 段践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名	,		(类, 足粉) 笙の夕秋
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育実       4     その他教育活動上	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 段践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 吉川 雅之	概要	(巻・号数)等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動 教</li></ul>	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 段践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 年月日	氏名 吉川 雅之		(巻・号数)等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動 教</li></ul>	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 段践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 年月日	氏名 吉川 雅之		(巻・号数)等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動 教</li></ul>	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 段践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 年月日	氏名 吉川 雅之		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 と践に関する	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 年月日 単著・ 共著の別	氏名 吉川 雅之	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 と践に関する	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 年月日 単著・ 共著の別	氏名 吉川 雅之	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 と践に関する	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 年月日 単著・ 共著の別	氏名 吉川 雅之	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教	(育実践上の: )工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 と践に関する	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 年月日 単著・ 共著の別	氏名 吉川 雅之	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 2. 学会	(育実践上の:)工夫 (授業評 教材、参考 選銭に関する: 特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む》 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	単著・共著の別	氏名 吉川 雅之	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教   1 教育内容・方法の   2 作成した教科書、   3 教育方法・教育実   4 その他教育活動上   Ⅲ 研究活動   1. 著書・論文等の名利   2. 学ョ	(育実践上の:)工夫 (授業評 教材、参考 選銭に関する: 特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む》 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b> 動(直近5年間に携わったもの	単著・共著の別	氏名 吉川 雅之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 2. 学会	(育実践上の:)工夫 (授業評 教材、参考 選銭に関する: 特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む》 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	単著・共著の別	氏名 吉川 雅之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教   1 教育内容・方法の   2 作成した教科書、   3 教育方法・教育実   4 その他教育活動上   Ⅲ 研究活動   1. 著書・論文等の名利   2. 学ョ	(育実践上の:)工夫 (授業評 教材、参考 選銭に関する: 特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む》 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b> 動(直近5年間に携わったもの	単著・共著の別	氏名 吉川 雅之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	

		±/-:	育および研究活動	の業績一覧		
1 24 7 mm to 1 24	÷n 88 <i>t</i> z					
	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 准教授	氏名 内倉健		
I 教育活動	± π L Λ →	- <b> </b>		4	4917 7	<del></del>
	実践上の主	は美積	年 月 日		概	要
1 教育内容・方法の工						
	(授業評価	西等 <i>を含む)</i>				
2 作成した教科書、教	材、参考書	<u> </u>				
3 教育方法・教育実践	に関する発	卷表、講演等				
4 その他教育活動上特	記すべき事	耳項				
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
4 **			単著・	発行または発表の	2.7 2.4	
1. 著書・論文等の名称			共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称
			7111777			
_	_				_	
	<i>₩</i>	究活動につい	/ てけ別	紙にて堤	·#! -	
2. 学:	WI.		וינגטוטי			₩ ^ 2
2. 于:						学会名
m	フムムサモ	- / 古いこと F B I - # 1	5 #L /L \			
	<b>る土な活</b> 男	<u> </u>		**************************************		
2014年4月~現在		日本医薬品情報学会 医薬品		【糠麥貝会 麥貝		
2016年1月~現在		日本医薬品情報学会 編集委	夏会 委員			
2016年4月~現在		日本臨床薬理学会 評議員				
2020年4月~現在		日本病院薬剤師会 学術第6	小委員会 委員			
		教*	育および研究活動の	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学講座	職名 講師	氏名 市倉 大輔		
I 教育活動			-			
教育	実践上の主	な業績	年 月 日		概	要
1 教育内容・方法の工	夫			なし		
	(授業評価	西等を含む)				
2 作成した教科書、教	材、参考書		2021年2月8日	臨床研修薬剤師向けの	De-learningコンテ	ンツとして、ハイアラート薬お
臨床研修薬剤師 e-learning	g			よび副作用救済制度に		
ハイアラート薬、副作用救	-			0.0 11111111111111111111111111111111111	-1247 0 1- 7- 7	211,320,720
3 教育方法・教育実践		<b>差表</b> 。講演等		なし		
	-1217 071	11775C 1		0.0		
4 その他教育活動上特	記すべき事	可值		なし		
マ その他教育治動工物	n	・ダ <i>(FDを含む)</i>		,		
		(102 80)				
Ⅱ 研究活動			1	l		
			単著・	※行士たけ※主の		
1. 著書・論文等の名称			1	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称
			共著の別	平月 (四周)		
					-	
	<b>₩</b> ;	究活動につい	1711日間	紙にて埠	·H	
	WI.		נינגטו איי		.	₩ ∧ <i>p</i>
2. 学结				222		学会名
	7 2 4 1 7	L /まど - 左眼 - # L	2 #F (IF )			
	<b>の土な店</b> 園	<u>カ(直近5年間に携わったもの</u> ̄ロ <i>☆窓は隠憶世へ</i>	の			
2007年~現在		日本臨床腫瘍学会				
2010年~現在		日本医療薬学会				
2010年~現在		日本臨床腫瘍薬学会				
2020年		日本医療薬学会 がん専門	<i>楽剤師認定審査書</i> 』	<b>面審査委員</b>		

		育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名 講師	氏名 島本 一志		
I 教育活動		1	1		_
教育実践上の	主な業績	年月日		概	要
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授業</i> 書	严価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考	書				
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等	2018年7月~2019年7月~	P4 薬と疾病(血液, 大学院 薬学的がんク		講師
4 その他教育活動上特記すべき	事項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑	<b>詳誌 (巻・号数)等の名称</b>
		. —			
── II 研	究活動につし	へては別	紕にて提	出 i	
2. 学1					学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活					
2017年2月~現在	日本緩和医療薬学会 社員				
2021年7月~現在	神奈川県病院薬剤師会 会		会		
2021年7月~現在	私立医大病院薬剤部研究会	評議員			
	±1-	<b>本わしが町か</b> ばま	の <b>世</b> 体 監		
		育および研究活動 「職名 課任	の素積一覧    氏名   杉田   栄樹		
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動	薬学部病院薬剤学講座	職名 講師	八石 杉田 木倒		
I 教育活動 教育実践上の	<b>☆た業績</b>	年 月 日		概	 要
1 教育内容・方法の工夫	上な木喰	<u> </u>		1194	女
	平価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考	書				
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき	事項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動		₩	30/5 ± 1 · · · 3· ± -		
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑	性誌 (巻・号数)等の名称
	南江弘につい	· /_ []	14H 1 10		
── II 研	密活動につい	ハて は別	秕にて提	<b>出</b>	
2. 学:					学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活	動(直近5年間に携わったもの	の数件)			
2019年3月20日~現在	日本医療薬学会代議員				

			- 11. / - 17.		
		育および研究活動( 	,		
大学名 昭和大学 部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名助教	氏名 小林 麻美		
I 教育活動	t alle fett	T	T	low	
教育実践上の主	を業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
(授業評価	<i>価等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参考書	<del>-</del>				
3 教育方法・教育実践に関する乳	養、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事	耳項				
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
1 英書 込みなのなみ		単著・	発行または発表の	30.7 30.++#.=+	(# D#L) # 0 D Th
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
		- • • <b>-</b> -			
── II 研!	究活動につい	\ては別	紙にて提	₩ =	
2. 学	) U/ II - U	C 101733	1991 - 6 196		学会名
, ,			,,,,,,		724
Ⅲ 学会および社会における主な活動	h (直近5年間に進わった±の	<b>、米れ</b> か)			
1999年4月~現在		/ <b>3X</b> IT /			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	日本医療薬学会				
2016年4月~現在	日本连科婦人科学会				_
2018年10月~現在	日本小児臨床薬理学会				
		育および研究活動(	,		
大学名 昭和大学 部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名助教	氏名 若林 仁美		
I 教育活動			1		
教育実践上の主	とな業績 ニューニー	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
(授業評価	<i>価等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参考書	<del>2</del>				
3 教育方法・教育実践に関する発	卷表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事	事項				
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
		7(107)	177 (=,=,		
├── II 研!	究活動につい	/ては別	紙にて堪	# ⊨	
* * Py1,	/U/II 34/11 — ~ V	C 100/19		_	<b>学</b>
2 学≰					学会名
2. 学1					
2. 学1					
	* (市場に作り、100円)	\ *\tau \ \			
Ⅲ 学会および社会における主な活動					
Ⅲ 学会および社会における主な活動 2010年3月~現在	日本化学療法学会 抗菌化学	学療法認定薬剤師	The shift		
Ⅲ 学会および社会における主な活動 2010年3月~現在 2013年5月~現在	日本化学療法学会 抗菌化物 日本薬剤師研修センター パ	学療法認定薬剤師  小児薬物療法認定 <u> </u>		THE Street Asia and A. Son Inc.	
Ⅲ 学会および社会における主な活動 2010年3月~現在	日本化学療法学会 抗菌化学	学療法認定薬剤師  小児薬物療法認定 <u> </u>		<b>湏業務実績報告評価者</b>	Ę.

	教育	<b>育および研究活動</b>	,		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名 助教	氏名 大戸祐治		
I 教育活動					
教育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫			なし		
(授業評価	<i>両等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参考書	1		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等		なし		
	T		4-1		
4 その他教育活動上特記すべき事			なし		
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
11 別元/自劉		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
		六有切別	十八 (口相)		
	<u> </u>				
II 研?	究活動につい	^ては別	紙にて提	出 —	
2. 学:		<b>4</b> 10 175 1	11201 - 7 22		会名
			7321		
Ⅲ 学会および社会における主な活動	) が (直近5年間に携わったもの	)数件)	•		
2014年4月~現在	日本緩和医療薬学会 社員				
2020年6月~2021年3月	日本緩和医療薬学会 緩和區	医療専門薬剤師制	度ワーキンググループ		
	教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	教育薬学部	育および研究活動 職名 助教	の業績一覧  氏名 渡邊 亜矢子		
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動					
I 教育活動 教育実践上の主	薬学部			概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫	薬学部	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫	薬学部	職名 助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i>	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i>	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i>	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価       2 作成した教科書、教材、参考書	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i>	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i>	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価       2 作成した教科書、教材、参考書	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i>	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価       2 作成した教科書、教材、参考書	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発       4 その他教育活動上特記すべき事	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  II 研究活動	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日	氏名 渡邊 亜矢子 なしなし	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発       4 その他教育活動上特記すべき事	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし 祭行または発表の	概要	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  II 研究活動	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日	氏名 渡邊 亜矢子 なしなし		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  II 研究活動	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし 祭行または発表の		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  II 研究活動	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし 祭行または発表の		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部 な業績	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし なし 年行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部 な業績	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし なし 年行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部 な業績 <i>西等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし なし 年行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部 な業績	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし なし 年行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 I 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部 な業績	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし なし 年行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部 な業績  西等を含む)  表、講演等  項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし なし 年行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称  Ⅲ 学会および社会における主な活動 Ⅲ 学会および社会における主な活動	薬学部 な業績  西等を含む)  表、講演等  項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし なし 年行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部 な業績	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 渡邊 亜矢子 なし なし なし なし なし 年行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	

日本医療薬学会

2021年4月~ 2021年7月~

		+/L	<b>ナル しょぐびのかてき</b>	の <b>光</b> 体 監		
1 24 5 mm t = 1 24	±0.00 5		育および研究活動			
	部門名	薬学部病院薬剤学	職名助教	氏名 星茜		
I 教育活動	中叶しの子	- +\ \\ +\ o=	T = 0 = 0	1	4917	##-
	実践上の主	上は耒楨	年 月 日	<b>☆☆☆翌</b> b +	概	要
1 教育内容・方法のエ		T		病院実習において、基		
	(授業評価	<i>価等を含む)</i>		関連性を示しながら、		
0 /L-+ 1 + 1/1 + 1/1	<b>₩</b> ₩ # #	<b>.</b>		心構えやコミュニケー	-ションを指導して	(いる。
2 作成した教科書、教	材、参考書					
	·	v				
3 教育方法・教育実践	に関する第	t表、講演 <del>寺</del>				
	1					
4 その他教育活動上特	記すべき事					
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動			T		T .	
1. 著書・論文等の名称			単著・	発行または発表の	発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
			共著の別	年月(西暦)	3013771 3020	(E 332) (3 - 2   1   3
	ZΠ:	カエチリーへに	>ナル	佐ーナ	ய	
II	भगः	究活動につい	いしほか	杌  〜し  灰	四	
2. 学						学会名
Ⅲ 学会および社会におけ	る主な活動	カ」(直近5年間に携わったもの	の数件)			
2007年3月~現在		日本緩和医療薬学会				
2007年7月~現在		日本医療薬学会				
2008年1月~現在		日本緩和医療学会				
2010年6月~現在		日本臨床腫瘍学会				
		教	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 杉沢 諭		
I 教育活動						
教育!	実践上の主	な業績	年 月 日		概	要
1 教育内容・方法の工	夫					
	(授業評価	<i>価等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教	材、参考書	<del>2</del>				
3 教育方法・教育実践	に関する発	卷表、講演等				
4 その他教育活動上特	記すべき事	<b>事項</b>				
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
4 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **			単著・	発行または発表の	20.7-T 20.++	
1. 著書・論文等の名称			共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
	<del></del> -	₩ 47 EL 1	/ 1 P-			
	伽	究活動につい	ハては別	秕にて提	出	
2. 学:	-711					
Ⅲ 学会および社会におけ	る主な活動		の数件)	•		
2009年3月~現在	V - 5/11 P	日本医療薬学会会員				
2010年3月~現在		日本社会精神医学会 会員				
2010年5月~現在		日本臨床精神神経薬理学会	会員			
2019年1月~現在		日本臨床栄養代謝学会 会				

	教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	助教	中村 彰子		
I 教育活動					
教育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授業評値</i>	<i>而等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参考書	P i				
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等	2018. 10~2020. 1	薬と疾病(循環器系療	長患)講師	
4 その他教育活動上特記すべき事	耳項 <i>(FDを含む)</i>				
# ### ##					
Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
— :: <b>z</b> n:	カ洋動につい	、ナル 川	紅ルナ担	ш _	
	究活動につい	、こしみ別	一人に	四 _	
2. 学1					学会名
<b>東 巻入れしが社会におはてきれば</b>	b /本に   ケ眼   # + - + + の	> *F /H /			
Ⅲ 学会および社会における主な活動 2017年2月~現在	(直近5年间に携わつにも0.   日本医療薬学会 会員	2剱件)			
2017年2月~現在 2020年5月~現在	日本循環器学会 会員				
2020年3月~現在	口 中 相 块 命 十 云 云 貝				
		育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名 助教	氏名 阿部 久瑠美		
I 教育活動	7713030(71)	198 11 93.35	1.14		
教育実践上の主	な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授業評値</i>	<b>西等を含む</b> )		なし		
2 作成した教科書、教材、参考書	<b>P</b>		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事	事項 <i>(FDを含む)</i>		なし		
11 11 10 江梨					
Ⅱ 研究活動		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	、 (巻・号数)等の名称 
		, :	A+ 1		
── II 研?	究活動につい	ヽては別	紕にて提	出 🗆	
2. 学:					学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	り ・ 直近5年間に携わったもの	)数件)			
2015年4月~現在	日本小児臨床薬理学会会員				
2017年4月~現在	日本小児感染症学会会員				

		教	育および研究活動の			
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 玉造 竜郎		
I 教育活動						
教	育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の	• •	<b>西等を含む</b> )				
2 作成した教科書、	教材、参考書	<u>}</u>				
3 教育方法・教育実	践に関する発	表、講演等	2019年8月24日	救急	医療を担う薬剤師教育の	の現状と課題
4 その他教育活動上	特記すべき事	<sup>耳項</sup> <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
	研?	究活動につい	ハアは別	紙にて提	ж —	
2. 学:	71.		C 10033	MANIA CINE		
				7527 1 71		, , , ,
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な活動	カ(直近5年間に携わったもの	<b>)</b> 数件)			
2021年4月~現在		日本臨床救急医学会 評議員				
2020年10月~現在		日本臨床救急医学会 救急		<i>会委員</i>		
2017年4月~現在		日本中毒学会東日本地方会				
2021年4月~現在		特定非営利活動法人 日本集	中治療教育研究会	薬剤師部会コアメン	·/ i—	
		±/-=	<b>ムナ、レッパエロウに入るし</b>	D 类 生		
	部門名	·····································	育および研究活動の □職名	プ <del>ス</del> 積一見 氏名 内藤 結花		
I 教育活動	DN 140	米于即附阮米刖于램庄	4联石	POTE PINK NUTE		
	育実践上の主	な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の			, , , , , ,			
	(授業評価	<b>西等を含む</b> )				
2 作成した教科書、	教材、参考書	<u></u>				
3 教育方法・教育実	践に関する発	表、講演等				
4 その他教育活動上	特記すべき事	耳項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動			1			
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
					_	
	研?	究活動につい	ハイは別	紙にて提	₩ 💳	
2. 学:	٠١٧.		C 10/11			
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な活動	<u>り(直近5年間に携わったもの</u>	)数件)			
Ⅲ 学会および社会にお 2015年4月~現在	ける主な活動	が(直近5年間に携わったもの 東京都病院薬剤師会 抗菌の		卸專門薬剤師養成特別多	<i>委員会</i>	

	教育	および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学講座	職名 助教(実	氏名 詫間 章俊		
I 教育活動					
教育実践上の	D主な業績	年 月 日		概  要	
1 教育内容・方法の工夫			なし		
(授業)	評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参	· ·		臨床研修薬剤師向けの	De-learningコンテンツと	
臨床研修薬剤師 e-learning 感染	症領域	2019年12月2日		・ 薬適正使用について5つ	
			のコンテンツを作成し	,t=,	
3 教育方法・教育実践に関する	5発表、講演等		なし	· · · · ·	
- 201773111 201773200 - 10077					
4 その他教育活動上特記すべる	事項		なし		
1 (0)尼秋日沿岛工门记)	- チス <i>(FDを含む)</i>				
	(10200)				
Ⅱ 研究活動					
		単著·	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の	名称
		7(107)	117 12.2		
				_	
── II 碌	T究活動につい	ハイけ別	紙にて堤	<b>州</b>	
		C 10011.		学会名	
2. +1			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	子云石	
Ⅲ 学会および社会における主な	チ動 (声) 5年5年間に惟わったもの	*h I+ \			
2021年7月~現在	神奈川県病院薬剤師会 薬学	生安貝云 安貝			
2013年4月~現在	日本化学療法学会会員				
2016年4月~現在	医療薬学会会員				
2013年4月~現在	環境感染学会会員				
	411	こよく しょぐてのかいて ギリ	0 米/車 医		
		育および研究活動(			
大学名 昭和大学 部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 鈴木 康介		

		育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部	" 8門名  薬学部病院薬剤学講座	職名助教	氏名 鈴木 康介		
I 教育活動	八	14% 11 2017	2011 2011		
	践上の主な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫		1	無し		
	( <i>授業評価等を含む)</i>		7.K. G		
2 作成した教科書、教材	、参考書		無し		
3 教育方法・教育実践に	関する発表、講演等		無し		
4 その他教育活動上特記		2017. 5. 13	講師・助教を対象とし		
	(FDを含む)	2017. 7. 8	講師・助教を対象とし	たFDワークショップ	
		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
7.7	加売に利につい	、 <b>一</b> 1十四	411ー一十日	ulu 💹	
	研究活動につい	いしほ別	【 しん	四	
2. 学1				——————————————————————————————————————	全会名
	主な活動(直近5年間に携わったも	の数件)			
2016年4月~現在	日本医療薬学会会員				
2016年4月~現在	日本臨床腫瘍薬学会会員				
2016年9月~現在	日本造血細胞移植学会会員				

	教	育および研究活動の	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 中山泰葉		
I 教育活動		•	•		
教育実践上の	主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫		, ,,			
	「価等を含む)				
()又来的	M4660/				
2 作成した教科書、教材、参考	<b>*</b>				
2 IF成した教科書、教材、参考	音				
- #	7. de -#. de 66				
3 教育方法・教育実践に関する	<b>発表、講演寺</b>				
4 その他教育活動上特記すべき	事項				
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
		八百〇万	177 (1767		
── II 研	究活動につい	、ナル 川	紅ーナ坦	ш —	
	プルロ 多川へ フレ	、くしる別	和  - し   正	ш	
2. 学:					学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活	動(直近5年間に携わったもの	) )数件)			
2011年4月~現在	医療薬学会会員				
2013年4月~現在	母乳哺育学会会員				
2010年4月 - 現在	<u> </u>				
		育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	教 薬学部病院薬剤学講座	育および研究活動 職名 助教	の業績一覧  氏名 仁尾 祐太		
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動					
	薬学部病院薬剤学講座			概要	
I 教育活動	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	薬学部病院薬剤学講座 主な業績	職名 助教		概 要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		概 要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業評	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業評	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概要	
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業群)       2 作成した教科書、教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書	職名 助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業評	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書	職名 助教		概要	
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業群)       2 作成した教科書、教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書	職名 助教		概 要	
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業群)       2 作成した教科書、教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書	職名 助教		概 要	
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業群)       2 作成した教科書、教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概 要	
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概 要	
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する       4 その他教育活動上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 仁尾 祐太	概要	
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する       4 その他教育活動上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 仁尾 祐太	概要	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 仁尾 祐太		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 仁尾 祐太		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 仁尾 祐太		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 仁尾 祐太		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業群 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 仁尾 祐太 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業評 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 (価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 仁尾 祐太 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業群 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 仁尾 祐太 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業評 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 仁尾 祐太 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業評 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 仁尾 祐太 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業評 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 2. 学1	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む》 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 仁尾 祐太 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業評 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む》 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 仁尾 祐太 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む》 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 仁尾 祐太 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 『価等を含む》 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 仁尾 祐太 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	

		±11 -	+ b. 1 = 2 T T + 5 T = 1	<b>0 业体</b> 医		
L W 5	±======		育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 太田品子		
I 教育活動	育実践上の主	- +> 幸 结			概  要	ī
1 教育内容・方法の		こる未視	年月日	なし	15人 女	•
1 教育內台 7/400		<i>価等を含む)</i>		7 C		
	(汉本町)	<i>叫寺を召む)</i>				
2 作成した教科書、	数材 参老ョ	<b>⊉</b>		なし		
と「下水した状行音、	我们、罗布里	=		74 C		
3 教育方法・教育実	践に関する乳	<b>発表、講演等</b>		なし		
4 その他教育活動上	特記すべき事	事項		なし		
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
┃ ┃1.著書・論文等の名称			単著・	発行または発表の	発行所、発表雑詞	誌 (巻・号数)等の名称
1. 名自	-		共著の別	年月 (西暦)	光刊別、光仪程記	心 (含:5数/等0/4/4)
					_	
II		究活動につい	、ナル 川	紅ーナ担	ய் _	
	<b>. 177</b> 1,	九泊 乳川〜 フし	、ここのか	一人使	Щ _	
2. 学1						学会名
m		* /=	D #F /F /			
	ける土な活動	動(直近5年間に携わったもの ┃ ロカボザギネヘヘ目	<u>り</u> 数件) 			
<i>2017年~現在</i>		日本薬学教育会会員	1			
		***	育および研究活動	の業績上監		
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学講座	職名助教	氏名 高田昂輔		
I 教育活動	DN 140	<b>州</b> 成朱月 <b>十</b> 两庄	戦石 切教	Ku bhai		
	育実践上の主	= な業績	年 月 日		概 要	<u> </u>
1 教育内容・方法の		- 0.514430	1 // -	なし	172	
. 329171 73720		価等を含む)		0.0		
	(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ , ,				
2 作成した教科書、	教材、参考書			なし		
3 教育方法・教育実	践に関する発	<b>论表、講演等</b>		なし		
4 その他教育活動上	特記すべき	事項		なし		
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動			1	T	T	
1. 著書・論文等の名称			単著・	発行または発表の	発行所、発表雑詞	誌 (巻・号数)等の名称
			共著の別	年月(西暦)		
		_			_	
II	<b>TH</b>	究活動につい	1711日日	紙にて坦	# <del> </del>	
2. 学:	, ועו		· C 10/1		ш _	<b>44.4</b>
2. Ti						学会名
Ⅲ 学会お上が社会にお	ける主か汗電	動(直近5年間に携わったもの	り数件)			
2020年2月17日	いるエタはま	新型コロナウイルス感染症		・プリンセス船内活動	(大里太頭 1日間)	
2021年7月1日~2021年8月	311日	東京オリンピック・パラリン				
2015年~現在	,⊢	日本医療薬学会会員	/ / //// // 大	四十二十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	・アンノー、 ()地間/	
2019年~現在		日本腎臓病薬物療法学会会員				

j <del>u.</del>						
			<b>教育および研究活動</b>			
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名助教	氏名 二村 哲未		
I 教育活動	****	. 4、米/=	T = = =	1	Tou.	<del></del>
	育実践上の主	な美績	年 月 日		概	要
1 教育内容・方法の -		<b>西等を含む</b> )				
2 作成した教科書、	教材、参考書	<u>.</u>				
3 教育方法・教育実	践に関する発	<b>《表、講演等</b>				
4 その他教育活動上	特記すべき事	<sup>耳項</sup> <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動						
			単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称 	i		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑 	:誌 (巻・号数)等の名称
					<u> </u>	
	<b>7</b> 11	究活動につ	ハナけり	糾ーア坦	出 -	
2. 学:	, ועד		い、こしみか	がいして変	ш _	₩ ∧ <i>ħ</i>
2. 字3						学会名
Ⅲ 学会お上が社会にお	ける主か活動	 か(直近5年間に携わったも	.の数件)			
2013年~	11.0T.2/13	日本医療薬学会会員	7 <b>07 3</b> 11 7			
2014年~		日本腎臓病薬物療法学会会	 全 <i>昌</i>			
,						
		孝	<b>教育および研究活動</b>	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学	職名 助教	氏名 米澤 龍		
I 教育活動				_		
	育実践上の主	[な業績	年 月 日		概	要
1 教育内容・方法の -		<i>而等を含む)</i>				
2 作成した教科書、	教材、参考書	and the second s				
3 教育方法・教育実	践に関する発	表、講演等				
4 その他教育活動上	特記すべき事	<sup>耳</sup> 項 <i>(FDを含む)</i>	2021. 7. 17	昭和大学病院実習指導	<b>拿者ワークショップ</b>	
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称	i		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑	誌(巻・号数)等の名称
					-	
T1	研	究活動につ	ハナけり	糾にて坦	出 -	
2. 学:	, ועו	ル/ロ 多川 こ ノ	ひ - し 1み/7!	がいして近	щ	<b>当</b>
Z. 71						学会名
<ul><li>Ⅲ 学会および社会にお</li></ul>	ける主な活動		の数件)			
2021年7月~現在	业工.47归当	2021年度医療薬学学術小多				
2021年7月~現在 2021年7月~現在		神奈川県病院薬剤師会 2		会		
		The second secon				

	教育	育および研究活動の	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 越塚 宏美		
I 教育活動	<del></del>	<del>,</del>			
教育実践上の主	な業績	年月日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫		, ,		師	
(授業評価	価等を含む)	12/16/20	薬物治療学特論 講	師	
" " · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u> </u>	他1件		
2 作成した教科書、教材、参考書	i		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事	§項 <i>(FDを含む)</i>		なし		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
		共有の別	千万(口旧)		
				,	
II 研?	究活動につい	^ては別	紙にて積	出	
2. 学:	7 U (		100 = 0 000		学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	』(直近 5 年間に携わったも <i>σ</i>	)数件)			
2014年4月~現在	日本臨床栄養代謝学会				
2015年6月~現在	日本医療薬学会				
2021年4月~現在	日本医薬品情報学会				
2021年7月~現在	医薬情報部第3小委員会 多	<i>委員</i>			
		育および研究活動の			
大学名 昭和大学 部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 田中 茜		
I 教育活動		т	T		
教育実践上の主	な業績	年月日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫			なし		
(授業評価	価等を含む)				
		<u> </u>	ļ .		
2 作成した教科書、教材、参考書	F		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事	 ¥項		なし		

2 作成した教科書、教材、参考書		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項 <i>(FDを含む)</i>		なし		
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
11 开始行私(一个)		44 I 10		
── II 研究活動につい	へには別	秕にて提	₩	
2. 学:				全会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの	数件)			
2016年~現在 日本病院薬剤師会会員				
2016年~現在 神奈川県病院薬剤師会会員				
2019年~現在 日本くすりと糖尿病学会会員				

	1		育および研究活動				
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名	松崎あい理		
I 教育活動	5中曜 Lの主	<b>4、</b> 要结				概	
1 教育内容・方法の3	育実践上の主 エナ	. は未視	年 月 日	なし		恢	要
<b>教育內谷・万法の</b> 。		<b>西等を含む</b> )		4 C			
2 作成した教科書、	<b>教材、参考書</b>	<b>;</b>		なし			
3 教育方法・教育実施	浅に関する発	表、講演等		なし			
4 その他教育活動上な	特記すべき事	項 <i>(FDを含む)</i>		なし			
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別		fまたは発表の F月(西暦)	発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
	7TT -	カケモリーへ	· — / _ Di	1 4rt	· +=		
II II	<b>17</b> 17	究活動につい	くくはが		にて捉	四	
2. 学							学会名
Ⅲ 学会および社会におり	+ ス 士 た 汗 耐		N*h/h )				
血 子去のよい社会にの	/ 公工な心型	なし	/ <b>X</b> IT/				
		<i></i>					
		+/	+ h. l = 27 m + h. T = 1	o #k/s	E.F.		
	部門名		育および研究活動 ──職名 助教	の 耒頼・	一頁 守屋 賀奈絵		
I 教育活動	마기선	薬学部病院薬剤学講座	1 明	LL TI	り圧 貝尔松		
	育実践上の主	な業績	年 月 日			概	要
1 教育内容・方法の	工夫						
	(授業評価	<b>西等を含む</b> )					
2 作成した教科書、	<b>教材、参</b> 考書	<u> </u>					
3 教育方法・教育実活	浅に関する発	表、講演等					
4 その他教育活動上	持記すべき事	項					_
		(FDを含む)					
Ⅱ 研究活動			₩ <del>*</del>	34.7	-++ 1+20-+-		
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別		fまたは発表の F月(西暦)	発行所、発表	雑誌(巻・号数)等の名称
	ZΠ	カ江制ルへ・	\ <b>7</b>	人工	/- <del>/-  </del>	ய	
	भा	究活動につい	ゝしは別	杌	しし、仮	四	
2. 学1				-			学会名
Ⅲ 学会および社会におり	ナる主な活動	」(直近5年間に携わったも <i>の</i>	0数件)				
2013年4月~現在	, v <u> </u>	日本医療薬学会会員	- 2011/				
2015年4月~現在		日本緩和医療薬学会 会員					

	ы.		- W /+ E-		
	教	育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名 助教	氏名 田川 菜緒		
I 教育活動					
教育実践上の	)主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
(授業)	評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考	<del>と</del> 主				
2 作成のた教育者、教育、多名	7 🖨				
	7 24 ± =± '=  /*	+			
■ 3 教育方法・教育実践に関する	5 発表、講演寺				
4 その他教育活動上特記すべき	き事項				
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
# 91707G30		単著・	&仁士+-1+&主の		
1. 著書・論文等の名称		1 11	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	ま (巻・号数)等の名称
		共著の別	平月 (四層)		
77	T 赤 江 手 1	· — / L Du	W 1 10		
── II 碌	F究活動につい	ヽては別	粃にて掟	# □	
2. 学:					一 学会名
			777		- <del></del>
田 労みれたが社会にわけてきたに	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D **+ /+ /			
Ⅲ 学会および社会における主な活		7 数1十 /			
2020年4月~現在	日本医療薬学会				
	—————————————————————————————————————	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名		育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	教 病院薬剤学	育および研究活動 職名 助教	の業績一覧  氏名 永井 努		
I 教育活動	病院薬剤学	職名 助教		HIE 775	
I 教育活動 教育実践上の	病院薬剤学			概要	Ī
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	病院薬剤学 の主な業績	職名 助教		概 要	Į.
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	病院薬剤学	職名 助教		概要	į
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	病院薬剤学 の主な業績	職名 助教		概要	į
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む)	職名 助教		概 要	į
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業)	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む)	職名 助教		概要	Į.
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業)	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む)	職名 助教		概 要	Į.
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業記 2 作成した教科書、教材、参考	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) き書	職名 助教		概要	Ĭ.
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業)	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) き書	職名 助教		概要	Į.
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業記 2 作成した教科書、教材、参考	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) き書	職名 助教		概 要	Ţ.
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教		概  要	Ţ.
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業記 2 作成した教科書、教材、参考	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教		概  要	Į.
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教		概要	Ĭ.
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動     教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫 (授業)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教			
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 永井 努	概要	
I 教育活動 教育実践上の	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	年 月 日	氏名 永井 努		
I 教育活動 教育実践上の	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 永井 努		
I 教育活動 教育実践上の	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 永井 努		
I 教育活動 教育実践上の	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 永井 努		
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業部) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 永井 努 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訂	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動 教育実践上の</li> <li>1 教育内容・方法の工夫 (授業)</li> <li>2 作成した教科書、教材、参え</li> <li>3 教育方法・教育実践に関する</li> <li>4 その他教育活動上特記すべき</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名称</li> </ul>	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 永井 努 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訂	ま (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業部) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 永井 努 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訂	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動 教育実践上の</li> <li>1 教育内容・方法の工夫 (授業)</li> <li>2 作成した教科書、教材、参え</li> <li>3 教育方法・教育実践に関する</li> <li>4 その他教育活動上特記すべき</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名称</li> </ul>	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 永井 努 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訂	ま (巻・号数)等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動 教育実践上の</li> <li>1 教育内容・方法の工夫 (授業)</li> <li>2 作成した教科書、教材、参え</li> <li>3 教育方法・教育実践に関する</li> <li>4 その他教育活動上特記すべき</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名称</li> </ul>	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 考書 5発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 永井 努 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訂	ま (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 伊 2. 学 1 II 伊 2. 学 1 II 伊	病院薬剤学 D主な業績 評価等を含む) 等書 5発表、講演等 き事項 (FDを含む)	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 永井 努 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訂	ま (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業語 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 III 研究活動 1.	病院薬剤学 D主な業績  PP価等を含む)  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 永井 努 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訂	ま (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業語 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 III 研究活動 1.	病院薬剤学 D主な業績  評価等を含む)  著書  3発表、講演等  本事項 (FDを含む)  「 <b>究活動につし</b> 「国近5年間に携わったもの 日本精神薬学会 評議員	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 永井 努 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訂	ま (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業語 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 III 研究活動 III 研究活動 1. 著書・論文等の名称 III 研究活動 III 研究 II  II	病院薬剤学 の主な業績  評価等を含む)  著書  3発表、講演等  5発表、講演等  5・事項 (FDを含む)  「中究活動につし  日本精神薬学会 評議員 日本病院薬剤師会 精神科	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別 ・ては別	氏名 永井 努  発行または発表の 年月 (西暦) <b>紙にて提</b> 認定審査委員会委員	発行所、発表雑訂	ま (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 III 研究活動 III III II III II II II II II II II II	病院薬剤学 D主な業績  評価等を含む)  著書  3発表、講演等  本事項 (FDを含む)  「 <b>究活動につし</b> 「国近5年間に携わったもの 日本精神薬学会 評議員	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別 ・ て は 別 ・ で は 別 ・ で は 別 ・ で は 別 ・ で は 別 ・ で は 別	氏名 永井 努  発行または発表の 年月 (西暦) <b>紙にて提</b> 認定審査委員会委員 ガイドライン改訂委員	発行所、発表雑訂	ま (巻・号数)等の名称

教育	育および研究活動(	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 薬学部病院薬剤学講座	職名	氏名 岡田 菜津美	ŧ	
I 教育活動	11			
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫	<u> </u>		1/4 🗴	
(授業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考書				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
#*************************************				
(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動	•			
┃ ┃1. 著書・論文等の名称	単著・	発行または発表の	% /===	(** 日**) 生のなむ
1. 有音・調入寺の石が 	共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
── II 研究活動につい	、ナル 川	紅ルナ坦	ш —	
	、しほか	一人に	ш	
2. 学3		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの	)数件)			
2021年4月 日本腫瘍循環器学会員	20117			
2021年4月 日本陸笏相垛桩于云真				
教	育および研究活動(	の業績一覧		
		の業績一覧    氏名 葛城怜子		
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学講座	育および研究活動(  職名 助教			
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学講座 I 教育活動	職名 助教		概 要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学講座 I 教育活動 教育実践上の主な業績			概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学講座 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学講座 I 教育活動 教育実践上の主な業績	職名 助教		概要	
大学名     昭和大学     部門名     病院薬剤学講座       I     教育活動       教育実践上の主な業績       1     教育内容・方法の工夫       なし     (授業評価等を含む)	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学部門名 病院薬剤学講座I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫 なし(授業評価等を含む)2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教		概要	
大学名     昭和大学     部門名     病院薬剤学講座       I     教育活動       教育実践上の主な業績       1     教育内容・方法の工夫       なし     (授業評価等を含む)	職名 助教		概 要	
大学名 昭和大学部門名 病院薬剤学講座I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫 なし(授業評価等を含む)2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教		概 要	
大学名 昭和大学部門名 病院薬剤学講座I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫 なし(授業評価等を含む)2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教		概 要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書 なし	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書 なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書 なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし	職名 助教		概 要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書 なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし       4 その他教育活動上特記すべき事項 なし (FDを含む)	職名 助教		概 要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	年 月 日		概 要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動	職名 助教			(米、口樂) 年の <b>8</b> 年
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書 なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし       4 その他教育活動上特記すべき事項 なし (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 葛城伶子	概要	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動	年 月 日	氏名 葛城怜子		(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 葛城怜子		(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 葛城怜子		(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学講座       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫なし (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書なし       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等なし       4 その他教育活動上特記すべき事項なし (FDを含む)       II 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 葛城怜子 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	

	1		育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 田中 道子		
I 教育活動					low	
	育実践上の主	とな業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の		価等を含む)				
2 作成した教科書、	教材、参考書		2021. 2	消化器疾患最新の治療	₹2021−2022	
3 教育方法・教育実	践に関する乳	<b></b> 老表、講演等				
4 その他教育活動上	特記すべき事	<b>∮項</b> <i>(FDを含む)</i>	2021. 7. 17	病院実習ワークショッ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			単著・共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
			八百〇万	+/1 (C/II)		
					_	
	<b>TII</b> '	究活動につい	ハナけり	糾にて坦	出 —	
2. 学结	, ועד	プルロラルー フィ	· C IA力!		ш _	
2. 于1				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		子云石
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な活動		<b>の</b> 数件)			
	., 0 = 0.11	, ( <u></u>				
		教	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 戸村 和希		
I 教育活動			•			
	育実践上の主	とな業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の				なし		
	(授業評价	<i>価等を含む)</i>				
	**** ***	<u></u>		<i>+</i> >1		
2 作成した教科書、	<b>软</b> 材、			なし		
0 ***	<del>吐 1 - 181 ナ</del> フ マ	N = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		+>1		
3 教育方法・教育実 	歧1−関9 句9	<b>节衣、</b> 再决寺		なし		
	44 1		2004 7 47			
4 その他教育活動上	特記すべき	<sup>事頃</sup> <i>(FDを含む)</i>	2021. 7. 17	病院実習指導者ワーク	7ショップ2021	
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
	研'	究活動につい	ハては別	紙にて提	出 🗀	
2. 学:	71,				_	学会名
				2520		, M H
Ⅲ 学会および社会にお	ける主な活動	動(直近5年間に携わったもの				
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		日本薬学会会員				
		日本医療薬学会会員				
		日本医療薬学会認定薬剤師	_			

		- 1. 1 - 2	- W /+ E-		
L W 5 - 275- L W - Lean 5 - +		育および研究活動(			
	<b>薬学部病院薬剤学講座</b>	職名 助教	氏名 江畠 麗		
I 教育活動 教育実践上の主	- +> 安结	<i>F</i>			ī
1 教育内容・方法の工夫	は未根	年月日	なし	似 女	
	<b>- 第 t 全 t へ t 、</b> )		4 C		
( <i>授耒評</i> 加	<i>画等を含む)</i>				
	<u> </u>		なし		
2 1F成した教科音、教例、参与音	<u> </u>		40		
3 教育方法・教育実践に関する発	《耒 港湾等		なし		
0 教育为从 教育关键区域,创	2. 两点寸				
4 その他教育活動上特記すべき事	事項		なし		
. (3)1838471838219187	(FDを含む)		0.0		
	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
Ⅱ 研究活動					
		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑詞	ま (巻・号数)等の名称
	<b>~~=</b>	. — /_ Di	/// / 1 <u></u>		
── II 研!	究活動につい	ヽては別	秕にて提	田	
2. 学:					学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	<u>」(直近5年間に携わったもの</u>	数件)			
2016年4月~	日本病院薬剤師会				
2017年5月~	日本医療薬学会				
	教育	育および研究活動(	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 佐藤真理子		
I 教育活動					
教育実践上の主	とな業績 ニューニー	年 月 日		概要	<u> </u>
1 教育内容・方法の工夫					
(授業評価	西等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考書	<u> </u>				
_ # #					
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事					
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
11 切九冶到		出去。	※仁士とは※主の		
1. 著書・論文等の名称		単著・	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑詞	ま (巻・号数)等の名称
		共著の別	平月(四層)		
_		_		_	
├── II 研!	究活動につい	ハイは別	紙にて堪	# =	
2. 学1		~ 10VI			
					<b>丁</b> 五日
Ⅲ 学会および社会における主な活動	カ (直近5年間に進わったまの	数件)			
<u> </u>	日本医療薬学会会員				
2017年~	日本臨床救急医学会会員				
2019年	青葉区消防操法技術訓練会参	▶加(優勝)			
2020年2月	COVID-19クルーズ船外活動参				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

	教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 稲垣 彩美		
I 教育活動					
教育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫		, ,,	なし		
	西等を含む)				
()又本計	W 4 2 B 0 /				
0 /	•		4-1		
2 作成した教科書、教材、参考書	Ť		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発	養、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事	項		なし		
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
_ 7/20/12/0		単著·	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		1	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
		共著の別	年月 (四階)		
777	カケチリーへい	· 1-1 DI	4f 1 +B	rtr 🔲	
── II 研!	究活動につい	ヽては別	粃にて掟		
2. 学:					学会名
			,,,,,,,		
Ⅲ 学会および社会における主な活動	h (南近5年間に進わったま <i>の</i>	<b>*たが</b> )			
		<b>/</b> 奴(下)			
2016年~現在	小児臨床薬理学会				
2016年~現在	日本母乳保育学会				
2019年~現在	日本臨床栄養代謝学会				
	教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名			の業績一覧    氏名 磯﨑 遥		
	教育病院薬剤学	育および研究活動 職名 助教			
I 教育活動	病院薬剤学	職名助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の主	病院薬剤学		氏名 磯﨑 遥	概 要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫	病院薬剤学な業績	職名助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫	病院薬剤学	職名助教	氏名 磯﨑 遥	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価	病院薬剤学 な業績	職名助教	氏名 磯崎 遥なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫	病院薬剤学 な業績	職名助教	氏名 磯﨑 遥	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価	病院薬剤学 な業績	職名助教	氏名 磯崎 遥なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価	病院薬剤学 な業績	職名助教	氏名 磯崎 遥なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価	病院薬剤学 な業績	職名助教	氏名 磯崎 遥なし	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書	病院薬剤学 な業績	職名助教	氏名 磯崎 遥 なし	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書	病院薬剤学 な業績	職名助教	氏名 磯崎 遥 なし	概要	
I 教育活動     教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発	病院薬剤学 な業績 <i>西等を含む)</i> ・	職名助教	氏名 磯崎 遥 なし なし	概要	
I 教育活動       教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫       (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書	病院薬剤学 な業績 <i>面等を含む)</i> は 素 、講演等	職名助教	氏名 磯崎 遥 なし	概要	
I 教育活動     教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発	病院薬剤学 な業績 <i>西等を含む)</i> ・	職名助教	氏名 磯崎 遥 なし なし	概要	
I 教育活動     教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発       4 その他教育活動上特記すべき事	病院薬剤学 な業績 <i>面等を含む)</i> は 素 、講演等	職名助教	氏名 磯崎 遥 なし なし	概要	
I 教育活動     教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発	病院薬剤学 な業績 <i>面等を含む)</i> は 素 、講演等	年月日	K名 磯崎 遥       なし       なし       なし	概要	
I 教育活動     教育実践上の主       1 教育内容・方法の工夫     (授業評価)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発       4 その他教育活動上特記すべき事	病院薬剤学 な業績 <i>面等を含む)</i> は 素 、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の	概要	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動	病院薬剤学 な業績 <i>面等を含む)</i> は 素 、講演等	年月日	K名 磯崎 遥       なし       なし       なし		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動	病院薬剤学 な業績 <i>面等を含む)</i> は 素 、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動	病院薬剤学 な業績 <i>面等を含む)</i> は 素 、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動	病院薬剤学 な業績 <i>面等を含む)</i> は 素 、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	病院薬剤学 な業績 <i>新等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	病院薬剤学 な業績 <i>新等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	病院薬剤学 な業績 <i>面等を含む)</i> は 素 、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事  Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	病院薬剤学 な業績 <i>新等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	病院薬剤学 な業績 <i>新等を含む)</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称  II 研究活動	病院薬剤学 な業績 悪等を含む) 法表、講演等 項 (FDを含む)	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称 Ⅲ 学会および社会における主な活動	病院薬剤学 な業績 <i>番等を含む)</i> 表、講演等 項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称 Ⅲ 学会および社会における主な活動 2016年~現在	病院薬剤学 な業績  ### ### ### ### ####################	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別 <b>へては別</b>	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価) 2 作成した教科書、教材、参考書 3 教育方法・教育実践に関する発 4 その他教育活動上特記すべき事 Ⅲ 研究活動 1. 著書・論文等の名称 Ⅲ 学会および社会における主な活動	病院薬剤学 な業績 <i>番等を含む)</i> 表、講演等 項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別 <b>*では別</b>	氏名 磯崎 遥なしなしなしない ない ない ない ない 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	

	教	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 横浜市北部病院	部門名 病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 木村 祐子		
I 教育活動				100	
教育 1 教育内容・方法のコ	育実践上の主な業績 	年月日	なし	概要	
□ 教育内谷・万法の□	L天 <i>(授業評価等を含む)</i>		4 C		
2 作成した教科書、教	<b>牧材、参考書</b>		なし		
3 教育方法・教育実践	<b>桟に関する発表、講演等</b>		なし		
4 その他教育活動上特	寺記すべき事項 <i>(FDを含む)</i>		なし		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の別	発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
2. 学:	研究活動につい	っては別	  紙にて提		≐会名
			702.1.7.	,	All
		- 404 54 5			
Ⅲ 学会および社会におり 2018年~現在	ナる主な活動(直近5年間に携わったもの 日本医療薬学会	70数件)			
2018年~現任	日本医療樂子云				
1 11/2 1 11/		育および研究活動			
大学名 昭和大学 I 教育活動	部門名 薬学部病院薬剤学講座	職名助教	氏名 楠裕美子		
	   実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法のこ	工夫				
	(授業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教	牧材、参考書				
2 粉杏士注,粉杏虫?	まに関する発表、講演等				
3 教育方法・教育美原	ズに関す 句光衣、講典寺				
4 その他教育活動上特	寺記すべき事項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
l I	研究活動につい	ハては別	紙にて提	出 —	
2. 学:					全会名
田 出合わしが社会にかけ					
	17 ナルば私(本に戸ケ門に供し、しし	D #F IH )			
Ⅲ 学会および社会におり	ナる主な活動(直近5年間に携わったもの <i>医療薬学会会員</i>	の数件)			
皿 子芸のより社会にあり	ナる主な活動(直近5年間に携わったもの 医療薬学会会員	の数件)			
皿 子云のよび社会にの!		の数件)			

			育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 徳永 愛美		
I 教育活動				_		
	教育実践上の主	こな業績 おおり こうしゅう	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法 		<i>価等を含む)</i>		なし		
2 作成した教科書	,教材、参考書			なし		
3 教育方法・教育	宇践に関する多	ž表、講演等		なし		
4 その他教育活動	上特記すべき乳	事項 <i>(FDを含む)</i>		なし		
Ⅱ 研究活動						
			単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名	i称 —————		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌 	(巻・号数) 等の名称
<b>—</b>						
	I 研;	究活動につい	ハては別	紙にて提		
2. 学到						学会名
	おける主な活動	が(直近5年間に携わったも	の数件)			
2019年~現在		日本緩和医療薬学会				
2021年~現在		日本臨床腫瘍薬学会				
		141		- W /+ E+		
	T		で育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名助教	氏名 服部 はるか		
I 教育活動	*/->	_ 1. Alt //=	1	1	ion ==	
	教育実践上の主	こな美領	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法 		<i>価等を含む)</i>				
2 作成した教科書	,教材、参考書	<u> </u>				
3 教育方法・教育	「実践に関する <sup>务</sup>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
3 教育方法・教育 4 その他教育活動		項				
4 その他教育活動						
		項				
4 その他教育活動	)上特記すべき	項	単著・共著の別	発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
4 その他教育活動	)上特記すべき	項			発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
4 その他教育活動	)上特記すべき	項			発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
4 その他教育活動	)上特記すべき	項			発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
4 その他教育活動 II 研究活動 1. 著書・論文等の名	)上特記すべき 引	事項 <i>(FDを含む)</i>	共著の別	年月(西暦)		(巻・号数) 等の名称
4 その他教育活動  I 研究活動  1. 著書・論文等の名	)上特記すべき 引	項	共著の別	年月(西暦)	出 =	
4 その他教育活動 II 研究活動 1. 著書・論文等の名	)上特記すべき 引	事項 <i>(FDを含む)</i>	共著の別	年月(西暦)	出 =	(巻・号数) 等の名称
4 その他教育活動 II 研究活動 1. 著書・論文等の名	)上特記すべき 引	事項 <i>(FDを含む)</i>	共著の別	年月(西暦)	出 =	
4 その他教育活動  I 研究活動  1. 著書・論文等の名  2. 学:	」上特記すべき 称	<sup>野頂</sup> (FDを含む) <b>究活動につ</b> し	八ては別	年月(西暦)	出 =	
4 その他教育活動  I 研究活動  1. 著書・論文等の名  2. 学:	」上特記すべき 称	<sup>事項</sup> (FDを含む) <b>究活動につし</b> 動(直近 5 年間に携わったも	八ては別	年月(西暦)	出 =	
4 その他教育活動  I 研究活動  1. 著書・論文等の名  2. 学:	」上特記すべき 称	<sup>野頂</sup> (FDを含む) <b>究活動につ</b> し	八ては別	年月(西暦)	出 =	

•	育および研究活動(			
大学名 昭和大学 部門名 薬学部病院薬剤学講座	職名 助教(実務)	氏名 関戸 匡恵		
I 教育活動         教育実践上の主な業績	年 月 日	1	概	
1 教育内容・方法の工夫	4 7 H		196	х
(授業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考書	2019/6/19	総合診療医がケース	で教える副作用を診	るロジック
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)				
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	<b>性誌 (巻・号数)等の名称</b>
	· — /_ []	/// / <u></u>		
<u>──</u> II 研究活動につし	ヽては別	秕にて提		
2. 学:				学会名
□ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの	\*h \/h \			
2019年4月~現在 日本臨床腫瘍学会 会員	/奴什/			
2020年12月~現在 日本医療薬学会				
2020年7277 现在				
•	育および研究活動(	,		
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学	育および研究活動∙  職名 助教	の業績一覧  氏名 中野 裕佳子		
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動	職名 助教	,	+BEE	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績		氏名 中野 裕佳子	概	<del>ĕ</del>
大学名 昭和大学部門名 病院薬剤学I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫	職名 助教	,	概	要
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績	職名 助教	氏名 中野 裕佳子	概	要
大学名 昭和大学部門名 病院薬剤学I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫	職名 助教	氏名 中野 裕佳子	概	要
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教	氏名 中野 裕佳子 なし なし	概	要
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名 助教	氏名 中野 裕佳子	概	要
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教	氏名 中野 裕佳子 なし なし	概	要
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	職名 助教	氏名 中野 裕佳子なしなし	概	要
大学名 昭和大学部門名 病院薬剤学I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)2 作成した教科書、教材、参考書3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等4 その他教育活動上特記すべき事項	職名 助教 年 月 日	氏名     中野 裕佳子       なし       なし       なし       なし	概	要
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	職名 助教	氏名 中野 裕佳子なしなし	概	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       Ⅲ 研究活動	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 中野 裕佳子なしなしなしなしないのである。 発行または発表の		
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中野 裕佳子なしなしなしなりを介または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       Ⅲ 研究活動	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中野 裕佳子なしなしなしなりを介または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中野 裕佳子なしなしなしなりを介または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       I 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中野 裕佳子 なし なし なし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	‡誌 (巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       I 研究活動       1. 著書・論文等の名称       II 研究活動につし       2. 学会発表 (評価対象年度のみ)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中野 裕佳子 なし なし なし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	‡誌 (巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学   部門名 病院薬剤学   I 教育活動   教育実践上の主な業績	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中野 裕佳子 なし なし なし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	‡誌 (巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       I 研究活動       1. 著書・論文等の名称       II 研究活動につし       2. 学会発表 (評価対象年度のみ)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中野 裕佳子 なし なし なし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	‡誌 (巻・号数)等の名称

		1.0					
	1 -		育および研究活動 -				
大学名 昭和大学	部門名 ;	病院薬剤学	職名 助教	氏名	久知良礼美		
I 教育活動			T				
	実践上の主な	ご業績 アンスティー	年 月 日			概	要
1 教育内容・方法のエ	.夫 <i>(授業評価</i> :	等 <i>を含む)</i>		なし			
2 作成した教科書、教	材、参考書			なし			
3 教育方法・教育実践	に関する発表	<b>長、講演等</b>		なし			
4 その他教育活動上特	記すべき事項	頁 <i>(FDを含む)</i>		なし			
Ⅱ 研究活動							
п мулизи			単著・	24.7	fまたは発表の		
1. 著書・論文等の名称			共著の別		または光衣の E月(西暦)	発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
			六石の加		77 (口/1)		
			·		· •-	_ •	
	研写	咒活動につい	ヽては別	無	にて提	ж	
2. 学:	717	U/H 2431 — D V	C 101/35	1124			学会名
, ,				<u> </u>			744
Ⅲ 学会お上が社会におけ	スまた活動	 (直近5年間に携わったもの	) 数 (生 )				
2015年9月~現在		<u>、直近3年間に扱わりた60</u> 医療薬学会会員	/奴[[]				
2017年6月~現在		△原来于云云頁 臨床腫瘍学会会員					
2018年1月~現在		<sup>臨休健場子云云貝</sup> 臨床腫瘍薬学会会員					
		<sup>临休健炀梁子云云貝</sup> 日本癌治療学会会員					
2018年8月~現在	Į!	口平畑石旗子云云貝					
		±4-7	ケン・レッパガロカンエチレ	の坐体	际仁		
1 24 72 NT T= 1 24	****		育および研究活動   Topic 2				
大学名 昭和大学	部門名 楽	学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名	山寺志保		
I 教育活動	実践上の主な	> 坐 4 =	<i>F</i>	1		概	要
		· 未限	年 月 日			1151	女
1 教育内容・方法のエ	-大 <i>(授業評価</i> :	±+ <b>△</b> +.)					
	(授未計劃=	<i>ਜਣਬਦ)</i>					
	+++						
2 作成した教科書、教	(例、参方音						
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	÷1-88+ 7 <b>%</b> =	= = # := /c					
3 教育方法・教育実践 ■	に関する発表	長、講演等					
3 教育方法・教育実践   	に関する発表	<b>長、講演等</b>					
3 教育方法・教育実践 4 その他教育活動上特		Ą					
4 その他教育活動上特		Ą					
		Ą		30.6			
4 その他教育活動上特		Ą	単著・		「または発表の ここで変数	発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特 研究活動		Ą	単著・共著の別		iまたは発表の F月(西暦)	発行所、発表系	雑誌 (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特 研究活動		Ą				発行所、発表和	雑誌 (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特 研究活動		Ą				発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特 研究活動		Ą				発行所、発表	雑誌 (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	記すべき事功	頁 (FDを含む)	共著の別	年	三月(西暦)		雑誌 (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	記すべき事功	Ą	共著の別	年	三月(西暦)		
4 その他教育活動上特 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	記すべき事功	頁 (FDを含む)	共著の別	年	三月(西暦)		雑誌 (巻・号数)等の名称 学会名
4 その他教育活動上特 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	記すべき事功	頁 (FDを含む)	共著の別	年	三月(西暦)		
4 その他教育活動上特 II 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II  2. 学1	記すべき事功	(FDを含む) に活動につし	*では別	年	三月(西暦)		
4 その他教育活動上特 II 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II  2. 学会  II  2. 学会	ででは、 では、 では、 では、 では、 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できまな、 できます。 できまな、 できるな、 できる。 できるな、 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな、 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できる。 できるな。 できる。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。	原 (FDを含む) <b>兄活動につし</b> (直近5年間に携わったもの	*では別	年	三月(西暦)		
4 その他教育活動上特 II 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II  2. 学1	ででは、 では、 では、 では、 では、 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できまな、 できます。 できまな、 できるな、 できる。 できるな、 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな、 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できる。 できるな。 できる。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。	(FDを含む) に活動につし	*では別	年	三月(西暦)		
4 その他教育活動上特 II 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II  2. 学会  II  2. 学会	ででは、 では、 では、 では、 では、 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できます。 できまな、 できます。 できまな、 できるな、 できる。 できるな、 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな、 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できる。 できるな。 できる。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。 できるな。	原 (FDを含む) <b>兄活動につし</b> (直近5年間に携わったもの	*では別	年	三月(西暦)		

		教	育および研究活動の	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 田中菜央		
I 教育活動						
	教育実践上の	主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法	の工夫		1			
		価等を含む)				
なし	(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	m 4 6 6 0 /				
2 作成した教科書	<b>##                                   </b>	<b>∌</b>				
2 TF成した教科音	、	<b>当</b>				
4. 1						
なし		7# 6/s				
3 教育方法・教育	実践に関する	<b>発表、講演等</b>				
なし						
4 その他教育活動	上特記すべき	事項				
		(FDを含む)				
なし						
Ⅱ 研究活動						
			単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名	称		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
			六石の加	十八 (口相)		
T T	I 研	究活動につい	<b>ハナけ</b> 別	紅ーナ坦	ш —	
	117T	九泊 乳ルー フし	、しほ別	一人に	<u> </u>	
2. 学到						学会名
Ⅲ 学会および社会に	おける主な活動	動(直近5年間に携わったもの	)数件)	•	•	
なし						
		+				
		+				
		教	育および研究活動(	,		
大学名 昭和大学	部門名	教育病院薬剤学講座	育および研究活動   職名 助教	の業績一覧  氏名 嶋﨑 真耶		
大学名 昭和大学 I 教育活動	部門名			,		
I 教育活動	部門名数育実践上の3	病院薬剤学講座		,	概要	
I 教育活動	教育実践上の	病院薬剤学講座	職名 助教	,	概 要	
I 教育活動	教育実践上の3 の工夫	病院薬剤学講座	職名 助教	,	概 要	
I 教育活動	教育実践上の3 の工夫	病院薬剤学講座	職名 助教	,	概 要	
I 教育活動 1 教育内容・方法	教育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i>	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教	,	概 要	
I 教育活動	教育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i>	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教	,	概 要	
I 教育活動 1 教育内容・方法	教育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i>	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教	,	概要	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書	教育実践上の <u>3</u> の工夫 <i>(授業評</i> 、教材、参考	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教	,	概要	
I 教育活動 1 教育内容・方法	教育実践上の <u>3</u> の工夫 <i>(授業評</i> 、教材、参考	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教	,	概要	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書	教育実践上の <u>3</u> の工夫 <i>(授業評</i> 、教材、参考	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教	,	概 要	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書	教育実践上の <u>3</u> の工夫 <i>(授業評</i> 、教材、参考	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教	,	概要	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書	教育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i> 、教材、参考 実践に関する3	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教	,	概要	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育	教育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i> 、教材、参考 実践に関する3	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教	,	概要	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育	教育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i> 、教材、参考 実践に関する3	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教	,	概 要	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動	教育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i> 、教材、参考 実践に関する3	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教	,	概 要	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考記 実践に関する会	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 嶋﨑 真耶	概要	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考記 実践に関する会	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 嶋﨑 真耶	概要	(巻・号数)等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考記 実践に関する会	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 嶋﨑 真耶		(巻・号数)等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考記 実践に関する会	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 嶋﨑 真耶		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考記 実践に関する会	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 嶋﨑 真耶		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考記 実践に関する会	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 嶋﨑 真耶		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動  1. 著書・論文等の名	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考報 実践に関する数 上特記すべき事	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 嶋崎 真耶 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動  1. 著書・論文等の名	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考報 実践に関する数 上特記すべき事	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 嶋崎 真耶 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動  1. 著書・論文等の名	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考報 実践に関する数 上特記すべき事	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 嶋崎 真耶 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動  1. 著書・論文等の名	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考報 実践に関する数 上特記すべき事	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 嶋崎 真耶 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅲ 研究活動  1. 著書・論文等の名	教育実践上の3 の工夫 (授業評 、教材、参考報 実践に関する数 上特記すべき事	病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 嶋崎 真耶 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅱ 研究活動  1. 著書・論文等の名	教育実践上の3の工夫 (授業評 、教材、参考1 実践に関する3 上特記すべき3	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 嶋崎 真耶 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅱ 研究活動  1. 著書・論文等の名	教育実践上の3の工夫 (授業評 、教材、参考1 実践に関する3 上特記すべき3	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b> 動(直近5年間に携わったもの	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 嶋崎 真耶 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅱ 研究活動  1. 著書・論文等の名	教育実践上の3の工夫 (授業評 、教材、参考1 実践に関する3 上特記すべき3	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 嶋崎 真耶 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法  2 作成した教科書  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  Ⅱ 研究活動  1. 著書・論文等の名	教育実践上の3の工夫 (授業評 、教材、参考1 実践に関する3 上特記すべき3	病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b> 動(直近5年間に携わったもの	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 嶋崎 真耶 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	

		教育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 船越 晴喜		
I 教育活動					
教育実践上の	主な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授業評</i>	価等を含む)		なし		
2 作成した教科書、教材、参考	書		卒業試験問題作成に関	<b>對与</b>	
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき	事項 <i>(FDを含む)</i>		なし		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
	究活動につ	いては別	紕にて提	出 —	
2. 学:	V 01 H - W 1	3 3 3 3 3 3 3		学	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活	動(直近5年間に携わった	<u>-</u> もの数件)		l	
2015年4月~	日本医療薬学会会員				
2015年4月~	日本臨床腫瘍薬学会会員				
2010177	口吁與你是為来了五五多				
		教育および研究活動	の業结一覧		
그 쓰 수 · 미 10 그 부 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>车</b> 哈莱刘兴建市		氏名 市村 丈典		
大学名       昭和大学       部門名         I       教育活動	病院薬剤学講座	職名助教	人名 中刊 大兴		
I 教育活動 教育実践上の	<b>→ +&gt; 娄</b> 结		1		
	土は未根	年 月 日	なし	似 安	
1 教育内容・方法の工夫 <i>(授業評</i>	価等を含む)		74 C		
2 作成した教科書、教材、参考	書		なし		
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき	事項 <i>(FDを含む)</i>		なし		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
	<b>売江梨ルー</b>	ハナルロ	女工   一 一 + 日	ய	
	究活動につ	ハ・(ほ別	」杌 に し 促	四	
2. 学:		·		学	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活	動(直近5年間に携わった	- もの数件)			
2012年4月~現在	日本医療薬学会会員				
2016年4月~現在	日本臨床腫瘍薬学会会」	8			

日本癌治療学会会員

2017年4月~現在

<b>★</b>	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学	職名 助教	氏名 喜田昌記		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の工夫		なし		
(授業評価等を含む)				
(及来の) 脚分と目む/				
O		+>1		
2 作成した教科書、教材、参考書		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項		なし		
(FDを含む)				
(10280)				
T 可免活動				
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称	単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
	共著の別	年月(西暦)	20137711 20 201EMO	(2 330 33 21)
	. <b></b> .			
<b>── II 研究活動につ</b> し	ハては別	紙にて提	₩ —	
			<b>-</b>	24 A B
2. 于1		7520		学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの	の数件)			
2015年10月~現在 日本緩和医療薬学会				
*/r	育および研究活動	の業績一覧		
·				
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学講座	職名助教	氏名 日向 美羽		
I 教育活動 P5 実習 (実務)	T	1		
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫		なし		
(授業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考書				
- 11770-10771111 77177 2 311		なし		
		なし		
		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なしなし		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) II 研究活動	<b>単著・</b>	なしなし		
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	単著・ 共奏の別	なしなし	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) II 研究活動	単著・共著の別	なしなし	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) II 研究活動		なしなし	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) II 研究活動		なしなし	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) II 研究活動		なしなし	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称	共著の別	なしなしなします。 発行または発表の 年月 (西暦)		(巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動につし	共著の別	なしなしなします。 発行または発表の 年月 (西暦)		(巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称	共著の別	なしなしなします。 発行または発表の 年月 (西暦)		(巻・号数) 等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動につし	共著の別	なしなしなします。 発行または発表の年月(西暦)		
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動につし	共著の別	なしなしなします。 発行または発表の年月(西暦)		
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動につい  2. 学:	八ては別	なしなしなします。 発行または発表の年月(西暦)		
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動につい  2. 学  II 研究活動につい  2. 学  II 研究活動につい	八ては別	なしなしなします。 発行または発表の年月(西暦)		
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動につい  2. 学:  II 研究活動につい  2. 学:  II 研究活動につい  2. 学:  II 研究活動にもの  A	八ては別	なしなしなします。 発行または発表の年月(西暦)		
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動につい  2. 学  II 研究活動につい  2. 学  II 研究活動につい	八ては別	なしなしなします。 発行または発表の年月(西暦)		

		教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 髙田 恵理子		
I 教育活動						
孝	教育実践上の	主な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の	の工夫					
	(授業評	価等を含む)				
	(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
2 作成した教科書、	教材 参考:	<b></b>				
2 下成した教育者	. <del>1</del> X171、2015					
0 ***** ***	<b>→</b>	2v ± ===================================				
3 教育方法・教育3	美践に関する	<b>羌衣、</b> 講演寺				
4 その他教育活動」	上特記すべき	事項				
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
	,,		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称	弥		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
			八百0万万	177 (=,0)		
T	I 研	究活動につい	、ナル 川	紅ーナ坦	<b>ш</b> —	
	זענ נ	九石野川〜 フし	、くしるか	和  - し   正	ш	
2. 学到						学会名
Ⅲ 学会および社会にお	おける主な活	動(直近5年間に携わったもの	)数件)			
		41 =		- NV 6-+ E		
			育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	教 [ 薬学部病院薬剤学講座	育および研究活動 開名 助教	の業績一覧 氏名 松井 美月		
I 教育活動		薬学部病院薬剤学講座				
I 教育活動	部門名	薬学部病院薬剤学講座			概要	
I 教育活動	教育実践上の:	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		概要	
I 教育活動	数育実践上の の工夫	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		概要	
I 教育活動	数育実践上の の工夫	薬学部病院薬剤学講座 主な業績	職名 助教		概要	
I 教育活動 者 1 教育内容・方法の	数育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概要	
I 教育活動	数育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概要	
I 教育活動 者 1 教育内容・方法の	数育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概要	
I 教育活動       4       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、	数育実践上の の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書	職名 助教		概要	
I 教育活動 者 1 教育内容・方法の	数育実践上の の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書	職名 助教		概要	
I 教育活動       4       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、	数育実践上の の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書	職名 助教		概要	
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育等	教育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> ・教材、参考 実践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動       4       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、	教育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> ・教材、参考 実践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育等	教育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> ・教材、参考 実践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育を       4 その他教育活動」	教育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> ・教材、参考 実践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育等	教育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> ・教材、参考 実践に関する:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
<ul><li>Ⅰ 教育活動</li><li>1 教育内容・方法の</li><li>2 作成した教科書、</li><li>3 教育方法・教育分</li><li>4 その他教育活動」</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教			
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育を       4 その他教育活動」	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 松井 美月	概要	: (巻・号数) 等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動</li><li>1 教育内容・方法の</li><li>2 作成した教科書、</li><li>3 教育方法・教育分</li><li>4 その他教育活動」</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 松井 美月		(巻・号数) 等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動</li><li>1 教育内容・方法の</li><li>2 作成した教科書、</li><li>3 教育方法・教育分</li><li>4 その他教育活動」</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 松井 美月		(巻・号数)等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動</li><li>1 教育内容・方法の</li><li>2 作成した教科書、</li><li>3 教育方法・教育分</li><li>4 その他教育活動」</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 松井 美月		(巻・号数)等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動  1. 著書・論文等の名称	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動  1. 著書・論文等の名称	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> </ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動  1. 著書・論文等の名称	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> </ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> <li>2. 学会</li> </ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育号</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> <li>2. 学会</li> </ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育号</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> <li>2. 学会</li> </ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育号</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> <li>2. 学会</li> </ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育号</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> <li>2. 学会</li> </ul>	教育実践上の: の工夫 (授業評 教材、参考 実践に関する 上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 松井 美月 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	

		対育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名:助教	氏名 柘植縁理佳		
I 教育活動					
教育実践上の主	な業績	年 月 日		概	要
1 教育内容・方法の工夫			なし		
2 作成した教科書、教材、参考書	:		なし		_
3 教育方法・教育実践に関する発	書 講演生		なし		
	2X 14/2X 17				
4 その他教育活動上特記すべき事	項		なし		
	(FDを含む)				
I 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表執	推誌 (巻・号数)等の名称
		八百07加	十八(口眉)		
	カ江弘につい	· / DI	   4ff   一 一 十日	:1:	
	究活動につい	ハくほ別	【    し    し    し    し    し    し	四	
2. 学到			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		学会名
Ⅱ 学会および社会における主な活動	(直近5年間に携わったも	の数件)			
なし					
	+/		0 # /= E		
1 W 5 - 1 W 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		対育および研究活動			
学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 染谷 梨沙		
[ 教育活動 ************************************	<b>+&gt; ₩ </b>	<b>上</b> 日 日	T	概	<b></b>
教育実践上の主 1 教育内容・方法の工夫	は未視	年月日	なし	恢	要
	<b>万等を含む</b> )		14C		
2 作成した教科書、教材、参考書	:		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事			なし		
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動		l			
1. 著書・論文等の名称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表執	推誌 (巻・号数)等の名称
		7(80%)	177 (3.11)		
	+ + = L	. — . L. E.	A4 1 10		
── II 研3	究活動につい	ハては別	粃にて提	<b>#</b>	
2. 学:					
- ** * * * * * * * * * * * * * * * * *					
Ⅲ 字会および社会における王な活動	(直近5年間に携わったも	の数件)			
	(直近5年間に携わったも 日本薬学会	の数件)			
2016年~現在		<b>の</b> 数件) 			
2016年~現在 2017年~現在	日本薬学会	の数件)			
Ⅲ 字会および社会における主な活動 2016年~現在 2017年~現在 2018年~現在 2019年~現在 2021年~現在	日本薬学会 日本医療薬学会	の数件)			

教	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学	職名 助教	氏名 伊藤 綾花		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫		なし		
(授業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考書		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項		なし		
(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動				
   1. 著書・論文等の名称	単著・	発行または発表の	20公司 20 字 W ===	(类、日数) 笠の名称
1. 有音・冊文寺の右仰	共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
■ 11 かかだもにった	· — / L DI	1411	ılı 🔲	
<b>── II 研究活動につし</b>	ヽては別	秕にて掟	田	
2. 学				学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの	0数件)			
なし				
· 数	育および研究活動	の業績一覧		
数 大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学	育および研究活動   職名 助教	の業績一覧  氏名 中田 麻里		
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学			概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名 助教	氏名 中田 麻里	概要	
大学名 昭和大学部門名 病院薬剤学I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫	職名 助教	氏名 中田 麻里   なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名 助教	氏名 中田 麻里	概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教	氏名 中田 麻里   なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名 助教	氏名 中田 麻里   なし   なし	概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教	氏名 中田 麻里   なし	概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教	氏名 中田 麻里   なし   なし	概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教	広名 中田 麻里 なし なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	職名 助教	氏名 中田 麻里   なし   なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	職名 助教	広名 中田 麻里 なし なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項	年 月 日	氏名 中田 麻里 なしなしなし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       II 研究活動	職名 助教 年 月 日	氏名 中田 麻里 なし なし なし なり 発行または発表の		(巻・号数) 笔の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	年 月 日	氏名 中田 麻里 なしなしなし	概要	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       II 研究活動	職名 助教 年 月 日	氏名 中田 麻里 なし なし なし なり 発行または発表の		(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       II 研究活動	職名 助教 年 月 日	氏名 中田 麻里 なし なし なし なり 発行または発表の		(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       II 研究活動	職名 助教 年 月 日	氏名 中田 麻里 なし なし なし なり 発行または発表の		(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       I 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中田 麻里 なし なし なし なし をし	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中田 麻里 なし なし なし なし をし	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       I 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中田 麻里 なし なし なし なし をし	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 中田 麻里 なし なし なし なし をし	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 中田 麻里 なし なし なし なし をし	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学       部門名 病院薬剤学         I 教育活動       教育実践上の主な業績         1 教育内容・方法の工夫	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 中田 麻里 なし なし なし なし をし	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 中田 麻里 なし なし なし なし をし	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学       部門名 病院薬剤学         I 教育活動       教育実践上の主な業績         1 教育内容・方法の工夫	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 中田 麻里 なし なし なし なし をし	発行所、発表雑誌	

			育およて	び研究活動の	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部	門名	薬学部病院薬剤学講座	職名		氏名 山口 天士		
I 教育活動							
教育実践		な業績	年	月日		概	要
1 教育内容・方法の工夫							
なし	授業評価	価等を含む)					
- 16-25   1. 46.76 - 46.44		<u> </u>	┼				
2 作成した教科書、教材、	、参考書	in the second se					
なし							
3 教育方法・教育実践に	明オスを		+-				
なし 教育方法・教育美域に	判り つカ	5衣、碑典守					
<i>A</i> C							
4 その他教育活動上特記で	すべき事		†				
なし	,	(FDを含む)					
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称			Ĕ	単著・	発行または発表の	発行所、発表雑	推誌 (巻・号数)等の名称
一、有百 喘入分少心心			共	著の別	年月 (西暦)	<b>光11</b> 別、无4×4	班 (台・万奴/ 寺の石雪の
						-	
	<b>TII</b> !	究活動につい	17	/ <b>+</b> 민/	紅にて坦	Щ.	
1 1	; ועד	九/白野川〜 ノぃ		しめ刀リ	利して近	ш	25 A 62
2. 学:					~~		学会名
Ⅲ 学会および社会における	主な活動	 カカ(直近5年間に携わったもの	カ数件)				
2016年5月~現在	T 0111	日本医療薬学会会員	730117				
2018年3月~現在		日本骨粗鬆症学会会員					
2019年10月~現在		日本リウマチ学会会員		-			
				-			
		教	育およて	び研究活動(	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部	門名	薬学部病院薬剤学講座	職名	助教	氏名 山口 芽衣		
I 教育活動					1		
教育実践		な業績	年	月日		概	要
1 教育内容・方法の工夫							
(;			1				
		価等を含む)					
- <i>1</i>	授業評価		20204		1、1/2、水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		stat de the est
2 作成した教科書、教材、	授業評価		2020年	Ę	オンラインで病院実習	のため模擬患者資	料を作成
2 作成した教科書、教材、	授業評価		2020年	F.	オンラインで病院実習 (病院実習2)	のため模擬患者資	料を作成
	<i>授業評値</i> 、参考書	P	2020年	<b>F</b>		のため模擬患者資	料を作成
2 作成した教科書、教材、3 教育方法・教育実践に	<i>授業評値</i> 、参考書	P	2020年	Ę		のため模擬患者資	料を作成
	<i>授業評値</i> 、参考書	P	2020年	Ę.		のため模擬患者資	料を作成
3 教育方法・教育実践に	授業評値 、参考書 関する発	<b>善</b> <b>*表、講演等</b>	2020年	<b>F</b>		のため模擬患者資	料を作成
	授業評値 、参考書 関する発	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2020年	Ę		のため模擬患者資	料を作成
3 教育方法・教育実践に	授業評値 、参考書 関する発	<b>善</b> <b>*表、講演等</b>	2020年	Ę		のため模擬患者資	料を作成
3 教育方法・教育実践に	授業評値 、参考書 関する発	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2020年	Ę.		のため模擬患者資	料を作成

	*/-	ケント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の **・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
1 W 5 075-1 W 1500 5		育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名助教	氏名 中谷香織		
I 教育活動		T		ADDT THE	
教育実践上の3	とな業績	年月日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
(授業評)	価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する	<b>発表、講演等</b>				
4 その他教育活動上特記すべき	事項				
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動		<b>'</b>	•		
		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
		六名の別	十万(日/日/		
	究活動につい	、ナルヤ	紅ルナ坦	ш —	
	プルロ 多川〜 フし	、こしみか	一人に		
2. 学组				学	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	動(直近5年間に携わったも <i>0</i> .	)数件)			
〇〇年4月~〇〇年3月	震災復旧ボランティア活動	(00地区 年2回	7、各1週間)		
〇〇年6月~現在	学会常任理事				
	OO学会論文審査員				
	日本薬子完美目※				
	日本薬学会会員※				
		育および研究活動	の業績一覧		
	教	育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名		育および研究活動  職名助教	の業績一覧    氏名古屋宏章		
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動	教育病院薬剤学	職名助教		<b>拇</b> 西	
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3	教育病院薬剤学		氏名古屋宏章	概要	
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫	教で 病院薬剤学 Eな業績	職名助教		概要	
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫	教育病院薬剤学	職名助教	氏名古屋宏章	概要	
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫     (授業評)	教育 病院薬剤学 Eな業績 <i>価等を含む)</i>	職名助教	氏名古屋宏章 なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫	教育 病院薬剤学 Eな業績 <i>価等を含む)</i>	職名助教	氏名古屋宏章	概要	
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫     (授業評)	教育 病院薬剤学 Eな業績 <i>価等を含む)</i>	職名助教	氏名古屋宏章 なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫     (授業評)	教育 病院薬剤学 Eな業績 <i>価等を含む)</i>	職名助教	なしなし	概要	
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫     (授業評)	教育 病院薬剤学 Eな業績 <i>価等を含む)</i>	職名助教	氏名古屋宏章 なし	概要	
大学名 昭和大学部門名I 教育活動教育実践上の31 教育内容・方法の工夫 (授業評)(授業評)2 作成した教科書、教材、参考記	教育 病院薬剤学 Eな業績 <i>価等を含む)</i>	職名助教	なしなし	概要	
大学名 昭和大学部門名I 教育活動教育実践上の31 教育内容・方法の工夫 (授業評)(授業評)2 作成した教科書、教材、参考記	教育 病院薬剤学 Eな業績 <i>価等を含む)</i>	職名助教	なしなし	概要	
大学名 昭和大学部門名I 教育活動教育実践上の31 教育内容・方法の工夫 (授業評)(授業評)2 作成した教科書、教材、参考記	教育 病院薬剤学 三な業績 <i>価等を含む)</i> 書	職名助教	なしなし	概要	
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する第	教育 病院薬剤学 三な業績 <i>価等を含む)</i> 書	職名助教	なしなし	概要	
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する第	教育 病院薬剤学 三な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名助教	なしなし	概要	
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する第	教育 病院薬剤学 三な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名助教	なしなし	概要	
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する3       4 その他教育活動上特記すべき       II 研究活動	教育 病院薬剤学 三な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年 月 日	なしなしなし		
大学名 昭和大学部門名I 教育活動教育実践上の31 教育内容・方法の工夫 (授業評)(授業評)2 作成した教科書、教材、参考記3 教育方法・教育実践に関する34 その他教育活動上特記すべき記	教育 病院薬剤学 三な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名助教 年 月 日 単著・	氏名古屋宏章 なし なし なし なし をし	概要	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する3       4 その他教育活動上特記すべき       II 研究活動	教育 病院薬剤学 三な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年 月 日	なしなしなし		(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学     部門名       I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考       3 教育方法・教育実践に関する3       4 その他教育活動上特記すべき       II 研究活動	教育 病院薬剤学 三な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名助教 年 月 日 単著・	氏名古屋宏章 なし なし なし なし をし		(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	教育 病院薬剤学 こな業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なしなしなしなしなしなり なし なし なし を行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	教育 病院薬剤学 こな業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なしなしなしなしなしなり なし なし なし を行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	教育 病院薬剤学 三な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なしなしなしなしなしなり なし なし なし を行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	教育 病院薬剤学 こな業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なし なし なし 発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	教育 病院薬剤学 こな業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なしなしなしなしなしなり なし なし なし を行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	教育 病院薬剤学 こな業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なし なし なし 発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考記 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき記 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	教育病院薬剤学 三な業績 価等を含む) 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なし なし なし 発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 2. 学会発表(評価対象年度のみ)	教育病院薬剤学  Eな業績  価等を含む)  E・表、講演等  F・現 (FDを含む)  「 <b>究活動につじ</b> の (直近5年間に携わったもの	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なし なし なし 発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考記 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき記 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	教育病院薬剤学 三な業績 価等を含む) 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なし なし なし 発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学 部門名 I 教育活動 教育実践上の3 1 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 2. 学会発表(評価対象年度のみ)	教育病院薬剤学  Eな業績  価等を含む)  E・表、講演等  F・現 (FDを含む)  「 <b>究活動につじ</b> の (直近5年間に携わったもの	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名古屋宏章 なし なし なし 発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	

教育	育および研究活動(	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学	職名 助教	氏名 永田 卓也		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫	T // H	なし	1/10 💢	
		4 C		
(授業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考書		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし		
		なし		
		74 C		
(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動	•	•		
┃ ┃1. 著書・論文等の名称	単著・	発行または発表の	<b>※仁正 ※士/#</b> #	(# 日料) 生の名称
1. 有音・端入寺の石が	共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
	.,,.,.			
── II 研究活動につい	/ ナル回	単に 十世	ш —	
	、しほか	一人に	ш	
2. 学3		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの)	)数件)		•	
なし	20117			
\( \frac{1}{2} \)				
教	育および研究活動(	の業績一覧		
	1	の業績一覧  氏名 阿部 和正		
大学名 昭和大学 部門名 薬剤部	育および研究活動(  職名			
大学名 昭和大学 部門名 薬剤部 I 教育活動	職名		概	
大学名 昭和大学 部門名 薬剤部 I 教育活動 教育実践上の主な業績	1		概 要	
大学名 昭和大学部門名 薬剤部I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫	職名		概要	
大学名 昭和大学 部門名 薬剤部 I 教育活動 教育実践上の主な業績	職名		概要	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名		概要	
大学名 昭和大学部門名 薬剤部I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫	職名		概 要	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名		概 要	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名		概 要	
大学名 昭和大学 部門名 薬剤部 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 2 作成した教科書、教材、参考書	職名		概要	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名		概 要	
大学名 昭和大学 部門名 薬剤部 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 2 作成した教科書、教材、参考書	職名		概要	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	職名		概要	
大学名 昭和大学部門名 薬剤部I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)2 作成した教科書、教材、参考書3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等4 その他教育活動上特記すべき事項	職名		概要	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	職名		概 要	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	職名		概 要	
大学名 昭和大学部門名 薬剤部I 教育活動教育実践上の主な業績1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)2 作成した教科書、教材、参考書3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等4 その他教育活動上特記すべき事項	職名		概要	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       II 研究活動	職名			
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	職名 年月日	氏名 阿部 和正	概 要	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       II 研究活動	年月日	氏名 阿部 和正		(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       II 研究活動	職名 年月日	氏名 阿部 和正		(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       II 研究活動	職名 年月日	氏名 阿部 和正		(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       II 研究活動	職名 年月日	氏名 阿部 和正		(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 年月日 単著・ 共著の別	氏名 阿部 和正 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 年月日 単著・ 共著の別	氏名 阿部 和正 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 年月日 単著・ 共著の別	氏名 阿部 和正 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 年月日 単著・ 共著の別	氏名 阿部 和正 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 年月日 単著・ 共著の別	氏名 阿部 和正 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	単著・共著の別	氏名 阿部 和正 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	単著・共著の別	氏名 阿部 和正 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	単著・共著の別	氏名 阿部 和正 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 薬剤部       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	単著・共著の別	氏名 阿部 和正 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	

<b></b>						
	1		教育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学講座	職名:助教	氏名 石井 俊一		
I 教育活動		1 alla fab		1		
	育実践上の主	とな業績 おおり こうしゅう	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の3		<b>西等を含む</b> )		なし		
2 作成した教科書、	教材、参考書	<u></u>		なし		
3 教育方法・教育実	践に関する発	<b>能表、講演等</b>		なし		
4 その他教育活動上 <sup>9</sup>	特記すべき事	§項 <i>(FDを含む)</i>		なし		
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			単著・共著の別	発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
			· · ·	[A= I=		
II II	研	究活動につ	いては別	紙にて提		
2. 学到						学会名
	ける主な活動	<u> </u>	もの数件)			
2019年~現在		日本医療薬学会				
2020年~現在		日本循環器病予防学会				
2021年~現在		日本循環器学会				
				- 111. (-1- 17)-		
	T. == .		教育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学	職名 助教	氏名 伊波樹		
I 教育活動		1 alla fab		1		
	育実践上の主	とな業績 おおり こうしゅう	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の) - -		<i>而等を含む)</i>		なし		
2 作成した教科書、	教材、参考書	<u> </u>		なし		
3 教育方法・教育実 3 教育方法・教育実	践に関する発	表、講演等		なし		
4 その他教育活動上	特記すべき事	<sup>耳項</sup> <i>(FDを含む)</i>		なし		
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
l I	<b>XII</b> 9	究活動につ	ハナルロ	糾にア坦	出 —	
	: וער	プロシリー ノ	ひってはのか			<b>*</b> ^ <i>p</i>
2. 学到				2020		学会名
Ⅲ 当△♪ しがし ハー い	<b>ルフナル</b> ザニ	も /古にた田に生し	t			
	いる土な活動	<u>」(直近5年間に携わった3</u> <i>東京都庁院変割年の会員</i>	もの剱件)			
2017年4月~現在 2017年4月~現在		東京都病院薬剤師会会員				
2017年4月~現在		日本病院薬剤師会会員				

	教	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名岡田 貴裕		
I 教育活動					
教育実践上の言	主な業績	年 月 日		概要	5
1 教育内容・方法の工夫					
(授業評)	価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考	<u>*</u>				
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき	事項				
	(FDを含む)				
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
Ⅱ 研究活動					
		単著·	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑詞	誌 (巻・号数)等の名称
		八百 07///	177 (1767		
				_	
── II 研	究活動につい	1711日別	紙にて堤	<b>/</b> H. ⊢	
2. 学		C 100/1:		_	
2. +1			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		子云石
Ⅲ 学会および社会における主な活動	動 (直近5年間に推わったする	D *h /h )			
			□ 夕 4 '用目!		
00年4月~00年3月	震災復旧ボランティア活動	(〇〇地区 年2世	1、谷「迴间)		
〇〇年6月~現在	<i>学会常任理事</i>				
	OO学会論文審査員				
	日本薬学会会員※				
	40.		- Nr /+ CF		
		育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	教 薬学部病院薬剤学講座	育および研究活動 職名 助教	の業績一覧 氏名 岡本 まとか		
I 教育活動	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		lor -	
I 教育活動 教育実践上の3	薬学部病院薬剤学講座			概  要	Tr. C
I 教育活動       教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		概  要	T.
I 教育活動       教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		概要	11.
I 教育活動         教育実践上の部           1 教育内容・方法の工夫         (授業評)	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概 要	ī t
I 教育活動       教育実践上の       1 教育内容・方法の工夫	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概 要	ī ;
I 教育活動         教育実践上の部           1 教育内容・方法の工夫         (授業評)	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概 要	
I 教育活動         教育実践上の部           1 教育内容・方法の工夫         (授業評)	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概    要	
I 教育活動         教育実践上の部           1 教育内容・方法の工夫         (授業評)	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教		概    要	<u>;</u>
I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考1	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教		概    要	<u>.</u>
I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考1	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教		概 要	
I 教育活動     教育実践上の3       1 教育内容・方法の工夫 (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考1	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概 要	
I 教育活動     教育実践上の部       1 教育内容・方法の工夫     (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考報       3 教育方法・教育実践に関する意	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概  要	
I 教育活動     教育実践上の記載       1 教育内容・方法の工夫     (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考記載       3 教育方法・教育実践に関する記載       4 その他教育活動上特記すべき記載	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概 要	
I 教育活動     教育実践上の部       1 教育内容・方法の工夫     (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考報       3 教育方法・教育実践に関する意	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動 教育実践上の3 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教			
I 教育活動     教育実践上の記載       1 教育内容・方法の工夫     (授業評)       2 作成した教科書、教材、参考記載       3 教育方法・教育実践に関する記載       4 その他教育活動上特記すべき記載	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 岡本 まとか	概要	
I 教育活動 教育実践上の3 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 岡本 まとか		
I 教育活動 教育実践上の3 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 岡本 まとか		
I 教育活動 教育実践上の3 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日	氏名 岡本 まとか		
I 教育活動 教育実践上の3 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考記 3 教育方法・教育実践に関する3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき 3 研究活動 1 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 岡本 まとか 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訓	
<ul> <li>▼ 教育活動</li> <li>▼ 教育実践上の記載</li> <li>1 教育内容・方法の工夫         (授業評)</li> <li>2 作成した教科書、教材、参考記載</li> <li>3 教育方法・教育実践に関する意味</li> <li>4 その他教育活動上特記すべきます</li> <li>Ⅲ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名称</li> </ul>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 岡本 まとか 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訓	
I 教育活動 教育実践上の3 教育実践上の3 教育内容・方法の工夫 (授業評) 2 作成した教科書、教材、参考記 3 教育方法・教育実践に関する3 教育方法・教育実践に関する3 4 その他教育活動上特記すべき 3 研究活動 1 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 岡本 まとか 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訓	
<ul> <li>▼ 教育活動</li> <li>▼ 教育実践上の記載</li> <li>1 教育内容・方法の工夫         (授業評)</li> <li>2 作成した教科書、教材、参考記載</li> <li>3 教育方法・教育実践に関する意味</li> <li>4 その他教育活動上特記すべきます</li> <li>Ⅲ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名称</li> </ul>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 岡本 まとか 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訓	志 (巻・号数)等の名称
<ul> <li>▼ 教育活動</li> <li>▼ 教育実践上の記載</li> <li>1 教育内容・方法の工夫         (授業評)</li> <li>2 作成した教科書、教材、参考記載</li> <li>3 教育方法・教育実践に関する意味</li> <li>4 その他教育活動上特記すべきます</li> <li>Ⅲ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名称</li> </ul>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 岡本 まとか 常行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訓	志 (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の記	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 岡本 まとか 常行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訓	志 (巻・号数)等の名称
<ul> <li>▼ 教育活動</li> <li>▼ 教育実践上の記載</li> <li>1 教育内容・方法の工夫         (授業評)</li> <li>2 作成した教科書、教材、参考記載</li> <li>3 教育方法・教育実践に関する意味</li> <li>4 その他教育活動上特記すべきます</li> <li>Ⅲ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名称</li> </ul>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 岡本 まとか 常行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訓	志 (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の記	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b> 動(直近5年間に携わったもの	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 岡本 まとか 常行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑訓	志 (巻・号数)等の名称

		教	育および研究活動の	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 髙橋 伸幸		
I 教育活動		and the second Still of Midrodia				
	数育実践上の3	また業績	年 月 日		概要	
		こる未順	<u> </u>		1/4 又	
1 教育内谷・万法は		Company (Company)				
	(授業評	価等を含む)				
2 作成した教科書、	教材、参考	書				
3 教育方法・教育	実践に関する	発表 講演等				
o MHM MHM	/wi-lxi / U.	NO SEC MITTOR OF				
		±				
4 その他教育活動」	上特記すべき					
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
	,		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名	尓		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
			六名の別	十八 (口相)		
7	7 777	曲ケモリー	· — /_ 🖂	44 I 10	111	
	I研	究活動につい	ヽては別	妣にて提		
2. 学1			Q 10.,50			
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				7527		7.5.1
	L	51 /+vr = 1-101-141	> 3kL I/I \			
世 学会おより任会にな	らける土な活動	動(直近5年間に携わったもの -	) 剱件)			
		数	育および研究活動	の業績一覧		
十一岁 四和十一	如田夕		育および研究活動(			
大学名 昭和大学	部門名	教 薬学部病院薬剤学講座	育および研究活動( 職名 助教	の業績一覧  氏名 古田 康之		
I 教育活動		薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		inr 32	
I 教育活動	数育実践上の3	薬学部病院薬剤学講座			概要	
I 教育活動	数育実践上の3	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		概要	
I 教育活動	数育実践上の3 の工夫	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		概要	
I 教育活動	数育実践上の3 の工夫	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教		概要	
I 教育活動 オ 1 教育内容・方法の	数育実践上の3 D工夫 <i>(授業評</i>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概要	
I 教育活動	数育実践上の3 D工夫 <i>(授業評</i>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概要	
I 教育活動 オ 1 教育内容・方法の	数育実践上の3 D工夫 <i>(授業評</i>	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む)	職名 助教		概要	
I 教育活動 オコー 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	数育実践上の <u>3</u> 加工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書	職名 助教		概要	
I 教育活動 オ 1 教育内容・方法の	数育実践上の <u>3</u> 加工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書	職名 助教		概要	
I 教育活動 オコー 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	数育実践上の <u>3</u> 加工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書	職名 助教		概要	
I 教育活動 オコー 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	数育実践上の <u>3</u> 加工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書	職名 助教		概要	
I 教育活動 オコー 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	教育実践上の3 カエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考者 実践に関する多	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育等	教育実践上の3 カエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考者 実践に関する多	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育等	教育実践上の3 カエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考者 実践に関する多	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育等       4 その他教育活動。	教育実践上の3 カエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考者 実践に関する多	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教		概要	
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育等	教育実践上の3 カエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考者 実践に関する多	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 古田 康之	概要	
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考) 実践に関する会	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 古田 康之		(巻・号数) 笙の名称
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育等       4 その他教育活動。	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考) 実践に関する会	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 古田 康之	概要	(巻・号数)等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考) 実践に関する会	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 古田 康之		(巻・号数)等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考) 実践に関する会	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 古田 康之		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考) 実践に関する会	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 古田 康之		(巻・号数)等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動  1. 著書・論文等の名称	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考者 実践に関する会 上特記すべき事	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動  1. 著書・論文等の名称	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考者 実践に関する会 上特記すべき事	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育3</li> <li>4 その他教育活動。</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名積</li> </ul>	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考者 実践に関する会 上特記すべき事	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動  II 研究活動  1. 著書・論文等の名称	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考者 実践に関する会 上特記すべき事	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育3</li> <li>4 その他教育活動。</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名積</li> </ul>	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考者 実践に関する会 上特記すべき事	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育3</li> <li>4 その他教育活動。</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名積</li> </ul>	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考者 実践に関する会 上特記すべき事	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育3 4 その他教育活動。 Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称 2. 学乳	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考: 実践に関する会 上特記すべき:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育 4 その他教育活動。  II 研究活動 1. 著書・論文等の名  2. 学ま  II 学会および社会に  2. 学ま	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考: 実践に関する会 上特記すべき:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b> 動(直近5年間に携わったもの	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育3 4 その他教育活動。 Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称 2. 学乳	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考: 実践に関する会 上特記すべき:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育 4 その他教育活動。  II 研究活動 1. 著書・論文等の名  2. 学ま  II 学会および社会に  2. 学ま	教育実践上の3 D工夫 (授業評 教材、参考: 実践に関する会 上特記すべき:	薬学部病院薬剤学講座 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b> 動(直近5年間に携わったもの	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 古田 康之 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	

	教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	助教	氏名 佐伯美沙		
I 教育活動					
教育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫			なし		
(授業評価	西等 <i>を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参考書	1		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事	红百		なし		
	・・ス <i>(FDを含む)</i>				
	(175,00)				
Ⅱ 研究活動					
<u>п</u> мгусицэю		単著・	発行または発表の		
1. 著書・論文等の名称		共著の別	年月(西暦)	発行所、発表雑詞	ま (巻・号数)等の名称
		共有の別	平月(四周)		
				_	
── II 研!	究活動につい	、ナ /十回	メニア坦		
	九/ロ邦川へ フし	, C (みか)	がいって死	.ш	
2. 学1					学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動		)数件)			
	なし				
	教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 田中志津子		
I 教育活動					
教育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
(授業評価	<i>描等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参考書	<u> </u>				
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等				
3 教育方法・教育実践に関する発   	表、講演等				
3 教育方法・教育実践に関する発   	表、講演等				
3 教育方法・教育実践に関する発生 4 その他教育活動上特記すべき					
	<b>耳項</b>				
	<b>耳項</b>				
4 その他教育活動上特記すべき ¶ 研究活動	<b>耳項</b>	単著・	発行または発表の		
4 その他教育活動上特記すべき事	<b>耳項</b>	単著・共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑詞	ま (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき ¶ 研究活動	<b>耳項</b>	単著・共著の別		発行所、発表雑詞	ま (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき ¶ 研究活動	<b>耳項</b>			発行所、発表雑誌	ま (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき ¶ 研究活動	<b>耳項</b>			発行所、発表雑訓	ま (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動  1. 著書・論文等の名称	写項 <i>(FDを含む)</i>	共著の別	年月(西暦)		も (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動  1. 著書・論文等の名称	写項 <i>(FDを含む)</i>	共著の別	年月(西暦)		も (巻・号数)等の名称
4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	<b>耳項</b>	共著の別	年月(西暦)		
4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動  1. 著書・論文等の名称	写項 <i>(FDを含む)</i>	共著の別	年月(西暦)		志 (巻・号数)等の名称 学会名
4 その他教育活動上特記すべき事 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	写項 <i>(FDを含む)</i>	共著の別	年月(西暦)		
4 その他教育活動上特記すべき事  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II   II   II   II   II   II   II   I	究活動につし	*では別	年月(西暦)		
4 その他教育活動上特記すべき事  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動   <sup>項</sup> <i>(FDを含む)</i> <b>究活動につし</b> (直近5年間に携わったもの	*では別	年月(西暦)			
4 その他教育活動上特記すべき事  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動  2. 学  II   「学会および社会における主な活動  2020年4月~現在	項 (FDを含む) <b>究活動につし</b> (直近5年間に携わったもの 日本化学療法学会会員	*では別	年月(西暦)		
4 その他教育活動上特記すべき事  I 研究活動  1. 著書・論文等の名称  II 研究活動   <sup>項</sup> <i>(FDを含む)</i> <b>究活動につし</b> (直近5年間に携わったもの	*では別	年月(西暦)			

	育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名 薬学部病院薬剤学	職名 助教	氏名 平出 美紀		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫		なし		
(授業評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考書		なし		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特記すべき事項		なし		
(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動				
   1. 著書・論文等の名称	単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
	共著の別	年月 (西暦)	光刊	(含・ケ奴)寺の石柳
一 ロカエチルへに	\ <b></b>	化[   一 一   十日	ய	
<u> </u>	・しは別	杌 〜し掟	四	
2. 学:				学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの	)数件)			
なし				
	育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学	育および研究活動  職名 助教	の業績一覧  氏名 前田 絵里加		
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動	職名 助教		Day we	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績		氏名 前田 絵里加	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教		概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績	職名 助教	氏名 前田 絵里加	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名 助教	氏名 前田 絵里加	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教	氏名 前田 絵里加	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名 助教	氏名 前田 絵里加	概要	
大学名 昭和大学 部門名 病院薬剤学 I 教育活動 教育実践上の主な業績 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) 2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教	氏名 前田 絵里加 なし なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	職名 助教	氏名 前田 絵里加	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書	職名 助教	氏名 前田 絵里加 なし なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	職名 助教	氏名 前田 絵里加	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項	職名 助教	氏名 前田 絵里加 なし なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	職名 助教	氏名 前田 絵里加	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	職名 助教	氏名 前田 絵里加	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項	年 月 日	氏名     前田     絵里加       なし       なし       なし	概要	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。	概要	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       Ⅲ 研究活動	年 月 日	氏名     前田     絵里加       なし       なし       なし		(巻・号数) 等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       Ⅲ 研究活動	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。		(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       Ⅲ 研究活動	職名 助教 年 月 日 単著・	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。		(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       I 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。 発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       I 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。 発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。 発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)       2 作成した教科書、教材、参考書       3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)       I 研究活動       1. 著書・論文等の名称	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。 発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名 助教 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。 発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。 発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。 発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	
大学名 昭和大学     部門名 病院薬剤学       I 教育活動     教育実践上の主な業績       1 教育内容・方法の工夫	職名助教 年月日 単著・ 共著の別	氏名 前田 絵里加なしなしなしなしなります。 発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌	

			教育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学	職名 助教	氏名 米澤夏里		
I 教育活動						
教	育実践上の主	主な業績	年 月 日		概 要	Ę
1 教育内容・方法の	エ夫			なし		
	(授業評	価等を含む)				
2 作成した教科書、	教材、参考	書		なし		
3 教育方法・教育実	実践に関する タ	発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上	特記すべき	事項		なし		
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
1 英書 於立生の夕新	-		単著・	発行または発表の	30 /- =r 30 ± +#:	+ /* D*\ # 0.2.*
1. 著書・論文等の名称	,		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称
	-					
		究活動につ	いては別	紐にて提	·⊞	
2. 学:	71	) U/ H	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1121 - 126	·	
						1 2 1
Ⅲ 学会および社会にお	こける主か注意	動(直近5年間に携わった	・4.の数件)			
<b>並 子女のみの社会に</b> の	<u> </u>	なし	. 0 0 9 9 11 7			
		74.0				
<u> </u>						
			<b>払去れしが町の</b> 活動	0 类结		
ᆂᄴᄼᇚᄁᇷᆂᄴ	±0.88 €2	<b>产心茶女儿光等</b>	教育および研究活動	,		
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学講座	教育および研究活動 職名	の業績一覧    氏名磯部 順哉		
I 教育活動			職名	,	+BEC 28	5
I 教育活動 教	育実践上の主			,	概  要	74
I 教育活動	7育実践上の3 0工夫	主な業績	職名	,	概 要	E C
I 教育活動 教	7育実践上の3 0工夫		職名	,	概 要	E C
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の	で育実践上の3 )工夫 <i>(授業評</i>	<b>上</b> な業績 <i>価等を含む)</i>	職名	,	概 要	E C
I 教育活動 教	で育実践上の3 )工夫 <i>(授業評</i>	<b>上</b> な業績 <i>価等を含む)</i>	職名	,	概 要	Ę
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の	で育実践上の3 )工夫 <i>(授業評</i>	<b>上</b> な業績 <i>価等を含む)</i>	職名	,	概 要	Ę
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	(育実践上の主 )工夫 <i>(授業評)</i> 教材、参考書	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書	職名	,	概	Ę
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の	(育実践上の主 )工夫 <i>(授業評)</i> 教材、参考書	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書	職名	,	概	Ę
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	(育実践上の主 )工夫 <i>(授業評)</i> 教材、参考書	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書	職名	,	概	Ę
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育実	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 数は、参考記 とこれでは、「関する多	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名	,	概	Ē
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 数は、参考記 とこれでは、「関する多	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名	,	概 要	Ē
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育実	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 数は、参考記 とこれでは、「関する多	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名	,	概	<u>E</u>
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育実       4     その他教育活動上	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 数は、参考記 とこれでは、「関する多	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名	,	概	<u>E</u>
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育実	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 数は、参考記 とこれ、	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年 月 日	氏名磯部 順哉	概  零	5 K
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育実       4     その他教育活動上	で育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考記 の 数材、参考記 の の で の で で で で で で で で で で で で で	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年月日	氏名磯部 順哉		
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動	で育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考記 の 数材、参考記 の の で の で で で で で で で で で で で で で	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年 月 日	氏名磯部 順哉	概  要	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動	で育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考記 の 数材、参考記 の の で の で で で で で で で で で で で で で	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年月日	氏名磯部 順哉		
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動	で育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考記 の 数材、参考記 の の で の で で で で で で で で で で で で で	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年月日	氏名磯部 順哉		
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動	で育実践上の3 の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考記 の 数材、参考記 の の で の で で で で で で で で で で で で で	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年月日	氏名磯部 順哉		
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 登践に関する第	主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	単著・共著の別	氏名磯部 順哉 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1.著書・論文等の名称	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 を選に関するう	主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	単著・共著の別	氏名磯部 順哉 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 を選に関するう	主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	単著・共著の別	氏名磯部 順哉 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1.著書・論文等の名称	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 を選に関するう	主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	単著・共著の別	氏名磯部 順哉 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1.著書・論文等の名称	(育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 を選に関するう	主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	単著・共著の別	氏名磯部 順哉 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 2. 学会	育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 器践に関する3 特記すべき記	主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 年月日 単著・ 共著の別 いては別	氏名磯部 順哉 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 2. 学会	育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 器践に関する3 特記すべき記	Eな業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名 年月日 単著・ 共著の別  いては別	氏名磯部 順哉 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 2. 学1 II 学会および社会にお	育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 器践に関する3 特記すべき記	Eな業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につ</b> 動 (直近5年間に携わった	職名 年月日 単著・ 共著の別  いては別	氏名磯部 順哉 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 2. 学: III 学会および社会にお ○○年4月~○○年3月	育実践上の3 )工夫 (授業評) 教材、参考記 器践に関する3 特記すべき記	Eな業績  価等を含む)  書  発表、講演等  事項 (FDを含む) <b>究活動につ</b> 励(直近5年間に携わった 震災復旧ボランティア流	職名 年月日 単著・ 共著の別  いては別	氏名磯部 順哉 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑	誌 (巻・号数)等の名称

			教育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 永尾美智瑠		
I 教育活動						
教	対育実践上の3	主な業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法の	り工夫					
	(授業評	『価等を含む)				
2 作成した教科書、	教材、参考:	書				
3 教育方法・教育3	実践に関する:	発表、講演等				
4 その他教育活動」	L特記すべき	事項	2021. 1. 10	OSCE評価		
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称	<del>ب</del>		単著・	発行または発表の	20 /- =r 20 ± 1,4 =+	(# D#) # 0 D T
1. 有音・冊入寺の石を	小		共著の別	年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
			—			
	I 研	究活動につ	いては別	紕にて提	出 —	
2. 学:		<b>7</b> 01 PL 201	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			学会名
				7524		724
Ⅲ 学会および社会にお	さける主な活	動(直近5年間に携わった	+,の数件)			
m j Association	317 W T - 67H	場 (世紀 0 平間)に扱わりの	. 0 0 9 9 11 7			
<u> </u>						
			数容む上が研究活動	の業績一覧		
十学夕 四和十学	如阳夕	<b>在贮</b> 蓝刻类	教育および研究活動		吉珊夲	
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学	教育および研究活動 職名 薬剤師	の業績一覧   氏名 大城(仙北屋)	真理奈	
I 教育活動			職名 薬剤師			
I 教育活動 教	対育実践上の				真理奈 概 要	
I 教育活動	対育実践上の D工夫	主な業績	職名 薬剤師			
I 教育活動 教	対育実践上の D工夫		職名 薬剤師	氏名 大城(仙北屋)		
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の	対育実践上の: D工夫 <i>(授業評</i>	主な業績 『価等を含む〉	職名 薬剤師			
I 教育活動 教	対育実践上の: D工夫 <i>(授業評</i>	主な業績 『価等を含む〉	職名 薬剤師	氏名 大城(仙北屋)		
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の	対育実践上の: D工夫 <i>(授業評</i>	主な業績 『価等を含む〉	職名 薬剤師	氏名 大城 (仙北屋)		
I 教育活動 教育内容・方法の 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	対育実践上の: Dエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考:	主な業績 <i>『価等を含む)</i> 書	職名 薬剤師	氏名 大城(仙北屋)		
I 教育活動 教 1 教育内容・方法の	対育実践上の: Dエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考:	主な業績 <i>『価等を含む)</i> 書	職名 薬剤師	氏名 大城 (仙北屋)		
I 教育活動 教育内容・方法の 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	対育実践上の: Dエ夫 <i>(授業評</i> 教材、参考:	主な業績 <i>『価等を含む)</i> 書	職名 薬剤師	氏名   大城 (仙北屋)   なし   なし		
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育身	教育実践上の: D工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考: 実践に関する:	主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等	職名 薬剤師	氏名 大城 (仙北屋)		
I 教育活動 教育内容・方法の 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、	教育実践上の: D工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考: 実践に関する:	主な業績 <i>評価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 薬剤師	氏名   大城 (仙北屋)   なし   なし		
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育身	教育実践上の: D工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考: 実践に関する:	主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等	職名 薬剤師	氏名   大城 (仙北屋)   なし   なし   なし		
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育身       4 その他教育活動」	教育実践上の: D工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考: 実践に関する:	主な業績 <i>評価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 薬剤師	氏名   大城 (仙北屋)   なし   なし		
I     教育活動       1     教育内容・方法の       2     作成した教科書、       3     教育方法・教育身	教育実践上の: D工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考: 実践に関する:	主な業績 <i>評価等を含む)</i> 書 発表、講演等	田田	氏名   大城 (仙北屋)   なし   なし   なし   なし   なし		
<ul><li>Ⅰ 教育活動</li><li>割 教育内容・方法の</li><li>2 作成した教科書、</li><li>3 教育方法・教育身</li><li>4 その他教育活動」</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	対育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき	主な業績 <i>評価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 薬剤師 年 月 日	氏名 大城 (仙北屋) なし なし なし 発行または発表の	概要	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育身       4 その他教育活動」	対育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する:	主な業績 <i>評価等を含む)</i> 書 発表、講演等	田田	氏名   大城 (仙北屋)   なし   なし   なし   なし   なし		(巻・号数)等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動</li><li>割 教育内容・方法の</li><li>2 作成した教科書、</li><li>3 教育方法・教育身</li><li>4 その他教育活動」</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	対育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する:	主な業績 <i>評価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 薬剤師 年 月 日	氏名 大城 (仙北屋) なし なし なし 発行または発表の	概要	(巻・号数)等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動</li><li>割 教育内容・方法の</li><li>2 作成した教科書、</li><li>3 教育方法・教育身</li><li>4 その他教育活動」</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	対育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する:	主な業績 <i>評価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 薬剤師 年 月 日	氏名 大城 (仙北屋) なし なし なし 発行または発表の	概要	(巻・号数)等の名称
<ul><li>Ⅰ 教育活動</li><li>割 教育内容・方法の</li><li>2 作成した教科書、</li><li>3 教育方法・教育身</li><li>4 その他教育活動」</li><li>Ⅱ 研究活動</li></ul>	対育実践上の: の工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考 実践に関する:	主な業績 <i>評価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 薬剤師 年 月 日	氏名 大城 (仙北屋) なし なし なし 発行または発表の	概要	(巻・号数)等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育身</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅲ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> </ul>	対育実践上の: D工夫 (授業評 教材、参考: 実践に関する: 上特記すべき:	主な業績 <i>P価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 ( <i>FDを含む</i> )	職名 薬剤師 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 大城 (仙北屋) なしなしなしなし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動       1 教育内容・方法の       2 作成した教科書、       3 教育方法・教育身       4 その他教育活動」       I 研究活動       1. 著書・論文等の名和	対育実践上の: D工夫 (授業評 教材、参考: 実践に関する: 上特記すべき:	主な業績 <i>評価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 薬剤師 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 大城 (仙北屋) なしなしなしなし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育身</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅲ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> </ul>	対育実践上の: D工夫 (授業評 教材、参考: 実践に関する: 上特記すべき:	主な業績 <i>P価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 ( <i>FDを含む</i> )	職名 薬剤師 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 大城 (仙北屋) なしなしなしなし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育身</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> </ul>	対育実践上の: D工夫 (授業評 教材、参考: 実践に関する: 上特記すべき:	主な業績 <i>P価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 ( <i>FDを含む</i> )	職名 薬剤師 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 大城 (仙北屋) なしなしなしなし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育身</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> </ul>	対育実践上の: D工夫 (授業評 教材、参考: 実践に関する: 上特記すべき:	主な業績 <i>P価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 ( <i>FDを含む</i> )	職名 薬剤師 年 月 日 単著・ 共著の別	氏名 大城 (仙北屋) なしなしなしなし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育身</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅲ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> <li>2. 学会</li> </ul>	対育実践上の: の工夫 グ授業評 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき・	主な業績 <i>P価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 ( <i>FDを含む</i> )	職名薬剤師 年月日 単著・共著の別	氏名 大城 (仙北屋) なしなしなしなし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>Ⅰ 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育身</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅱ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> <li>2. 学ま</li> </ul>	対育実践上の: の工夫 グ授業評 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき・	主な業績 変価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名薬剤師 年月日 単著・共著の別	氏名 大城 (仙北屋) なしなしなしなし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
I 教育活動  1 教育内容・方法の  2 作成した教科書、  3 教育方法・教育  4 その他教育活動」  II 研究活動  1. 著書・論文等の名和  2. 学:	対育実践上の: の工夫 グ授業評 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき・	主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>空の活動につ</b> 動(直近5年間に携わった	職名薬剤師 年月日 単著・共著の別	氏名 大城 (仙北屋) なしなしなしなし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	
<ul> <li>I 教育活動</li> <li>1 教育内容・方法の</li> <li>2 作成した教科書、</li> <li>3 教育方法・教育身</li> <li>4 その他教育活動」</li> <li>Ⅲ 研究活動</li> <li>1. 著書・論文等の名和</li> <li>2. 学ョ</li> <li>Ⅲ 学会および社会によ 2010年~現在</li> </ul>	対育実践上の: の工夫 グ授業評 教材、参考 実践に関する: 上特記すべき・	主な業績 『価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)  ・ <b>究活動につ</b> 動 (直近5年間に携わった 日本医療薬学会会員	職名薬剤師 年月日 単著・共著の別	氏名 大城 (仙北屋) なしなしなしなし なし 発行または発表の 年月 (西暦)	発行所、発表雑誌	

		教	育および研究活動	の業績一覧			
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学	職名 助教 (薬	氏名 野口排	石馬		
I 教育活動							
教育	育実践上の言	<b>主な業績</b>	年 月 日			概要	
1 教育内容・方法のこ	工夫			なし			
	(授業評	価等を含む)					
2 作成した教科書、教	<b>教材、参考</b>	書		なし			
	10. DD L = 1						
3 教育方法・教育実践	きに関する き	<b>発表、講演寺</b>		なし			
 4 その他教育活動上物	はむすべきで	<b>東</b> 1百		なし			
4 ての他教育活動工作	付配りへる	<sub>尹頃</sub> <i>(FDを含む)</i>		なし			
		(102 80)					
Ⅱ 研究活動							
1. 著書・論文等の名称			甲省 "	発行または		発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
11 110000000000000000000000000000000			井芸の団	左日 / 开	- EE /	7011771 705X4EBO	(2 320 40 11)
II	ፗ	究活動につい	、ナルヤ	幺丘1一-	プ担に	<b>⋣</b>	
11	וער	九泊到にフリ	<u>, CI&amp;か</u>	利し	CIE	Ц	
2. 学会発表(評価対象分	年度のみ)			発表年	・月	<u> </u>	学会名
Ⅲ 学会および社会におり	する主な活動	動(直近5年間に携わったもの	の数件)				
		なし					
		<b>数</b>	育および研究活動	の業績一覧			
大学名 昭和大学	部門名	教 薬学部病院薬剤学講座	育および研究活動 職名 助教(薬科)		悟		
大学名 昭和大学 I 教育活動	部門名		育および研究活動 職名 助教(薬科)		悟		
I 教育活動	部門名	薬学部病院薬剤学講座			悟	概要	
I 教育活動	う実践上の3 エ夫	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教(薬科)		悟	概要	
I 教育活動 教育	う実践上の3 エ夫	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教(薬科)		悟	概 要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ	育実践上のヨ エ夫 <i>(授業評</i> )	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 <i>価等を含む</i> )	職名 助教(薬科)		悟	概要	
I 教育活動 教育	育実践上のヨ エ夫 <i>(授業評</i> )	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 <i>価等を含む</i> )	職名 助教(薬科)		悟	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ	育実践上のヨ エ夫 <i>(授業評</i> )	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 <i>価等を含む</i> )	職名 助教(薬科)		悟	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、教	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考1	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬科)		悟	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考1	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬科)		悟	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、教	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考1	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬科)		悟	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のご 2 作成した教科書、表 3 教育方法・教育実証	等実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 段材、参考記 浅に関する会	薬学部病院薬剤学講座 Eな業績 価等を含む) 書	職名 助教(薬科)		悟	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実品	等実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 段材、参考記 浅に関する会	薬学部病院薬剤学講座 Eな業績 価等を含む) 書	職名 助教(薬科)		悟	概 要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のご 2 作成した教科書、表 3 教育方法・教育実証	等実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 段材、参考記 浅に関する会	薬学部病院薬剤学講座 Eな業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教(薬科)		悟	概 要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のご 2 作成した教科書、表 3 教育方法・教育実証	等実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 段材、参考記 浅に関する会	薬学部病院薬剤学講座 Eな業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 青木		概 要	
I 教育活動       教育       1 教育内容・方法のご       2 作成した教科書、表現       3 教育方法・教育実践       4 その他教育活動上集	等実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 段材、参考記 浅に関する会	薬学部病院薬剤学講座 Eな業績 価等を含む) 書 発表、講演等	職名 助教(薬科)		発表の	概要	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の3 2 作成した教科書、4 3 教育方法・教育実置 4 その他教育活動上物質 II 研究活動	等実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 段材、参考記 浅に関する会	薬学部病院薬剤学講座 Eな業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 青木	発表の		(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の3 2 作成した教科書、4 3 教育方法・教育実置 4 その他教育活動上物質 II 研究活動	等実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 段材、参考記 浅に関する会	薬学部病院薬剤学講座 Eな業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 青木	発表の		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ 2 作成した教科書、計 3 教育方法・教育実証 4 その他教育活動上特 II 研究活動 1.著書・論文等の名称	育実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考1 践に関する参 持記すべき』	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	年月日	発行または ケー / エ	X発表の 5年\	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ 2 作成した教科書、計 3 教育方法・教育実証 4 その他教育活動上特 II 研究活動 1.著書・論文等の名称	育実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考1 践に関する参 持記すべき』	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	年月日	発行または ケー / エ	X発表の 5年\	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実証 4 その他教育活動上特 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II	育実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考言 践に関する参 特記すべき <sup>3</sup>	薬学部病院薬剤学講座 Eな業績 価等を含む) 書 発表、講演等	年月日	氏名 青木 発行または かんしょう (本)	て提上	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ 2 作成した教科書、計 3 教育方法・教育実証 4 その他教育活動上特 II 研究活動 1.著書・論文等の名称	育実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考言 践に関する参 特記すべき <sup>3</sup>	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	年月日	発行または ケー / エ	て提上	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実証 4 その他教育活動上特 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II	育実践上の言 工夫 <i>(授業評</i> 教材、参考言 践に関する参 特記すべき <sup>3</sup>	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	年月日	氏名 青木 発行または かんしょう (本)	て提上	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実施 4 その他教育活動上 1 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 2. 学会発表(評価対象4	育実践上の言 工夫 (授業評) 教材、参考記 践に関する意 持記すべき記	薬学部病院薬剤学講座  Eな業績  価等を含む)  書  発表、講演等  事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名助教(薬科)年月日	氏名 青木 発行または かんしょう (本)	て提上	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実施 4 その他教育活動上 1 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 2. 学会発表(評価対象4	育実践上の言 工夫 (授業評) 教材、参考記 践に関する意 持記すべき記	薬学部病院薬剤学講座 上な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む)	職名助教(薬科)年月日	氏名 青木 発行または かんしょう (本)	て提上	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実施 4 その他教育活動上 1 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 2. 学会発表(評価対象4	育実践上の言 工夫 (授業評) 教材、参考記 践に関する意 持記すべき記	薬学部病院薬剤学講座  Eな業績  価等を含む)  書  発表、講演等  事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名助教(薬科)年月日	氏名 青木 発行または かんしょう (本)	て提上	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実施 4 その他教育活動上 1 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 2. 学会発表(評価対象4	育実践上の言 工夫 (授業評) 教材、参考記 践に関する意 持記すべき記	薬学部病院薬剤学講座  Eな業績  価等を含む)  書  発表、講演等  事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b>	職名助教(薬科)年月日	氏名 青木 発行または かんしょう (本)	て提上	発行所、発表雑誌	

		教育	<b>育および研究活動</b>	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学	職名 助教 (薬	氏名 太田 晃		
I 教育活動			•	•		
教育	実践上の	主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法のこ		価等を含む)				
2 作成した教科書、教	数材、参考	<b>:</b>				
3 教育方法・教育実践	浅に関する	発表、講演等				
4 その他教育活動上特	寺記すべき₹	事項 <i>(FDを含む)</i>		OSCE評価者 OSCE評価者	-	
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			里者 ·	発行または発表の ケロ (悪歴)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
			#=	左日 (本田)		
II II	矼	究活動につい	、ナルリ	紅ーナ坦	ш	
11	וער	九/白男川〜 フリ	, C I あか	利にして注		
2. 学会発表(評価対象年	年度のみ)			発表年・月	学	会名
Ⅲ 学会および社会におり	ける主な活動	動(直近5年間に携わったもの	)数件)			
		教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	衛生薬学	職名 助教 (薬科	氏名 黒瀧 アン里		
I 教育活動						
教育	実践上の	<b>主な業績</b>	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法のコ		価等を含む)	2020, 2021	病院実習(調剤業務、	病棟業務、術前外来指導	<b>)</b>
2 作成した教科書、教	<b>教材、参考</b>					
3 教育方法・教育実践	浅に関する	発表、講演等				
4 その他教育活動上特	寺記すべき	事項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			甲者・	発行または発表の 年日 (悪歴)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
II II	<b>7</b> .II	究活動につい	ノナけ即	紙ーブ坦	ж 🗔	
		プロシープ	· し (みか)	がいして江		
2. 学会発表(評価対象年	年度のみ)			発表年・月	学	会名
Ⅲ 学会および社会におり	†る主な活動	動(直近5年間に携わったも $\sigma$	)数件)			
2017~2021		東京都病院薬剤師会会員				
						<del></del>

	+1	+ L. I = 2TT + 1T = 1	0 W / t		
		育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学	職名 講師	氏名 三井 奈緒		
I 教育活動					
教育実践上の	)主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫		1 // -		170 🔍	
(授業)	評価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考	:書				
3 教育方法・教育実践に関する	<b>分発表、講演等</b>				
		1			
4 その他教育活動上特記すべき	5 事 垻				
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
		里省'	************************************	30.7r 30+ +#=+	/# D#L\ #
1. 著書・論文等の名称		##>"	左旦 (亜麻)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
── II 砑	F究活動につい	17/11別	紙にて堤	.ж. —	
1 1 P/		ייניאו			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学	学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活	f動(直近5年間に携わったもσ	<b>)</b> 数件)			
		育および研究活動			
十学夕 叨和十学 如明夕		育および研究活動(	,		
大学名 昭和大学 部門名	教   薬学部病院薬剤学講座	_	の業績一覧 氏名 竹安 葵		
I 教育活動	薬学部病院薬剤学講座	職名助教(薬科)	,		
	薬学部病院薬剤学講座	_	,	概要	
I 教育活動	薬学部病院薬剤学講座	職名助教(薬科)	,	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	薬学部病院薬剤学講座 )主な業績	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	薬学部病院薬剤学講座	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵	概 要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業)	薬学部病院薬剤学講座 D主な業績 呼価等を含む)	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫	薬学部病院薬剤学講座 D主な業績 呼価等を含む)	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業)	薬学部病院薬剤学講座 D主な業績 呼価等を含む)	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業)	薬学部病院薬剤学講座 D主な業績 呼価等を含む)	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 (学価等を含む)	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業)	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 (学価等を含む)	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 (学価等を含む)	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 (学価等を含む)	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵なし	概要	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え 3 教育方法・教育実践に関する	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 (ア価等を含む) 香書 (分発表、講演等	職名助教(薬科)	<ul><li>氏名 竹安 葵</li><li>なし</li><li>なし</li><li>なし</li></ul>		
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 が呼価等を含む) 香書 の発表、講演等	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD	ワークショップ	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え 3 教育方法・教育実践に関する	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 (ア価等を含む) 香書 (分発表、講演等	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD		
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 が呼価等を含む) 香書 の発表、講演等	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD	ワークショップ	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え 3 教育方法・教育実践に関する	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 が呼価等を含む) 香書 の発表、講演等	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学)	ワークショップ	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 が呼価等を含む) 香書 の発表、講演等	職名助教(薬科)	氏名 竹安 葵 なし なし なし なに 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学)	ワークショップ 講座教育実践学部門)	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 が呼価等を含む) 香書 の発表、講演等	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学)	ワークショップ	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 が呼価等を含む) 香書 の発表、講演等	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし なに 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学)	ワークショップ 講座教育実践学部門)	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 が呼価等を含む) 香書 の発表、講演等	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし なに 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学)	ワークショップ 講座教育実践学部門)	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参え 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 が呼価等を含む) 香書 の発表、講演等	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし なに 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学)	ワークショップ 講座教育実践学部門)	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 D主な業績 PF価等を含む)  活書  G発表、講演等  F事項 (FDを含む)	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学)  発行または発表の	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 が呼価等を含む) 香書 の発表、講演等	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学)  発行または発表の	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 Table Ta	薬学部病院薬剤学講座 D主な業績 PF価等を含む)  活書  G発表、講演等  F事項 (FDを含む)	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学) 発行または発表の た日 (悪質)	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	薬学部病院薬剤学講座 D主な業績 PF価等を含む)  活書  G発表、講演等  F事項 (FDを含む)	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学)  発行または発表の	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 Table Ta	薬学部病院薬剤学講座 D主な業績 PF価等を含む)  活書  G発表、講演等  F事項 (FDを含む)	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学) 発行または発表の た日 (悪質)	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 Table Ta	薬学部病院薬剤学講座 D主な業績 PF価等を含む)  活書  G発表、講演等  F事項 (FDを含む)	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学) 発行または発表の た日 (悪質)	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 研究活動 II 研究活動 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 III 研究活動 II 研究 II M II M	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 でア価等を含む) 活書 の発表、講演等 でいる。 では、	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日 ・ では別	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学) 発行または発表の た日 (悪質)	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 III 研究活動 III 研究系统 III III II	薬学部病院薬剤学講座  ②主な業績  『呼価等を含む)  言書  ③発表、講演等  『平のできます (FDを含む)  「中究活動につし  「いますない」  「いまする (正成5年間に携わったもの)	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日 ・ では別	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学) 発行または発表の た日 (悪質)	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 夢会発表 (評価対象年度のみ) □ 学会および社会における主な 2017年4月~現在	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 の主な業績 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表・講演等 の発表・ の発表・ の発表・ の表現・一般 のまま の表現・一般 の表現 の表現・一般 のまま のまま のまま のまま のまま のまま のまま のまま のまま のま	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日 ・ では別	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学) 発行または発表の た日 (悪質)	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 III 研究活動 III 研究系统 III III II	薬学部病院薬剤学講座  ②主な業績  『呼価等を含む)  言書  ③発表、講演等  『平のできます (FDを含む)  「中究活動につし  「いますない」  「いまする (正成5年間に携わったもの)	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日 ・ では別	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学) 発行または発表の た日 (悪質)	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育実践上の 1 教育内容・方法の工夫 (授業) 2 作成した教科書、教材、参表 3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき II 研究活動 1. 著書・論文等の名称 II 夢会発表 (評価対象年度のみ) □ 学会および社会における主な 2017年4月~現在	薬学部病院薬剤学講座 の主な業績 の主な業績 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表、講演等 の発表・講演等 の発表・ の発表・ の発表・ の表現・一般 のまま の表現・一般 の表現 の表現・一般 のまま のまま のまま のまま のまま のまま のまま のまま のまま のま	職名助教 (薬科) 年 月 日 2021年4月17日 ・ では別	氏名 竹安 葵 なし なし なし 臨床研修薬剤師のFD (薬学部薬学教育学) 発行または発表の た日 (悪質)	ワークショップ 講座教育実践学部門) 発行所、発表雑誌	

			教育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教(薬科	斗氏名 出口 智一		
I 教育活動						
	教育実践上の	主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法		·価等を含む)				
2 作成した教科書	、教材、参考	書				
3 教育方法・教育	実践に関する	発表、講演等				
4 その他教育活動	上特記すべき	事項 <i>(FDを含む)</i>				
Ⅱ 研究活動	TL		単者・	発行または発表の	20/2-75 20 ± 54/2-1	(# D#) # 0 P.Th
1. 著書・論文等の名	林		###	左日 (亜麻)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
_		<b></b>	—			
	I 研	究活動につ	いては別	紙にて提	出 —	
2. 学会発表(評価対		<b></b>	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	発表年・月		
2. 子云光衣(計仙》	多年長のみ)			光衣牛・月	7	子云石
			t - du tit i			
	おける主な活	動(直近5年間に携わった	もの数件)			
2019年2月~現在		日本医療薬学会会員				
2021年9月~現在		日本循環器学会準会員				
			教育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学	職名助教(薬科)	氏名 德留真優		
I 教育活動				· ·		
	教育実践上の	⇒た業績	年 月 日		概 要	
 1 教育内容・方法		上る木根	T 77 H	なし	100 9	
1 教育的各 7 万万		価等を含む)		<i>7</i> 4 C		
2 作成した教科書	、教材、参考	書		なし		
3 教育方法・教育	宇宙に関する	及主 · ≢ 定 生		+> I		
3 教育万法・教育	夫成に関する:	<b>无衣、</b> 碑,便寺		なし		
4 その他教育活動	上特記すべき	事項		なし		
. (3/10/27/13/	,	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名	称		甲省 •	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
			# # # # # #	左日 / 無味)		
1	τ τπ	売紅乳につ	1.740	1 &ff ! —	LL	
	I 研	究活動につ	いくしるが		Д	
2. 学会発表(評価対				発表年・月		 学会名
- ・ 1 本 20 SX (日   III / 2)				7024 71		
Ⅲ 学会および社会に	セルスナナンエ	動(直近5年間に携わった	土の粉件)			
血 子云のより任芸に	のいの土な店!		つの奴件/			
		なし				

		および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名 統	括薬剤部	職名 助教(楽	氏名 稲本真弓		
I 教育活動					
教育実践上の主な	業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫					
<i>(授業評価等</i>	<i>を含む)</i>				
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表	=# := <del>-</del>				
3 教育方法・教育美域に関する光衣	、再决守				
4 その他教育活動上特記すべき事項					
	(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名称		里者・	発行または発表の 左見 (悪歴)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
		_		_	
├── II 研究	活動につい	ては別	紙にて提	出 —	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		C 10173	発表年・月		学会名
2. 子云宪衣 (評価対象年度のみ)			光衣牛・月	Ť	- 云石
Ⅲ 学会および社会における主な活動()	直近5年間に携わったもの	数件)			
	本病院薬剤師会	20117			
	本医療薬学会				
日	本臨床救急医学会				
		および研究活動			
· ·	院薬剤学	職名 助教(薬科)	氏名 井上 裕美子		
I 教育活動	Alt. 1/4			10F	
教育実践上の主な 1 教育内容・方法の工夫	<b></b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年 月 日		概要	
1 教育内谷・万法の工大   <i>(授業評価等</i>	(た合か)				
()及朱計圖寺	280/				
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表	、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項					
	(FDを含む)				
T TT 加工					
Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称		甲者 •	発行または発表の	発行所、発表雑誌	 (巻・号数) 等の名称
1. 有音:端文等の石物		###	左日 (五麻)	光刊別、光仪相談	(合・方数) 寺の石柳
研究	7年制にへい	ナル	紅ーナ	ш	
	活動につい	へいるか	がして使	<u>Д</u>	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学	学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動(	直近5年間に携わったもの	数件)			

<u>.</u>	教	育および研究活動			
大学名 昭和大学 部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名 助教(薬科	氏名 柏渕 弓佳		
I 教育活動					
教育実践上のヨ	主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫			なし		
(授業評	価等を含む)				
2 作成した教科書、教材、参考	<b>*</b>		なし		
3 教育方法・教育実践に関する。	発表 講演等		なし		
	10 X 11 17 X 17				
4 その他教育活動上特記すべき	<b>東西</b>		なし		
4 での他教育治動工符記すべる。	<sub>ザ년</sub> <i>(FDを含む)</i>		<i>'</i> & C		
	(FDEAC)				
<b></b>					
Ⅱ 研究活動		早者'	<b>発行または発表の</b>		(W = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
1. 著書・論文等の名称		###	左旦 (玉田)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
── II 研	究活動につい	ハナけり	糾にて垾	出	
11 19/1		יינלטו			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学	学会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	動(直近5年間に携わったもの	の数件)			
2018年4月~現在	日本病院薬剤師会				
2018年4月~現在	日本医療薬学会				
2020年4月~現在	日本薬学会				
	数	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学 部門名	病院薬剤学講座	職名 助教薬科			
I 教育活動	77370X(713.3 H17744	190 D 1935/KIT	20 300		
教育実践上の	・ た業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の工夫		1 // -		1/1/2	
	価等を含む)		なし		
(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	m 4, 5 1 0 /				
2 作成した教科書、教材、参考	<b>₽</b>				
2 「F級した教育者、教育、参考)	=		なし		
			4 C		
	~ ± =± '=' /*				
3 教育方法・教育実践に関する	<b>光表、講演寺</b>				
			なし		
4 その他教育活動上特記すべき					
	(FDを含む)		なし		
Ⅱ 研究活動		里者 ·	挙行士だけを赤か		
1. 著書・論文等の名称		井有 井英の回	発行または発表の 左旦 (基度)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
─ Ⅱ 研	究活動につい	171十日	紙にア坦	ж 🗔	
11 197	プルロサルー ノリ	・しるか		ш	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			発表年・月	学	会名
Ⅲ 学会および社会における主な活動	動(直近5年間に携わったもの				
	日本病院薬剤師会会員				
	神奈川県病院薬剤師会会員				
	日本医療薬学会会員				
	日本臨床腫瘍薬学会会員				
<u> </u>	- I'MIN'NITIMA I AAR				

			教育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学講座	職名	氏名 西田 純平		
I 教育活動	•		•	•		
教育	育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の	工夫					
	(授業評価	<i>西等を含む)</i>				
2 作成した教科書、	教材、参考書	i i				
3 教育方法・教育実施	践に関する発	養、講演等				
4 その他教育活動上	持記すべき事					
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動			甲者・	<b>発行または発表の</b>	T	
1. 著書・論文等の名称			# <u>#</u>	左日 (五田)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
		•			-	
⊨ II	研:	究活動につ	いては別	紙にて提	.₩ —	
-			C 1073			¥ A #
2. 学会発表(評価対象	年度のみ)			発表年・月	<u> </u>	学会名
	フ <u>ナ</u> ンサチ	+ / <b>ま</b> てこケ田に# + +	1 の米(ル)			
□ 学会および社会におり	ける土な活男	」(直近5年間に携わった	:もの剱件)			
		日本病院薬剤師会会員				
		日本医療薬学会会員				
		•				
			数斉セトバ研究活動	hの業績一覧		
大学名 昭和大学	部門夕	<b>右院</b> 薬剤学	教育および研究活動職名助教(薬科			
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学	教育および研究活動 職名助教(薬科			
I 教育活動			職名助教(薬科		概要	
I 教育活動 教育	育実践上の主			氏名 福元 史織	概要	
I 教育活動	ー 育実践上の主 エ夫	な業績	職名助教(薬科		概要	
I 教育活動 教育	ー 育実践上の主 エ夫		職名助教(薬科	氏名 福元 史織	概要	
I 教育活動 教育	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i>	:な業績 <i>面等を含む)</i>	職名助教(薬科	氏名 福元 史織	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の.	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i>	:な業績 <i>面等を含む)</i>	職名助教(薬科	次氏名 福元 史織 なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の.	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i>	:な業績 <i>面等を含む)</i>	職名助教(薬科	次氏名 福元 史織 なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の.	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 数材、参考書	: な業績 <i>西等を含む)</i>	職名助教(薬科	次氏名 福元 史織 なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のご 2 作成した教科書、語	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 数材、参考書	: な業績 <i>西等を含む)</i>	職名助教(薬科	なし なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のご 2 作成した教科書、語	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 数材、参考書	: な業績 <i>西等を含む)</i>	職名助教(薬科	なし なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のご 2 作成した教科書、語	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 牧材、参考書 残に関する発	さな業績 <i>西等を含む)</i> 書 き表、講演等	職名助教(薬科	なし なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のご 2 作成した教科書、記 3 教育方法・教育実活	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 牧材、参考書 残に関する発	さな業績 <i>西等を含む)</i> 書 き表、講演等	職名助教(薬科	(A) 氏名 福元 史織 なし なし なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のご 2 作成した教科書、記 3 教育方法・教育実活	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 牧材、参考書 残に関する発	さな業績 <i>西等を含む)</i> 発表、講演等	職名助教(薬科	(A) 氏名 福元 史織 なし なし なし	概 要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のご 2 作成した教科書、記 3 教育方法・教育実活	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 牧材、参考書 残に関する発	さな業績 <i>西等を含む)</i> 発表、講演等	年 月 日	形名 福元 史織 なし なし なし なし	概 要	
I 教育活動 教育	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 牧材、参考書 残に関する発	さな業績 <i>西等を含む)</i> 発表、講演等	職名助教(薬科	(A) 氏名 福元 史織 なし なし なし	概要	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 牧材、参考書 残に関する発	さな業績 <i>西等を含む)</i> 発表、講演等	年 月 日	<ul><li>氏名 福元 史織</li><li>なし</li><li>なし</li><li>なし</li><li>発行または発表の</li></ul>		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 牧材、参考書 残に関する発	さな業績 <i>西等を含む)</i> 発表、講演等	年 月 日	<ul><li>氏名 福元 史織</li><li>なし</li><li>なし</li><li>なし</li><li>発行または発表の</li></ul>		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 牧材、参考書 残に関する発	さな業績 <i>西等を含む)</i> 発表、講演等	年 月 日	<ul><li>氏名 福元 史織</li><li>なし</li><li>なし</li><li>なし</li><li>発行または発表の</li></ul>		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 1 研究活動 1 著書・論文等の名称	育実践上の主 工夫 <i>(授業評値</i> 教材、参考書 践に関する务 持記すべき事	を な業績	職名助教(薬科 年 月 日	大名 福元 史織 なし なし なし なし なし なし ボール なし エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 1 研究活動 1 著書・論文等の名称	育実践上の主工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	さな業績 <i>西等を含む)</i> 発表、講演等	職名助教(薬科 年 月 日	氏名 福元 史織 なし なし なし なし がし なり がある。  はいまる。  いまる。 は	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 1 研究活動 1 著書・論文等の名称	育実践上の主工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	を な業績	職名助教(薬科 年 月 日	大名 福元 史織 なし なし なし なし なし なし ボール なし エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実 4 その他教育活動上 1 研究活動 1 著書・論文等の名称	育実践上の主工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	を な業績	職名助教(薬科 年 月 日	氏名 福元 史織 なし なし なし なし がし なり がある。  はいまる。  いまる。 は	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実施 4 その他教育活動上 1 研究活動 1 著書・論文等の名称 II 研究活動 2 学会発表(評価対象 4 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	育実践上の主工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	本業績 <i>画等を含む)</i> 養表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につ</b>	職名助教(薬科 年月日 年末・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	氏名 福元 史織 なし なし なし なし がし なり がある。  はいまる。  いまる。 は	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実施 4 その他教育活動上 1 研究活動 1 著書・論文等の名称 II 研究活動 2 学会発表(評価対象 4 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	育実践上の主工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	本業績 一等を含む) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名助教(薬科 年月日 年末・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	氏名 福元 史織 なし なし なし なし がし なり がある。  はいまる。  いまる。 は	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実施 4 その他教育活動上 1 研究活動 1 著書・論文等の名称 II 研究活動 2 学会発表(評価対象 4 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	育実践上の主工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	本業績 <i>画等を含む)</i> 養表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につ</b>	職名助教(薬科 年月日 年末・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	氏名 福元 史織 なし なし なし なし がし なり がある。  はいまる。  いまる。 は	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実施 4 その他教育活動上 1 研究活動 1 著書・論文等の名称 II 研究活動 2 学会発表(評価対象 4 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	育実践上の主工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	本業績 一等を含む) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名助教(薬科 年月日 年末・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	氏名 福元 史織 なし なし なし なし がし なり がある。  はいまる。  いまる。 は	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実施 4 その他教育活動上 1 研究活動 1 著書・論文等の名称 II 研究活動 2 学会発表(評価対象 4 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	育実践上の主工夫 (授業評価 教材、参考書 践に関する発 特記すべき事	本業績 一等を含む) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職名助教(薬科 年月日 年末・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	氏名 福元 史織 なし なし なし なし がし なり がある。  はいまる。  いまる。 は	発行所、発表雑誌	

		教育	<b>育および研究活動</b>	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬剤部	助教 (薬科)	與儀和香子		
I 教育活動	*		•	*		
教育	実践上の	主な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法のこ	工夫					
	(授業評	価等を含む)				
2 作成した教科書、教	枚材、参考:	<b>*</b>				
3 教育方法・教育実践	浅に関する	発表、講演等				
4 その他教育活動上特	寺記すべき	事項				
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			甲者・	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
II	孤	究活動につい	、ナルロ	糾ーア坦	ж 🔙	
11	וער	九/ロ邦川〜 フぃ	· C I&/			
2. 学会発表(評価対象年	年度のみ)			発表年・月	学	会名
Ⅲ 学会および社会におり	ける主な活動	動(直近5年間に携わったもの	)数件)			
なし						
	_	教育	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬物治療学部門	職名	氏名 稲垣 貴士		
I 教育活動			1	1		
	実践上の	主な業績	年月日		概要	
1 教育内容・方法のこ				なし		
	(授業評	価等を含む)				
	W 1 1 20 - 10 -					
2 作成した教科書、教	效材、参考₹	<b> ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ </b>		なし		
	141-00-1-7 i	74		4-1		
3 教育方法・教育実践	きに関する	発表、講演 <del>等</del>		なし		
4 7 0 11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	+==	t-T		45.1		
4 その他教育活動上特	守記すへざ			なし		
		(FDを含む)				
π 四次洋計						
Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称			甲者 '	発行または発表の	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
1. 有音・冊又寺の石が			井本の叫	左旦 (悪歴)	<b>光</b> 打所、光衣粧祕	(巻・方数)寺の石が
				' 'A'' - 15		
├─ II	伽	究活動につい	ヽては別	紕にて提	出 —	
2. 学会発表(評価対象な				発表年・月		会名
2. 丁云尤公(計圖刈豕)	一区リグ)			元权十二月	子	- 44
Ⅲ 学会お上が社会にも!	+ ス 士 か 洋 3	 動(直近5年間に携わったもの	) 数 (生 )			
なし	, のエゆ心	助(但近5年间に携わったもの なし	<b>/</b> ₩∏/			
なし		なし				
なし		なし				
なし		なし				
.50		1.0 U				

		教育 教育	育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学	職名	氏名 井上 恵里花		
I 教育活動			,	T		
教	育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の						
	(授業評価	西等を含む)		なし		
2 作成した教科書、	教材、参考書	1				
				なし		
3 教育方法・教育実	践に関する発	悉、講演等				
				なし		
4 その他教育活動上	:特記すべき事					
		(FDを含む)		なし		
- TI			L			
Ⅱ 研究活動			甲省'	発行または発表の	30.7- Tr 30. ++ #.=+	(# D#L) # 0.5TL
1. 著書・論文等の名称	1		###	左日 (亜展)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I	· 研	究活動につい	ヽて はぷ	紕にて提	出 —	
2. 学会発表(評価対象				発表年・月		
2. 于云光衣《矸屾对家	(十)及(0)(1)			元权牛 7	7	- 🛪 🛈
Ⅲ 学会お上が社会にお	ける主か活動		)粉(件)			
2019年4月~現在	いってないす	日本病院薬剤師会会員	/ <b>X</b> IT/			
2019年4月~現在		神奈川県病院薬剤師会会員				
2010年初 刻止		17 水川水州机米州岬五五兵				
			<b>育および研究活</b> 動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座		斗氏名 大日方瞳		
I 教育活動	·			· I		
教	育実践上の主	な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法の	工夫					
	(授業評価	<b>西等を含む</b> )				
2 作成した教科書、	教材、参考書					
3 教育方法・教育実	践に関する発	表、講演等				
4 その他教育活動上	:特記すべき事					
		(FDを含む)				
			L			
Ⅱ 研究活動			甲省'	<b>発付または発表の</b>	30.7- Tr 30. ++ #.=+	(# D#L) # 0.5TL
1. 著書・論文等の名称	·		###	左日 (亜田)	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
	,			144, -!-		
- I:		究活動につい	ヽて はり	紕にて提	出 —	
2. 学会発表(評価対象				発表年・月		
2. 于云光衣《矸屾对家	十支(70)			元权牛 7	7	- 🛪 🛈
Ⅲ 学会および社会にお	ける主た活動		)数件)			
エ 子女のみい江本にの	ハーロエタロ男	、	2011/			
		I .				

		教	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学	職名 助教 (薬	氏名 杉本 佳寿美		
I 教育活動			•	•		
教育	育実践上の	上な業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法のこ	工夫			なし		
	(授業評	価等を含む)				
2 作成した教科書、教	教材、参考	<b>±</b>		なし		
3 教育方法・教育実践	践に関する	発表、講演等		なし		
4 その他教育活動上特	持記すべき	事項		なし		
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			里者・	発行または発表の 毎日 (悪歴)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
II II	ፗፗ	か 洋動にへい	、ナルリ	紅ーナ世	ш 🗔	
11	<b>דער</b>	究活動につい	<b>、</b> C I よか	水川~ し 1種	ш	
2. 学会発表(評価対象年	年度のみ)			発表年・月	学	全会名
Ⅲ 学会および社会におり	ける主な活動	動(直近5年間に携わったも <i>0</i>	0数件)			
なし						
		教	育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	教 病院薬剤学		の業績一覧 氏名 村岡健太		
大学名 昭和大学 I 教育活動	部門名					
I 教育活動	部門名	病院薬剤学		氏名 村岡健太	概 要	
I 教育活動	う 実践上の エ夫	病院薬剤学	職名 助教(薬		概要	
I 教育活動 教育	う 実践上の エ夫	病院薬剤学	職名 助教(薬	氏名 村岡健太	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i>	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬	氏名 村岡健太	概要	
I 教育活動 教育	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i>	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬	氏名 村岡健太	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i>	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬	氏名 村岡健太	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のコ 2 作成した教科書、教	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考1	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬	氏名 村岡健太なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考1	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬	氏名 村岡健太	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のコ 2 作成した教科書、教	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考1	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬	氏名 村岡健太なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のコ 2 作成した教科書、教	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考1	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i>	職名 助教(薬	氏名 村岡健太 なし なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のコ 2 作成した教科書、教	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考 践に関する3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 助教(薬	氏名 村岡健太なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ 2 作成した教科書、表 3 教育方法・教育実践	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考 践に関する3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 助教(薬	氏名 村岡健太 なし なし	概要	
I 教育活動       教育       1 教育内容・方法のこ       2 作成した教科書、表       3 教育方法・教育実践       4 その他教育活動上生	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考 践に関する3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 助教(薬	氏名 村岡健太 なし なし	概要	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の□ 2 作成した教科書、教育方法・教育実置 4 その他教育活動上特 Ⅲ 研究活動	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考 践に関する3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 村岡健太なしなしなし		
I 教育活動       教育       1 教育内容・方法のこ       2 作成した教科書、表       3 教育方法・教育実践       4 その他教育活動上生	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考 践に関する3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	職名 助教(薬	氏名 村岡健太 なし なし	概要	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の□ 2 作成した教科書、教育方法・教育実置 4 その他教育活動上特 Ⅲ 研究活動	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考 践に関する3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 村岡健太 なし なし なし なし ポイオには発表の		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の□ 2 作成した教科書、教育方法・教育実置 4 その他教育活動上特 Ⅲ 研究活動	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考 践に関する3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 村岡健太 なし なし なし なし ポイオには発表の		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の□ 2 作成した教科書、教育方法・教育実置 4 その他教育活動上特 II 研究活動	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考 践に関する3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	年 月 日	氏名 村岡健太 なし なし なし なし ポイオには発表の		(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法のこ 2 作成した教科書、引 3 教育方法・教育実置 4 その他教育活動上生 Ⅱ 研究活動 1. 著書・論文等の名称	育実践上の3 工夫 <i>(授業評</i> 数材、参考1 践に関する3 特記すべき3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i>	甲者·	氏名 村岡健太 なし なし なし なし ホース は 元 元 は 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	発行所、発表雑誌	(巻・号数)等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実置 4 その他教育活動上年 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	育実践上の3 工夫 (授業評 数材、参考1 践に関する3 特記すべき3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等	甲者·	氏名 村岡健太 なし なし なし なし を 発行または発表の を がは、 を がは、 に で 提 に で 提 に で に に に な に に に に に に に に に に に に に に	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 3 教育方法・教育実践 4 その他教育活動上年 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	育実践上の3 工夫 (授業評 数材、参考1 践に関する3 特記すべき3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i>	甲者·	氏名 村岡健太 なし なし なし なし ホース は 元 元 は 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実置 4 その他教育活動上年 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	育実践上の3 工夫 (授業評 数材、参考1 践に関する3 特記すべき3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i>	甲者·	氏名 村岡健太 なし なし なし なし を 発行または発表の を がは、 を がは、 に で 提 に で 提 に で に に に な に に に に に に に に に に に に に に	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実置 4 その他教育活動上年 II 研究活動 1. 著書・論文等の名称	育実践上の3 工夫 (授業評 数材、参考1 践に関する3 特記すべき3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i>	甲者·	氏名 村岡健太 なし なし なし なし を 発行または発表の を がは、 を がは、 に で 提 に で 提 に で に に に な に に に に に に に に に に に に に に	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実践 4 その他教育活動上 4 での他教育活動上 1 著書・論文等の名称 I 著書・論文等の名称 II 学会発表(評価対象4 II 学会および社会におり	育実践上の3 工夫 (授業評 教材、参考1 践に関する3 特記すべき3	病院薬剤学 主な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i>	職名助教(薬・ 年月日 ・ ・ では別	氏名 村岡健太 なし なし なし なし を 発行または発表の を がは、 を がは、 に で 提 に で 提 に で に に に な に に に に に に に に に に に に に に	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実践 4 その他教育活動上 4 での他教育活動上 1 著書・論文等の名称 I 著書・論文等の名称 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	育実践上の3 工夫 (授業評 教材、参考1 践に関する3 特記すべき3	病院薬剤学 注な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i>	職名 助教 (薬: 年 月 日 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・  ・  ・  ・  ・  ・	氏名 村岡健太 なし なし なし を 発行または発表の を 発表年・月	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実践 4 その他教育活動上 4 での他教育活動上 1 著書・論文等の名称 I 著書・論文等の名称 II 学会発表(評価対象4 II 学会および社会におり	育実践上の3 工夫 (授業評 教材、参考1 践に関する3 特記すべき3	病院薬剤学 注な業績 <i>価等を含む)</i> 書 発表、講演等 事項 <i>(FDを含む)</i> <b>究活動につし</b> 動(直近5年間に携わったもの	職名 助教 (薬: 年 月 日 ・	氏名 村岡健太 なし なし なし を 発行または発表の を 発表年・月	発行所、発表雑誌	
I 教育活動 教育 1 教育内容・方法の 2 作成した教科書、 4 3 教育方法・教育実践 4 その他教育活動上 4 での他教育活動上 1 著書・論文等の名称 I 著書・論文等の名称 II 学会 3 では 2019年4月~現在	育実践上の3 工夫 (授業評 教材、参考1 践に関する3 特記すべき3	病院薬剤学 主な業績 価等を含む) 書 発表、講演等 事項 (FDを含む) <b>究活動につし</b> 助(直近5年間に携わったもの 日本救急医学会 学生・研	職名 助教 (薬: 年 月 日 ・	氏名 村岡健太 なし なし なし を 発行または発表の を 発表年・月	発行所、発表雑誌	

		教 <sup>:</sup>	育および研究活動	の業績一覧		
大学名 昭和大学	部門名	病院薬剤学	職名	氏名 山内 梨裟		
I 教育活動				1		
教育	育実践上の主	とな業績	年 月 日		概 要	
1 教育内容・方法のコ	C夫					
	(授業評價	<i>価等を含む)</i>		なし		
2 作成した教科書、教	效材、参考書					
				なし		
3 教育方法・教育実践	まに関するタ	<b>発表、講演等</b>				
				なし		
4 その他教育活動上特	寺記すべき事	事項				
		(FDを含む)		なし		
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			甲者・	発行または発表の 年日 (悪歴)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
	ATT.	究活動につい	/ ナ/十回	糾にて坦	出 _	
		プロシリーフィ	ינלטו לי			
2. 学会発表(評価対象年	F度のみ)			発表年・月		学会名
Ⅲ 学会および社会におり	†る主な活動	助(直近5年間に携わったも <i>0</i>	0数件)			
2019年4月~現在		日本病院薬剤師会会員				
2019年4月~現在		神奈川県病院薬剤師会会員				
			育および研究活動			
大学名 昭和大学	部門名	薬学部病院薬剤学講座	職名	氏名 竹安 結花子		
I 教育活動			•			
教育	育実践上の主	とな業績	年 月 日		概要	
1 教育内容・方法のコ	[夫					
	(授業評価	<i>価等を含む)</i>				
2 作成した教科書、教	效材、参考書					
3 教育方法・教育実践	まに関するタ	<b>発表、講演等</b>				
4 その他教育活動上特	寺記すべき	事項				
		(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の名称			甲者・	発行または発表の 左旦 (亜展)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
11	TII.	究活動につい	/ ナル回	紙にて坦	<b>州</b> 🔲	
		プロタルー フし	・しる別			
2. 学会発表(評価対象年	拝度のみ)			発表年・月		学会名
	ナる主な活動	動(直近5年間に携わったも <i>0</i>	0数件)			
なし						
		1	-	•	•	

## 業績項目における「会議発表(論文・口頭)」は発表形式を問わず、すべての学会発表を示します。

277 x - 1 334	4000 0	41 ± 4 ± 5 ± 1 ± 144	744 An 44 (175	T A 小井井大
昭和大学	部門名	教育企画・評価学	職名 教授	
	一部门石			一

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
原著論文	Online Survey of proplems inhibiting the active inprovement of community pharmacist in patients with cancer undergoing outpatient chemotherapy	Yasuna Kobayashi, Keiko Sugihara- Tsukamoto, Aya Kobayashi, Noriko Kohyama and Toshinori Yamamoto	Journal Academy for Quality of Life	3	2	1	Academic Society for Quality of Life	2017年 6 月
総説 (Invited)	Point Mutation and Potential Biomarker of the Gene Coding for KRAS/RAS in Patients with Colorectal Carcinoma	Yasuna Kobayashi	Journal Academy for Quality of Life	4	3	1	Academic Society for Quality of Life	2017年 9 月
総説	ヒト型 Organic Solute Carrier Partner 1 (hOSCP1) に関する最近の話題	小林靖奈	医薬品相互作用研究	41	3	10	医薬品相互作 用研究会	2017年 9 月
原著論文	The exploration of population pharmacokinetic model for meropenem in augmented renal clearance and investigation of optimum setting of dose	Tatsuro Tanatsukuri, Masayuki Ohbayashi, Noriko Kohyamam Yasuna Kobayashi, Toshinori Yamamoto, Shunsuke Nakamura, Yasufumi Miyake, Kenji Dohi, and Mari Kogo	Journal of Infection and Chemotherapy	24	10	834	日本化学療法学会	2018年 10月
原著論文	診療所の医師と薬剤師の連携に向けた処方せん様 式変更に伴う残薬管理に関する調査研究	瀬戸小百合、加藤 肇、神山紀 子、小林靖奈、山元俊憲、向後麻 里	社会薬学	37	1	19	日本社会薬学会	2018年 6 月
会議発表 (論文・ロ頭)	薬学生の災害時医療に対する学習ニーズ~テキストマイニング解析から見えたもの~	小林靖奈					日本災害医療 薬剤師学会	2021年 7 月
会議発表 (論文・ロ頭)	薬学生の災害時医療に対する学修ニーズに関する 調査研究	小林靖奈					日本薬学教育 学会	2021年 8 月

## 昭和大学 部門名 医薬化学部門 職名 教授 氏名 福原 潔

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Effects of reaction environments on radical-scavenging mechanisms of ascorbic acid	NAKANISHI Ikuo SHOJI Yoshifumi OHKUBO Kei FUKUHARA Kiyoshi OZAWA Toshihiko MATSUMOTO Kenichiro FUKUZUMI Shunichi	J Clin Biochem Nutr	68	2	116		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	Relationship between the radical-scavenging activity of selected flavonols and thermodynamic parameters calculated by density functional theory	NAKANISHI Ikuo  OHKUBO Kei  SHOJI Yoshimi  FUJITAKA Yuya   SHIMODA Kei  MATSUMOTO Kenichiro   FUKUHARA Kiyoshi   HAMADA Hiroki	Free Radic Res	54	7	535		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	Development of photoswitchable estrogen receptor ligands	TSUCHIYA Keisuke  UMENO Tomohiro  TSUJI Genichiro  YOKOO Hidetomo  TANAKA Masakazu  FUKUHARA Kiyoshi  DEMIZU Yosuke  MISAWA Takashi	Chem Pharm Bull (Tokyo)	68	4	398		Apr-20
学術雑誌論文 (学外)	Synthesis and radical-scavenging activity of C-methylated fisetin analogues.	IMAI Kohei NAKANISHI   OHKUBO K OHNO A MIZUNO Mirei FUKUZUMI S MATSUMOTO KI FUKUHARA Kiyoshi	Bioorg Med Chem	27	8	1720		Apr-19
学術雑誌論文 (学外)	Efficient protective activity of a planar catechin analogue against radiation-induced apoptosis in rat thymocytes	SEKINE-SUZUKI EMiko  NAKANISHI Ikuo  IMAI Kohei  UENO Megumi  SHIMOKAWA Takashi  MATSUMOTO Kenichiro  FUKUHARA Kiyoshi	RSC Advances	8	19	10158		Oct-18
会議発表 (論文・ロ頭)	C-メチルフィセチンのラジカル消去活性	福原 潔 中西 郁夫 大久 保敬  水野 美麗 松本 謙一郎 大野 彰子					日本農芸化学 会2021年度大 会	1
会議発表 (論文・ロ頭)	Potent radical-scavenging activities of C-methyl fisetins	FUKUHARA Kiyoshi, OHNO Akiko					第80回 日本 癌学会学学術 総会	Oct-21
会議発表 (論文・ロ頭)	Docking study on the position of nitro groups affecting the mutagenicity of nitroarenes	OHNO Akiko, OKIYAMA Yoshio, HIROSE Akihiko, FUKUHARA Kiyoshi					第80回 日本 癌学会学学術 総会	Oct-21
会議発表 (論文・口頭)	ニトロ多環芳香族炭化水素の変異原性に関するin silico解析	大野彰子、沖山佳生、広瀬明彦、 福原 潔					日本環境変異 原ゲノム学会 第50回記念大 会	Nov-21
会議発表 (論文・口頭)	Rationally designed peptide modulators of amyloid-ß toxicity in Alzheimer's disease	FUKUHARA Kiysohi, MORI Kazunori, OKIYAMA Yoshio, MISAWA Takashi, MIZUNO Mirei, DEMIZU Yosuke, SHIBANUMA Motoko, OHNO Akiko					AIMECS 2021	Nov-21

昭和大学 部門名 生体分析化学部門 職名 教授 氏名 加藤 大

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
その他	医療貢献を目指した分析化学(特別講演)	加藤 大					第33回バイオ メディカル分 析科学シンポ ジウム (BMAS2021)	Sep-21
その他	HPLC column for 100-nm nanoparticles analysis(招待講演)	KATO Masaru					31st International Symposium on Pharmaceutica I and Biomedical Analysis	
学術雑誌論文 (学外)	Facile and simple purification method for small extracellular vesicles obtained from a culture medium through cationic particle capture.	KATO Masaru  NAKAMOTO R ISHIZUKA M  WATANABE N	Anal Bioanal Chem	413	9	2523		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	Extraction of urinary cell-free DNA by using triamine- modified silica particles for liquid biopsy.	KATO Masaru FUJITA Y IIZUKA T NOZAKI K TAKANO S FUNATSU T SANO Yoshihiro MURAYAMA Shuhei KARASAWA Koji	Anal Bioanal Chem	412	23	5647		Sep-20
学術雑誌論文 (学外)	Trimethylammonium modification of a polymer-coated monolith column for rapid and simultaneous analysis of nanomedicines.	KATO Masaru   ATHUMI Y   YAMAGUCHI M   DATE Haruka   YAMAMOTO E   MURAYAMA Shuhei   KARASAWA Koji	J Chromatogr A	1617		460826		Apr-20

## 昭和大学 部門名 生物物理化学部門 職名 教授 氏名 合田 浩明

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	電荷分布を明示的に記述する分子モデル構築のための電子密度フィッティング法	早川 大地 渡邉 友里江 合田 浩明					第49回構造活 性相関シンポ ジウム	Sep-21
学術雑誌論文 (学外)	Unpolarizable molecular model describing electron distribution for treating halogen bonds	HAYAKAWA Daichi WATANABE-ODA Yurie  GOUDA Hiroaki	Chem Phys Lett	779		138824		Sep-21
学術雑誌論文 (学外)	A molecular interaction field describing nonconventional intermolecular interactions and its application to protein-ligand interaction prediction	HAYAKAWA Daichi SAWADA Nahoko WATANABEYurie GOUDA Hiroaki	J Mol Graph Model	96		107515		May-20
学術雑誌論文 (学外)	Synthesis of a novel and potent small-molecule antagonist of PAC1 receptor for the treatment of neuropathic pain	TAKASAKI Ichiro OGASHI Haruna OKADA Takuya SHIMODAIRA Ayaka HAYAKAWA Daichi WATANABE Ai MIYATA Atsuro KURIHARA Takashi GOUDA Hiroaki TOYOOKA Naoki	Eur J Med Chem	186		111902		Jan-20
学術雑誌論文 (学外)	Computational study on formation of 15-membered azalactone by double reductive amination using molecular mechanics and density functional theory calculations	GOUDA Hiroaki   NAKAYAMA Naofumi   MIURA Tomoaki   KANEMOTO Kenichi   AJITO Keiichi	J Antibiot (Tokyo)	71	5	549		May-18
学術雑誌論文 (学外)	In Silico Screening Identified Novel Small-molecule Antagonists of PAC1 Receptor	TAKASAKI Ichiro   WATANABE Ai   YOKAI Masafumi   WATANABE Yurie   HAYAKAWA Daichi   NAGASHIMA Ryota   FUKUCHI Mamoru   OKADA Takuya   TOYOOKA Naoki   MIYATA Atsuro   GOUDA Hiroaki   KURIHARA Takasi	J Pharmacol Exp Ther	365	1	1		Apr-18

## 昭和大学 部門名 生物化学部門 職名 教授 氏名 板部 洋之

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	生体内酸化LDL研究の進展	小濵 孝士 板部 洋之					第94回日本生 化学会大会	Nov-21
会議発表 (論文・ロ頭)	感染症と酸化リポタンパク質	板部 洋之 小濵 孝士					第94回日本生 化学会大会	Nov-21
会議発表 (論文・口頭)	好中球細胞外トラップ形成におけるlysoPCの関与	小濵 孝士 澤田 直子 牧山 智 彦 板部 洋之					第63回日本脂 質生化学会	Jun-21
会議発表 (論文・口頭)	細胞内脂肪滴形成機構における小胞出芽制御因子 Sar1の影響	牧山 智彦 小濵 孝士 板部 洋 之					第63回脂質生 化学会	Jun-21

会議発表 (論文・ロ頭)	好中球細胞外トラップ: 感染制御から血管疾患の 増悪へ	小濵 孝士 板部 洋之					第21回 Pharmaco- Hematology シ ンポジウム	May-21
学術雑誌論文 (学外)	Structure and dynamics of oxidized lipoproteins in vivo: roles of high-density lipoprotein.	ITABE Hiroyuki SAWADA Naoko MAKIYAMA Tomohiko OBAMA Takashi	Biomedicines	9	6	655		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Neutrophils as a novel target of modified low-density lipoproteins and an accelerator of cardiovascular diseases.	OBAMA Takashi ITABE Hiroyuki	Int J Mol Sci	21	21	8312		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	Circulating Oxidized LDL, Increased in Patients With Acute Myocardial Infarction, Is Accompanied by Heavily Modified HDL	SAWADA Naoko   OBAMA Takashi   KOBA Shinji   TAKAKI Takashi   IWAMOTO Sanju   AIUCHI Toshihiro   KATO Rina   KIKUCHI Masaki   HAMAZAKI Yuji   ITABE Hiroyuki	J Lipid Res	61	6	816		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	Cooperative action of oxidized low-density lipoproteins and neutrophils on endothelial inflammatory responses through neutrophil extracellular trap formation	OBAMA Takashi   OHINATA Hitomi   TAKAKI Takashi   IWAMOTO Sanju   SAWADA Naoko   AIUCHI Toshihiro   KATO Rina   ITABE Hiroyuki	Front Immunol	10		1899		Aug-19
学術雑誌論文 (学外)	Temporal and spatial changes of peroxiredoxin 2 levels in aortic media at very early stages of atherosclerotic lesion formation in apoE-knockout mice.	KATO Rina   HAYASHI Masataka   AIUCHI Toshihiro   SAWADA Naoko   OBAMA Takashi   ITABE Hiroyuki	Free Radic Biol Med	130		348		Jan-19

## 昭和大学 部門名 腫瘍細胞生物学 職名 教授 氏名 柴沼質子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Rac1-mediated sustained β4 integrin level develops reattachment ability of breast cancer cells after anchorage loss	MORI Kazunori HIGURASHI Masato ISHIKAWA Fumihiro SHIBANUMA Motoko	Cancer Sci			1		May-21
学術雑誌論文 (学外)	High expression of FOXM1 critical for sustaining cell proliferation in mitochondrial DNA-less liver cancer cells	HIGURASHI Masato  MARUYAMA Tsuyoshi  NOGAMI Yusuke  ISHIKAWA Fumihiro  YOSHIDA Yukiko  MORI Kazunori  FUJITA Ken- ichi  SHIBANUMA Motoko	Exp Cell Res	389	1	111889		Apr-20
学術雑誌論文 (学外)	Rabeprazole intake does not affect systemic exposure to capecitabine and its metabolites, 5'-deoxy-5-fluorocytidine, 5'-deoxy-5-fluorouridine, and 5-fluorouracil	SEKIDO Masae   FUJITA Ken- ichi   KUBOTA Yutaro   ISHIDA Hiroo   TAKAHASHI Takehiro   OHKUMA Ryotaro   TSUNODA Takuya   ISHIKAWA Fumihiro   SHIBANUMA Motoko   SASAKI Yasutsuna	Cancer Chemother Pharmacol	83	6	1127		Jun-19
学術雑誌論文 (学外)	Decreased Disposition of Anticancer Drugs Predominantly Eliminated via the Liver in Patients with Renal Failure	FUJITA Ken-ichi   MATSUMOTO Natsumi   ISHIDA Hiroo   KUBOTA Yutaro   IWAI Shinichi   SHIBANUMA Motoko   KATO Yukio	Curr Drug Metab	20	5	361		Mar-19
学術雑誌論文 (学外)	A mitochondrial ROS pathway controls matrix metalloproteinase 9 levels and invasive properties in RAS-activated cancer cells	MORI Kazunori   UCHIDA Tetsu   YOSHIE Toshihiko   MIZOTE Yuko   ISHIKAWA Fumihiro   KATSUYAMA Masato   SHIBANUMA Motoko	FEBS J	286	3	459		Feb-19

# 昭和大学 部門名 毒物学 職名 教授 氏名 沼澤聡

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
その他	中毒検体の取り扱い -採血方法と保存上の注意点- (教育講演)	沼澤 聡 徳留 真優 光本(貝崎) 明日香 佐藤 真理子 渡邊 徹					第2回日本臨 床・分析中毒 学会学術集会	
会議発表 (論文・口頭)	急性カフェイン中毒21症例のカフェイン及びその 代謝物の血中濃度解析	山崎 喜貴 光本(貝崎) 明日香  佐々木 忠徳 林 宗貴 土肥 謙 二 沼澤 聡					第3回日本臨 床・分析中毒 学会学術集会	
会議発表 (論文・口頭)	胎仔期のメチルフェニデート暴露はADHD症状を 誘発しDrd2とSrc6a3遺伝子発現を低下させる	光本(貝崎) 明日香 青木 悟 宇 佐美(服部) 夏実 沼澤 聡					第48回日本毒 性学会学術年 会	
会議発表 (論文・口頭)	血小板由来増殖因子による血管平滑筋細胞遊走に おけるサルフェンイオウの役割	芦野 隆 石井 俊一 沼澤 聡					第48回日本毒 性学会学術年 会	
学術雑誌論文 (学外)	Comparative study between active and passive exposure of methamphetamine vapor in mice	ABE Kazumasa   KAIZAKI- MITSUMOTO Asuka   NUMAZAWA Satoshi	Forensic Toxicol	39	2	394		Jul-21

学術雑誌論文 (学外)		AOKI Satoru   KAIZAKI-MITSUMOTO Asuka   HATTORI Natsumi   NUMAZAWA Satoshi	Toxicol Lett	344		1	Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Anti-Obesity Effect of Ginkgo Vinegar, a Fermented Product of Ginkgo Seed Coat, in Mice Fed a High-Fat Diet and 3T3-L1 Preadipocyte Cells.	HOSODA Shugo KAWAZOE Yumi SHIBA Toshikazu NUMAZAWA Satoshi MANABE Atsufumi	Nutrients	12	1	230	Jan-20
学術雑誌論文(学外)	Hyperreflexia induced by XLR-11 smoke is caused by the pyrolytic degradant	HATAOKA Kyoko   KAIZAKI- MITSUMOTO Asuka   TAKEBAYASHI- OHSAWA Mika   HATTORI Natsumi   FUNADA Masahiko   NUMAZAWA Satoshi	Forensic Toxicol	37	2	412	Jul-19
学術雑誌論文 (学外)	Inorganic polyphosphate protects against lipopolysaccharide-induced lethality and tissue injury through regulation of macrophage recruitment.	TERASHIMA-HASEGAWA Mikako  ASHINO Takashi  KAWAZOE Yumi  SHIBA Toshikazu  MANABE Atsufumi  NUMAZAWA Satoshi	Biochem Pharmacol	159		96	Jan-19

昭和大学 部門名 薬理学部門 職名 教授 氏名 野部 浩司

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	10.000	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Potent efficacy of Stachybotrys microspora triprenyl phenol-7, a small molecule having anti-inflammatory and antioxidant activities, in a mouse model of acute kidney injury		European Journal of Pharmacology					IN PRESS
学術雑誌論文 (学内)	非筋細胞収縮およびその細胞内情報伝達系評価の ためのコラーゲンファイバー法の有用性	野部 浩司 野部 裕美 加園 恵三	昭和学士会雑誌	77	4	385		Aug-17
学術雑誌論文 (学内)	プリン作動性P2X4受容体サブタイプはウシ大動脈 内皮細胞の一酸化窒素産生に関与する	黄 洋一 野部 浩司	昭和学士会雑誌	77	3	342		Jun-17
会議発表 (論文・ロ頭)	糖尿病神経障害モデルマウスに対する SMTP-44D の作用メカニズムの検討	篠内 良介 柴田 佳太 城野 詩 織 橋本 光正 蓮見 惠司 野部 浩司					日本薬学会第 141年会	Mar-21

昭和大学 部門名 生理病態学 職名 教授 氏名 巖本三壽

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学内)	A profile of pro-inflammatory cytokine expression in human Delta-1-induced monocyte-derived Langerhans cell-like dendritic cells after stimulation with Toll-like receptor ligands	TAKAHASHI Rei IWAMOTO Sanju TANIOKA Toshihiro MAEDA Kohei	Showa Univ J Med Sci	33	3	67		Sep-21
学術雑誌論文 (学内)	The Ang III/AT2R Pathway Enhances Glucose Uptake by Improving GLUT1 Expression in 3T3-L1 Adipocytes.	TANIOKA Toshihiro MAEDA Kohei TAKAHASHI Rei IWAMOTO Sanju	Biol Pharm Bull	44	7	1014		Jul-21
学術雑誌論文 (学内)	Regulatory Effect of IL-4 on Early Th17 Differentiation from Naive T Cells into Stem Cell Memory Th17 Precursors via Modulation of CD31 and CCR6 Expression	MAEDA Kohei TANIOKA Toshihiro IWAMOTO Sanju	Showa Univ J Med Sci	32	2	135		Jul-20
学術雑誌論文 (学外)	Killer cell immunoglobulin-like receptor 2DL4 is expressed in and suppresses the cell growth of Langerhans cell histiocytosis	TAKEI Yusuke   UESHIMA Chiyuki   KATAOKA Tatsuki R.   HIRATA Masahiro   SUGIMOTO Akihiko   ROKUTAN-KURATA Mariyo   MORIYOSHI Koki   ONO Kazuo   MURAKAMI Ichiro   IWAMOTO Sanju   HAGA Hironori	Oncotarget	8	23	36964		Jun-17
図書	症候学的病態生理学 症候学的に病態生理・トリ アージ・セルフメディケーションを考える	岩井 信市 巖本 三壽 木内 祐二 神山 紀子 谷岡 利裕 橋本 光正 稗田 宗太郎	京都廣川書店					Aug-20
会議発表 (論文・ロ頭)	単球由来Dleta-1誘導ランゲルハンス細胞様樹状細胞は乾癬病態に関連するサイトカインを産生する	高橋 玲 巖本 三壽 谷岡 利裕  前田 耕平					第36回日本乾 癬学会学術大 会	
会議発表 (論文・口頭)	A profile of pro-inflammatory cytokine expression in human Delta-1-induced monocyte-derived Langerhans cell-like dendritic cells after stimulation with Toll-like receptor ligands	TAKAHASHI Rei IWAMOTO Sanju TANIOKA Toshihiro MAEDA Kohei					第50回日本免 疫学会学術集 会	
その他	乾癬における病的Th17サブセットの増殖と分化	巖本 三壽					第14回乾癬と アトピー性皮 膚炎を考える 会	Dec-18
その他	乾癬におけるTh17細胞の動態と分化	巖本 三壽					トルツ学術講 演会	Jun-17

昭和大学 部門名 薬剤学 職名 教授 氏名 中村 明弘

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
3 113 1 E 100 E 100 F	Recent Advances in Biomarkers and Regenerative Medicine for Diabetic Neuropathy	FUJITA Yoshiaki  MURAKAMI T  NAKAMURA Akihiro	Int J Mol Sci.	22	5	2301		Feb-21

学術雑誌論文 (学外)	Effect of Disintegrants on Prolongation of Tablet Disintegration Induced by Immersion in Xanthan Gum- Containing Thickening Solution: Contribution of Disintegrant Interactions with Disintegration Fluids Disintegration Fluids.	SUGIURA Daisuke   ONUKI Y   FUJITA Yoshiaki   NAKAMURA Akihiro   HARADA Tsutomu	Chem Pharm Bull	68	11	1055		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	Effect of xanthan gum-based food thickeners on the dissolution profile of fluoroquinolones oral formulations	TAKAHASHI Nobuyuki  FUJITA Yoshiaki  TAKAHASHI Nanako  NAKAMURA Akihiro  HARADA Tsutomu	J Pharm Health Care Sci	6	2	25		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	A novel method to quantitatively evaluate slipperiness and frictional forces of solid oral dosage forms and to correlate these parameters with ease of swallowing	SHIMASAKI Maya 村山 信浩 藤 田 吉明 中村 明弘 原田 努	J Drug Deliv Sci Technol	53		101141		Oct-19
学術雑誌論文 (学外)	Effect of Film Coating on Xanthan Gum Solution-induced Delays in the Disintegration and Dissolution of Tablets	EBATA Rei FUJITA Yoshiaki NAKAMURA Akihiro HARADA Tsutomu	医療薬学	45	4	182		Apr-19
会議発表 (論文・口頭)	6か月以上2歳未満の乳幼児における細粒剤およびシロップ剤を対照とした ミニタブレットの服用性と受容性の検討						日本薬剤学会 第36年会	May-21
会議発表 (論文・ロ頭)	Swallowability of mini-tablets in Japanese children aged 6-23 months: Results from an exploratory randomized crossover study	Nao Mitsui   Noriko Hida   Taro Kamiya   Taigi Yamazaki   Kazuki Miyazaki   Kiyomi Saito   Jumpei Saito   Akimasa Yamatani   Yoichi Ishikawa   Akihiro Nakamura   Tsutomu Harada   Hidefumi Nakamura					13th conference of the European Paediatric Formulation Initiative	Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	高齢心不全ポリファーマシー是正のための薬剤師の役割とチーム医療の実践〜循環器内科と薬剤部による共同研究としての取組み〜	須永 登美子 横山 あずさ 中村 彰子 宮本 渚 渡辺 佐紀 辻内 美希 南雲 さくら 野木 彩夏  前澤 秀之 水上 拓也 江波戸 美緒 鈴木 洋 中村 明弘 渡邊 徹 佐々木 忠徳					第69回日本心 臟病学会学術 集会	Sep-21

昭和大学 部門名 薬物動態学 職名 教授 氏名 佐藤 均

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Associations among plasma concentrations of regorafenib and its metabolites, adverse events, and ABCG2 polymorphisms in patients with metastatic colorectal cancers.	KOBAYASHI Kazuo SUGIYAMA Erika SHINOZAKI E WAKATSUKI T TAJIMA Masataka KIDOKORO Hiyori AOYAMA T NAKANO Y KAWAKAMI K HASHIMOTO K SUENAGA M ICHIMURA I JOOKI A J TAKAHARI D SUZUKI W YOKOKAWA T MINOWA Y HIRAOKA T SUZUKI K SATO Hitoshi HAMA T YAMAGUCHI K	Cancer Chemother Pharmacol	87	6	767		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Effects of dosing frequency on the clinical efficacy of ampicillin/sulbactam in Japanese elderly patients with pneumonia: A single-center retrospective observational study.	SUZUKI Tomokazu SUGIYAMA Erika NOZAWA Kenji TAJIMA Masataka TAKAHASHI Kyoka YOSHII M SUZUKI H SATO VH SATO Hitoshi	Pharmacol Res Perspect	9	2	e00746		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	Nonlinear Disposition and Metabolic Interactions of Cannabidiol Through CYP3A Inhibition <i>In Vivo</i> In Rats.	NAGAO Michiru NAKANO Yukako TAJIMA Masataka SUGIYAMA Erika SATO VH INADA M SATO Hitoshi	Cannabis Cannabinoid Res	5	4	318		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)	Development of a Novel Nanoemulsion Formulation to Improve Intestinal Absorption of Cannabidiol	NAKANO Yukako TAJIMA Masataka 杉山 恵理花 SATO Vilasinee Hirunpanich  SATO Hitoshi	Med Cannabis Cannabinoids	2		35		Apr-19
学術雑誌論文 (学外)	Comparison of adverse events following injection of original or generic docetaxel for the treatment of breast cancer.	TAGAWA Nao   SUGIYAMA Erika   TAJIMA Masataka   SASAKI Yasutsuna   NAKAMURA Seigo   OKUYAMA Hiromi   SHIMIZU Hisanori   SATO Vilasinee Hirunpanich   SASAKI Tadanori   SATO Hitoshi	Cancer Chemother Pharmacol	80	4	841		Oct-17
会議発表 (論文・ロ頭)	チオ硫酸銀錯体によるがん細胞選択的な抗腫瘍効 果	太田 晃 田島 正教 森 一憲  杉山 恵理花 佐藤 均					第373回昭和 大学学士会例 会(薬学部会 主催)	Jun-21

昭和大学 部門名 衛生薬学 職名 教授 氏名 原俊太郎

 業績項目
 タイトル・書名

 著者
 雑誌名
 巻 号 開始 学会・シンポ ジウム名

学術雑誌論文 (学外)	Coordinated action of microsomal prostaglandin E synthase-1 and prostacyclin synthase on contact hypersensitivity.	OCHIAI Tsubasa   SASAKI Yuka   KUWATA Hiroshi   NAKATANI Yoshihito   YOKOYAMA Chieko   HARA Shuntaro	Biochem Biophys Res Commun	546		124		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	Involvement of prostacyclin synthase in high-fat-diet- induced obesity.	SASAKI Yuka   KUWATA Hiroshi   AKATSU Moe   YAMAKAWA Yuri   OCHIAI Tsubasa   YODA Emiko   NAKATANI Yoshihito   YOKOYAMA Chieko   HARA Shuntaro	Prostaglandins Other Lipid Mediat	153		106523		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)	Ferroptosis driven by radical oxidation of n-6 polyunsaturated fatty acids mediates acetaminophen-induced acute liver failure	YAMADA Naoya   KARASAWA Tadayoshi   KIMURA Hiroaki   WATANABE Sachiko   KOMADA Takanori   KAMARA Ryo   SAMPILVANJIL Ariunaa   ITO Junya   NAKAGAWA Kiyotaka   KUWATA Hiroshi   HARA Shuntaro   MIZUTA Koichi   SAKUMA Yasunaru   SATA Naohiro   TAKAHASHI Masafumi	Cell Death Dis	11	2	144		Feb-20
学術雑誌論文 (学外)	Long-chain acyl-CoA synthetase 4 participates in the formation of highly unsaturated fatty acid-containing phospholipids in murine macrophages.	KUWATA Hiroshi   NAKATANI Eriko   SHIMBARA-MATSUBAYASHI Satoko   ISHIKAWA Fumihiro   SHIBANUMA Motoko   SASAKI Yuka   YODA Emiko   NAKATANI Yoshihito   HARA Shuntaro	Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	1864	11	1606		Nov-19
学術雑誌論文 (学外)	Calcium-independent phospholipase A2y (iPLA2y) and its roles in cellular functions and diseases.	HARA Shuntaro YODA Emiko SASAKI Yuka NAKATANI Yoshihito KUWATA Hiroshi	Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	1864	6	861		Jun-19
会議発表 (論文·口頭)	高度不飽和脂肪酸の活性化の阻害が炎症応答に及 ぼす影響	桑田 浩 原 俊太郎					第21回 Pharmaco- Hematologyシ ンポジウム	May-21

昭和大学 部門名 社会薬学 職名 教授 氏名 岸本桂子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	服用薬に対する態度とヘルスリテラシーがノンア ドヒアランスへ及ぼす影響に関する実証研究	櫻井 秀彦 武井 唯 山崎 颯太 朗 森藤 ちひろ 岸本 桂子	日本ファーマシュー ティカルコミュニケー ション学会会誌					in press (Sep-21 Accept)
図書	セルフメディケーション/一般用医薬品・漢方 薬・保健機能食品(臨床薬学テキストシリーズ)	下平 秀夫[ほか] 岸本 桂子						Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	GISを活用した北海道における地域薬局分布に関する研究	石坂 碧衣 浅川 紗良 櫻井 秀彦 岸本 桂子 古田 精一					日本アプライド・セラ ピューティクス(実践薬物 治療)学術大会第 11回学術会薬会日本社会業会 日本社会会合同大会	Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	スイッチOTC医薬品として販売されている経皮吸収型鎮痛消炎貼付剤の不適切な使用に影響する因子の解析	赤川(佐々木) 圭子 狩野 小町  熊木 良太 岸本 桂子					日本アプライド・セラ ピューティクス(実践薬物 治療)学会第 11回学術会薬 日本社会学会第39年会合 同大会	Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	ネット販売における指定第2類医薬品の注意喚起 に関する調査	浅岡 宝花 熊木 良太 赤川 (佐々木) 圭子 岸本 桂子					日本アプライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会第11回学術会薬会日本社会第39年会第同大会	Sep-21

お子									
### 2 ###	会議発表 (論文・口頭)		1					ド・セラ ピューティク ス(実践薬物 治療)学術会第 11回学術大会 日本社会薬学会第42年会合	·
	会議発表 (論文・口頭)		川村 ひとみ 岸本 桂子					ド・セラ ピューティク ス(実践薬物 治療)学術会第 11回学術会薬 日本社会薬学 会第39年会合	·
照音 しきれないデータを読み解く 学術報語論文 Ffectiveness of a camera support system for the prevention of occupational anti-cancer drug exposure.	会議発表 (論文・ロ頭)							ド・セラ ピューティク ス(実践薬物 治療)学術会第 11回学術大会 日本社会薬学 会第42年会合	Sep-21
学術植誌論文	図書		1						Jul-21
会議奏表 (論文・口頭) その解消方法に関する調査		Effectiveness of a camera support system for the	KISHIMOTO Makoto TAKUMA Chogahara KISHIMOTO	社会薬学	40	1	12		Jun-21
	会議発表 (論文・ロ頭)							年薬学会学術	May-21
学術雑誌論文 (学外) かいたコーティング製剤の服用性の評価		立度評価表(FIM)に影響する薬学的要因の探索-	与 中野 仁 板谷 一宏 熊木	医療薬学	47	2	96		Feb-21
学術雑誌論文 ゲル化コーティング製剤の服用性の評価	図書	今日のOTC薬:解説と便覧改訂第5版							Feb-21
学所雑誌論文   学所推誌論文   学所推述論文   学所推述》文学学表述。   学所推述論文   学所推述論文   学所推述論文   学所推述論文   学所推述論文   学所推述論文   学所推述》文学学表述。   学所推述論文   学所推述   学所推述   学所推述論文   学所推述》文学所推述。   学所推述論文   学所推述論文   学所推述論文   学所推述》文述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述		ゲル化コーティング製剤の服用性の評価	鈴木 奈緒 秋山 滋男 岸本 桂		24	3	231		Dec-20
図書         薬学総論・衛生薬学 (スタンダード薬学シリーズ II:9. 薬学演習:3)         木内 祐二   岸本 桂子   沼澤 財	学術雑誌論文 (学外)	The state of the s		学会誌JSPEN	2	5	316		Nov-20
上で、どのような情報を求めているか?	図書	薬学総論・衛生薬学(スタンダード薬学シリーズ	木内 祐二 岸本 桂子 沼澤 聡						Nov-20
図書	学術雑誌論文 (学外)		川田 愛 岸本 桂子	社会薬学	39	1	12		Jun-20
学術雑誌論文 (学外) administration to patients with dysphagia in convalescence rehabilitation wards	図書		岸本 桂子						Mar-20
京図的/昇意図的中断に着目した服業アドヒアラ   根井 秀彦   岸本 桂子   森藤 ち		administration to patients with dysphagia in	Keiko   KUMAKI Ryota   AKAGAWA	Jap J Compr Rehabil Sci	10	2019	108		Dec-19
(学外)     セージ 質的分析によるアプローチ     子     社会業学     37     1     36     JUIF16       学術雑誌論文 (学外)     スマートフォン向けフリーマーケットアブリケー ションにおける医薬品出品の現状と違反報告への 対応     岸本 桂子 竹内 智重 福島 紀 子     ヤAKUGAKU ZASSHI 137     12     1533     Dec-17       学術雑誌論文 (学外)     国民の院外処方賛否に関する評価の視点一混合研 究法を用いてー     男全 恵里花 岸本 桂子 福島 紀子 櫻井 秀彦     社会薬学     36     2     78     Dec-17       学術雑誌論文 (学外)     中学生に対する医薬品の適正使用教育と薬物乱用 防止教育の在り方と多職種からの視点     城山 今日子 岸本 桂子 小林 典子 山浦 克典 福島 紀子     社会薬学     36     1     2     Jun-17				ティカルコミュニケー	16	2	4		Oct-18
学術雑誌編文 (学外) ションにおける医薬品出品の現状と違反報告への 子				社会薬学	37	1	38		Jun-18
(学外)     究法を用いて     紀子 櫻井 秀彦     社会業学     36     2     78     Dec-17       学術雑誌論文 (学外)     中学生に対する医薬品の適正使用教育と薬物乱用 防止教育の在り方と多職種からの視点     城山 今日子 岸本 桂子 小林 典子 山浦 克典 福島 紀子     社会薬学     36     1     2     Jun-17		ションにおける医薬品出品の現状と違反報告への		YAKUGAKU ZASSHI	137	12	1533		Dec-17
(学外) 防止教育の在り方と多職種からの視点 典子 山浦 克典 福島 紀子 <sup>社会楽字</sup> 36 1 2 Jun-17				社会薬学	36	2	78		Dec-17
昭和大学 部門名 薬物治療学 離名 教授 氏名 向後麻里	学術雑誌論文 (学外)			社会薬学	36	1	2		Jun-17
	昭和大学	部門名 薬物治療学	職名 教授	氏名 向後庭里					

昭和大学	部門名 薬物治療学	職名 教授	氏名 向後麻里					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月

学術雑誌論文 (学外)	Prognostic Index for Survival in Patients with Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer Treated with Third- Generation Agents.	KOGO Mari  SUNAGA Tomiko  NAKAMURA Shoko   AKITA Takahiro   KURIHARA Tatsuya   SHIKAMA Yusuke   NAKAJIMA Hiroaki   TOBE Takashi   YONEYAMA Keiichiro   KIUCHI Yuji	Chemotherapy	62	4	239	Jun-17
学術雑誌論文 (学外)	The Association between Fever and Prognosis in Lung Cancer Patients with Bone Metastases Receiving Zoledronic Acid.	SUNAGA Tomiko SHIMAMOTO Kazushi NAKAMURA Shoko TAKAHASHI Noriko HIGASHINO Mayumi HOZUMI Tomomi MATSUI Mitsuki NAGATANI Akiko KOKUBU Fumio KOGO Mari SASAKI Tadanori	Chemotherapy	62	6	327	Jun-17
学術雑誌論文 (学外)	Effects of riluzole on spinal seizure-like activity in the brainstem-spinal cord preparation of newborn rat.	LIN Shih Tien   OHBAYASHI Masayuki   YAMAMOTO Toshinori   ONIMARU Hiroshi   KOGO Mari	Neurosci Res	125		46	Dec-17
学術雑誌論文 (学外)	The exploration of population pharmacokinetic model for meropenem in augmented renal clearance and investigation of optimum setting of dose	TAMATSUKURI Tatsuro   OHBAYASHI Masayuki   KOHYAMA Noriko   KOBAYASHI Yasuna   YAMAMOTO Toshinori   FUKUDA Kenichiro   NAKAMURA Shunsuke   MIYAKE Yasufumi   DOHI Kenji   KOGO Mari	J Infect Chemother	24	10	834	0ct-18
学術雑誌論文 (学内)	Risk factors for initial antibiotic treatment failure in patients with aspiration pneumonia	FUKUDA Moemi  KOHYAMA Noriko   MAEDA Masayuki  KAWASAKI Tsutomu   YAMAMOTO Toshinori   KOGO Mari	Showa Univ J Med Sci	33	2	55	Jun-21

昭和大学 部門名 天然医薬治療学 職名 教授 氏名 川添和義

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	抗老化を目指した漢方薬の評価	高松 智 小池 佑果 川添 和義	アグリバイオ	5	9	98		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	腎疾患、透析療法と漢方薬	川添 和義	日本透析医会雑誌	35	1	153		Apr-20
学術雑誌論文 (学外)	What is the correct adjustment protocol for serum creatinine value to reflect renal function in bedridden elderly patients?	OTANI Tomoko   KASE Yasuko   KUNITOMO Kazufumi   SHIMOOKA Kazumi   KAWAZOE Kazuyoshi   SATO Youichi   YAMAUCHI Aiko	日本腎臓病薬物療法学 会誌	7	1	3		Jun-18
学術雑誌論文 (学外)	Helianthus tuberosus (Jerusalem artichoke) tubers improve glucose tolerance and hepatic lipid profile in rats fed a high-fat diet.	OKADA Naoto   KOBAYASHI Shinya   MORIYAMA Kouta   MIYATAKA Kohsuke   ABE Shinji   SATO Chiemi   KAWAZOE Kazuyoshi	Asian Pac J Trop Med	10	5	439		May-17
図書	症状から読み解く 薬局で買える漢方薬のトリセツ	川添 和義						May-17
会議発表 (論文・ロ頭)	中国におけるCOVID-19治療に関連する処方と生薬	川添 和義					第38回 和漢 医薬学会学術 大会(シンポ ジウム3)	Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	潜在意味解析にいき用いた非階層的クラスタリング による医療用医薬品添付文書の分類	伊東 理絵 島田 洋輔 大塚 裕太 後藤 了 真野 泰成 川添 和義					第23回 日本 医薬品情報学 会総会・学術 大会	Jun-21
会議発表 (論文・ロ頭)	トロンビン活性を抑制した治打撲一方の成分	小池 佑果 高松 智 川添 和義					第43回日本血 栓止血学会学 術集会	May-21

昭和大学 部門名 感染制御薬学 職名 教授 氏名 石野敬子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	景	10.000	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Impact of the multidisciplinary antimicrobial stewardship team intervention focusing on carbapenem descalation: A single-centre and interrupted time series analysis	Masayuki   YOKOE	Int J Clin Pract	75	з	e13693		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	新型コロナウイルスと分析化学 医療系大学の基礎系教員の支援により開設した"新型コロナウイルス対応 PCR センター"の活動	木内 祐二 小山田 英人 石野 敬子 石川 文博 宇高 結子	ぶんせき		552	485		Dec-20

学術雑誌論文 (学外)	新規格経管栄養器具(ISO 80369-3)における細菌汚染の経時的変化の検証	古屋 宏章 石野 敬子 熊木 良 太 岸本 桂子 倉田 なおみ	JSPEN	2	5	316		Nov-20
学術雑誌論文(学外)	Epidemiology and risk factors for mortality in bloodstream infections: A single-center retrospective study in Japan.	HATTORI Haruka   MAEDA Masayuki   NAGATOMO Yasuhiro  TAKUMA Takahiro   NIKI Yoshihito   NAITO Yuika   SASAKI Tadanori   ISHINO Keiko	Am J Infect Control	46	12	e75		Dec-18
学術雑誌論文 (学外)	血液培養陽性患者に対する抗菌薬適正使用支援プログラムに基づく早期介入のアウトカム評価-後ろ向き準実験的研究-	前田 真之 詫間 隆博 内藤 結花 宇賀神 和久 寺田 真悠子  小司 久志 関 はるか 石野 敬子 二木 芳人	日本化学療法学会雑誌	65	5	751		Sep-17
会議発表 (論文・口頭)	経鼻胃管、胃瘻カテーテルの真菌汚染状況	石野 敬子 稲葉 大輝 江副 紫音 古屋 宏章 倉田 なおみ					第65回日本医 真菌学会総 会・学術集会	0ct-21
会議発表 (論文・ロ頭)	学病院付属PCRセンターにおける新型コロナウイルス検出例の分子疫学的解析	石川 文博 石野 敬子 小山田 英人 宇高 結子 時松 一成 木 内 裕二					第70回日本感 染症学会東日 本地方学術集 会	0ct-21
会議発表 (論文・口頭)	抗MRSA薬使用量推移とそれぞれの 耐性 StaphylococciとEnterococci 新規検出の推移	岡冨 大輔 山西 紀子 山本 浩 之 山水 有紀子 片山 雄太 松 田 裕之 石野 敬子 二木 芳人					第36回日本環 境感染学会総 会・学術集会	Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	リネゾリド使用量低下によるリネゾリド耐性 Staphylococcus capitisの新規検出減少と薬剤費削減 効果	岡冨 大輔 山西 紀子 荒木 裕 美 高岡 俊介 山本 浩之 芝 美代子 山水 有紀子 片山 雄太  谷口 雅敏 松田 裕之 石野 敬子 福地 邦彦 二木 芳人					MRSAフォー ラム2020	Jul-21
会議発表 (論文・口頭)	新規誤接続防止コネクタ (ISO 80369-3) における 栄養チューブ接合部の洗浄方法に関する検討 (ワークショップ03 新経腸栄養コネクタへの対 応と工夫)	古屋 宏章 倉田 なおみ 石野 敬子 岸本 真					第36回日本臨 床栄養代謝学 会学術集会 (JSPEN2021)	Jul-21
会議発表 (論文・ロ頭)	新規誤接続防止コネクタ(ISO80365-3)における 栄養チューブ接合部の洗浄方法に関する検討	古屋 宏章 倉田 なおみ 石野 敬子 岸本 真					第5回日本老 年薬学会学術 大会	May-21

昭和大学 部門名 がんゲノム医療薬学 職名 教授 氏名 藤田健一

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Minimal contribution of the hepatic uptake transporter OATP1B1 to the inter-individual variability in SN-38 pharmacokinetics in cancer patients without severe renal failure.	TSUBOYA Ayako  KUBOTA Yutaro ISHIDA Hiroo  OHKUMA Ryotaro ISHIGURO Tomoyuki  HIRASAWA Yuya  ARIIZUMI Hirotsugu  TSUNODA Takuya  SASAKI Yasutsuna  MATSUMOTO Natsumi  KONDO Yusuke TOMODA Yukana  KUSUHARA Hiroyuki  FUJITA Ken-ichi	Cancer Chemother Pharmacol	88	3	543		Jun-21
その他	抗悪性腫瘍薬の効果・毒性と遊離形血漿中濃度 (シンポジウム)	藤田 健一					第28回HAB研 究機構学術年 会	Jun-21
会議発表 (論文・口頭)	Capecitabineの加水分解反応における小胞体膜輸送体OAT2の役割	石田 尚輝 荒川 大 松本 奈都 美 藤田 健一 加藤 将夫					日本薬剤学会 第36年会	May-21
会議発表 (論文・口頭)	SN-38の体内動態とOATP1B1の機能:重篤な腎機能障害のない患者において	藤田 健一 久保田 祐太郎 石田博雄 坪谷 綾子 角田 卓也 松本 奈都美 楠原 洋之 佐々木康綱					第18回日本臨 床腫瘍学会学 術集会 (JSMO2021)	Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	Higher systemic exposure to unbound active metabolites of regorafenib is associated with short progression-free survival in colorectal cancer patients	KUBOTA Yutaro   FUJITA Ken- ichi  TAKAHASHI Takehiro   SUNAKAWA Yu   ISHIDA Hiiroo   HAMADA Kazuyuki   ICHIKAWA Wataru   TSUNODA Takuya   SHIMADA Kazuhiro   MASUO Yusuke   KATO Yukio   SASAKI Yasutsuna	Clin Pharmacol Ther	108	3	586		Sep-20

学術雑誌論文 (学外)	Variants of carboxylesterase 1 have no impact on capecitabine pharmacokinetics and toxicity in capecitabine plus oxaliplatin treated-colorectal cancer patients	MATSUMOTO Natsumi  KUBOTA Yutaro  ISHIDA Hiroo  SEKIDO Masae  OHKUMA Ryotaro  ISHIGURO Tomoyuki  HIRASAWA Yuya  ARIIZUMI Hirotsugu  TSUNODA Takuya  IKUSUE Toshikazu  KOBAYASHI Kouji  HISAMATSU Atsushi  TOSHIMA Hirokazu  SHIMADA Ken  FUJITA Ken-ichi	Cancer Chemother Pharmacol	85	6	1119	Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	Rabeprazole intake does not affect systemic exposure to capecitabine and its metabolites, 5'-deoxy-5-fluorocytidine, 5'-deoxy-5-fluorouridine, and 5-fluorouracil	SEKIDO Masae   FUJITA Ken- ichi   KUBOTA Yutaro   ISHIDA Hiroo   TAKAHASHI Takehiro   OHKUMA Ryotaro   TSUNODA Takuya   ISHIKAWA Fumihiro   SHIBANUMA Motoko   SASAKI Yasutsuna	Cancer Chemother Pharmacol	83	6	1127	Jun-19
学術雑誌論文 (学外)	Decreased Disposition of Anticancer Drugs Predominantly Eliminated via the Liver in Patients with Renal Failure	FUJITA Ken-ichi  MATSUMOTO Natsumi  ISHIDA Hiroo  KUBOTA Yutaro  IWAI Shinichi  SHIBANUMA Motoko  KATO Yukio	Curr Drug Metab	20	5	361	Mar-19

#### 

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	腸管不全患者への垣根を超えた治療—インタープロフェッショナル・コラボレーション—(学術セミナー-09)	千葉 正博					第36回日本臨 床栄養代謝学 会学術集会	
図書	日本臨床栄養代謝学会JSPENテキストブック	千葉 正博				571		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	Ethanol lock therapy in pediatric patients: A multicenter prospective study	CHIBA Masahiro   YONEKURA Takeo   KAJI Tatsuru   AMAE Shintaro   TAZUKE YUKO   OOWARI Mitsugu   OBANA Kazuko   NAKANO Miwako   KURODA Tasuo   FUKUMOTO Kouzi   YAMANE YUSUKE   YOSHINO Hiroaki   HEBIGUCHI Tatsuzo   TOKI Akira	Pediatr Int	62	3	379		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	長期中心静脈カテーテル患者のエタノールロック 療法	千葉 正博 米倉 竹夫 加治 建  天江 新太郎 田附 裕子 大割 買 尾花 和子 中野 美和子 黒 田 達夫 福本 弘二 山根 裕介  吉野 裕顕 蛇口 達造 土岐 彰 日本小児外科代謝研究会中心 静脈カテーテルエタノールロック 療法ワーキンググループ	小児外科	52	1	77		Jan-20
学術雑誌論文 (学外)	短小腸患児への経口用ω3系油脂高含有製剤の有用性	千葉 正博 土岐 彰 杉山 彰英  菅野 丈夫 佐藤 千秋 十良澤  勝雄 八木 仁史 添野 民江	日本静脈経腸栄養学会雑誌	32	3	1207		Jul-17
学術雑誌論文 (学外)	Markers of enteral adaptation in pediatric short bowel syndrome.	CHIBA Masahiro  SANADA Yutaka   TOKI Akira	Pediatr Int	59	8	911		May-17

## 昭和大学 部門名 教育実践学部門 職名 准教授 氏名 田中佐知子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	参加型演習科目「臨床心理学の活用」の遠隔授業での実施 -オンラインを活用した教育システムの構築-	田中 佐知子 加藤 里奈 小林如乃 小林 文 山本 仁美	薬学教育	5		2020-073		Aug-21
学術雑誌論文 (学外)	Rubric Assessment for Pharmacotherapy in Spiral Curriculum: Development and Usefulness Evaluation	HANDA Satoko   KOHYAMA Noriko   KURIHARA Tatsuya   SUGIYAMA Erika   TANAKA Sachiko   YAMAMOTO Hitomi   MIYASAKA Yoshiyuki   KOGO Mari   KATO Yasuhisa   NAKAMURA Akihiro   YAMAMOTO Toshinori	薬学雑誌	140	12	1441		Dec-21
学術雑誌論文 (学内)	薬局薬剤師による小児在宅医療促進への課題と行動目標の提案	小林 文 篠原 大志 佐口 健一  加藤 里奈 田中 佐知子	昭和学士会雑誌	80	1	75		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	質的研究から見えるもの 質的研究により学修成 果を捉える	榎田 めぐみ 田中 佐知子 佐口 健一	薬学教育	3		45		Jan-20

学術雑誌論文 (学外)	Medication Counseling in English for Japanese Pharmacy Students	KOBAYASHI Aya YAZAWA Kinu SAGUCHI Kenichi TANAKA Sachiko	JAS4QoL	4	3	1		Sep-18
会議発表 (論文·口頭)	オンラインを活用した教育システムを効果的に実施するための教員・学生支援体制の構築	加藤 里奈 山本 仁美 小林 文 田中 佐知子					第6回日本薬 学教育学会大 会	Aug-21
会議発表 (論文·口頭)	薬剤師から見た薬剤師養成教育の評価(第2報) -全国薬剤師アンケートによる旧4年制課程と6年 制課程との比較-	小林 文 加藤 里奈 山本 仁美  田中 佐知子					第6回日本薬 学教育学会大 会	Aug-21
会議発表 (論文・口頭)	臨床研修薬剤師のプロフェッショナリズム評価- P-MEX評価と自己省察レポートの解析-	竹安 葵 加藤 里奈 小林 文  山本 仁美 北原 加奈之 百 賢 二 佐々木 忠徳 田中 佐知子					第65回日本薬 学会関東支部 大会	Sep-21
昭和大学	部門名 医薬化学	職名 准教授	氏名 永田和弘	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Synthesis and Catalytic Activities of 3-Decyl-β-proline for Michael Reactions in Water without an Organic Solvent	永田 和弘 NAKAGAWA Chihiro YOKOYAMA Wakana USUI Haruka  MOCHIZUKI Rikako KANEMITSU Takuya MIYAZAKI Michiko ITOH Takashi	ACS Omege	6		19642		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	Asymmetric Michael addition of malonic diesters to acrylates by phase-transfer catalysis toward the construction of quaternary stereogenic $\alpha$ -carbons	ODANAKA Yuki   KANEMITSU Takuya   IWASAKI Kanako   MOCHIZUKI Yukiko   MIYAZAKI Michiko   NAGATA Kazuhiro   KATO Masaru   ITOH Takashi	Tetrahedron	75	2	209		Jan-19
図書	クライン有機化学問題の解き方(日本語版)	伊藤 喬 稲垣 昌博 太田 公規 金光 卓也 小林 広和 永田 和弘 平井 康昭 福原 潔 前川 智弘 宮崎 倫子 山本 雅人						Mar~20
図書	スタンダード薬学シリーズII-9 薬学演習 II.基礎科学	分担						2021-刊 行予定
学会発表	有機分子触媒を用いたVibralactoneの不斉全合成	廣瀬瑠記 金光卓也 宮崎倫子 永 田和弘 伊藤 喬					日本薬学会第 141年会	2021年 3月
昭和大学	部門名 医薬化学	職名 准教授	氏名 太田公規	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	ホウ素を枢要とした革新的創薬	太田 公規					日本薬学会第 142年会	Mar-22
学術雑誌論文	Antidepressant effect of BE360, a new selective estrogen receptor modulator, activated via CREB/BDNF, Bcl-2 signaling pathways in ovariectomized mice	SAKUMA Wakana  NAKAGAWASAI Osamu  NEMOTO Wataru  ODAIRA Takayo  OGAWA Takumi  OHTA Kiminori  ENDO Yasuyuki  TAN-NO Koichi	Behav Brain Res	393		112764	, = 1	Sep-20
図書	クライン有機化学問題の解き方(日本語版)	伊藤 喬 稲垣 昌博 太田 公規  金光 卓也 小林 広和 永田 和弘 平井 康昭 福原 潔 前川 智弘 宮崎 倫子 山本 雅人						Mar-20
学術雑誌論文 (学外)	Design and Synthesis of Novel Breast Cancer Therapeutic Drug Candidates Based upon the Hydrophobic Feedback Approach of Antiestrogens	OHTA Kiminori KAISE Asako TAGUCHI Fumi AOTO Sayaka OGAWA Takumi ENDO Yasuyuki	Molecules	24	21	3966		Nov-19
学術雑誌論文 (学外)	An automated microliter-scale high-throughput screening system (MSHTS) for real-time monitoring of protein aggregation using quantum-dot nanoprobes	SASAKI Rina   TAINAKA Reina   ANDO Yuichi   HASHI Yurika   DEEPAK Hadya V   SUGA Yoshiko   MURAI Yuta   ANETAI Masaki   MONDE Kenji   OHTA Kiminori   ITO Ikuko   KIKUCHI Haruhisa   OSHIMA Yoshiteru   ENDO Yasuyuki   NAKAO Hitomi   SAKONO Masafumi   UWAI Koji   TOKURAKU Kiyotaka	Sci Rep	9	1	2587		Feb-19

昭和大学 部門名 生物化学部門 職名 准教授 氏名 小濵孝士

Novel androgen receptor full antagonists: Design, synthesis, and a docking study of glycerol and aminoglycerol derivatives that contain p-?carborane

学術雑誌論文 (学外)

26

Bioorg Med Chem

3805

Jul-18

KAISE Asako | OHTA Kiminori | FUJII Shinya | ODA Akifumi | GOTO Tokuhito | ENDO Yasuyuki

会議発表 (論文・ロ頭)	生体内酸化LDL研究の進展	小濵 孝士 板部 洋之					第94回日本生 化学会大会	Nov-21
会議発表 (論文・口頭)	感染症と酸化リポタンパク質	板部 洋之 小濵 孝士					第94回日本生 化学会大会	Nov-21
会議発表 (論文・口頭)	好中球細胞外トラップ形成におけるlysoPCの関与	小濵 孝士 澤田 直子 牧山 智 彦 板部 洋之					第63回日本脂 質生化学会	Jun-21
会議発表 (論文・口頭)	細胞内脂肪滴形成機構における小胞出芽制御因子 Sar1の影響	牧山 智彦 小濵 孝士 板部 洋 之					第63回脂質生 化学会	Jun-21
会議発表 (論文・ロ頭)	好中球細胞外トラップ: 感染制御から血管疾患の 増悪へ	小濵 孝士 板部 洋之					第21回 Pharmaco- Hematologyシ ンポジウム	May-21
学術雑誌論文 (学外)	Structure and dynamics of oxidized lipoproteins in vivo: roles of high-density lipoprotein.	ITABE Hiroyuki   SAWADA Naoko   MAKIYAMA Tomohiko   OBAMA Takashi	Biomedicines	9	6	655		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Neutrophils as a novel target of modified low-density lipoproteins and an accelerator of cardiovascular diseases.	OBAMA Takashi ITABE Hiroyuki	Int J Mol Sci	21	21	8312		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	Circulating Oxidized LDL, Increased in Patients With Acute Myocardial Infarction, Is Accompanied by Heavily Modified HDL	SAWADA Naoko   OBAMA Takashi   KOBA Shinji   TAKAKI Takashi   IWAMOTO Sanju   AIUCHI Toshihiro   KATO Rina   KIKUCHI Masaki   HAMAZAKI Yuji   ITABE Hiroyuki	J Lipid Res	61	6	816		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	Cooperative action of oxidized low-density lipoproteins and neutrophils on endothelial inflammatory responses through neutrophil extracellular trap formation	OBAMA Takashi   OHINATA Hitomi   TAKAKI Takashi   IWAMOTO Sanju   SAWADA Naoko   AIUCHI Toshihiro   KATO Rina   ITABE Hiroyuki	Front Immunol	10		1899		Aug-19
学術雑誌論文 (学外)	Temporal and spatial changes of peroxiredoxin 2 levels in aortic media at very early stages of atherosclerotic lesion formation in apoE-knockout mice.	KATO Rina HAYASHI Masataka AIUCHI Toshihiro SAWADA Naoko OBAMA Takashi ITABE Hiroyuki	Free Radic Biol Med	130		348		Jan-19

昭和大学 部門名 毒物学 職名 准教授 氏名 芦野 隆

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Inorganic polyphosphate modulates leukocyte accumulation and vascular endothelial cell permeability and ameliorates cecal ligation and puncture-induced lethality	YAMAZAKI Yoshitaka   TERASHIMA- HASEGAWA Mikako   MANABE Atsufumi   SHIBA Toshikazu   KAWAZOE Yumi   ASHINO Takashi   HOSONUMA Masahiro   NUMAZAWA Satoshi	Fundam Toxicol Sci	8	3	89		Ju I –21
会議発表 (論文・ロ頭)	血小板由来増殖因子による血管平滑筋細胞遊走に おけるサルフェンイオウの役割	芦野 隆 石井 俊一 沼澤 聡					第48回日本毒 性学会学術年 会	Ju I-21
学術雑誌論文 (学外)	Reactive sulfur species inhibit the migration of PDGF- treated vascular smooth muscle cells by blocking the reactive oxygen species-regulated Akt signaling pathway.	ISHII Shunichi ASHINO Takashi FUJIMORI Hiroki NUMAZAWA Satoshi	Free Radic Res	55	2	186		Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	Nrf2 Antioxidative System is Involved in Cytochrome P450 Gene Expression and Activity: A Delay in Pentobarbital Metabolism in Nrf2-Deficient Mice.	ASHINO Takashi YAMAMOTO Masayuki NUMAZAWA Satoshi	Drug Metab Dispos	48	8	673		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	Inorganic polyphosphate protects against lipopolysaccharide-induced lethality and tissue injury through regulation of macrophage recruitment.	TERASHIMA-HASEGAWA Mikako   ASHINO Takashi   KAWAZOE Yumi   SHIBA Toshikazu   MANABE Atsufumi   NUMAZAWA Satoshi	Biochem Pharmacol	159		96		Jan-19
学術雑誌論文 (学外)	Copper transporter ATP7A interacts with IQGAP1, a Rac1 binding scaffolding protein: role in PDGF-induced VSMC migration and vascular remodeling.	ASHINO Takashi KOHNO T. SUDHAHARV. ASH D. USHIO- FUKAI M. FUKAI T.	Am J Physiol Cell Physiol	315	6	C850		Dec-18

昭和大学 部門名 薬理学部門 職名 准教授 氏名 柴田佳太

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	 学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	Potent efficacy of Stachybotrys microspora triprenyl	SHIBATA Keita   HASHIMOTO					
学術雑誌論文	phenol-7, a small molecule having anti-inflammatory	Terumasa   HASUMI Keiji   NOBE Koji	5 181 1				
(学外)	and antioxidant activities, in a mouse model of acute		Eur J Pharmacol				in press
	kidney injury.						

学術雑誌論文 (学外)	Effect of the simple suspension method and crushing method on the pharmacokinetics of temocapril combined with magnesium oxide.	MACHINO Hanami  HIDA Noriko  HARADA Tsutomu  SHIBATA Keita   SAMBE Takehiko  RYU Kakel  MIZUKAMI Takuya   YAMAZAKI Taigi  MOROHOSHI Hokuto  MURAYAMA Nobuhiro   TAKENOSHITA Sachiko   UCHIDA Naoki   KURATA Naomi	Jpn J Pharm Health Care Sci					in press
学術雑誌論文 (学外)	Acetic acid treatment causes renal inflammation and chronic kidney disease in mice.	HASHIMOTO Terumasa   SHIBATA Keita   HONDA Kazuo   NOBE Koji	J Pharmacol Sci	146	3	160		Ju I – 21
学術雑誌論文 (学外)	SMTP-44D improves diabetic neuropathy symptoms in mice through its antioxidant and anti-inflammatory activities	SHINOUCHI Ryosuke SHIBATA Keita HASHIMOTO Terumasa JONO Shiori HASUMI Keiji NOBE Koji	Pharmacol Res Perspect	8	6	e00648		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)	Thrombolytic Therapy for Acute Ischemic Stroke: Past and Future	SHIBATA Keita   HASHIMOTO Terumasa   MIYAZAKI Takuro   MIYAZAKI Akira   NOBE Koji	Curr Pharm Des	25	3	242		Jun-19
会議発表 (論文・口頭)	化学療法誘発性末梢神経障害(CIPN)モデルマウスを用いたハンドセラピー施術による神経障害改善効果の解明	篠内 良介 佐々木 晶子 柴田 佳太 古林 創史 芦野 隆 坂井 信裕 山口 真帆 佐藤 ゆり絵  細沼 雅弘 高木 孝士 辻 まゆ み 野部 浩司 木内 祐二					第53回日本臨 床分子形態学 会総会・学術 集会	0ct-21
会議発表 (論文・口頭)	SMTP-44Dの抗酸化作用および抗炎症作用を介した糖尿病神経障害に対する作用メカニズムの検討	篠内 良介 柴田 佳太 城野 詩 織 橋本 光正 蓮見 惠司 野部 浩司					第36回日本糖 尿病合併症学 会	0ct-21

## 昭和大学 部門名 生理・病態学 職名 准教授 氏名 谷岡 利裕

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	単球由来Dleta-1誘導ランゲルハンス細胞様樹状細胞は乾癬病態に関連するサイトカインを産生する	高橋 玲 巖本 三壽 谷岡 利裕 前田 耕平					第36回日本乾 癬学会学術大 会	Sep-21
学術雑誌論文 (学内)	A profile of pro-inflammatory cytokine expression in human Delta-1-induced monocyte-derived Langerhans cell-like dendritic cells after stimulation with Toll-like receptor ligands	TAKAHASHI Rei  WAMOTO Sanju TANIOKA Toshihiro MAEDA Kohei	Showa Univ J Med Sci	33	3	67		Sep-21
学術雑誌論文 (学外)	The Ang III/AT2R Pathway Enhances Glucose Uptake by Improving GLUT1 Expression in 3T3-L1 Adipocytes.	TANIOKA Toshihiro MAEDA Kohei TAKAHASHI Rei IWAMOTO Sanju	Biol Pharm Bull	44	7	1014		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	急性期脳梗塞患者におけるアルガトロパン投与中の 症状悪化と投与方法の関連性についての検討	須永 登美子 東野 真弓 木村 綾沙 馬場 康彦 谷岡 利裕 渡邊 徹 佐々木 忠徳	薬学雑誌	140	11	1373		Nov-20
図書	症候学的病態生理学 症候学的に病態生理・トリ アージ・セルフメディケーションを考える	岩井 信市 巖本 三壽 木内 祐二 神山 紀子 谷岡 利裕 橋本 光正 稗田 宗太郎						Aug-20
学術雑誌論文 (学内)	Regulatory Effect of IL-4 on Early Th17 Differentiation from Naive T Cells into Stem Cell Memory Th17 Precursors via Modulation of CD31 and CCR6 Expression	MAEDA Kohei TANIOKA Toshihiro IWAMOTO Sanju	Showa Univ J Med Sci	32	2	135		Jul-20
会議発表 (論文・口頭)	A profile of pro-inflammatory cytokine expression in human Delta-1-induced monocyte-derived Langerhans cell-like dendritic cells after stimulation with Toll-like receptor ligands	TAKAHASHI Rei IWAMOTO Sanju TANIOKA Toshihiro MAEDA Kohei					第50回日本免 疫学会学術集 会	

# 昭和大学 部門名 薬剤学 職名 准教授 氏名 原田努

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	服薬補助食品がOD錠の崩壊性に及ぼす影響の解明	原田 努					PLCM(耕薬)研 究会 第15回 シンポジウム	Feb-22
会議発表 (論文・口頭)	小児患者の声を活かす新たな製剤設計への挑戦	原田 努					第4回製剤技 術研究コン ソーシアム	Dec-21
会議発表 (論文・ロ頭)	小児製剤の効率的な開発のためのEuropean Paediatric Formulation Initiativeとの連携	原田 努					第42回日本臨 床薬理学会学 術大会	
会議発表 (論文・口頭)	製剤から見た簡易懸濁法	原田 努					第31回日本医 療薬学会年会	0ct-21

(論文・口頭)		MITSUI Nao  HIDA Noriko  KAMIYA Taro  YAMAZAKI Taigi  MIYAZAKI Kazuki  SAITO Kiyomi  SAITO Jumpei  YAMATANI Akimasa   ISHIKAWA Yoichi  NAKAMURA Akihiro  HARADA Tsutomu   NAKAMURA Hidefumi			13th Annual Conference European Paediatric Formulation Initiative (EuPFI 2021)	Sep-21
会議発表	6か月以上2歳未満の乳幼児における 細粒剤およびシロップ剤を対照としたミニタブ レットの服用性と受容性の検討	鈴木(三井)祭緒 肥田 典子 神谷 太郎 山崎 太義 宮崎 和城 齋 藤 清美 齋藤 順平 山谷 明正  石川 洋一 中村 秀文 中村 明弘 原田 努			日本薬剤学会 第36年会	May-21

昭和大学 部門名 薬物動態学 職名 准教授 氏名 杉山恵理花

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Associations among plasma concentrations of regorafenib and its metabolites, adverse events, and ABCG2 polymorphisms in patients with metastatic colorectal cancers.	KOBAYASHI Kazuo SUGIYAMA Erika SHINOZAKI E WAKATSUKI T TAJIMA Masataka KIDOKORO Hiyori AOYAMA T NAKANO Y KAWAKAMI K HASHIMOTO K SUENAGA M ICHIMURA T OGURA M CHIN K NAKAYAMA I OOKI A TAKAHARI D SUZUKI W YOKOKAWA T MINOWA Y HIRAOKA T SUZUKI K SATO Hitoshi HAMA T YAMAGUCHI K	Cancer Chemother Pharmacol	87	6	767		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Effects of dosing frequency on the clinical efficacy of ampicillin/sulbactam in Japanese elderly patients with pneumonia: A single-center retrospective observational study.	SUZUKI Tomokazu  SUGIYAMA Erika   NOZAWA Kenji   TAJIMA Masataka   TAKAHASHI Kyoka   YOSHII M   SUZUKI H   SATO VH   SATO Hitoshi	Pharmacol Res Perspect	9	2	e00746		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	Nonlinear Disposition and Metabolic Interactions of Cannabidiol Through CYP3A Inhibition <i>In Vivo</i> In Rats.	NAGAO Michiru  NAKANO Yukako  TAJIMA Masataka  SUGIYAMA Erika  SATO VH  INADA M  SATO Hitoshi	Cannabis Cannabinoid Res	5	4	318		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)	Development of a Novel Nanoemulsion Formulation to Improve Intestinal Absorption of Cannabidiol	NAKANO Yukako TAJIMA Masataka 杉山 恵理花 SATO Vilasinee Hirunpanich SATO Hitoshi	Med Cannabis Cannabinoids	2		35		Apr-19
学術雑誌論文 (学外)	Comparison of adverse events following injection of original or generic docetaxel for the treatment of breast cancer.	TAGAWA Nao SUGIYAMA Erika TAJIMA Masataka SASAKI Yasutsuna NAKAMURA Seigo OKUYAMA Hiromi SHIMIZU Hisanori SATO Vilasinee Hirunpanich SASAKI Tadanori SATO Hitoshi	Cancer Chemother Pharmacol	80	4	841		0ct-17
会議発表 (論文・口頭)	チオ硫酸銀錯体によるがん細胞選択的な抗腫瘍効果	太田 晃 田島 正教 森 一憲  杉山 恵理花 佐藤 均					第373回昭和 大学学士会例 会(薬学部会 主催)	Jun-21

昭和大学 部門名 衛生薬学部門 職名 准教授 氏名 桑田 浩

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	長鎖アシルCoA合成酵素4の欠損はLPS誘発ショックを増強する	桑田 浩 原 俊太郎					第94回日本生 化学大会	Nov-21
会議発表 (論文・ロ頭)	高度不飽和脂肪酸の活性化の阻害が炎症応答に及 ぼす影響	桑田 浩 原 俊太郎					第21回 Pharmaco- Hematology シ ンポジウム	May-21
学術雑誌論文 (学外)	Ferroptosis driven by radical oxidation of n-6 polyunsaturated fatty acids mediates acetaminopheninduced acute liver failure	YAMADA Naoya   KARASAWA Tadayoshi   KIMURA Hiroaki   WATANABE Sachiko   KOMADA Takanori   KAMARA Ryo   SAMPILVANJIL Ariunaa   ITO Junya   NAKAGAWA Kiyotaka   KUWATA Hiroshi   HARA Shuntaro   MIZUTA Koichi   SAKUMA Yasunaru   SATA Naohiro   TAKAHASHI Masafumi	Cell Death Dis	11	2	144		Feb-20

学術雑誌論文 (学外)	Long-chain acyl-CoA synthetase 4 participates in the formation of highly unsaturated fatty acid-containing phospholipids in murine macrophages.	KUWATA Hiroshi   NAKATANI Eriko   SHIMBARA-MATSUBAYASHI Satoko   ISHIKAWA Fumihiro   SHIBANUMA Motoko   SASAKI Yuka   YODA Emiko   NAKATANI Yoshihito   HARA Shuntaro	Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	1864	11	1606	Nov-19
学術雑誌論文 (学外)	Role of acyl-CoA synthetase ACSL4 in arachidonic acid metabolism.	KUWATA Hiroshi   HARA Shuntaro	Prostaglandins Other Lipid Mediat	144		106363	Jul-19
学術雑誌論文 (学外)	Calcium-independent phospholipase A2y (iPLA2y) and its roles in cellular functions and diseases.	HARA Shuntaro YODA Emiko SASAKI Yuka NAKATANI Yoshihito KUWATA Hiroshi	Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	1864	6	861	Jun-19
学術雑誌論文 (学外)	The group VIA calcium-independent phospholipase A2 and NFATc4 pathway mediates IL-1β-induced expression of chemokines CCL2 and CXCL10 in rat fibroblasts.	KUWATA Hiroshi  YUZURIHARA Chihiro  KINOSHITA Natsumi  TAKI Yuki  IKEGAMI Yuki  WASHIO Sana   HIRAKAWA Yushi  YODA Emiko   AIUCHI Toshihiro  ITABE Hiroyuki  NAKATANI Yoshihito  HARA Shuntaro	FEBS J	285	11	2056	Jun-18

昭和大学 部門名 医薬品評価薬学 職名 准教授 氏名 亀井大輔

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Gene deletion of microsomal prostaglandin E synthase-1 suppresses chemically induced skin carcinogenesis.	SASAKI Yuka, KUWATA Hiroshi, AIDA Eri, OCHIAI Tsubasa, KAMEI Daisuke, NAKATANI Yoshihito, HARA Shuntaro	Anticancer Res	41	3	1307		21-Mar
学術雑誌論文 (学外)	Effect of intraoral antioxidative capacity in orengedokuto	NISHIJIMA Hiroaki, TAKAMATSU Satoshi, SATOH Kazue, MURASE Remi, TAKI Iori, KAMEI Daisuke, KAWAZOE Kazuyoshi, NEMOTO Yukio, IWAI Shinichi	Tradit Kampo Med	7	1	30		20-Apr
学術雑誌論文 (学外)	Oxaliplatin induces prostaglandin E2 release in vascular endothelial cells	MATSUNUMA Satoru, HANDA Satoko, KAMEI Daisuke, YAMAMOTO Hitomi, OKUYAMA Kiyoshi, KATO Yasuhisa	Cancer Chemother Pharmacol	84	2	345		19-Aug
学術雑誌論文 (学外)	Anti-inflammatory effects of new catechin derivatives in a hapten-induced mouse contact dermatitis model.	NAKANO Eriko, KAMEI Daisuke, MURASE Remi, TAKI Iori, KARASAWA Koji, FUKUHARA Kiyoshi, IWAI Shinichi		845		40		19–Feb
学術雑誌論文 (学外)	Coadministration of cytotoxic chemotherapeutic agents with irinotecan is a risk factor for irinotecan-induced cholinergic syndrome in Japanese patients with cancer.	TSUBOYA Ayako, FUJITA Ken-ichi, KUBOTA Yutaro,ISHIDA Hiroo, TAKI (TAKEMOTO) Iori, KAMEI Daisuke, IWAI Shinichi, SASAKI Yasutsuna	Int J Clin Oncol	24	2	222		19-Feb
学術雑誌論文 (学外)	KRAS and EGFR Amplifications Mediate Resistance to Rociletinib and Osimertinib in Acquired Afatinib- Resistant NSCLC Harboring Exon 19 Deletion/T790M in EGFR.	NAKATANI Kaori, YAMAOKA Toshimitsu, OHBA Motoi, FUJITA Ken- ichi, ARATA Satoru, KUSUMOTO Sojiro, TAKI (TAKEMOTO) Iori, KAMEI Daisuke, IWAI Shinichi, TSURUTANI Junji, OHMORI Tohru	Mol Cancer Ther	18	1	112		19-Jan

昭和大学 部門名 薬物治療学 職名 准教授 氏名 大林 真幸

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	COP-NLRを用いた転移性腎細胞癌スニチニブ内服 患者における予後予測モデルの構築	里 美貴 井田 歩希 神田 雄貴  高野 華央里 大林 真幸 神山 紀子 森田 順 富士 幸藏 佐々 木 春明 小川 良雄 向後 麻里					医療薬学 フォーラム 2021 第29回 クリニカル ファーマシー シンポジウム	Ju I – 21
会議発表 (論文・口頭)	慢性閉塞性肺疾患患者の急性増悪に対する初期治療の効果に関連する因子の検討	神山 紀子 井上 夕子 岩? 恵 里佳 井原 菜月 平井 邦朗 相 良 博典 竹中 美貴 大林 真幸  向後 麻里					日本薬学会第 141年会	Mar-21
学術雑誌論文 (学内)	パワーリフティングにおけるパフォーマンス評価 のための加速度測定システム	船登 雅彦 蜂須 貢 落合 裕隆  芳賀 秀郷 大林 真幸 上間 裕二 三邉 武幸	昭和学士会雑誌	79	5	609		0ct-19
学術雑誌論文 (学外)	The exploration of population pharmacokinetic model for meropenem in augmented renal clearance and investigation of optimum setting of dose	TAMATSUKURI Tatsuro   OHBAYASHI Masayuki   KOHYAMA Noriko   KOBAYASHI Yasuna   YAMAMOTO Toshinori   FUKUDA Kenichiro   NAKAMURA Shunsuke   MIYAKE Yasufumi   DOHI Kenji   KOGO Mari	J Infect Chemother	24	10	834		Oct-18

		LIN Shih Tien   OHBAYASHI					
	Effects of riluzole on spinal seizure-like activity in the	Masayuki YAMAMOTO	Neurosci Res	125	46	Dec-17	l
(学外)	brainstem-spinal cord preparation of newborn rat.	Toshinori   ONIMARU Hiroshi   KOGO	rearesernes	123	.0	DC0 17	l
		Mari					l

昭和大学 部門名 天然医薬治療学 職名 准教授 氏名 栗原竜也

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Factors predicting addition of disease-modifying antirheumatic drugs after initial methotrexate monotherapy in patients with rheumatoid arthritis.	YAMAGUCHI Takashi KOHYAMA Noriko TAKENAKA Miki OKADA Takahiro KURIHARA Tatsuya SAKURAI Kosuke MIWA Yusuke KOGO Mari	Clin Rheumatol	40	7	2657		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	Scoring Model to Predict a Low Disease Activity in Elderly Rheumatoid Arthritis Patients Initially Treated with Biological Disease-modifying Antirheumatic Drugs	OKADA Takahiro  KOHYAMA Noriko  TAKENAKA Miki  YAMAGUCHI Takashi  KURIHARA Tatsuya   SAKURAI Kosuke   MIWA Yusuke   KOGO Mari	Intern Med	60	12	1827		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Predictive Factors of Opioid Induced Nausea in Cancer Patients	Yasuha Ogawa   Tatsuya Kurihara   Mami Sakurai   Megumi Monma   Hirofumi Nakayama   Hitomi Higuchi   Mari Kogo   Yuji Kiuchi	J Pain Palliat Care Pharmacother.	35	1	7		Dec-21
学術雑誌論文 (学外)	Aging   Obesity   Dyslipidemia   and Hypertension in Hospital Room are Clinical Risk Factors Relating to Pre- Anesthesia Hypertension.	Mizuno J   Kato S   Arita H   Hanaoka K   Kiuchi Y   Kurihara T		52	2	110		Mar-20
学術雑誌論文 (学外)	Risk Associated with Severe Hematological Toxicity in Patients with Urothelial Cancer Receiving Combination Chemotherapy of Gemcitabine and Cisplatin.	TAKAHASHI Noriko   SUNAGA Tomiko   FUJIMIYA Tatsuhiro   KURIHARA Tatsuya   NAGATANI Akiko   YAMAGISHI Motoki   WATANABE Toru   SASAKI Haruaki   OGAWA Yoshio   SASAKI Tadanori	Chemotherapy	65	####	29		Ju l – 20
会議発表 (論文・ロ頭)	多変量解析を用いた、心理教育プログラムを受けた統合失調症患者の再入院のリスク因子の検討	中野 裕佳子 杉沢 諭 栗原 竜也 古屋 宏章 永井 努 黒沢 雅広 常岡 俊昭 稲本 淳子 岩 波 明					第5回日本精 神薬学会総 会・学術集会	Aug-21

昭和大学 部門名 感染制御薬学 職名 准教授 氏名 前田真之

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	antimicrobial stewardship: A nationwide survey	MAEDA Masayuki  MURAKI Y  KOSAKA T  YAMADA T  AOKI Y  KAKU M  SEKI M  TANABE Y  FUJITA N  NIKI Yoshihito  MORITA K  YANAGIHARA K  YOSHIDA K  KAWAGUCHI T	J Infect Chemother	27	1	1		Jan-21
学術雑誌論文 (学外)	Development of the predicted and standardized carbapenem usage metric: Analysis of the Japanese Diagnosis Procedure Combination payment system data.	MAEDA Masayuki  MURAKI Y  ANNO Yuka   SAWA A  KUSAMA Y  ISHIKANE M  OHMAGARI N  OHGE H	J Infect Chemother	26	6	633		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	A nationwide questionnaire survey of clinic doctors on antimicrobial stewardship in Japan.	GUY FUJIMOTOY SOEDA H NAKAHAMA C HASEGAWA N MAESAKI S MAEDA Masayuki MATSUMOTOT MIYAIRI I OHMAGARI N	J Infect Chemother	26	2	149		Feb-20
学術雑誌論文 (学外)	Essential human resources for antimicrobial stewardship teams in Japan: Estimates from a nationwide survey conducted by the Japanese Society of Chemotherapy.	MAEDA Masayuki  MURAKI Yuichi  KOSAKA Tadashi  YAMADA Takehiro  AOKI Yosuke   KAKU Mitsuo   SEKI Masafumi  TANABE Yoshinari  FUJITA Naohisa   NIKI Yoshihito   MORITA Kunihiko   YANAGIHARA Katsunori   YOSHIDA Koichiro   KAWAGUCHI Tatsuya	J Infect Chemother	25	9	653		Sep-19
学術雑誌論文 (学外)	The first nationwide survey of antimicrobial stewardship programs conducted by the Japanese Society of Chemotherapy.	MAEDA Masayuki  MURAKI Y  KOSAKA T  YAMADA T  AOKI Y  KAKU M  KAWAGUCHI T  SEKI M  TANABE Y  FUJITA N  MORITA K  YANAGIHARA K  YOSHIDA K  NIKI YOShihito	J Infect Chemother	25	2	83		Feb-19
会議発表 (論文・口頭)	AST活動における業務時間の確保は必要不可欠な要素である:FTEによる人的資源の評価と確保に向けて	前田 真之					第68回日本化 学療法学会東 日本支部総会 学術集会	0ct-21

会議発表 (論文・口頭)	抗菌薬適正使用支援プログラムの評価におけるベ ンチマークの確立に関する研究	前田	真之			第68回日本化 学療法学会東 日本支部総会 学術集会	0ct-21
会議発表 (論文・口頭)	薬剤師が推進する抗菌薬適正使用とAMR対策- COVID-19の影響と今後の展望	前田	真之			第34回新潟県 薬剤師のため の感染制御セ ミナー	
会議発表 (論文・口頭)	COVID-19流行下における抗菌薬適正使用支援と活動評価	前田	真之			2021年度 第 4回北里大学 病院感染制御 担当者育成講 習会	

昭和大学 部門名 教育企画・評価学 職名 講師 氏名 福村基徳

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学内)	大学附属病院に勤務する医療専門職者の職種による組織コミットメントの特徴―多職種の協働推進を目的として―	大崎 千恵子 三邉 武彦 池田 尚人 福地本 晴美 大屋 晴子  福村 基徳 岩根 裕之 下司 映	昭和学士会雑誌	79	5	616		Oct-19
学術雑誌論文 (学外)	抗老化を目指した生薬及び漢方薬の評価	高松 智 米野 真織 小谷野 響子 林 真雪 荒川 菜々恵 岡田 麗 保谷 実咲 小池 佑果 福村 基徳 川添 和義	アグリバイオ	2	3	93		Feb-18
学術雑誌論文 (学外)	Soy isoflavones inducing overt hypothyroidism in a patient with chronic lymphocytic thyroiditis: a case report	NAKAMURA Yuya   OHSAWA Isao   GOTO Yoshikazu   TSUJI Mayumi   OGUCHI Tatsunori   SATO Naoki   KIUCHI Yuji   FUKUMURA Motonori   INAGAKI Masahiro   GOTOH Hiromichi	J Med Case Rep	11		253		Sep-17
学術雑誌論文 (学外)	Structural Revision of a Naphthodipyranodione from Gentian Root and its Degradation Pathway from Gentiopicroside	FUJII Mikio ANDO Hidehiro KONNO Kiju FUKUMURA Motonori HORI Yumiko HIRAI Yasuaki IDA Yoshiteru	Nat Prod Commun	12	3	395		Jan-17

#### 昭和大学 部門名教育実践学 職名 講師 氏名 加藤里奈

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学内)	薬局薬剤師による小児在宅医療促進への課題と行動目標の提案	小林 文 篠原 大志 佐口 健一  加藤 里奈 田中 佐知子	昭和学士会雑誌	80	1	75		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	Circulating Oxidized LDL, Increased in Patients With Acute Myocardial Infarction, Is Accompanied by Heavily Modified HDL	SAWADA Naoko   OBAMA Takashi   KOBA Shinji   TAKAKI Takashi   IWAMOTO Sanju   AIUCHI Toshihiro   KATO Rina   KIKUCHI Masaki   HAMAZAKI Yuji   ITABE Hiroyuki	J Lipid Res	61	6	816		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	The Significance of Oxidized Low-Density Lipoprotein in Body Fluids as a Marker Related to Diseased Conditions	ITABE Hiroyuki KATO Rina SAWADA Naoko OBAMA Takashi YAMAMOTO Matsuo	Curr Med Chem	26	9	1576		Sep-19
学術雑誌論文 (学外)	Temporal and spatial changes of peroxiredoxin 2 levels in aortic media at very early stages of atherosclerotic lesion formation in apoE-knockout mice.	KATO Rina   HAYASHI Masataka   AIUCHI Toshihiro   SAWADA Naoko   OBAMA Takashi   ITABE Hiroyuki	Free Radic Biol Med	130		348		Jan-19
学術雑誌論文 (学外)	Changes in apolipoprotein B and oxidized low-density lipoprotein levels in gingival crevicular fluids as a result of periodontal tissue conditions.	ISHIZUKA Motonori KATO Rina MORIYA Yumi NOGUCHI Emiko KOIDE Yoko INOUE Shin ITABE Hiroyuki YAMAMOTO Matsuo	J Periodontal Res	52	3	594		Jun-17
会議発表 (論文・ロ頭)	薬剤師から見た薬剤師養成教育の評価(第2報) -全国薬剤師アンケートによる旧4年制課程と6年 制課程との比較-	小林 文 加藤 里奈 山本 仁美  田中 佐知子					第6回日本薬 学教育学会	Aug-21

#### 昭和大学 部門名 医薬化学部門 職名 講師 氏名 金光卓也

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	Synthesis and Catalytic Activities of 3-Decyl-β-proline for Michael Reactions in Water without an Organic Solvent		ACS Omege	6		19642		Jul-21

図書	クライン有機化学問題の解き方(日本語版)	伊藤 喬 稲垣 昌博 太田 公規  金光 卓也 小林 広和 永田 和 弘 平井 康昭 福原 潔 前川 智 弘 宮崎 倫子 山本 雅人					Mar-20	
学術雑誌論文 (学外)	Asymmetric Michael addition of malonic diesters to acrylates by phase-transfer catalysis toward the construction of quaternary stereogenic α-carbons	ODANAKA Yuki   KANEMITSU Takuya   IWASAKI Kanako   MOCHIZUKI Yukiko   MIYAZAKI Michiko   NAGATA Kazuhiro   KATO Masaru   ITOH Takashi	Tetrahedron	75	2	209	Jan-19	

## 昭和大学 部門名 医薬化学部門 職名 講師 氏名 水野 美麗

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	C-メチルフィセチンのラジカル消去活性	福原 潔 中西 郁夫 大久 保敬  水野 美麗 松本 謙一郎 大野 彰子					日本農芸化学 会2021年度大 会	
会議発表 (論文・ロ頭)	シリビニンの高機能化を目指した創薬研究	水野 美麗 森 一憲 土屋 圭輔  高木 孝士 三澤 隆史 出水  庸介 柴沼 質子 福原 潔					日本農芸化学 会2021年度大 会	
学術雑誌論文 (学外)	Design, Synthesis, and Biological Activity of Conformationally Restricted Analogues of Silibinin.	MIZUNO Mirei  MORI Kazunori  TSUCHIYA Keisuke   TAKAKI Takashi   MISAWA Takashi   DEMIZU Yosuke   SHIBANUMA Motoko   FUKUHARA Kiyoshi	ACS Omega	5	36	23164		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	Inhibition of β-amyloid—induced neurotoxicity by planar analogues of procyanidin B3	MIZUNO Mirei  MORI Kazunori  MISAWA Takashi  TAKAKI Takashi  DEMIZU Yosuke   SHIBANUMA Motoko  FUKUHARA Kiyoshi	Bioorg Med Chem Lett	29	18	2659		Sep-19
図書	茶ポリフェノールの生理機能と応用展開	福原 潔 水野 美麗				162		Sep-19
図書	アルツハイマー病発症メカニズムと新規診断法・ 創薬・治療開発	福原 潔 水野 美麗	_			275		Aug-18
学術雑誌論文 (学外)	Enhanced radical scavenging activity of a procyanidin B3 analogue comprised of a dimer of planar catechin.	MIZUNO Mirei   NAKANISHI Ikuo   MATSUMOTO Ken- ichiro   FUKUHARA Kiyoshi	Bioorg Med Chem Lett	27	22	5010		Nov-17

## 昭和大学 部門名 薬学部生体分析化学部門 職名 講師 氏名 村山周平

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Size-controlled bimodal in vivo nanoprobes as near- infrared phosphors and positive contrast agents for magnetic resonance imaging.	OKUBO K TAKEDA R MURAYAMA Shuhei UJEZAWA M KAMIMURA M OSADA K AOKI I SOGA K	Sci Technol Adv Mater	22	1	160		Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	Extraction of urinary cell-free DNA by using triamine- modified silica particles for liquid biopsy.	KATO Masaru FUJITA Y IIZUKA T NOZAKI K TAKANO S FUNATSU T SANO Yoshihiro MURAYAMA Shuhei KARASAWA Koji	Anal Bioanal Chem	412	23	5647		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	Trimethylammonium modification of a polymer-coated monolith column for rapid and simultaneous analysis of nanomedicines.	KATO Masaru ATHUMI Y YAMAGUCHI M DATE Haruka YAMAMOTO E MURAYAMA Shuhei KARASAWA Koji	J Chromatogr A	1617		460826		Dec-19
学術雑誌論文 (学外)	Fluorescence Tumor-Imaging Using a Thermo- Responsive Molecule with an Emissive Aminoquinoline Derivative.	ARAKI Takeru   FUCHI Yasufumi   MURAYAMA Shuhei   SHIRAISHI Ryoma   OYAMA Tokimi   ASO Mariko   AOKI Ichio   KOBAYASHI Shigeki   YAMADA Ken-ichi   KARASAWA Satoru	Nanomaterials (Basel)	8	10	782		Aug-18
学術雑誌論文 (学外)	Photodegradable Nanoparticles for Functional Analysis of Intracellular Protein	MURAYAMA Shuhei KARASAWA Koji KATO Masaru	J Photopolym Sci Technol	31	1	71		Jun-18

## 昭和大学 部門名 生体分析化学 職名 講師 氏名 松林 智子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Long-chain acyl-CoA synthetase 4 participates in the formation of highly unsaturated fatty acid-containing phospholipids in murine macrophages.	KUWATA Hiroshi   NAKATANI Eriko   SHIMBARA-MATSUBAYASHI Satoko   ISHIKAWA Fumihiro   SHIBANUMA Motoko   SASAKI Yuka   YODA Emiko   NAKATANI Yoshihito   HARA Shuntaro	Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	1864	11	1606		Nov-19
学術雑誌論文 (学外)	Analysis on the Substrate Specificity of Recombinant Human Acyl-CoA Synthetase ACSL4 Variants	MATSUBAYASHI (SHIMBARA) Satoko  KUWATA Hiroshi  TANAKA Nobutada  KATO Masaru  HARA Shuntaro	Biol Pharm Bull	42	5	850		Jun-19

学術雑誌論文 (学外)	Synthesis, Anti-HBV, and Anti-HIV Activities of 3'- Halogenated Bis(hydroxymethyl)- cyclopentenyladenines	KUMAMOTO Hiroki IMOTO Shuhei AMANO Masayuki KUWATA-HIGASHI Nobuyo BABA Masanori MITSUYA Hiroaki ODANAKA Yuki MATSUBAYASHI (SHIMBARA) Satoko TANAKA Hiromichi HARAGUCHI Kazuhiro	ACS Med Chem Lett	9	12	1211		Nov-18	
----------------	---	--	-------------------	---	----	------	--	--------	--

昭和大学 部門名 生体分析化学 職名 講師 氏名 小田中友紀

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Investigation of Various Organic Radicals Dispersed in Polymethylmethacrylate Matrices using the Electron Spin Resonance Spectroscopy Technique	KOBAYASHI Hirokazu AKINIWA Kento IWAHORI Fumiyasu HONDA Hidehiko YAMAMOTO Masato ODANAKA Yuki INAGAKI Masahiro	ACS Omega	6	32	20855		Aug-21
学術雑誌論文 (学外)	TG-DTA of Inclusion Compound Consisting of Acetaminophen Incorporated into 1D Nanochannels of 2,4,6-Tris(4-chlorophenoxy)-1,3,5-triazine	KOBAYASHI Hirokazu HONDA Hidehiko YAMAMOTO Masato TANAKA Reina SHIBATA YO ODANAKA Yuki HIRAI Yasuaki INAGAKI Masahiro	Thermochimica Acta	702		178981		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Asymmetric Michael addition of malonic diesters to acrylates by phase-transfer catalysis toward the construction of quaternary stereogenic $\alpha$ -carbons	ODANAKA Yuki  KANEMITSU Takuya  IWASAKI Kanako  MOCHIZUKI Yukiko  MIYAZAKI Michiko  NAGATA Kazuhiro  KATO Masaru  ITOH Takashi	Tetrahedron	75	2	209		Jan-19
学術雑誌論文 (学外)	Synthesis, Anti-HBV, and Anti-HIV Activities of 3'- Halogenated Bis(hydroxymethyl)- cyclopentenyladenines	KUMAMOTO Hiroki IMOTO Shuhei AMANO Masayuki KUWATA-HIGASHI Nobuyo BABA Masanori MITSUYA Hiroaki ODANAKA Yuki MATSUBAYASHI (SHIMBARA) Satoko TANAKA Hiromichi HARAGUCHI Kazuhiro	ACS Med Chem Lett	9	12	1211		Nov-18
学術雑誌論文 (学外)	Pyrolysis of UR-144, a synthetic cannabinoid, augments an affinity to human CB1 receptor and cannabimimetic effects in mice.	KAIZAKI-MITSUMOTO Asuka   HATAOKA Kyoko   FUNADA Masahiko   ODANAKA Yuki   KUMAMOTO Hiroki   NUMAZAWA Satoshi	J Toxicol Sci	42	3	335		Jun-17

昭和大学 部門名 生物物理化学部門 職名 講師 氏名 早川 大地

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	電荷分布を明示的に記述する分子モデル構築のた めの電子密度フィッティング法	早川 大地 渡邉 友里江 合田浩明					第49回構造活 性相関シンポ ジウム	
学術雑誌論文 (学外)	Unpolarizable molecular model describing electron distribution for treating halogen bonds	HAYAKAWA Daichi WATANABE-ODA Yurie  GOUDA Hiroaki	Chemical Physics Letters	779		138824		Sep-21
学術雑誌論文 (学外)	A molecular interaction field describing nonconventional intermolecular interactions and its application to protein-ligand interaction prediction	HAYAKAWA Daichi SAWADA Nahoko WATANABE Yurie  GOUDA Hiroaki	J Mol Graph Model	96		107515		May-20
学術雑誌論文 (学外)	DFT study of the influence of acetyl groups of cellulose acetate on its intrinsic birefringence and wavelength dependence	HAYAKAWA Daichi GOUDA Hiroaki HIRONO Shuichi UEDA Kazuyoshi	Carbohydr Polym	207		122		Mar-19
学術雑誌論文 (学外)	Evaluation of hydrogen bond networks in cellulose I $\beta$ and II crystals using density functional theory and Car-Parrinello molecular dynamics	HAYAKAWA Daichi  NISHIYAMA Yoshiharu   MAZEAU Karim   UEDA Kazuyoshi	Carbohydr Res	449		103		Sep-17
学術雑誌論文 (学外)	In silico analyses of the effects of a point mutation and a pharmacological chaperone on the thermal fluctuation of phenylalanine hydroxylase	HAYAKAWA Daichi YAMAOTSU Noriyuki NAKAGOME Izumi OZAWA Shin-ichiro YOSHIDA Tomoki  HIRONO Shuichi	Biophys Chem	228		47		Sep-17

昭和大学 腫瘍細胞生物学部門 講師 森 一憲

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	10.000	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	OTA Akira TAJIMA Masataka MORI Kazunori SUGIYAMA Erika SATO VH SATO Hitoshi	Pharmacol Rep	73	3	847		Jun-21
<b>一类纸摊====</b>	Rac1-mediated sustained β4 integrin level develops reattachment ability of breast cancer cells after anchorage loss	MORI Kazunori HIGURASHI Masato ISHIKAWA Fumihiro SHIBANUMA Motoko	Cancer Sci	112	8	3205		Aug-21

学術雑誌論文 (学外)	Design, Synthesis, and Biological Activity of Conformationally Restricted Analogues of Silibinin.	MIZUNO Mirei   MORI Kazunori   TSUCHIYA Keisuke   TAKAKI Takashi   MISAWA Takashi   DEMIZU Yosuke   SHIBANUMA Motoko   FUKUHARA Kiyoshi	ACS Omega	5	36	23164		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	High expression of FOXM1 critical for sustaining cell proliferation in mitochondrial DNA-less liver cancer cells	HIGURASHI Masato   MARUYAMA Tsuyoshi   NOGAMI Yusuke   ISHIKAWA Fumihiro   YOSHIDA Yukiko   MORI Kazunori   FUJITA Ken- ichi   SHIBANUMA Motoko	Exp Cell Res	389	1	111889		Apr-20
学術雑誌論文 (学外)	A mitochondrial ROS pathway controls matrix metalloproteinase 9 levels and invasive properties in RAS-activated cancer cells	MORI Kazunori   UCHIDA Tetsu   YOSHIE Toshihiko   MIZOTE Yuko   ISHIKAWA Fumihiro   KATSUYAMA Masato   SHIBANUMA Motoko	FEBS J	286	3	459		Feb-19
昭和大学	部門名 毒物学	職名 講師	氏名 光本明日香					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Comparative study between active and passive exposure of methamphetamine vapor in mice	ABE Kazumasa   KAIZAKI- MITSUMOTO Asuka   NUMAZAWA Satoshi	Forensic Toxicol	39	2	394		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	Fetal methylphenidate exposure induced ADHD-like phenotypes and decreased Drd2 and SIc6a3 expression levels in mouse offspring.	AOKI Satoru KAIZAKI-MITSUMOTO Asuka HATTORI Natsumi NUMAZAWA Satoshi	Toxicol Lett	344		1		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Simultaneous profiling of organic and inorganic impurities in $\alpha$ -pyrrolidinopentiophenone ( $\alpha$ -PVP).	HATTORI Natsumi  KAIZAKI- MITSUMOTO Asuka  HATAOKA Kyoko  NUMAZAWA Satoshi	J Toxicol Sci	44	12	849		Dec-19
学術雑誌論文 (学外)	Hyperreflexia induced by XLR-11 smoke is caused by the pyrolytic degradant	HATAOKA Kyoko   KAIZAKI- MITSUMOTO Asuka   TAKEBAYASHI- OHSAWA Mika   HATTORI Natsumi   FUNADA Masahiko   NUMAZAWA Satoshi	Forensic Toxicol	37	2	412		Jul-19
学術雑誌論文 (学外)	Pyrolysis of UR-144, a synthetic cannabinoid, augments an affinity to human CB1 receptor and cannabimimetic effects in mice.	KAIZAKI-MITSUMOTO Asuka   HATAOKA Kyoko   FUNADA Masahiko   ODANAKA Yuki   KUMAMOTO Hiroki   NUMAZAWA Satoshi	J Toxicol Sci	42	3	335		Jun-17
会議発表 (論文・ロ頭)	胎仔期のメチルフェニデート暴露はADHD症状を 誘発しDrd2とSrc6a3遺伝子発現を低下させる	光本(貝崎) 明日香 青木 悟 宇 佐美(服部) 夏実 沼澤 聡					第48回日本毒 性学会学術年 会	Jul-21
会議発表 (論文・口頭)	急性カフェイン中毒21症例のカフェイン及びその 代謝物の血中濃度解析	山崎 喜貴 光本(貝崎) 明日香  佐々木 忠徳 林 宗貴 土肥 謙 二 沼澤 聡					第3回J's-CAT 学術集会	Sep-21
昭和大学	部門名 薬理学部門	職名 講師	氏名 古林創史	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
四和土岩	如眼々茶如此	RM ク = 並んエ	다	1	I		ı	I
昭和大学	部門名 薬剤学	職名講師	氏名 村山信浩	J				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	簡易懸濁法及び粉砕法が薬物動態に及ぼす影響 ~テモカプリルと酸化マグネシウム併用において ~	町野 英弥 肥田 典子 原田 努  柴田佳太 三邉 武彦 龍 家圭  水上 拓也 山崎 太義 諸星 北人 村山 信浩 竹ノ下 祥子  内田 直樹 倉田なおみ	医療薬学					in press
学術雑誌論文 (学外)	剥がれの起点に着目した新しい剥離特性評価法に よる貼付剤の評価	飯田 香 林 和行 宮崎 雄太  村山 信浩 中村 明弘 原田 努	薬理と治療	49	5	681		May-21
学術雑誌論文 (学外)	A novel method to quantitatively evaluate slipperiness and frictional forces of solid oral dosage forms and to correlate these parameters with ease of swallowing	SHIMASAKI Maya 村山 信浩 藤田 吉明 中村 明弘 原田 努	J Drug Deliv Sci Technol	53		101141		0ct-19
昭和大学	部門名 薬剤学部門	職名 講師	氏名 藤田吉明	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
						. /	- / <del>-</del> ~	

会議発表 (論文・ロ頭)	原薬粉体物性がアスピリンミニタブレットの品質 に及ぼす影響	芹澤 風香 野田 秀裕 高橋 伸幸 鈴木 奈緒 藤田 吉明 中村 明弘 原田 努					日本薬学会第 141年会	Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	Recent Advances in Biomarkers and Regenerative Medicine for Diabetic Neuropathy	FUJITA Yoshiaki  MURAKAMI T  NAKAMURA Akihiro	Int J Mol Sci.	22	5	2301		Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	Effect of Disintegrants on Prolongation of Tablet Disintegration Induced by Immersion in Xanthan Gum- Containing Thickening Solution: Contribution of Disintegrant Interactions with Disintegration Fluids Disintegration Fluids.	SUGI URA Daisuke   ONUKI Y   FUJITA Yoshiaki   NAKAMURA Akihiro   HARADA Tsutomu	Chem Pharm Bull	68	11	1055		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	Effect of xanthan gum-based food thickeners on the dissolution profile of fluoroquinolones oral formulations	TAKAHASHI Nobuyuki  FUJITA Yoshiaki  TAKAHASHI Nanako  NAKAMURA Akihiro  HARADA Tsutomu	J Pharm Health Care Sci	6	2	25		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	A novel method to quantitatively evaluate slipperiness and frictional forces of solid oral dosage forms and to correlate these parameters with ease of swallowing	SHIMASAKI Maya 村山 信浩 藤 田 吉明 中村 明弘 原田 努	J Drug Deliv Sci Technol	53		101141		Oct-19
学術雑誌論文 (学外)	Effect of Film Coating on Xanthan Gum Solution-induced Delays in the Disintegration and Dissolution of Tablets	EBATA Rei   FUJITA Yoshiaki   NAKAMURA Akihiro   HARADA Tsutomu	医療薬学	45	4	182		Apr-19

昭和大学 部門名 薬剤学 職名 講師 氏名 齊藤 清美

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学内)	Higher Adiponectin Expression Suppresses Neointimal Hyperplasia by Attenuating the Inflammatory Response Following Acceleration of Endothelialization in Damaged Areas in Adiponectin Transgenic Mice		Showa Univ J Med Sci	29	2	107		Jun-17
会議発表 (論文・口頭)	6か月以上2歳未満の乳幼児における細粒剤およびシロップ剤を対照とした ミニタブレットの服用性と受容性の検討	鈴木(三井)奈緒 肥田 典子 神谷 太郎 山崎 太義  宮崎 和城 齊藤 清美 齊藤 順 平 山谷 明正  石川 洋一 中村 秀文 中村 明 弘 原田 努					日本薬剤学会 第36年会	May-21
会議発表 (論文・ロ頭)	Swallowability of mini-tablets in Japanese children aged 6-23 months : Results from an exploratory randomized crossover study	Nao Mitsui  Noriko Hida   Taro Kamiya   Taigi Yamazaki   Kazuki Miyazaki   Kiyomi Saito   Jumpei Saito   Akimasa Yamatani   Yoichi Ishikawa   Akihiro Nakamura   Tsutomu Harada   Hidefumi Nakamura					13th conference of the European Paediatric Formulation Initiative	Sep-21

昭和大学 部門名 薬物動態学 職名 講師 氏名 田島正教

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
論文	Associations among plasma concentrations of regorafenib and its metabolites, adverse events, and ABCG2 polymorphisms in patients with metastatic colorectal cancers.	KOBAYASHI Kazuo SUGIYAMA Erika SHINOZAKI E WAKATSUKI T TAJIMA Masataka KIDOKORO Hiyori AOYAMA T NAKANO Y KAWAKAMI K HASHIMOTO K SUENAGA M ICHIMURA T OGURA M CHIN K NAKAYAMA I OOKI A TAKAHARI D SUZUKI W YOKOKAWA T MINOWA Y HIRAOKA T SUZUKI K SATO Hitoshi HAMA T YAMAGUCHI K	Cancer Chemother Pharmacol	87	6	767		Jun-21
論文	The selective cytotoxicity of silver thiosulfate, a silver complex, on MCF-7 breast cancer cells through ROS-induced cell death.	OTA Akira TAJIMA Masataka MORI Kazunori SUGIYAMA Erika SATO VH SATO Hitoshi	Pharmacol Rep	73	3	847		Jun-21
論文	Effects of dosing frequency on the clinical efficacy of ampicillin/sulbactam in Japanese elderly patients with pneumonia: A single-center retrospective observational study.	SUZUKI Tomokazu SUGIYAMA Erika NOZAWA Kenji TAJIMA Masataka TAKAHASHI Kyoka YOSHII M SUZUKI H SATO VH SATO Hitoshi	Pharmacol Res Perspect	9	2	e00746		Apr-21
論文	Nonlinear Disposition and Metabolic Interactions of Cannabidiol Through CYP3A Inhibition <i>In Vivo</i> In Rats.	NAGAO Michiru  NAKANO Yukako  TAJIMA Masataka  SUGIYAMA Erika  SATO VH  INADA M  SATO Hitoshi	Cannabis Cannabinoid Res	5	4	318		Dec-20
論文	Development of a Novel Nanoemulsion Formulation to Improve Intestinal Absorption of Cannabidiol	NAKANO Yukako TAJIMA Masataka SUGIYAMA Erika SATO Vilasinee Hirunpanich SATO Hitoshi	Med Cannabis Cannabinoids	2	-	35		Apr-19

昭和大学 部門名 社会薬学 職名 講師 氏名 赤川圭子

業績項目	タイトル・書名	著者	₩ 註 夕	巻	므	開始	学会・シンポ	刊行年月	
未視垻日	ツィトル・苦石	<b>有</b> 有	推応右	壱	ゥ	ページ	ジウム名	刊打平月	

会議発表 (論文・口頭)	スイッチOTC医薬品として販売されている経皮吸 収型鎮痛消炎貼付剤の不適切な使用に影響する因 子の解析	赤川(佐々木) 圭子 狩野 小町  熊木 良太 岸本 桂子					日本アプライド・セラ ピューティクス(実践薬物 治療)学会第 11回学術会薬 日本社会薬39年会 同大会	Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	ネット販売における指定第2類医薬品の注意喚起 に関する調査	浅岡 宝花 熊木 良太 赤川 (佐々木) 圭子 岸本 桂子					日本アプライド・セラ ピューティクス(実践薬物 治療)学会第 11回学術夫会 日本社会薬39年会会 同大会	Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	薬局薬剤師が減薬提案したくてもできない要因と その解消方法に関する調査	熊木 良太 後藤 広樹 赤川 圭子 後藤 知良 岸本 桂子					第5回日本老 年薬学会学術 大会	May-21
学術雑誌論文 (学外)	回復期リハビリテーション病棟における機能的自立度評価表(FIM)に影響する薬学的要因の探索 一決定木分析と重回帰分析を使用して一		医療薬学	47	2	96		Feb-21
図書	今日のOTC薬:解説と便覧改訂第5版	木内 祐二 赤川 圭子				146		Feb-21
図書	薬学と社会 薬事関連法・制度	秋本 義雄[ほか] 岸本 桂子 赤 川(佐々木) 圭子 亀井 大輔				45		Mar-20
学術雑誌論文 (学外)	Survey Of pharmacist services and status of drug administration to patients with dysphagia in convalescence rehabilitation wards	OHTSUBO Hiroko   KISHIMOTO Keiko   KUMAKI Ryota   AKAGAWA Keiko   KURATA Naomi	Jap J Compr Rehabil Sci	10	2019	108		Dec-19
研究報告書	国民への安全な医薬品の流通、販売・授与の実態 等に関する調査研究 平成29年度総括・分担研究報 告書(厚生労働行政推進調査事業費補助金 厚生労 働科学特別研究事業)	赤川(佐々木) 圭子 今井 博久				172		Jul-18
図書	今日のOTC薬 改訂第4版	木内 祐二 赤川 圭子				86		Apr-18

#### 昭和大学 部門名 薬物治療学部門 職名 講師 氏名 神山紀子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Factors predicting addition of disease-modifying antirheumatic drugs after initial methotrexate monotherapy in patients with rheumatoid arthritis.	YAMAGUCHI Takashi KOHYAMA Noriko TAKENAKA Miki OKADA Takahiro KURIHARA Tatsuya SAKURAI Kosuke MIWA Yusuke KOGO Mari	Clin Rheumatol	40	7	2657		Jul-21
学術雑誌論文 (学内)	Risk factors for initial antibiotic treatment failure in patients with aspiration pneumonia	FUKUDA Moemi   KOHYAMA Noriko   MAEDA Masayuki   KAWASAKI Tsutomu   YAMAMOTO Toshinori   KOGO Mari	Showa Univ J Med Sci	33	2	55		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Scoring Model to Predict a Low Disease Activity in Elderly Rheumatoid Arthritis Patients Initially Treated with Biological Disease-modifying Antirheumatic Drugs	OKADA Takahiro  KOHYAMA Noriko  TAKENAKA Miki  YAMAGUCHI Takashi  KURIHARA Tatsuya   SAKURAI Kosuke   MIWA Yusuke   KOGO Mari	Intern Med	60	12	1827		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Factors associated with a reduction in the quality of life of patients with chronic hepatitis C treated by ledipasvir/sofosbuvir therapy	AIMONO Yuka   KOHYAMA Noriko   KAMOSHIDA Toshiro   YAMAMOTO Toshinori   KOGO Mari	Eur J Hosp Pharm			2215		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	Clinical Pharmacokinetics of Mianserin Suppositories in Healthy Older Japanese Male Adults: A Pilot Study	ICHIKUKRA Daisuke   NAWATA Shuichi   KOHYAMA Noriko   TOKUNAGA Megumi   HIDA Noriko   YAMAZAKI Taigi   TAKENOSHITA Sachiko   UCHIDA Naoki   MINEMURA Atsuko   SASAKI Tadanori	臨床薬理	50	2	23		Mar-19

# 昭和大学 部門名 天然薬治療学部門 職名 講師 氏名 栗本 慎一郎

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Macrocarquinoids A-C, new meroterpenoids from Sargassum macrocarpum	NIWA Hiromi   KURIMOTO Shin- ichiro   KUBOTA Takaaki   SEKIGUCHI Mitsuhiro	J. Nat. Med.	75		194		Jan-21
学術雑誌論文 (学外)	Kamiohnoy neosides A and B, two new polyacetylene glycosides from flowers of edible Chrysanthemum "Kamiohno"	KURIMOTO Shin-ichiro  FUJITA Hiroki  KAWAGUHI Satomi  SASAKI Yu  NAKAMURA Takanori  KUBOTA Takaaki	J. Nat. Med.	75		167		Jan-21

学術雑誌論文 (学外)	Ma'edamines C and D, new bromotyrosine alkaloids possessing a unique tetrasubstituted pyridinium moiety from an Okinawan marine sponge <i>Suberea</i> sp.	KURIMOTO Shin-ichiro   SEINO Satsuki   Fromont Jane   KOBAYASHI Jun'ichi   KUBOTA Takaaki	Org. Lett.	21	8824		Oct-19
学術雑誌論文 (学外)	Ceratinadins E and F, new bromotyrosine alkaloids from an Okinawan marine sponge <i>Pseudoceratina</i> sp.	KURIMOTO Shin-ichiro  OHNO Taito  HOKARI Rei  ISHIYAMA Aki  IWATSUKI Masato  ŌMURA Satoshi  KOBAYASHI Jun'ichi  KUBOTA Takaaki	Mar. Drugs	16	463		Dec-18
図書	The manzamine alkaloids	KUBOTA Takaaki   KURI MOTO Shin- ichiro   KOBAYASHI Jun'ichi	The Alkaloids: Chemistry and Biology	84	1		May-20
会議発表 (論文・口頭)	未利用天然資源を素材とした新規生物活性天然物 の探索	栗本 慎一郎				日本生薬学会 第67年会	Sep-21
会議発表 (論文・ロ頭)	能登産海藻Sargassum macrocarpum より単離した 新規メロテルペノイド化合物の構造とAGEs生成阻 害活性評価	篠田 清哉 丹羽 裕美 栗本 慎 一郎 久保田 高明 関口 光広				日本生薬学会 第67年会	Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	未利用天然資源からの新規生物活性天然物の探索	栗本 慎一郎				第23回天然薬 物の開発と応 用シンポジウ ム	

昭和大学 部門名 がんゲノム医療薬学 職名 講師 氏名 半田智子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文(学外)	QOL Evaluation of Nab-Paclitaxel and Docetaxel for Early Breast Cancer.	OKUYAMA Hiromi  NAKAMURA Seigo  AKASHI-TANAKA Sadako  SAWADA Terumasa   KUWAYAMA Takashi  HANDA Satoko  KATO Yasuhisa	Eur J Breast Health	14	4	194		Oct-18
学術雑誌論文 (学外)	注射用抗がん薬バイアルの複数回使用に伴う無菌 調製業務への影響の評価	米村 雅人 山口 正和 岩本 義弘 吉野 名穂子 田中 将貴 加納 大輔 平野 光枝 市田 泰彦  川崎 敏克 半田 智子 加藤裕久	日本病院薬剤師会雑誌	54	11	1396		Nov-18
学術雑誌論文 (学外)	Oxaliplatin induces prostaglandin E2 release in vascular endothelial cells	MATSUNUMA Satoru   HANDA Satoko   KAMEI Daisuke   YAMAMOTO Hitomi   OKUYAMA Kiyoshi   KATO Yasuhisa	Cancer Chemother Pharmacol	84	2	345		Aug-19
学術雑誌論文 (学外)	Effectiveness of a Smartphone Application as a Support Tool for Patients Undergoing Breast Cancer Chemotherapy: A Randomized Controlled Trial	HANDA Satoko   OKUYAMA Hiromi   YAMAMOTO Hitomi   NAKAMURA Seigo   KATO Yasuhisa	Clin Breast Cancer	20	3	201		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	Rubric Assessment for Pharmacotherapy in Spiral Curriculum: Development and Usefulness Evaluation	HANDA Satoko   KOHYAMA Noriko   KURIHARA Tatsuya   SUGIYAMA Erika   TANAKA Sachiko   YAMAMOTO Hitomi   MIYASAKA Yoshiyuki   KOGO Mari   KATO Yasuhisa   中村 明弘	薬学雑誌	140	12	1441		Dec-20

昭和大学 部門名 臨床栄養代謝学 職名 講師 氏名 唐沢浩二

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	医薬品としてのプロバイオティクス・プレバイオ ティクス	唐沢 浩二	臨床栄養	139	3	304		Sep-21
学術雑誌論文 (学外)	Extraction of urinary cell-free DNA by using triamine-modified silica particles for liquid biopsy.	KATO Masaru FUJITA Y IIZUKA T NOZAKI K TAKANO S FUNATSU T SANO Yoshihiro MURAYAMA Shuhei KARASAWA Koji	Anal Bioanal Chem	412	23	5647		Sep-20
学術雑誌論文 (学外)	Analysis of Bactericidal Components in Japanese Honeys.	KARASAWA Koji KATO Masaru ARAKAWA Hidetoshi	Am J Anal Chem	11	8	309		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	Simple and Rapid Evaluation of the Unique Manuka Factor in Manuka Honey Using Fluorescence Fingerprints and Principal Component Analysis.	KARASAWA Koji TAKAKURA Masatoshi KATO S AKATSUKA M KATO Masaru	Chem Pharm Bull (Tokyo)	68	8	762		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	Trimethylammonium modification of a polymer-coated monolith column for rapid and simultaneous analysis of nanomedicines.	KATO Masaru ATHUMI Y YAMAGUCHI M DATE Haruka YAMAMOTO E MURAYAMA Shuhei KARASAWA Koji	J Chromatogr A	1617		460826		Apr-20
学術雑誌論文 (学外)	A Simple and Easy Method of Monitoring Doxorubicin Release from a Liposomal Drug Formulation in the Serum Using Fluorescence Spectroscopy.	WATANABE A   MURAYAMA Shuhei   KARASAWA Koji   YAMAMOTO E   MORIKAWA S   TAKITA R   MURATA S   KATO	Chem Pharm Bull (Tokyo)	67	4	367		Apr-19

学術雑誌論文 (学外)	Anti-inflammatory effects of new catechin derivatives in a hapten-induced mouse contact dermatitis model.	NAKANO Eriko KAMEI Daisuke MURASE Remi TAKI Iori KARASAWA Koji FUKUHARA Kiyoshi IWAI Shinichi	Eur J Pharmacol	845		40	Feb-19
学術雑誌論文 (学外)	Enrichment of liposomal nanomedicines using monolithic solid phase extraction discs following preactivation with bivalent metal ion solutions.	WATANABE A   KARASAWA Koji   MURAYAMA Shuhei   SANO Yoshihiro   TAKAGI M   YAMAMOTO E   MURATA S   KATO Masaru	J Chromatogr A	1564		224	Aug-18
学術雑誌論文 (学外)	Development and clinical application of a bioluminescence enzyme immunoassay for oxytocin.	KARASAWA Koji SANO Yoshihiro KATO Nobumasa ARAKAWA Hidetoshi	Luminescence	33	4	670	Jun-18
学術雑誌論文 (学外)	Photodegradable Nanoparticles for Functional Analysis of Intracellular Protein	MURAYAMA Shuhei KARASAWA Koji KATO Masaru	J Photopolym Sci Technol	31	1	71	Jun-18
学術雑誌論文 (学外)	物理系薬学 臨床現場におけるmiRNAの簡易遺伝 子検査(POCT)への期待	唐沢 浩二	ファルマシア	53	6	589	Jun-17

昭和大学 部門名教育実践学部門 職名助教 氏名 小林 文

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
総説	参加型演習科目「臨床心理学の活用」の遠隔授業での実施~オンラインを活用した教育システムの 構築~		日本薬学教育学会誌	5		1		2021.4
短報	薬局薬剤師による小児在宅医療促進への課題と行 動目標の提案	小林 文、篠原 大志、佐口 健 一、加藤 里奈、田中佐知子	昭和学士会雑誌	80	1	75		2020.6
原著論文	テキストマイニングの手法による昭和大学薬学部 1年次の振り返りシート解析	佐口 健一、田中佐知子、小林 文、中村 明弘	昭和学士会雑誌 79(1)、75-80、(2019. 2)	79	1	75		2019.2
原著論文	Medication Counseling in English for Japanese Pharmacy Students	KOBAYASHI Aya, YAZAWA Kinu, SAGUCHI Ken-ich, TANAKA Sachiko	Journal of Academic Society for Quality of Life in Online Journal	4	3	1		2018.9
原著論文	Online Survey of Problems Inhibiting the Active Involvement of Community Pharmacists in Patients with Cancer Undergoing Outpatient Chemotherapy	KOBAYASHI Yasuna, KOBAYASHI Aya, KOYAMA Noriko, SUGIHAMA Keiko, YAMAMOTO Toshinori	Journal of Academic Society for Quality of Life in Online Journal	3	2	1		2017.6
会議発表 (論文・口頭)	薬剤師から見た薬剤師養成教育の評価(続編) - 全国アンケート調査による旧4年制課程と6年制課程との比較-	小林 文、加藤 里奈、山本 仁 美、田中佐知子					第6回日本薬 学教育学会	2021.8
会議発表 (論文・口頭)	オンラインを活用した教育システムを効果的に実施するための教員・学生支援体制の構築	加藤 里奈、小林 文、山本 仁 美、田中佐知子					第6回日本薬 学教育学会	2021.8
会議発表 (論文・ロ頭)	臨床研修薬剤師のプロフェッショナリズム評価 — P-MEX評価と自己省察レポートの解析—	竹安 葵、田中佐知子、加藤 里 奈、小林 文、山本 仁美、佐々木 忠徳、百 賢二、北原 加奈之					第65回薬学会 関東支部会	2021.9
招待講演	Interprofessional Education at Showa University	Aya Kobayashi					Interprofession al Education in Japan and ASEAN countries	2021.7

昭和大学 部門名 教育実践学 職名 助教 氏名 山本仁美

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	参加型演習科目「臨床心理学の活用」の遠隔授業での実施 -オンラインを活用した教育システムの構築-	田中 佐知子 加藤 里奈 小林 如乃 小林 文 山本 仁美	薬学教育	5		2020-073		Aug-21
会議発表 (論文・ロ頭)	オンラインを活用した教育システムを効果的に実 施するための教員・学生支援体制の構築	加藤 里奈 山本 仁美 小林 文  田中 佐知子					第6回日本薬 学教育学会大 会	Aug-21
会議発表 (論文・ロ頭)	薬剤師から見た薬剤師養成教育の評価(第2報) -全国薬剤師アンケートによる旧4年制課程と6年 制課程との比較-	小林 文 加藤 里奈 山本 仁美  田中 佐知子					第6回日本薬 学教育学会	Aug-21
会議発表 (論文・ロ頭)	薬局実務実習におけるオンラインによる「学生カ ンファレンス」の有用性の検討	山本 仁美 熊木 良太 松林 智子 加藤 里奈 柴田 佳太 岸本桂子 向後 麻里 中村 明弘					日本薬学会第 141年会	Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	Rubric Assessment for Pharmacotherapy in Spiral Curriculum: Development and Usefulness Evaluation	HANDA Satoko KOHYAMA Noriko KURIHARA Tatsuya SUGIYAMA Erika TANAKA Sachiko YAMAMOTO Hitomi MIYASAKA Yoshiyuki KOGO Mari KATO Yasuhisa 中村 明弘	薬学雑誌	140	12	1441		Dec-20
学術雑誌論文 (学内)	Integrating Cancer Patients' Satisfaction with Rescue Medication in Pain Assessments	WADA Noriko HANDA Satoko YAMAMOTO Hitomi HIGUCHI Hitomi OKAMOTO Kenichiro SASAKI Tadanori KATO Yasuhisa	Showa Univ J Med Sci	32	3	181		Oct-20

学術雑誌論文 (学外)	Effectiveness of a Smartphone Application as a Support Tool for Patients Undergoing Breast Cancer Chemotherapy: A Randomized Controlled Trial	HANDA Satoko   OKUYAMA Hiromi   YAMAMOTO Hitomi   NAKAMURA Seigo   KATO Yasuhisa	Clin Breast Cancer	20	3	201	Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	Oxaliplatin induces prostaglandin E2 release in vascular endothelial cells	MATSUNUMA Satoru   HANDA Satoko   KAMEI Daisuke   YAMAMOTO Hitomi   OKUYAMA Kiyoshi   KATO Yasuhisa	Cancer Chemother Pharmacol	84	2	345	Aug-19

昭和大学 部門名 生物物理化学部門 職名 助教 氏名 小田 (渡邉) 友里江

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	電荷分布を明示的に記述する分子モデル構築のた めの電子密度フィッティング法	早川 大地 渡邉 友里江 合田浩明					第49回構造活 性相関シンポ ジウム	Sep-21
学術雑誌論文 (学外)	Unpolarizable molecular model describing electron distribution for treating halogen bonds	HAYAKAWA Daichi WATANABE-ODA Yurie  GOUDA Hiroaki	Chem Phys Lett	779		138824		Sep-21
(学从)	A molecular interaction field describing nonconventional intermolecular interactions and its application to protein-ligand interaction prediction	HAYAKAWA Daichi SAWADA Nahoko WATANABE Yurie  GOUDA Hiroaki	J Mol Graph Model	96		107515		May-20
学術雑誌論文 (学外)	In Silico Screening I dentified Novel Small-molecule Antagonists of PAC1 Receptor	TAKASAKI ICNITO] WATANABE Ai YOKAI Masafumi WATANABE Yurie  HAYAKAWA	J Pharmacol Exp Ther	365	1	1		Apr-18
学術雑誌論文 (学外)	Design, synthesis, and evaluation of novel inhibitors for wild-type human serine racemase	TAKAHARA Satoyuki  NAKAGAWA Kiyomi  UCHIYAMA Tsugumi  YOSHIDA Tomoyuki  MATSUMOTO Kazunori  KAWASUMI Yasuo  MIZUGUCHI MIneyuki  OBITA Takayuki  WATANABE Yurie   HAYAKAWA Daichi  GOUDA Hiroaki  MORI Hisashi  TOYOOKA Naoki	Bioorg Med Chem Lett	28	3	441		Feb-18
	A docking model of dapsone bound to HLA-B*13:01 explains the risk of dapsone hypersensitivity syndrome	WATANABE Hideaki  WATANABE Yurie   TASHIRO Yasuya   MUSHIRODA Taisei   OZEKI Takeshi   HASHIZUME Hideo   SUEKI Hirohiko   YAMAMOTO Toshinori   UTSUNOMIYA-TATE Naoko   GOUDA Hiroaki   KUSAKABE Yoshio	J Dermatol Sci	88	3	320		Dec-17

昭和大学 部門名 生物化学部門 職名 助教 氏名 牧山 智彦

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	γ-TaxilinによるNek2Aを介した中心体分離の制御機 構	牧山 智彦 坂根 洋 野上 識  東 覚 白瀧 博通					第90回日本生 化学会	Dec-17
会議発表 (論文・ロ頭)	膵β細胞におけるVAMP7によるオートファゴソー ム形成の制御機構	青柳 共太 西脇 知世乃 中道 洋子 福冨 俊之 鳥居 征司 牧 山 智彦 櫻井裕之 今泉 美佳					第90回日本生 化学会	Dec-17
会議発表 (論文・ロ頭)	TSG101, a tumor susceptibility gene, bidirectionally modulates cell invasion in an MMP9-dependent manner.	Hiromichi Shirataki  Satoru Nogami Tomohiko Makiyama Hideyuki hiraishi					FEBS Congress 2018	Jul-18
会議発表 (論文・ロ頭)	VAMP7 regulates autophagosome formation by supporting Atg9a functions in pancreatic $\beta$ -cells.	青柳 共太 西脇 知世乃 中道 洋子 福冨 俊之 鳥居 征司 牧 山 智彦 櫻井 裕之 今泉 美佳					第91回日本生 化学会	Sep-18
会議発表 (論文・ロ頭)	VAMP7 regulates autophagosome formation by supporting Atg9a functions in pancreatic beta-cells	青柳 共太 板倉 誠 牧山 智彦  西脇 知世乃 中道 洋子 今泉 美佳					第62回糖尿病 学会	May-19
会議発表 (論文・ロ頭)	妊娠期膵β細胞でのP2X7受容体によるインスリン 分泌亢進機構	牧山 智彦 青柳 共太 中道 洋子 西脇 知世乃 小泉 修一 今泉 美佳					第92回日本生 化学会	Sep-19
会議発表 (論文・ロ頭)	細胞内脂肪滴形成機構における小胞出芽制御因子 Sar1の影響	牧山 智彦 小濵 孝士 板部 洋 之					第63回脂質生 化学会	Jun-21
会議発表 (論文・ロ頭)	HDLを伴った血中酸化リポタンパク質粒子の生成 と動脈硬化症	澤田 直子 板部 洋之 小濵 孝士 木庭 新治 巖本 三壽 高木 孝士 フィマーン ウィラポール  牧山 智彦 相内 敏弘					第93回日本生 化学会大会	Sep-21

学術雑誌論文 (学外)	$\alpha$ - taxilin overexpression correlates with proliferation activity but not with prognosis of colorectal cancer	AKIRA KANAMORI   YASUO IMAI   KEISUKE IHARA   HITOSHI NAGATA   MASAKAZU NAKANO   KEIICHI TOMINAGA   HIROAKI SHIMIZU   TOMIHIKO MAKIYAMA   HAJIME KURODA   HIROMICHI SHIRATAKI   HIDEYUKI HIRAISHI 1	Oncology Letters	14		1471	May-17
学術雑誌論文 (学外)	γ-Taxilin temporally regulates centrosome disjunction in a Nek2A-dependent manner	Tomohiko Makiyama   Satoru Higashia   Hiroshi Sakanea   Satoru Nogami   Hiromichi Shirataki	Experimental Cell Research	362	2	412	Dec-17
学術雑誌論文 (学外)	VAMP7 regulates autophagosome formation by supporting Atg9a functions in pancreatic $\beta$ -cells from male mice.	Kyota Aoyagi   Makoto Itakura   Toshiyuki Fukutomi   Chiyono Nishiwaki   Yoko Nakamichi   Seiji Torii   Tomohiko Makiyama   Akihiro Harada   Mica Ohara-Imaizumi	Endocrinology	159	11	3674	Sep-18
学術雑誌論文 (学外)	Structure and dynamics of oxidized lipoproteins in vivo: roles of high-density lipoprotein.	ITABE Hiroyuki SAWADA Naoko MAKIYAMA Tomohiko OBAMA Takashi	Biomedicines	9	6	655	Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Transfer and enzyme-mediated metabolism of oxidized phosphatidylcholine and lysophosphatidylcholine between low- and high-density lipoproteins.	SAWADA Naoko   OBAMA Takashi   MIZUNO Mirei   FUKUHARA Kiyoshi   IWAMOTO Sanju   AIUCHI Toshihiro   MAKIYAMA Tomohiko   ITABE Hiroyuki	Antioxidants (Basel)	9	11	1045	Oct-21

昭和大学 部門名生物化学 職名助教 氏名 渡邉雄一

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	酸化ステロールはINSIGを介してPERK/ATF4経路活性化とそれに伴う細胞死を誘導する	渡邉 雄一、佐々木 崇、三吉 翔 子、清水 誠、山内 祥生、佐藤 隆 一郎					94回日本生化 学会大会	Oct-21
学術雑誌論文 (学外)	Insulin-induced genes INSIG1 and INSIG2 mediate oxysterol-dependent activation of the PERK/eIF2 $\alpha$ /ATF4 axis.	WATANABE Yuichi, SASAKI Takashi, MIYOSHI Shoko, SHIMIZU Makoto, YAMAUCHI Yoshio, SATO Ryuichiro	J Biol Chem	297		100989		Aug-21
学術雑誌論文 (学外)	Muscle-specific TGR5 overexpression improves glucose clearance in glucose-intolerant mice.	SASAKI Takashi, WATANABE Yuichi, KUBOYAMA Ayane, OIKAWA Akira, SHIMIZU Makoto, YAMAUCHI Yoshio, SATO Ryuichiro	J Biol Chem	296		100131		Jan-21
学術雑誌論文 (学外)	酸化ステロール蓄積と肥満性炎症	渡邉雄一	アグリバイオ	4	11	988		Oct-20
学術雑誌論文 (学外)	Effect of Lorenzo's Oil on Hepatic Gene Expression and the Serum Fatty Acid Level in abcd1-Deficient Mice.	MORITA Masashi, HONDA Ayako, KOBAYASHI Akira, WATANABE Yuichi, WATANABE Shiro, KAWAGUCHI Kosuke, TAKASHIMA Shigeo, SHIMOZAWA Nobuyuki, IMANAKA Tuneo	JIMD Reports	38		67		May-17

## 昭和大学 部門名 腫瘍細胞生物学 職名 助教 氏名 日暮 大渡

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	ミトコンドリア呼吸鎖複合体IはNAD+を供給する ことによりエピジェネティックにp21Cip1を発現制 御する	日暮 大渡 森 一憲 石川 文博  柴沼 質子					第80回日本癌 学会学術総会	0ct-21
学術雑誌論文 (学外)	Rac1-mediated sustained β4 integrin level develops reattachment ability of breast cancer cells after anchorage loss	MORI Kazunori HIGURASHI Masato ISHIKAWA Fumihiro SHIBANUMA Motoko	Cancer Sci			1		May-21
学術雑誌論文 (学外)	High expression of FOXM1 critical for sustaining cell proliferation in mitochondrial DNA-less liver cancer cells	HIGURASHI Masato MARUYAMA Tsuyoshi NOGAMI Yusuke ISHIKAWA Fumihiro YOSHIDA Yukiko MORI	Exp Cell Res	389	1	111889		Apr-20
学術雑誌論文 (学外)	Linkage of E2F1 transcriptional network and cell proliferation with respiratory chain activity in breast cancer cells.	MORI Kazunori  UCHIDA Tetsu  FUKUMURA Motonori  TAMIYA Shigetoshi  HIGURASHI Masato  SAKAI Hirosato  ISHIKAWA Fumihiro  SHIBANUMA Motoko	Cancer Sci	107	7	963		Jul-16

#### 昭和大学 部門名 毒物学部門 職名 助教 氏名 宇佐美 (服部) 夏実

	業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
ſ	学術雑誌論文	Fetal methylphenidate exposure induced ADHD-like	AOKI Satoru   KAIZAKI-MITSUMOTO						
- 1		phenotypes and decreased Drd2 and Slc6a3 expression	Asuka   HATTORI	Toxicol Lett	344		1		Jun-21
	(学外)	levels in mouse offspring.	Natsumi   NUMAZAWA Satoshi						

日本薬学会第 141年会	Mar-21
	Dec-19
	Jul-19
学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	Dec-20
第36回日本糖 尿病合併症学 会	Oct-21
年 第53回日本臨 床分子形態学 会総会・学術 集会	Oct-21
学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	Jul-20
	Jul-21
	Sep-21
第36回日本乾 癬学会学術大 会	Sep-21
第50回日本免 疫学会学術集 会	Dec-21
	Dec-21
	Det-21
学会・シンポ	刊行年月
学会・シンポ	刊行年月
学会・シンポ ジウム名 第50回日本免 疫学会学術集 会	刊行年月
学会・シンポ ジウム名 第50回日本免 疫学会学術集 会	刊行年月 Dec-21 Sep-21
学会・シンポ ジウム名 第50回日本免 疫学会学術集 会 第36回日本乾 癬学会学術大	刊行年月 Dec-21 Sep-21
学会・シンポ ジウム名 第50回日本免 疫学会学術集 会 第36回日本乾 癬学会学術大	刊行年月 Dec-21 Sep-21
学会・シンポ ジウム名 第50回日本免疫学会学術集 会 第36回日本乾癬 会	刊行年月 Dec-21 Sep-21
学会・シンポッウム名 第50回日本免疫学会学術集会 第36回日本乾癬会 第36回日本乾癬会	刊行年月 Dec-21 Sep-21 Sep-21 Jul-21
	学う 学う 学う 学う 学う 学う 学う 学う 学う 学う

原著論文	Differential Role of Liver X Receptor (LXR) $\alpha$ and LXR $\beta$ in the Regulation of UDP-Glucuronosyltransferase 1A1 in Humanized UGT1 Mice.	Hansmann E, Mennillo E, Yoda E, Verreault M, Barbier O, Chen S, Tukey RH.	Drug Metab Dispos.	48	4	255	Apr-20
総説	Calcium-independent phospholipase A2γ (iPLA2γ) and its roles in cellular functions and diseases.		Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids.	1864	6	861	Jun-19
総説	Species differences in drug glucuronidation: Humanized UDP-glucuronosyltransferase 1 mice and their application for predicting drug glucuronidation and drug-induced toxicity in humans.	Fujiwara R, Yoda E, Tukey RH.	Drug Metab Pharmacokinet.	33	1	9	Feb-18

昭和大学 部門名 衛生薬学 助教 氏名 佐々木由香

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Coordinated action of microsomal prostaglandin E synthase-1 and prostacyclin synthase on contact hypersensitivity.	OCHIAI Tsubasa   SASAKI Yuka   KUWATA Hiroshi   NAKATANI Yoshihito   YOKOYAMA Chieko   HARA Shuntaro	Biochem Biophys Res Commun	546		124		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	Gene deletion of microsomal prostaglandin E synthase-1 suppresses chemically induced skin carcinogenesis.	SASAKI Yuka   KUWATA Hiroshi   AIDA Eri   OCHIAI Tsubasa   KAMEI Daisuke   NAKATANI Yoshihito   HARA Shuntaro	Anticancer Res	41	3	1307		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	Involvement of prostacyclin synthase in high-fat-diet-induced obesity.	SASAKI Yuka   KUWATA Hiroshi  AKATSU Moe   YAMAKAWA Yuri   OCHIAI Tsubasa   YODA Emiko   NAKATANI Yoshihito   YOKOYAMA Chieko   HARA Shuntaro	Prostaglandins Other Lipid Mediat	153		106523		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)	Calcium-independent phospholipase A2y (iPLA2y) and its roles in cellular functions and diseases.	HARA Shuntaro YODA Emiko SASAKI Yuka NAKATANI Yoshihito KUWATA Hiroshi	Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	1864	6	861		Jun-19
学術雑誌論文 (学外)	Role of prostacyclin synthase in carcinogenesis	SASAKI Yuka   OCHIAI Tsubasa   TAKAMURA Masaya   KONDO Y   YOKOYAMA C   HARA Shuntaro	Prostaglandins Other Lipid Mediat	133		49		Nov-17

昭和大学 部門名 社会薬学 職名 助教 氏名 熊木良太

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
その他	潜在的フレイル高齢者の現状と薬剤師の可能性	熊木 良太				第31回日本医療薬学会年会シンポジウム 25「フレイルと栄養対策、薬剤師の挑戦」	
会議発表 (論文・口頭)	在宅医療に着目した各都道府県の薬局機能情報提 供サイトのユーザビリティ評価	長塚 芽久美 熊木 良太 赤川 (佐々木) 圭子 岸本 桂子				日本アプライド・セライクラインでは、 ドロライクス(実践楽第 11回本社会第39年会第39年会第35会	Sep-21
会議発表 (論文・ロ頭)	スイッチOTC医薬品として販売されている経皮吸 収型鎮痛消炎貼付剤の不適切な使用に影響する因 子の解析	赤川(佐々木) 圭子 狩野 小町  熊木 良太 岸本 桂子				日本 アプライ ドピューティク ス(実践学会 11回本社会第3年会 同大会	Sep-21
会議発表 (論文・ロ頭)	ネット販売における指定第2類医薬品の注意喚起 に関する調査	浅岡 宝花 熊木 良太 赤川 (佐々木) 圭子 岸本 桂子				日本アプライド・セライットでライットでライクリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Sep-21

会議発表 (論文・ロ頭)	薬局における患者の薬剤師への情報提供の促進要 因及び患者の情報提供積極性の評価方法の検討	岸本 桂子 熊木 良太 清塚 千 夏 櫻井 秀彦					日本アプライド・セラ ピューティク ス(実践薬物 治療)学会第 11回学術 大会 日本社会会会 同大会	Sep-21
会議発表 (論文・ロ頭)	薬局薬剤師が減薬提案したくてもできない要因と その解消方法に関する調査	熊木 良太 後藤 広樹 赤川 圭子 後藤 知良 岸本 桂子					第5回日本老 年薬学会学術 大会	May-21
その他	薬局における日本版FORTAの活用方法	熊木 良太					第5回日本老 年薬学会学術 大会 シンポ ジウム3「新 規薬剤評価 ツールFORTA の有用性につ いて」	May-21
学術雑誌論文 (学外)	回復期リハビリテーション病棟における機能的自立度評価表(FIM)に影響する薬学的要因の探索 一決定木分析と重回帰分析を使用して一	大坪 博子 岸本 桂子 平野 偉 与 中野 仁 板谷 一宏 熊木 良太 赤川 圭子 大隅 寛之	医療薬学	47	2	96		Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	フレイルに負けないヒント(第3回)(最終回) フレイルと栄養、薬局でできる取り組み	熊木 良太	都薬雑誌	42	11	54		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	新規格経管栄養器具(ISO 80369-3)における細菌汚染の経時的変化の検証	古屋 宏章 石野 敬子 熊木 良太 岸本 桂子 倉田 なおみ	学会誌JSPEN	2	5	316		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	Survey 0f pharmacist services and status of drug administration to patients with dysphagia in convalescence rehabilitation wards	OHTSUBO Hiroko   KISHIMOTO Keiko   KUMAKI Ryota   AKAGAWA Keiko   KURATA Naomi	Jap J Compr Rehabil Sci	10	2019	108		Dec-19
図書	訪問看護基本テキスト 各論編	熊木 良太				159		Dec-18

昭和大学 部門名:医薬品評価薬学部門 職名:助教 氏名:滝 伊織

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	KRAS and EGFR Amplifications Mediate Resistance to Rociletinib and Osimertinib in Acquired Afatinib- Resistant NSCLC Harboring Exon 19 Deletion/T790M in EGFR.	NAKATANI Kaori YAMAOKA Toshimitsu OHBA Motoi FUJITA Ken-ichi ARATA Satoru KUSUMOTO Sojiro TAKI (TAKEMOTO) Iori KAMEI Daisuke IWAI Shinichi TSURUTANI Junji OHMORI Tohru	Mol Cancer Ther	18	1	112		Jan-19
学術雑誌論文 (学外)	Coadministration of cytotoxic chemotherapeutic agents with irinotecan is a risk factor for irinotecan-induced cholinergic syndrome in Japanese patients with cancer.	TSUBOYA Ayako   FUJITA Ken- ichi   KUBOTA Yutaro   ISHIDA Hiroo   TAKI (TAKEMOTO) lori   KAMEI Daisuke   IWAI Shinichi   SASAKI Yasutsuna	Int J Clin Oncol	24	2	222		Feb-19
学術雑誌論文 (学外)	Anti-inflammatory effects of new catechin derivatives in a hapten-induced mouse contact dermatitis model.	NAKANO Eriko KAMEI Daisuke MURASE Remi TAKI Iori KARASAWA Koji FUKUHARA Kiyoshi IWAI Shinichi	Eur J Pharmacol	845		40		Feb-19
学術雑誌論文 (学内)	Five Prognostic Factors for Readmission in Patients Over 75 Years Old with Worsening Heart Failure	SAITO HIROSHI SHOJI Makoto TAKI Iori MURASE Remi KAMEI Daisuke SHINKE Toshiro IWAI Shinichi	Showa Univ J Med Sci	32	1	33		Apr-20
学術雑誌論文 (学外)	Effect of intraoral antioxidative capacity in orengedokuto	NISHIJIMA Hiroaki TAKAMATSU Satoshi SATOH Kazue MURASE Remi TAKI Iori KAMEI Daisuke KAWAZOE Kazuyoshi NEMOTO Yukio IWAI Shinichi	Tradit Kampo Med	7	1	30		Apr-20

昭和大学 部門名 医薬品評価薬学 職名 助教 氏名 村瀬礼美

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	I Group III phospholipase A2 promotes colitis and	MURASE Remi TAKETOMI Y MIKI Y NISHITO Y SAITO M FUKAMI K YAMAMOTO K MURAKAMI M	Sci Rep	7	1	12261		Sep-17
	Anti-inflammatory effects of new catechin derivatives in a hapten-induced mouse contact dermatitis model.	NAKANO Eriko  KAMEI Daisuke  MURASE Remi  TAKI Iori  KARASAWA Koji  FUKUHARA Kiyoshi  IWAI Shinichi	Eur J Pharmacol	845		40		Feb-19

学術雑誌論文 (学外)	Effect of intraoral antioxidative capacity in orengedokuto	NISHIJIMA Hiroaki  TAKAMATSU Satoshi  SATOH Kazue  MURASE Remi  TAKI Iori  KAMEI Daisuke  KAWAZOE Kazuyoshi  NEMOTO Yukio  IWAI Shinichi	Tradit Kampo Med	7	1	30	Apr-20
学術雑誌論文 (学内)	Five Prognostic Factors for Readmission in Patients Over	SAITO HIROSHI SHOJI Makoto TAKI Iori MURASE Remi KAMEI Daisuke SHINKE Toshiro IWAI Shinichi	Showa Univ J Med Sci	32	1	33	Apr-20
学術雑誌論文 (学外)	1	TAKETOMI Y ENDO Y HIGASHI T MURASE Remi ONO T TAYA C KOBAYASHI T MURAKAMI M	Cells	10	7	1691	Jul-21

昭和大学 部門名 薬物治療学 職名 助教 氏名 里美貴

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Factors predicting addition of disease-modifying antirheumatic drugs after initial methotrexate monotherapy in patients with rheumatoid arthritis.	YAMAGUCHI Takashi KOHYAMA Noriko TAKENAKA Miki OKADA Takahiro KURIHARA Tatsuya SAKURAI Kosuke MIWA Yusuke KOGO Mari	Clin Rheumatol	40	7	2657		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	Scoring Model to Predict a Low Disease Activity in Elderly Rheumatoid Arthritis Patients Initially Treated with Biological Disease-modifying Antirheumatic Drugs	OKADA Takahiro   KOHYAMA Noriko   TAKENAKA Miki   YAMAGUCHI Takashi   KURIHARA Tatsuya   SAKURAI Kosuke   MIWA	Intern Med	60	12	1827		Jun-21
会議発表 (論文・ロ頭)	COP-NLRを用いた転移性腎細胞癌スニチニブ内服 患者における予後予測モデルの構築	里 美貴 井田 歩希 神田 雄貴  高野 華央里 大林 真幸 神山 紀子 森田 順 冨士 幸藏 佐々 木 春明 小川 良雄 向後 麻里					医療薬学 フォーラム 2021 第29回 クリニカル ファーマシー シンポジウム	Jul-21
会議発表 (論文・ロ頭)	関節リウマチ患者における初回メトトレキサート 単剤療法後の疾患修飾抗リウマチ薬(DMARDs) 追加に影響を及ぼす因子の検討	山口天士,神山紀子,竹中美貴,岡田貴裕,栗原竜也,櫻井康亮,三浦瑶子,三輪裕介,向後麻里					日本リウマチ 学会	Apr-20
会議発表 (論文・口頭)	高齢関節リウマチ患者における生物学的製剤の効 果予測スコアモデルの構築	岡田貴裕,神山紀子,竹中美貴,山 口天士,栗原竜也,櫻井康亮,三浦 瑶子,三輪裕介,向後麻里					日本リウマチ 学会	Apr-20

## 昭和大学 部門名 天然医薬治療学部門 職名 助教 氏名 小池 佑果

業績項目	タイトル・書名	著者				雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	抗老化を目指した漢方薬の評価	高松	智 小池	佑果 川添	和義	アグリバイオ	5	9	98		Jul-21
会議発表 (論文・ロ頭)	トロンビン活性を抑制した治打撲一方の成分	小池	佑果 高村	公智 川添	和義					第43回日本血 栓止血学会学 術集会	
図書	医歯薬学系博物館事典	小池	佑果						65		May-21
図書	生薬・薬用植物研究の最新動向	小池	佑果						83		Aug-17
学術雑誌論文 (学外)	漢方概念に基づいた天然資源からの創薬シーズ探 索と研究	小池	佑果		•	月刊ファインケミカル	46	6	6		Jun-17

## 昭和大学 部門名 がんゲノム医療薬学部門 職名 助教 氏名 松本奈都美

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Decreased Disposition of Anticancer Drugs Predominantly Eliminated via the Liver in Patients with Renal Failure	FUJITA Ken-ichi  MATSUMOTO Natsumi  ISHIDA Hiroo  KUBOTA Yutaro  IWAI Shinichi  SHIBANUMA Motoko  KATO Yukio	Curr Drug Metab	20	5	361		Mar-19
学術雑誌論文 (学外)	Variants of carboxylesterase 1 have no impact on capecitabine pharmacokinetics and toxicity in capecitabine plus oxaliplatin treated-colorectal cancer patients	MATSUMOTO Natsumi  KUBOTA Yutaro ISHIDA Hiroo SEKIDO Masae OHKUMA Ryotaro ISHIGURO Tomoyuki  HIRASAWA Yuya ARIIZUMI Hirotsugu TSUNODA Takuya IKUSUE Toshikazu KOBAYASHI Kouji HISAMATSU Atsushi TOSHIMA Hirokazu SHIMADA Ken FUJITA Ken-ichi	Cancer Chemother Pharmacol	85	6	1119		Jun-20

学術雑誌論文 (学外)	6-Hydroxyindole is an endogenous long-lasting OATP1B1 inhibitor elevated in renal failure patients	MASUO Yusuke FUJITA Ken- ichi MISHIRO Kenji SEBA Natsumi KOGI Tatsuya OKUMURA Hidenori MATSUMOTO Natsumi KUNISHIMA Munetaka KATO Yukio	Drug Metab Pharmacokinet	35	6	555		Sep-20
学術雑誌論文 (学外)	Correlation between the metabolic conversion of a capecitabine metabolite, 5′-deoxy-5-fluorocytidine, and creatinine clearance	INAISHI Takahiro   FUJITA Ken- ichi   MATSUMOTO Natsumi   SHIMOKATA Tomoya   MAEDA Osamu   KIKUMORI Toyone   HATTORI Norifumi   NAKAYAMA Goro   ANDO Yuichi	In Vivo	34	6	3539		Nov-20
会議発表 (論文・口頭)	SN-38の体内動態とOATP1B1の機能:重篤な腎機能 障害のない患者において	藤田 健一 久保田 祐太郎 石田 博雄 坪谷 綾子 角田 卓也 松 本 奈都美 楠原 洋之 佐々木 康綱					第18回日本臨 床腫瘍学会学 術集会 (JSMO2021)	Feb-21
会議発表 (論文・口頭)	Capecitabineの加水分解反応における小胞体膜輸送 体OAT2の役割	石田 尚輝 荒川 大 松本 奈都 美 藤田 健一 加藤 将夫					日本薬剤学会 第36年会	May-21
学術雑誌論文 (学外)	Minimal contribution of the hepatic uptake transporter OATP1B1 to the inter-individual variability in SN-38 pharmacokinetics in cancer patients without severe renal failure.	TSUBOYA Ayako  KUBOTA Yutaro  ISHIDA Hiroo  OHKUMA Ryotaro  ISHIGURO Tomoyuki  HIRASAWA Yuya  ARIIZUMI Hirotsugu  TSUNODA Takuya  SASAKI Yasutsuna  MATSUMOTO Natsumi  KONDO Yusuke  TOMODA Yukana  KUSUHARA Hiroyuki  FUJITA Ken-ichi	Cancer Chemother Pharmacol	88	3	543		Jun-21

#### 業績項目における「会議発表(論文・口頭)」は発表形式を問わず、すべての学会発表を示します。

四和大学	病院薬剤学講座	職名 教授員外	氏夕 渡邊 微

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Association of Potentially Inappropriate Medications With All-Cause Mortality in the Elderly Acute Decompensated Heart Failure Patients: Importance of Nonsteroidal Anti-Inflammatory Drug Prescription	Tomiko Sunagaa, Azusa Yokoyamab, Shoko Nakamuraa, Nagisa Miyamotob, Saki Watanabec,Miki Tsujiuchid, Sakura Nagumod, Ayaka Nogid, Hideyuki Maezawad, Takuya Mizukamid,Mio Ebatod, Hiroshi Suzukid, Akihiro Nakamurac, Toru Watanabea, b, Tadanori Sasakia	Cardiol Res.	11	4	239		Mar-20
学術雑誌論文 (学外)	The association between cumulative radiation dose and the incidence of severe oral mucositis in head and neck cancers during radiotherapy	Tomiko Sunaga、Akiko Nagatani、Naokazu Fujii Touji Hashimoto、Toru Watanabe、 Tadanori Sasaki	Cancer Report	4	2	e1317		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	The impact of lesion location on medication self-management ability in patients with cerebrovascular disease	Hisato Fujihara, Keiya Goto, Mayumi Higashino, Shoko Nakamura, Eriko Tanaka, Tomiko Sunaga, Nobuyuki Kawate, Kazuyoshi Kawazoe, Toru Watanabe and Tadanori Sasaki	Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science.	11		21		Feb-20
学術雑誌論文 (学外)	Safety of vancomycin in patients with moderate and severe renal dysfunction.	Awaya M, Tanaka H, Suzuki A, Yamauchi R, Kusunoki Y, Tanaka N, Tomura K, Tanaka S, Watanabe T, Ikeda H, Sasaki T.	Clin. Nephrol.	26		On line		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	Comparison of trough concentration and area under the curve of vancomycin associated with the incidence of nephrotoxicity and predictors of a high trough level.	Suzuki A, Hamada Y, Ikeda H, Tanaka H, Yanagihara M, Namiki M, Watanabe T, Sasaki T.	J Infect Chemother.	27	3	455		Jul-21

#### 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 准教授 氏名 田中克巳

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	手術・検査前中止薬の確認業務とその評 価	柏原由佳 柘植縁理佳 伊波樹  江畠麗 佐伯美沙 田中章久 前 田絵里加 田中克巳					第31回日本医 療薬学会年会	Oct-21
学術雑誌論文 (学外)	産科編 基本的薬剤の選び方・使い方・ 注意点 解熱鎮痛薬	磯﨑 遥 前田 絵里加 田中 克巳 大槻 克文	周産期医学	50	増刊	87		Dec-20
図書	周産期の薬(周産期医学 50(増刊))	磯崎 遥 前田 絵里加 田中 克巳 大槻 克文				87		Dec-20
会議発表 (論文・口頭)	発足後1年間の緩和ケアチーム介入の実態 と課題	柏原 由佳 小城原 傑 笈沼智子 喜田 昌記 ?野 清美 嶋田 顕 田中 克巳 佐々木 忠徳					第6回日本が んサポーティ ブケア学会	May-21
会議発表 (論文・口頭)	「調剤業務のあり方」に基づく医療の質 に与える影響の検討	永田 卓也 田中 克巳 久知 良 礼美 中田 麻里 佐々木 忠徳					第22回日本 医療マネジメ ント学会学術 総会	Oct-20
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第1回 総説	渡邊 亜矢子 喜田 昌記 柏原 由佳 田中 章久 田中 克巳  佐々木 忠徳		42	11	38		Nov-20
学術雑誌論文 (学内)	注射剤処方に対する疑義照会内容の分析 とインシデントとの関連	仁尾 祐太 杉田 栄樹 北原加奈之 清水 久範 柏原 由佳  田中 克巳 佐々木 忠徳	昭和学士会雑誌	79	6	797		Dec-19
学術雑誌論文 (学外)	フェノバルビタールの剤形変更により血 中フェノバルビタール濃度が著しく変動 した1例	伊藤 綾花 渡邊 亜矢子 阿部 久瑠美 中田 麻里 永田 卓也  柏原 由佳 花岡 健太朗 水 野 克己 田中 克巴 佐々木 忠徳	日本小児臨床薬理学会雑誌	32		120		Aug-19

# 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 准教授 氏名 柏原由佳

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	10.10.1	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	手術・検査前中止薬の確認業務とその評価	柏原由佳 柘植縁理佳 伊波樹  江畠麗 佐伯美沙 田中章久 前 田絵里加 田中克巳				第31回日本医 療薬学会年会	Oct-21
会議発表 (論文・口頭)	学部教育から臨床研修薬剤師教育まで一貫した臨床薬剤師教育体制確立への取組 み	縄田修一				第6回日本薬 学教育学会大 会	Aug-21

学術雑誌論文 (学外)	緩和薬物療法認定薬剤師 緩和薬物療法 認定薬剤師に期待されるもの	柏原 由佳 大戸 祐治 喜田 昌記	薬事新報		3211	764		Jul-21
会議発表 (論文・口頭)	発足後1年間の緩和ケアチーム介入の実態 と課題	柏原 由佳 小城原 傑 笈沼智子 喜田 昌記 ?野 清美 嶋田 顕 田中 克巳 佐々木 忠徳					第6回日本が んサポーティ ブケア学会	May-21
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第2回 昭和大学江東豊洲病院での運用	柏原 由佳 田中 章久 喜田 昌記 渡邊 亜矢子 田中 克巳	都薬雑誌	42	12	48		Dec-20
学術雑誌論文 (学内)	注射剤処方に対する疑義照会内容の分析 とインシデントとの関連	仁尾 祐太 杉田 栄樹 北原 加奈之 清水 久範 柏原 由佳  田中 克巳 佐々木 忠徳	昭和学士会雑誌	79	6	797		Dec-19
学術雑誌論文 (学外)	【がんサバイバーの痛みを考える】薬物療法 ペンタゾシン, ブプレノルフィン	柏原 由佳	ペインクリニック	40	別冊秋	\$337		Oct-19
学術雑誌論文 (学外)	フェノバルビタールの剤形変更により血 中フェノバルビタール濃度が著しく変動 した1例	伊藤 綾花 渡邊 亜矢子 阿部 久瑠美 中田 麻里 永田 卓也  柏原 由佳 花岡 健太朗 水 野 克己 田中 克巳 佐々木 忠徳		32		120		Aug-19

昭和大学	病院薬剤学講座	職名	准教授	氏名	黒沢雅広

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	「精神刺激薬を安全で効果的に使う」を 開催して	黒沢 雅広	日本精神薬学会誌	4	2	26		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	【じっくり読めてしっかり身につく 精神 科薬物療法ガイド 改訂版】精神科の薬学 的管理クリニカルクエスチョン(Question 1)薬局店頭で抗精神病薬の注射剤使用の 有無を確認する方法とは?	黒沢 雅広	調剤と情報	27	2	384		Jan-21
学術雑誌論文 (学外)	【じっくり読めてしっかり身につく精神 科薬物療法ガイド改訂版】精神科の薬学 的管理クリニカルクエスチョン(Question 2)副作用の伝え方や発現状況の確認で注 意すべき点とは?	黒沢 雅広	調剤と情報	27	2	385		Jan-21
学術雑誌論文 (学外)	【じっくり読めてしっかり身につく精神 科薬物療法ガイド改訂版】精神科の薬学 的管理クリニカルクエスチョン(Question 3)「いつまで薬を飲み続けたらよいの か」と尋ねられたときの対応とは?	黒沢 雅広	調剤と情報	27	2	386		Jan-21
会議発表 (論文・口頭)	多変量解析を用いた、心理教育プログラムを受けた統合失調症患者の再入院のリスク因子の検討	中野 裕佳子 杉沢 諭 栗原 竜也 古屋 宏章 永井 努 黒 沢 雅広 常岡 俊昭 稲本 淳 子 岩波 明					第5回日本精 神薬学会総 会・学術集会	Aug-21
会議発表 (論文・口頭)	学部教育から臨床研修薬剤師教育まで一貫した臨床薬剤師教育体制確立への取組 み	縄田 修一					第6回日本薬 学教育学会大 会	Aug-21
会議発表 (論文・ロ頭)	精神医療実習(病院実務実習)の構築一 精神疾患患者の実際を学び対応を取得す る必須科目—	栗原 竜也 永井 努 黒沢 雅 広 唐沢 浩二 福村 基徳 田 島 正教 向後 麻里 中野 裕 佳子 佐野 智香 八木 孝仁  池田 勝之 真田 建史 ?塩 理 岩波 明 中村 明弘					第5回日 学会「未業学を えるカリー新たな の絆がかいを チャレンるー 実現する	Sep-20
会議発表 (論文・ロ頭)	ADHD適正流通管理システムの運用状況と 今後の課題	黒沢 雅広					NPBPPP2020 合同年会 精 神刺激薬を安 全で効果的に 使う	Aug-20

昭和大学	病院薬剤学講座	職名 准教授	氏名 阿部 誠治

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	歯科領域でよく使用される薬剤の注意す べきところ	阿部 誠治	小児歯科臨床	26	5	27		May-21
学術雑誌論文 (学外)	当院における「輸液用フィルター・投与ルートガイドライン」 作成の意義および 有用性評価	二村 哲未,阿部 誠治,野田 秀裕, 岡﨑 敬之介,岡田 菜津美,嶋﨑 真耶,太田 品子,城所 扶美子, 佐々木 忠徳	医薬品情報学	23	1	1		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	Copy number elevation of 22q11.2 genes arrests the developmental maturation of working memory capacity and adult hippocampal neurogenesis	BOKU S   IZUMI T   ABE Seiji   TAKAHASHI T   NISHI A   NOMARU H   NAKA Y   KANG G   NAGASHIMA M   HISHIMOTO A   ENOMOTO S   DURAN-TOrres G   TANIGAKI K   ZHANG J   YE K   KATO S   M ?NNIST? PT   KOBAYASHI K   HIROI N	Mol Psychiatry	23	4	985		Apr-18

#### 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 准教授 氏名 藤原久登

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学内)	A Retrospective Study of Injection Site Pain from Azithromycin Injection in Japanese Patients	Hironori TANAKA, Makoto HAYASHI, Mariko AWAYA, Yumiko KUSUNOKI, Nao TANAKA, Kazuki TOMURA, Hisato FUJIHARA, Toru WATANABE, Hirokazu IKEDA, Tadanori SASAKI	The Showa University Journal of Medical Sciences	32	3	207		Sep-20
学術雑誌論文 (学外)	The impact of lesion location on medication self-management ability in patients with cerebrovascular disease	Hisato Fujihara, Keiya Goto, Mayumi Higashino, Shoko Nakamura, Eriko Tanaka, Tomiko Sunaga, Nobuyuki Kawate, Kazuyoshi Kawazoe, Toru Watanabe, Tadanori Sasaki	Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science	11		21		Feb-20
学術雑誌論文 (学外)	【患者の気持ちに寄り添う服薬支援】 (Part 3)事例にみる 患者の気持ちに寄り 添う服薬支援 身体機能低下による服薬 困難事例	藤原久登	看護技術	66	6	614		May-20
学術雑誌論文 (学外)	地域包括ケアシステムの回復期における 病院薬剤師と薬局薬剤師との連携に関す る調査研究	岸本真、荒川隆之、川崎美紀、 豊見敦、藤原久登、溝神文博、 宮川哲也	日本病院薬剤師会雑誌	56	10	1214		Oct-20
学術雑誌論文 (学外)	Development and evaluation of a formula for predicting introduction of medication self-management in stroke patients in the Kaifukuki rehabilitation ward	FUJIHARA Hisato,KOGO Mari,SAITO Isao, KAWATE Nobuyuki,MIZUMA Masazumi,SUZUKI Hiroko,MURAYAMA Jun - ichiro,SASAKI Tadanori	J Pharm Health Care Sci	3	2	1		Jan-17
会議発表 (論文・ロ頭)	学部教育から臨床研修薬剤師教育まで一 貫した臨床薬剤師教育体制確立への取組 み	縄田修一、柏原由佳、市倉大輔、嶋村弘史、藤原久登、黒沢雅広、田中広紀、阿部誠治、百賢二、鈴木信也、須永登美子、渡邊徹					第6回日本薬 学教育学会大 会	Aug-21
会議発表 (論文・ロ頭)	回復期リハビリテーション病棟入院中の 高齢脳卒中患者における抗コリン負荷 が服薬自己管理に及ぼす影響	田中絵里子、藤原久登、高木桂 子、三井奈緒、中村彰子、川手 信行、佐々木忠徳					第31回日本医 療薬学会年会	Oct-21

#### 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 准教授 氏名 田中広紀

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	•	SUZUKI Ayako HAMADA Yukihiro IKEDA Hirokazu TANAKA Hironori YANAGIHARA Mari NAMIKI Mikako WATANABE Toru SASAKI Tadanori	J Infect Chemother	27	3	455		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	予防投与量のST合剤でSIADHによる低Na血症が疑われた1例	米澤 龍 藤宮 龍祥 伊藤 真理 田中 広紀 原田 浩史 渡邊 徹	日本病院薬剤師学会雑誌	56	11	1329		Nov-20
学術雑誌論文 (学内)	A Retrospective Study of Injection Site Pain from Azithromycin Injection in Japanese Patient	TANAKA Hironori   HAYASHI Makoto   AWAYA Mariko   KUSUNOKI Yumiko   TANAKA Nao   TOMURA Kazuki   FUJIHARA Hisato   WATANABE Toru   IKEDA Hirokazu   SASAKI Tadanori	Showa Univ J Med Sci	32	3	207		Oct-20

 Evaluation of a clinical skills assessment tool for	KITAHARA Kanayuki   KURIHARA Tatsuya   TANAKA Hironori   KASHIWABARA Yuka   NAWATA Shuichi   SUGITA Hideki   UCHIKURA Takeshi   SASAKI Tadanori	薬学教育	3		125	Jan-20
 腎機能障害患者におけるパンコマイシン 初期負荷投与の検討	栗屋 真理子 田中 広紀 鈴木 絢子 市川 剛 楠 裕美子 内 田 展 秋山 菜央 戸村 和希  須永 登美子 藤原 久登 並 木 美加子 田中 佐知子 渡邊 徽 池田 裕一 佐々木 忠徳	日本病院薬剤師会雑誌	55	2	197	Feb-19

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 准教授 氏名 縄田 修一

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Clinical Pharmacokinetics of Mianserin Suppositories in Healthy Older Japanese Male Adults: A Pilot Study	ICHIKUKRA Daisuke NAWATA Shuichi KOHYAMA Noriko TOKUNAGA Megumi HIDA Noriko YAMAZAKI Taigi TAKENOSHITA Sachiko UCHIDA Naoki MINEMURA Atsuko SASAKI Tadanori	Japanese Journal of Clinical Pharmacology and Therapeutics	50	2	23		Mar-19
学術雑誌論文 (学外)	A cross-sectional survey of methods for controling hand-foot syndrome in patients receiving capecitabine treatment	SUZUKI Shinya   NAWATA Shuichi   INADA Yusuke   SATO Daisuke   KUSANO Junichi   ICHIKURA Daisuke   TORIGOE Kazuhiro   ISHITSUKA Kazumi   SATO Fumiaki   SAKAI Hiroyasu   YUMOTO Tetsuro	Mol Clin Oncol	9	4	443		Oct-18
学術雑誌論文 (学外)	少量補液負荷の胆道がんGemcitabine+ Cisplatin 療法の忍容性評価	市村 丈典 縄田 修一 市倉 大輔 村上 郁 臼田 昌弘 川 島 渉 峯村 純子 佐々木 忠	薬学雑誌	140	7	924		Jul-20
学術雑誌論文 (学外)	,, , , , ,	MINATOGAWA H IZAWA N KAWAGUCHI T MIYAJI T SHIMOMURA K KAZUNORI H IIHARA H OHNO Y INADA Y ARIOKA H MORITA H HIDA N SUGAWARA M KATADA C NAWATA Shuichi ISHIDA Hiroo TSUBOYA A TSUDA T YAMAGUCHI T NAKAJIMA TE	BMJ Open	10	12	e041737		Dec-20

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 准教授 氏名 須永 登美子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Effect of CYP3A4 inducing drug-drug interactions on contraceptive failures stratified by route of administration.	Sunaga T, Brian Cicali Stephan Schmidt Brown DJ.	Contraception	103	4	222		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	The association between cumulative radiation dose and incidence oral mucositis in head and neck cancer during radiotherapy.	Sunaga T, Nagatani A, Fujii N, Hashimoto T, Watanabe T, Sasaki T.	Cancer Reports (Hoboken)	4	2	e1317		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	Effect of continuous infusion administration of argatroban in acute ischemic stroke patients.	Sunaga T, Higashino M, Kimura A, Baba Y, Tanioka T, Watanabe T, Sasaki T.	YAKUGAKU ZASSHI	140	11	1373		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	Risk associated with sever hematological toxicity in patients with urothelial cancer receiving combination chemotherapy of gemcitabine and cisplatin.	Takahashi N, Sunaga T, Fujimiya T, Kurihara T, Nagatani A, Yamagishi M, Watanabe T, Sasaki H, Ogawa Y, Sasaki T	Chemotherapy	65	1-2	29		Jul-20
学術雑誌論文 (学外)	The association between potentially inappropriate medications and all-cause mortality in the elderly acute decompensated heart failure patients: importance of nonsteroidal anti-inflammatory drugs prescription.	Sunaga T, Yokoyama A, Nakamura S, Miyamoto N, Watanabe S, Tsujiuchi M, Nagumo S, Nogi A, Maezawa H, Mizukami T, Ebato M, Suzuki H, Nakamura A, Watanabe T, Sasaki T.	Cardiol Res	11	4	239		Jun-20

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 准教授 氏名 百 賢二

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論 (学外)	Investigation of the Real-World Situation and Risk Factors Associated with Olanzapine Prescribed to Diabetes Patients by Using a Japanese Claims Database	YAMASHITA Shinsuke   IMAI Shungo   MOMO Kenji   KASHIWAGI Hitoshi   SATO Yuki   SUGAWARA Mitsuru   TAKEKUMA Yoh	Biol Pharm Bull	44	8	1151		Aug-21

学術雑誌論文 (学外)	Determination of the concentration of gilteritinib in human plasma using HPLC.	YASU Takeo   SUGI Tomiyuki   MOMO Kenji   HAGI HARA Masao   YASUI Hiroshi	Biomed Chromatogr	35	4	e5028	Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	Probiotic Prescription Status of Pediatric Patients with Otitis Media Receiving Oral Amoxicillin or Amoxicillin/Clavulanate from April 2016 to March 2017 Using a Japanese Health Insurance Claims Database.	IMAI Shungo  MOMO Kenji  KASHIWAGI Hitoshi  MIYAI Takayuki  SUGAWARA Mitsuru  TAKEKUMA Yoh	Biol Pharm Bull.	44	3	448	Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	Association of proton pump inhibitors and concomitant drugs with risk of acute kidney injury: a nested case-control study	IKUTA Keiko   NAKAGAWA Shunsaku   MOMO Kenji   YONEZAWA Atsushi   ITOHARA Kotaro   SATO Yuki   IMAI Satoshi   NAKAGAWA Takayuki   MATSUBARA Kazuo	BMJ Open	11	2	e041543	Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	Effects of an Indomethacin Oral Spray on Pain Due to Oral Mucositis in Cancer Patients Treated With Radiotherapy and Chemotherapy: A Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled Trial (JORTC-PAL04).	NAGAOKA Hiroka   MOMO Kenji   HAMANO Jun   MIYAJI Tempei   OYAMADA Shunsuke   KAWAGUCHI Takashi   HOMMA Masato   YAMAGUCHI Takuhiro   MORITA Tatsuya   KIZAWA Yosiyuki	J Pain Symptom Manage.	28		S0885- 3924(21) 00144-5	Jan-21

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 准教授 氏名 鈴木 信也

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	非イオン性ヨード造影剤の副作用発症の 予測モデルの構築および検証	茶谷 良一 上村 忠聖 鈴木 信也 小松原 江里子 林 誠一  橋口 正行 木崎 速人 堀 里子					第23回日本医 薬品情報学会 総会・学術大 会	Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	多職種によ~く伝わる薬学的思考を活か した 診療録記載のまとめ方(第5回) 患 者の身体所見に基づく副作用評価と医師 への提案(その1)	市村 丈典 鈴木 信也 佐村 優	薬事	63	6	1136		May-21
会議発表 (論文・口頭)	卵巣がんドセタキセル+カルボプラチン +ベバシズマブ療法による掌の皮膚剥離 出現の実態調査	徳永 愛美 縄田 修一 河本 貴之 松浦 玲 市倉 大輔 鈴 木 信也 佐々木 忠徳					第14回日本緩 和医療薬学会 年会	May-21
学術雑誌論文 (学外)	術後悪心嘔吐の発症率と麻酔科医の予防 措置決定に薬剤師による介入が及ぼす影 響	猪狩 賢蔵 鈴木 信也 関 博志 野村 嘉奈子 外園 弥生  吉田 蘭子 阪上 貴子 伊藤 智一 荒瀬 透 林 誠一	医療薬学	47	4	179		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	多職種によ〜く伝わる薬学的思考を活か した診療録記載のまとめ方(第3回) 検査 値に関連した副作用評価と医師への提案	高田 昂輔 鈴木 信也	薬事	63	4	776		Mar-21
会議発表 (論文・ロ頭)	医療連携におけるPBPMを応用した外来患者に対する医療用麻薬処方への取り組み~STAS-Jによる共通評価の試み~	徳永 愛美 縄田 修一 日向 美羽 横山 和彦 小貫 道子  脇谷 美由紀 小原 君予 木村 祐子 市村 丈典 市倉 大輔  鈴木 信也 佐々木 忠徳					日本臨床腫瘍 薬学会学術大 会2021	Mar-21
会議発表 (論文・口頭)	調剤時の薬剤取違いに及ぼす薬名類似と 薬効類似の影響	佐川 晴香 上村 忠聖 鈴木 信也 林 誠一 吉川 康大 木 崎 速人 堀 里子					日本薬学会第 141年会	Mar-21
会議発表 (論文・口頭)	非イオン性ヨード造影剤の副作用発現回 避のための予防薬投与の有用性評価	茶谷 良一 上村 忠聖 鈴木 信也 小松原 江里子 林 誠一  橋口 正行 木崎 速人 堀 里子					日本薬学会第 141年会	Mar-21

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 講師 氏名 和田 紀子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	モ	 学会・シンポ ジウム名	刊行年月
その他	大学病院における緩和ケア〜疼痛管理に おける薬剤師の関わり〜	和田 紀子				日本ジェネ リック医薬 品・バイオシ ミラー学会第 15回学術大会	Jun-21
会議発表 (論文・ロ頭)	慢性心不全患者への緩和ケアチーム薬剤 師の介入と役割	和田 紀子 山口 芽衣 西木戸修 高橋 彩子 鈴木 洋久 我妻 志保 山尾 尚子 岡本 健一郎 新家 俊郎 佐々木 忠徳				第14回日本緩 和医療薬学会 年会	May-21

学術雑誌論文 (学内)	Integrating Cancer Patients' Satisfaction with Rescue Medication in Pain Assessments	WADA Noriko   HANDA Satoko   YAMAMOTO Hitomi   HIGUCHI Hitomi   OKAMOTO Kenichiro   SASAKI Tadanori   KATO Yasuhisa	Showa Univ J Med Sci	32	3	181	Oct-20
学術雑誌論文 (学外)	【がんサバイバーの痛みを考える】薬物療法 モルヒネ・フェンタニル・オキシコドン・タペンタドール・メサドン・ヒドロモルフォン	岡本 健一郎 西木戸 修 横山 和彦 和田 紀子	ペインクリニック	40	別冊秋	S328	Oct-19
学術雑誌論文 (学内)	Comparison of User Impressions of Oral Transmucosal Fentanyl Placebo Formulations by Medical Staff	WADA Noriko   KASHIWABARA Yuka   HIGUCHI Hitomi   HINATA Miwa SASAKI Tadanori KATO Yasuhisa	Showa Univ J Med Sci	30	1	53	Mar-18

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 講師 氏名 北原加奈之

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Developing a Japanese version of the 'scale of attitudes toward pharmacist-physician collaboration'	Kanayuki Kitahara, Takeshi Uchikura, Yuta Nio, Satoko Katsuragi, Keinosuke Okazaki, Yoshiko Nishi, Takashi Kawaguchi, Takuhiro Yamaguchi, Tadanori Sasaki.	J Interprof Care.	15		1		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	Evaluation of a clinical skills assessment tool for young pharmacists in Japan.	Kanayuki Kitahara, Tatsuya Kurihara, Hironori Tanaka, Yuka Kashiwabara, Shuichi Nawata, Hideki Sugita, Takeshi Uchikura, Tadanori Sasaki.	Japanese Journal of Pharmaceutical Education	3		125		Jun-19
学術雑誌論文 (学外)	Incident Factor Analysis by THERP with a View to Preventing Dispensing Errors	Kanayuki Kitahara, Atsuko Minemura, Masahiro Numata, Masatoshi Ouchi, Tohru Aruga, Jun- Ichiro Murayama	Jpn J Pharm Health Care Sci.	34	6	552		Sep-08
学術雑誌論文 (学外)	A Case of Cerebral Infarction During Treatment With Rivaroxaban for Venous Thromboembolism	Kanayuki Kitahara, Kenji Momo, Satomi Nimura, Keinosuke Okazaki, Norihiro Suzuki, Yutaro Kubota, Takuya Tsunoda, Daishi Watanabe, Keita Mizuma, Kenjiro Ono, Tadanori Sasaki	Am J Ther			1		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)	昭和大学病院および附属東病院における8年間のインシデントレポートの状況把握と薬剤関連インシデント事例への対応	田中克巳,北原加奈之,村上雅彦,村山純一郎,有賀徹	安全医学	12		15		Mar-16

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 講師 氏名 吉川 雅之

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Standard pharmacist intervention checklist to improve the appropriate use of medications for inpatients with polypharmacy.	SHIMAMURA Hiroshi KATSURAGI Satoko YOSHIKAWA Masayuki NAKURA Miyuki SASAKI Tadanori ITABE Hiroyuki	BPB Reports	3	6	196		Dec-20
	ビルダグリプチンとメトホルミンの単剤併用から配合剤への切り替えによるHbA1c改善効果		くすりと糖尿病	8	1	162		Jun-19

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 講師 氏名 内倉 健

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
総説	臨床研究法施行後の研究者が知っておくべき臨床研究に関する法・基準の差異について GCP省令、臨床研究法、及び倫理指針の差異	内倉健 小林真一 龍家圭 三 邉 武彦 肥田典子 内田直樹	臨床薬理	50	5	229		Sep-19
学術雑誌論文 (学外)	Evaluation of a clinical skills assessment tool for young pharmacists in Japan	KITAHARA Kanayuki  KURIHARA TatsuyaTANAKA  Hironori  KASHI WABARA Yuka  NAWATA Shuichi  SUGITA Hideki  Uchikura Takeshi  SASAKI Tadanori	Japanese Journal of Pharmaceutical Education	3		125		Sep-19
学術雑誌論文 (学外)	全国の大学附属病院における患者向け治験 情報公開に関する実態調査	佐々木 哲哉 三邉 武彦 山崎 太義 内倉 健 竹ノ下 祥子 龍 家圭 肥田 典子 内田 直樹 小 林 真一	臨床薬理	50	1	3		Feb-19
学術雑誌論文 (学内)	入院管理下臨床試験における健康被験者の エネルギー摂取量と血清トランスアミナーゼ 値の推移の関係	外谷 衣都子 鈴木 立紀 龍 家圭 山崎 太義 竹ノ下 祥子  肥田 典子 三邉 武彦 内倉 健 内田 直樹 小林 真一	昭和学士会雑誌	77	4	448		Aug-17

学術雑誌論文 (学外)	健康成人におけるオルメサルタン投与後の	川島 渉 内倉 健 三邉 武彦  岡田 菜津美 山田 寛子 嶋村 弘史 肥田 典子 山崎 太義 内 田 直樹 佐々木 忠徳 小林 真一	薬理と治療	45	5	729		May-17	
----------------	---------------------	---	-------	----	---	-----	--	--------	--

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 講師 (実務) 氏名 市倉 大輔

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	学部教育から臨床研修薬剤師教育まで一 貫した臨床薬剤師教育体制確立への取組 み	縄田 修一 柏原 由佳 市倉 大輔 嶋村 弘史 藤原 久登  黒沢 雅広 田中 広紀 阿部 誠治 百 賢二 鈴木 信也 須 永 登美子 渡邊 徹 田中 克 巳 佐々木 忠徳					第6回日本薬 学教育学会大 会	Aug-21
学術雑誌論文 (学外)	Effectiveness of corticosteroids on immune checkpoint inhibitor-induced interstitial pneumonia among patients with a history of interstitial pneumonia: A case series	ICHIMURA Takenori HINATA Miwa ICHIKURA Daisuke SUZUKI Shinya	SAGE Open Med Case Rep	9		2050313 X211031 313		Jul-21
会議発表 (論文・口頭)	卵巣がんドセタキセル+カルボプラチン +ベバシズマブ療法による掌の皮膚剥離 出現の実態調査	徳永 愛美 縄田 修一 河本 貴之 松浦 玲 市倉 大輔 鈴 木 信也 佐々木 忠徳					第14回日本緩 和医療薬学会 年会	May-21
学術雑誌論文 (学外)	がん性疼痛に対してオキシコドン塩酸塩 を使用した妊婦から出生した児に新生児 薬物離脱症候群が出現した1例	徳永 愛美 縄田 修一 横山 和彦 稲垣 彩美 瀬尾 晃平  井川 三緒 村川 哲郎 市倉 大輔 峯村 純子 佐々木 忠徳	Palliat Care Res	15	4	297		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	少量補液負荷の胆道がんGemcitabine+ Cisplatin 療法の忍容性評価	市村 丈典 縄田 修一 市倉 大輔 村上 郁 臼田 昌弘 川 島 渉 峯村 純子 佐々木 忠 徳	薬学雑誌	140	7	929		Jul-20
学術雑誌論文 (学外)	Clinical Pharmacokinetics of Mianserin Suppositories in Healthy Older Japanese Male Adults: A Pilot Study	ICHIKURA Daisuke   NAWATA Shuichi   KOHYAMA Noriko   TOKUNAGA Megumi   HIDA Noriko   YAMAZAKI Taigi   TAKENOSHITA Sachiko   UCHIDA Naoki   MINEMURA Atsuko   SASAKI Tadanori	臨床薬理	50	2	23		Mar-19
学術雑誌論文 (学外)	A cross-sectional survey of methods for controling hand-foot syndrome in patients receiving capecitabine treatment	SUZUKI Shinya  NAWATA Shuichi  INADA Yusuke  SATO Daisuke   KUSANO Junichi  ICHIKURA Daisuke   TORIGOE Kazuhiro   ISHITSUKA Kazumi  SATO Fumiaki   SAKAI Hiroyasu  YUMOTO Tetsuro	Mol Clin Oncol	9	4	443		0ct-18

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 講師 氏名 島本 一志

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	がん患者の角層水分量がフェンタニル貼付剤のフェンタニル皮膚移行率に及ぼす 影響	島本 一志 松井 美月 田島 正教 杉山 恵理花 佐藤 均  渡邊 徹 市川 度 佐々木 忠 徳	日本緩和医療薬学雑誌					in press
会議発表 (論文・口頭)	ニボルマブによる腎細胞がん治療におい て遅発性の副腎機能障害を発症した症例	島本 一志 坂井 美穂 山寺 志保 ?田 恵理子 米澤 龍 須 永 登美子					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21
会議発表 (論文・口頭)		米澤 龍 島本 一志 蒲澤 宣幸 佐野 瑞希 田中 志津子 松井 美月 原田 浩史 須永登美子					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21
会議発表 (論文・口頭)	Morphine、Oxycodone、Hydromorphone、 Tapentadolの初回内服後のせん妄様症状に 関する実態調査	松井 美月 藤宮 龍祥 島本 一志 米澤 龍 田中 志津子  中山 博文 渡邊 徹 佐々木 忠徳					第14回日本緩和医療薬学会年会	May-21
学術雑誌論文 (学外)	Best Supportive Care患者におけるフェンタニル貼付剤への早期Opioid Switchingに影響する要因解析	島本 一志 須永 登美子 杉山 恵理花 田島 正教 向後 麻里  佐々木 忠徳 佐藤 均		11	2	43		Jun-18

学術雑誌論文 (学外)	The Association between Fever and Prognosis in Lung Cancer Patients with Bone Metastases Receiving Zoledronic Acid.	SUNAGA Tomiko   SHIMAMOTO Kazushi   NAKAMURA Shoko   TAKAHASHI Noriko   HIGASHINO Mayumi   HOZUMI Tomomi   MATSUI Mitsuki   NAGATANI Akiko   KOKUBU Fumio   KOGO Mari   SASAKI Tadanori	Chemotherapy	62	6	327		Jun-17
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 講師	氏名 杉田栄樹	1				
							1	
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Comparison of extended versus intermittent infusion of antipseudomonal beta-lactams for the treatment of critically ill patients with respiratory infections: A systematic review and meta-analysis.	ABOULATTA L SUGITA Hideki WAKABAYASHI Hitomi NOMA H SASAKI Tadanori	Int J Infect Dis	98		41		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	Prophylactic Quinolone Prescription Patterns Related to Febrile Neutropenia in Cancer Chemotherapy Outpatients	NIO Yuuta   MOMO Kenji   SUGITA Hideki   SHIMIZU Hisanori   SASAKI Tadanori	癌と化学療法	47	3	441		Mar-20
学術雑誌論文 (学外)	Evaluation of a clinical skills assessment tool for young pharmacists in Japan	KITAHARA Kanayuki   KURIHARA Tatsuya   TANAKA Hironori   KASHIWABARA Yuka   NAWATA Shuichi   SUGITA Hideki   UCHIKURA Takeshi   SASAKI Tadanori	薬学教育	3		125		Jan-20
会議発表 (論文・ロ頭)	Evaluating outcomes of extended versus intermittent infusion of antipseudomonal beta-lactams for treatment of critically ill patients with respiratory infection: A systematic review and meta-analysis	ABOULATTA Laila   SUGITA Hideki   WAKABAYASHI Hitomi   NOMA Hisashi   SASAKI Tadanori					American Society of Helthcare- system Pharmasists midyear clinical meeting 2019	Dec-19
学術雑誌論文 (学外)	Effect of text messages to improve health literacy on medication adherence in patients with type 2 diabetes mellitus: A randomized controlled pilot trial	SUGITA Hideki SHINOHARA Ryoji YOKOMICHI Hiroshi SUZUKI Kohta YAMAGATA Zentaro	Nagoya J Med Sci	79	3	313		Aug-17
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 小林 麻美	1				
	1.11APACAL VIII 1 NLLAVOTO	100 H 2010	2 1 1 1 1 1 1 1			•		
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
図書	薬学と社会:医療経済・多職種連携と チーム医療・地域医療・在宅医療 臨床 薬学テキストシリーズ	佐々木 忠徳 小林 麻美				2		Sep-17
	妊婦・授乳婦と一般用医薬品・サプリメント:周産期の薬	中山 泰葉 小林 麻美	周産期医学	50	増刊号	62		Dec-20
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 若林 仁美	1				
				-		I	I	
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文		深井 萌佳 神谷 太郎 若林 仁羊 佐々木 中徳 水野 古己	日本小児臨床薬理学会	33	1	14		Dec-20

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	ロフラゼブ酸エチルを服用中に母乳育児 を行った5症例の検討	深井 萌佳 神谷 太郎 若林 仁美 佐々木 忠徳 水野 克己	日本小児臨床薬理学会雑誌	33	1	14		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)	Comparison of extended versus intermittent infusion of antipseudomonal beta-lactams for the treatment of critically ill patients with respiratory infections: A systematic review and meta-analysis.	ABOULATTA L SUGITA Hideki WAKABAYASHI Hitomi NOMA H SASAKI Tadanori	Int J Infect Dis	98		41		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	小児用法を有するOverThe Counter (OTC) 医薬品のかぜ薬における添付文書情報に関する調査	遠藤 美緒 冨家 俊弥 中山 泰葉 阿部 久瑠美 若林 仁美  水野 克己 佐々木 忠徳	日本小児臨床薬理学会雑誌	31	1	58		Jan-19
学術雑誌論文 (学外)	母乳と薬相談外来開設後の現状報告	中山 泰葉 遠藤 美緒 稲垣 彩美 若林 仁美 星 茜 深井 萌佳 冨家 俊弥 栗原 竜也  神谷 太郎 水野 克己 板橋 家頭夫 佐々木 忠徳	日本母乳哺育学会雑誌	11	2	122		Dec-17

学術雑誌論文 (学外)	Efficacy of non-carbapenem antibiotics for pediatric patients with first febrile urinary tract infection due to extended-spectrum betalactamase-producing Escherichia coli.	ABE Yoshifusa   INAN-ERDOGAN Isil  FUKUCHI Kunihiko   WAKABAYASHI Hitomi   OGAWA Yasuha   HIBINO Satoshi   SAKURAI Shunsuke   MATSUHASHI Kazuhiko   WATANABE Yoshitaka   HASHIMOTO Kaori   UGAJIN Kazuhisa   ITABASHI Kazuo	J Infect Chemother	23	8	517	Aug-17
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 大戸祐治				

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	緩和薬物療法認定薬剤師 緩和薬物療法 認定薬剤師に期待されるもの	柏原 由佳 大戸 祐治 喜田 昌記	薬事新報		3211	764		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	人と人 大学病院で働くということ	大戸 祐治	薬事新報		3164	35		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	Predictive factors associated with bleeding in atrial fibrillation patients treated with anti-coagulant drugs using a large claims database.	MOMO Kenji SHU-TOH Kana   KANEKO Makiko   YAMANAKA Nauta   OTO Yuji   TANAKA Katsumi   KOINUMA Masayoshi   SASAKI Tadanori	PLoS One	15	8	e023823 3		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	Severe Drowsiness with Fever Induced by Transdermal Fentanyl Administration	OTO Yuji  MOMO Kenji  NAGATA Takuya   TSUGE Erika   KOBAYASHI Kouji   SHIMADA Ken   TANAKA Katsumi   SASAKI Tadanori	J Palliat Med	23	8	1006		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	改めて考える大学の附属病院の薬剤師とは? 人工知能には任せられない薬剤師の アイデンティティー	安田 礼美 中田 麻里 松崎 あ い理 大戸 祐治 田中 克巳	薬事新報		3067	7		Oct-18
会議発表 (論文・口頭)	薬剤師が中心となった抗菌薬適正使用支援 ラウンドの効果の検証	大戸 祐治 中田 麻里 新井 祐司 高久 美穂 岡田 壮令 田 中 克巳 佐々木 忠徳					第31回日本医 療薬学会年会	Oct-21

## 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 渡邊 亜矢子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第2回 昭和大学江東豊洲病院での運用	柏原 由佳 田中 章久 喜田 昌記 渡邊 亜矢子 田中 克巳	都薬雑誌	42	12	48		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第1回 総説	渡邊 亜矢子 喜田 昌記 柏原 由佳 田中 章久 田中 克巳  佐々木 忠徳	都薬雑誌	42	11	38		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	フェノバルビタールの剤形変更により血 中フェノバルビタール濃度が著しく変動 した1例	伊藤 綾花 渡邊 亜矢子 阿部 久瑠美 中田 麻里 永田 卓也  柏原 由佳 花岡 健太朗 水 野 克己 田中 克巳 佐々木 忠徳		32		120		Aug-19
学術雑誌論文 (学外)	改めて考える大学の附属病院の薬剤師と は?Missionから考える薬剤師の業務	伊藤 綾花 渡邊 亜矢子 越塚 宏美 屋城 由樹 田中 克巳	薬事新報		3058	13		Aug-18

#### 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 星茜

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	食道がん術前化学療法に伴う抗利尿ホル モン不適合分泌症候群(SIADH)の治療に トルバプタンを用いた一症例	星茜、百賢二、山崎公靖、大塚 耕司、青木武士、村上雅彦、 佐々木忠徳					日本医療薬学会	Oct-21
学術雑誌論文 (学外)	Tolvaptan for Hyponatremia Induced by Chemotherapy With Docetaxel, Cisplatin, and 5- Fluorouracil	HOSHI Akane   MOMO Kenji   YAMAZAKI Kimiyasu   OTSUKA Koji   AOKI Takeshi   MURAKAMI Masahiko   SASAKI Tadanori	Am J Ther.			Online ahead of print.		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	Surface Phenotype Changes and Increased Response to Oxidative Stress in CD4 + CD25 high T Cells	YAMAMOTO Yoshiki  NEGORO Takaharu   TADA Rui   NARUSHIMA Michiaki   HOSHI Akane   NEGISHI Yoichi   NAKANO Yasuko	Biomedicines.	9	6	616		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Survey of the Time-Onset Profiles of Nedaplatin-Induced Adverse Events in Head and Neck Cancer Therapy	HOSHI Akane   MOMO Kenji   KURIHARA Tatsuya   SHIMANE Toshikazu   KOBAYASHI Hitome   SASAKI Tadanori	Gan To Kagaku Ryoho.	48	2	207		Feb-21

-般雑誌記事 【がんサバイバーの痛み療法 コデインリン酸塩		ペインクリニック	40		S321		Oct-19	
-------------------------------	--	----------	----	--	------	--	--------	--

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 杉沢 諭

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	持効性注射剤の穿刺時痛に対する局所麻 酔薬の使用が与える影響	常岡 俊昭 杉沢 諭 中村 純子 眞野 三奈子 山田 真理 青柳 啓介	臨床精神医学	50	5	467		May-21
学術雑誌論文 (学外)	2種類の持効性注射剤を併用した統合失調 症患者8例の経験	常岡 俊昭 杉沢 諭 中村 純子 横山 佐知子 山田 真理 佐藤 諒太郎 染村 宏法 清水勇人 中村 暖 堀内 健太郎 山田 浩樹 岩波 明	精神医学	63	4	527		Apr-21
学術雑誌論文 (学外)	Asphyxia risk factors in adult psychiatric wards.	SUGISAWA Satoru  NOZUE Shinji  KURIHARA Tatsuya   KOYA Hiroaki  TSUNEOKA Toshiaki  NAGAI Tsutomu   KURATA Naomi   INAMOTO Atsuko   TAKAHASHI Koji   SASAKI Tadanori	Perspect Psychiatr Care	56	3	720		Jul-20
学術雑誌論文 (学外)	【Clozapineによる臨床の新たな展開】感染症 罹患による好中球減少でclozapine投与を中 止せざるを得なかった1症例	常岡 俊昭 杉沢 諭 中村 純子 岩見 有里子 河合 恵太 山田 真理 池ヶ谷 訓章 岩波 明	臨床精神薬理	23	1	91		Jan-20
学術雑誌論文(学外)	Suvorexant as an Adjunctive Treatment for Insomnia Prior to Discontinuation of Benzodiazepines: Prevention of Withdrawal Syndrome and Rebound Insomnia	YOKOYAMA Sachiko TSUNEOKA Toshiaki HORI Koji TAKASHIO Osamu SUGISAWA Satoru NAKAMURA Sumiko SAGA Nobuyuki ONO Eriko IWANAMI Akira	Brain Disord Ther	6	2	e		May-17

昭和大学 病院薬剤学講座 助教 中村 彰子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Association of Potentially Inappropriate Medications With All-Cause Mortality in the Elderly Acute Decompensated Heart Failure Patients: Importance of Nonsteroidal Anti- Inflammatory Drug Prescription.	SUNAGA Tomiko   YOKOYAMA Azusa   NAKAMURA Shoko   MIYAMOTO Nagisa   WATANABE Sakı   TSUJIUCHI Miki   NAGUMO Sakura   NOGI Ayaka   MAEZAWA Hideyuki   MIZUKAMI Takuya   EBATO Mio   SUZUKI Hiroshi   NAKAMURA Akihiro   WATANABE Toru   SASAKI Tadanori	Cardiol Res	11	4	239		Aug-20
学術雑誌論文 (学外)	回復期リハ病棟における薬剤師業務 回 復期リハビリテーション病棟における薬 剤師の業務と役割	中村 彰子 藤原 久登	薬事新報		3153	11		Jun-20
学術雑誌論文 (学外)	非弁膜症性心房細動患者における直接経 口抗凝固薬投与後の出血に関連する危険 因子と安全性プロファイルの検討	中村 彰子 須永 登美子 藤原 久登 松井 美月 東野 真弓  宮本 渚 稲本 真弓 江波戸 美緒 鈴木 洋 向後 麻里 渡 邊 徹 佐々木 忠徳	神奈川県病院薬剤師会雑誌	51	2	2		Jul-19
学術雑誌論文 (学外)	静脈血栓塞栓症における直接作用型経口 抗凝固薬投与による小出血リスク因子の 検討	須永 登美子 清水 朋美 中村 彰子 ?橋 典子 東野 真弓 松 井 美月 穂積 智美 江波戸 美緒 鈴木 洋 向後 麻里 渡 邊 徹 佐々木 忠徳		139	3	461		Mar-19

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 阿部 久瑠美

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
1 111 4/F (http://into.com	Midazolam Intoxication in a Premature	ENDO Mio HIRANO R SHIBASAKI H YOKOKAWA A FURUTA T ABE Kurumi MORITA Koji TANAKA S HIRANO T SAKURAI Motoichiro MIZUNO Katsumi	Clin Ther	42	5	946		May−20

	フェノバルビタールの剤形変更により血中 フェノバルビタール濃度が著しく変動した1例	伊藤 綾花 渡邊 亜矢子 阿部 久瑠美 中田 麻里 永田 卓也  柏原 由佳 花岡 健太朗 水野 克己 田中 克巳 佐々木 忠徳		32		120	Aug-19
字称维芙兰文	小児用法を有するOverThe Counter (OTC) 医薬品のかぜ薬における添付文書情報に関する調査	泰葉 阿部 久瑠美 芳林 仁美	日本小児臨床薬理学会雑誌	31	1	58	Jan-19

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 玉造 竜郎

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
その他	新時代の幕開け! 薬剤師の新たな役割と 将来展望 初期診療における薬剤師の役 割	玉造 竜郎 田中 道子 岡本 まとか					第23回日本臨 床救急医学会 総会・学術集 会	Aug-20
一般雑誌記事	挿管時の薬剤投与時、どんなことに注意 する?(コラム4)	岡本 まとか 玉造 竜郎	Expert Nurse	36	8	90		Jun-20
一般雑誌記事	生命をささえる薬剤師 救命救急における薬剤師の役割 病態を判断し、治療薬を選択	玉造 竜郎	6年制薬学ガイド2020			6		May-19
学術雑誌論文 (学外)	救急・集中治療領域にかかわる薬剤師の 質的向上を目指した臨床救急医療薬学研 究会の取り組み	今井 徹 菊池 憲和 篠原 高雄 添田 博 玉造 竜郎 中馬 真幸 西澤 健司 岩元 理絵  峯村 純子 渡邉 暁洋		21	6	735		Dec-18
会議発表 (論文・口頭)	高濃度抗菌薬局所投与により治療した耐性緑膿菌による骨・軟部組織感染症の2症 例	玉造 竜郎 田中 道子 吉川 泰司 杉田 栄樹 阿部 和正  岡田 菜津美 関戸 匡恵 縄田 修一 佐々木 忠徳					第31回日本医 療薬学会年会	Oct-21
会議発表 (論文・口頭)	ワルファリンKとST合剤を含む複数の抗菌 薬の併用によりPT-INRが顕著に上昇した1 症例	関戸 匡惠 玉造 竜郎 杉田 栄樹 岡田 菜津美 阿部 和正  縄田 修一 楠本 壮二郎  佐々木 忠徳					第31回日本医 療薬学会年会	Oct-21
会議発表 (論文・口頭)	静脈血栓塞栓症に対して高用量の直接作 用型経口抗凝固薬で治療中に増悪したが ん関連血栓症の一例	岡田菜津美 玉造竜郎 杉田栄樹  関戸匡恵 阿部和正 縄田修一  中村友哉 佐々木忠徳					第4回日本腫 瘍循環器学会 学術集会	Oct-21
学術雑誌論文 (学外)	【ERでの鎮痛と鎮静・非日常へのレジリエントな対応】鎮痛・鎮静における薬剤師の役割	玉造 竜郎	救急医学	41	12	1581		Nov-17

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 講師 氏名 内藤 結花

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	抗菌薬適正使用支援チームによるカルバペネム系薬を対象とした処方後のモニタリングとフィードバックが処方動向に与える影響の検討	長友安弘, 前田真之, 内藤結 花, 服部はるか, 詫間隆博, 二 木芳人, 時松一成	日本化学療法学会雑誌	69	1	1		Jan-21
学術雑誌論文 (学外)	Epidemiology and risk factors for mortality in bloodstream infections: A single-center retrospective study in Japan	Haruka Hattori, Masayuki Maeda, Yasuhiro Nagatomo, Takahiro Takuma, Yoshihito Niki, Yuika Naito, Tadanori Sasaki, Keiko Ishino	American journal of infection control	46	12	e75		Dec-18
学術雑誌論文 (学外)	Negative predictors of clinical response to amitriptyline in Japanese patients with migraine	Yuika Naito, Masakazu Ishii, Masaaki Ishibashi, Hideyo Kasai, Hirotaka Katoh	Neurology and Clinical Neuroscience	6	5	125		Sep-18
会議発表 (論文・口頭)	昭和大学病院ASTにおける広域抗菌薬使用 者ラウンドの現状とその評価	内藤 結花					第68回日本化 学療法学総 日本支部総 「広域抗菌薬 antimicrobialst ewardshipを 推進するため の戦略」	Oct-21

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教(実務) 氏名 詫間 章俊

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ(ESBL)産 生菌感染症における経験的治療の有効性 評価	詫間 章俊 前田 真之 川島 渉 渡辺 裕貴 中村 久子 福 岡 絵美 橋本 裕子 木村 聡  峯村 純子	日本環境感染学会誌	33	4	130		Jul-18

		染谷 梨沙 高田 昂輔 詫間				
学術雑誌論文	急性期人工関節周囲感染症例における抗	章俊 内倉 健 縄田 修一 前				
	MRSA薬の有効性と医療費に関する調査	田 昭彦 川崎 恵吉 木村 聡	日本人工関節学会誌	50	721	Dec-20
( <del>1</del> 7F)	WINDA来の行列圧と区原貝に関する両直	藤巻 良昌 詫間 隆博 峯村				
		純子 佐々木 忠徳				

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 鈴木 康介

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	【目で見る標準治療-GATE frameによる図解がん薬物療法】(Part4)目で見る胃がん薬物療法 in GATE frame 日本胃癌学会 胃癌治療ガイドライン 医師用2018年1月改訂第5版より 胃がん ラムシルマブ+毎週パクリタキセル療法 切除不能進行・再発胃がんもしくは胃食道接合部がん(二次化学療法)	鈴木 康介	Cancer Board Square	5	2	368		Jul-19
図書	2ページで理解する標準薬物治療ファイル 改訂3版							Aug-19
学術雑誌論文 (学外)	Guide】循環器系・泌尿器系・生殖器系の	阿部 祥英 鈴木 康介 嶋村 弘史 佐々木 忠徳	薬局	71	4	1136		Mar-20
図書	消化器疾患最新の治療 2021-2022	鈴木     康介       田中     道子       葛城     怜子       嶋崎     真耶       佐々木     忠徳				357		Feb-21
会議発表 (論文・口頭)	処方の複雑性指標日本語版(MRCI-J)の 開発と高齢者への適用	州本 祥一 佐藤 覧二 松下 綾綾 参嶋村 木 康介 峰佐々木 淳					第5回日本老 年医療薬学会	May-21

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 中山泰葉

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	小児用法を有するOTC医薬品のかぜ薬にお ける添付文書情報に関する調査	遠藤 美緒 冨家 俊弥 中山 泰葉 阿部 久瑠美 若林 仁美  佐々木 忠徳					第44回日本小 児臨床薬理学 会学術集会	Oct-17
学術雑誌論文 (学外)	母乳と薬相談外来開設後の現状報告	中山 泰葉 遠藤 美緒 稲垣 彩美 若林 仁美 星 茜 深井 萌佳 冨家 俊弥 栗原 竜也  神谷 太郎 水野 克己 板橋 家頭夫 佐々木 忠徳	日本母乳哺育学会雑誌	11	2	122		Dec-17
学術雑誌論文 (学外)	小児用法を有するOverThe Counter (OTC) 医薬品のかぜ薬における添付文書情報に関する調査	遠藤 美緒 冨家 俊弥 中山 泰葉 阿部 久瑠美 若林 仁美  水野 克己 佐々木 忠徳	日本小児臨床薬理学会雑誌	31	1	58		Jan-19
会議発表 (論文・口頭)	静注用脂肪乳剤の有効利用を考える:臨 床の場での問題点と対策	千葉 正博 中山 泰葉 若林 仁美 杉沢 諭					第30回日本医 療薬学会年会	Oct-20
学術雑誌論文 (学外)	Predictive Factors of Opioid-Induced Nausea in Cancer Patients.	Ogawa Y, Kurihara T, Sakurai M, Monma M, Nakayama H, Higuchi H, Kogo M, Kiuchi Y.	J Pain Palliat Care Pharmacother.	35	1	7		Mar-21

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 仁尾 祐太

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Developing a Japanese version of the 'scale of attitudes toward pharmacist-physician collaboration'	KITAHARA Kanayuki   UCHIKURA Takeshi   NIO Yuuta   KATSURAGI Satoko   OKAZAKI Keinosuke   NISHI Yoshiko   KAWAGUCHI Takashi   YAMAGUCHI Takuhiro   SASAKI Tadanori	J Interprof Care			1		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	Prophylactic Quinolone Prescription Patterns Related to Febrile Neutropenia in Cancer Chemotherapy Outpatients	NIO Yuuta   MOMO Kenji   SUGITA Hideki   SHIMIZU Hisanori   SASAKI Tadanori	癌と化学療法	47	3	441		Mar-20
学術雑誌論文 (学内)	注射剤処方に対する疑義照会内容の分析 とインシデントとの関連	仁尾 祐太 杉田 栄樹 北原加奈之 清水 久範 柏原 由佳  田中 克巳 佐々木 忠徳	昭和学士会雑誌	79	6	797		Dec-19

昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 太田品子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	무		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	当院における「輸液用フィルター・投与 ルートガイドライン」作成の意義および 有用性評価	二村哲未,阿部誠治,野田秀裕,岡崎敬之介,岡田菜津美,嶋崎真耶,太田品子,城所扶美子,佐々木忠德	Jpn.J Drug Inform.	23	1			Jun-21
図書	消化器疾患最新の治療2019-2020 巻末付録 主な消化器系薬剤一覧表		消化器疾患最新の治療 2019-2020			441		Mar-19
	吸入療法における服薬アドヒアランスに 影響を与える要因と吸入指導の意義	太田品子,杉山恵理花,佐藤均	アレルギーの臨床			51		May-18
学術雑誌論文 (学外)	食物アレルギー患者への投与を避けるべ き医薬品	太田品子,杉山恵理花,佐藤均	アレルギーの臨床			86		Jul-18

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 髙田昂輔

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	무	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	多職種によ〜く伝わる薬学的思考を活か した診療録記載のまとめ方(第3回) 検査 値に関連した副作用評価と医師への提案	高田 昂輔 鈴木 信也	薬事	63	4	776		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	MRSAによる急性期人工関節周囲感染に対する抗MRSA薬の有効性と費用に関する検討		日本人工関節学会誌	50		721		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)		稲垣 彩美 高田 昂輔 梅野 頌子 縄田 修一 藤井 隆成  宮原 義典 石野 幸三 富田 英 峯村 純子 佐々木 忠徳	日本小児臨床薬理学会雑誌	32	1	93		Dec-19

## 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 二村 哲未

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Perilipins: A diversity of intracellular lipid droplet proteins.	ITABE Hiroyuki, YAMAGUCHI Tomohiro, NIMURA Satomi, SASABE Naoko	Lipids Health Dis	16	1	83		Apr-17
会議発表 (論文・口頭)	長期実務実習におけるクリニカルクラークシップ薬学教育プログラムに対する学生評価-昭和大学薬学教育のさらなる充実を目指して-	阿部 誠治、二村 哲末、藤 龍祥、北原 加奈之、宮坂 善之、田中 広紀、藤原 名 久栗 祐治、縄田 修一、栗 竜也、小林 文、滝 伊織 竜島 正教、木内 祐二、加藤 裕久、中村 明弘、佐々木 忠 德					医療薬学 フォーラム 2017・第25回 クリニカル ファーマシー シンポジウム	Jul-17
学術雑誌論文 (学外)	薬剤リンパ球刺激試験を施行した間質性 腎炎の1男子例	二村 哲未, 阿部 祥英, 日比野 聡, 阿部 誠治, 佐々木忠徳		3074				Dec-18
会議発表 (論文・口頭)	アシクロビル脳症疑い例におけるアシクロビルおよび代謝物の血中濃度測定	阿部 和正、光本(貝崎) 明日香、青木 悟、齋藤 友広、杉山 元紀、二村 哲未、上嶋和代、佐々木 忠徳、沼澤 聡					第42回日本中 毒学会総会・ 学術集会	Sep-20
会議発表 (論文・口頭)	トルバプタン増量に伴いワルファリン調 整が不安定化し脳塞栓を発症した慢性腎 臓病を伴った心不全患者の一例	二村 哲未, 北原 加奈之, 上嶋 和代, 望月泰秀, 新家俊郎, 百 賢二, 佐々木 忠徳					日本心不全学会	Oct-20
会議発表 (論文·口頭)	腎障害の薬物療法について後輩から相談 を受けたケース	二村 哲未					日毎年の日本病関で、日本病関で、日本病関で、日本病関で、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	Oct-20

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	かかい木ガリ 1 時代	77 N N N N N N N N N N N N N N N N N N	2011 四川木帽	]				
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 田川菜緒	: ]	•			
会議発表 (論文・口頭)	ロスパスタチンの隔日投与においてスタチン 誘発性筋障害を呈した一例	高橋 伸幸 葛城 怜子 山口 天士 岡本 まとか 守屋 賀奈 絵 百 賢二 田中 広紀 佐々木 忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21
学術雑誌論文 (学外)	Incidence of Ophthalmic Disorders in Patients Treated with the Antineoplastic Agent S-1	MORIYA Kanae SHIMIZU Hisanori HANDA Satoko SASAKI Tadanori SASAKI Yasutsuna TAKAHASHI Haruo NAKAMURA Seigo YOSHIDA Hitoshi KATO Yasuhisa	癌と化学療法	44	6	501		Jun-17
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 守屋 賀奈絵	]				
学術雑誌論 文(学外)	改めて考える大学の附属病院の薬剤師 とは? 人工知能には任せられない薬剤 師のアイデンティティー	安田 礼美 中田 麻里 松崎 あい理 大戸 祐治 田中 克 巳	薬事新報		3067	7		Oct-18
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 松崎あい理					
なし						. ,	> / <del>△</del> □	
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 田中 茜					
学術雑誌論文 (学外)	改めて考える大学の附属病院の薬剤師と は?Missionから考える薬剤師の業務	伊藤 綾花 渡邊 亜矢子 越塚 宏美 屋城 由樹 田中 克巳	薬事新報		3058	13		Aug-18
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第5回 最終回 副作用におけるトレーシ ングレポート事例	越塚 宏美 江畠 麗 前田 絵 里加 田中 克巳 武 由梨 柳 原 桃子 大内 雅之 小松 仁 美 前元 研治	都薬雑誌	43	3	38		Mar-21
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 越塚宏美	]				
学術雑誌論文 (学外)	予防投与量の ST 合剤で SIADH による低 Na 血症が疑われた 1 例	米澤龍,藤宮龍祥,伊藤真理,田 中広紀,原田浩史,渡邊徹	日本病院薬剤師学会雑誌	56	11	1329		Nov-20
学術雑誌論文 (学外)	A Case of Iodoform Toxicity Due to Drug- Induced Acute Kidney Injury After Discontinuation of Iodoform Gauze.	Ryo Yonezawa, Tomiko Sunaga, Jumpei Maruoka, Koichi Kadomatsu, Toru Watanabe.	Am J Ther.	0	0	1		Apr-21
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 米澤 龍	]				
学術雑誌論文 (学外)	Distribution of serum adiponectin isoforms in pediatric patients with steroid-sensitive nephrotic syndrome	Tetsuro Tamai, Kaori Kamijo, Yoshifusa Abe, Satoshi Hibino, Shunsuke Sakurai, Shuichiro Watanabe, Yoshitaka Watanabe, Satomi Nimura, Atsutoshi Shiratori, Takaaki Takayanagi, Tsuneki Watanabe, Yuya Nakano, Hirokazu Ikeda, Kazushige Dobashi, Yasuko Nakano, Katsumi Mizuno, Kazuo Itabashi	Clin Exp Nephrol	25	9	1027		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	当院における「輸液用フィルター・投与ルートガイドライン」 作成の意義および 有用性評価	二村 哲未,阿部 誠治,野田 秀裕, 岡崎 敬之介,岡田 菜津美,嶋﨑 真耶,太田 品子,城所 扶美子, 佐々木 忠徳	医薬品情報学	23	1	1		May-21
学術雑誌論文 (学外)	A Case of Cerebral Infarction During Treatment With Rivaroxaban for Venous Thromboembolism	NIMURA Satomi, OKAZAKI Keinosuke, SUZUKI Norihiro, KUBOTA Yutaro, TSUNODA Takuya, WATANABE Daishi, MIZUMA Keita, ONO Kenjiro, SASAKI Tadanori	Am J Ther					Dec-20

会議発表 (論文・口頭)	ペロスピロン母乳中薬物濃度を測定した 一例報告	田川 菜緒 小川 泰葉 小林麻 美 若林 仁美 田中 祥子 神 谷 太郎 佐々木 忠則					医療薬学	Oct-21
学術雑誌論文 (学外)	バンコマイシンTDM解析ソフトTOWA- TDMとMEEKとの予測性およびベイジアン 収束性の比較評価	関本 司 野中 匠 田島 正教  田川 菜緒 杉山 恵理花 佐藤 均	医薬品情報学	23	1	17		May-21
学術雑誌論 文(学外)	Comparison of adverse events following injection of original or generic docetaxel for the treatment of breast cancer.	TAGAWA Nao SUGIYAMA Erika TAJIMA Masataka SASAKI Yasutsuna NAKAMURA Seigo OKUYAMA Hiromi SHIMIZU Hisanori SATO Vilasinee Hirunpanich SASAKI Tadanori SATO Hitoshi	Cancer Chemother Pharmacol	80	4	841		Oct-17

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 永井 努

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	多変量解析を用いた、心理教育プログラムを受けた統合失調症患者の再入院のリスク因子の検討	中野 裕佳子 杉沢 諭 栗原 竜也 古屋 宏章 永井 努 黒 沢 雅広 常岡 俊昭 稲本 淳 子 岩波 明					第5回日本精 神薬学会総 会・学術集会	Aug-21
会議発表 (論文・口頭)	統合失調症の薬物治療とその薬学的管理 の関連の予備的解析	麻那古 信之 村田 篤信 山本智也 長谷川 尚美 肥田 裕文  井手 健太 永井 努 徳谷 晃 清水 善仁 松本 純弥 三 浦 健一郎 渡邊 衡一郎 稲田 健 奥田 真弘 橋本 亮太					第5回日本精 神薬学会総 会・学術集会	Aug-21
図書	ゆるりとはじめる精神科の1冊目 病気が わかるくすりがわかる	古屋 宏章 永井 努				302		May-21
図書	ゆるりとはじめる精神科の1冊目 病気が わかるくすりがわかる	古屋 宏章 永井 努				121		May-21
学術雑誌論文 (学外)	【じっくり読めてしっかり身につく 精神 科薬物療法ガイド 改訂版】精神科の薬学 的管理クリニカルクエスチョン (Question 4) 処方薬を飲みたがらない患者さんへの 服薬指導とは?	永井 努	調剤と情報	27	2	387		Jan-21
学術雑誌論文(学外)	【じっくり読めてしっかり身につく 精神 科薬物療法ガイド 改訂版】精神科の薬学 的管理クリニカルクエスチョン (Question 5) 処方薬を飲みたがらない患者さんにで きる処方上の工夫とは?	永井 努	調剤と情報	27	2	388		Jan-21
学術雑誌論文 (学外)	Asphyxia risk factors in adult psychiatric wards.	SUGISAWA Satoru   NOZUE Shinji   KURI HARA Tatsuya   KOYA Hiroaki   TSUNEOKA Toshiaki   NAGAI Tsutomu   KURATA Naomi   INAMOTO Atsuko   TAKAHASHI Koji   SASAKI Tadanori	Perspect Psychiatr Care	56	3	720		Jul-20

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 岡田 菜津美

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	静脈血栓塞栓症に対して高用量の直接作 用型経口抗凝固薬で治療中に増悪したが ん関連血栓症の一例	岡田 菜津美 玉造 竜郎 杉田 栄樹 関戸 匡恵 阿部 和正  縄田 修一 中村 友哉 佐々木 忠徳					第4回日本腫 瘍循環器学会 学術集会	Oct-21
学術雑誌論文 (学外)	Feasibility of intracoronary nicorandil for inducing hyperemia on fractional flow reserve measurement: Comparison with intracoronary papaverine.	MATSUMOTO Hidenari  MIKURI M   MASAKI Ryota   TANAKA Hideaki   OGURA Kunihiro   ARAI Taitou   SAKAI Rikuo   OISHI Yosuke   OKADA Natsumi   SHINKE Toshiro	Int J Cardiol	314		1		Sep-20
会議発表 (論文・口頭)	救急初療室における薬剤師業務の現状と 今後の方向性 適切な薬物治療を「迅速 に」実施するための当院における取り組 みと課題	玉造 竜郎 岡田 菜津美 杉田 栄樹 佐々木 忠徳					第21回日本臨 床救急医学会 総会・学術集 会	May-18
学術雑誌論文 (学外)	A Standard Intervention Practice to Promote Appropriate Lamotrigine Therapy by Pharmacists.	SHIMAMURA Hiroshi YAMADA Hiroko OKADA Natsumi UCHIKURA Takeshi TANAKA Katsumi SASAKI Tadanori ITABE Hiroyuki	Biol Pharm Bull	41	4	465		Apr-18

学術雑誌論文 (学外)	健康成人におけるオルメサルタン投与後 の血清カリウム値に関する安全性評価	川島 渉[内倉 健]三邉 武彦  岡田 菜津美 山田 寛子 嶋 村 弘史 肥田 典子 山崎 太 義 内田 直樹 佐々木 忠徳  小林 真一		45	5	729		May-17
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 葛城 怜子					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
図書	消化器疾患最新の治療 2021-2022	鈴木 康介 田中 道子 葛城   怜子 嶋﨑 真耶 佐々木 忠徳				357	7 7 1	Feb-21
図書	消化器疾患最新の治療 2019-2020	鈴木 康介 太田 品子 葛城 怜子 山口 芽衣 佐々木 忠徳				441		Mar-19
学術雑誌論文 (学外)	3stepで考える! それって本当に副作用ですか? この「低ナトリウム血症」はルビプロストンによるものですか?		薬事	61	5	880		Apr-19
学術雑誌論文 (学外)	ロスバスタチンの隔日投与においてスタ チン誘発性筋障害を呈した一例	高橋 伸幸 葛城 怜子 山口 天士 岡本 まとか 守屋 賀奈 絵 百 賢二 田中 広紀 佐々 木 忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 田中 道子	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 戸村和希	1				
-H-IHZ ( )		48.71 2017.	Ku	1		Inn.,	Iwa	
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	わが国における進行腎細胞がん患者に対するスニチニブ対インターフェロンαの費用効果分析	戸村 和希 内藤 由貴 須永 登美子 栗原 竜也 臼田 昌弘  永谷 明子 小川 由美子 秋 山 菜央 佐々木 春明 村田 達教 坂巻 弘之 向後 麻里  佐々木 忠徳	薬学雑誌	138	11	1397		Nov-18
学術雑誌論文 (学内)	カルボプラチンを含む術後補助化学療法 を施行した卵巣がん患者における増悪因 子の検討	内藤 由貴 戸村 和希 須永登美子 永谷 明子 内田 展 田中 広紀 栗屋 真理子 秋山菜央 楠 裕美子 小川 公一 向後 麻里 佐々木 忠徳	昭和学士会雑誌	79	1	35		Feb-19
学術雑誌論文 (学外)	腎機能障害患者におけるバンコマイシン 初期負荷投与の検討	栗屋 真理子 田中 広紀 鈴木 絢子 市川 剛 楠 裕美子 内 田 展 秋山 菜央 戸村 和希  須永 登美子 藤原 久登 也 木 美加子 田中 佐知子 渡邊 徹 池田 裕一 佐々木 忠德	日本病院薬剤師会雑誌	55	2	197		Feb-19
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 江畠 麗					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文(学外)	Effect of Film Coating on Xanthan Gum Solution-induced Delays in the Disintegration and Dissolution of Tablets	EBATA Rei  FUJITA Yoshiaki  NAKAMURA Akihiro  HARADA Tsutomu	医療薬学	45	4	182	7 744	Apr-19
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第5回 最終回 副作用におけるトレーシ ングレポート事例	越塚 宏美 江畠 麗 前田 絵 里加 田中 克巳 武 由梨 柳 原 桃子 大内 雅之 小松 仁 美 前元 研治	都薬雑誌	43	3	38		Mar-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 佐藤真理子	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	SBT/CPZによる白血球減少症を生じた一例	田中 志津子 栗屋 真理子 米澤 龍 田中 広紀 渡邊 徹 佐々木 忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21
学術雑誌論文 (学外)	縦隔気腫を合併した血液透析が奏功した 急性カフェイン中毒の1例	中村 元保 宮本 和幸 光本 (貝崎) 明日香 大野 孝則 粟 屋 真理子 沼澤 聡 林 宗貴		34		13		Dec-20
			•		_	_		

学術雑誌論 文(学内)	A Retrospective Study of Injection Site Pain from Azithromycin Injection in Japanese Patient	TANAKA Hironori   HAYASHI Makoto   AWAYA Mariko   KUSUNOKI Yumiko   TANAKA Nao   TOMURA Kazuki   FUJIHARA Hisato   WATANABE Toru   IKEDA Hirokazu   SASAKI Tadanori		32	3	207	Oct-20
学術雑誌論文 (学外)	意識障害と遷延する高血圧を呈した急性 メラトニン中毒の1例	宮本 和幸 光本(貝崎) 明日香 渡邊 円香 栗屋 真理子 渡邊 徹 佐々木 純 林 宗貴		32	4	386	Dec-19
学術雑誌論文 (学外)	腎機能障害患者におけるパンコマイシン 初期負荷投与の検討	栗屋 真理子 田中 広紀 鈴木 絢子 市川 剛 楠 裕美子 内 田 展 秋山 菜央 戸村 和希  須永 登美子 藤原 久登 並 木 美加子 田中 佐知子 渡邊 徹 池田 裕一 佐々木 忠德	日本病院薬剤師会雑誌	55	2	197	Feb-19
学術雑誌論文 (学内)	カルボブラチンを含む術後補助化学療法 を施行した卵巣がん患者における増悪因 子の検討	内藤 由貴 戸村 和希 須永 登美子 永谷 明子 内田 展  田中 広紀 粟屋 真理子 秋山 菜央 楠 裕美子 小川 公一  向後 麻里 佐々木 忠徳	昭和学士会雑誌	79	1	35	Feb-19

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 稲垣彩美

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻			学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	母乳と薬相談外来開設後の現状報告	中山 泰葉 遠藤 美緒 稲垣 彩美 若林 仁美 星 茜 深井 萌佳 冨家 俊弥 栗原 竜也  神谷 太郎 水野 克己 板橋 家頭夫 佐々木 忠徳	日本母乳哺育学会雑誌	11	2	122	日本母乳哺育学会雑誌	Dec-17
学術雑誌論文 (学外)	がん性疼痛に対してオキシコドン塩酸塩 を使用した妊婦から出生した児に新生児 薬物離脱症候群が出現した1例	徳永 愛美 縄田 修一 横山 和彦 稲垣 彩美 瀬尾 晃平  井川 三緒 村川 哲郎 市倉 大輔 峯村 純子 佐々木 忠徳	Palliat Care Res	15	4	297	日本母乳哺育学会	Nov-21
学術雑誌論文 (学外)	小児における筋弛緩薬の持続投与の現状 調査	稲垣 彩美 高田 昂輔   梅野 頌子   縄田 修一   藤井 隆成   宮原 義典   石野 幸三   富田 英   峯村 純子   佐々木 忠徳	日本小児臨床薬理学会雑誌	32	1	93	日本小児臨床薬理学会	Dec-19

## 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 磯﨑 遥

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
図書	産婦人科感染症マニュアル	磯﨑 遥、大槻 克文				47		Feb-18
学術雑誌論文 (学外)	改めて考える大学の附属病院の薬剤師とは?〜昭和大学江東豊洲病院における地域連携の実際と課題〜	磯崎 遥、喜田 昌記、永田 卓也、柏原 由佳、田中 克巳	週刊薬事新報		3062	13		Sep-18
学術雑誌論文 (学外)	新時代のホルモン療法マニュアル	磯﨑 遥、大槻 克文	産科と婦人科	86	増刊	252		Apr-19
学術雑誌論文 (学外)	周産期の薬 <産科編>	磯崎 遥、前田 絵里加、大槻 克文	周産期医学	50	増刊	87		Dec-20
学術雑誌論文 (学外)	「私の治療」切迫流産・切迫早産	磯﨑 遥、大槻 克文	日本医事新報		5049	40		Jan-21

## 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教(実務) 氏名 木村 祐子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	者に対する医療用麻薬処方への取り組み	徳永 愛美 縄田 修一 日向 美羽 横山 和彦 小貫 道子  脇谷 美由紀 小原 君予 木村 祐子 市村 丈典 市倉 大輔  鈴木 信也 佐々木 忠徳				日本臨床腫瘍 薬学会学術大 会2021	Mar-21
会議発表 (論文・口頭)	連携充実加算への対応とその成果~ト レーシングレポートの活用状況~	縄田 修一 市村 丈典 市倉 大輔 徳永 愛美 木村 祐子  稲垣 彩美 中川 啓子 鈴木 信也 佐々木 忠徳				日本臨床腫瘍 薬学会学術大 会2021	Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	大腸がん患者と向き合う	木村 祐子	神奈川県病院薬剤師会 雑誌			神奈川県病院 薬剤師会	Mar-21

学術雑誌論文 (学内) 当院における新型コロナウイルス感染症 (COVIT-19) に対する薬物療法の現状調				北部医学会総 会紀要	Mar-21	
--	--	--	--	---------------	--------	--

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 楠 裕美子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学内)	A Retrospective Study of Injection Site Pain from Azithromycin Injection in Japanese Patient	TANAKA Hironori, HAYASHI Makoto, AWAYA Mariko, KUSUNOKI Yumiko, TANAKA Nao, TOMURA Kazuki, FUJIHARA Hisato, WATANABE Toru, IKEDA Hirokazu, SASAKI Tadanori	Showa Univ J Med Sci	32	3	207		Oct-22
会議発表 (論文・ロ頭)	高度・中等度腎機能低下患者におけるバ ンコマイシン初期負荷投与の検討	粟屋 真理子 田中 広紀 鈴木 絢子 山内 梨裟 楠 裕美子  秋山(田中) 菜央 戸村 和 希 田中 佐知子 渡邊 徹  佐々木 忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第49回 学術大会	
学術雑誌論文 (学内)	カルボプラチンを含む術後補助化学療法 を施行した卵巣がん患者における増悪因 子の検討	内藤 由貴 戸村 和希 須永 登美子 永谷 明子 内田 展  田中 広紀 栗屋 真理子 秋山 菜央 楠 裕美子 小川 公一  向後 麻里 佐々木 忠徳	昭和学士会雑誌	79	1	35		Feb-22
学術雑誌論文 (学外)	腎機能障害患者におけるバンコマイシン 初期負荷投与の検討	栗屋 真理子 田中 広紀 鈴木 絢子 市川 剛 楠 裕美子 内 田 展 秋山 菜央 戸村 和希  須永 登美子 藤原 久登 並 木 美加子 田中 佐知子 渡邊 徹 池田 裕一 佐々木 忠徳	日本病院薬剤師会雑誌	55	2	197		Feb-22
会議発表 (論文・口頭)	腎機能障害患者におけるバンコマイシン 負荷投与の安全性の検討	栗屋 真理子 田中 広紀 鈴木 絢子 市川 剛 楠 裕美子 戸 村 和希 須永 登美子 藤原 久登 並木 美加子 田中 佐知 子 渡邊 徹 池田 裕一 佐々 木 忠徳					第27回日本医 療薬学会年会	
会議発表 (論文・口頭)	ステロイド投与中の患者に生じた有害事 象への関わり	内田 展 東野 真弓 楠 裕美子 穂積 智美 戸村 和希 須永 登美子 渡邊 徹 佐々木忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第47回 学術大会	
会議発表 (論文・ロ頭)	病棟薬剤師によるVCM投与患者への関わり	楠 裕美子 松井 美月 栗屋 真理子 内田 展 秋山 菜央  中村 彰子 田中 広紀 渡邊 徹 佐々木 忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第47回 学術大会	
会議発表 (論文・口頭)	患者の訴えに傾聴した服薬指導の実践と 服薬アドヒアランス向上への関わり	田中 菜央 楠 裕美子 中村 彰子 内藤 由貴 小川 由美子  戸村 和希 永谷 明子 須永 登美子 田中 広紀 藤原 久登  向後 麻里 佐々木 忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第46回 学術大会	

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 (実務) 氏名 徳永 愛美

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Clinical Pharmacokinetics of Mianserin Suppositories in Healthy Older Japanese Male Adults: A Pilot Study	ICHIKUKRA Daisuke NAWATA Shuichi KOHYAMA Noriko TOKUNAGA Megumi HIDA Noriko YAMAZAKI Taigi TAKENOSHITA Sachiko UCHIDA Naoki MINEMURA Atsuko SASAKI Tadanori	臨床薬理	50	2	23	日本臨床薬理学会	Mar-19
学術雑誌論文 (学外)	がん性疼痛に対してオキシコドン塩酸塩 を使用した妊婦から出生した児に新生児 薬物離脱症候群が出現した1例	徳永 愛美 縄田 修一 横山和彦 稲垣 彩美 瀬尾 晃平 井川 三緒 村川 哲郎 市倉大輔 峯村 純子 佐々木 忠徳	Palliat Care Res	15	4	297	日本緩和医療学会	Nov-21
学術雑誌論文 (学内)	初期・二次救急外来受診患者における内 服抗菌薬使用状況調査	川島 渉 清水 愛美 鷲尾 紗菜 稲垣 彩美 市倉 大輔 縄田 修一 神尾 義人 峯村 純子	第7回北部医学会総会	32	1	93	北部医学会	Mar-17

学識争表	外来患者が疼痛コントロール不良に陥る 要因の解明:質的インタビュー調査(中間報告)	日向 美羽 徳永 愛美 宮崎 貴久子 中山 健夫 縄田 修一			第26回日本緩 和医療学会学 術大会	
会議発表 (論文・口頭)	31-36.0 10 1 2 7 1 2 7 1 7 3 7 2 1 1 2 3 7 2	徳永 愛美 縄田 修一 河本 貴之 松浦 玲 市倉 大輔 鈴 木 信也 佐々木 忠徳			第14回日本緩 和医療薬学会 年会	Jul-21

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 服部 はるか

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	抗菌薬適正使用支援チームによるカルバペネム系薬を対象とした処方後のモニタリングとフィードバックが処方動向に与える影響の検討	長友安弘 前田真之 内藤結花  服部はるか 詫間隆博 二木芳人  時松一成	日本化学療法学会雑誌	69	1	1		Jan-21
学術雑誌論文 (学外)	Epidemiology and risk factors for mortality in bloodstream infections: A single-center retrospective study in Japan.	HATTORI Haruka MAEDA Masayuki NAGATOMO Yasuhiro  TAKUMA Takahiro NIKI Yoshihito NAITO Yuika SASAKI Tadanori ISHINO Keiko	Am J Infect Control	46	12	e75		Dec-18
学術雑誌論文 (学外)	血液培養陽性患者に対する抗菌薬適正使 用支援プログラムに基づく早期介入のア ウトカム評価一後ろ向き準実験的研究—	前田真之 詫間隆博 内藤結花  宇賀神和久 寺田真悠子 小司久 志 関はるか 石野敬子 二木芳 人	日本化学療法学会雑誌	65	5	751		Sep-17

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 (実務) 氏名 関戸 匡恵

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論 文(学外)	Variants of carboxylesterase 1 have no impact on capecitabine pharmacokinetics and toxicity in capecitabine plus oxaliplatin treated-colorectal cancer patients	MATSUMOTO Natsumi KUBOTA Yutaro ISHIDA Hiroo SEKIDO Masae OHKUMA Ryotaro ISHIGURO Tomoyuki HIRASAWA Yuya ARIIZUMI Hirotsugu TSUNODA Takuya IKUSUE Toshikazu KOBAYASHI Kouji HISAMATSU Atsushi TOSHIMA Hirokazu SHIMADA Ken FUJITA Ken-ichi	Cancer Chemother Pharmacol	85	6	1119		Jun-20
学術雑誌論 文(学外)	Rabeprazole intake does not affect systemic exposure to capecitabine and its metabolites, 5'-deoxy-5-fluorocytidine, 5'-deoxy-5-fluorouridine, and 5-fluorouracil	SEKIDO Masae   FUJITA Ken- ichi   KUBOTA Yutaro   ISHIDA Hiroo   TAKAHASHI Takehiro   OHKUMA Ryotaro   TSUNODA Takuya   ISHIKAWA Fumihiro   SHIBANUMA Motoko   SASAKI Yasutsuna	Cancer Chemother Pharmacol	83	6	1127		Jun-19

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 中野 裕佳子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	モ	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	多変量解析を用いた、心理教育プログラムを受けた統合失調症患者の再入院のリスク因子の検討	中野 裕佳子 杉沢 諭 栗原 竜也 古屋 宏章 永井 努 黒 沢 雅広 常岡 俊昭 稲本 淳 子 岩波 明					第5回日本精 神薬学会総 会・学術集会	Aug-21
会議発表 (論文・ロ頭)	精神医療実習(病院実務実習)の構 築一精神疾患患者の実際を学び対応を 取得する必須科目一	栗原 竜也 永井 努 黒沢雅広 唐沢 浩二 福村 基徳 田島 正教 向後 麻里 中野裕佳子 佐野 智香 八木 孝仁 池田 勝之 真田 建史 高塩 理 岩波 明 中村 明弘					第5回日本薬 学教育未薬大会「未薬学教育 える薬学を表える薬学医のカリー の絆がレンシー 実現する一	Sep-20

会議発表 (論文・口頭)	成人注意欠陥・多動症(ADHD)に対する アトモキセチンの有効性関連因子の探 索	永井 努 栗原 竜也 宇賀神 祐希 岡島 千絵 中野 裕佳 子 古屋 宏章 杉沢 諭 中山 泰葉 三邉 武彦 太田 晴久  岸本 桂子 向後 麻里 内田 直樹 岩波 明 佐々木 忠徳					第4世会上的美国文学会员的特别的一个专家的,并且的美国的大学的一个专家的,并将在一个大学的一个大学的,并将的一个大学的,并将,并将一个大学的,并不要的一个大学,并不要的一个大学,并不要的一个大学,并不要	Aug-20
会議発表 (論文・口頭)	カンナビジオールの非線形動態とCYP3A を介した薬物間相互作用に関する研究	永尾 美智瑠 中野 裕佳子  田島 正教 杉山 恵理花 稲 田 睦 佐藤 均					日本薬学会 第140年会	Mar-20
会議発表 (論文・ロ頭)	薬物間相互作用の疑いに対する介入で 良好な転帰を得た統合失調症の1例	柏渕 弓佳 阿部 和正 山田 真理 真田 建史 古屋 宏章  中野 裕佳子 永井 努 栗原 竜也 佐々木 忠徳					日本病院薬 剤師会関東 ブロック第49 回学術大会	Aug-19
学術雑誌論 文(学外)	Development of a Novel Nanoemulsion Formulation to Improve Intestinal Absorption of Cannabidiol	NAKANO Yukako   TAJIMA Masataka   杉山 恵理花   SATO Vilasinee Hirunpanich   SATO Hitoshi	Med Cannabis Cannabinoids	2		35		Apr-19
学術雑誌論 文(学外)	Nonlinear Disposition and Metabolic Interactions of Cannabidiol Through CYP3A Inhibition <i>In Vivo</i> in Rats.	NAGAO Michiru   NAKANO Yukako   TAJIMA Masataka   SUGIYAMA Erika   SATO VH   INADA M   SATO Hitoshi	Cannabis Cannabinoid Res	5	4	318		Dec-20

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 久知良礼美

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	医療ビッグデータ解析を組み込んだビス フォスフォネート製剤のフォーミュラリ 策定	百 賢二 石下 宏征 北原 加 奈之 久知良 礼美 嶋村 弘史  田中 広紀 松尾 香 柳原 麻里 新山 加菜美 小平 紀久  佐々木 忠徳					医療薬学 フォーラム 2021 第29回 クリニカル ファーマシー シンポジウム	Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第4回 抗がん剤治療に関わるトレーシン グレポート事例		都薬雑誌	43	2	46		Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	Doxorubicin- and Cyclophosphamide-Based Chemotherapy for Pregnant Women With Stage IIIa Breast Cancer.	KUCHIRA Remi  MOMO Kenji  ISOZAKI Haruka   KOSHIZUKA Hiromi  KIDA Masaki  WATANABE Ayako  NAGASHIMA Chie  KASHIWABARA Yuka   TANAKA Katsumi  SHIMADA Ken  OTSUKI Katsufumi  YOSHIDA Miwa   SASAKI Tadanori	Am J Ther	29	1	e120		Jan-22
学術雑誌論文 (学外)	改めて考える大学の附属病院の薬剤師とは? 人工知能には任せられない薬剤師のアイデンティティー	安田 礼美 中田 麻里 松崎 あい理 大戸 祐治 田中 克巳	薬事新報		3067	7		Oct-18
学術雑誌論文 (学内)	終末期医療における自己決定と医療倫理 教育に関する課題の検討?安楽死・尊厳死 に関する医学生・文系学生の意識差をも とに?	岩田 浩子 佐藤 啓造 米山 裕子 根本 紀子 藤城 雅也  足立 博 李 暁鵬 松山 高明  栗原 竜也 安田 礼美 浅見 昇吾 米山 啓一郎	昭和学士会雑誌	78	2	156		Apr-18

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 山寺志保

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	モ	 学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	ニボルマブによる腎細胞がん治療におい て遅発性の副腎機能障害を発症した症例	島本 一志 坂井 美穂 山寺 志保 高田 恵理子 米澤 龍  須永 登美子				日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21
会議発表 (論文・口頭)	抗TLR-4抗体処置下でのLinagliptinの抗炎症 作用	山寺 志保、中村 裕也、稲垣 昌博、稲垣 貴恵、齋藤 拓 史、佐藤 直樹、小口 達敬、 三澤 英央、辻 勇弥、辻 ま ゆみ、大澤 勲、後藤 博道、 木内 祐二				第66回日本透 析医学会学術 集会・総会	Jun-21

学術雑誌論文 (学外)	Linagliptin Inhibits Lipopoly saccharide-Induced Inflammation Concentration-Dependently And -Independently	SATO Naoki   NAKAMURA Yuya   YAMADERA Shiho   INAGAKI Masahiro   KENMOTSU Sachiyo   SAITO HIROSHI   OGUCHI Tatsunori   TSUJI Mayumi   CHOKKI Hirokazu   OHSAWA Isao   GOTOH Hiromichi   IWAI Shinichi   KIUCHI Yuji	J Inflamm Res	12		285	Oct-19
学術雑誌論文 (学外)	Linagiptin inhibits lipopolysaccharide-induced inflammation in human U937 monocytes	YAMADERA Shiho  NAKAMURA Yuya INAGAKI Masahiro  KENMOTSU Sachiyo  NOHARA Tetsuhito  SATO Naoki OGUCHI Tatsunori TSUJI Mayumi  OHSAWA Isao  GOTOH Hiromichi  GOTO Yoshikazu  YURA Akihiko  KIUCHI Yuji  IWAI Shinichi	Inflamm Regen	38		13	Aug-18
学術雑誌論文 (学外)	Linagliptin inhibits lipopolysaccharide-induced inflammation in human U937 monocytes.	YAMADERA Shiho   NAKAMURA Yuya   INAGAKI Masahiro   KENMOTSU Sachiyo   NOHARA Tetsuhito   SATO Naoki   OGUCHI Tatsunori   TSUII Mayumi   OHSAWA Isao   GOTOH Hiromichi   GOTO Yoshikazu   YURA Akihiko   KIUCHI Yuji   IWAI Shinichi	Inflamm Regen	38		13	Aug-18
学術雑誌論文(学外)	Vitamin E-Coated Dialyzer Inhibits Oxidative Stress	YAMADERA Shiho  NAKAMURA Yuya  INAGAKI Masahiro  OHSAWA Isao  GOTOH Hiromichi  GOTO Yoshikazu  SATO Naoki  OGUCHI Tatsunori  GOMI Yurika  TSUJI Mayumi  KIUCHI Yuji  IWAI Shinichi	Blood Purif	44	4	288	Oct-17
学術雑誌論文 (学外)	Significance of Cu/Zn-superoxide dismutase levels in hemodialysis patients: A mini review	NAKAMURA Yuya   INAGAKI Masahiro   KENMOTSU Sachiyo   YAMADERA Shiho   OHSAWA Isao   GOTOH Hiromichi   GOTO Yoshikazu   SATO Naoki   OGUCHI Tatsunori   TSUJI Mayumi   KIUCHI Yuji	Mod Res Inflamm	6	2	9	May-17

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 田中菜央

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	エドキサバン長期投与後に薬剤性間質性 肺炎を認めた1例	高田 恵理子 北原 加奈之  田中 菜央 楠 裕美子 安藤 睦実 井上 大輔 鹿間 裕介  須永 登美子					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	
学術雑誌論文 (学内)	A Retrospective Study of Injection Site Pain from Azithromycin Injection in Japanese Patient	TANAKA Hironori  HAYASHI Makoto  AWAYA Mariko  KUSUNOKI Yumiko  TANAKA Nao  TOMURA Kazuki  FUJIHARA Hisato  WATANABE Toru  I KEDA Hirokazu  SASAKI Tadanori	Showa Univ Med Sci	32	3	207		Oct-20

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 嶋﨑 真耶

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	医療ビッグデータを用いた働き盛りの勤務者を対象としたベンゾジアゼピン系薬剤の長期使用に関する実態調査	嶋﨑 真耶、百 賢二、中谷 香織、佐々木忠徳				医療薬学 フォーラム 2021 第29回クリニ カファーマ シーシンポジ ウム	Jul-21
図書	消化器疾患最新の治療 2021-2022	鈴木 康介 田中 道子 葛城 怜子 嶋﨑 真耶 佐々木 忠徳			357		Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	A novel method to quantitatively evaluate slipperiness and frictional forces of solid oral dosage forms and to correlate these parameters with ease of swallowing	SHIMASAKI Maya   村山 信浩   藤田 吉明   中村 明弘   原田 努	J Drug Deliv Sci Technol	53			Oct-19
会議発表 (論文・口頭)	製剤の滑りやすさの定量的評価	嶋﨑 真耶、村山 信浩、藤田 吉明、原田 努、中村 明弘				第 35 回製剤 と粒子設計シ ンポジウム	Oct-18

会議発表 (論文・口頭)	製剤の飲み込み易さのin vitro 評価	嶋﨑 真耶、村山 信浩、藤田 吉明、原田 努、中村 明弘			製剤機械技術 学会第28回大 会	Oct-18
会議発表 (論文・口頭)	水が製剤表面の滑りやすさに与える影響	嶋﨑 真耶 村山 信浩 藤田 吉明 原田 努 中村 明弘			日本薬学会第 138回年会	Mar-18

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 船越晴喜

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Liver Injury by the Traditional Chinese Medicine Hanshirento, Zenshikunshito, and Ninjin'yoeito in a Patient with Lung Cancer: Probable Causality Assessed by the Updated Roussel Uclaf Causality Assessment Method.	FUNAKOSHI Haruki MOMO Kenji KASHIMA Ayaka IDA Hitomi MIYATA Yoshito SAGARA Hironori SASAKI Tadanori	Integrative Cancer Therapies	20		1		Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	β2 - adrenoceptor agonist inhalation induced paroxysmal atrial fibrillation and tachycardia in a patient with severe bronchial asthma	FUNAKOSHI Haruki MOMO Kenji OKAZAKI Keinosuke EBATO Takaya YAMAMOTO Shigenori UNO Tomoki OHTA Shin SAGARA Hironori SASAKI Tadanori	British Journal of Clinical Pharmacology			3375		Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	Agranulocytosis During Treatment With Sulfamethoxazole-Trimethoprim and a Proton Pump Inhibitor	FUNAKOSHI Haruki MOMO Kenji UCHIKURA Takeshi ARIIZUMI Hirotsugu HAMADA Kazuyuki TSUNODA Takuya SASAKI Tadanori	American Journal of Therapeutics					Nov-19
図書	ナースが知っておくがん治療:治療とケア の成り行き"&薬の最新知識これだけガイ ド"	菅原 嘉惠 船越 晴喜 岡﨑 敬之介	学研メディカル秀潤社			176		Jul-19
図書	病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法 II 精神・脳神経系疾患/消化器疾患 改訂第2版	船越     晴喜       鈴木     康介       竹内     義明       峯村     純子	南江堂			100		Mar-18

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 (実務) 氏名 市村 丈典

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Effectiveness of corticosteroids on immune checkpoint inhibitor-induced interstitial pneumonia among patients with a history of interstitial pneumonia: A case series	ICHIMURA Takenori HINATA Miwa ICHIKURA Daisuke SUZUKI Shinya	SAGE Open Med Case Rep	9		2050313 X211031 313		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	多職種によ~く伝わる薬学的思考を活か した 診療録記載のまとめ方(第5回) 患 者の身体所見に基づく副作用評価と医師 への提案(その1)	市村 丈典 鈴木 信也 佐村 優	薬事	63	6	1136		May-21
図書	医療薬学・臨床薬学(スタンダード薬学シ リーズII:9. 薬学演習:1)	市村 丈典				179		Oct-20
学術雑誌論文 (学外)	少量補液負荷の胆道がんGemcitabine+ Cisplatin 療法の忍容性評価	市村 丈典 縄田 修一 市倉 大輔 村上 郁 臼田 昌弘 川 島 渉 峯村 純子 佐々木 忠 徳	薬学雑誌	140	7	929		Jul-20

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 喜田昌記

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	무		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	緩和薬物療法認定薬剤師 緩和薬物療法 認定薬剤師に期待されるもの	柏原 由佳 大戸 祐治 喜田昌記	薬事新報		3211	764		Ju I – 21
学術雑誌論文 (学外)	【Dr.ツマリトリといっしょに学ぶ排便コントロール 日本一たのしいがんの便秘まるごとナビ】こんなお薬をつかいます便秘につかう薬剤とは?	喜田 昌記	YORi-SOUがんナーシン グ	11	3	224		Jun-21
会議発表 (論文・口頭)	発足後1年間の緩和ケアチーム介入の実態 と課題	柏原 由佳 小城原 傑 笈沼智子 喜田 昌記 高野 清美 嶋田 顕 田中 克巳 佐々木 忠徳					第6回日本が んサポーティ ブケア学会	May-21
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第3回 服薬方法やアドヒアランスに関す るトレーシングレポート事例	喜田 昌記 米澤 夏里 伊波 樹 田中 克巳 菊池 麻子 大 内 雅之	都薬雑誌	43	1	52		Jan-21

学術雑誌論文 (学外)	【がんサバイバーの痛みを考える】薬物療法 抗うつ薬	喜田	昌記	ペインクリニック	40	別冊秋	\$370	0ct-19
図書	精神・脳神経系疾患/消化器疾患 改訂第2版 (薬剤師のための疾患別薬物療法:病態を理解して組み立てる:2)	喜田敬義	昌記 柏原 由佳 伊藤				111	Mar-18

昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 (実務) 氏名 日向 美羽

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Evaluation of rapid drug safety communication materials for patients in Japan.	YAGUCHI-SAITO Akiko YAMAMOTO Ken SENGOKU Tami SUKA Machi SATO Tsugumichi HINATA Miwa NAKAMURA Toshiaki NAKAYAMA Takeo YAMAMOTO Michiko	Drug Discov Ther	15	2	101		May-21
学術雑誌論文 (学外)	Mindset modification of community pharmacists in a collaborative relationship between a major hospital and neighboring community pharmacies: a qualitative study.	HINATA Miwa MIYAZAKI K OKADA H NAKAYAMA T	BMC Health Serv Res	19	1	487		Jul-19
学術雑誌論文 (学外)	Trends in descriptions of palliative care in the cancer clinical practice guidelines before and after enactment of the Cancer Control Act (2007): content analysis	HINATA Miwa MIYAZAKI K KANAZAWA N KITO K KIYOTO S KONDA M KURIYAMA A MORI H NAKAOKA S OKUMURA A TOKUMASU H NAKAYAMA T	BMC Palliat Care	18	1	5		Jan-19
学術雑誌論文 (学内)	Comparison of User Impressions of Oral Transmucosal Fentanyl Placebo Formulations by Medical Staff	WADA Noriko   KASHIWABARA Yuka   HIGUCHI Hitomi   HINATA Miwa   SASAKI Tadanori   KATO Yasuhisa	Showa Univ J Med Sci	30	1	53		Mar-18
会議発表 (論文・口頭)	外来患者が疼痛コントロール不良に陥る 要因の解明:質的インタビュー調査(中間報告)	日向 美羽 徳永 愛美 宮崎 貴久子 中山 健夫 縄田 修 一					第26回日本 緩和医療学 会学術大会	Jun-21
会議発表 (論文・口頭)	医療連携におけるPBPMを応用した外来 患者に対する医療用麻薬処方への取り 組み〜STAS-Jによる共通評価の試み〜	德永 愛美 縄田 修一 日向 美羽 横山 和彦 小貫 道子  脇谷 美由紀 小原 君予 木 村 祐子 市村 丈典 市倉 大輔 鈴木 信也 佐々木 忠 徳					日本臨床腫 瘍薬学会学 術大会2021	Mar-21
学術雑誌論文 (学外)	Effectiveness of corticosteroids on immune checkpoint inhibitor-induced interstitial pneumonia among patients with a history of interstitial pneumonia: A case series	ICHIMURA Takenori   HINATA Miwa   ICHIKURA Daisuke   SUZUKI Shinya	SAGE Open Med Case Rep	9		205031 3X2110 31313		Jul-21

### 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 高田恵理子

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	オシメルチニブによる多形紅斑重症型が 生じた非小細胞肺癌患者		日本臨床腫瘍薬学会 雑誌	18		1-7		Jan-21
会議発表 (論文・口頭)	エドキサバン長期投与後に薬剤性間質性 肺炎を認めた1例	高田恵理子、北原加奈之、田中 菜央、楠裕美子、安藤睦実、井 上大輔、鹿間裕介、須永登美子					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21

# 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 松井美月

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学会)	非弁膜症性心房細動患者における直接経口抗凝固薬投与後の出血に関連する危険 因子と安全性プロファイルの検討	中村 彰子、須永 登美子、藤原 久登、松井 美月、東野 真弓、宮本 渚、稲本 真弓、 江波戸 美緒、鈴木 洋、向後 麻里、渡邊 徹、佐々木 忠徳	神奈川県病院 薬剤師会雑誌	51	2	2		Jul-19

	_			_				-
会議発表 (論文・口頭)	ホジキンリンパ腫に対するABVD療法によ り高トリグリセリド血症を生じた一例	米澤 龍、島本 一志、蒲澤 宣幸、佐野 瑞希、田中 志津 子、松井 美月、原田 浩史、 須永 登美子					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21
叨和士尚	<b>产吃茶到兴=#</b> 应	DM 47 D4 1/4	r a 扩柱组现件	ī				
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 柘植縁理佳	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Severe Drowsiness with Fever Induced by Transdermal Fentanyl Administration	OTO Yuji MOMO Kenji NAGATA Takuya TSUGE Erika KOBAYASHI Kouji SHIMADA Ken TANAKA Katsumi SASAKI Tadanori	J Palliat Med	23	8	1006		Aug-20
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 染谷 梨沙					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文(学外)	急性期人工関節周囲感染症例における抗 MRSA薬の有効性と医療費に関する調査	集谷 梨沙 高田 昂輔 詫間 章俊 内倉 健 縄田 修一 前 田 昭彦 川崎 恵吉 木村 聡  藤巻 良昌 詫間 隆博 峯村 純子 佐々木 忠徳	日本人工関節学会	50		721	日本人工関節学会	Dec-20
学術雑誌論文 (学内)	MRSAによる急性期人工関節周囲感染に対する抗MRSA薬の有効性と費用に関する検討	染谷 梨沙 高田 昂輔 詫間 章俊 内倉 健 縄田 修一 前 田 昭彦 川崎 恵吉 木村 聡  峯村 純子	北部医学会総会紀要			126	北部医学会	Mar-19
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 伊藤綾花					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文(学外)	フェノバルビタールの剤形変更により血 中フェノバルビタール濃度が著しく変動 した1例	伊藤 綾花 渡邊 亜矢子 阿部 久瑠美 中田 麻里 永田 卓也  柏原 由佳 花岡 健太朗 水 野 克己 田中 克巳 佐々木 忠徳	日本小児臨床薬理学会雑誌	32		120		Aug-19
学術雑誌論文 (学外)	改めて考える大学の附属病院の薬剤師と は?Missionから考える薬剤師の業務	伊藤 綾花 渡邊 亜矢子 越塚 宏美 屋城 由樹 田中 克巳	薬事新報		3058	13		Aug-18
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 中田 麻里					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	改めて考える大学の附属病院の薬剤師とは? 人工知能には任せられない薬剤師のアイデンティティー	安田 礼美 中田 麻里 松崎 あい理 大戸 祐治 田中 克巳	薬事新報		3067	7		Oct-18
学術雑誌論文 (学外)	フェノバルビタールの剤形変更により血 中フェノバルビタール濃度が著しく変動 した1例	伊藤 綾花 渡邊 亜矢子 阿部 久瑠美 中田 麻里 永田 卓也  柏原 由佳 花岡 健太朗 水 野 克己 田中 克巳 佐々木 忠徳	日本小児臨床薬理学会雑誌	32		120		Aug-19
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 山口 天士	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Factors predicting addition of disease- modifying antirheumatic drugs after initial methotrexate monotherapy in patients with rheumatoid arthritis.	YAMAGUCHI Takashi KOHYAMA Noriko TAKENAKA Miki OKADA Takahiro KURIHARA Tatsuya SAKURAI Kosuke MIWA Yusuke KOGO Mari	Clin Rheumatol	40	7	2657		Jul-21
学術雑誌論文 (学外)	Scoring Model to Predict a Low Disease Activity in Elderly Rheumatoid Arthritis Patients Initially Treated with Biological Disease-modifying Antirheumatic Drugs	OKADA Takahiro  KOHYAMA Noriko  TAKENAKA Miki  YAMAGUCHI Takashi  KURIHARA Tatsuya  SAKURAI Kosuke  MIWA Yusuke  KOGO Mari	Intern Med	60	12	1827		Jun-21
会議発表 (論文・口頭)	ロスパスタチンの隔日投与においてスタ チン誘発性筋障害を呈した一例	高橋 伸幸 葛城 怜子 山口 天士 岡本 まとか 守屋 賀奈 絵 百 賢二 田中 広紀 佐々 木 忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21

		ı	T
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 山口 芽衣

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	慢性心不全患者への緩和ケアチーム薬剤 師の介入と役割	和田 紀子 山口 芽衣 西木戸修 高橋 彩子 鈴木 洋久 我 妻 志保 山尾 尚子 岡本 健 一郎 新家 修郎 佐々木 忠徳					第14回日本緩 和医療薬学会	May-21
	カペシタビン服用患者における手足症候 群予防対策の実態調査	山口 芽衣 杉田 栄樹 齋藤 拓史 清水 久範 佐々木 忠徳					第14回日本緩 和医療薬学会	May-21
会議発表 (論文・口頭)	フルオロウラシルの血管炎に対する疼痛 対策に関与した症例	中嶋 宏太 船越 晴喜 山口芽衣					第10回日本薬 剤師レジデン トフォーラム	Mar-21
図書	薬局で役立つ経口抗がん薬はじめの一歩	山口 芽衣 清水 久範				54		Apr-20
その他	がん薬物療法の患者安全管理に向けた 知っておきたい共通認識 第4回 手足症 候群 -患者さんの状態を適切に評価する ために-	原山 眞理子 村田 勇人 山口芽衣	都薬雑誌	41	6	29		Jun-19
図書	消化器疾患最新の治療 2019-2020	鈴木 康介 太田 品子 葛城 怜子 山口 芽衣 佐々木 忠徳				441		Mar-19

### 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 中谷香織

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻			学会・シンポ ジウム名	刊行年月
一般雑誌記事	第1章 キーワードでおさらい!薬物動態 のキソ6~8		調剤と情報2021年7月増 刊号「ニガテさん」の ための薬物動態	27	10	2		Jul-21
会議発表 (論文・口頭)	医療ビッグデータを用いたがん患者の発 熱性好中球減少症に伴う入院に及ぼすペ グフィルグラスチム上市の影響	中谷香織、百賢二、嶋崎真耶、 佐々木忠徳					第29回 クリ ニカルファー マシーシンポ ジウム	
会議発表 (論文・口頭)	医療ビッグデータを用いた働き盛りの勤 務者を対象としたベンゾジアゼピン系薬 剤の長期使用に関する実態調査	嶋崎真耶、百賢二、桐生嘉浩、 中谷香織、佐々木 忠徳					第29回 クリ ニカルファー マシーシンポ ジウム	

## 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 (実務) 氏名 古屋宏章

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	多変量解析を用いた、心理教育プログラムを受けた統合失調症患者の再入院のリスク因子の検討	中野 裕佳子 杉沢 諭 栗原 竜也 古屋 宏章 永井 努 黒 沢 雅広 常岡 俊昭 稲本 淳 子 岩波 明					第5回日本精 神薬学会総 会・学術集会	Aug-21
会議発表 (論文・口頭)		古屋 宏章 倉田 なおみ 石野 敬子 岸本 真					第36回日本臨 床栄養代謝学 会学術集会 (JSPEN2021)	Jul-21
会議発表 (論文・ロ頭)	新規誤接続防止コネクタ(ISO80365-3) における栄養チューブ接合部の洗浄方法 に関する検討	古屋 宏章 倉田 なおみ 石野 敬子 岸本 真					第5回日本老 年薬学会学術 大会	May-21
図書	ゆるりとはじめる精神科の1冊目 病気が わかるくすりがわかる	古屋 宏章 永井 努				302		May-21
図書	ゆるりとはじめる精神科の1冊目 病気が わかるくすりがわかる	古屋 宏章 永井 努				121		May-21
学術雑誌論文 (学外)	新規格経管栄養器具(ISO 80369-3)における 細菌汚染の経時的変化の検証	古屋 宏章 石野 敬子 熊木 良太 岸本 桂子 倉田 なおみ	学会誌JSPEN	2	5	316		Nov-20

## 昭和大学 病院薬剤学講座 職名 助教 氏名 永田 卓也

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号		学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	フェノバルビタールの剤形変更により血 中フェノバルビタール濃度が著しく変動 した1例	柏佰 由佳 花岡 健大朗 水		32		120		Aug-19

			1	_		•		
学術雑誌論文 (学外)	改めて考える大学の附属病院の薬剤師とは?〜昭和大学江東豊洲病院における地域連携の実際と課題〜	磯? 遥 喜田 昌記 永田 卓 也 柏原 由佳 田中 克巳	薬事新報		3062	13		Sep-18
学術雑誌論文 (学外)	Severe Drowsiness with Fever Induced by Transdermal Fentanyl Administration	OTO Yuji MOMO Kenji NAGATA Takuya TSUGE Erika KOBAYASHI Kouji SHIMADA Ken TANAKA Katsumi SASAKI Tadanori	J Palliat Med	23	8	1006		Aug-20
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 阿部和正	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Comparative study between active and passive exposure of methamphetamine vapor in mice.	K. Abe, A. Kaizaki-Mitsumoto, S. Numazawa	Forensic Toxicology	39	1	39, 394– 404		Apr-21
会議発表 (論文・口頭)	覚せい剤炙り使用と受動曝露を識別するための基礎的検討.	阿部和正,光本(貝崎)明日香,沼澤 聡					日本法中毒 学会第 39 年 会	Jun-20
会議発表 (論文・口頭)	アシクロビル脳症疑い例におけるアシクロビルおよび代謝物の血中濃度測定	阿部和正,光本(貝崎)明日香,青木悟,斉藤友広,杉山元紀,二村哲未,上嶋和代,佐々木忠則,沼澤 聡					第 42 回日本 中毒学会総 会・学術集会	Sep-20
会議発表 (論文・口頭)	エチレングリコール中毒患者にエタノー ル濃度96%のアルコール飲料を治療に用 いた一例	阿部和正,杉田 栄樹, 玉造 竜郎,関戸 匡惠,八木 正晴佐々木 忠徳					第3回J's-CAT 学術集会	Sep-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (実務)	氏名 石井 俊一	]				
業績項目	タイトル・書名 著者 雑誌名 巻 号		開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月			
学術雑誌論文 (学外)	Reactive sulfur species inhibit the migration of PDGF-treated vascular smooth muscle cells by blocking the reactive oxygen species-regulated Akt signaling pathway.	he migration of muscle cells by Takashil FIJIMORI Free Radic Res 55 2 186			Feb-21			
会議発表 (論文・口頭)	血小板由来増殖因子による血管平滑筋細 胞遊走におけるサルフェンイオウの役割	芦野 隆 石井 俊一 沼澤 聡					第48回日本毒 性学会学術年 会	Jul-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 伊波樹	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第3回 服薬方法やアドヒアランスに関す るトレーシングレポート事例	喜田 昌記 米澤 夏里 伊波 樹 田中 克巳 菊池 麻子 大 内 雅之	都薬雑誌	43	1	52		Jan-21
会議発表 (論文・口頭)	小児急性気道感染症における抗菌薬の使 用実態調査	伊藤 綾花 阿部 久瑠美 渡邊 亜矢子 江畠 麗 伊波 樹 越 塚 宏美 柏原 由佳 田中 克 巳 佐々木 忠徳					第30回日本医療薬学会年会	Oct-20
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 岡田貴裕	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Scoring Model to Predict a Low Disease Activity in Elderly Rheumatoid Arthritis Patients Initially Treated with Biological Disease-modifying Antirheumatic Drugs	OKADA Takahiro KOHYAMA Noriko Takenaka Miki YAMAGUCHI Takashi KURIHARA Tatsuya SAKURAI Kosuke MIWA Yusuke KOGO Mari	Intern Med	60	12	1827		Jun-21
学術雑誌論文 (学外)	Factors predicting addition of disease- modifying antirheumatic drugs after initial methotrexate monotherapy in patients with rheumatoid arthritis.	YAMAGUCHI Takashi  KOHYAMA Noriko  Takenaka Miki  OKADA Takahiro  KURIHARA Tatsuya  SAKURAI Kosuke  MIWA Yusuke  KOGO Mari	Clin Rheumatol	40	7	2657		Jul-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 岡本 まとか	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表	ロスパスタチンの隔日投与においてスタ チン誘発性筋障害を呈した一例	高橋 伸幸 葛城 怜子 山口 天士 岡本 まとか 守屋 賀奈 絵 百 賢二 田中 広紀 佐々					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回	Aug-21

会議発表 (論文・口頭)	当院における経口第3世代セファロスポリン系抗菌薬の処方状況	岡本 まとか 田中 広紀 時松 一成 佐々木 忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21
その他	新時代の幕開け! 薬剤師の新たな役割と 将来展望 初期診療における薬剤師の役 割	玉造 竜郎 田中 道子 岡本 まとか					第23回日本臨 床救急医学会 総会・学術集 会	Aug-20
一般雑誌記事	挿管時の薬剤投与時、どんなことに注意 する? (コラム4)	岡本 まとか 玉造 竜郎	Expert Nurse	36	8	90		Jun-20
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 髙橋 伸幸	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	ロスパスタチンの隔日投与においてスタ チン誘発性筋障害を呈した一例	高橋 伸幸 葛城 怜子 山口 天士 岡本 まとか 守屋 賀奈 絵 百 賢二 田中 広紀 佐々 木 忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第51回 学術大会	Aug-21
会議発表 (論文・ロ頭)	原薬粉体物性がアスピリンミニタブレットの品質に及ぼす影響	芹澤 風香 野田 秀裕 高橋 伸幸 鈴木 奈緒 藤田 吉明  中村 明弘 原田 努					日本薬学会第 141年会	Mar-21
会議発表 (論文・ロ頭)	とろみ剤による錠剤の溶出遅延に対する コーティング剤の効果	加藤 七菜 高橋 伸幸 藤田 吉明 原田 努 中村 明弘					日本薬剤学会 第35年会	May-20
学術雑誌論文 (学外)	Effect of xanthan gum-based food thickeners on the dissolution profile of fluoroquinolones oral formulations	TAKAHASHI Nobuyuki, FUJITA Yoshiaki, TAKAHASHI Nanako, NAKAMURA Akihiro, HARADA Tsutomu	J Pharm Health Care Sci	6	2	25		Nov-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 古田 康之	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	肺血栓塞栓症(Pulmonary Thromboembolism:PE)の予知予測にはD- dimer(DD)とThrombin-antithrombin complex (TAT)の併用が有用である一血液サンプリ ングによる肺血栓塞栓症の予知一	小林洋一, 古田康之, 二瓶友美, 德田幸子, 松井泰樹, 越智明憲, 猪口孝一郎, 新家俊郎, 內田英二	心臓	53	5	449		Aug-21
学術雑誌論文 (学外)	「軽微なインシデント」への介入ポイントと実例	古田康之	隔月刊病院安全教育					Aug-21
会議発表 (論文・口頭)	外来診療からの緊急入院におけるRRS起動 基準を用いた重症病床入室検討基準 チェックシートの有用性	古田康之,二瓶友美,增島絵里子,徳田幸子,小林洋一					第7回日本医 療安全学会学 術総会	May-21
会議発表 (論文・口頭)	失神の予知予測は、院内の転倒・転落を 減少させる可能性がある	古田康之,髙橋笑美子,戸田桂 子,徳田幸子,小林洋一					第11回失神研 究会	Jul-21
会議発表 (論文・口頭)	内服薬・注射薬インシデント報告「発生 原因・要因」のテキストマイニング解析 と改善への有用性について	古田康之,野田秀裕,髙橋笑美子,戸田桂子,徳田幸子,小林洋一					第19回日本臨 床医学リスク マネジメント 学会学術集会	Sep-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 佐伯美沙	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第4回 抗がん剤治療に関わるトレーシン グレポート事例	久知良 礼美,柘植 緑理佳, 佐伯 美沙,田中 克已,大内 雅之,向後 真寿美,川野 由 紀子		43	2	46	グリム名	Feb-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 田中志津子	]	_			_
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	Morphine、Oxycodone、 Hydromorphone、Tapentadolの初回内 服後のせん妄様症状に関する実態調査	松井 美月 藤宮 龍祥 島本一志 米澤 龍 田中 志津子 中山 博文 渡邊 徹 佐々木忠徳					第14回日本 緩和医療薬 学会年会	May-21
会議発表 (論文・口頭)	ホジキンリンパ腫に対するABVD療法により高トリグリセリド血症を生じた一例	米澤 龍 島本 一志 蒲澤					日本病院薬 剤師会関東 ブロック第51 回学術大会	Aug-21
会議発表 (論文・口頭)	SBT/CPZによる白血球減少症を生じた一例	田中 志津子 粟屋 真理子  米澤 龍 田中 広紀 渡邊 徹 佐々木 忠徳					日本病院薬 剤師会関東 ブロック第51 回学術大会	Aug-21

	T		7					
会議発表 (論文・口頭)	MRSA菌血症に対しVCMから早期にDAPT に変更した一例	田中 志津子 粟屋 真理子  米澤 龍 戸村 和希 田中 広紀 渡邊 徹					日本病院薬 剤師会関東 ブロック第50 回学術大会	Oct-20
会議発表 (論文・口頭)	肺腺癌術後のシスプラチン+ビノレルビン療法に伴う悪心にオランザピンが有効であった1症例	田中 志津子 藤宮 龍祥 金 正興 船越 晴喜 楠本 壮二郎 杉田 栄樹 佐々木 忠徳					日本病院薬 剤師会関東 ブロック第49 回学術大会	Aug-19
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 平出 美紀					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 前田 絵里加	]		1		
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	手術・検査前中止薬の確認業務とその評価	柏原由佳,柘植縁理佳,伊波 樹,江畠麗,佐伯美沙,田中章 久,前田絵里加,松崎あい理, 田中克巳				χ_γ	第31回日本医療薬学会年会 (Web)	Oct-21
一般雑誌記事	副作用に関するトレーシングレポート事 例	越塚宏美,江畠麗,前田絵里加,田中克已,武由梨,柳原桃子,大内雅之,小松仁美,前元研治	都薬雑誌	43	642	38-41		Mar-21
一般雑誌記事	周産期医学 解熱鎮痛薬	磯﨑遥,前田絵里加,田中克 巳,大槻克文	周産期の本	50	増刊 号	87-89		Dec-20
会議発表 (論文・口頭)	人工膝関節全置換術周術期におけるデュ ロキセチン使用の有効性と安全性	磯崎遥,佐藤敦,前田絵里加, 古屋 貴之,柏原由佳,田中克 巳,佐々木忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第50回 年会(Web)	Oct-20
会議発表 (論文・口頭)	人工膝関節全置換術周術期におけるデュ ロキセチン使用の有効性と安全性	磯崎遥,佐藤敦,前田絵里加, 屋城由樹,古屋 貴之,柏原由 佳,田中克巳,佐々木忠徳				27	日本薬学会第 140年会要旨 集	Mar-20
会議発表 (論文・口頭)	人工膝関節全置換術周術期におけるデュ ロキセチン使用の有効性と安全性	磯崎遥,佐藤敦,前田絵里加, 古屋 貴之,柏原由佳,田中克 巳,佐々木忠徳					日本病院薬剤 師会関東ブ ロック第50回 年会(Web)	Oct-20
会議発表 (論文・口頭)	外来診察におけるトレーシングレポート 活用による薬物治療への影響の検討	喜田昌記,磯崎遥, 渡邊亜矢子, 柏原由佳, 福元史織, 前田 絵里加, 米澤夏里, 田中克巳, 佐々木忠徳				324	日本薬剤師会 学術大会要旨 集第52回	Oct-19
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 米澤夏里	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	薬薬連携におけるトレーシングレポート 第3回 服薬方法やアドヒアランスに関す るトレーシングレポート事例	喜田 昌記,米澤 夏里, 伊波 樹,田中 克巳,菊池 麻子,大内 雅之	都薬雑誌	43	1	52		Feb-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 磯部 順哉					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 永尾美智瑠	1	•	•	•	
类结石口	カノレル・幸々	苯子	雑誌名	<b>*</b>	号	開始	学会・シンポ	刊行在日
業績項目	タイトル・書名	著者 NAGAO Michiru   NAKANO	雜誌名 	巻	节	ページ	ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Nonlinear Disposition and Metabolic Interactions of Cannabidiol Through CYP3A Inhibition <i>in Vivo</i> in Rats	Yukako TAJIMA Masataka SUGIYAMA Erika SATO VH INADA Makoto SATO Hitoshi	Cannabis Cannabinoid Res	5	4	318		Dec-20
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教	氏名 大城(仙北屋)	真理奈				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
特になし							, i	
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 野口拓馬					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
なし					<u> </u>			

昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 青木 悟	1				
				-		開始	学会・シンポ	
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	ページ	ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文 (学外)	Fetal methylphenidate exposure induced ADHD-like phenotypes and decreased Drd2 and Slc6a3 expression levels in mouse offspring	Satoru Aoki, Asuka Kaizaki- Mitsumoto, Natsumi Hattori, Satoshi Numazawa	Toxicology letter	344		1		Feb-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 太田 晃					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始	学会・シンポ	刊行年月
学術論文冊子 (学外)	The selective cytotoxicity of silver thiosulfate, a silver complex, on MCF-7 breast cancer cells through ROS-induced cell death	OTA Akira, TAJIMA Masataka, MORI Kazunori, SUGIYAMA Erika, SATO VH, SATO Hitoshi	Pharmacological Reports	73			ジウム名	Jun-21
会議発表 (論文・口頭)	チオ硫酸銀錯体によるがん細胞選択的な 抗腫瘍効果	太田 晃、田島 正教、森 一 憲、杉山 恵理花、佐藤 均	第373回昭和大学学士会 例会(薬学部会主催)					Jun-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 黒瀧 アン里	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論 文(学外)	Substrate specificity of human long-chain acyl-CoA synthetase ACSL6 variants	KUROTAKI Anri HARA Shuntaro KUWATA Hiroshi	Biol. Pharm. Bull	44	10			0ct-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教薬科	氏名 三井 奈緒	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・ロ頭)	Swallowability of mini-tablets in Japanese children 6-23 months old: results from an exploratory randomized cross-over study	Nao Mitsui Noriko Hida Taro Kamiya Taigi Yamazaki Kazuki Miyazaki Kiyomi Saito Jumpei Saito Akimasa Yamatani Yoichi Ishikawa Akihiro Nakamura  Tsutomu Harada, Hidefumi Nakamura					13th EuPFI virtual conference	Sep-21
会議発表 (論文・口頭)	原薬粉体物性がアスピリンミニタブレットの品質に及ぼす影響	芹澤 風香 野田 秀裕 高橋 伸幸 鈴木 奈緒 藤田 吉明  中村 明弘 原田 努					日本薬学会第 141年会	Mar-21
会議発表 (論文・口頭)	6か月以上2歳未満の乳幼児における細粒 剤およびシロップ剤を対照としたミニタ ブレットの服用性と受容性の検討	鈴木 奈緒 肥田 典子 神谷 太郎 山崎 太義 宮崎 和城 齊藤 清美 齊藤 順平 山谷 明正  石川 洋一 中村 秀文 中村 明弘 原田 努					日本薬剤学会 第36年会	May-21
一般雑誌記事	ゲル化コーティングミニタブレットの有 用性と今後の展望	鈴木 奈緒 熊木 良太 原田 努  倉田 なおみ	製剤機械技術雑誌	30	1	36-40		Feb-21
学術雑誌論文 (学外)	ゲル化コーティング製剤の服用性の評価	鈴木 奈緒 秋山 滋男 岸本 桂子 原田 努 倉田 なおみ	日摂嚥下リハ会誌	24	3	231–239		Dec-20
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 竹安葵	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	臨床研修薬剤師のプロフェッショナリズム評価-P-MEX評価と自己省察レポート・	竹安葵、加藤里奈、小林文、山 本仁美、北原加奈之、百賢二、 佐々木忠徳、田中佐知子					第65回日本薬 学会関東支部 大会	Sep-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教(薬科)	氏名 出口 智一	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
and the			 	<u>                                       </u>	<u> </u>	1	<u> </u>	
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教(薬科)	氏名 德留真優	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
なし			 	1	<u> </u>	1	<u> </u>	
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 稲本真弓	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
L	<del> </del>	<u> </u>	l	<b></b>			!	

昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 井上 裕美子	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始	学会・シンポ	刊行年月
711X X L	7 1171 22		12.00			ページ	ジウム名	1313 173
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教(薬科)	氏名 柏渕 弓佳	1				_
	11.312.02(42).12.3 H13.000	10 H 10 20 10 11 11		1		88 44	쓰스 > > 그의	
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
				_				
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教薬科	氏名 永田 未希					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	藻類であるFucoidanによるアミロイドβ 誘発性神経毒性に対する保護作用につい て	永田 未希 辻 まゆみ 小口 達敬 門馬 佑太郎 野原 哲人  大橋 英朗 井藤 尚仁 山本 謙 宇高 結子 佐々木 晶子  木内 祐二 沼澤 聡	日本認知症学会誌	35	4	660	第40回日本認 知症学会学術 集会	0ct-21
会議発表 (論文・口頭)	Aβ高分子oligomer誘発性細胞傷害に対する新規治療薬GT863の保護作用	門馬 佑太郎 辻 まゆみ 小口 達敬 野原 哲人 大橋 英朗  井藤 尚仁 山本 謙 永田 未 希 中村 史朗 小野 賢二郎  木内 祐二	日本認知症学会誌	35 4		660	第40回日本認 知症学会学術 集会	0ct-21
会議発表 (論文・口頭)	クルクミンとフェルラ酸のアミロイドβ 凝集および神経細胞傷害への相加的効果	大橋 英朗 辻 まゆみ 小口 達敬 門馬 佑太郎 野原 哲人  井藤 尚仁 山本 謙 永田 未希 小野 賢二郎 木内 祐二	日本認知症学会誌	35 4 6		647	第40回日本認 知症学会学術 集会	0ct-21
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 西田純平	]				
業績項目	タイトル・書名 著者 雑誌名		雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	I de la desta de la dela dela dela dela dela dela de		I	1			I	
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教(薬科)	氏名 福元史織					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
なし								
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教薬科	氏名 與儀 和香子					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論文(学外)	Influences of Lavender Essential Oil Inhalation on Stress Responses during Short-Duration Sleep Cycles: A Pilot Study	YOGI Wakako TSUKADA Mana SATO Yosuke IZUNO Takuji INOUE Tatsuki TSUNOKAWA Yoshiki OKUMO Takayuki HISAMITSU Tadashi SUNAGAWA Masataka	Healthcare	9	7	909		2021年7月
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 稲垣 貴士	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
	I	In a second	<u> </u>	1 <u> </u>		1	<u>I</u>	
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教(薬科)	氏名 井上 恵里花	<u>]</u> 				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
なし								
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 大日方 瞳					
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
学術雑誌論 文(学外)	Cooperative action of oxidized low- density lipoproteins and neutrophils on endothelial inflammatory responses through neutrophil extracellular trap formation	OBAMA Takashi OHINATA Hitomi TAKAKI Takashi IWAMOTO Sanju SAWADA Naoko AIUCHI Toshihiro KATO Rina ITABE Hiroyuki	Front Immunol	10		1899		Aug-19
	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 杉本 佳寿美	1				

業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
なし								
1			•	-				
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教(薬科)	氏名 村岡健太					
		T	1				1	
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
会議発表 (論文・口頭)	日本救急医学会学生・研修医部会(SMAQ)の概要と戦略的展望	村岡 健太 武田 宗和 新井隆男					第48回日本救 急医学会総 会・学術集会	Nov-22
その他	救急医療の裾野を広げるSMAQの取り組み	村岡 健太	医学界新聞		3350	7		Dec-22
会議発表 (論文・口頭)	日本救急医学会学生・研修医部会(SMAQ) の紹介 概要と展望	村岡 健太 新井 隆男 武田宗和					第47回日本救 急医学会総 会・学術集会	0ct-22
	Landard War	I-11	Tara	1				
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教 (薬科)	氏名 山内 梨裟	]				
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
なし								
•				7				
昭和大学	病院薬剤学講座	職名 助教(薬科)	氏名 竹安 結花子					
						1		
業績項目	タイトル・書名	著者	雑誌名	巻	号	開始 ページ	学会・シンポ ジウム名	刊行年月
1		1	1	1			1	

### (基礎資料10) 学生の健康管理

表1. 評価対象年度の定期健康診断受診率

学年	在学者数	受診者数	受診率(%)
1年	211	211	100.00%
2年	218	218	100.00%
3年	207	207	100.00%
4年	173	173	100.00%
5年	173	173	100.00%
6年	191	191	100.00%

表2. 評価対象年度の5年生の実務実習前の抗体検査の実施状況

検査対象抗体	抗体価が十分高かった 学生数	抗体価が不十分なためワクチン接種をした学生数 <sup>1)</sup>
風疹	101	72
麻疹	48	119
水痘	159	14
ムンプス	99	73
B型肝炎	159	10

[注] 1) 4年次12月末までに、ワクチン接種した学生数(確認できた人数)を記入してください。 確認できない場合は、左欄のみ記入してください。

(基礎資料11-1) 薬学科の教育に使用する施設の状況

	施設 <sup>1)</sup>	座席数	室数	収容人員合計	備 考		
	大講義室(旗の台キャンパス)	220-240	5	918	4号館500号(固定席220)、4号館600号(固定席240)、16号館2階(固定席230)、16号館地下(固定席228)		
	中講義室(旗の台キャンパス)	98-168	7	873	4号館302号(固定席168)、2号館第1(固定席104)、第2(固定席98)、第3(固定席108)、第4(固定席135)、第5(固定席134)、第6(固定席126)		
	小講義室(旗の台キャンパス)	30	1	30	2号館ラーニングコモンズ(可動席30)		
講義室・ 演習室 <sup>2)</sup>	大講義室(富士吉田キャンパス)	211-372	3	805	1号館202号室(固定席211)、1号館第一講堂(可動席372)、5号館第二講堂(固定席222)		
	中講義室(富士吉田キャンパス)	94-154	9	1050	1号館101号教室(固定席140)、1号館201号教室(固定席154)、1号館203号教室(固定席95)、1号館204号教室(可動席95)、1号館301号教室(固定席100)、1号館302号教室(固定席130)、5号館512室(可動席132)、5号館521室(可動席94)、5号館522室(可動席)110		
	小講義室(富士吉田キャンパス)	30-40	6	223	1号館102号教室(可動席40)、1号館103号教室(可動席40)、1号館205号教室(可動席40)、1号館206号教室(可動席40)、5号館511室(可動席30)、5号館523室(可動席33)		
	A						
	実習室(旗の台キャンパス) 128-230 7 1054 5号館1階(解剖系:解剖台20台)、5号館2階(生理系:最大168席)、5号館3階(顕微鏡系:最大192席)、5号館4階(化学系:最大168席)、5号館5階(顕微鏡系:最 大128席)、5号館6階(社会医学系:最大168席)、2-5 (化学系:最大230席)						
	大(20席)、3号館の館(社会医子系・版人(100席)、2号 (100席)、2号 (100席) (10子系・版人(200席)						
実習室	物理学実習室(富士吉田キャンパス)	140	1	140			
	化学実習室(富士吉田キャンパス)	182	1	182			
	生物学実習室(富士吉田キャンパス) 180 1 180						
	PBL室 (旗の台キャンパス) 8 40 320						
自習室等 3)	学生ホール(旗の台キャンパス)	30-128	3	218	4号館地下1階(60)、1号館地下1階(128)、10号館(30)		
日百至寺	共同学習室(富士吉田キャンパス)	8-19	29	388	他学部学生と共用:赤松寮(5室80)、白樺寮(8室104)、すみれ寮(6室110)、百合寮(10室94)		
	学生自習室(富士吉田キャンパス)	4	177	708	他学部学生と共用:赤松寮(38室152)、白樺寮(28室112)、すみれ寮(50室200)、百合寮(61室244)		
薬用植物園	① 設置場所:旗の台キャンパス ② 施設の構成と規模:位置:北緯3 ③ 栽培している植物種の数:37科1 ④ その他の特記事項:常駐職員:カ	09種					
第一医薬資源園	③ 栽培している植物種の数:51科1	30種			面積:901 ㎡ 月、エゾウコギ、ダイオウ、ゲンチアナなど北方や高山帯の植物が見られる		
第二医薬資源園 (栽培圃場)	① 設置場所:富士吉田キャンパス ② 施設の構成と規模:位置:北緯35度27分58秒 東経138度46分15秒、標高:944 m, 面積:3,626 ㎡  ③ 栽培している植物種の数:25科45種 ④ その他の特記事項:常駐職員:なし、圃場:なし、創設:1973年、エゾウコギ、ダイオウなど北方や高山帯の植物が見られる						
自然教育園	① 設置場所:富士吉田キャンパス ② 施設の構成と規模:位置:北緯3 ③ 栽培している植物種の数:1,166 ④ その他の特記事項:常駐職員: 2	○種(樹木~草を	<b>本類、野菜等含</b>	め)	面積:18, 930 ㎡		

#### (基礎資料11-2) 卒業研究などに使用する施設

表1. 講座・研究室の施設

施設名 1),2)	面積 <sup>3)</sup>	収容人員 4)	室数 <sup>5)</sup>	備 考
教授室	25m <sup>2</sup>	1人	16	9-34 m <sup>2</sup> (教育企画・評価学部門、感染制御薬学部門は研究室に教授用デスクがある)
研究室(大)	163m²	20人	11	12部門の研究室(100m <sup>2</sup> 以上)※2室はそれぞれ異なる2部門で共同利用
研究室(中)	74m <sup>2</sup>	10人	12	11部門の研究室(50-100m²)※2室は同一の2部門で共同利用
研究室(小)	$31m^2$	5人	15	10部門の研究室(50m <sup>2</sup> 未満)
共用倉庫	14m <sup>2</sup>	0人	4	

- 1) 単独の講座・研究室などが占有する卒業研究で使用する学生用研究室は、(基礎資料11-1) と重複してかまいません。
- 2) 複数の講座・研究室が(隣接する2~3講座で共用で)占有する施設があれば、記載してください。 実験室・研究室に広さが異なるものがある場合は、「大・小」、「大・中・小」のように大まかに区分してください。
- 3) 同じ区分の部屋で面積に若干の違いがある場合、面積には平均値を記入してください。
- 4) 1室当たりの収容人数を記入してください。同じ区分の部屋で若干の違いがある場合は平均値を記入してください。
- 5) 薬学科の卒業研究を担当する講座・研究室が占有する部屋の合計数を記入してください。 (ひとつの講座・研究室当たりの数ではありません。)

## 表2. 学部で共用する実験施設

施設の区分 <sup>1), 2)</sup>	室数	施設の内容					
実験動物施設	19	一般飼育室(7室)、特殊動物(感染、無菌、遺伝子組換え)飼育室(12室)					
分子分析センター	7	NMR室、質量分析室、LC/MS室、ESR室、元素分析室、ラマン分光光度計室、天秤室					
組み換えDNA実験室	3	P2実験室(3室)					
共通機器室	1	電子顕微鏡、フローサイトメトリー等精密機器設置室(1室)					
薬理科学研究センター	7	実験室(5室)低温実験室(1室)、機器室(1室)					

- 1) 実験動物施設、NMR室など、例示を参考に、大まかな用途による区分を設け、各区分に含まれる室数と施設の内容を例示のように列記してください。 (面積などは不要です。)
- 2) 例示以外の実験施設(例えば、培養室など)があれば追加してください。

#### (基礎資料12) 学生閲覧室等の規模

図書室(館)の名称	学生閲覧室 座席数 (A)	学生収容 定員数(B) <sup>1)</sup>	収容定員に対する 座席数の割合(%) A/B*100	その他の 自習室の名称	その他の 自習室の座席数	その他の 自習室の整備状況 <sup>2)</sup>	備 考 <sup>3)</sup>
昭和大学図書館 (本館) <sup>4)</sup>	226	2, 908	7. 77%	グループ学習室 個人閲覧室	12 6	LANコンセント7 LANコンセント6	学 部: 医718 歯630 薬1,200 大学院: 医240 歯72 薬48 *新型コナ感染対策による2021 年5月1日時点の座席数:115席
富士吉田校舎図書室	105	579	18. 13%				学 部: 医119 歯105 薬200 保155 *新型コナ感染対策による2021 年5月1日時点の座席数:32席
計	331	3, 487	9. 49%				

- 1) 「学生収容定員数(B)」欄には、当該施設を利用している全ての学部・大学院学生等を合計した学生収容定員数を記入してください。
- 2) 「その他の自習室の整備状況」欄には情報処理端末をいくつ設置しているか等を記載してください。
- 3) 「備考」欄には「学生収容定員(B)」の内訳を、学部・大学院等ごとに記入してください。
- 4) 例示の中央図書館は、薬学部の利用がなければ(キャンパスが異なるなど)、右の欄を空欄にしてください。

#### (基礎資料13) 図書、資料の所蔵数および受け入れ状況

図書館の名称	図書の冊数		定期刊行物の種類		視聴覚資料の	電子ジャー	過去3年間の図書受け入れ状況			/# +-
	図書の全冊数	開架図書の 冊数(内) <sup>1)</sup>	内国書	外国書	所蔵数 (点数) <sup>2)</sup>	ナルのタイ トル数 <sup>3)</sup>	2020年度	2019年度	2018年度	備考
昭和大学図書館(本館)	237, 923	192, 669	2, 295	2, 325	362	4, 272	1, 486	1, 446	1, 910	・定期刊行物は富士吉田 と歯科病院図書室を含 む。 ・電子ジャーナルは本館 で集中管理。
富士吉田校舎図書室	39, 715	39, 715	-	-	221		617	608	610	・定期刊行物は本館に含む。
計	277, 638	232, 384	2, 295	2, 325	583	4, 272	2, 103	2, 054	2, 520	

- [注] 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。
- 1) 開架図書の冊数(内)は、図書の全冊数のうち何冊かを記入してください。
- 2) 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含め、所蔵数については、タイトル数を記載してください。
- 3) 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。